

平成21年度

2009年

講義要綱・シラバス

目 次

I	日吉設置共通授業科目	1
II	少人数セミナー形式授業科目	91
	【文学部設置の少人数セミナー形式科目】	92
	【経済学部設置の少人数セミナー形式科目】	93
	【法学部設置の少人数セミナー形式科目】	103
	【商学部設置の少人数セミナー形式科目】	108
	【理工学部設置の少人数セミナー形式科目】	119
III	学部独自設置授業科目	125
1	文学部	126
2	経済学部	
	〔基礎教育科目〕	133
	〔専門教育科目〕	140
	〔総合教育科目〕	146
3	法学部	
	〔数学・統計・情報処理科目〕	149
	〔自然科学科目〕	153
	法律学科	154
	政治学科	163
	〔社会科学科目〕	163
	〔政治学科目－基礎科目（必修）〕	165
	〔政治学科目－系列科目〕	167
	〔政治学科目－集中学習科目〕	170
4	商学部	
	〔基礎科目I類（基礎必修科目）〕	176
	〔基礎科目II類（基礎基盤科目）〕	177
	〔専攻科目I類（専攻核科目）〕	178
	〔専攻科目II類（専攻基本科目）〕	181
	〔総合教育科目（III類）〕	184

〔総合教育科目 (IV類)〕	185
〔基礎科目I類〕	186
〔基礎科目II類 A群〕	186
〔基礎科目II類 B群〕	187
〔基礎科目II類 C群〕	187
〔専攻科目I類〕	188
〔専攻科目II類〕	188
〔総合教育科目 (III類)〕	188
〔自主選択科目〕	189
 5 医学部	
第1学年	
〔基礎科学必修科目〕	190
〔医学基礎教育科目〕	192
 6 理工学部	
〔基礎教育科目〕	194
〔専門基礎科目〕	197
〔総合教育科目〕	229
 7 薬学部	
〔必修科目〕	234
〔選択必修科目〕	236
〔自由科目〕	237

IV 研究所設置講座、履修案内	239

1 メディア・コミュニケーション研究所	240
2 体育科目 (体育研究所)	243
体育学講義	244
体育学演習	246
体育実技A/B (ウィークリー・スポーツ)	248
体育実技A/B (シーズン・スポーツ)	258
3 福澤研究センター	263
4 保健管理センター	264
5 外国語教育研究センター	265
6 情報処理教育室	269
7 教養研究センター	271
8 国際センター	274
9 言語文化研究所	276
10 知的資産センター	280
11 教職課程センター	281
12 外国語学校	284

I 日吉設置共通授業科目

【科目の掲載順について】

日吉設置共通授業科目は、原則として科目名の50音順（アイウエオ順）で、同じ科目名の中では担当者の50音順に掲載しています。ただし、同じ担当者が「〇〇Ⅰ」「〇〇Ⅱ」という科目名で春学期と秋学期を継続して授業を行う場合は「〇〇Ⅰ」の後に「〇〇Ⅱ」を掲載します。

<凡例>



① 科目名（太字部分）

学部・学年により科目名が異なる科目は科目名を複数記載しています

② 授業の曜日時限

曜日時限により授業の内容が異なる場合のみ曜日時限を記載しています

③ 授業のサブタイトル

④ 単位数

⑤ 開講学期

通年 : 1年間通して行われる科目

春学期 : 春学期に開講される科目

秋学期 : 秋学期に開講される科目

春学期 / 秋学期 : 春学期と秋学期にそれぞれ開講される科目

春集中 : 春学期に週2回開講される科目

秋集中 : 秋学期に週2回開講される科目

⑥ 科目設置学部

【 】内の文字は以下の学部・学科を表し、それらの学部・学科の時間割にその科目が記載されています。科目を履修する場合は所属学部の時間割に記載のある登録番号（5桁の数字）で履修申告してください。

文：文学部	経：経済学部	法：法学部法律学科	政：法学部政治学科
商：商学部	医：医学部	理：理工学部	薬：薬学部

他学部の科目は、科目設置学部（【 】内の文字が大きく表示されている学部）の時間割に記載されている登録番号で履修してください。

⑦ 科目担当者

【複数の科目名が併記されている科目について】

<例1>

文学Ⅰ	
「物語・自己・歴史Ⅰ」	
	2単位 春学期
【文経法政商医理】	武藤 浩史

同一担当者の科目で、科目名にⅠまたはⅡがつくものがあります。原則としてⅠは春学期、Ⅱは秋学期で1年間を通して継続する内容で授業が行われます。ⅠとⅡは共に履修することが望ましいものですが、それぞれ単独で履修することも可能です。これらの科目を通年科目として履修する場合は（春学期分）と（秋学期分）の2つのシラバスを参照してください。継続する内容の授業についてはⅠのシラバスの直後にⅡのシラバスを掲載しています。なお、春学期と秋学期で担当者が変わる場合も継続する場合の場合はⅠⅡの順で掲載しています。

<例2>

文学 a（春学期） / 文学 b（秋学期）	
文学（通年）	
「文学と演劇にみる文化継承の問題」	
	2単位 春学期 / 秋学期
	4単位 通年
【文経法政商医理】	井戸田 総一郎

同一担当者の科目で、科目名に a または b がつくものがあります。これらはそれぞれ半期科目ですが、2科目を共に履修することが義務付けられています。またこれらの科目は年度末に2科目一括して成績評価されます。（春学期終了時には成績評価はされません。）なお、これらの科目を通年科目として履修する場合は年度末に成績評価されます。

履修したい授業を、どの科目名で履修登録するかは学部によって異なります。所属する学部の時間割・履修案内などで確認した上で履修申請してください。

【科目認定用紙について】

- ① 所属学部の時間割に記載のない科目を履修希望する場合は、科目認定用紙の提出が必要になります。
- ② 用紙は科目設置地区・所属学部の学事センター窓口で配布しています。
- ③ 授業に出席して科目担当者から履修許可を得てください。（詳細は所属学部の履修案内の「履修申告までの流れ」で確認してください。）
- ④ 他学部に開放していない科目もあり、履修できない場合もありますので注意してください。
- ⑤ 履修申告をする場合、科目設置学部（【 】内の文字が大きく表示されている学部）の時間割に記載されている登録番号を選択してください。

医療・福祉の行政

2 単位 秋学期

【文経商薬】

梶沢 栄一

〔授業科目の内容〕

21 世紀は生産優先の価値観にかわり、人間優先・生活優先の価値観が益々重要視される時代だという。これらの価値観は医療制度や福祉制度などによって具現化するのである。しかし今日医療に関しては、関係省庁、政府機関、日本医師会、保健連などさまざまな機関が意見を出しながら、その見通しは混沌としたものがある。また福祉に関しては、次々の改革案が打ち出されるが実態とのギャップが指摘されている。このような状況の中でマスコミは医療制度や福祉制度について多く取り上げ、国民も大きな関心を寄せるようになって来ている。本講義では医療と福祉について行政の関わりを歴史的に考察しながら、今日の医療・福祉行政の実態を外国と比較しつつ解明し、将来の医療・福祉行政について考えてみたい。

〔教科書〕

使用せず（レジュメと資料配付）

〔参考書〕

授業で指示する。

映像・音響文化論

2 単位 春学期 / 秋学期

【経商医理薬】

杉田 敦

〔授業科目の内容〕

映像や音響に関連する現代美術の作品や展覧会を通じて、表現に対する意識の持ち方の変化に始まり、その背後にある文化、思想、社会の在り方とその時代的変質まで、既存の領域に拘らずに横断的に論じていく。

秋期は、ポリティカル・コレクネス（PC：政治的正当性）関連の問題として、セクシャリティの問題にスポットをあてつつ、それをエドワード・サイードのオリエンタリズム批判と並行するものとして、また、ファイヤアーベント、ハンス・ペーター・デュルらの過激な相対主義を延長したものとして位置づけることができるかどうか考察する。さらに、大きな物語を一掃したポスト・モダニズム以降の、物語を再建しようとする、ポスト・ポスト・モダニズムの動きについても紹介する。

〔教科書〕

『ナノ・ソート 現代美学、あるいは現代美術で考察すること』杉田敦 彩流社

〔参考書〕

『リヒター、グールド、ベルンハルト』杉田敦 みすず書房

『開かれた作品』U・エーコ 青土社

総合教育科目「音楽」について

慶応義塾大学日吉キャンパスでは、塾生諸君の興味や資質に併せ、導入的な授業から、かなり深い内容を扱うものまで、多彩な音楽関連の授業を提供しています。なかには、実習や実技、演習を含む音楽の授業もあり、このことは他の一般大学にない特徴です。

履修者は、次の各講義の要項をよく読んで、自分にあった授業を見つけてください。なお、設置学部の関係でここに掲載され

ていない授業もありますので、詳細は音楽研究室ホームページ <http://musicology.fbc.hc.keio.ac.jp/> も併せて参照してください。

音楽Ⅰ / 音楽Ⅱ（火4）

「バロック期と古典期の音楽：

2 単位 春学期

楽器と器楽作品」

2 単位 秋学期

【文経法政商理薬】

石井 明

〔授業科目の内容〕

この授業は、一年を通じて履修する学生を主な対象者として開講します。しかしながら、半期のみの履修も可能です。なお、後期のみに授業の履修を希望する学生は、前期の授業内容を後期開始前に把握しておくことを強く薦めます。

西洋音楽史上では、1600 年前後において新しい形の声楽作品、すなわちオペラの誕生を見る。そしてこれがその後の 200 年間、つまりバロック期と古典期において音楽文化を牽引する役目を担うことになる。その一方でこの時代は、それ以前とは比較にならないほど器楽が大きく発展した時期でもあった。そして 18 世紀が終わるころまでに器楽は成熟し、器楽作品のみで構成される本格的なコンサートが頻繁に開かれるまでになった。そして、ベートーヴェン、ハイドンなど、声楽作品よりは器楽作品の方がよく知られる作曲家たちの存在が大きく注目されるようになっていく。

このような器楽の飛躍の理由の一つに、楽器の発展を挙げることができる。これには、作曲家・音楽家たちが、時代の変化とともに楽器に何を求めるようになっていったのかということが反映されているだけでなく、楽器職人たちによる、それぞれの楽器が持つ可能性の拡大という要素も忘れることはできない。

そこでこの授業では、当時使われていた楽器を鍵盤楽器、弦楽器、管楽器に分けてそれぞれについて考察し、各楽器がどのように理解されていたのか、どのように活用されていたのか、そしてどのような社会的な役割が与えられていたのかなどを考えていく。そしてこれらの楽器のためにどのような器楽作品が書かれていったのかということと、それらの作品が、時の経過とともにどのような発展を見せたのかということ、楽器の観点から分析していく。また、各楽器について個々に捉えるだけでなく、これらの楽器の組み合わせ（アンサンブル）にも注目し、楽器がどのように器楽作品の発展に貢献したかということを探っていく。

〔参考書〕

『新西洋音楽史』（中巻）D. J. グラウト / C. V. パリスカ著 戸口幸策 / 津上英輔 / 寺西基之共訳 音楽之友社

音楽Ⅰ / 音楽Ⅱ（水5）

「18 世紀のオーケストラと演奏習慣」

2 単位 春学期

2 単位 秋学期

【文経法政商理薬】

石井 明

〔授業科目の内容〕

この授業は、半期科目として開講されますが、1 年を通して履修を希望する学生のみ履修許可を与える予定です。ただし、授業内容（選択曲）によっては、オーケストラ編成の理由から前期もしくは後期のみに履修を許可する場合があります。詳しくはガイダンス時に説明を受けてください。

モーツァルト、ベートーヴェン、ハイドンなどが活躍していた 18 世紀後半は、オーケストラという概念が誕生して間もない頃で

す。その当時の作曲家達が抱いていたオーケストラ像は、現代に生きる我々のそれとは大きく異なっていました。相違点としては、グループ全体（アンサンブル）のサイズ、楽器の種類、演奏方法・概念、聴衆そして演奏会場の大きさなどを挙げることができます。18世紀後期に書かれた、交響曲と協奏曲を中心とした管弦楽曲は、スタンダード・レパートリーの一部として現代でも盛んに演奏されています。しかしそこにある姿、そして奏でられる音は、当時の作曲家達が求めていたものとは大きく異なる場合が多々あります。そこでこの授業では、現代のオーケストラで失われてしまったものがどのようなものなのかということを、18世紀に書かれた管弦楽曲を実際に演奏することで考察していきます。

受講対象者は、楽器を所有し（あるいはそれらに常時アクセスでき）、かつそれを演奏する能力を十分に備えている学生とします。ただし、コントラバス、ナチュラル・トランペット、およびティンパニは貸し出すことができます。本来は、当時の楽器またはそれを復元したものを使用するのを理想としますが、そのような楽器を揃えることは困難なことから、現代の楽器を使用しながら当時の演奏概念を考察します。演奏および講義を通じて学んだ成果は、コンサートという形で発表を行います（年2回を予定）。

今年度は、前期においては没後250年となるハイドンに焦点を置き、彼による交響曲も取り上げる予定です。後期についての詳細は未定ですが、いくつかの場面を抜粋した形でのオペラ上演を検討しています。オーケストラ編成とそのサイズは、18世紀後半期のそれをモデルとします（約30名）。管楽器の募集は、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペットそれぞれ2名とします。ただし、フルートについては、すでにオーケストラ経験のある者、クラリネットについては、A管にアクセスまたは所有している者、そしてトランペットについては、こちらで用意するナチュラル・トランペットを用いることができる者（あるいは少なくともC管を所有している者）に限定します。また、弦楽器は、バイオリンを12名程度募集し、ヴィオラ、チェロ、コントラバスはそれぞれ若干名とします。コントラバスについては、上述したように、楽器の貸し出し（2台分）の用意があります。しかしながら、練習場所は各自で確保するということが履修条件になります。打楽器の募集はティンパニのみになります。

履修を希望する学生は、ガイダンスに必ず出席し、そこで履修希望届を教員に提出してください。その後、教員から履修許可証が発行されます。履修許可がないと履修登録ができません。注意してください。

音楽Ⅰ

「バロックから古典派へ名曲の旅」

2単位 春学期

【文経法政商医理薬】

石多 正男

〔授業科目の内容〕

バロック時代（ヴィヴァルディやバッハなど）から古典派（モーツァルトなど）までの18世紀の音楽を中心に講義し、鑑賞していただきます。そして、遠いヨーロッパの国々で200年から300年も前に作られた曲が、なぜ我々に理解され愛されるのかという音楽の本質的な問題を理解できるようにします。

〔教科書〕

『チャート式クラシック鑑賞術』石多正男著 春秋社 3000円

〔参考書〕

『交響曲の生涯』石多正男著 東京書籍 3200円

音楽Ⅱ

「19世紀から現代へ名曲の旅」

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

石多 正男

〔授業科目の内容〕

ベートーヴェンの後期からシューベルト、ショパン、ヴァーグナー、ヴェルディなどの19世紀、そして20世紀の音楽について講義し、鑑賞していただきます。クラシック音楽についての教養を身につけることが第一の目的です。音楽とは何か、音楽は我々には不可欠なものかなど、音楽の本質的な問題についても考えたいと思います。

〔教科書〕

『チャート式クラシック鑑賞術』石多正男著 春秋社 3000円

〔参考書〕

『交響曲の生涯』石多正男著 東京書籍 3200円

音楽Ⅰ

「世界音楽の旅」

2単位 春学期

【文経法政商医理薬】

尾高 暁子

〔授業科目の内容〕

諸民族の音楽・芸能の営みを、伝統的なジャンルを対象として概観します。代表的な楽器、理論、演奏・上演の社会的な文脈紹介をメインポイントとし、それぞれの地域・民族が長い年月をかけて育んだ独自の音楽文化に目をむけることを目的とします。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

①『はじめての世界音楽』柘植元一他編 音楽之友社
1999年 ISBN:4-276-13531-1

②『諸民族の音楽を学ぶ人のために』櫻井哲男他編 2005年 ISBN:4-7907-1154-4

音楽Ⅱ

「人間と音楽のかかわり、その諸相」

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

尾高 暁子

〔授業科目の内容〕

音楽・芸能をめぐる人間の営みについて、伝統的な脈絡から近現代の音楽文化創出にいたるまで、さまざまな観点から考察を加えます。音楽や芸能はきわめて人為的な存在です。それらが、時々社会・経済・文化の変動に応じて意図的に操作され、創りかえられていく様子を確認することが、この授業のねらいです。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

①『はじめての世界音楽』柘植元一他編 音楽之友社
1999年 ISBN:4-276-13531-1

②『諸民族の音楽を学ぶ人のために』櫻井哲男他編 2005年 ISBN:4-7907-1154-4

音楽Ⅰ

「オペラ入門」

2単位 春学期

【文経法政商医理薬】

加藤 浩子

〔授業科目の内容〕

オペラ初心者を対象に、オペラの基礎的な知識や歴史を学ぶことを目的とする。

〔教科書〕

特に用いない。

〔参考書〕

講義中に指示する。

音楽Ⅱ

「ジュゼッペ・ヴェルディと19世紀の
イタリア・オペラ」

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

加藤 浩子

〔授業科目の内容〕

オペラ史上のピークのひとつである19世紀のイタリア・オペラの歴史を概観し、そのなかでも最大の作曲家、ジュゼッペ・ヴェルディの役割について論じる。

できれば春学期と連続して受講することが望ましい。

〔教科書〕

とくに用いない。

〔参考書〕

『黄金の翼＝ジュゼッペ・ヴェルディ』加藤浩子著 東京書籍

『今夜はオペラ！』同著 春秋社

『イタリア・オペラ史』水谷彰良著 音楽之友社

音楽Ⅰ（水5）

「合唱音楽」

2単位 春学期

【文経法政商医理薬】

大島 博

〔授業科目の内容〕

海外の大学には、よくコレギウム・ムジクムというものがあり、学生と教員が一緒になって演奏を楽しんでいます。この授業では、その伝統に倣い、古今の合唱の名曲を実際に歌うことによって、音楽の歴史を身体で感じ取っていきます。春学期は、発声や発音といった基礎的な事柄に比重をおいて授業を進めます。学期の終わりには、授業時間内に演奏会を行う予定です。

なお、春学期は、秋学期の演奏会準備という性格が強いので、春学期（音楽Ⅰ）、秋学期（音楽Ⅱ 佐藤望君担当）を通して履修して下さい。

〔教科書〕

その都度指示します。

〔参考書〕

その都度指示します。

音楽Ⅱ（水5）

「合唱音楽」

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

佐藤 望

〔授業科目の内容〕

音楽Ⅰ 合唱音楽（春学期、大島博君担当）に引き続き、合唱音楽の歴史を歌いながら学び、秋学期は、学期の終わり近くで開かれる演奏会の準備を進めて行きます。

〔教科書〕

その都度指示します。

〔参考書〕

その都度指示します。

音楽Ⅰ

「ヨーゼフ・ハイドンの時代と音楽」

2単位 春学期

【文経法政商医理薬】

沼口 隆

〔授業科目の内容〕

2009年はヨーゼフ・ハイドンの没後200年にあたります。本講義の目的の一つは、記念年をきっかけとしてハイドンとその作品について知ることです。

しかし、ハイドンだけに限る講義ではありません。ハイドンが生きた1732年から1809年という時期は、音楽史において一般に「古典派」と呼ばれる時代とほぼ一致します。W. A. モーツァルトの生涯（1756～91）はすべて含まれ、1770年生まれのパートヴェンも、1809年には第6番（「田園」）までの交響曲など主要作品の多くを書き終えていました。ハイドンを一つのきっかけとしつつ、「古典派」について考え、他の作曲家の作品などにもなるべく多く触れてゆきたいと思います。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

その都度、紹介してゆく予定です。

音楽Ⅱ（月2）

「バロック音楽の楽しみ」

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

佐藤 望

〔授業科目の内容〕

西洋音楽史では1600年頃～1750年頃までの時代を、「バロック時代」と読んでいます。西洋音楽文化の原型をつくった時代といっても過言ではないでしょう。この時代の豊かな音楽文化に触れ、その時代の背後の思想や時代精神を読み取っていきます。

モンテヴェルディ、ヴィヴァルディ、シュッツ、クーブラン、バッハなどの記念碑的な作品を取り上げ、それぞれの音楽の背後にあるものを探っていきます。

〔教科書〕

とくに指定しない。

〔参考書〕

『新西洋音楽史』中 D.J.グラウト、C.V.パリスカ著 音楽之友社 2001年

『西洋音楽史 バロック』服部幸三著 音楽之友社 2001年

音楽Ⅰ（月1）

「音楽理論入門（1）」

2単位 春学期

【文経法政商医理薬】

広瀬 大介

〔授業科目の内容〕

この授業では、西洋音楽における理論的基礎を、実習を伴いながら学びます。授業は1)教科書『和声法』（ウォルター・ピストン）に従った和声学の学習と、2)西洋音楽理論の諸問題についての講義から構成されます。各回に実習課題を課し、履修者は毎週この課題を提出することが求められます。春学期の基礎編では、和声の原則を一通り学び、簡単な四声の和声課題が実施できるようになることを目的とします。

〔教科書〕

『和声法——分析と実習』W.ピストン、M.デヴォート著 音楽之友社 2006年

〔参考書〕

『図解音楽事典』U.ミヒェルス編 日本語版監修 角倉一朗 白水社 1989 年
『新しい楽典』野崎哲著 音楽之友社

音楽Ⅱ（月1）

「音楽理論入門（2）」

2 単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

佐藤 望

〔授業科目の内容〕

この授業では、春学期の「音楽理論入門（1）」（広瀬大介君担当）に引き続き、西洋音楽における理論的基礎を、実習を伴いながら学びます。授業は1) 教科書『和声法』（ウォルター・ピストン）に従った和声学の学習と、2) 西洋音楽理論の諸問題についての講義から構成されます。各回に実習課題を課し、履修者は毎週この課題を提出することが求められます。秋学期では、和声課題で利用できる和音を徐々に増やし、転調や借用和音の使用、転位・修飾を含む課題も視野に入れて学習していきます。

〔教科書〕

『和声法——分析と実習』W.ピストン、M.デヴォート著 音楽之友社 2006 年

〔参考書〕

『図解音楽事典』U.ミヒェルス編 日本語版監修 角倉一朗 白水社 1989 年
『新しい楽典』野崎哲著 音楽之友社

音楽Ⅰ（月3）

「リヒャルト・ヴァーグナーの楽劇」

2 単位 春学期

【文経法政商医理薬】

福中 冬子

〔授業科目の内容〕

十九世紀ドイツの作曲家、リヒャルト・ヴァーグナーが、従来の「オペラ」というジャンル概念をどう改訂したのか、個々の作品を詳細に学びながら、この問いを考察することがこの授業の目的です。ヴァーグナーのテキスト（台本）と音楽、両者における構造やスタイルを、同時代の社会・文化的背景、あるいは彼自身の美学・思想・政治観と照らし合わせながら、学びます。毎回、ヴァーグナーの一作品から一シーンを取り出し、それをテキスト、音楽両面から詳しく読みます。またヴァーグナー作品と関連して、彼自身が書いたエッセイの他、ハンスリック、ニーチェ、マンなどの著作も扱います。

前期は、ヴァーグナー以前のオペラに軽く触れた後、ヴァーグナーの初期の作品（《妖精》、《恋愛禁制》）から《トリスタンとイゾルデ》（1859）までを扱います。

〔教科書〕

『ワーグナー』吉田真著 音楽之友社 2005 年

注：授業中には使用しませんが、必要に応じて指定箇所を準備として読んでもらいます。その他、毎回授業内にプリントを配ります。

〔参考書〕

『オペラは二度死ぬ』ジジェク、ドラー共著 中山徹訳 青土社 2003 年

音楽Ⅱ（月3）

「リヒャルト・ヴァーグナーの楽劇」

2 単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

福中 冬子

〔授業科目の内容〕

十九世紀ドイツの作曲家、リヒャルト・ヴァーグナーが、従来の「オペラ」というジャンル概念をどう改訂したのか、個々の作品を詳細に学びながら、この問いを考察することがこの授業の目的です。彼のテキスト（台本）と音楽、両者における構造やスタイルを、同時代の社会・文化的背景、あるいは彼自身の美学・思想・政治観と照らし合わせながら、学びます。毎回、ヴァーグナーの一作品から一シーンを取り出し、それをテキスト、音楽両面から詳しく読みます。またヴァーグナー作品と関連して、彼自身が書いたエッセイの他、ハンスリック、ニーチェ、マンなどの著作も扱います。

後期は《指輪》四部作、《マイスタージンガー》、《パルジファル》を扱った後、二〇世紀におけるヴァーグナー受容にも触れます。

〔教科書〕

『ワーグナー』吉田真著 音楽之友社 2005 年

注：授業中には使用しませんが、必要に応じて指定箇所を準備として読んでもらいます。その他、毎回授業内にプリントを配ります。

〔参考書〕

『オペラは二度死ぬ』ジジェク、ドラー共著 中山徹訳 青土社 2003 年

音楽Ⅰ（木2）

「近代の音楽文化（モダニズム）」

2 単位 春学期

【文経法政商医理薬】

福中 冬子

〔授業科目の内容〕

音楽作品は作曲家個人の創造思想の結晶であると同時に、その時代の社会的、政治的、文化的様相を反映する鏡でもあります。当授業では、異なる文化ジャンル（文学、絵画、舞踊など）における潮流や歴史的、社会的な動きを視野にいれながら、複数の作曲家による音楽作品を考察します。主に西洋のクラシック音楽を扱いますが、ジャズやポピュラー音楽、民族音楽も視野に入れることにより、より広い視点から近代音楽文化の「語るもの」を解き明かしていきます。前期では主に一九世紀の終わりから第二次大戦終了までの時代の作品が中心となります。また AV 資料や楽譜のコピーを授業内に使用し、様々なスタイルの音楽作品に触れてもらいます。

〔教科書〕

『現代音楽小史』ポール・グリフィス著 石田一志訳 音楽之友社 1978 年

注：授業中には使用しませんが、現代音楽の歴史的・社会的背景を知る上で、必要に応じて指定箇所を準備として読んでもらいます。その他、毎回授業内にプリントを配ります。

〔参考書〕

『音楽の新しい地平』ロバート・モーガン著 長木誠司監修 音楽之友社 1996 年

音楽Ⅱ（木2）

「現代の音楽文化（ポスト・モダニズム）」

2 単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

福中 冬子

〔授業科目の内容〕

音楽作品は作曲家個人の創造思想の結晶であると同時に、その時代の社会的、政治的、文化的様相を反映する鏡でもあります。当授業では音楽作品を通じて、異なる文化ジャンル（文学、アート、パフォーミング・アート、映画など）における潮流や

歴史的、社会的な動きを考察します。主に西洋のクラシック音楽を扱いますが、ジャズやポピュラー音楽、民族音楽も視野に入れることにより、より広い視点から現代音楽文化の「語るもの」を解き明かしていきます。後期では主に第二次大戦終了以降に創られた作品が中心となります。また AV 資料や楽譜のコピーを授業内に使用し、様々なスタイルの音楽作品に触れてもらいます。

〔教科書〕

なし。毎回授業内にプリントを配ります。

〔参考書〕

『世界音楽の時代』ロバート・モーガン著 長木誠司監修
音楽之友社 1997 年

注：授業中には使用しませんが、現代音楽の歴史的・社会的背景を知る上で、必要に応じて指定箇所を準備として読んでもらいます。

音楽 I

「音楽と技術① (1950 年代以前： 2 単位 春学期
アナログの時代)」

〔文経法政商医理薬〕 藤井 孝一

〔授業科目の内容〕

テクノロジーやメディアという言葉を聞くと、21 世紀に生きる我々は、コンピュータやインターネットなどのエレクトロニクスに基づく先端技術を思い浮かべがちである。しかしながら、ルネサンス期の印刷技術や産業革命期の機械技術、近代の録音技術も、当時は最先端の技術であった。

この講義では、印刷、機械、録音など、近代以降に発達した技術やメディアと音楽との関係を軸に、18 世紀末から 20 世紀半ばにかけての西洋音楽を振り返る。年代記的な音楽史ではなく、トピック毎に、技術の発達が音楽の聴取（もしくは消費）の有り様にどのような変化をもたらした、ひいては現在の私たちの音楽に向き合う態度を形成する上でどのような影響を及ぼしてきたのか、学生諸君と一緒に考えてみたいと思う。「芸術」音楽ばかりでなく、ポピュラー音楽についても時間の許す限り触れたい。講義で取り上げる作品の理解に必要な音楽の基礎知識や時代背景などについても詳説する。現代社会に生きる私たちの技術と向き合う態度について、また音楽の享受について、深く考えるきっかけになれば幸いである。

〔教科書〕

教科書は特に指定しない。教材・資料は、適宜プリントとして配布するか、PowerPoint を用い映写する。

〔参考書〕

『現代音楽小史：ドビュッシーからブーレーズまで』P. グリフィス著 石田一志訳 音楽之友社 1984 年

『音楽機械劇場』渡邊裕著 新書館 1997 年

『現代音楽を読み解く 88 のキーワード：12 音技法からミクス
ト作品まで』J-Y. ボスール著 栗原詩子訳 音楽之友社
2008 年

その他、初回に基本的なリファレンスの一覧を配布し、講義中にも適宜指示する。

音楽 II

「音楽と技術② (1940 年代以降： 2 単位 秋学期
アナログからデジタルの時代へ)」

〔文経法政商医理薬〕 藤井 孝一

〔授業科目の内容〕

エレクトロニクスの発達は音楽の創作に大きな影響を与えてきた。ミュージック・コンクレートに始まる電子音響音楽 (electroacoustic music) の歴史は既に 60 年を越えている。これまで多くの作曲家達が積極的にこのジャンルに関わってきたことからわかるように、欧米においては重要なレパートリーとして確立されている。同時にまた、録音技術の発達、普及により芸術音楽ばかりでなく、ポピュラー音楽においても聴取者と音源の乖離が進んでいる。

この講義では、総音列主義と電子音楽のかかわりなど、第二次大戦後のエレクトロニクスと関係の深い個々の音楽傾向について解説する。「芸術」音楽ばかりでなく、ポピュラー音楽についても時間の許す限り触れたい。講義で取り上げる作品の理解に必要な同時代の音楽のスタイルや時代背景などについても詳説する。現代社会に生きる私たちの技術と向き合う態度について、また音楽の享受の有り様について考えるきっかけになれば幸いである。

〔教科書〕

教科書は特に指定しない。教材・資料は、適宜プリントとして配布するか、PowerPoint を用い映写する。

〔参考書〕

『現代音楽：1945 年以後の前衛』P. グリフィス著、石田一志、佐藤みどり共訳 音楽之友社 1986 年

『現代音楽を読み解く 88 のキーワード：12 音技法からミクス
ト作品まで』J-Y. ボスール著 栗原詩子訳 音楽之友社
2008 年

『*Electronic and Computer Music*』, Revised ed., P. Manning., Oxford University Press, 2004.

『*Electric Sound: The Past and Promise of Electronic Music*』, J. Chadabe., Prentice Hall, 1996.

その他、初回に基本的なリファレンスの一覧を配布し、講義中にも適宜指示する。

化学 I (実験を含む)

「化学結合と地球環境」 3 単位 春学期

〔文経法政商〕 大場 茂

〔授業科目の内容〕

この授業では化学構造式の意味、その実体を学びます。また、科学史における化学の発展や、地球を取り巻く環境問題にも触れます。これを通して、世界の路線をより良い方向に切り変えるような大局観が、諸君に少しでも芽生えることを期待しています。

〔教科書〕

講義では毎回プリントを配布します。実験ではテキスト（実費）を使います。

化学 II (実験を含む)

「有機化学と生活環境」 3 単位 秋学期

〔文経法政商〕 大場 茂

〔授業科目の内容〕

この授業では有機化合物の性質および反応性を学びます。社会と化学との関わり、および地球を取り巻く環境問題にも触れます。また、化学あるいは化学物質に関する調査・発表を各自に行ってもらいます。これを通して、諸君に化学に対する興味と理解が深まることを期待しています。

〔教科書〕

講義では毎回プリントを配布します。実験ではテキスト（実費）を使います。

化学Ⅰ（実験を含む）

3 単位 春学期
小瀬村 誠治

【文経法政商】

【授業科目の内容】

子供の頃、川辺を散歩したことがあるだろう。そのとき、ふと不思議に思ったことはなかっただろうか。“なぜ、植物は光の方向に曲がるのかな”とか、“氷はなぜ水に浮くのだろう”など様々な“なぜ”を感じたと思う。

時が流れ、何時しかこの“なぜ”に対して、興味が薄れていく自分に気づいたことはないだろうか。この“なぜ”には「何のために：生物学」と「どのようにして：化学」の意味を含んでいるが、講義では、身近な現象（生命、生態、環境など）を最近のトピックも交えて、化学の立場で解説していく。

授業は講義と実験とを隔週に行うが、一年後、諸君が幼い日の心と“化学の目”を持って“自然”と接することができるような講義を目指す。

【教科書】

講義用の教科書は使用しないが、実験用のテキスト（実費）は使用する。

【参考書】

特に指定しない。

化学Ⅱ（実験を含む）

3 単位 秋学期
小瀬村 誠治

【文経法政商】

【授業科目の内容】

子供の頃、川辺を散歩したことがあるだろう。そのとき、ふと不思議に思ったことはなかっただろうか。“なぜ、植物は光の方向に曲がるのかな”とか、“氷はなぜ水に浮くのだろう”など様々な“なぜ”を感じたと思う。

時が流れ、何時しかこの“なぜ”に対して、興味が薄れていく自分に気づいたことはないだろうか。この“なぜ”には「何のために：生物学」と「どのようにして：化学」の意味を含んでいるが、講義では、身近な現象（生命、生態、環境など）を最近のトピックも交えて、化学の立場で解説していく。

授業は講義と実験とを隔週に行うが、一年後、諸君が幼い日の心と“化学の目”を持って“自然”と接することができるような講義を目指す。

【教科書】

講義用の教科書は使用しないが、実験用のテキスト（実費）は使用する。

【参考書】

特に指定しない。

化学Ⅰ（実験を含む）

「現代化学のあけぼの」 3 単位 春学期
【文経法政商】 清水 健一

【授業科目の内容】

地球上に存在する物質はわずかに 100 種類ほどの原子の結びつきによりできています。しかし、その結びつき方は原子の種類により異なり、その結果として様々な個性を持った物質が生成し

ます。講義の前半ではどのような法則にしたがって原子から分子が作られるのかを化学結合論にもとづいて平易にしかも統一的に説明します。講義の後半では、現在われわれが直面している環境、エネルギー、および腐食からの社会資本の保全などの諸問題を化学の観点から平易に説明し、これらの問題がいかに経済と密接に関連しているかについて理解を深めたいと考えています。

【実験】

定性分析、定量分析、合成実験などを教科書にしたがって行い、そこで生ずる現象の観察、結果の取扱い方などを実習する。

【教科書】

『大学課程一般化学』佐々木・辻岡・膳・大矢共著 オーム社

【参考書】

『一般化学』（上、下）ポーリング著 岩波書店

化学Ⅱ（実験を含む）

「現代化学のあけぼの」 3 単位 秋学期
【文経法政商】 清水 健一

【授業科目の内容】

地球上に存在する物質はわずかに 100 種類ほどの原子の結びつきによりできています。しかし、その結びつき方は原子の種類により異なり、その結果として様々な個性を持った物質が生成します。講義の前半ではどのような法則にしたがって原子から分子が作られるのかを化学結合論にもとづいて平易にしかも統一的に説明します。講義の後半では、現在われわれが直面している環境、エネルギー、および腐食からの社会資本の保全などの諸問題を化学の観点から平易に説明し、これらの問題がいかに経済と密接に関連しているかについて理解を深めたいと考えています。

【実験】

定性分析、定量分析、合成実験などを教科書にしたがって行い、そこで生ずる現象の観察、結果の取扱い方などを実習する。

【教科書】

『大学課程一般化学』佐々木・辻岡・膳・大矢共著 オーム社

【参考書】

『一般化学』（上、下）ポーリング著 岩波書店

化学Ⅰ（実験を含む）

「物質の化学 基礎編」 3 単位 春学期
【文経法政商】 志村 正

【授業科目の内容】

授業は、原則として講義と実験を隔週で行います。

【講義】

私たちのまわりには、実にさまざまな物質があふれています。物質のもつ性質、すなわち色や形状、導電性などはすべて化学構造と密接に関係しています。近年の技術向上により生み出されている“新素材”と呼ばれるものも特殊な機能をもたせるため、化学的に構造設計されたものがほとんどです。

講義では、化学の一般的な事柄を分かりやすく解説し、物質とその性質について考えていく基礎を養います。

【実験】

文科系の皆さんにとってこれから先、自分の手で化学実験を行う機会にめぐり合うことはまずありえないでしょう。実際に取り

扱ってその性質を調べたり、物質を合成したりすることは、化学を理解する上で必要不可欠です。

実験では、金属イオンの系統分析、炎色反応などを行う予定です。

〔教科書〕

実験用テキストを実費にて配布する予定です。

化学Ⅱ（実験を含む）

「物質の化学 応用編」

3 単位 秋学期

〔文経法政商〕

志村 正

〔授業科目の内容〕

授業は、原則として講義と実験を隔週で行います。

〔講義〕

講義では、物質とその性質について化学的に考えていきます。

〔実験〕

実験では、有機化合物の合成、色素の合成と染色、化学発光などを行う予定です。

〔教科書〕

実験用テキストを実費にて配布する予定です。

科学技術と現代社会

2 単位 春学期

〔文経商薬〕

谷田部 雅嗣

〔授業科目の内容〕

地球は二酸化炭素を主とした温暖化ガスの過剰で温暖化の危機を迎えています。人間はなぜ地球環境を破壊させるまでに進化してきたのか。地球環境は生命進化の歴史と大きなかわりを持っています。現在の地球環境問題を考える上で、生命進化の歴史を学ぶことは意義のあることだと思います。人工化学物質による汚染問題、各種の公害、食糧問題は政治経済も含めた問題として考える必要もあります。また、ヒトの遺伝情報の全てであるヒトゲノムの解読が進み、医薬や医療への応用など、具体的な成果に結びつき始めています。しかし、科学技術が急速に進歩し、専門家の持つ知識と一般の人の持つ知識には著しい差が生まれています。しかし、最先端の科学技術について専門家だけが知っていればいいというものではありません。原子力や、遺伝子組み替え植物、食品の安全性など知らずに生まれる不安、知らせずに起きる不信任感など様々な問題が起きています。薬学や医学の世界でも患者にわかりやすく説明し、理解を得ることは事故を防ぐ意味からも欠かせないことでしょう。そこで、豊富な映像素材を使い、科学技術と社会との関連を立体的に考えることを目的とした講義を展開します。

〔教科書〕

設けません。

〔参考書〕

随時紹介します。

科学史Ⅰ

「人物でみていく近代科学史」

2 単位 春学期

〔経法政商薬〕

下坂 英

〔授業科目の内容〕

近代科学の歴史を扱います。歴史を全般的にみるということではなく、重要かつ興味深い科学者を取り上げ、その業績を見ることを通じて、科学の流れを大雑把につかみたいと思います。ま

た、科学者たちの生きた時代背景を視野に入れて、社会における科学というテーマも考察します。科学者だけでなく、科学に関わった人物についても取り上げます。皆さんの生き方を考える上で参考にしてほしいという観点から、これらの人々がどのような人物であったのかについてもふれます。

〔教科書〕

講義の際にプリントを配布します。

〔参考書〕

『科学史の事件簿』科学朝日編 朝日新聞社

『20 世紀の千人⑤テクノ時代の創造者』朝日新聞社編 朝日新聞社

その他、講義の際に紹介します。

科学史Ⅱ

「人物でみる日本科学技術史」

2 単位 秋学期

〔経法政商薬〕

下坂 英

〔授業科目の内容〕

欧米で発達した科学・技術が、日本にどのように導入され、発展していったかを考えます。江戸時代にもふれますが、主に、明治時代を扱い、重要な役割を果たした人物に注目して概観します。近代化に貢献した御雇外国人もとあげます。以上のような歴史的理解は、現代日本の科学・技術をめぐる諸問題を考える際に欠かせないと思います。

〔教科書〕

講義の際に、プリントを配布します。

〔参考書〕

『スキヤンダルの科学史』科学朝日編 朝日新聞社

『20 世紀の千人⑤テクノ時代の創造者』朝日新聞社編 朝日新聞社

科学と社会

「ヒトゲノム解読と優生学」

2 単位 秋学期

〔文経商〕

長沖 暁子 岸 由二

〔授業科目の内容〕

2003 年 4 月世界的なプロジェクトであったヒトゲノム計画の解読完了宣言が出ました。これによって、より多くの遺伝子診断やオーダーメイド医療が可能になるとされてきました。一方で、さまざまな生命工学の発達に対する警鐘として、常に優生学が取り上げられてきました。この中心は出生前診断の結果による障害児または女兒の選別中絶の是非の議論です。「インフォームド・コンセントのもとに行われる自己決定」が現在の一般的な合意なのですが、これは個人主義的優生学だという批判もあります。ヒトゲノム解読は、私たちに新たな優生学の時代を切り開いたのでしょうか？ さまざまな角度から分析します。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『優生学と人間社会—生命科学の世紀はどこへ向かうのか』米本昌平他著 講談社現代新書 2000 年

漢文 a (春学期) / 漢文 b (秋学期) 漢文 (通年)

2 単位 春学期 / 秋学期
4 単位 通年

【文経法政商医】

根岸 宗一郎

〔授業科目の内容〕

漢文訓読法の基本を確認しながら、中国の古典を読解していく。歴史物（司馬遷『史記』など）や怪奇物（『閩微草堂筆記』など）を扱う。

〔教科書〕

適宜プリントを配布する。

〔参考書〕

授業時に指示。

基礎の数学

「数学が苦手な人のための数学」

2 単位 春学期

【経商理】

丸山 文綱

〔授業科目の内容〕

基本的には、1 変数関数の微分法と積分法を中心とする内容を予定している。一部若干変更する可能性もある。高校数学の復習と問題演習に重点を置く。また、偏微分と 2 変数関数の極値（経済・商・理工の必修科目で学ぶはず）についても解説するつもりだが、線形代数についてもできれば解説する。一方理論の習得と同時に、応用として微積分の知識を元に、計算機を使った高度な計算ができるようになることをひとつの目的とする。場合によっては応用が中心になることもありうる。

〔教科書〕

特に指定しない。WEB ページで資料を見れるようにしたり、必要に応じてプリントを配布する。

〔参考書〕

講義の最初に説明する。

教育学 I

2 単位 春学期

【文経医】

真壁 宏幹

〔授業科目の内容〕

近代教育における基本概念を中心に解説しながら、「教育学」が考えねばならない根本問題を明確化することを試みる。ただし、学校における具体的な教育問題を解説することを意図してはいないので、履修に際しては十分注意してほしい。この講義では、むしろ、こうした教育問題を考察する際に前提としている諸表象（個性、自律、発達、教養、文化、平等と自由など）の起源と意味を考察することで、近代教育の重要性とその限界を考察することを目指している。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介する。

教育学 II

2 単位 秋学期

【文経医】

藤澤 啓子

〔授業科目の内容〕

本講義では、発達心理学におけるさまざまなテーマについて概説します。乳幼児期の子どもの育ちのさまざまな側面について知ることを通して、人間の発達について考えを深めることを目的とします。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します。

近代思想史 I / 社会科学の考え方 (春学期)

「近代日本における文明の受容と拒絶」

2 単位 春学期

4 単位 通年

【文経法商医理薬】

小野 修三

〔授業科目の内容〕

日本においては幕末維新期以来、西洋文明と総称されるものに対しては、これを受容する歴史と、拒絶ないしこれ以上は不要とする歴史との、二つの対応があった。この近代の受容と拒絶との観点から、本講義は近代日本の成り立ちを考察して行こうと思う。決して常に歓迎されていたわけではなかった近代思想という側面に注目する。

具体的には、1864 年生まれの小河滋次郎という国家官僚が何を考えて、彼がどう周囲から評価されていたのかを中心に置くが、小河と直接また間接に関係した同時代人たちの言動も紹介して行く。また講義全般にわたってヨーロッパにおける近代思想の諸潮流に言及することになる。

〔教科書〕

無し

〔参考書〕

『公私協働の発端』拙著 時潮社

『現代市民政治論』高島通敏編 世織書房

『現場としての政治学』市川他編 日本経済評論社

近代思想史 II / 社会科学の考え方 (秋学期)

「近代以前から近代以後へ」

2 単位 秋学期

4 単位 通年

【文経法商医理薬】

小野 修三

〔授業科目の内容〕

近代とは、オランダの歴史家ホイジンガの定義では「世界そのものの改良と完成をめざす道」であった。近代とは異なるのは「世界の外に通じる俗世放棄の道」と「きびしい現実から美しいみせかけへの逃避」の道であった（『中世の秋』1919 年）。この近代を、近代以前と近代以後と比較しつつ、原典およびその翻訳を通して、説明して行く。

〔教科書〕

無し

〔参考書〕

各回の授業中に紹介します。

近代思想史 I

「人間を自立させ孤独に逞しく生きて
ゆかせようとする思想の流れ」

2 単位 春学期

【文経法商医理薬】

片山 杜秀

〔授業科目の内容〕

近代思想史というからには、古代思想史や中世思想史もあるのです。そして古代や中世とは、人間が別の思想を持つようになったから近代思想史という講座も成り立つのです。

すると、近代思想はそれまでとどこが違うのでしょうか。江戸時代の松尾芭蕉の名句に「秋深き隣は何をする人ぞ」というのがあります。大坂の旅の宿で、病に倒れようとしている晩年の芭蕉が、隣の部屋に居るのはどんな人だろうかと思って詠んだ句です。そして、ここに近代の暗示があります。芭蕉は旅先でしたから隣人を知らないのは無理ありません。ところが、近代になると、日本の歴史ならだいたい明治以後になると、旅先でなくても、隣人が何者かよく分からない状況が当たり前になってきます。人が家や村や共同体から離れ、バラバラに暮らしたすからそうなるのです。別の言い方をすると、バラバラになって自由に勝手にしたいと願うのが近代人なのです。

要するに近代思想史とは、第一には、人間がバラバラに自由になりたいという思想の歴史であり、第二には、個々人がバラバラになっても危険にさらされず安心して、家や村や共同体に縛られていたとき以上の幸せを追求できる社会を保証しようとする思想の歴史になります。

この講座では、そういう近代思想の王道を素直に追ってみたいと思っています。

〔教科書〕

特にありません。それにある程度まで代わるものとして適宜プリントを配布します。

〔参考書〕

必要に応じて、講義の中で紹介します。

近代思想史 II

「近代の限界を何らかのかたちで克服しようとする思想の流れ」

2 単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕

片山 杜秀

〔授業科目の内容〕

春学期では、人間個々人の自立をよしとして、それこそが立派な近代人なのだと説く思想を紹介する予定です。

しかし、人間は誰もひとりでは遅くこの世の荒波に立ち向かっていけるほど強い存在なののでしょうか。必ずしもそうではないから、近代の進展とともに、人間の心の病を扱う精神医学が発達したり、ノルウェーの画家、ムンクの『叫び』に端的に象徴されるような、孤独のやりきれなさを表現する芸術が勃興したのではないのでしょうか。

そこで、秋学期は、近代の推進する自由主義や個人主義に抗し、何らかの共同性の回復を目指そうとする思想の系譜を紹介してみたいと考えます。講座名は近代思想史ですが、それを正確に言い直すとすれば、「近代にあって、その矛盾を克服しようと試行錯誤する思想史」ということになるかと思います。

〔教科書〕

特にありません。それにある程度まで代わるものとして適宜プリントを配布します。

〔参考書〕

『近代日本の右翼思想』片山杜秀著 講談社 2007 年

近代思想史 I / 近代思想史 II

「ドイツ近代社会思想における自由と共同」

2 単位 春学期 / 秋学期

〔文経法商医理薬〕

針谷 寛

〔授業科目の内容〕

ヨーロッパ社会思想史における「市民社会」概念の変遷を手がかりとしながら、西欧近代社会とその思想の諸問題を検討す

る。材料としてはカント、ヘーゲル、マルクスなどドイツ近代の思想家の社会理論を重点的に取り上げる予定である。これらの理論を扱う際には歴史的なコンテキストの中で考察することに努める。これを材料にして、現代の生活についてもその特殊性をみずからの頭で考え表現する力を培ってほしい。

〔教科書〕

使用しない。必要に応じてレジュメを配布する。

〔参考書〕

講義の中で紹介する。

経済学 I

「経済の理論と現実」

2 単位 春学期

〔文法医理薬〕

武藤 功

〔授業科目の内容〕

経済現象はかなり身近ではあるが、それを正確に語るとなるとかなり難しい。経済分析の基礎を習得しながら、「経済」を見る眼を養うことを目標にする。この授業では、ケインズ経済学を中心とするマクロ経済学の基礎をまず学ぶことにする。その上で、日本経済の抱える問題（例えば、財政赤字問題、地方財政、年金問題など）を取り上げることとする。

〔教科書〕

特に指定しない。適宜プリントを配布する予定である。

経済学 II

「経済の理論と現実」

2 単位 秋学期

〔文法医理薬〕

武藤 功

〔授業科目の内容〕

ミクロ経済学を中心とした経済分析の基礎を学ぶ。

〔教科書〕

特に指定しない。適宜プリントを配布する予定である。

経済学 I

「マクロ経済学の初歩」

2 単位 春学期

〔文法医理薬〕

吉岡 忠昭

〔授業科目の内容〕

マクロ経済学は、一国の経済全体の立場から、国民総生産・利子・物価 水準などの重要な経済変数の決定について明らかにしようとするものである。これらの経済変数が経済政策によってどのような影響をうけるのかも検討する。

〔教科書〕

指定しない。

〔参考書〕

『ゼミナール経済学入門』福岡正夫著 日本経済新聞社

『はじめての経済学』酒井泰弘著 有斐閣

『基礎コース経済学』塩澤修平著 新生社

その他授業中に指示する

経済学 II

「ミクロ経済学の初歩」

2 単位 秋学期

〔文法医理薬〕

吉岡 忠昭

〔授業科目の内容〕

ミクロ経済学の基礎的基本的事項のうちから重要なものを選んで講義する。また、近年、様々な分野で利用されるようになって

きているゲームの理論の初歩についても経済分析との関連で取り上げる。

〔教科書〕

指定しない。

〔参考書〕

『ゼミナール経済学入門』福岡正夫著 日本経済新聞社

『はじめての経済学』酒井泰弘著 有斐閣

『基礎コース経済学』塩澤修平著 新生社

その他授業中に指示する

経済人類学Ⅰ／経済人類学Ⅱ

「現代市場経済を相対化する」 2単位 春学期／秋学期
〔文経商〕 栖原 学

〔授業科目の内容〕

「経済人類学」という科目名は、多くの学生諸君にとって聞きなれないものでしょう。経済人類学の創始者は、カール・ポラニー (Karl Polanyi, 1883-1964) だといわれていますが、この講義は、ポラニーの経済思想を手がかりに、現代市場経済を相対化しようとするものです。特に最近の市場経済はグローバル化の傾向が著しく、激しい変動と不確実性を特徴としています。このような市場経済の特質は、いつ頃から始まったのでしょうか。その歴史的起源をたどり、自己調整的市場原理が社会にどのような影響を与えてきたか、あるいはその未来はどうなるのかについて考えて見たいと思います。経済人類学Ⅰ (春学期) では、アダム・スミス、カール・マルクスら偉大な経済思想家と対比しながらポラニーの経済思想を紹介します。経済人類学Ⅱ (秋学期) では、ポラニーのいう自己調整的市場の成立から現代経済までを、ポラニーの思想をてがかりに解釈します。経済人類学Ⅰと経済人類学Ⅱは独立した講義といたしますが、できれば年間を通して受講されることを希望いたします。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義中に文献リストを配布する予定ですが、とりあえず次の著作を挙げておきます。『大転換』K.ポラニー著 吉沢・野口・長尾・杉村訳 東洋経済新報社 1975年 (近いうちに、新訳版が出る予定)。

言語学Ⅰ

「言語科学への招待」 2単位 春学期
〔文経法政商医薬〕 辻 幸夫

〔授業科目の内容〕

人間は本当によくしゃべる。これほど賑やかな動物はないと思われる。ではいったい言語とは何か、言語学はどのような学問か、言語学の基本的な諸相について概観します。伝統的な言語学と現代的な言語の科学のいずれについても触れます。

〔教科書〕

『ことばの認知科学事典』辻幸夫編 大修館 2001年

言語学Ⅱ

「心とことばの認知的研究」 2単位 秋学期
〔文経法政商医薬〕 辻 幸夫

〔授業科目の内容〕

人間の認知と言語の営みを認知科学の一分野としての認知言語学的な視点から概観します。できる限り演習形式を採用したいと思いますので、学生諸君の積極的な参加が期待されます。

〔教科書〕

『認知言語学への招待』辻幸夫編 大修館書店 2003年

〔参考書〕

『ことばの認知科学事典』辻幸夫編 大修館書店 2001年

『認知言語学キーワード事典』辻幸夫編 研究社 2002年

『心とことばの脳科学』山鳥重・辻幸夫著 大修館書店 2006年

『認知言語学のための14章』辻幸夫他訳 紀伊國屋書店 2008年

『ことばをつくる：言語習得の認知言語学的アプローチ』辻幸夫他訳 慶應義塾大学出版会 2008年

『比喩と認知：心とことばの認知科学』辻幸夫他監訳 研究社 2008年

言語学Ⅰ

「言語学への招待 (Ⅰ)」 2単位 春学期
〔文経商薬〕 星 浩司

〔授業科目の内容〕

この授業では、我々人間を人間たらしめている重要な属性の一つである「言語」に対する科学的アプローチを学び、科学的な言語観を理解することを目標としている。

具体的には、「言語学」とは何か、また、「言語」とは何か、という根本的な問題から出発し、自然言語に共通して観察される諸特徴を概観した後、各論へと進む。各論では、練習問題も適宜入れながら、音声学、音韻論、形態論の基礎を学んでいく。

〔教科書〕

『言語学への扉』星浩司著 慶應義塾大学出版会 2006年

〔参考書〕

①『生成言語学入門』井上和子、原田かつ子、阿部泰明共著 大修館書店 1999年

②『言語研究入門：生成文法を学ぶ人のために』大津由紀雄他編著 研究社 2002年

言語学Ⅱ

「言語学への招待 (Ⅱ)」 2単位 秋学期
〔文経商薬〕 星 浩司

〔授業科目の内容〕

この授業では、我々人間を人間たらしめている重要な属性の一つである「言語」に対する科学的アプローチを学び、科学的な言語観を理解することを目標としている。

具体的には、「言語学」とは何か、また、「言語」とは何か、という根本的な問題から出発し、自然言語に共通して観察される諸特徴を概観した後、各論へと進む。各論では、練習問題も適宜入れながら、統語論、意味論、語用論の基礎を学んでいく。

〔教科書〕

『言語学への扉』星浩司著 慶應義塾大学出版会 2006年

〔参考書〕

①『生成言語学入門』井上和子、原田かつ子、阿部泰明共著 大修館書店 1999年

②『言語研究入門：生成文法を学ぶ人のために』大津由紀雄他編著 研究社 2002年

言語学 III

「ことばと文化、ことばと認知」

2単位 春学期

〔経法政商医薬〕

篠原 俊吾

〔授業科目の内容〕

言語、文化、社会、認知といった単語をキーワードに、言語にまつわる諸問題を考えていきます。(単純に「言語＝意志伝達の手段」という観点だけではなく)「言語には各文化特有のものの考え方、捉え方が反映されている」という各言語の違いに着目する立場と、「どの言語にも共通する普遍的なシステムが盛り込まれている」という言語の普遍性に着目する立場の両方を検討していきます。

個別言語(日本語、英語など)に関する問題(「言語、文化、人間の認知はどの程度、相関関係があるのだろうか」「ことばが異なれば理解も異なるのか」)、および、どの言語にも共通の普遍的要素の問題(「あらゆる言語に共通するルールや原則はあるのか」)を巡って、なるべく多くのデータを見て検証していく予定です。扱う言語は英語、日本語が中心ですが、それ以外にもなるべく多くのタイプの言語をみていくつもりです。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

教室で指示します。

言語学 IV

「ことばと文化、ことばと社会」

2単位 秋学期

〔経法政商医薬〕

篠原 俊吾

〔授業科目の内容〕

言語学Ⅲで論じてきた、言語と文化の関係、言語の普遍的規則のメカニズムをさらに深く掘り下げていく。言語学Ⅲは、語のレベルの話が中心であるのに対して、言語学Ⅳは文レベルの問題、および、言語習得の問題、ことばと社会に関係する諸問題にも注目していく。

〔教科書〕

プリントを配布

〔参考書〕

教室で指示する

言語認識論

「言語と人間の外界認識」

2単位 秋学期

〔経商医理薬〕

金田一 真澄

〔授業科目の内容〕

学生たちにとって身近で本質的な問題についてじっくり考えさせる授業を行います。テーマは、我々をとりまく様々な現象で、主に言葉についての認識や言葉を使っている認識に関する問題です。認識論一般や人間の意識の問題についてもできれば広げて論じるつもりです。毎回テーマを絞り、90分の前3分の2を講義に残り3分の1を演習に当て、学生が積極的に意見を交換しあえる授業を行います。

例えば、「カテゴリー」をテーマとすれば、人間の外界認識において、共通要素の有無が分類判断の基礎となるという従来の考え方と、E. ロッシュらが提唱する典型からの心的距離が分類

判断の基礎となるという考え方があり、その優劣について、言語(例えば「机」)の意味の分析と関連づけて全員参加で議論します。その他、「言語決定論」「メタファ」「パターン認識」「時空間」「語用論」などのテーマを扱います。学生たちは時にグループに分かれてdebateを行うこともあります。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『レトリックと人生』G.レイコフ他著 大修館書店
『認知意味論』G.レイコフ著 紀伊国屋書店
『言語の基礎』R.ジャッケンドフ著 岩波書店
『認知言語学原理』山梨正明著 くろしお出版
『認知言語学の発展』坂原茂編 ひつじ書房
『認知言語学』大堀壽夫著 東京大学出版会
『認知言語学への招待』辻幸夫著 大修館書店
『はじめての認知言語学』吉村公宏著 研究社
『認知意味論』松本曜編 大修館書店
『「わかる」とはどういうことか』山鳥重著 筑摩書房

現代芸術論

「1945年以降の美術」

2単位 春学期

〔経商医理薬〕

近藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

第二次世界大戦後、世界の美術の中心は、パリからニューヨークへと移りました。授業では、この時期から現代までの美術の動きについての基礎的な知識の習得を目的とします。適宜、現代美術のタイムリーな話題や展覧会のはなしを織り交ぜながら授業をすすめていく予定です。

〔教科書〕

ありません。

〔参考書〕

授業中に言及します。

現代芸術論

「舞踏の芸術学~その生成と展開」

2単位 秋学期

〔経商医理薬〕

森下 隆

〔授業科目の内容〕

「舞踏」は、土方巽を創始者として戦後日本で創造された身体表現ですが、それが芸術表現の新しい概念ともなり、世界の舞台芸術の一潮流となっています。国際化した舞踏は、Butohと呼ばれ、海外でButohフェスティバルがさかんに行われ、舞踏研究も外国人が担うようになってきています。2009年にはとくに舞踏が生まれて50年にあたり、海外各地でアニバーサリーの催しが行われます。

授業では、舞踏がアバンギャルド芸術として、1950年代から1960年代にかけて、どのような社会的背景と欧米の思潮の影響のもとに生成したかを、土方巽の人と活動を中心に見てみます。

ついで、その活動と表現を戦後の前衛美術の流れと、先進的な文化ネットワークのなかで位置づけて、舞踏の生成の要因と表現の特徴を解説します。そして、土方巽の舞踏のメソッドとスタイル、構造を紹介して、表象としての身体表現と基底にある身体思想をその特殊性と普遍性をめぐって考察します。

以上をふまえて、現在の世界における舞踏の活動と研究を俯瞰しながら、海外における舞踏への関心と理解の様相、および意義について検討します。

〔教科書〕

講義に関連する資料をプリントして配付します。

〔参考書〕

『土方異全集』普及版 全2巻 河出書房新社

『HIJIKATA TATSUMI : Revolt of the Body』

Stephen Barber 著

『Hijikata Tatsumi & Ohno Kazuo』 Sondra Fraleigh
& Tamah Nakamura 著

現代思想論

「現代思想で読む映画」

2単位 春学期 / 秋学期

〔経商医理薬〕

田辺 秋守

〔授業科目の内容〕

われわれの時代を規定する大きな特質のひとつは、映像がいたるところに氾濫していることである。映像は現代文化の周縁ではなく中心に位置している。映像の意味を理解できない者は、かつての文盲に近い。ところで、「現代思想」と映画は非常に親和的な関係にある。映画はその時代の社会と人間をなんらかの形で反映するものだから、「現代思想」がそれに介入しないわけがないのだが、特に現代の思想家の多くが映画に関心を持ち、映画を問題にし続けてきたのは、映画が20世紀と21世紀の初頭にあって、時代の支配的な大衆娯楽＝芸術形式だからである。この授業では映画にかかわる「現代思想」の理論のいくつかを解説し、その理論的な装置を使って映画を読解する試みをおこないたい。各項目ごとに一本の映画を取りあげ、DVDを使って映画のテキスト分析をおこなう予定である。

〔教科書〕

特になし。毎回資料プリントを配布する。

〔参考書〕

詳細な参考文献一覧は開講時に配付する。

現代思想論

「魔術的思考の現代」

2単位 春学期

〔経商医理薬〕

中島 智

〔授業科目の内容〕

芸術、人類学、精神医学、そして哲学からカルチュラル・スタディーズまで、あるいはオクシデントからオリエントまでを視野にいれながら、私たちが思考するさいに、その思考枠を更新させ拡張させてきた働き—絶えず意識作用に裂開を生じさせてきた〈他者〉なるもの—について解説します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

『文化のなかの野生：芸術人類学講義』中島智著 現代思潮新社

その他、授業内で逐次紹介します。

現代社会論

「国民国家と社会変動

2単位 秋学期

—その形成と変貌—」

〔経商医理薬〕

池田 緑

〔授業科目の内容〕

現代日本社会は、様々な社会システムの転換点にあります。私たちが子供の頃から「あたりまえ」と思っていたことは、じつは

歴史的な現象で特殊なものであり、これからは「あたりまえ」ではなくなってゆく可能性があります。この授業では、近代国民国家とともに発展してきた現在の社会システムとその転換を「脱工業化」と「植民地主義」という2つの視点から考えてゆきます。

まず前半では、近代国民国家の発展を支えてきた「工業化」が、どのように現在の社会システムをかたち作ってきたかを、フォーディズム、社会階層の形成、「地域」という枠組みの形成、などを通じて検討します。

さらに後半では、性差という社会制度を通して、国民国家における「女性」の構築と家族制度や婚姻制度と権力、植民地主義の関係を考えます。

授業全体を通じて、多様な選択肢を前にこれからの時代を生きてゆかなければならない私たちの社会との関係について、そのヒントを模索できる授業になればよいと考えています。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業中に紹介する

現代社会論

「犯罪からみる現代日本社会」

2単位 秋学期

〔経商医理薬〕

芹沢 一也

〔授業科目の内容〕

犯罪は社会を映す鏡だと言われる。本講義は犯罪を通して、現代日本社会を照射しようというものである。だが、ある犯罪を生み出した社会は一体いかなる社会なのか、という問いを立てるのではない。そうではなく、犯罪に対する見方、語り方に、その社会の特質が現われると考える。

日本社会の治安が崩壊したとする言説が巷間に流布しているが、このことはまったく事実ではない。ではなぜ、そのような治安悪化言説が定着したのかを、犯罪をめぐる語りを分析することによって明らかにする。そうした分析を通じて、現在のわたしたちの社会が、いかなる方向に向かいつつあるのかを展望する。

〔教科書〕

『ホラーハウス社会』芹沢一也著 講談社＋α新書

『犯罪不安社会』浜井浩一・芹沢一也著 光文社新書

〔参考書〕

授業中に紹介する。

現代生物学概論

「生命科学、生命工学の最先端」

2単位 秋学期

〔商理薬〕

井本 正哉 他

〔授業科目の内容〕

生命体は、タンパク質、糖、脂質等が整然と制御されて動的平衡にある化学物質の集合体と見ることもできる。また、血液が体の隅々まで流れ、神経細胞には電子が流れて刺激が伝わるように、精緻な物理現象の場であると見ることもできる。また、免疫作用や発生の仕組みを見ればトータルなシステムとして制御されているということもできる。さらに遺伝子や脳のことを考えれば、情報論の概念で捉えることもできる対象である。これらの神秘を解明することは興味の尽きないところであるが、一方これらの機能を護ること、利用することも非常に重要である。

「機能を護る」とは即ち健康を保つ、回復することであり、即ち医学ということになる。「使う」一例は、食料生産であり、物質変換にも生命機能は利用されている。

本講義では、これら様々な現代生物学の科学と工学に関するトピックの中から、幾つかのテーマを選び平易に解説する。

〔参考書〕

『生命科学への招待』太田博道・柳川弘志編著 三共出版
本体価格 2200 円

現代世界史

「20 世紀の国際政治史とイラク戦争」 2 単位 春学期

〔経商医理薬〕 齋藤 直樹

〔授業科目の内容〕

20 世紀は二度にわたる世界戦争と半世紀近くに及んだ冷戦に彩られたことから、「戦争の世紀」と言われる。そうした「戦争の世紀」が終わったからといって、21 世紀が調和と均衡のとれた明るく輝く世界であることが保証されているわけではない。これは 2001 年の「同時多発テロ事件」と 2003 年のイラク戦争の勃発が正確に物語るとおりである。今、21 世紀を迎え世界は予想もできない混迷の時代に突入している。今後の 21 世紀がどのような世紀になるのだろうか。これを知るためには 20 世紀がどのような世紀であったのかという問いかけが行われる必要がある。20 世紀の歴史は 21 世紀の世界に多くの教訓を与えるものであり、新世紀のための道しるべとなるはずである。本講はこうした問題意識の中で、20 世紀の歴史を通観した上で、2003 年に起きたイラク戦争を取りあげる。

〔教科書〕

『イラク戦争と世界』齋藤直樹著 現代図書

〔参考書〕

『現代国際政治史』（上、下） 齋藤直樹著 北樹出版

現代日本史

「太平洋戦争への道」をめぐる 2 単位 春学期

さまざまな見方

〔経商医理薬〕 黒沢 文貴

〔授業科目の内容〕

「太平洋戦争への道」を日本近代の歴史のなかでどのように理解したらいいのか、その歴史学会における代表的な解釈を、東京裁判以来の時代の変遷に留意しながら検討することになります。それを通して日本人の昭和の戦争をめぐる歴史認識の原型がどのように作られてきたのか、また歴史解釈が時代状況の影響を受けることや近現代史理解と政治性との関係、さらに日本人の戦争責任意識のあり方等の諸点についての理解を深めることが、本講義の目的です。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業中に適宜指示します。

現代メディア論

「メディアと人間、メディアと国家」 2 単位 秋学期

〔経商医理薬〕 木下 京子

〔授業科目の内容〕

身近なところでコンピュータや携帯電話の普及や技術の進化は、生活形態や人間関係、社会環境、国家のあり方だけではなく、私たち自身の思考法や諸感覚にまで大きな変化をもたらしている。そこでメディアの歴史に視座を据え、新たなメディアが

成立し発展する過程や社会にもたらした影響などをさまざまな角度より検証し、現況を考え、近い未来を展望する。現時点で考え得るメディア論を履修者各自に展開してもらいたい。

〔教科書〕

授業時に資料プリントを配布。

〔参考書〕

『現代メディア史』佐藤卓己著 岩波書店 1998 年

現代メディア論

「メディアとしての写真と芸術としての写真、 2 単位 秋学期
映像の存在論を考える」

〔経商医理薬〕 近藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

私たちが日常でなにげなく消費している写真映像の存在論的な部分を、絵画と写真の歴史的な関係、美術のなかで写真が如何に使われてきたか、写真を使った現代美術作品などを通じて考えます。

美術のさまざまな局面で現われる写真の使用を検討することによって表現媒体としての写真の特性を明らかにします。授業ではある程度個々の作品を覚えることを前提とします。美術や写真に興味をもてない学生は授業についてゆけず単位を落としてしまう例が過去にありましたので注意してください。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

必要がある場合は授業中に挙げます。

国語国文 I / 国語国文 II

「王朝和歌 2 単位 春学期 / 秋学期

一秀歌で綴る歌人たちの生涯」

〔文経商医〕 小川 剛生

〔授業科目の内容〕

平安時代から鎌倉時代にかけての和歌史を、各時期を代表する歌人とその作品を取り上げて概観し、日本人の美意識の根幹をなす古典和歌への理解を深める。

〔教科書〕

『日本詩歌選』古典和歌研究会編 新典社 1000 円

ISBN:4-7879-0601-1 c1092

〔参考書〕

『【うた】をよむ一三十一字の詩学』三省堂。『歌枕歌ことば辞典増訂版』笠間書院。その他講義中に紹介する。

国語国文 I

「ことばの諸機能」 2 単位 春学期

〔文経商医〕 屋名池 誠

〔授業科目の内容〕

ことばは、コミュニケーションの機能のほかにも、さまざまな機能を果たしている。しかし、従来の言語研究は伝達機能を偏重していたきらいがある。視野を広くとり、発想を柔軟にして、ことばの諸機能を見渡してみたい。既製の研究成果が積み重ねられているというテーマではないので、受講者とともに考えながら進めてゆきたい。国語国文 II と一連のものとして受講してほしい。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

教室で指示する。

国語国文 II

「ことばの諸機能」

2 単位 秋学期

〔文経商医〕

屋名池 誠

〔授業科目の内容〕

ことばは、コミュニケーションの機能のほかにも、さまざまな機能を果たしている。しかし、従来の言語研究は伝達機能を偏重していたきらいがある。視野を広くとり、発想を柔軟にして、ことばの諸機能を見渡してみたい。既製の研究成果が積み重ねられているというテーマではないので、受講者とともに考えながら進めてゆきたい。国語国文 I と一連のものとして受講してほしい。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

教室で指示する。

国語国文 a (春学期) / 国語国文 b (秋学期) (月 2)
国語国文 (通年)

「古典文学を読む」

2 単位 春学期 / 秋学期

4 単位 通年

〔文経商医〕

津田 眞弓

〔授業科目の内容〕

高校までの古典文学の勉強においては、一文一文にひとつの正解を求めるという側面が強かったことでしょう。しかし、大学における古典文学の研究では、正解は必ずしも決まっています。時には何通りもの解釈があって、それを議論することで研究が深まるのです。この講座ではこうした大学レベルの文学研究を体得することを目的としています。

今年度は、韻文と散文が交じり合う芭蕉の『奥の細道』を題材に、学術的な古典文学研究の基礎を学びます。

それと共に、芭蕉が作品の中に重層的に取り込んでいる古典文学の「風景」を味わい、日本古典文学の特質について考えます。

〔教科書〕

『おくのほそ道』 鈴木健一、櫻片真王、倉島利仁編 三弥井書店 2007 年

〔参考書〕

日本古典文学大系 46 『芭蕉文集』 岩波書店 1959 年

日本古典文学全集 41 『松尾芭蕉集』 小学館 1972 年

『おくのほそ道解釈事典』 堀切実編、東京堂出版 2003 年

国語国文 a (春学期) / 国語国文 b (秋学期) (水 2)
国語国文 (通年)

「日本の伝統文化を知る」

2 単位 春学期 / 秋学期

4 単位 通年

〔文経商医〕

津田 眞弓

〔授業科目の内容〕

かつては日常を彩っていたさまざまな慣習や行事が、現代の生活では急速に消えつつあります。日本文化に対する理解を深めるアプローチのひとつとして、伝統的な行事の由来を考え、それによって日本文化を形成してきた背景やその特質に迫ります。

具体的には、現代の伝統文化に大きな影響を残した江戸時代の年中行事について書かれた本を読んで知識を共有し、各個人の興味に従って調査研究します。

本講座では、学術的な研究方法の基礎を学び、日本文化を自分の言葉で説明できるようになることを目的としています。

〔教科書〕

講談社選書メチエ『大江戸調査網』 栗原智久著 講談社 2007 年

〔参考書〕

『五節供稚童講記』 山東京山著 太平書屋 1995 年

ちくま学芸文庫『新訂東都歳事記』 市古夏生著 鈴木健一校訂 筑摩書房 2001 年

岩波文庫『近世風俗志』 宇佐美英機校訂 岩波書店 1996 年

ほか適宜授業内で指示します。

ジェンダー論 I / ジェンダー論 II

2 単位 春学期 / 秋学期

〔文経商医薬〕

鈴木 晃仁

長沖 暁子

〔授業科目の内容〕

文化的・社会的に形成される男女の差異を「ジェンダー」といい、これを考察する学問を「ジェンダー論」と呼んでいます。ジェンダーは、過去 30 年間の人文・社会科学全般において、もっとも大きなインパクトを与えてきた視点であり、北米・ヨーロッパの各国で大学・大学院に Gender Studies などの名称を持ったコースが設置されてきました。日本では市民権を得たのはこの 10 年くらいですが、現在の日本においても歴史と現代を理解し、未来を構想するために必要とされている考え方の一つであるといってもいいでしょう。法律・政治・経済・文学など、さまざまな領域をジェンダーという視点から分析することが、可能であり、ジェンダー論の領域は広範です。この授業は、ジェンダー論の基本的な視点を、入門的に学ぶことができるように設置されているものです。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

それぞれの講義で参考図書を紹介します。

自然人類学

「進化の産物としての自分を知る

2 単位 春学期

～ゲノム人類学の冒険～」

〔商理薬〕

太田 博樹

〔授業科目の内容〕

自然人類学は、生物としてのヒトが辿ってきた進化の道程を明らかにし、ヒトが進化の産物であるがために有する特徴を理解することを目的としている。元来、自然人類学は化石標本などを対象とした形態学が中心であった。しかし最近ではゲノム情報が充実し、分子生物学、分子進化学、集団遺伝学、生命情報工学などを取り込んだ様々なアプローチがなされてきている。この講義では、自然人類学の基礎をふまえ、国内外の最新の研究成果を紹介し、如何なる先端技術や理論がヒトの進化研究に応用されてきたか、またヒトの進化研究が考古学、民族学、医学、薬学など他分野に如何に影響を与えるかを詳述する。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業中に参考資料を配布する。

下記図書が授業内容の一部について良い参考書である。

- 1) 『人類が辿ってきた道』海部陽介著 日本放送協会出版 2005 年
- 2) 『ゲノム進化学入門』斎藤成也著 共立出版 2007 年

社会科学概論Ⅰ / 社会科学の考え方 (春学期)

「社会科学者を対象とする社会科学」 2 単位 春学期
4 単位 通年

〔経商医薬〕 小野 修三

〔授業科目の内容〕

社会科学が社会を対象とするとした時、そしてその社会をわれわれが構成すると考える時、そこで営まれる社会科学は社会科学を営む人たるわれわれ社会科学者を対象とするという側面があるはずである。この社会科学者を社会科学の正当な対象とする時、どんな社会科学が営まれると言うことが出来るであろうか。

本講義はそうした社会科学の例として、まずもって R.S.Lynd の『何のための知識か』を挙げるが、このリンドに学びつつ、丸山真男、きだみのる、Michel Foucault、石田雄などを検討する。

〔教科書〕

無し

〔参考書〕

各回の授業ごとに紹介する。

社会科学概論Ⅱ / 社会科学の考え方 (秋学期)

「近代日本の異色の人間像」 2 単位 秋学期
4 単位 通年

〔経商医薬〕 小野 修三

〔授業科目の内容〕

同時代人からは白い目で見られた人物でも、現代のわれわれにはむしろそうした人々の方がわれわれの価値観に近い、われわれと変わらないと感じられることがある。本講義はそうした「異色の日本人たち」に関する私なりの伝記的理解を提示し、人間についての社会科学を論じてみたい。

〔教科書〕

無し

〔参考書〕

各回の授業中に紹介する。

社会学Ⅱ

「宗教社会学」 2 単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕 栗津 賢太

〔授業科目の内容〕

宗教社会学や宗教人類学などの、社会的次元から宗教現象を理解しようとするアプローチの理論と方法を論じる。基礎的な理論や学説を学ぶとともに、出来るだけ具体的な事例に即して共に考察したい。社会学の理論的な中核部分であった宗教社会学的なものの見方と基本的な知識を習得するとともに、その今日的な意義を問う。

〔教科書〕

使用しない。プリントを配布する。

〔参考書〕

テーマにそくして、その都度指示するが、次のものに目を通しておくことが望ましい。

『宗教の社会学：東洋と西洋を比較して』ブライアン・ウィルソン著 中野毅・栗原淑江訳 法政大学出版会 2002 年

『宗教とナショナリズム』中野毅他編著 世界思想社 1996 年

『構築される信念：宗教社会学のアクチュアリティを求めて』大谷栄一他編 ハーベスト社 2000 年

『よくわかる宗教社会学』櫻井義秀、三木英共編 ミネルヴァ書房 2007 年

『テレビと宗教：オウム以後を問い直す』石井研士著 中公新書ラクレ 2008 年

『カルトの子：心を盗まれた家族』米本和広著 文春文庫 2004 年

社会学 a (春学期) / 社会学 b (秋学期)

社会学 (通年)

「現代社会と人口・家族・ジェンダー」 2 単位 春学期 / 秋学期
4 単位 通年

〔文経法商医理〕 岡田 あおい

〔授業科目の内容〕

本講義では、社会学の考え方、方法的枠組みについて概説することが目的です。春学期は、主に社会学の基本的な考え方、方法論について紹介します。秋学期は、私たちにとってもっとも身近な存在である「家族」を題材にし、現在家族が抱えている諸問題やその背後に潜んでいる社会の構造上の問題について社会学の立場から分析して行きます。講義を通じて、受講生の皆さんが、社会学の見方、考え方を身につけ、身の回りにある諸現象に関心を持ち社会学的な分析できるようになることを期待します。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

授業中に適宜紹介します。

社会学 a (春学期) / 社会学 b (秋学期)

社会学 (通年)

「食・農・地域の社会学」 2 単位 春学期 / 秋学期
4 単位 通年

〔文経法商医理〕 土居 洋平

〔授業科目の内容〕

本講義では、二つのことを行います。ひとつは、社会学という学問の視点・考え方を様々な現象を通じて紹介していくことです。もうひとつは、私たちにとってもっとも身近な「食べること」というテーマを社会学的な視点をもって探求し、その農業生産や地域社会への広がりを考えていくことです。

前期の講義では、社会学についてのごく基本的な考え方について紹介した後に、様々なトピックをもとに、社会学の考え方を紹介していきます。これを通じて、社会学の概要や全体像についてイメージできるようになることを目指します。また、後期の講義では、「食べること」という身近な行為の背後に広がる世界～農業・農村・流通・消費～を、社会学的視点から描いていきます。これによって、ひとつのテーマについて社会学的に考える力を身につけることを目指します。

〔教科書〕

『権力から読み解く現代人の社会学・入門 増補版』藤田弘夫・西原和久編 有斐閣 2000 年（前期）

『むらの社会を研究する』日本村落研究学界編 農山漁村文化協会 2007 年（後期）

〔参考書〕

授業中に適宜指示します

社会学 a（春学期） / 社会学 b（秋学期）

社会学（通年）

2 単位 春学期 / 秋学期

4 単位 通年

〔文経法商医理〕

藤川 千歳

〔授業科目の内容〕

社会学とは、人々の共同生活を実証的手法に基づいてあるがまま説明していくことです。私たちは家族や学校など多くの集団の中で生活し、その過程の中で文化や制度などを身につけあるいは作り上げていきます。その有り様は様ではなく、時代や地域などによって異なります。普段意識することのない日常生活を改めて分析することによって現代という時代で作られている自分や社会に潜む問題などを考えていきます。

〔教科書〕

『テキスト社会学』星野潔・杉浦郁子編著 学文社 2008 年

社会学 I

2 単位 春学期

〔文経法商医理薬〕

高田 知和

〔授業科目の内容〕

今日、家族、地域社会、雇用形態、学校、自治体、さらには国家自体に到るまでが大きな変容にさらされ、これまで自明視されてきたさまざまな事象が根底から問い直されるようになった。現代の社会学は、現代社会のそうした変容について、あえていえば社会学的思考に基づけば何を研究対象にしてもいい学問分野になっており、あらゆる観点からさまざまな事象が考察されるようになっている。本講義では、こうした現代社会の特質や社会調査の作法など社会学的営みの基本的なことについて、歴史的経緯を踏まえて考察していく。

〔教科書〕

特に指定しない。授業時にプリントを配布する。

〔参考書〕

特に指定しない。

社会学 II

2 単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕

高田 知和

〔授業科目の内容〕

今日、家族、地域社会、雇用形態、学校、自治体、さらには国家自体に到るまでが大きな変容にさらされ、これまで自明視されてきたさまざまな事象が根底から問い直されるようになった。現代の社会学は、現代社会のそうした変容について、あえていえば社会学的思考に基づけば何を研究対象にしてもいい学問分野になっており、あらゆる観点からさまざまな事象が考察されるようになっている。

このことを念頭においたうえで本講義では、基本的には春期に考察した社会学の作法に則って、最も広い意味での「農」の視点から現代社会を考察していく。この場合「農」とは単に技術や産業としての農業だけでなく、食料・農業・農村や環境・地域活性化・都市農村間交流・文化的景観の保全などを含む広い概念であり、「農」的な視点からみた現代社会論と理解せられたい。

〔教科書〕

特に指定しない。授業時にプリントを配布する。

〔参考書〕

『食料・農業・農村白書』農林水産省編 農林統計協会 各年版

社会学 I

「世相から日本社会を読み解く」

2 単位 春学期

〔文経法商医理薬〕

中山 和久

〔授業科目の内容〕

日本の社会について「生活様式」という視点から考えて頂くことを目的とします。具体的には、日本における様々な文化を、特に明治・大正時代における生活の中に見られる習慣や風習について紹介・考察し、現代の社会を視野に入れた上で再考することを目的とします。社会を、実際に生きる人々の生活の中に位置付けて理解する視角を身につけることが目標です。それは他者との相互理解を深める基礎力になると思います。

〔教科書〕

『明治大正史〈世相篇〉』柳田國男著 講談社学術文庫（新装版）1993 年

〔参考書〕

『昭和史世相篇』色川大吉著 小学館ライブラリー 55 1994 年

社会心理学 I

「社会的認知と対人行動」

2 単位 春学期

〔政商メコ〕

萩原 滋

〔授業科目の内容〕

春学期は、自他の感情、態度、性格などの心理的特質をいかにして把握するかという問題に焦点を合わせ、均衡理論、認知的不協和理論、帰属理論など社会心理学の代表的な理論枠組みについて概説し、それに依拠して行われた実験など具体的な研究事例を紹介する。本年度は、ステレオタイプに関する最近の研究動向や文化心理学の研究成果も取り上げてみたいと考えている。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

『社会的認知の心理学』唐沢穰・池上知子・唐沢かおり・大平英樹著 ナカニシヤ出版 2001 年 ISBN:4-88848-589-5

『ステレオタイプの社会心理学』上瀬由美子著 サイエンス社 2002 年 ISBN:4-7819-1005-X

『他者を知る』山本眞理子・原奈津子著 サイエンス社 2006 年 ISBN:4-7819-1128-5

社会心理学 II

「メディアとコミュニケーション」

2 単位 秋学期

〔政商メコ〕

萩原 滋

〔授業科目の内容〕

秋学期は、対人コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで幅広くコミュニケーション過程に関わる理論と研究を取り上げる。対人コミュニケーションに関しては説得効果、マス・コミュニケーションに関してはテレビの社会的影響を中心に、新旧取り混ぜて社会心理学的研究の成果を紹介する。

〔教科書〕

使用しない

〔参考書〕

『テレビニュースの世界像』萩原滋編著 勁草書房 2007年 ISBN:978-4-326-60207-0

『テレビと外国イメージ』萩原滋・国広陽子編 勁草書房 2004年 ISBN:4-326-60178-7

『影響力の武器』(第2版) ロバート・B・チャルディーニ著 誠信書房 2007年 ISBN:978-4-414-30416-9

女性学

「不況は女性労働に何をもたらすのか？」 2単位 春学期

〔文経商理薬〕 長沖 暁子

〔授業科目の内容〕

1990年代労働市場の流動化、多様な働き方という言葉のもとで、パートタイマー・派遣社員などが導入され、非正規雇用者として働く人々の中心は女性たちでした。プライムローンの破綻を発端に始まった不況の中、この非正規雇用者がまさきにリストラの対象となり、今やその構造は男性にも及んでいることが明らかになってきています。

そういえば、日本で工場労働者として最初に使われたのも女性たちでした。

「女性の」自立にとって不可欠だといわれてきた経済力。しかし、この言葉は女性に限られるのかという疑問も沸いてきます。

職場で今何が起きているのか？ これからの仕事はどうあるべきか？ グループ発表と討論を中心に考えます。

〔教科書〕

使いません。

〔参考書〕

テーマに応じて紹介します。

女性学

「ジェンダーとセクシュアリティ」 2単位 秋学期

〔文経商理薬〕 西山 千恵子

〔授業科目の内容〕

ジェンダーとは社会的性別、性差を意味し、女性学のキーワードの一つです。またセクシュアリティは、やや抽象的ですが、性現象と訳されることがあります。女性学ではセクシュアリティ論として、性をめぐる諸問題、諸課題が論じられてきました。例えば性行動、性意識における男女差や、売買春、ポルノグラフィ、妊娠・避妊・出産・中絶など性と生殖に関する問題、性表現、性をめぐる欲望やファンタジー、性暴力、性教育、婚姻制度などさまざまな広がります。

一方、最近の女性学は、「女性・男性」という区分を自明視せず、性別を相対化して捉えようとする傾向があります。その中で、性別についての同一性や、異性愛、同性愛などの議論も展開してきました。また、女性学のみならず、セクシュアリティをめぐる研究やセクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の主張を反映する社会的な動き、情報はますます広がっています。

授業では、ジェンダー(社会・文化的性別)概念を中心に、これらセクシュアリティ論の入門的理解を目指すとともに、現代の性をめぐる諸問題のいくつかを取り上げ検討します。ビデオ教材を使用することもあります。

〔教科書〕

特に使用しません。授業時に資料等を配布します。

〔参考書〕

基本的、入門的な参考書として、

『ジェンダーがわかる。』アエラ・ムック著 朝日新聞社

『図解雑学 ジェンダー』加藤秀一監修 ナツメ社

その他、授業時に適宜紹介します。

身体文化論

「ダンスと身体」 2単位 春学期

〔経商理薬〕 稲田 奈緒美

〔授業科目の内容〕

身体は、生理的、物理的な存在であると共に、歴史的、社会的な存在です。人がどのように身体を動かして考えや感情を伝えるか、どのように身体を着飾ってその人らしさを表現するかなどは、時代によって、国や地域によって、あるいは、その人が属する社会、民族、性別、階級などによって、さまざまに異なります。多様な意味を表わす身体とその背景にある文化について、この授業では主にダンス(舞踊)という切り口を通して解説します。身体とその動きを素材として用いることで表現する芸術、文化であるダンスは、古今東西さまざまに変化してきました。様々なダンスの身体に見られる動作、身振り、フォーム、スピード、リズム、ダンサーの体格、衣装などを具体的に上げて特徴をみつけ、また、その社会的な背景を考えることによって、身体にまつわる文化を幅広く学びます。

〔教科書〕

特に使いません。適宜、講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『土方異 絶後の身体』稲田奈緒美著 NHK出版

その他は、授業時に適宜、紹介します。

人文総合講座Ⅰ

「21世紀のアメリカの行方」 2単位 春学期

〔経法政商薬〕 鈴木 透(コーディネーター)

近藤 光雄 杉浦 章介

エインジ, マイケル 奥田 暁代

常山 菜穂子

〔授業科目の内容〕

21世紀のアメリカは、民族構成が大きく変化しつつある中、貧富の差の増大や文化戦争など、国内には分裂の危機を抱え、一方、対外的には、冷戦の終結からテロとの戦いへという転換点を迎えて、これまで未経験の次元に足を踏み入れようとしています。この授業では、「マイノリティ」、「メディア」、「コミュニティ」、「集团的記憶の再構築」の4つのキーワードを軸に、アメリカがこの難局をどう乗り越えようとしているのか、未来のアメリカを方向づけようとする知の潮流を、現代アメリカが抱える様々な社会現象・文化現象の中から領域横断的に探り当て、アメリカ社会の現状と今後を展望します。とりわけこの授業では、こうした新たな時代状況の中で、従来からの積み残し課題と現代アメリカ社会がどう向き合おうとしているのかに着目しながら、アメリカ社会にどのような変化が忍び寄ってきているのかを考えると

に、そうした新たな動きがアメリカという枠を越えていかなるインパクトを持ちうるのか、考えていきます。

〔教科書〕

『記憶を紡ぐアメリカ：分裂の危機を超えて』 近藤光雄他著
慶應義塾大学出版会 2005 年

〔参考書〕

『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と
多元化の軌跡』 鈴木透著 慶應義塾大学出版会 2003 年

人文総合講座 II

「アメリカ研究の過去と現在」 2 単位 秋学期

〔経法政商薬〕 鈴木 透（コーディネーター）
近藤 光雄 エインジ，マイケル
奥田 暁代 常山 菜穂子
柳生 智子

〔授業科目の内容〕

この授業では、アメリカに関する事柄を将来専門的に勉強しようとしている学生を想定して、専攻分野にかかわらず誰もが知っておくべきアメリカ研究史上の重要な著作を毎回一、二点ずつ紹介しながら、アメリカ研究の観点や手法の変遷をたどり、現在展開されているアメリカ研究の到達点と課題について考えます。高度な専門書を独力で読みこなすのに困難を感じているような人々を念頭において、重要な研究書の背景、概要、意義、影響などを平易に解説することで、アメリカ研究のトレンドの変化の持つ意味について理解を深めてもらい、高度なアメリカ研究への橋渡しをすることがこの授業の目的です。授業では、①アメリカ研究の問題意識の推移には、宗教研究、文学研究、歴史学、経済学、労働史研究など、人文科学・社会科学の様々な分野の研究成果が関わっていること、②そこには、神話的アメリカ像の構築と解体というべき流れが見られること、③現代アメリカの重要な争点である、多文化主義や人種・移民をめぐる激しい論争は、これらの延長上に位置していること、の三点が理解できるようにするつもりです。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と
多元化の軌跡』 鈴木透著 慶應義塾大学出版会 2003 年

心理学履修ガイド

心理学は自分の所属する学部設置されている心理学のみ履修申告できます。設置学部以外の学生は履修申告の結果、定員に余裕がある場合に限って心理学研究室で手続きの上、追加履修申告（5月上旬）時に申告することができます（下表参照）。追加申告できる心理学については4月下旬に発表予定の抽選結果で確認してください。

【文学部設置心理学】

文学部の学生のみ履修申告することができます。経済学部、法学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は文学部の時間割で確認してください。

心理学Ⅰ	川畑 秀明	春学期	2単位
心理学Ⅱ	川畑 秀明	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	増田 直衛	春学期	2単位
心理学Ⅱ	増田 直衛	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	望月 要	春学期	2単位
心理学Ⅱ	望月 要	秋学期	2単位

【経済学部設置心理学】

経済学部の学生のみ履修申告することができます。文学部、法学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は経済学部の時間割で確認してください。

心理学Ⅰ	曾我 重司	春学期	2単位
心理学Ⅱ	曾我 重司	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	中野 泰志	春学期	2単位
心理学Ⅱ	中野 泰志	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	増田早哉子	春学期	2単位
心理学Ⅱ	増田早哉子	秋学期	2単位

【法学部設置心理学】

法学部の学生のみ履修申告することができます。文学部、経済学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は法学部（法律学科）の時間割で確認してください。

心理学Ⅰ	井垣 竹晴	春学期	2単位
心理学Ⅱ	井垣 竹晴	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	菅野理樹夫	春学期	2単位
心理学Ⅱ	菅野理樹夫	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	鈴木 清重	春学期	2単位
心理学Ⅱ	鈴木 清重	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	鈴木 恒男	春学期	2単位
心理学Ⅱ	鈴木 恒男	秋学期	2単位

【商学部設置心理学】

商学部の学生のみ履修申告することができます。文学部、経済学部、法学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は商学部の時間割で確認してください。

心理学Ⅰ	木島 伸彦	春学期	2単位
心理学Ⅱ	木島 伸彦	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	小松 英海	春学期	2単位
心理学Ⅱ	小松 英海	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	鈴木 清重	春学期	2単位
心理学Ⅱ	鈴木 清重	秋学期	2単位

【医学部設置心理学】

医学部の学生のみ履修申告することができます。他学部の学生は履修できません。

心理学Ⅰ	増田 直衛	春学期	2単位
心理学Ⅱ	増田 直衛	秋学期	2単位

【理工学部設置心理学】

理工学部の学生のみ履修申告することができます。他学部の学生は履修できません。

心理学Ⅰ	高山 緑	春学期	2単位
心理学Ⅱ	高山 緑	秋学期	2単位

心理学 I

「感性心理学」

【文】

2 単位 春学期

川畑 秀明

〔授業科目の内容〕

私たちが眼で見ているもの（物理的刺激）と私たちに見えているもの（視覚的意識）は異なります。その顕著な例は錯視を用いることで簡単にデモンストレーションすることが可能です。心理学 I では、「見ること」「見せること」の仕組みについて広い視点から紹介します。講義の内容は、脳の働きや発達にとどまらず、脳にとって「美」とは何かについて、メイキャップ（化粧）、デザインや芸術作品などの知覚と表現（感性）を含みます（むしろこちらの方がメインです）。講義の中では、多くのデモンストレーションをもとに、受講生に改めて自分の視覚と感性を体験してもらいたいと思います。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

『視覚の認知神経科学』 M.J.ファーラー著 協同出版

『子どもの認知発達』 U.ゴスワミ著 新曜社

『脳は美をいかに感じるか—ピカソやモネが見た世界』 S.ゼキ著 日本経済新聞社

その他、授業中に随時紹介します。

心理学 II

「自己意識の心理と脳」

【文】

2 単位 秋学期

川畑 秀明

〔授業科目の内容〕

人は自分で考えているほど自分の行動や心の動きをわかっていません。それを明らかにする心理学とは、心や行動の背景や仕組みを科学する学問です。本講義は、私たち自身や私たちを取り巻く環境との関わりについて、できるだけ身近で日常的な例を挙げながら紹介していきます。特に認知心理学のアプローチから、「自分自身を知る」をコンセプトに、自己を形成するパーソナリティや感情、意識、意思決定などについて学びます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

『サブリミナル・マインド—潜在的人間観のゆくえ』 下條信輔著 中央公論社

『アイゼンク教授の心理学ハンドブック』 M.アイゼンク著 ナカニシヤ出版

その他、授業中に随時紹介します。

心理学 I

「知覚・認知」

【文】

2 単位 春学期

増田 直衛

〔授業科目の内容〕

心理学とはどんな学問なのでしょう。おそらく多くの人々にとっては、心理学というと TV や雑誌に登場してくる性格診断やフロイトの精神分析学を思いおこすと思います。もちろん、このような分野も心理学の一部ではありますが、それらはほんの一部分なのです。心理学は人間や動物の行動を科学的に研究することで「心」を理解しようとしてきました。そして行動を個体と環境との

相互作用としてとらえようとしています。ここでは、個体がいかに環境からの情報を得て行動しているのか、知覚、認知を中心に講義をします。

〔教科書〕

テキストは特に指定しません。講義中に参考になる図書をそのつど紹介します。

授業中に使用したスライドは、講義後、pdf ファイルにして順次、keio.jp にアップロードしていきます。

〔参考書〕

『心理学のあゆみ（新版）』 大山正ほか著 有斐閣新書

『心理学入門（新版）』 野口薫ほか著 有斐閣新書

心理学 II

「行動・個性」

【文】

2 単位 秋学期

増田 直衛

〔授業科目の内容〕

心理学とはどんな学問なのでしょう。おそらく多くの人々にとっては、心理学というと TV や雑誌に登場してくる性格診断やフロイトの精神分析学を思いおこすと思います。もちろん、このような分野も心理学の一部ではありますが、それらはほんの一部分なのです。心理学は人間や動物の行動を科学的に研究することで「心」を理解しようとしてきました。そして行動を個体と環境との相互作用としてとらえようとしています。ここでは、環境に適応して生きていくためにどのような行動するか、動物も含めて行動変容のダイナミズムを講義します。また、個性はどのように理解され、それはどのように形成されてくるのか考えます。

〔教科書〕

テキストは特に指定しません。講義中に参考になる図書をそのつど紹介します。授業中に使用したスライドは、講義後、pdf ファイルにして順次、keio.jp にアップロードしていきます。

〔参考書〕

『心理学のあゆみ（新版）』 大山正ほか著 有斐閣新書

『心理学入門（新版）』 野口薫ほか著 有斐閣新書

心理学 I

「知覚と認知の心理学」

【文】

2 単位 春学期

望月 要

〔授業科目の内容〕

心理学の中でも、実験心理学は、人間を含めた生物の行動の法則を、実証科学的な方法で探求する分野である。この授業では、実験心理学における基本的な知識と考え方、この分野で取り上げられる興味深い現象、研究テーマとその成果などを概論的に紹介する。主に実験室の中で研究が展開される実験心理学と、現実の人間生活の関係を理解して貰うために、できる限り、応用的な研究事例を紹介しながら講義を進めてみたいと考えている。《こころ》というような曖昧な言葉で表現される現象が、厳密に科学的な方法で研究できるという事実と、そのための物の見方、考え方を身につけて貰うことが、この授業の一番の目的である。春学期の『心理学 I』では、知覚と認知に関する心理学を取り上げる。秋学期の『心理学 II』と通して履修することが望ましい。

〔教科書〕

使用しない。授業資料は授業用 web site

(<http://web.hc.keio.ac.jp/~moc/psychology/>) で配布する。

〔参考書〕

授業中に随時紹介する。

心理学 II

「行動分析学入門」

2 単位 秋学期

〔文〕

望月 要

〔授業科目の内容〕

心理学の中でも、実験心理学は、人間を含めた生物の行動の法則を、実証科学的な方法で探求する分野である。この授業では、実験心理学における基本的な知識と考え方、この分野で取り上げられる興味深い現象、研究テーマとその成果などを概論的に紹介する。主に実験室の中で研究が展開される実験心理学と、現実の人間生活の関係を理解して貰うために、できる限り、応用的な研究事例を紹介しながら講義を進めてみたいと考えている。《こころ》というような曖昧な言葉で表現される現象が、厳密に科学的な方法で研究できるという事実と、そのための物の見方、考え方を身につけて貰うことが、この授業の一番の目的である。春学期の『心理学 I』に引き続き、『心理学 II』では行動分析学について紹介する。できれば『心理学 I』と通して履修することが望ましい。

〔教科書〕

使用しない。授業資料は授業用 web site

(<http://web.hc.keio.ac.jp/~moc/psychology/>) で配布する。

〔参考書〕

授業中に随時紹介する。

心理学 I

「ヒトは環境をどのように知覚するのか」

2 単位 春学期

〔経〕

曾我 重司

〔授業科目の内容〕

心理学の基礎的な知識の学習を目的とする。現代心理学の方法論、人間と他の動物の比較に基づく生物としての人間の特徴、そして人間（有機体）を取りまく環境世界からの情報をどのように取り入れているのかなど、主に知覚・認知的側面からの現代心理学の主要なアプローチ、成果について概観する。

〔教科書〕

特に指定しない（必要な資料は講義中に配布する）

〔参考書〕

特に指定しない

心理学 II

「ヒトは環境にどのように働きかけるのか」

2 単位 秋学期

〔経〕

曾我 重司

〔授業科目の内容〕

心理学の基礎的な知識の学習を目的とする。ヒトが自らを取り巻く環境に対してどのように働きかけているのかについて主に行動・個性の側面からの現代心理学の主要なアプローチ、成果について概観する。

〔教科書〕

特に指定しない（必要な資料は講義中に配布する）

〔参考書〕

特に指定しない

心理学 I

「知覚・認知心理学の教育・福祉・支援技術 2 単位 春学期への応用」

〔経〕

中野 泰志

〔授業科目の内容〕

心理学は人間や動物の純粋な経験（現象）を整理し、その働き（機能）や意味を明らかにし、さらにその背景にあるメカニズム（機序）を探求する学問です。その究極の目的は、人間や動物の「こころ」（行動）の理解と予測であり、個々の豊かな生活（Quality of Life; QOL）を保障し、過ごしやすい社会を形成するための知見を科学的に究明していくことです。

私たちが感じている世界は、物理学的、地理学的に記述される世界と必ずしも一致していません。心理学 I では、私たちが世界をどのように知覚・認知しているかについて紹介します。

本講義の最大の特徴は、実験心理学の研究手法や成果を、主として障害児・者の教育・福祉や彼らの生活をより豊かにする支援技術等と関連させながら紹介する点にあります。超高齢社会を目前にしている今、障害や福祉は身近な問題になりつつあり、最先端科学技術等を用いてその問題点を解決する支援技術が注目を集めています。「障害」を理解し、支援技術等を用いて、障害がある人達の教育や福祉を実現するためには、心理学の科学的な考え方や実験・観察に基づく基礎データが極めて重要な役割を果たします。例えば、目が不自由であっても単独で行動することは可能なわけですが、白杖（白い杖）や盲導犬が自動的に導いてくれるわけではありません。白杖や盲導犬という道具を使って目の不自由な人自身が「自分はどこに行きたいのか」「そのためにはどういうルートをとるのか」「そのルートに沿って移動するためにはどういう手がかかりがあるのか」「ルート中に段差や穴や障害物はないか」「迷ってしまったときにどうするか」等を判断しながら移動していきます。このような判断がより安全に、効果的にできるためには、人が環境や地理を知覚・認知する方法を科学的に明らかにしなければなりません。このように、本講義では、知覚・認知心理学が対象とする諸現象や科学的方法論を障害児・者の教育・福祉に関する具体的な事例や支援技術開発と関連づけながら、わかりやすく解説します。また、実験実習を通して科学的な思考方法を、実験レポートの作成を通して科学論文の書き方を体験的に理解できるように工夫しています。

〔教科書〕

講義内容のポイントをまとめた資料は、web サイト「<http://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>」よりダウンロードできます。ただし、web サイトは、パスワードによるアクセス制限をかけています。パスワードは、講義の際にお伝えします。

〔参考書〕

適宜紹介します。

心理学 II

「行動・個性の測定と発達」

2 単位 秋学期

〔経〕

中野 泰志

〔授業科目の内容〕

心理学は人間や動物の純粋な経験（現象）を整理し、その働き（機能）や意味を明らかにし、さらにその背景にあるメカニズム（機序）を探求する学問です。その究極の目的は、人間や動物の「こころ」（行動）の理解と予測であり、個々の豊かな生

活 (Quality of Life; QOL) を保障し、過ごしやすい社会を形成するための知見を科学的に究明していくことです。

私達人間を含め、生物にはそれぞれ個性があり、同じ状況下でも、それぞれが異なる行動をすることがあります。そして、それぞれがユニークでかけがえのない存在です。本講義では、それぞれの個性や行動がどのように形成され、変容していくのかについて紹介します。また、科学としての心理学がどのような方法で行動や個性を測定するかについて、実験実習等を交えながら、解説します。それぞれの個性的な行動がどのようにして発達するのか、また、何らかの原因で発達が阻害された場合に、どのような困難（障害）が生じるのかについても概観します。さらに、行動や個性を変えるためには、どのような取り組みが可能かについて、適宜、事例も紹介しながら、理論的に解説します。

本講義の最大の特徴は、心理学の研究手法や成果を、教育や福祉や支援技術と関連させながら紹介する点です。少子化や超高齢化により、教育や福祉は身近な問題になりつつあります。これらの問題に対して、心理学の科学的な考え方や実験・観察に基づく基礎データが極めて重要な役割を果たしていることを、具体例を挙げながら、解説していきます。また、実験実習を通して科学的な思考方法を、実験レポートの作成を通して科学論文の書き方を体験的に理解できるように工夫しています。

【教科書】

講義内容のポイントをまとめた資料は、web サイト「<http://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>」よりダウンロードできます。ただし、web サイトは、パスワードによるアクセス制限をかけています。パスワードは、講義の際にお伝えします

【参考書】

適宜紹介します。

心理学 I

2 単位 春学期

【経】

増田 早哉子

【授業科目の内容】

近年人間を理解しようとする動きが盛んになるにしたがって、ひとの「心」や、「心」を対象とした学問である心理学に関する関心も高まっています。では、「心」とは何を指しているのでしょうか。本講義では、心理学が対象とする、様々なかたちの「心」に関する、基本的な知見を得ることを目的としています。また最新の脳科学の知見が行動科学に与える多大な影響を鑑み、脳科学からの心理学への貢献に若干比重を置きながら講義をすすめる予定です。

心理学 I の講義では、「心」の一側面として、環境とひととの相互作用の問題についてとりあげます。ひとは環境からの情報を、どのように知覚し、また認知しているのでしょうか。さらに、知覚し認知した情報に基づいて、ひとはどのように判断や推論を行うのでしょうか。ひとがものを見たり聴いたりする仕組み(知覚心理学)、ひとの記憶の仕組み、問題の解決の方法(認知心理学)といった領域について、日常的な現象をもとに、簡単な実験やデモンストレーションを通じて解説します。

【教科書】

とくに指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

授業中に適宜指示します。

心理学 II

2 単位 秋学期

【経】

増田 早哉子

【授業科目の内容】

近年人間を理解しようとする動きが盛んになるにしたがって、ひとの「心」や、「心」を対象とした学問である心理学に関する関心も高まっています。では、「心」とは何を指しているのでしょうか。本講義では、心理学が対象とする、様々なかたちの「心」に関する、基本的な知見を得ることを目的としています。また最新の脳科学の知見が行動科学に与える多大な影響を鑑み、脳科学からの心理学への貢献に若干比重を置きながら講義をすすめる予定です。

心理学 II では、「心」の一側面として、対人関係における問題についてとりあげます。私たちの日常生活は、様々な人との関わりによって豊かに彩られています。ひとは生きているかぎり他者と関っていく社会的存在であり、その関わりの中で他者と共感し、他者に様々な感情を抱く感情存在であるともいえます。そこで本講義では、感情が知覚・認知とどのように関わっているか(感情心理学)、対人・集団における個人の行動様式(社会心理学)、さらに様々な心的・社会的機能がどのように発達するのか(発達心理学)について、簡単な実験やデモンストレーションを通じて解説します。

【教科書】

とくに指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

授業中に適宜指示します。

心理学 I

「心理学の応用領域を学ぶ」

2 単位 春学期

【法政】

井垣 竹晴

【授業科目の内容】

心理学とは読んで字のごとく心（こころ）の理（ことわり）を学ぶことです。しかし心は眼に見えません。この眼に見えない心を科学的に究明することが心理学に課せられた課題だといえます。本講義では、心理学の先人たちが明らかにしてきた心に関する法則や理論の紹介を通じて、心についての科学的理解を深めることを目的とします。

心理学 I では、発達、パーソナリティ、臨床、社会など心理学の応用的な側面を扱います。なお心理学 II とは内容的には独立していますが、I と II の両方で心理学の全体像が把握できるようになっているため、両方受講することをお勧めします。基礎理論の紹介など一部難しい話題もありますが、できるだけ日常生活の素朴な疑問や問題に関連させて解説していきます。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

心理学 II

「心理学の基礎領域を学ぶ」

2 単位 秋学期

【法政】

井垣 竹晴

【授業科目の内容】

心理学とは読んで字のごとく心（こころ）の理（ことわり）を学ぶことです。しかし心は眼に見えません。この眼に見えない心を科学的に究明することが心理学に課せられた課題だといえます。

本講義では、心理学の先人たちが明らかにしてきた心に関する法則や理論の紹介を通じて、心についての科学的理解を深めることを目的とします。

心理学Ⅱでは、知覚、認知、学習、生理、情動と動機づけなど心理学の基礎的な側面を扱います。なお心理学Ⅰとは内容的には独立していますが、ⅠとⅡの両方で心理学の全体像が把握できるようになっているため、両方受講することをお勧めします。基礎理論の紹介など一部難しい話題もありますが、できるだけ日常生活の素朴な疑問や問題に関連させて解説していきます。**〔教科書〕**

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

心理学Ⅰ

「精神の座の変遷と視覚系に関連する脳の構造と機能」 2単位 春学期

〔法政〕 菅野 理樹夫

〔授業科目の内容〕

科目概要と到達目標

心理学、あるいは環境心理学とは何かを、どのように明らかにしようとする学問なのかについて考える。自らを取り巻く日常生活のかかわり合いの中から考える。そして、その中で人間は環境をどう捉え、どのように関わりあうのか？そのとき人間は環境のことをどれだけ知っているか、あるいは環境を知っている自分のことについてどれだけ知っているのだろうか？このようなことを理解するためには何を知らなければならないかについてできるだけわかりやすく解説する。

本講は環境科学と行動科学の関連性を重視しながら人間の「意図」あるいは、その背景に潜む本質を考えることが目標である。これらのことを知るためには基礎的な知識が必要である。たとえば、人間の生理学的側面である脳の構造と機能、神経系、視覚系などである。また、心理学的側面として感覚、知覚、認知、記憶、学習、発達、知能などの領域がある。人間が環境世界をどのように見ているか、あるいは環境世界とどう折り合いをつけて共存していくかということについて考えていただきたい。特に基礎知識は必要としない。受講を希望する学生は講義でこれらのことを理解できるように努力する態度をもつことが望ましい。

〔教科書〕

『見るちから』菅野理樹夫著 北樹出版 2008年

〔参考書〕

講義の中で随時必要な文献を指示する。

心理学Ⅱ

「人間は環境世界をどのように知覚し行動するのか条件付けとは何か。知能の物語」 2単位 秋学期

〔法政〕 菅野 理樹夫

〔教科書〕

『見るちから』菅野理樹夫著 北樹出版 2008年

〔参考書〕

講義の中で随時必要な文献を指示する。

以下の文献は知覚心理学を理解するために必要な概念とその歴史的、哲学的背景が詳述されているので参照されたい。

- 『生態学的視覚論－ヒトの知覚世界を探る』J.J.ギブソン著 古崎敬他共訳 サイエンス社 1985年

- 『ギブソンの生態学的心理学－その哲学的、科学史的背景』T.J.ロンバルド著 古崎・境・河野監訳 勁草書房 2000年

- 『ギブソン心理学の核心』境敦史他共著 勁草書房 2002年

心理学Ⅰ

「知覚と認知」 2単位 春学期
〔法政〕 鈴木 清重

〔授業科目の内容〕

この講義では、心理学に関して一般的に抱かれやすい印象や「常識」から脱却することを目標にします。自然科学としての心理学が成立した歴史的経緯を振り返り、時代と領域ごとに研究の概要を紹介し、心理学とは何かを考えます。学問としての心理学が、常識的理解に比べていかに多種多様であるかを学びます。

心理学Ⅰ（知覚と認知）のみの完結した講義形式ですが、心理学Ⅱ（行動と個性）をあわせて受講するといっそう理解が深まるでしょう。

〔教科書〕

『現代心理学への招待』初版 塚本伸一・堀耕治編 樹村房 2005年

その他、必要に応じてプリントを配布します。

〔参考書〕

『たのしみを解剖する－アミューズメントの基礎理論－』初版 村上和夫・長田佳久・河東田博編 現代書館 2008年

『ギブソン心理学の核心』初版 境敦史・曾我重司・小松英海著 勁草書房 2002年

『<心>はからだの外にある－「エコロジカルな私」の哲学－』初版 河野哲也著 日本放送出版協会 2006年

その他、講義内で紹介します。

心理学Ⅱ

「行動と個性」 2単位 秋学期
〔法政〕 鈴木 清重

〔授業科目の内容〕

この講義では、心理学に関して一般的に抱かれやすい印象や「常識」から脱却することを目標にします。自然科学としての心理学が成立した歴史的経緯を振り返り、心理学の研究方法に着目しながら研究の概要を紹介し、心理学とは何かを考えます。学問としての心理学が、常識的理解に比べていかに多種多様であるかを学びます。

心理学Ⅱ（行動と個性）のみの完結した講義形式ですが、心理学Ⅰ（知覚と認知）をあわせて受講するといっそう理解が深まるでしょう。

〔教科書〕

『現代心理学への招待』初版 塚本伸一・堀耕治編 樹村房 2005年

その他、必要に応じてプリントを配布します。

〔参考書〕

『行動分析学入門－ヒトの行動の思いがけない理由－』初版 杉山尚子著 集英社 2005年

『たのしみを解剖する ―アミューズメントの基礎理論―』初版 村上和夫・長田佳久・河東田博編 現代書館 2008 年
『<心>はからだの外にある ―「エコロジカルな私」の哲学―』初版 河野哲也著 日本放送出版協会 2006 年
その他、講義内で紹介します。

心理学 I

「知覚・認知（見ることを考えることから 2 単位 春学期
論理的思考を養う）」

〔法政〕

鈴木 恒男

〔授業科目の内容〕

我々が物を見ることを日常的に行っているの、目を開けば見えることは当たり前だと思っている。しかし、見るとは何をやっているのかに関しては、自分で行っているのに自分では分からない。

この日常的な行動であり、誰でもが行っているが自分では何が行われているかが理解できない行為である見ることを考え、その行為を論理的に説明することを行う。その繰り返しから、社会科学の考え方の基本である論理的思考を身につける訓練を行うことが本講義の目的である。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

必要であれば授業で紹介する。

心理学 II

「行動・個性（人間の行動を観察することから 2 単位 秋学期
論理的思考を養う）」

〔法政〕

鈴木 恒男

〔授業科目の内容〕

我々が日常的に行っている行動はほとんど無意識である。何故その行動が起こるのであろうか、その行動は何を目的としているのだろうか、等のことは意識することはほとんど無い。日常的に行っている行動を取り上げ、その行動の理由、なぜそれが出来るようになったかを分けることが出来るのだろうかを考えることから、社会科学の考え方の基本である論理的思考を身につける訓練を行うことが本講義の目的である。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

必要であれば授業で紹介する。

心理学 I

2 単位 春学期

〔商〕

木島 伸彦

〔授業科目の内容〕

本講義では、心理学の広範な領域のうち、知覚心理学、認知心理学を中心とした基礎的な心理学について、基本的な知識や考え方を身につけることを目的とします。心理学は人あるいは動物の行動を対象として科学的にアプローチする学問と言えます。人の「こころ」のようなとらえどころのないものではなく、人や動物の測定可能な「行動」を対象とします。知覚心理学では、人間が外界をどのように知覚しているか、そのメカニズムとプロセスについて概説します。また、認知心理学では、人が何かを理

解するとはどういうことなのか、そのメカニズムとプロセスについて概説します。さらに、知覚心理学、認知心理学では、参加者全員でできる実験を行います。また、希望者には、知能テストを受けてもらい、どのように「知能」を測定しているのかを、理論だけではなく、実際に体験してもらいます。

〔教科書〕

- ・特に指定しません。講義資料プリントを配布します。
- ・講義資料プリントは web サイトよりダウンロードできます。
- ・web サイトのアドレスはガイダンスの時にお知らせします。

〔参考書〕

- ・特に指定しません。授業中に適宜紹介します。

心理学 II

2 単位 秋学期

〔商〕

木島 伸彦

〔授業科目の内容〕

本講義では、心理学の広範な領域のうち、学習心理学、パーソナリティ心理学を中心とした心理学について、基本的な知識や考え方を身につけることを目的とします。心理学は人あるいは動物の行動を対象として科学的にアプローチする学問と言えます。人の「こころ」のようなとらえどころのないものではなく、人や動物の測定可能な「行動」を対象とします。本講義では、人の特定の「行動」が如何にして起こるのか、基本的なメカニズムを紹介しながら、人の様々な行動への理解を深めて行きたいと思っています。さらに、いわゆる「こころの病」と言われる症状について、様々な症状の特徴、治療法、予防法も紹介していきます。また、本講義では、講義だけではなく、希望者にはパーソナリティ・テストを受けてもらい、巷に溢れている心理テストとは異なる学術的に用いられている心理テストの理論と実際にも触れてもらう予定です。

〔教科書〕

- ・特に指定しません。講義資料プリントを配布します。
- ・講義資料プリントは web サイトよりダウンロードできます。
- ・web サイトのアドレスはガイダンスの時にお知らせします。

〔参考書〕

- ・特に指定しません。授業中に適宜紹介します。

心理学 I

「知覚・認知」

2 単位 春学期

〔商〕

小松 英海

〔授業科目の内容〕

人間は外界を知覚し、その知覚した環境の中で行動している。心理学 I では、こうした人間の働きのうちで、知覚と認識の部分を重点的に考える。そもそも人間にとっての環境とは何で、そこから何を情報として得ているのかに焦点を当て、日常生活での経験と関連づけて考えていく。授業は基本的に講義形式で行うが、実験・デモンストレーションを随時行っていく。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介していくが、代表的な書籍をいくつかあげておく。

『現代心理学の招待』塚本伸一・堀耕治編著 樹村房
2005 年 ISBN:4-88367-116-X

『ギブソン心理学の核心』 境敦史・曾我重司・小松英海著
勁草書房 2002 年 ISBN:4-326-15364-4
『見るちから』 菅野理樹夫著 北樹出版 2008 年 ISBN:
978-4-7793-0116-2

心理学 II
「学習・個性」 2 単位 秋学期
〔商〕 小松 英海

〔授業科目の内容〕

人間は外界を知覚し、その環境の中で行動している。その行動は他者を含む周囲の環境との相互作用を経る中で変容していく。このことを心理学では学習と呼んでいる。心理学 II では、この学習に焦点を当て、人間を含む生体の行動の法則性について考えていく。授業は基本的に講義形式で行うが、実験・デモンストレーションを行うこともある。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介していくが、代表的な書籍をいくつかあげておく。

『現代心理学の招待』 塚本伸一・堀耕治編著 樹村房 2005 年 ISBN:4-88367-116-X

『行動分析学入門—ヒトの行動の思いがけない理由』 杉山尚子著 集英社新書 2005 年 ISBN:9784087203073 (4087203077)

心理学 I
「知覚と認知」 2 単位 春学期
〔商〕 鈴木 清重

〔授業科目の内容〕

この講義では、心理学に関して一般的に抱かれやすい印象や「常識」から脱却することを目標にします。自然科学としての心理学が成立した歴史的経緯を振り返り、時代と領域ごとに研究の概要を紹介し、心理学とは何かを考えます。学問としての心理学が、常識的理解に比べていかに多種多様であるかを学びます。

心理学 I (知覚と認知) のみの完結した講義形式ですが、心理学 II (行動と個性) をあわせて受講するといっそう理解が深まるでしょう。

〔教科書〕

『現代心理学への招待』 初版 塚本伸一・堀耕治編 樹村房 2005 年

その他、必要に応じてプリントを配布します。

〔参考書〕

『たのしみを解剖する —アミューズメントの基礎理論—』 初版 村上和夫・長田佳久・河東田博編 現代書館 2008 年

『ギブソン心理学の核心』 初版 境敦史・曾我重司・小松英海著 勁草書房 2002 年

『<心>はからだの外にある —「エコロジカルな私」の哲学—』 初版 河野哲也著 日本放送出版協会 2006 年

その他、講義内で紹介します。

心理学 II
「行動と個性」 2 単位 秋学期
〔商〕 鈴木 清重

〔授業科目の内容〕

この講義では、心理学に関して一般的に抱かれやすい印象や「常識」から脱却することを目標にします。自然科学としての心理学が成立した歴史的経緯を振り返り、心理学の研究方法に着目しながら研究の概要を紹介し、心理学とは何かを考えます。学問としての心理学が、常識的理解に比べていかに多種多様であるかを学びます。

心理学 II (行動と個性) のみの完結した講義形式ですが、心理学 I (知覚と認知) をあわせて受講するといっそう理解が深まるでしょう。

〔教科書〕

『現代心理学への招待』 初版 塚本伸一・堀耕治編 樹村房 2005 年

その他、必要に応じてプリントを配布します。

〔参考書〕

『行動分析学入門 —ヒトの行動の思いがけない理由—』 初版 杉山尚子著 集英社 2005 年

『たのしみを解剖する —アミューズメントの基礎理論—』 初版 村上和夫・長田佳久・河東田博編 現代書館 2008 年

『<心>はからだの外にある —「エコロジカルな私」の哲学—』 初版 河野哲也著 日本放送出版協会 2006 年

その他、講義内で紹介します。

心理学 I
「医学のためのミニマム・サイコロジー 基礎編」 2 単位 春学期
〔医〕 増田 直衛

〔授業科目の内容〕

将来医学を学ぶ学生であることを考慮し、その専門に必要と考えられる心理学の問題を中心に捉えて、心理学の基礎的な問題を扱います。人間を理解するためにはどのような枠組みがあり、心理学はそれらに対してどのような立場をとり、どのような事実を明らかにしてきたかを考えます。

心理学 I のみでも完結した講義としますが、合わせて心理学 II を履修するとより深い理解が得られます。

〔教科書〕

『シリーズ 医療の行動科学 I 医療行動科学のためのミニマム・サイコロジー』 山田富美雄監修 北大路出版

〔参考書〕

講義に関連した文献は授業中に随時紹介します。

心理学 II
「医学のためのミニマム・サイコロジー 展開編」 2 単位 秋学期
〔医〕 増田 直衛

〔授業科目の内容〕

将来医学を学ぶ学生であることを考慮し、その専門に必要と考えられる心理学の問題を中心に捉えて、心理学の展開的な問題を扱います。人間を理解するためにはどのような枠組みがあり、心理学はそれらに対してどのような立場をとり、どのような事実を明らかにしてきたかを考えます。

心理学Ⅱのみでも完結した講義としますが、合わせて心理学Ⅰを履修するとより深い理解が得られます。

〔教科書〕

『シリーズ 医療の行動科学Ⅰ 医療行動科学のためのミニマム・サイコロジー』山田富美雄監修 北大路出版

〔参考書〕

講義に関連した文献は授業中に随時紹介します。

心理学Ⅰ（月3・火3・水3）

「生涯発達する“しなやかな”人間のチカラを科学する」

2単位 春学期

〔理〕

高山 緑

〔授業科目の内容〕

本講義では、“生涯発達の視点”から、乳幼児から思春期。青年期を経て高齢期までを視野に入れて、しなやかに生涯発達する人間のチカラを学んでいきます。最新の実証研究から得られた知見をもとに、具体的には、愛着、自己、情動、性格の形成プロセス、対人関係、ストレスとコーピング、恋愛と結婚、ライフスタイル、サクセスフル・エイジング等のテーマを取り上げます。さまざまなテーマを通じて、生涯発達する“しなやかな”人間のチカラを学びましょう。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します。

心理学Ⅱ（月3・火3・水3）

「認知と学習」

2単位 秋学期

〔理〕

高山 緑

〔授業科目の内容〕

人の心の奥底では、いったい何が行われているのでしょうか。私たちはどのように外界から情報を受け取り、それを加工し、行動をとるのでしょうか。本講義では人間が“事物について物事を知る”といったことがどのようなメカニズムで行われているのか、そしてその能力がどのように発達していくのか学んでいきます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します。

人類学 a（春学期） / 人類学 b（秋学期）

人類学（通年）

「自然界の中のヒト：進化と変異」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

〔文経〕

高山 博

〔授業科目の内容〕

ヒト（*Homo sapiens*）の定義を知っていますか？人類学的定義には、他にもヒト属、ヒト科、ヒト上科という分類名があって、広義にはすべて「ヒト」または「人類」として使われています。この講義は、現生種ヒト（地質学的現世に生存した人類を包括する生物学的分類単位）が、30億年の進化の中で、どのような位置に存在するか、を考えます。原始細胞から無脊椎動物、脊椎動物、哺乳類、霊長類へと進化の流れをたどりなが

ら、ヒトの特長・その起源と進化について、なるべく最新の情報を提供する予定です。

本文冒頭の質問の答えの一つが、「文化」なのですが、どのような「文化」がヒトを定義できるのかについては、講義の中で紹介していくつもりです。

〔教科書〕

指定しません。

〔参考書〕

講義内容に近いものとしては、『人類の進化史』埴原和郎著 講談社文庫、『人類の進化』埴原和郎著 講談社、『ここまでわかった人類の起源と進化』ルーウィン,R.著 保志訳 てらべいあ、『人類の起源』馬場・高山編著 集英社

人類学Ⅰ

「進化から見た人類の理解」

2単位 春学期

〔経商薬〕

真家 和生

〔授業科目の内容〕

生命誕生から現在のヒトが形成されるまでの進化過程をたどりながら、人類の特徴がどのように獲得されてきたかを講義する。履修者は人体に秘められた進化過程に伴う獲得形質を実感することを目標としてもらいたい。

〔教科書〕

『自然人類学入門 第1版』真家和生著 技報堂出版
2007年 2008年 ISBN:978-4-7655-0244-3 C3045

〔参考書〕

適宜紹介する。

人類学Ⅱ

「体のしくみから見た人類の理解」

2単位 秋学期

〔経商薬〕

真家 和生

〔授業科目の内容〕

人類が世界各地の環境にどのように適応して拡散移住したのか、そしてその結果として現在の人類がどのような多様性を持つに至ったかを講義する。履修者は自分がこうした多様性のなかのどのような位置にいるのかを実感することを目標としてもらいたい。また、人類の動作や生理的特徴を解説。履修者は自分が人類であることをより深く実感することを目標としてもらいたい。

〔教科書〕

『自然人類学入門 第1版』真家和生著 技報堂出版
2007年 2008年 ISBN:978-4-7655-0244-3 C3045

〔参考書〕

適宜紹介する。

政治学Ⅰ

「ネーション・ステイト（国民国家）とナショナリズム」

2単位 春学期

〔文経法商医理薬〕

阿南 友亮

〔授業科目の内容〕

ネーション・ステイトおよびナショナリズムに関する基礎的な知識を習得し、我々の意識に深く埋め込まれているネーション（民族・国民）という共同体概念およびナショナリズムに対して客観的な視点を養うことが本講義の目的である。春学期においては、主としてヨーロッパ、特にフランスとドイツにおけるネーション・ステイトの形成過程を概観する。

〔教科書〕

特に定めない。

〔参考書〕

『世界史ブレット 35 国民国家とナショナリズム』 谷川稔著
山川出版社

『民族という名の宗教—人をまとめる原理・排除する原理—』
なだいなだ著 岩波新書

『民族とナショナリズム』 アーネスト・ゲルナー著 加藤節訳
岩波書店

『ナショナリズムの歴史と現在』 E.L.ホブズボーム著 浜林正
夫訳 大月書店

『想像の共同体 ナショナリズムの起源と流行』 ベネディクト・
アンダーソン著 白石さや・白石隆訳 NTT 出版

『二〇世紀のナショナリズム』 アンソニー・スミス著 巢山靖
司訳 法律文化社

『人種・国民・階級 揺らぐアイデンティティ』 エティエンヌ・バ
リバル、イマニュエル・ウォーラーステイン著 若森章孝訳 大
村書店

『ナショナリズム・反ユダヤ主義・ファシズム』 ミシェル・ヴィノッ
ク著 川上勉訳 藤原書店

『国民国家と暴力』 アンソニー・ギデンズ著 松尾精文訳
而立書房

『幕末・明治期の国民国家形成と文化変容』 西川長夫、松
宮秀治編 新曜社

政治学 II

「東アジアにおけるネーション・ステイト 2 単位 秋学期
(国民国家) の形成とナショナリズム」

【文経法商医理薬】 阿南 友亮

〔授業科目の内容〕

19 世紀以降、東アジアにおいてネーション・ステイトの概念は
どのように受容され、実際にネーション・ステイトはいかにして形成
されたのか。また、その過程でいかなるナショナリズムが育まれ
たのか。こうした問題について主として中国の例を中心に概観す
る。それを踏まえて、中国のナショナリズムと日本との関係につ
いて考察する。

〔教科書〕

特に定めない。

〔参考書〕

『世界史ブレット 42 アジアのナショナリズム』 古田元夫著
山川出版社

『世界史ブレット 51 現代中国政治を読む』 毛里和子著
山川出版社

『中国 20 世紀史』 姫田光義他編 東京大学出版会

『アジアの多文化社会と国民国家』 西川長夫、山口幸二、
渡辺公三編 人文書院

『講座現代アジア 1 ナショナリズムと国民国家』 土屋健治編
東京大学出版会

『講座現代アジア 2 近代化と構造変動』 中兼和津次編 東
京大学出版会

『現代中国の構造変動 3 ナショナリズム—歴史からの接近』
西村成雄編 東京大学出版会

『現代中国の構造変動 7 中華世界—アイデンティティの再
編』 毛里和子著 東京大学出版会

『愛国主義の創成 ナショナリズムから近代中国を見る』 吉澤
誠一郎著 岩波書店

『中国民族主義の神話』 坂元ひろ子著 岩波書店

『講座世界史 6 必死の代案』 古厩忠夫著 「従属地域におけ
る国民国家形成—中国とトルコの国民革命」 歴史学研究会編
東京大学出版会

『中国人の日本観』 アレン・ホワイティング著 岡部達味訳
岩波書店

『反日と反中』 横山宏章著 集英社新書

政治学 I

「民主主義の政治学」 2 単位 春学期

【文経法商医理薬】 岡山 裕

〔授業科目の内容〕

民主主義的な統治が望ましいという考えは、今日世界のかなり
広い範囲に浸透しています。日本でも、政治的な問題が生じ
ると「政治をより民主的に」「真の民主主義を実現しよう」とい
った声がしばしば聞かれます。しかし、民主主義という統治形態が
他よりも望ましいと広く考えられるようになったのは、世界史上で
は割に最近のことです。それに、民主主義が実現すれば理想の
政治が直ちに出現するわけではなく、また民主主義という政治の
方式は固有の難しさを抱えていることが知られています。この授
業では、民主主義をただ礼賛するのではなく、むしろ民主主義と
いう「暴れ馬」をどうしたら乗りこなせるのかという観点から様々
に再検討することで、政治の必要性和面白さを理解し、政治学
の基本的な発想法を身につけてもらうことを目的としています。

〔教科書〕

とくに指定しません。

〔参考書〕

授業時に案内します。

政治学 II

「現代政治の制度と過程」 2 単位 秋学期

【文経法商医理薬】 岡山 裕

〔授業科目の内容〕

日本の政治を中心に、先進民主主義国の国内政治について考
えるうえで、本質的に重要と考えられる諸要素を取り上げて検討
を加えます。ただし、現代政治の動向を具体的な事実・出来事
に即して解説していくわけではなく、実際に生じる政治現象が理
論やモデルという分析上の道具立てを使ってどのように説明され
るか、また説明がいかに困難かといった、分析的な発想を身に
つけてもらうことに重点をおきます。なかでも、(新) 制度論と呼
ばれる、政治学のみならず社会科学の多くの分野で今日重要と
されている考え方を体得してもらうのが重要なねらいとなります。

〔教科書〕

とくに指定しません。

〔参考書〕

授業時に案内します。

政治学 I

「政治学の基礎」 2 単位 春学期

【文経法商医理薬】 小川原 正道

〔授業科目の内容〕

政治学の基礎的な理解を深めることを目標とする本講義では、政治システムやイデオロギー、思想といった理論的部分と、官僚制、議会、司法部といった政治機構、政治を動かす選挙や投票行動などに焦点を当てて講義をすすめる。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

授業中に適宜指示する。

政治学 II

「政党・利益集団と現代日本の統治システム」 2 単位 秋学期
〔文経法商医理薬〕 小川原 正道

〔授業科目の内容〕

本講義では、まず、政治を動かす主体としての政党や利益集団、マスコミなどについて学んだ上で、政策過程について理解を深め、さらに、現代日本の統治システムの構造や課題について講じる。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

授業中に適宜指示する。

政治学 I

「統治と自治」 2 単位 春学期
〔文経法商医理薬〕 小野 修三

〔授業科目の内容〕

今日の国民国家 (nation state) の基礎を成している諸条件に関して、「統治と自治」の観点から、近代日本の歴史的な事項を材料にして、解説を加えていきたいと考えるが、最初に説明するポイントは state という言葉の当初の意味である。ブルクハルトがその『イタリア・ルネサンスの文化』(1860 年) のなかで、マキャベリにおいては「支配者と、それに付随するものをいっしょにして、lo stato と呼ぶ。そしてこの名称はやがて不当にも、一つの領土全体を意味することになる」と述べた、その一節を理解することから、この政治学の時間は始まる。

〔教科書〕

無し

〔参考書〕

『生活者の政治学』高畠通敏著 三一新書

『現代市民政治論』高畠通敏編 世織書房

『現場としての政治学』市川他編 日本経済評論社

政治学 II

「国家と社会」 2 単位 秋学期
〔文経法商医理薬〕 小野 修三

〔授業科目の内容〕

今日の国民国家 (nation state) の基礎を成している諸条件に関して、「国家と社会」の観点から、ヨーロッパ史上の出来事を材料に、解説を加えていきたいと考える。最初に説明するポイントは国家という言葉の当初の意味である。篠原一がその『ヨーロッパの政治』(1986 年) のなかで、16 世紀の「国家はのち、市民革命の発生とともに生まれた国民国家と同一のもではなく、国王を中心とした中央機構の成立を意味するにすぎな

い」と述べた、その一節を理解することから、この政治学の時間は始まる。

〔教科書〕

無し

〔参考書〕

『ヨーロッパの政治』篠原一著 東大出版会、『現代市民政治論』高畠通敏編 世織書房、『現場としての政治学』市川他編 日本経済評論社

政治学 I

「政治の本質」 2 単位 春学期
〔文経法商医理薬〕 片山 杜秀

〔授業科目の内容〕

たとえば、経済を定義するのは、簡単なようにも思えます。人間はからだを持っており、からだは物質であり、それを維持するには水や食料が必要であり、衣類や建物もあった方がよいでしょう。つまり、物である人間が生きていくためには別の物がいろいろとなくてはならず、そこに自ずと経済が、換言すれば経済的機能を担った社会が発生するのです。というわけで、経済の基本は、物がなければ生きられないというところにあり、物が少ししかないとか何か心配になり、たくさんあると豊かな感じがするので

すると政治はどうでしょうか。経済よりも話が少しややこしくなるかもしれません。自分が慎ましく安全に生きたい、他人を幸せにしたい、みんなに自分の信ずる世界の理想のありようを押しつきたい、あるいは他人をやっつけたい……。どれもこれもが、政治の基礎になり、本質をなしていきます。

とりえず、利害を調整して波風たたないようにするのも政治なら、どうしてもおのれのしたいようにするために強引な真似をし続けるのも政治なのです。

そういうもろもろを解きほぐし、掘り下げ、展開しながら、政治とは何なのかを考えてみたいと思っています。

〔教科書〕

特にありません。それにある程度まで代わるものとして適宜プリントを配布します。

〔参考書〕

必要に応じて、講義の中で紹介します。

政治学 II

「政治の歴史・規模・形態」 2 単位 秋学期
〔文経法商医理薬〕 片山 杜秀

〔授業科目の内容〕

政治をとりえず何らかの駆け引きだとすると、それは常識的にはひとりで行うことはできません。相手が要ります。その相手の多い少ないの問題、あるいは相手の質の問題などで、種々多様な政治の状況が想定されてくるでしょう。そういう政治の規模や形態に着目してみたいと思います。

まずは人間でなくて、サル社会のことなどからはじめましょう。サルの群れのありように、人間の政治的駆け引きの仕方の基本型が出尽くしていると考えられるからです。サルを見れば人間が分かるのです。

それから心理学や人類学や民俗学の助けを借りて、人間の家族の駆け引き、村の政治、それから国や帝国の政治へと、なるべく具体的な例に即しながら、膨らませてゆきたいと考えています。

きつと講義には、いろいろな時代や地域のさまざまな例が出てくることになるでしょう。筋が一本通るというよりも、ばらけた具合になるでしょう。そんな中から皆さんの政治についての想像力が広まることを期待しています。

〔教科書〕

特にありません。それにある程度まで代わるものとして適宜プリントを配布します。

〔参考書〕

必要に応じて適宜紹介します。

政治学Ⅰ

「政治と草の根民主主義」

2 単位 春学期

〔文経**法**商医理薬〕

片山 善博

〔授業科目の内容〕

政治には常に権力が伴う。その権力をいかに民主的に作動させるかは、今日の社会にとって極めて重要な課題である。国政では憲法がその枠組みを定め、地方政府のレベルでも様々な仕組みが設けられている。これら国政及び地方政治における民主主義の原理や仕組みについて、できる限り現実日々生起する事象を教材として取り上げながら学び、かつ、今後の民主主義の進展のための課題についても理解を深めたい。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料プリントを配布したい。

〔参考書〕

『市民社会と地方自治』拙著 慶応大学出版会 2007 年 8 月

政治学Ⅱ

「政治と草の根民主主義」

2 単位 秋学期

〔文経**法**商医理薬〕

片山 善博

〔授業科目の内容〕

春学期の授業を踏まえ、地方分権や道州制、税制改革、国や地方を通ずる財政再建など現在のわが国における主要な政治課題について取り上げ、その中から民主主義や民主政治にとって大切な要素を抽出することにより、政治学を具体的かつ実践的に学ぶこととする。併せて、日頃中央・地方の政治をめぐる生じる様々な事象を通じて、履修者がこれらの本質を読み取り、自ら主体的に考える力を身につけるようにしたい。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料プリントを配布したい。

〔参考書〕

『市民社会と地方自治』拙著 慶応大学出版会 2007 年 8 月

政治学Ⅰ

「現代国際政治の理解」

2 単位 春学期

〔文経**法**商医理薬〕

西野 純也

〔授業科目の内容〕

本講義は、国際政治学で用いられる基礎的概念、分析枠組みを紹介しつつ、現代国際政治の諸問題に対する理解を深めることを目的とします。講義を通じて、現在世界で起きている諸問題を表層的にではなく構造的に分析する力を養うことを目指します。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

『国際政治とは何か』中西寛著 中公新書 2003 年

『新・国際政治経済の基礎知識』田中明彦・中西寛編 有斐閣 2004 年

『国際関係学講義（第 3 版）』原彬久編 有斐閣 2006 年

『グローバル社会の国際関係論』山田高敬・大矢根聡編

有斐閣 2006 年

『国際関係理論』吉川直人・野口和彦編 勁草書房 2006 年

『国際紛争（原書第 6 版）』ジョセフ・S・ナイ・ジュニア著

有斐閣 2007 年

『国際政治』藤原帰一著 放送大学教育振興会 2007 年

『シリーズ国際関係論』全 5 巻 東京大学出版会 2007 年

政治学Ⅱ

「北東アジアの国際政治と日本」

2 単位 秋学期

〔文経**法**商医理薬〕

西野 純也

〔授業科目の内容〕

本講義は、冷戦期から現在に至るまでの北東アジアの国際関係について、日本との関わりを中心に検討します。特に、朝鮮半島をめぐる国際政治に対する理解を深めることを目指します。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

『戦後日韓関係史』李庭植著 小此木政夫・古田博司訳 中央公論社 1989 年

『ポスト冷戦の朝鮮半島』小此木政夫編 日本国際問題研究所 1994 年

『日本外交と中国 1945 - 1972』添谷芳秀著 慶應義塾大学出版会 1995 年

『検証 日韓会談』高崎宗司著 岩波新書 1996 年

『冷戦史』松岡完・広瀬佳一・竹中佳彦編著 同文館出版 2003 年

『検証 日朝交渉』高崎宗司著 平凡社新書 2004 年

『戦後日本外交史（新版）』五百旗頭真編 有斐閣 2006 年

『韓国における市民意識の動態Ⅱ』小此木政夫・西野純也編 慶應義塾大学出版会 2008 年

政治学Ⅰ

「政治の世界への誘い」

2 単位 春学期

〔文経**法**商医理薬〕

和田 寛伸

〔授業科目の内容〕

かつて哲学者高山岩男が「政治というものは実は天使の世界にもなければ畜類の世界にもなく、実に我々人間の世界にのみ存する現象なのである。（謡曲「羽衣」に）“疑は人間にあり、天に偽りなきものを”とあるように、天使の世界ありとすれば、それは嘘偽なく、作為術策なき政治以上の世界であるといえよう。これに対し、禽獣や畜生の世界は政治以下、政治以前と解していいであろう。政治はその意味で人間的な現象だと言わなければならぬ」（『哲学とは何か』『政治哲学』）と明快に道破した政治

を、神と獣の狭間に生きる我々の“人間の学としての政治学”の立場から見つめ直して、政治は我々にとってより身近な現象であることを再確認し、これを科学、哲学、歴史学等の諸側面から平易に解説します。

〔教科書〕

『新訂 政治学入門』小林良彰・河野武司・山岡龍一著
放送大学教育振興会 2007年 2,100円 ISBN:978-4-595-30734-8 C1331

〔参考書〕

授業の場で指示・紹介します。

政治学 II

「政治の世界への誘い」

2単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕

和田 寛伸

*前期春学期の「政治学 I」との継続的受講が望めます。所属学部によってはシステム上 I・II それぞれ半期ごとの受講も可能ですが、教科書も通年使用で指定されていることから、後期の政治学 II のみの受講はかなり厳しい独習が要求されますので、受講希望者は可能な限り I・II の通年受講をしてください。

〔授業科目の内容〕

政治学 I の継続。政治学 II では特に現代デモクラシーの政治思想や政治のアクター、制度論に焦点を絞った講義を準備しています。

〔教科書〕

政治学 I に同。『新訂 政治学入門』小林良彰・河野武司・山岡龍一著 放送大学教育振興会 2007年 2,100円 ISBN:978-4-595-30734-8 C1331

〔参考書〕

授業の場で指示・紹介します。

生物学 I (実験を含む)

「ニュースの中の生物学」

3単位 春学期

〔文経法政商〕

秋山 豊子

〔授業科目の内容〕

毎日のように、生物学関連の話題がニュースの中に取り上げられ、一般社会人も、生物学的背景を持った社会問題にさらされているといえます。ヒトの皮膚細胞から万能細胞を誘導、BSEと狂牛病、鳥インフルエンザ、遺伝子鑑定・遺伝子組み換え食品などの遺伝子関連の話題、クローン・ES細胞・臓器移植・代理母など生殖工学、ガンやエイズなどの病因解析、さまざまな環境問題などなど。これらの話題は専門家のみならず、現代社会に生きる一般人にとって時代を読み解くキーワードとなってきました。この授業では、これらの生物学的背景を持った社会問題をトピックスとして各回一話完結型で取り上げます。生物科学の入門編ではありますが、体系的な概論ではなく、映像資料やプリント教材も加えて、最後に問題点を自分で考えるように進めていきます。このため、予備知識が無くても理解できるように基礎用語から解説していきます。隔週に行われる実習は、できるだけ身近な生き物を対象とし生命現象を具体的に理解するように用意されています。実習の前にプリントを配付し、目的や手順を説明します。初回の授業で年間授業予定を検討しますので、皆さんからも興味のあるテーマを提案して下さい。この授業で日々のニュースの中の生物学関連の話題が理解され、自分で問題認識できるようになること、そして、これまであまり生物学に触れる機会がなかった人も、精緻でファジーな生命の不思議について楽しみながら理解されれば良いと思います。

〔教科書〕

『生きているってどういうこと』 種田保穂・秋山豊子共著
培風館 2006年刊行

〔参考書〕

授業時に適宜、紹介します。

生物学 II (実験を含む)

「ニュースの中の生物学」

3単位 秋学期

〔文経法政商〕

秋山 豊子

〔授業科目の内容〕

毎日のように、生物学関連の話題がニュースの中に取り上げられ、一般社会人も、生物学的背景を持った社会問題にさらされているといえます。ヒトの皮膚細胞から万能細胞を誘導、BSEと狂牛病、鳥インフルエンザ、遺伝子鑑定・遺伝子組み換え食品などの遺伝子関連の話題、クローン・ES細胞・臓器移植・代理母など生殖工学、ガンやエイズなどの病因解析、さまざまな環境問題などなど。これらの話題は専門家のみならず、現代社会に生きる一般人にとって時代を読み解くキーワードとなってきました。この授業では、これらの生物学的背景を持った社会問題をトピックスとして各回一話完結型で取り上げます。生物科学の入門編ではありますが、体系的な概論ではなく、映像資料やプリント教材も加えて、最後に問題点を自分で考えるように進めていきます。このため、予備知識が無くても理解できるように基礎用語から解説していきます。隔週に行われる実習は、できるだけ身近な生き物を対象とし生命現象を具体的に理解するように用意されています。実習の前にプリントを配付し、目的や手順を説明します。初回の授業で年間授業予定を検討しますので、皆さんからも興味のあるテーマを提案して下さい。この授業で日々のニュースの中の生物学関連の話題が理解され、自分で問題認識できるようになること、そして、これまであまり生物学に触れる機会がなかった人も、精緻でファジーな生命の不思議について楽しみながら理解されれば良いと思います。

〔教科書〕

『生きているってどういうこと』 種田保穂・秋山豊子共著
培風館 2006年刊行

〔参考書〕

授業時に適宜、紹介します。

生物学 I (実験を含む)

「遺伝子の基本機能とヒトの遺伝」

3単位 春学期

〔文経法政商〕

小野 裕剛

〔授業科目の内容〕

近年の遺伝子研究の進歩にはめざましいものがあり、そこで生み出される知識や技術は、専門家以外の人には簡単に理解できるものではありません。しかし文系学部の方皆さんもヒトという生物である以上、「知らなくて良いこと」ではありません。これらの知見は医療・農業分野の政策や法律、さらには経済活動に深く関与しているので、これからの時代を生き抜くための判断の材料に必要だからです。講義では遺伝や遺伝子の仕組みについて、基礎から解説することが中心になりますが、それが我々ヒトの生老病死にとってどのような意味を持ち、将来どのような判断を迫られる可能性があるのかについても解説を加えます。実験ではショウジョウバエを用いて「遺伝」「遺伝子」「酵素」「分子生物学」が統合的に理解できるようなプログラムを用意しています。実際の生物試料や模型に触れることで講義内容の理解を深めることを

目指すのみでなく、一般的な『調査・研究レポート』の書き方も指導していく予定です。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配付します。

【参考書】

講義の中で紹介する予定です。

生物学Ⅱ（実験を含む）

「ヒトの高次生命現象を分子生物学的に見る」 3単位 秋学期
【文経法政商】 小野 裕剛

【授業科目の内容】

遺伝子工学や細胞工学技術の発展により、これまで「運命」とされていたヒトの高次生命現象にも科学的介入が行われるようになってきました。このクラスではヒトの発生や免疫といった高次生命現象を解説しながら、遺伝子診断（着床前診断）、移植医療、環境ホルモン、エイズ、アレルギー、BSE、アルツハイマーなどトピックスについて、「遺伝子」「細胞工学」という切り口から、現在何が分かって何ができるのかについて解説を加えていきます。現在ではまだ法整備や倫理面での調整が付いていないことが多くありますので、これからの社会を担う皆さんに「生命科学技術がどうあるべきか」よく考えていただきたいと思います。実験では実際の生物試料や模型に触れることで講義内容の理解を深めることを目指すのみでなく、一般的な『調査・研究レポート』の書き方も指導していく予定です。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配付します。

【参考書】

講義の中で紹介する予定です。

生物学Ⅰ（実験を含む）

「ヒトの生命活動」 3単位 春学期
【文経法政商】 金谷 信宏

【授業科目の内容】

ヒトは生きている間に様々な生命活動を行っている。空腹になると食物を食べるが、食物は消化され、分解されてエネルギーが生成される。そのエネルギーを使いヒトは運動することができるし、体の一部をつくり成長させることができるのである。これらの生命活動は細胞という、生命の基本単位で行われる。細胞の核にはDNAという高分子化合物が存在していて、その一部は遺伝子という、生命の設計図になっている。それは生殖により子孫に伝えられていくのである。このようなヒトの生命活動を生物学的に理解することが、この講義の目的である。

実験は講義内容をより理解するために、細胞の観察、細胞運動の観察、浸透圧と原形質分離、DNA 模型作製、DNA の抽出などのテーマで隔週行われる。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

生物学Ⅱ（実験を含む）

「環境因子とヒト」 3単位 秋学期
【文経法政商】 金谷 信宏

【授業科目の内容】

近年、地球環境の悪化は深刻な問題になっている。クロロフルオロカーボン（フロン）がオゾン層を破壊することにより、地上

に到達する有害紫外線量が多くなり植物の生育が阻害され、ヒトの皮膚がんが増えると予想されている。ダイオキシンなどの環境ホルモンの生殖細胞への影響も懸念されている。このような様々な環境因子がヒトに対してどのような影響を及ぼすのか、またヒトはそれに対してどのように対応しているのかを理解することが、この講義の目的である。

実験は講義内容と関連するテーマで隔週行われる。酵素反応、気孔の観察、体細胞分裂、ヒトの細胞、発がん物質による染色体異常の観察などを予定している。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

生物学Ⅰ（実験を含む）

「どうして私たちは、今ここにいるのか？」 3単位 春学期
【文経法政商】 金子 洋之 古川 亮平

【授業科目の内容】

あなたたちは、「自分がどうして今ここにいるのか？」といった疑問を持ったことがあるだろうか？この問いは、現在、そして未来を生きていくあなたたちに、生物としての自分、そして自身の存在意義を考えさせることに繋がる大変重要なテーマである。何故なら、あなたたちの身体には、生物進化の歴史が刻まれており、両親の愛の結晶として生まれてきたといった個人レベルを越えた約 38 億年もの時間があなたたちの背景に存在している。このような壮大な時間軸を背負っていることを明確に意識すれば、急速に変化を遂げている社会に個人としての尊厳なしに埋没せられがちな状況、対人関係などの些細な悩みに、全く別の視点（知的根拠）を持って立ち向かえろと考えられる。さらに、あなたたちは人間社会のみでなく、地球家族の一員でもあり、ヒトのみが行うようになった自然破壊の危険を本当に自覚できるようになると思われる。

生物進化を少し紐解いてみたい。地球が 46 億年前に誕生し、細胞のプロトタイプが出来てきたのが 38 億年前。現在のバクテリアのような生き物であったと考えられている。そのうちにあるものは酸素を排出し、またあるものは酸素を利用するシステムを獲得し、約 20 億年といった気が遠くなるような膨大な時間をかけて、現在のあなたたちを構成する細胞と似たものになってきた。最初は、これらの生き物（細胞）は個々に生活していたが、そのうちに互いが集合し、協調して生活する状態の多細胞生物が現れた。約 18 億年前のことである。多細胞生物は多様な形や生活様式を可能にするようになったと思われ、5 億 3000 万年前のカンブリア紀には、約 1 万種とも推測される「かたち」の創出を試みた生き物たちが海の中に生存していた。そのうちの 1 種、ピカイアは私たちの先祖であり、他の多くの種は滅んでいった。やがて海から川を経由して、魚の一部が陸に上がり、最初は水辺で生活していたが、代謝システムを発達させ、次第に陸の奥深くまで進出していった。

繁栄を窮めた恐竜の陰に隠れ冴えない連中が哺乳類への進化を遂げた。この過程でも、多くの哺乳類は絶滅し、ほんの一部が地球環境の変化の荒波に偶然生き残り、リスからサルへ、そしてヒトへと分かれていった。地球 46 億年の歴史の中で、カンブリア紀以降の進化は加速している。現在の地球上に見られる多種多様な生き物は、絶滅の危機を回避しているものであるが、ヒトはその 1 種にしか過ぎない。

本講義では、生物進化に軸足を置き、「どうして私たちは今ここにいるのか？」というテーマで自然科学のひとつである生物学の教養を伝えたい。具体的な講義の内容は以下に記すが、出来る限りヴィジュアルに、先端の生命科学の情報も紹介しながら講義を進めていく。

また実験では、講義の内容に関するテーマだけでなく、講義でカバーしきれない生物学の各論を含め得るように考えている。

【教科書】

特に指定せず。講義時にプリントを配布する。

【参考書】

『Oh 生きもの！』 M.ホーグランド著 三田出版会

『目でみる生物学』 石原勝敏他著 培風館

生物学 II (実験を含む)

「私っていったい何？：生物としての身体の 3 単位 秋学期
成り立ち」

【文経法政商】 金子 洋之 古川 亮平

【授業科目の内容】

多かれ少なかれ、あなたたちは自分の身体について何らかの興味を持ったことはあるだろう。しかし、それは自身が病気の時であったり、マスコミが何らかの形で紙面を賑わしていたりする時のみであったりするのかもしれない。もう少し幅を広げた視点から、生き物としての自分を学んでみると、あなたたちは如何に精緻な生き物であるかに驚かされると思う。そして、その理解は己の潜在的な能力だけでなく、逆にその脆さをも、日々の生活の中で意識させることに繋がると考えられる。それゆえ、これらの知識は、あなたたちに個人としての自立のための知的根拠を提供する。

講義内容を少し紹介してみよう。あなたたちの身体の構造は、クラゲの身体が 2 段階ほど複雑になっただけである。またそのボディプランは、ハエやヒトデと一緒にある。一方、脊椎動物でもあるあなたたちは、無脊椎動物の生体防御システムを踏襲しながら、日吉と三田のバクテリアを識別して攻撃できる精密な防御システムを備えており、親兄弟での移植手術も不可能なことが多い程の生き物としての独自性を持っている。さらに脊椎動物でも最大に発達したあなたたちの脳は、本能的な、そして崇高な愛を遂行する器官であり、思考を介しての柔軟な記憶回路をも備えている。約 60 兆個の細胞から成るあなたたちの身体には、機能的な無駄もあることは分かっているが、細胞どうしが協調し、互いに連携を行う効率性の高いシステムを完備した芸術品であることに気付かれることだろう。

本講義では、「私っていったい何？」というテーマのもと、自然科学のひとつである生物学の教養を伝えたい。

具体的な講義の内容は以下に記すが、出来る限りヴィジュアルに、先端の生命科学の情報も紹介しながら講義を進めていく。また実験では、講義の内容に関するテーマだけでなく、講義でカバーしきれない生物学の各論を含め得るように考えている。

【教科書】

特に指定せず。講義時にプリントを配布する。

【参考書】

『Oh 生きもの！』 M.ホーグランド著 三田出版会

『目でみる生物学』 石原勝敏他著 培風館

生物学 I (実験を含む)

「進化の産物としての生命」

3 単位 春学期

【文経法政商】

上村 佳孝

【授業科目の内容】

生物と無生物の違いとは何だろうか？ヒトとはどのような動物なのか？この授業では「進化」をキーワードにミクロからマクロまで、生物の世界を俯瞰します。すべての生物の体には 30 億年の進化の歴史の足跡が刻まれていて、その歴史の理解は私たち人類が今ここにこのような形で存在している理由を教えてください。授業では講義と実習を隔週でおこないます。実習では生命現象を自分の手と眼で理解するための多様なテーマが用意されています。また、講義の中でも実物資料や映像資料を多く取り入れます。「なぜ多くの文化で近親間の結婚は禁忌とされるのか？」、「ヒトの男性と女性で持っている遺伝子の数はどれくらい違うのか？」、「自分の細胞にバクテリアが住んでいる？」などなど。必ずしも一つの正解があるとは限らないこれらの疑問に対し、自分の考えに基づいて議論できる能力を養うことで、日常に溢れる生物学関連のニュース（医療・環境・人間関係など）を批判的に理解できるようになることが授業の目的です。

【教科書】

指定しません。授業でプリント資料を配布します。

【参考書】

授業時に紹介します。

生物学 II (実験を含む)

「進化の産物としてのヒト」

3 単位 秋学期

【文経法政商】

上村 佳孝

【授業科目の内容】

生物と無生物の違いとは何だろうか？ヒトとはどのような動物なのか？この授業では「進化」をキーワードにミクロからマクロまで、生物の世界を俯瞰します。すべての生物の体には 30 億年の進化の歴史の足跡が刻まれていて、その歴史の理解は私たち人類が今ここにこのような形で存在している理由を教えてください。授業では講義と実習を隔週でおこないます。実習では生命現象を自分の手と眼で理解するための多様なテーマが用意されています。また、講義の中でも実物資料や映像資料を多く取り入れます。「なぜ幼稚園の記憶はあるのに、一週間前の夕飯が思い出せないのか？」、「なぜ同じ人間なのに臓器移植は難しいか？」、「動物園のサルの子孫がヒトになる可能性は？」、「『がん』がヒトからヒトへ感染する可能性はあるだろうか？」などなど。必ずしも一つの正解があるとは限らないこれらの疑問に対し、自分の考えに基づいて議論できる能力を養うことで、日常に溢れる生物学関連のニュース（医療・環境・人間関係など）を批判的に理解できるようになることが授業の目的です。

【教科書】

指定しません。授業でプリント資料を配布します。

【参考書】

授業時に紹介します。

生物学 I (実験を含む)

「生物多様性をまなぶ」

3 単位 春学期

【文経法政商】

岸 由二

【授業科目の内容】

私たちの時代は、自然と共存する持続可能な未来を目指して、文明次元の転換を体験しつつある。この講義では、この時代を善く生きる基礎教養として、進化論の視野を基礎としつつ、微生物、植物、動物、ヒトにわたる多様多彩な生物の特性を、人間の暮らしとの関連にも留意しつつ学ぶ。講義と隔週で実施される実験では多様な生きものにふれ、理解する機会を提供する。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『自然へのまなざし』 岸由二著 紀伊国屋書店 1996 年

生物学 II (実験を含む)

「地球環境危機と生物多様性」

3 単位 秋学期

〔文経法政商〕

岸 由二

〔授業科目の内容〕

私たちの時代は、自然と共存する持続可能な未来を目指して、文明次元の転換を体験しつつある。この講義では、この時代を善く生きる基礎教養として地球環境危機を主体的・構造的に理解するための基本的なツール、ならびに生物多様性ならびに温暖化の危機に関する基本的な理解を提供する。

講義と隔週で実施される実験では身近な機会を活かして生物多様性と生態系の姿にふれる。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『自然へのまなざし』 岸由二著 紀伊国屋書店 1996 年

生物学 I (実験を含む)

「「ヒト」の生物学」

3 単位 春学期

〔文経法政商〕

倉石 立

〔授業科目の内容〕

皆さんは自分たちの生活と生物学との関わりをどう感じているでしょうか。マスメディアを賑わす先端医療や遺伝子組み換え食品等を除けば、あまり実生活とは関係ないと思う人も多いかもしれません。しかし、我々自身も一種の動物であることを考えれば、全く無関心でいることは出来ません。この講義では、最も身近な生物である我々「ヒト」の生活史や体の仕組みを見つめる事により、生物学の基礎的な知識や考え方を直接自分に関わる事柄として学んで行きます。具体的に「ヒト」の生殖と発生、身体の構造、体調を維持する機構について、ニュース等を賑わせた話題等も取り入れて解説します。並行して講義の主要なテーマである遺伝子・有性生殖・初期発生に関する実習を行い、これらのテーマに対する理解を深めます。

〔教科書〕

特にありません。必要に応じて講義時に資料を配布します。

生物学 II (実験を含む)

「ヒトを取り巻く世界」

3 単位 秋学期

〔文経法政商〕

倉石 立

〔授業科目の内容〕

皆さんは日常の生活の中で「ヒト」以外の生物との関わりをどのくらい意識しているのでしょうか。ひょっとするとこの世界が人間だけで成り立っている様な錯覚に陥ってはいないのでしょうか。私たちは、呼吸に必用な酸素、日々の食料、快適な生活を支える

化石燃料等、直接・間接に他の生物に依存して生活しています。我々は地球環境を構成する複雑なシステムの一部であり、このシステムから離れては生きては行けません。

この講義では、我々を取り巻く多様な生物を生み出した進化の歴史、それらの生物の生活を支える環境と生物との関わり等について話を進めます。かけがえの無い地球の環境が実に微妙なバランスの下に保たれているということを認識し、その安定を脅かす諸問題に目を向けるきっかけとなることを望みます。

〔教科書〕

特にありません。必要に応じて講義時に資料を配布します。

生物学 I (実験を含む)

「科学技術・生殖技術と人間」

3 単位 春学期

〔文経法政商〕

長沖 暁子

〔授業科目の内容〕

生物 I・II の講義と実験を通して、生物としての「ヒト」と科学技術に依存して生きる「人間」と自然のかかわり、科学技術とのかかわりを考え、多様性をベースにした自然・人間観を知るところをテーマにします。生物 I の講義では性と生殖をめぐる問題をベースに科学技術と人間のあり方を考えます。

〔教科書〕

使いません。必要に応じて資料・プリントを配布します。

生物学 II (実験を含む)

「環境と人間」

3 単位 秋学期

〔文経法政商〕

長沖 暁子

〔授業科目の内容〕

生物 I・II の講義と実験を通して、生物としての「ヒト」と科学技術に依存して生きる「人間」と自然のかかわり、科学技術とのかかわりを考え、多様性をベースにした自然・人間観を知るところをテーマにします。生物 II では地球の歴史とヒトの誕生、環境問題をベースに科学技術と人間のあり方を考えます。

〔教科書〕

使いません。必要に応じて資料・プリントを配布します。

生物学 I (実験を含む)

「生物のしくみを知ると見えてくるもの」

3 単位 春学期

〔文経法政商〕

西川 純雄

〔授業科目の内容〕

生物はどんなに原始的、単純なものでも合理的で自己完結した系を作っているように見える。ゾウリムシのような単細胞生物にも口の役割を果たす構造があり、一方わたしたち人間にも食物を摂取する複雑な口腔が見られる。どんなに構造が違っていても、生物は要求される機能に対応している。生物は巧妙な仕掛けを、驚嘆するほどの精度で作りに上げるとともに、ある働きを行うためにさまざまなやり方をフレキシブルに利用しているように見える。この授業ではこれらの一端を、基本単位である細胞を中心として生命を理解し、さらに発展的にいくつかのトピックスについて話題を提供し理解を深める。トピックスとしては、組織の例としての歯や骨の生物学、細胞の死（アポトーシス）、等を取り上げる予定である。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義の際に紹介します。

生物学Ⅱ（実験を含む）

「生物のしくみを知ると見えてくるもの」

3単位 秋学期

【文経法政商】

西川 純雄

〔授業科目の内容〕

生物はどんなに原始的、単純なものでも合理的で自己完結した系を作っているように見える。ゾウリムシのような単細胞生物にも口の役割を果たす構造があり、一方わたしたち人間にも食物を摂取する複雑な口腔が見られる。どんなに構造が違っていても、生物は要求される機能に対応している。生物は巧妙な仕掛けを、驚嘆するほどの精度で作りに上げるとともに、ある働きを行うためにさまざまなやり方をフレキシブルに利用しているように見える。この授業ではこれらの一端を、基本単位である細胞を中心として生命を理解し、さらに発展的にいくつかのトピックスについて話題を提供し理解を深める。トピックスとしては、免疫系、感覚に関わる神経系、細胞骨格、遺伝子と遺伝、発生の生物学、動物の比較解剖・生理等を取り上げる予定である。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義の際に紹介します。

生物学Ⅰ（実験を含む）

「ヒトに見る生物学Ⅰ」

3単位 春学期

【文経法政商】

長谷川 由利子

〔授業科目の内容〕

最近、生命科学に関係する話題が身近な問題としてほとんど毎日のように新聞の記事やテレビ番組に取り上げられています。現代は、文系の人たちにとっても、生命科学に対して無関心ではいられない時代となっています。講義と実習を通して、近年の生命科学の著しい進歩とそれに伴って生じる社会問題に関心を持ち、生命について自ら考える力を養うことがこの授業の目標です。

〔教科書〕

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業のときに配布します。

〔参考書〕

講義のときに、関連した図書を紹介します。

生物学Ⅱ（実験を含む）

「ヒトに見る生物学Ⅱ」

3単位 秋学期

【文経法政商】

長谷川 由利子

〔授業科目の内容〕

最近、生命科学に関係する話題が身近な問題としてほとんど毎日のように新聞の記事やテレビ番組に取り上げられています。現代は、文系の人たちにとっても、生命科学に対して無関心ではいられない時代となっています。講義と実習を通して、近年の生命科学の著しい進歩とそれに伴って生じる社会問題に関心を持ち、生命について自ら考える力を養うことがこの授業の目標です。

〔教科書〕

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業のときに配布します。

〔参考書〕

講義のときに、関連した図書を紹介します。

生物学Ⅰ（実験を含む）

「生命のしくみを探る

3単位 春学期

（遺伝子から見た生命）」

【文経法政商】

福澤 利彦

〔授業科目の内容〕

近年、ヒトを含むさまざまな生物における遺伝子情報の解読がすすみ、「生命のしくみ」が急速に解明されつつある。バイオテクノロジーの進展は著しく、政治・経済・社会に大きなインパクトを与えている。バイオの知識と技術が我々に恩恵をもたらす一方で、「何をどこまでやるか」ということが大きな問題となっている。これからの時代においては、「生命とは何か」という本質的な問いかけに一人一人が真剣に向き合い、自分の“生命観”を持つことが必要になる。そこで本講義では、生命の設計図である遺伝子DNAの構造・機能を踏まえた上で、生命のしくみを分りやすく解説する。また、遺伝子DNAに関する応用技術・トピックなど、生物学や医学の興味深い話題も提供する。講義と平行して、多様なテーマで実験を行うことにより、生命を実感してもらう。自分の頭で生命について深く考えてもらうことが、この授業の目的である。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

〔参考書〕

授業時に紹介する。

生物学Ⅱ（実験を含む）

「生命のしくみを探る

3単位 秋学期

（遺伝子から見たヒト）」

【文経法政商】

福澤 利彦

〔授業科目の内容〕

近年、ヒトを含むさまざまな生物における遺伝子情報の解読がすすみ、「生命のしくみ」が急速に解明されつつある。バイオテクノロジーの進展は著しく、政治・経済・社会に大きなインパクトを与えている。このような時代だからこそ、「生命とは何か」「ヒトとは何か」といった、根源的な問題を生物学的に考えることが重要になっている。また、「科学の方法や考え方」を身に付けることも、必須の要件である。本講義では、ヒトに関するさまざまな生命現象をとりあげ、ミクロレベル・マクロレベル・進化的観点から多角的に考察し、分りやすく解説する。また、遺伝子が関係する身近な病気やトピックなど、我々の健康に関する有用な情報も提供する。講義と平行して、多様なテーマで実験を行うことにより、生命を実感してもらう。科学の方法を体得し、自分の頭で生命について深く考えてもらうことが、この授業の目的である。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

〔参考書〕

授業時に紹介する。

生物学Ⅰ（実験を含む）

「生物の多様な世界」

3単位 春学期

【文経法政商】

福山 欣司

〔授業科目の内容〕

地球上には、一千万とも三千万種ともいわれる数多くの生物（種）が生息しています。その一つ一つの種にそれぞれ固有の形態や生活史（生き方）があり、まったく同じという種は存在しません。なぜ地球にはこんなに多くの種類の生物がいるのでしょうか。なぜ、種ごとに形態や生活の仕方に違いがあるのでしょうか。この授業では、生物界にみられる多様性とは何かを理解し、それがどのように進化してきたかを理解することを目的とします。内容的には、細胞レベルの現象にはあまり踏み込まず、進化や行動、分類といった個体レベルや集団レベルの生物学になります。授業は、講義と実験を隔週で行います。実験では毎回テーマに沿った実験や観察を行い、授業時間内にレポートを提出します。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

特になし

生物学Ⅱ（実験を含む）

「生態系とその危機」

3 単位 秋学期

〔文経法政商〕

福山 欣司

〔授業科目の内容〕

ほとんどの学生は生態系という用語は聞いたことがあるでしょう。琵琶湖の生態系とか白神山地の生態系などのように新聞でもよく使われます。では、生態系を見たことがある人はいるでしょうか。実は生態系は実際には見ることの出来ない人間が考えた概念なのです。しかし、この生態系という概念を使うと、生物がどのようにして暮らしているのかをよく理解することが出来ます。この授業では、生態系を始めとした生態学の幾つかの概念を理解すると共に現在人間が引き起こしている生態系への悪影響（地球環境問題）を考えることを目的としています。授業は、講義と実験を隔週で行います。講義では、通常の講義以外に新聞などを材料に今日的な話題を取り上げ、グループ発表を行います。実験では毎回テーマに沿った実験や観察を行い、授業時間内にレポートを提出します。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

特になし

生命現象の分子科学

2 単位 秋学期

〔商理薬〕

柳川 弘志

〔授業科目の内容〕

現在の生物では遺伝情報の流れは、DNA → RNA（リボ核酸）→ タンパク質となっている。これはセントラルドグマ（中心教義）と呼ばれている。DNA の情報がいったん mRNA（メッセンジャー RNA）に転写され、それからその情報がタンパク質に翻訳される。情報は核酸が、機能はタンパク質が担っている。核酸はタンパク質の働きによってつくられ、そのための情報は核酸がもっている。どちらが先に出現したのだろうか。本講では、分子生物学の立場から、生命の基本的な性格や特徴、仕組み、セントラルドグマ、生命の起源や化学進化、タンパク質と酵素の働き、RNA の基本的な性質と RNA 触媒、進化分子工学、ゲノムと医療などについて、基礎から先端分野まで解説する。

〔教科書〕

特に指定しません

〔参考書〕

配布プリント

『遺伝子情報は人類に何を問うか』 ウエッジ選書 柳川弘志 著 ウエッジ

『新しい地球史・46 億年の謎』 柳川弘志共著 有隣堂

『地球惑星科学入門』 柳川弘志著共著 岩波講座・地球惑星科学第 1 巻 岩波書店

生命の科学

「生命科学の最前線の現況と問題」

2 単位 春学期

〔文経商医薬〕

大前 和幸（コーディネーター）

岡野 栄之 北川 雄光

岡本 真一郎 斎藤 智也

小崎 健次郎 小安 重夫

末岡 浩 相磯 貞和

松本 秀男 藤田 眞幸

白波瀬 丈一郎（出講順）

*医学部生は履修できません。

〔授業科目の内容〕

最近の生命科学の進歩は著しいものがあるが、それにつれて人文、社会科学などとの接点が次第に複雑、多面化しつつある。従って、相互の理解を推進することは益々重要になってきている。このような状況に鑑み、本科目においては現在の生命科学のうち最も先端的なテーマを選定し、人文、社会、理工など他領域との接点に配慮しながら、医学部の研究者が平易な解説を行う予定である。

〔教科書〕

特に指定しない

〔参考書〕

特に指定しない

世界の政治

「グローバル化する世界と EU の挑戦」

2 単位 春学期

〔経商医理薬〕

明田 ゆかり

〔授業科目の内容〕

グローバリゼーションの進行は、17 世紀に誕生した主権国家を構成単位とする国際システムと、主権国家そのものに変更を迫っています。このような状況のなかで、EU（欧州連合）はいち早く主権国家を超越した共同体を実現し、グローバリゼーションの時代における生き残りをかけた挑戦を続けています。EU は地域協力のモデルとして、またグローバル・アクターとして、ますます重要性を高めています。

この講義では EU に対する理解を深めることで、日本は EU の経験から何を学ぶことができるか、また EU と日本がどう付き合っていくかという問題を考えることを目的としています。

はじめにグローバリゼーションと国際社会の課題について検討したうえで、EU の歴史制度を解説し、次に具体的な EU の政策分野を見ていきます。理工学部開設の講座ということで、EU の科学技術政策の最先端の状況についても講義を行います。

講義ではパワーポイントと教材提示装置を用い、毎回講義のハンドアウトを配布します。さらに必要に応じてビデオ、インターネットを活用します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

- ・『EUの国際政治』田中俊郎・小久保康之・鶴岡路人編著
慶應義塾大学出版会 2007年 3800円
- ・『グローバル公共政策』庄司真理子・宮脇昇編著 晃洋書
房 2007年 2300円
- ・『International Relations and the European
Union』, Christopher Hill and Michael Smith, Oxford
University Press, 2005.
- ・『The Globalization of the World Politics』, John
Baylis and Steve Smith, Oxford University Press, 2005.
- ・テーマ毎の参考書は毎回配布するハンドアウトに記載します。

造形・デザイン論（日本の造形・デザイン）

「各時代に見る日本の造形・日本の意匠」 2単位 秋学期
〔経商医理薬〕 木下 京子

〔授業科目の内容〕

モネやゴッホ、ピカソといった西洋の画家の名前を知っている、例えば桃山時代を代表する絵師である狩野永徳や江戸時代に活躍した尾形光琳を知らない人は多いように思われます。歴史的背景を照らし合わせながら日本の美術を学ぶことで、自国の各時代の文化を、そして留学生には留学先の国の文化の理解を促すことが本授業の目標です。

〔教科書〕

授業時に資料プリントを配布

〔参考書〕

『日本美術史』辻惟雄監修 美術出版社 1991年

造形・デザイン論（すぐれた造形・デザイン）

「ヴィジュアルの意味：すぐれた造形、 2単位 秋学期
良いデザインとは？」
〔経商医理薬〕 児島 やよい

〔授業科目の内容〕

「造形・デザイン」を広くとらえ、日常接するもの、メディアで目にするものから、美術、建築、ファッション、映像なども含め、「ヴィジュアル」の意味を考えてみましょう。そのヴィジュアルはなぜカッコイイのか？なぜ人の心を打つのか？と。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

特に指定しません。

授業時にプリントを適宜配布し、参考となる書籍等を紹介し
ます。

地域研究－スペイン事情Ⅰ

「スペインにおける国と地域」 2単位 春学期
〔文経商医薬〕 丸田 千花子

〔授業科目の内容〕

スペインは、その成り立ちから実に多様な文化を融合しながら形成されていった国です。古くはケルト人、フェニキア人、ギリシャ人が到来し、イベリア半島はローマ帝国の属州となり、その後約8世紀にわたりイスラムの支配下にありました。コロンブスがアメリカ大陸を発見した後は、南北アメリカ大陸およびフィリピンを植民地としました。20世紀に入ってはスペイン内戦・フラン

コ独裁政権後、世界でも珍しく国王を戴く立憲君主国として民主化への道を歩み、現在は国際社会で重要な地位を占めています。またスペインは「地域主義」の国でもあります。カタルーニャ、バスク、ガリシアは歴史的に自治の経験がある「歴史的民族」として特別に扱われ、各地域が独自の言語と文化を守ってきました。この授業では文化的にも民族的にも「多様なスペイン」の成り立ちと現在（いま）を学んでいきます。スペインについての基礎知識を習得し理解を深めていきましょう。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

- 『ヨーロッパ読本 スペイン』碇順治他編 河出書房新社
2008年
- 『現代スペイン情報ハンドブック(改訂版)』坂東省二他編
三修社 2007年
- 『現代スペインの歴史』碇順治著 彩流社 2005年
(授業中に適宜プリント、資料を配布)

地域研究－スペイン事情Ⅱ

「スペイン社会におけるジェンダー」 2単位 秋学期
〔文経商医薬〕 磯山 久美子

〔授業科目の内容〕

近現代のスペイン社会を、女性に焦点化して考察する。

教育、労働、意思決定の場への女性の参画、ドメスティック・バイオレンスなどの諸問題をジェンダー視点から考える。必要に応じて映画も教材として用いる。

〔教科書〕

基本的にプリント配布

〔参考書〕

『ヨーロッパ読本 スペイン』河出書房新社 2008年

地域研究－中国事情Ⅰ

「近代中国の歩み」 2単位 春学期
〔文経商医薬〕 宇 振領

〔授業科目の内容〕

中国はアヘン戦争（1840－1842）で負けた。その年から中国が二千年以上も続いた封建社会が終わり、半植民地・半封建社会に入った。それまで、「天朝大国」とうめぼれていたが、この敗戦より強い屈辱感を受けた。アヘン戦争から第二次アヘン戦争（アロー号事件）、清仏戦争、日清戦争、八国連合軍の北京占領・・・、敗戦の連続だった。敗戦の恥をそそぎ、外国列強の抑圧から抜け出す熱望が近現代中国の底流になっている。

当講義では、中国近代史で大きな役割を果たした人物また事件を語ることによって、いまの中国に対する理解を深め、また日中間に横たわる問題が何処にあるかも指摘する。

〔教科書〕

参考資料を配布する

〔参考書〕

適宜に指示する

地域研究－中国事情Ⅱ

「現代中国の歩み」 2単位 秋学期
〔文経商医薬〕 宇 振領

〔授業科目の内容〕

第一次世界大戦と第二次世界大戦の時、アジア唯一の強国—日本はその機に乗じて、中国や東南アジアでの勢力範囲を拡大した。特に、中国での権益を守り、さらに拡大のために、「満洲事変」「盧溝橋事件」などを起こし、八年間も続く「日中戦争」に発展した。中国は国際戦線の一員として戦勝を得た。

その後、蒋介石と毛沢東はさらに五年間の戦争を経て、新中国建国。やっと外国列強の抑圧と戦乱から逃れた人民大衆は、平和な生活を望んだが、それと裏腹に建国後も「運動」に続く「運動」の混乱による災難が余儀なく経験させられた。

当講義では、中国現代史で起った事件を語ることによって、いまの中国に対する理解を深め、また日中間に横たわる問題が何処にあるかも指摘する。

【教科書】

参考資料を配布する

【参考書】

適宜に指示する

地域研究－中国事情 III

「北京の食文化と中国の地域文化」

2 単位 春学期

【文経商薬】

千田 大介

【授業科目の内容】

諸君は漠然と、中国は均一な国民から成り立つ近代的国民国家であると考えているのではなかろうか。だが現実の中国は、言語・文化・気風の大きく異なる地方の連合体としての性格が色濃く、それが文化の面にもさまざまに影響している。

本講義では中国のかかる社会・文化の特質について、北京の食文化を題材に講義する。北京は言うまでもなく中国の首都であるが、その食文化は元明清から現代まで、数百年におよぶ歴史の中で育まれたものであり、さまざまな地域・民族の文化の集合体としての性格を持つ。それへの検討を通じて、現代中国文化の形成過程、中央と地方の関係、伝統文化観といった、中国を考える上での基礎的な知識や視点を提示したい。

【教科書】

『北京なるほど文化読本』千田大介・山下一夫編 大修館書店

【参考書】

必要に応じて教場で指示する。

地域研究－中国事情 IV

「中国同時代文化概説」

2 単位 秋学期

【文経商薬】

千田 大介

【授業科目の内容】

いま現在の中国の文化について、その概略を講義する。

中華人民共和国における文化は、従来、共産党のプロパガンダツールという位置づけであったが、1990 年代の改革開放政策の進展にともなって大きくその姿を変貌させ、今やポピュラーカルチャー全盛と言うべき状況にある。本講義では、まず中国の文化・メディアシステムの概略を解説した上で、音楽（ポップス・ロック）、テレビ、日本アニメ・漫画の受容などを題材に、現代中国文化の現状を考察する。本講義を通じて、中国文化を取り巻く特殊な環境を理解し、現代中国を読み解くための視点を身に付けていただきたい。

【教科書】

『北京なるほど文化読本』千田大介・山下一夫編 大修館書店

【参考書】

『チャイニーズ・カルチャー・レビュー』1～6（6 は近刊）

高屋亜希・千田大介監訳 好文出版

『中国同時代文化研究』創刊号 好文出版

その他、必要に応じて教場で指示する。

地域研究－北米事情 I

「文化地理への入門」

2 単位 春学期

【文経商医薬】

近藤 光雄

【授業科目の内容】

現代、将来のアメリカを理解するために必要な基本について学びます。全米各地の文化地理を紹介します。

将来旅行、留学、滞在を考えている学生には特に有益な授業になると思います。

【参考書】

Luther S Luedtke, Making America, 1988

『世界の地理：図説大百科、アメリカ』田辺裕著 朝倉書店 2000 年

『歴史を深く吸い込み、未来を想う：一九〇〇年への旅、アメリカの世紀、アジアの自尊』寺島実郎著 新潮社 2002 年

『水の環境史：南カリフォルニアの二〇世紀』小塩和人著

玉川大学出版部 2003 年

『風と土のカルテ—色平哲郎の軌跡』山岡淳一郎著 まどか出版 2002 年

地域研究－北米事情 II

「多様なアメリカ文化」

2 単位 秋学期

【文経商医薬】

近藤 光雄

【授業科目の内容】

（北米事情 I を履修していない学生も履修してもかまいません）

現代、将来のアメリカを理解するために必要な基本について学びます。現在のアメリカ社会の多様性についての文化・歴史背景を探って、アメリカ社会をまとめているものは何かを探っていきます。合衆国の人びとのもつどのような価値観からアメリカ合衆国がなぜ世界や日本にたいし現在にいたる態度をとるのか。アメリカ合衆国を中心に北米社会の種々な問題を歴史、言語、文化、エスニックの巨視的観点から論じ講義をすすめます。

【参考書】

『日米同盟の絆』坂本一哉著 有斐閣 2000 年

『アメリカ外交と 21 世紀の世界：冷戦史の背景と地域的多様性をふまえて』五十嵐武士編 昭和堂 2006 年

『Race』Studs Terkel NY: The New Press, 1992

『人種問題』スタッズ・ターケル著 晶文社 1995 年

『グローバリゼーションと帝国』紀平英作他著 ミネルヴァ書房 2006 年

『在日米軍司令部』春原剛著 新潮社 2008 年

『アメリカン・コミュニティ』渡辺靖著 新潮社 2008 年

地域生態文化論

「自然と共存する都市をつくる」

2 単位 春学期 / 秋学期

【文経商】

岸 由二

【授業科目の内容】

自然と共存する都市あるいは都市文化の形成は、環境回復の時代を拓く大テーマのひとつである。本講義は流域を中心とする自然ランドスケープの階層的な地図と生態文化複合の概念を手がかりとして、都市における自然保全、あるいは自然共生型都市づくりの方法、モデル、現在進行中の実践実例などを学ぶ。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

- 『自然へのまなざし』岸由二著 紀伊国屋書店 1996 年
『リバーネーム』岸由二著 リトル・モア 1994 年
『流域圏プランニングの時代』岸由二ほか著 技報堂 2005 年
『変わりゆく共生空間』慶応義塾経済学部編 弘文堂 1999 年
『国土計画を考える』本間義人著 中公新書 1999 年

地域文化論

「都市と近代 2 単位 春学期 / 秋学期
— 19 世紀の首都パリ」

〔経商医理薬〕 宮川 尚理

〔授業科目の内容〕

パリの屋根つき商店街パサージュは、ベンヤミンが 19 世紀を考察するときの出発点でした。一方で、パサージュは 20 世紀前半の前衛運動シュルレアリスムの主要な舞台のひとつでもあります。ベンヤミンの『パサージュ論』をひとつの手掛かりに、パリを舞台にした文学作品を紹介し、19 世紀後半から 20 世紀前半までのパリという都市の変貌を追います。『眠るパリ』、『ファントマ』など、パリを舞台にした初期の無声映画も紹介する予定です。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

『パサージュ論』ベンヤミン著 岩波現代文庫、『ナジャ』ブルトン著 岩波文庫など、授業の中で指示します。

地域文化論 I～IV の今年度開講の授業は次の通りです。

地域科目名担当者

アメリカ	「地域文化論I」	常山 菜穂子
アメリカ	「地域文化論II」	奥田 暁代
アメリカ	「地域文化論III」	鈴木 透
アメリカ	「地域文化論IV」	常山 菜穂子
イギリス	「地域文化論I」	佐藤 元状
イギリス	「地域文化論II」	武藤 浩史
イギリス	「地域文化論III」	横山 千晶
イギリス	「地域文化論IV」	太田 昭子
ドイツ	「地域文化論I」	新谷 崇
ドイツ	「地域文化論II」	三瓶 慎一
ドイツ	「地域文化論III」	岩下 真好
ドイツ	「地域文化論IV」	岩下 真好
フランス	「地域文化論I」	宮下 理恵子
フランス	「地域文化論II」	宮下 理恵子
フランス	「地域文化論III」	大出 敦
フランス	「地域文化論IV」	大出 敦
スペイン	「地域文化論I」	丸田 千花子
スペイン	「地域文化論II」	政田 利奈
ラテンアメリカ	「地域文化論I」	大久保 教宏
ラテンアメリカ	「地域文化論II」	矢澤 達宏
ラテンアメリカ	「地域文化論III」	本谷 裕子
ラテンアメリカ	「地域文化論IV」	本谷 裕子
東アジア・中国	「地域文化論I」	林 秀光
東アジア・中国	「地域文化論II」	安田 淳
東アジア・中国	「地域文化論III」	林 秀光
東アジア・中国	「地域文化論IV」	安田 淳
ロシア	「地域文化論I」	山田 恒
ロシア	「地域文化論II」	山田 恒
東アジア・朝鮮半島	「地域文化論I」	磯崎 敦仁
東アジア・朝鮮半島	「地域文化論II」	磯崎 敦仁

地域文化論 I

「アメリカ研究入門」 2 単位 春学期
〔経法政商医薬〕 常山 菜穂子

〔授業科目の内容〕

今後とも日本にとって重要な国であり続けるアメリカを理解するには、統合化と多様化という相反するベクトルが、この国の推進力としてどのように作用しているのかを把握する必要があります。この授業では、アメリカに関わる問題を扱う際に欠かせない基礎知識や背景的知識を整理しながら、これら二つのベクトルを軸に実験国家としてのアメリカ文化・社会の特質を考えます。アメリカ史の概略も理解できるよう、各回のテーマを組んであります。

〔教科書〕

『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と
多元化の軌跡』鈴木透著 慶應義塾大学出版会 2003 年
2400 円

地域文化論 II

「アメリカ南部論」

【経法政商医薬】

2 単位 秋学期

奥田 暁代

〔授業科目の内容〕

イラクのアブグレイブ刑務所における囚人虐待の実態が明らかになり説明を求められたブッシュ大統領は、虐待写真に「嫌悪を催す」、虐待は「私の知っているアメリカを反映していない」と述べた。虐待の担い手としてマスコミに大々的に報じられ、軍法会議では実刑判決を受けた女性兵士リンディー・イングランドは、南部の田舎出身いわゆる「ヒルビリー」である。アメリカは往々にして犯した過ちやネガティブなイメージを南部の教養もなく貧しい白人に押しつけようとし、このときもそうだった。過去の人種差別にしても現在の移民に対する反発にしても変わらない。

それでいてブッシュ大統領は「南部的」だと言われる。また、上院、下院両議会で実権を握る政治家の多くも南部出身者である。アメリカの恥部を象徴し（あるいはそのスケープゴートとなる）、なおかつアメリカの中核でもある「南部」を歴史的に考察することによって、見えざるアメリカの姿を解明するのがこの授業の目的である。

講義では、

- (1)南部には、奴隷制度、人種差別、貧困、低教育水準などつねに否定的なイメージがつきまとってきた、
 - (2)しかし、南部に内在する諸問題はアメリカの諸問題でもある、
 - (3)しかも、南部はアメリカ社会、文化、政治、経済に多大な影響を及ぼしてきた、
 - (4)現在、アメリカ全体が「南部化」している
- という点を前提に、おおまかに年代を追いながら以下の話題を取り上げ、現代アメリカの抱える諸問題について考えていく。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』鈴木透著 慶應義塾大学出版会 2003 年

地域文化論 III

「9.11 とアメリカの変革」

【経法政商医薬】

2 単位 春学期

鈴木 透

〔授業科目の内容〕

2001 年の 9.11 の事件は、アメリカを、さらには世界を決定的に変えたといわれてきました。しかし、事件後数年が経過した今日、この事件を特別視し、この事件の前と後との断絶感を強調するような、当初は支配的だった感情的な見方に代わって、むしろ、この事件の持つ意味を冷静に相対化し、事件前と事件後との連続性に着目しようとする議論がアメリカでは盛んになりつつあります。アメリカが一変したというのは錯覚で、アメリカは実は事件前から根本的には変わっていない、というか、アメリカは違う姿に本来もっと早く脱皮すべきであったのにそれが先送りされてきた挙句に、この事件によってそうした脱皮の可能性そのものがしぼみ、かえって理想は遠のいているという危機感が、それらの議論の根底には流れているといえるでしょう。このように、9.11 の持つ意味の再検討が変革への希求という色合いを帯びてきている様子は、オバマ政権を誕生させた国民一般の変革への期待とも符合するものです。

そこで、この講義では、アメリカでの 9.11 をめぐる様々な分野での議論の動向を紹介しながら、この事件とそれへの対応がアメリカに及ぼしたものは本当は何だったのか、また、アメリカは一連の経緯からいかなる教訓を引き出すべきなのか、そして、それは今後のアメリカの変革や国際社会との関係にどう活かされるべきなのか、社会的、文化的、法的、政治的、経済的観点から総合的に検証し、アメリカを震撼させた 9.11 が同時に実はアメリカの変革への重要な引き金でもあった可能性について考えてみたいと思います。授業では、特に次の点に留意します。

- ① この事件によってアメリカが一変したというよりは、むしろこの事件への対応の過程で、それまでのアメリカが抱えていた矛盾が改めてより鮮明に暴露されたとみなすことができること
- ② 9.11 後にアメリカに生じた変化を歴史的連続性という物差しで再解釈することは、アメリカが自国の完成度を再認識する糸口を提供するものであり、この作業を封印することはかえってアメリカが自らを見失うリスクがあること
- ③ それゆえ、9.11 前後の状況をアメリカ自身がいかに直視できるかが、オバマ時代の変革の成否をも左右しかねないこと

【教科書】

使用しません。

【参考書】

『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』鈴木透著 慶應義塾大学出版会 2003 年

『性と暴力のアメリカ：理念先行国家の矛盾と苦悶』鈴木透著 中公新書 2006 年

地域文化論 IV

「アメリカ演劇の文化史」

【経法政商医薬】

2 単位 秋学期

常山 菜穂子

〔授業科目の内容〕

「演劇」はもともと社会的な芸術と言われる。それは、日本語で「演劇」とひとことで表される文化形態は「drama（戯曲テキスト）」と「theater（興業、上演）」の二要素からなっており、特に後者の「theater」は時代の流れと観客の要求を強く反映せざるを得ないものだからである。その意味で、現在知りうる演劇史は、作品が制作・上演された状況を記録した「記憶装置」であり、ハムレットの言葉を借りれば「自然の鏡」なのだと言えよう。演劇文化の考察は、その文化を生み出した国家・国民、政治・経済、精神風土を知る有力な手がかりを提供する。本講義では、戯曲テキストの作品解釈を行うのではなく、演劇文化活動を社会的視座から広く取り上げて、text（戯曲作品、一次資料）と context（社会的文脈）を突き合わせることで、その内に意識的あるいは無意識的に織り込まれた「アメリカ」の姿を辿る。

本年度は、17 世紀植民地時代から独立・建国期、19 世紀、20 世紀、そして現代までを時系列に沿って追いつきながら、その時代毎の演劇がいかにアメリカの社会と国民を映し出してきたかを考察し、社会と文化の相互関係を探る視点を養う。

【教科書】

毎回プリント資料を配布し映像作品を使う。プリントは当該回の授業中にのみ配布する。

【参考書】

『アンクル・トムとメロドラマ』常山菜穂子著 慶應義塾大学出版会 2007 年

地域文化論Ⅰ

「イギリス文化を学び捨てる 2 単位 春学期
—イギリス地域文化（超）入門」

【経法政商医薬】 佐藤 元状

〔授業科目の内容〕

本講義では、イギリス文化のありさまをグローバルな視野から問い直すために、イギリス本国（イングランド、スコットランド、アイルランド）の歴史のみならず、イギリスの旧植民地の国々（ケニア、南アフリカ、インド、香港、オーストラリア、ニュージーランド、カリブ海、カナダ）の歴史にも目を向け、イギリス文化が世界各地で現地の文化と混じり合い、ユニークな展開を遂げていく様子を概観します。＜帝国＞という経験の諸相とその歴史的な変遷を理解し、その遺産を知識として継承することは、イギリス文化の本質を体感する機会となるばかりか、私たちの足下を見つめ直す絶好の機会ともなるでしょう。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

『愛と戦いのイギリス文化 1900—1950 年』武藤浩史他編 慶應義塾大学出版会 2007 年

地域文化論Ⅱ

「イギリスの想像力とイギリス社会」 2 単位 秋学期
【経法政商医薬】 武藤 浩史

〔授業科目の内容〕

映画、音楽、文学などの芸術作品を用いて、第二次世界大戦後のイギリス的想像力の諸相と政治・社会・文化との関係を探ってゆきたい。もっとも、戦後は戦前と繋がっているのであるから、戦前のイギリス文化の伝統がどのように受け継がれ、どのように断絶しているかも、合わせて検討することになるだろう。中心を成すのはビートルズを核として世界を席卷した 1960 年代のイギリス発「文化革命」論である。

〔参考書〕

『チャタレー夫人の恋人』D.H.ロレンス著 ちくま文庫

『愛と戦いのイギリス文化史——1900 - 1950 年』川端康雄、武藤浩史他編 慶應義塾大学出版会

地域文化論Ⅲ

「There's No Wealth but Life 2 単位 春学期
—『よりよく生きる』文化論」

【経法政商医薬】 横山 千晶

〔授業科目の内容〕

21 世紀とはどんな時代でしょうか。情報化の波、環境問題、広がる格差、衝突する価値観、宗教と倫理の相克……。現代はともエキサイティングな時代であると同時に、大変生きにくい時代でもあります。だからこそ、次のキーワードが私たちの時代を生き抜く鍵となっています。それは ethical living。いったいここで言う ethical とはどんなことでしょうか？倫理的？おそらくこの言葉は生物であるヒトとして、思考する人として、自立し、同時にさまざまな他者と共存していく生き方をさしています。さまざまな価値観

がぶつかり合い、知らず知らずのうちに自己中心的な私たちの活動がもう後戻りできないほど自分たちもその一部であるはずの環境を壊してしまったという意識がこのような生き方を提唱するようになったのでしょうか。

しかしこの感覚や思考は 20 世紀以降に生まれたものでしょうか？実は同じように、さまざまな価値観の創出の興奮と衝突の問題に直面していたのが、19 世紀のイギリスです。産業革命をいち早く成し遂げたイギリスでは、科学と宗教、自然と土地開発、階級間の相克と共存など、新旧の価値観がせめぎ合いつつも共存を計ろうとした時代でした。同時に芸術を始めとし、さまざまな人間の創造的な活動が大量生産と資本主義の中に組み込まれ、大きく変化していく時代でもあります。

そんな変化の中で、人々はどうのようにして生きる足場を築き、よりよく生きる意義を見出そうとしたのか。そして、その試みはどのように現在のエシカルな思考と志向に影響を与えているのか。その源をたどることがこの講義の目標です。取り上げていくテーマはまさに今の私たちにも大に関係する「環境」「消費」「化学」そして「未来への夢」です。過去を振り返ることで前へと進んでいくヒントをつかみましょ。ただし、常に批判的な視点を持ち続けることが大切です。

そして授業の最後に問いただしてみてください。ethical living とは皆さんにとって、本当によりよく生きる方法なのかどうか。

〔教科書〕

なし。ハンドアウトを使います。

〔参考書〕

『ジョン・ボールの夢』ウィリアム・モリス著 晶文社 2000 年

『愛と戦いのイギリス文化史 1900 - 1950 年』武藤浩史他編 慶應義塾大学出版会 2007 年

地域文化論Ⅳ

「愛と戦いのイギリス文化——20 世紀前半篇」2 単位 秋学期
【経法政商医薬】 太田 昭子

〔授業科目の内容〕

20 世紀前半には、さまざまな領域でイギリス文化が花開いた。アルフレッド・ヒッチコックとチャーリー・チャップリンという 2 人のイギリス人が揺籃期の映画を 20 世紀の芸術に育て上げた。コナン・ドイルがシャーロック・ホームズを書き、アガサ・クリスティがエルキュール・ポワロやミス・マープルを生んで、探偵小説が一大ブームをまきおこした。J.M.バリの戯曲『ピーター・パン』は、子供だけでなく大人も楽しめる意味深な児童文学を誕生させた。『タイム・マシン』『透明人間』『宇宙戦争』を書いた SF 小説の父 H.G.ウェルズがいた。繊細きわまる女流作家ヴァージニア・ウルフや『チャタレー夫人の恋人』を書いた爆弾児 D.H.ロレンスがいた。ラジオや大衆新聞が大流行し、ウェンブレイ・スタジアムが出来て、プロ・サッカーが盛り上がった。

しかし、文化が花開く時代は常に激動と混乱の時代でもある。20 世紀前半のイギリス社会は、第一次世界大戦に大きく傷めつけられ、フェミニズムと婦人参政権が絡んだ女性運動に揺さぶられ、精神分析やオカルトが流行り西洋的理性信仰が弱体化して、インドやアイルランドの独立問題で頭を悩ませた。しかし、アメリカの追い上げにも関わらず、いまだイギリスは世界最大の植民地を誇り、構造改革と不況による深刻な階級戦争と失業問題にもかかわらず、経済は成長を示した。そして、ヒトラーとナチス政権の誕生、第二次世界大戦、戦時中の左傾化。その

結果、1945 年には労働党が多数派となり、戦後福祉社会が実現する。

本講義では、このような 20 世紀前半の多彩な文化を、さまざまな角度から紹介する。われわれが編集した『愛と戦いのイギリス文化史』から美味しいところを抜き出し、武藤・横山・佐藤・太田を中心に、他の研究者の協力を得て、イギリス文化の楽しさと怖さを紹介していきたい。

〔教科書〕

『愛と戦いのイギリス文化史 1900 - 1950 年』武藤浩史他編 慶應義塾大学出版会 2007 年

〔参考書〕

参考文献については、毎回の授業の中で紹介していきます。

地域文化論 I

「ドイツ語圏の歴史と文化——入門」

2 単位 春学期

〔経法政商医薬〕

新谷 崇

〔授業科目の内容〕

ドイツ語圏に関する基礎的諸事実、第二次大戦までの歴史の概観、文化芸術の諸相について学ぶ。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

適宜紹介する。

地域文化論 II

「戦後ドイツ—あゆみと葛藤」

2 単位 秋学期

〔経法政商医薬〕

三瓶 慎一

〔授業科目の内容〕

日本の戦後史との比較も含め、第 2 次大戦終結から現在までを通史的に講じる。現代ドイツを理解するために不可欠な、主として政治的事件を中心としたドイツ戦後史の通史的理解を得つつ、同時にドイツ語の現代史用語の習得を目指す。コンピューターソフト、インターネットを駆使し、CD、ビデオ、スライド等の資料を多用する講義形式である。

〔教科書〕

各自がまとめたノート。

〔参考書〕

初講日に網羅的文献リストを配布する予定。

地域文化論 III

「ニーチェ、マーラーとその時代」

2 単位 春学期

〔経法政商医薬〕

岩下 真好

〔授業科目の内容〕

現代まで大きな影響力をもつドイツの思想家フリードリヒ・ニーチェ (1844 ~ 1900) の生涯と思想を見渡したのち、そのニーチェの影響を強く受けた作曲家グスタフ・マーラー (1860 ~ 1911) の人と作品を考察します。

それを軸にして 19 世紀後半から 20 世紀初頭のドイツ語圏の文化状況を眺めてみようと思います。そのうえで、ニーチェの思想、マーラーの音楽が、その後、現代にいたるまで、どのような影響をもったかについても触れるつもりです。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

授業時に指示します。

地域文化論 IV

「ウィーン文化」

2 単位 秋学期

〔経法政商医薬〕

岩下 真好

〔授業科目の内容〕

19 世紀末から 20 世紀前半のウィーンは、文学、音楽、美術、建築、思想、学術といった多様な分野で革新的な仕事を成し遂げた人々を数多く輩出しました。たとえば、文学ではシュニツラー、ホーフマンスタール、ムージル、音楽ではシェーンベルク、ベルク、ウェーバーン、美術ではクリムト、シーレ、ココシュカ、建築ではワグナー、ロース、哲学ではヴァイトゲンシュタイン、精神医学ではフロイトといった人々です。この時期のウィーンを、まずその前提となるバロック文化から始めて全般的に眺めたいので、今年、ホーフマンスタール、シェーンベルクとベルクあたりを少し詳しく考察するつもりです。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

授業時に指示します。

地域文化論 I

「フランスの地理・産業・社会・歴史」

2 単位 春学期

〔経法政商医薬〕

宮下 理恵子

〔授業科目の内容〕

フランス語の学習者あるいはフランスに関心のある受講生を対象として、ごく基本的なフランスに関する知識を習得してもらうことを目的とした講義です。I、II と連続した内容ですが秋学期のみの受講も可能なように授業を進めるつもりです。

〔教科書〕

特に使用しません。プリントを配布します。

〔参考書〕

2 点紹介します。

『フランス史 10 講』初版 柴田三千雄著 岩波書店 (岩波新書 1016) 2006 年 ISBN:4-00-431016-4

『新訂ヨーロッパの歴史』初版 江川温著 放送大学教育振興会 2005 年 ISBN:4-595-30552-4 C1322

地域文化論 II

「フランスの歴史・文学・芸術」

2 単位 秋学期

〔経法政商医薬〕

宮下 理恵子

〔授業科目の内容〕

フランス語の学習者あるいはフランスに関心のある受講生を対象として、ごく基本的なフランスに関する知識を習得してもらうことを目的とした講義です。I、II と連続した内容ですが秋学期のみの受講も可能なように授業を進めるつもりです。

〔教科書〕

特に使用しません。プリントを配布します。

〔参考書〕

2 点紹介します。

『フランス史 10 講』初版 柴田三千雄著 岩波書店 (岩波新書 1016) 2006 年 ISBN:4-00-431016-4

『新訂ヨーロッパの歴史』初版 江川温著 放送大学教育振興会 2005 年 ISBN:4-595-30552-4 C1322

地域文化論 III

「フランス 1885 年 第三共和制的 2 単位 春学期

「自由」を巡る言説 I」

【経法政商医薬】 大出 敦

〔授業科目の内容〕

この授業では、政治史、経済史、文学史、芸術史といったテーマ毎の通史ではなく、それぞれの領域で、ある概念がどのような姿を取るかを浮き彫りにしていきたいと思います。ここではフランスの第三共和制下での政治・経済や文化の領域での「自由」という概念の諸相を見ていきます。特に 1885 年というフランス史ではいくつかの点で大きな転換点となった年を中心に、この前後数年について考察したいと考えています。トピックとなるのは、地域文化論 IV とあわせて、ユゴーの国葬、自由の女神の建設、ラヴィスの歴史教科書、象徴主義宣言、印象派の終焉、植民地問題などです。

1885 年はヴィクトル・ユゴーの国葬が最も大きな出来事であったといってよいでしょう。国民的な詩人だったとはいえ、なぜユゴーという詩人が国葬に伏されたのか、という問題から第三共和制が「自由」をどのように体制的なものにしようとしたのかを考察します。またこうした飼い馴らされた「自由」に対する反動といったものがどういったものであったか、という点も明らかにしていきたいと思います。

また授業では、講義と並行して、授業関連の文献検索、データベースの構築、レポートの制作といったこともみなさんに実践してもらい、評価の一部とします。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業中に各自に制作してもらいます。

地域文化論 IV

「フランス 1885 年 第三共和制的 2 単位 秋学期

「自由」を巡る言説 II」

【経法政商医薬】 大出 敦

〔授業科目の内容〕

この授業では、政治史、経済史、文学史、芸術史といったテーマ毎の通史ではなく、それぞれの領域で、ある概念がどのような姿を取るかを浮き彫りにしていきたいと思います。ここではフランスの第三共和制下での政治・経済や文化の領域での「自由」という概念の諸相を見ていきます。特に 1885 年というフランス史ではいくつかの点で大きな転換点となった年を中心に、この前後数年について考察したいと考えています。

地域文化論 III では、ヴィクトル・ユゴーの国葬と第三共和制との関係を見ましたが、地域文化論 IV では、これを発展させて、この前後の歴史現象を分析し、「自由」のあり方について、考察します。トピックとなるのは、自由の女神の建設、ラヴィスの歴史教科書、象徴主義宣言、印象派の終焉、植民地問題などです。

また地域文化論 IV では、講義と並行して、プレゼンテーション用のアプリケーションを用いたプレゼンテーションの仕方の初歩を学習し、最終的には発表してもらいます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業中に各自に制作してもらいます。

地域文化論 I

2 単位 春学期

【経法政商医薬】 林 秀光

〔授業科目の内容〕

中国という国は観察の対象としてそれ自体不思議な国である。その上、偏見や先入観で観察するとなおなら「怪しい」国になってしまう。この講義は中国の実像に迫り、中国を客観的に捉えられるようにするのが目標である。

〔教科書〕

とくに指定しない。

〔参考書〕

講義の内容に応じてそのつど指定する。

地域文化論 II

「東アジアの中の日中関係」

2 単位 秋学期

【経法政商医薬】 安田 淳 林 秀光

〔授業科目の内容〕

今日、日中関係にはさまざまな問題が生じているが、この日中関係は東アジアにとっても世界全体にとっても重要な国際関係の一つである。この授業では、そうした日中関係を総合的・歴史的に検討し、今後の日中関係を考察するための材料を提供する。単なる日中関係の通史を学ぶのではなく、これまで比較取り上げられることの少なかった事象にも、東アジアの中の日中関係という視点から光を当てることが、この授業の目的である。したがって近現代の日中関係に関する多様な分野のそれぞれの専門家を招き、オムニバス形式で授業を展開する。なおこの授業は東アジア研究所の協力を得て開講される。

〔教科書〕

初回ガイダンス時及び授業中に提示する。

〔参考書〕

初回ガイダンス時及び授業中に提示する。

地域文化論 III

「現代中国の軍事・国防」

2 単位 春学期

【経法政商医薬】 安田 淳

〔授業科目の内容〕

現代中国が、その歴史的な要因、多様な環境、地理的位置関係などいずれの点においても、世界の安全保障環境に大きな影響を与え、また国際関係から大きな影響を受けていることは改めて言うまでもない。なかでも中国の軍事については、まだ不明な点も多く、また理解も不足している。中国の、またひいては東アジアの安全保障を考察する際に無視することのできない中国の軍事についての理解を深め、併せて中国の安全保障にかかわる諸問題についての基礎的な知識を習得することが、この講義の目的である。

〔教科書〕

講義中に適宜、提示する。

〔参考書〕

講義中に適宜、提示する。

地域文化論Ⅳ

「現代中国の安全保障と東アジア」

2 単位 秋学期

〔経法政商医薬〕

安田 淳

〔授業科目の内容〕

現代中国の安全保障の総論から、個別の安全保障上の問題までを概観し、中国のみならず、日中関係や東アジア情勢をも考察できるようになるための基本的事実を解説する。

〔教科書〕

講義中に適宜、提示する。

〔参考書〕

講義中に適宜、提示する。

地域文化論Ⅰ

「スペイン文化入門」

2 単位 春学期

〔経法政商医薬〕

丸田 千花子

〔授業科目の内容〕

現在、国連の公用語になっているスペイン語を話す人口は約 3 億 5 千万人、スペイン語圏は約 20 カ国の国と地域に広がっています。この広がりとはひとえにスペインが 15 世紀以降、アメリカ大陸などにその領地を展開していった結果といえます。この授業は広範なスペイン語文化圏を築く基礎となったスペインについて学びます。スペインには世界遺産として現在約 40 点の文化・自然遺産が登録されており、それらが属する時代は紀元前約 2 万年から 20 世紀までです。またローマ帝国の属州時代に半島にもたらされたキリスト教文化が 8 世紀から 15 世紀までスペインを支配したイスラム教文化などの異文化との融合により、他のヨーロッパ諸国とは異なる独特の文化を形成してきました。授業では「闘牛、フラメンコ、サッカー」という固定化されたイメージとは異なるスペインのもつ様々な面を紹介し、スペインという国の全体像に迫っていききたいと思います。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

『スペイン史(1)・(2)』関、中塚、立石編 山川出版社 2008 年

『スペイン三千年の歴史』ドミンクス・オルティス著 昭和堂 2006 年

(授業中に適宜紹介します)

地域文化論Ⅱ

「知りたいスペイン、触れたいスペイン文化」 2 単位 秋学期

〔経法政商医薬〕

政田 利奈

〔授業科目の内容〕

スペインは日本人にとって親しみを覚える国の一つではないでしょうか。様々な情報を手にすることができる現代では、一昔前まで私たち日本人がスペインにいただいていた固定概念的なイメージ、「フラメンコ」「情熱の国」「闘牛」は、少しずつ払拭されてきています。日本の 1.3 倍の国土に 17 の自治州が存在し、それぞれの地域に特色があり、それぞれがそこに大きな誇りと愛着を抱いている国。スペインの魅力はそこから生まれる多様性にあると言えるでしょう。この授業ではそんなスペインを皆さんがもっと身近に感じられるよう、また多くの新しい発見ができるようにしたいと思っています。取り上げるテーマは、地理と地域性、美術

(ベラスケス、ゴヤ、ピカソ、ダリ、ミロを中心に)、建築 (ガウディを中心に)、娯楽・芸能 (音楽、映画、フラメンコ)、食文化、祭り、行事、スペイン王室、現代のスペインにおける社会問題、スペインと中南米諸国の関係など多岐にわたります。そして同時にそれぞれのテーマの根底にあるこの国の歴史にも触れながら考察していきます。このセメスターが終わる時に、皆さんの中にスペインとはスペイン人とはスペイン文化とは何かという核となる考えが構築されているように、一緒におのおののテーマについて考えていきましょう。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

授業の中で適宜紹介します。

地域文化論Ⅰ

「中米・カリブ海地域とメキシコ」

2 単位 春学期

〔経法政商医薬〕

大久保 教宏

〔授業科目の内容〕

一口にラテンアメリカと言っても、あまりにも広大な地域であり、国の数も多いため、当地域文化論Ⅰでは便宜的にパナマより北の部分の扱いをします。そこには世界でも有数の小国地帯かつ「文化混淆地帯」である中米・カリブ海地域が広がっています。この地域に着目することで、大国、先進国中心の現代世界の捉えられ方を相対化することができます。また、「ラテンアメリカは本当にラテン文化圏なのか」という具合に地域と文化の関連を問うことも可能です。併せて、「ラテンアメリカの大国」メキシコについても学ぶことで、同じラテンアメリカという地域内での対照性を見ることができでしょう。取り上げるテーマは、宗教、人種、言語、運河、鉄道、バナナ、コーヒー、さとうきび、海賊、地震、火山、国立公園、遺跡、革命、内戦、非武装中立、ノーベル平和賞、経済統合など様々です。これらを通して国をこえた地域としての連続性とその内部での多様性、地域内各国の個性について考察していきます。

「国と地域」という視点から講義を進める関係上、ラテンアメリカ、カリブ海地域 33 カ国の国名、首都名、場所くらい憶えてほしいので、期末試験でこれらを問う問題も出します。スリナムの首都はパラマリボで、アンティグア・バーブーダの首都はセントジョンズだ、といったことを憶えてもらいます。くだらないと思われるかもしれませんが、たとえば首都がロンドンであることを知らずにイギリスのことを、イタリア、スペイン、ドイツなどと接していることを知らずにフランスのことを語れないのと同じと考えてください。

地域文化論Ⅱ

「ブラジルの社会と文化」

2 単位 秋学期

〔経法政商医薬〕

矢澤 達宏

〔授業科目の内容〕

「ブラジル」と聞いて、何を思い浮かべるであろうか？ サッカー、コーヒー、サンバ、アマゾン、日系人——これらはたしかにブラジルを語るときには欠かせないキーワードではあろう。しかし、これらキーワードを挙げるとき頭のなかで描いているイメージは、それらの実際のありようとの程度まで合致しているであろうか？ また、一般的に流通しているこうしたキーワードでは象徴

されてこなかったブラジル社会の横顔には、どのようなものがあるだろうか？

ブラジルの社会や文化の様々な側面は、かねてより外部の人々の好奇心を刺激し、それに触れた多くの者たちを魅了してきた。「未来の国」、「人種の楽園」など、これまでに生み出されてきた数々のレッテルがそのことを物語っている。しかし同時に、そこに足を踏み入れ、容易ならざる社会矛盾を目の当たりにして、とまどいを覚えてきた人々もまた少なくない。理想、希望と現実とが交錯し、表裏一体をなすブラジル社会は、多くの人々にとって様々な示唆に富んだ興味深い対象であるに違いない。

この授業は、ブラジルの社会・文化のなりたちと現在のありように対する理解を深めてもらうことを目的とするものである。主たる対象はブラジルのケースではあるものの、性格を共有する地域として、あるいは比較の対象として、他の南米諸国に関しても折に触れて言及していければと思っている。

なお、ビデオやスライドをできるかぎり利用していく予定である。
〔教科書〕

本授業では特定の教科書は使用せず、各トピックごとに要点をまとめたレジュメと、必要に応じて資料を配布する予定である。

〔参考書〕

一般的なものとして、以下のものを挙げておく。その他についてはトピックごとに適宜、紹介していきたい。

『現代ブラジル事典』ブラジル日本商工会議所編 新評論 2005 年

『ブラジルの歴史——ブラジル高校歴史教科書』シッコ・アレックス他著 明石書店 2003 年

『新しいブラジル——歴史と社会と日系人（新版）』斉藤広志著 サイマル出版会 1983 年

『ブラジルを知るための 55 章』アンジェロ・イシ著 明石書店 2001 年

地域文化論 III

「メソアメリカからラテンアメリカ世界を知ろう、2 単位 春学期 楽しもう！」

〔経法政商医薬〕 本谷 裕子

〔授業科目の内容〕

この授業では、メキシコ・グアテマラを中心とするメソアメリカ地域を中心に、ラテンアメリカ世界の不思議とその魅力について学んでいきます。内容は、アステカ・マヤをはじめとする先スペイン期のお話（遺跡がいろいろ）、チョコレートやとうもろこし、とうがらしなどメソアメリカ原産の食べ物のお話、メキシコ建国に見る国民国家形成とアイデンティティのお話、メキシコ南部からグアテマラ北西部に広がる標高 1500 メートルの高地に暮らすマヤ系先住民の知られざる世界にて、お宝求めて道なき道を行くフィールドワーカー（私のことです）のフィールドこぼれ話などを予定。考古学・歴史学、民族学や文化人類学のエッセンスを踏まえながら、メソアメリカ地域の抱える社会経済的問題や文化的諸問題について、みなさんとともに考え、学んでいきたいと思います。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

初回授業にてお話しします

地域文化論 IV

「グローバリゼーションの幕開け - 15 世紀 2 単位 秋学期
「大航海時代」から 21 世紀の現代へ」

〔経法政商医薬〕 本谷 裕子 小笠原 小枝
松森 奈津子 榊 玲子
伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

「グローバリゼーション」、みなさんはこの言葉を耳にされたことはありますか？

運輸や通信技術の爆発的な発展や冷戦崩壊後の自由貿易圏の拡大により、世界各地で国境にとらわれない文化的・経済的紐帯が促進されていくプロセスを意味する「グローバリゼーション」。私がタベおいしいといった鶏肉料理とは「ブラジル」産の鶏肉が「スペイン」のオリーブオイルで焼かれ、「ボリビア」の塩で味付けされたものであったり、実は昨年午前 12 時に私が携帯電話で話していた友人とは、前日正午、真夏のアルゼンチン・ブエノスアイレスにいるファンくんだったり、すなわち、私と私をとりまくこうした現実が、みなさんにとってもありふれた日常の一コマととらえられるほどに、現在、私たちは日々の暮らしのさまざまな局面でグローバリゼーションのもたらす数々の恩恵を享受しています。そこで、この講義では、グローバリゼーションを歴史的アプローチから捉える試みとして、15 世紀、航路の発見とともに世界規模での貿易関係が展開されるようになった「大航海時代」を皮切りに、スペインとポルトガル、メキシコ（ヌエバエスパニャ）・アジア（日本・フィリピン）のあいだで展開された『人とモノと思想』の移動と交換のダイナミズムを、15 世紀から 21 世紀の現代へと遡っていきます。なお、この講義は、それぞれのテーマに関し、その研究分野におけるエキスパートの方々をゲストスピーカーにお招きするオムニバス形式の授業となっています。どうぞ、お楽しみに！！

地域文化論 I

「ロシア文化の基盤を探る」 2 単位 春学期
〔経法政商医薬〕 山田 恒

〔授業科目の内容〕

ロシア文化の基本的な部分を紹介します。ただ残念ながらロシア文化は総合的に紹介されていません。そこで春学期にはロシア民族の成立過程、ロシアの自然と地理的条件、民族固有の信仰、キリスト教の受容といったロシア文化を特徴づける基盤を紹介します。

例えばドストエフスキーの『罪と罰』で主人公が何故、大地に接吻し許しをこうのか？これは古くからの「地母神」信仰を知らない限り読み解くことは出来ません。またチャイコフスキーの『白鳥の湖』には、非業の死を遂げた若い女性の形象である「ルサルカ」信仰が強く影響しています。こうした古来の信仰とともにキリスト教、正確にはロシア正教もロシア文化では大きな意味を持っています。例えばドストエフスキーの『カラマーゾフの兄弟』では、神は存在するのか？が作品のテーマとなっています。

こうした基本的な部分をふまえた上で、学期後半にはロシア文学を取り上げますが、決してロシア文学史ではありません。

関連項目として、伊豆の戸田とロシア、格闘技サンボと柔道、ロシアにおける司法制度改革と文学といったプレゼンテーションを行ってもらうことを考えています。

〔教科書〕

この講義に適した教科書はありません。

〔参考書〕

基本的には板書せず、ペーパーを配布し、そのペーパーのなかで参考文献を紹介します。

地域文化論Ⅱ

「ロシア芸術論」

2 単位 秋学期

〔経法政商医薬〕

山田 恒

〔授業科目の内容〕

秋学期は二分割し、ロシア文化の特質を更に深く理解してもらうために、ロシア芸術の二つの分野を選び、紹介します。映像（ロシア映画、エイゼンシュテインからソクーロフへ）とバレエ（農奴劇場、チャイコフスキー、チャーギレフなど）を予定しています。

映画論では日本文化、歌舞伎と絵画がエイゼンシュテインに与えた影響、ことに彼の映画理論構築に与えた影響を紹介します。またタルコフスキーやソクーロフといった世界的な映画監督も日本と強い関係をもっています。出来るならそこまで踏み込みたいと考えています。ただ時間的な制約がありますので、ペーパーを配布し、授業時間中には作品を見たいと思っています。

ロシアバレエの歴史、ことに農奴劇場との関係、さらにチャイコフスキーのバレエ作品におけるロシア的特徴を紹介します。またチャーギレフの率いたバレエ・リュスが西欧世界に与えた衝撃も論じたいと考えています。12 月末には『クルミ割り人形』を鑑賞します。

いずれにせよ作品を見るチャンスを多く取りたいと思っています。

ただし映画とバレエに替えて、演劇（例えば、チェーホフとモスクワ芸術座）を取り上げることも考えています。その場合には受講生諸君と相談して決定します。

春学期と同様、数回のアンケートを行いますので、疑問点などは、そこに記入してください。必ず回答します。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

かなり大部のペーパーを配布します。その中で参考文献を紹介します。

地域文化論Ⅰ

「北朝鮮入門—上部構造」

2 単位 春学期

〔経法政商医薬〕

磯崎 敦仁

〔授業科目の内容〕

大学生として知っておくべき北朝鮮に関する基礎知識について講義し、問題意識を深めてもらう。特定のイデオロギー・思想に捉われない、客観的で学術的な講義を展開する。

春学期配当の地域文化論Ⅰ（東アジア・朝鮮半島）では、朝鮮語圏の全体像—地理、言語、文化等—について概説した後、北朝鮮現代史に焦点を当てる。1945 年の「解放」後から現在に至るまでを振り返り、金日成（김일성）、金正日（김정일）という二人のリーダーや朝鮮労働党が果たした役割、「主体」・「先軍」といったキーワードを読み解く。後継者問題、核問題、六カ国協議等の現状分析も織り交ぜ、必要に応じて映像資料も用いる。北朝鮮の位置や首都名といった超基礎的事項から社会主義、共産主義、全体主義、独裁といった諸概念まで分

かりやすく解説するので、世界史や政治経済、朝鮮語等の前提知識は問わない。

〔教科書〕

開講時に指示する。

〔参考書〕

『危機の朝鮮半島』小此木政夫編 慶應義塾大学出版会 2006 年

『金日成と金正日』徐大粛著 岩波書店 1996 年

『北朝鮮—社会主義と伝統の共鳴』鐸木昌之著 東京大学出版会、1992 年

『北朝鮮はるかなり』成蕙琅著 文春文庫 2003 年

『闇からの罅』（上・下巻）崔銀姫・申相玉著 文春文庫 1989 年

『金正日の料理人』藤本健二著 扶桑社 2003 年

『現代用語の基礎知識』自由国民社 2008 年度版

地域文化論Ⅱ

「北朝鮮入門—下部構造」

2 単位 秋学期

〔経法政商医薬〕

磯崎 敦仁

〔授業科目の内容〕

大学生として知っておくべき北朝鮮に関する基礎知識について講義し、問題意識を深めてもらう。特定のイデオロギー・思想に捉われない、客観的で学術的な講義を展開する。

秋学期配当の地域文化論Ⅱ（東アジア・朝鮮半島）では、日朝関係、中朝関係、北朝鮮の経済・社会などに焦点を当てる。食糧問題、脱北者問題、マスゲーム、北朝鮮の映画やドラマ、市民の日常生活等にも触れる。それらの理解を促すために各種映像資料を用いたり、様々な北朝鮮製品を実際に手にとって見てもらう予定である。基礎から分かりやすく講義するので、世界史や政治経済、朝鮮語等の前提知識は問わない。

〔教科書〕

開講時に指示する。

〔参考書〕

『北朝鮮「虚構の経済」』今村弘子著 集英社新書 2005 年

『北朝鮮の経済—起源・形成・崩壊』木村光彦著 創文社 1999 年

『韓流ハンドブック』小倉紀蔵・小針進編 新書館 2007 年

『北朝鮮に消えた友と私の物語』萩原遼著 文春文庫 2001 年

『北朝鮮（ARC レポート）』世界経済情報サービス 2008 年

『朝鮮民主主義人民共和国 対外貿易統計 2007』WTS 2007 年

『現代用語の基礎知識』自由国民社 2009 年度版

地学Ⅰ（金 4・5）

「地球は生きている惑星」

2 単位 春学期

〔文経商理薬〕

大路 樹生

*理工学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

地球は他の死んだ惑星とは異なり 45 億年にわたって生き続けている惑星である。この「地学Ⅰ」では、地球の基本構造の理解、地震、火山などのなじみ深い現象から学び、この地球がダ

イナミックな動きを持つ特異な惑星であることを理解する。理科系科目に弱い学生にも配慮し、基礎的な所から分かりやすく講義するつもりである。

〔教科書〕

資料集を配布します。

〔参考書〕

『地球を動かしてきた生命』ピーターウェストブルック著
遠藤・阿部・大路訳 国際書院 2,625 円

地学 II (金 4・5)

「地球と生命の歴史」

2 単位 秋学期

〔文経商理薬〕

大路 樹生

*理工学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

地球表層環境と生命は互いに影響を及ぼしながら、いわゆる「共進化」を行ってきた。「地学 II」では、生命進化を中心とした地球史をたどり、生命現象が地球表層環境とどのようにかわりながら進化してきたのかをたどる。理科系科目に弱い学生にも配慮し、基礎的な所から分かりやすく講義するつもりである。

〔教科書〕

『海のパレオバイオロジー』大路樹生著 東京大学出版会
2009 (予定)

また、資料集を実費販売します。

地学 I

「地球を知る一測地学入門」

2 単位 春学期

〔文経商理薬〕

里 嘉千茂

*理工学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

地球は私たちの生活の場であり、それについてよりよく理解することは基本的に重要なことであると思います。この授業では、地球を測地学的な観点から概観し、その理解を深めることを目的とします。まず、地球の形と大きさに関連して地球球形説や地球楕円体説などから入っていきます。次いで、測地測量や近年発展してきた GPS に代表される宇宙測地技術、さらに、地殻変動や地球の重力とその測定方法、地球磁場、地球潮汐と地球回転などについて概説します。

〔教科書〕

特に指定しません。最初の授業時に講義資料プリントをまとめて配布します。

〔参考書〕

『簡明 地球科学ハンドブック』力武常次著 聖文社 1992 年 ISBN9784792213329

『地球が丸いってほんとうですか？ - 測地学者に 50 の質問』日本測地学会監修・大久保修平編著 朝日新聞社 2004 年 ISBN9784022598523

地学 II

「地球を知る―地震・火山・テクトニクス―」

2 単位 秋学期

〔文経商理薬〕

里 嘉千茂

*理工学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

私たちの生活の場である地球を、地震や火山、テクトニクスなどの観点から概観し、その理解を深めることを目的とします。はじめに、身近な地学現象であり、かつ、私たちの生活にも関連

が深い地震や火山などについて、地球内部構造にも触れながら重点的に講義します。次に、これらの地学現象と密接に関連するプレートテクトニクスについて、その基礎として的大陸移動説や海洋底拡大説、さらに、より新しい考えであるブルームテクトニクスにも触れながら、概説します。

〔教科書〕

特に指定しません。最初の授業時に講義資料プリントをまとめて配布します。

〔参考書〕

『地震の科学』パリティ編集委員会編 丸善 1996 年
ISBN:9784621042328

『地震予知の科学』日本地震学会地震予知検討委員会編
東京大学出版会 2007 年 ISBN:9784130637060

『宇宙 地球 地震と火山』増補版 木庭元晴編著 横山順一・桑原希世子・貝柄徹・青木成一郎共著 古今書院 2007 年 ISBN:9784772220026

地学 I

「地球システムの科学」

2 単位 春学期

〔文経商理薬〕

鹿園 直建

*理工学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

以下の内容の授業を行う。

1. 地球惑星システムの構成物質についての理解を深める。
2. 地球システム構成物質間の相互作用(地学現象)
3. 人間-自然システム間の相互作用(資源、環境問題)

〔教科書〕

『地球システム科学入門』鹿園直建著 東京大学出版
1992 年

〔参考書〕

『地球システムの化学』鹿園直建著 東京大学出版会
1997 年

『廃棄物とのつきあい方』鹿園直建著 コロナ社 2001 年

地学 II

「地球惑星のシステムの科学」

2 単位 秋学期

〔文経商理薬〕

鹿園 直建

*理工学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

以下の内容の授業を行う。

1. 人間-自然システム間相互作用(環境、自然災害)
2. 地球システムの進化

〔教科書〕

『地球システム科学入門』鹿園直建著 東京大学出版会
1992 年

〔参考書〕

『地球システムの化学』鹿園直建著 東京大学出版会
1997 年

『廃棄物とのつきあい方』鹿園直建著 コロナ社 2001 年

地学 I

「宇宙の科学」

2 単位 春学期

〔文経商理薬〕

坪田 幸政

*理工学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

宇宙の科学の基礎と自然観の変遷を学習する。そして、現代の宇宙観や地球観を養い、現代社会と科学の関係について考える。

〔教科書〕

『宇宙の科学』坪田幸政訳 丸善

〔参考書〕

『100 億年を翔ける宇宙』加藤万里子著 恒星社厚生閣

地学 II

「地球システムの基礎」

2 単位 秋学期

〔文経商理薬〕

坪田 幸政

*理工学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

このコースはアメリカで開発された「地球規模の変動」を理解するためのプログラム (Global Change Instruction Program) を用いて、地球規模の環境やその変化について学習する。

太陽・地球システム、地球史における気候変動、雲と気候変化、成層圏オゾンの破壊、変化する気候の天気と人間活動への影響の各モジュールを学習し、持続可能な社会についての理解を深め、地球人として自ら判断・行動できるようになることを目標とする。

〔教科書〕

『地球システムの基礎 地球環境変動と人間活動』坪田幸政訳編 成山堂書店

<http://www.dpc.ucar.edu/globalChange/index.html>

〔参考書〕

『不都合な真実』枝廣淳子訳 アル・ゴア著 ランダムハウス講談社

『インターネット気象学』坪田幸政・吉田優著 クライム

地球科学概論 I

「気象学概論」

2 単位 春学期

〔商理薬〕

坪田 幸政

〔授業科目の内容〕

- ・地球科学の諸分野の中の気象学を体系的に学習します。
- ・この授業を通して気象学の基礎を理解し、地球環境問題に対して、各自の意見を持てるようになることがこの授業の目的となります。
- ・内容は気象予報士試験の学科試験と一致しており、履修者の中から夏の試験の合格者が出ています。

〔教科書〕

『一般気象学 第 2 版』小倉義光著 東京大学出版会

〔参考書〕

『インターネット気象学』坪田幸政・吉田優著 クライム

『ワクワク実験 気象学』高橋庸哉・坪田幸政訳 丸善

地球科学概論 II

「インターネット気象学」

2 単位 秋学期

〔商理薬〕

坪田 幸政

〔授業科目の内容〕

・地球科学の諸分野の中で、特に気象学に焦点を合わせて授業を行う。

・天気予報を主体的に利用できるようになり、その評価を科学的に行えるようになる。

・地球環境に対する理解を深め、人間活動の影響を評価し、持続可能な社会について、地球人として自ら判断・行動できるようになる。

〔教科書〕

『インターネット気象学』坪田幸政・吉田優著 クライム

〔参考書〕

『地球システムの基礎 - 地球環境変動と人間生活 -』坪田幸政訳編 成山堂書店

中国事情

「漢字・漢語から中国と日本を考える」

2 単位 春学期

〔文経商医〕

種村 和史

〔授業科目の内容〕

漢字とそれによって表された漢語は、文化の媒体として、政治的武器として、また情念の器として、何千年にもわたって中国文明の核としてその持続性を支えてきました。それとともに、異なる文化と伝統をもつ国や地域を結びつける役割も果たしました。普遍性と多様性を持った、つきせぬ魅力にあふれた存在です。

本授業では、漢字や漢語を巡る諸問題を、古代から現代にわたる幅広い時空を超えて、文化・政治・民俗・思想など様々な側面から取り上げ紹介しながら、中国文明の特質・中国人の心性を探っていきたいと思います。同時に、それを通してわが国日本が、異文化をいかに受容し血肉化させてきたかを考えていきたいと思います。

〔教科書〕

授業時に資料を配付します (keio.jp にアップロードする場合もあります)。

〔参考書〕

授業時に指示・紹介します。

中国事情

「中国知識人の近代：人・教育・ことば」

2 単位 秋学期

〔文経商医〕

櫻庭 ゆみ子

〔授業科目の内容〕

日本では 1860 年代後半の明治維新から「近代化」が進められますが、中国でもほぼ同じ時期に「洋務運動」と呼ばれる近代化が始まります。ただしその近代化の歩みは、列強による半植民地化、日中戦争、国交内戦、文化大革命等に左右され紆余曲折の過程を経ることになります。この授業では、清末民初からの中国の近代化の歩みを、その推進者である個別の知識人に注目して、日本、欧米との影響関係を視野に入れながら見てゆきます。具体的には、清末民初から 1930 年代にかけて、近代化の使命を担って日本及び欧米に送り出された留学生たちがどのように「近代化」にかかわっていったのか、彼／彼女が国民国家の成立と切り離せない言語改革の動きにどう対応したか等を、主に文化人・作家たちを中心に時間軸に沿って取り上げます。そして彼／彼女たちの関与した局面が文化大革命およびそれ以降の今日の中国社会でどう展開したのか、どのような問題があるのか等を考えてゆきます。

授業の目的は、お隣の国中国について最低限の知識を得ること、日本と関係のある人物、出来事を知ること、日本も含めたアジアの近代の意味を考えること、です。

〔教科書〕

プリント配布

〔参考書〕

授業時に適宜指示します。

地理学Ⅰ（火曜日）

「現代の都市を考える：都市現代都市を 2 単位 春学期
理解するための基本概念」

〔文経法商医理薬〕 長田 進

〔授業科目の内容〕

地理学は実証的な学問であり、その取り扱う分野は幅広い。ここでは都市に関連する学問的課題について取り上げる。この講座では、年間を通じて以下に述べる形式で構成されている。前期の講義では、「都市とは何か？」という問題を出発点にして、都市で発生するいくつかの問題について考える機会とする。

〔教科書〕

『都市経済再生のまちづくり』小長谷一之著 古今書院
2004 年

その他、必要な資料を keio.jp 上の教育支援システムを利用して行う予定である。（詳しくはガイダンスの時に説明する。）

〔参考書〕

配布資料の最後に、参考資料のリストを明示する。

地理学Ⅱ（火曜日）

「現代の都市を考える：都市計画について 2 単位 秋学期
考える」

〔文経法商医理薬〕 長田 進

〔授業科目の内容〕

地理学は実証的な学問であり、その取り扱う分野は幅広い。地理学で取り扱う分野のうち、この講座では、「都市計画」を興味のおの中心におき、それに関連する学問的課題について取り上げる。この科目は地理学の出発点として、都市計画にとどまらず、関連する話題を広く取り上げる予定である。

〔教科書〕

『初学者のための都市工学入門』高見沢実著 鹿島出版会
2000 年

その他、必要な資料を keio.jp 上の教育支援システムを利用して行う予定である。（詳しくはガイダンスの時に説明する。）

〔参考書〕

配布資料の最後に、参考資料のリストを明示する。

地理学Ⅰ（水曜日）

「古典的立地論で考える産業の立地」 2 単位 春学期

〔文経法商医理薬〕 長田 進

〔授業科目の内容〕

地理学は実証的な学問であり、その取り扱う分野は幅広い。ここでは企業の活動について考える経済地理学や産業地理学と呼ばれる分野を取り上げることとする。

このコースにおいて、企業はどのような点を考慮した上で事業所の立地を決定するのか、という問題について考えることが中心的課題となる。地理学Ⅰでは、古典的であるが現代でも無視できない重要な理論について理解し、実際の産業立地について考える機会を持つ。

〔教科書〕

『地域と産業—経済地理学の基礎』富田和暁著 原書房
2006 年

その他、必要な資料を keio.jp 上の教育支援システムを利用して行う予定である。（詳しくはガイダンスの時に説明する。）

〔参考書〕

配布資料の最後に、参考資料のリストを明示する。

地理学Ⅱ（水曜日）

「日本の地域問題について考える」 2 単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕 長田 進

〔授業科目の内容〕

地理学は実証的な学問であり、その取り扱う分野は幅広い。地理学で取り扱う分野のうち、この講座では、地域問題を興味のおの中心においた上で、産業の問題に関する様々な話題を取り上げることとする。

〔教科書〕

『図説 21 世紀日本の地域問題』伊藤喜栄・藤塚吉浩著
古今書院 2008 年

その他、必要な資料を keio.jp 上の教育支援システムを利用して行う予定である。（詳しくはガイダンスの時に説明する。）

〔参考書〕

配布資料の最後に、参考資料のリストを明示する。

地理学Ⅰ

「ロシアの歴史地理（1）」 2 単位 春学期

〔文経法商医理薬〕 米家 志乃布

〔授業科目の内容〕

本講義では、現在のロシア連邦の空間的範囲を中心として、歴史地理学的な関心に基づきながら、当該地域の歴史・文化・経済・社会などに考えていくことを目的とする。具体的な内容としては、ロシアの自然地理・人文地理、ロシア・ソ連の歴史、カフカス地方およびシベリアの民族問題、ロシア極東の環境問題などを取り上げ、ビデオや DVD などの映像も交えながら、当該地域の全体像に迫っていききたい。

〔教科書〕

特に指定しません。授業プリントを配布します。

〔参考書〕

『朝倉世界地理口座 10 東ヨーロッパ・ロシア』加賀美雅弘・木村汎編 朝倉書店

地理学Ⅱ

「ロシアの歴史地理（2）」 2 単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕 米家 志乃布

〔授業科目の内容〕

本講義では、(1) ロシア帝国の植民地であるシベリア・極東の開発史と先住民族の関係、(2) 日本の植民地である北海道の開発史とアイヌ民族の関係を両者を比較しながら、帝国と植民地、帝国と先住民族の関係を考えていくことを目的とする。具体的内容としては、ロシアのシベリア探検や開発、様々な先住民族とロシア人の関係、ロシア・中国国境地帯、カムチャッカやアラスカなどの状況などを、ビデオや DVD などの視聴覚教材を鑑賞しながら考えていく。また、日本とアイヌ民族の関係については、アイヌ民族が受けた政治的・経済的な差別や苦難などを中心に、アイヌ文化振興法制定までの運動の歴史や現在の状況、

ロシアのシベリア・極東地域における先住民族との共通性などについて考えていく。

〔教科書〕

特に指定しません。講義プリントを配布します。

〔参考書〕

『シベリア先住民の歴史』ジェームス・フォース著 彩流社 1998 年

『アイヌ民族の歴史』榎森進著 草風館 2007 年

地理学Ⅰ（火曜日）

「地震および地震災害の地理学的解析」 2 単位 春学期

〔文経法商医理薬〕 松原 彰子

〔授業科目の内容〕

人類は、長年にわたって気象災害・地震災害・火山災害などのさまざまな被害を受けてきました。近年では、これらに加えて地盤沈下や海岸侵食なども新たな災害として問題になっています。本講義では、地震と地震災害を対象に、地震発生のメカニズムから地震災害の実態、さらには地震防災を取り上げて解説します。

〔教科書〕

『自然地理学 ―自然環境の過去・現在・未来』第 2 版 松原彰子著 慶應義塾大学出版会 2008 年 ISBN:978-4-7664-1485-1

〔参考書〕

適宜紹介します。

地理学Ⅱ（火曜日）

「火山災害と水害の地理学的解析」 2 単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕 松原 彰子

〔授業科目の内容〕

人類は、長年にわたって気象災害・地震災害・火山災害などのさまざまな被害を受けてきました。近年では、これらに加えて地盤沈下や海岸侵食なども新たな災害として問題になっています。本講義では、火山災害、水害、および地盤沈下、海岸侵食を対象に、これらの原因と実態、およびそれぞれの防災対策について解説します。

〔教科書〕

『自然地理学 ―自然環境の過去・現在・未来』第 2 版 松原彰子著 慶應義塾大学出版会 2008 年 ISBN:978-4-7664-1485-1

〔参考書〕

適宜紹介します。

地理学Ⅰ（金曜日）

「自然地理学的視点から見た 2 単位 春学期

地球環境の変遷」 松原 彰子

〔文経法商医理薬〕

〔授業科目の内容〕

近年の地球環境問題を理解する上で、広域的な視野に立ち、長時間スケールで自然環境の変動を把握することがきわめて重要です。本講義では、最も新しい地質時代である第四紀後期の地球環境変遷について、その復元方法と復元結果を中心に解説します。

〔教科書〕

『自然地理学 ―自然環境の過去・現在・未来』第 2 版 松原彰子著 慶應義塾大学出版会 2008 年 ISBN:978-4-7664-1485-1

〔参考書〕

適宜紹介します。

地理学Ⅱ（金曜日）

「自然地理学的視点から見た 2 単位 秋学期

最近の地球環境変動」 松原 彰子

〔文経法商医理薬〕

〔授業科目の内容〕

近年の地球環境問題を理解する上で、広域的な視野に立ち、長時間スケールで自然環境の変動を把握することがきわめて重要です。本講義では、こうした視点から過去数百年間における地球環境変動の原因と実態を中心に解説します。

〔教科書〕

『自然地理学 ―自然環境の過去・現在・未来』第 2 版 松原彰子著 慶應義塾大学出版会 2008 年 ISBN:978-4-7664-1485-1

〔参考書〕

適宜紹介します。

地理学Ⅰ / 地理学Ⅱ

「日本と世界の農山村地域を知る」 2 単位 春学期 / 秋学期

〔文経法商医理薬〕 水嶋 一雄

〔授業科目の内容〕

現在、日本と世界の農山村地域は近代化や国際化そして経済成長に強い影響を受けていることから、この地域は農業経営だけでなく生活基盤も大きく変質し、結果としてこの地域の持続的な発展に危惧する事態となっている。講義では、これらの影響を踏まえこの地域の現状と変化、問題点を理解する。

地理学Ⅰでは、地理学の基礎を理解するため、水稻作栽培の装置である水田開発の過程を、地形や水との関わりの中で、時空間的な視点に基づいて理解する。さらに、講義では日本の食料自給率の現状と問題点を、人口と食料の関係から理解する。

地理学Ⅱでは、農山村地域が持続的に発展するためにはいかなる手法が有効なのかについて、具体的な事例を踏まえながら、事例地域の現状を分析した上で説明する。

〔教科書〕

『農業地域情報のアーカイブと地域づくり』水嶋一雄編 成文堂 2008 年

〔参考書〕

講義中に紹介する

地理学Ⅰ / 地理学Ⅱ

「地域を理解するための地理学」 2 単位 春学期 / 秋学期

〔文経法商医理薬〕 両角 政彦

〔授業科目の内容〕

地理学は、自然、環境、文化、社会、経済等を対象として広範に研究を進めており、様々な方法でこれら諸々の現象を理解してきました。この講義では、はじめに地理学の歴史的な展開を踏まえ基本的な考え方と地域概念について解説したうえで、具体的な例として村落と都市の立地とその条件を学びます。さら

に、現実世界における地図の表現を地域スケールに着目してとらえ、地形図の基本的な読解を身につけたうえで、文字情報や画像情報も活用して地域を多角的に理解する方法を学びます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『人文地理学—その主題と課題—』杉浦章介・松原彰子・武山政直・高木勇夫著 慶應義塾大学出版会 2005 年

『地図読解入門 (2000 年増補版)』籠瀬良明著 古今書院 2000 年

哲学 I / 哲学 II

「哲学の問題構成」 2 単位 春学期 / 秋学期

〔文経法政商医理薬〕 浅野 光紀

〔授業科目の内容〕

哲学を近代以降に整備された他の諸学問から区別するものは確かにあるが、それが何であるかを明確に規定するのは容易なことではない。古代ギリシャにその端を発し、そこで提起された問題とその解決の困難さが現代に至るまで連続しているということ。むしろ、そうした古くて新しい問題の幾つかについていきなり論じ、考えてみるのが哲学とは何かの感触をつかむ近道になるだろう。私たちの認識は世界のあり方を正しく反映しているのか、真理とは何か、他者を理解することは可能か、そもそも私たちは自分を正しく理解しているのか、私たちはどこまで合理的・理性的な存在であるのか、決定論的な世界の中で自由は可能か、心と物の関係とは、言葉はどうして意味をもち、太古の昔や無限の未来、宇宙の彼方について語れるのか——これらのテーマについてそれぞれ数回の授業に分けて論じ、学生諸君にも一緒に考えていってもらいたいと思う。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

授業の進行に従って指示する。

哲学 I / 哲学 II

「ウィットゲンシュタインの哲学」 2 単位 春学期 / 秋学期

〔文経法政商医理薬〕 荒畑 靖宏

〔授業科目の内容〕

フレーゲ、ラッセルと並ぶ「分析哲学」の始祖の一人とされ、いまなお二十世紀最大の哲学者の一人と評されるオーストリアの哲学者 ルートヴィヒ・ウィットゲンシュタイン (Ludwig Wittgenstein) の哲学を、その生涯のエピソードと絡めながら紹介します。一般に彼の哲学は、『論理哲学論考』(『論考』)に代表される「前期」ウィットゲンシュタイン、その思想圏から脱却する過渡期の「中期」ウィットゲンシュタイン、そして『哲学探求』(『探求』)に代表される「後期」ウィットゲンシュタインと大別されます。本講義も基本的にはこの大まかな区分を踏襲しつつ行われますが、最晩年の『確実性について』や『心理学の哲学』の思想圏も扱います。

〔教科書〕

用いません。資料が必要であれば授業内で配布します。

〔参考書〕

『論理哲学論考』ルートヴィヒ・ウィットゲンシュタイン著 野矢茂樹訳 岩波文庫 2003 年

『ウィットゲンシュタイン全集 8 哲学探究』ルートヴィヒ・ウィットゲンシュタイン著 大修館 1979 年

『ウィットゲンシュタイン『論理哲学論考』を読む』野矢茂樹著 ちくま学芸文庫 2006 年

『ウィットゲンシュタイン - 言語の限界 (現代思想の冒険者たち 07)』飯田隆著 講談社 1997 年

哲学 I

「問題からの哲学入門」 2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕 飯田 隆

〔授業科目の内容〕

哲学は、ひとの話をただ聞いたり、ひとの書いたものをただ読むだけでは、なかなかその面白さがわからないものです。言ってみれば、哲学というのは、「勉強する」ものではなく、自分で「やってみる」もののなのです。そのためのもっとも正統的なやり方は、多くのひとびとによって議論されてきた哲学的問題のいくつかについて自分で取り組んでみることでしょう。哲学的問題と言っても、じつにさまざまなものがありますが、この授業では、何が本当にあるのかとか、何かを確実に知ることは可能なのかといった話題を取り上げます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『哲学の謎』野矢茂樹著 講談社現代新書

『流れとよどみ』大森荘蔵著 産業図書

哲学 II

「テキストからの哲学入門」 2 単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕 飯田 隆

〔授業科目の内容〕

春学期の哲学 I (問題からの哲学入門) に引き続く、哲学への入門的講義の第二部です。この学期では、哲学の歴史のなかで偉大な存在だとされている哲学者たちのテキストの一部を細かく読むことを通じて、哲学の問題を考え、その解決をはかるというのはどういうことなのかを具体的にみます。扱う哲学者としては、プラトン、アリストテレス、デカルト、ヒューム、カント、さらには、現代の哲学者も考えています。扱うテキストは、どの哲学者についても、翻訳で、しかも、せいぜい 2-3 頁ですが、それだけのものをきちんと読むのにどれだけの手間がかかるかを知ってもらおうと思います。

〔教科書〕

必要なテキストのコピーを授業の際に配布します。

〔参考書〕

『西洋哲学史 古代から中世へ』熊野純彦著 岩波新書

『西洋哲学史 近代から現代へ』熊野純彦著 岩波新書

哲学 I

「古代ギリシア哲学から哲学を考える 2 単位 春学期 (哲学の始まり)」

〔文経法政商医理薬〕 奥田 和夫

〔授業科目の内容〕

西洋哲学は古代ギリシアから始まる。「起源」を探求することは、その対象の本質を考察する上で重要であるが、哲学にはじめてふれる(哲学とは何であり、また哲学はわれわれにとってどの

ような意義があるのかということを考察する)場合には、とりわけそのことが言える。この授業（春学期）では、古代ギリシア哲学の初期のあり方とソクラテスの思想までを確認することにより、哲学とはそもそも何であったのか、ということを考えてみる。この作業をとおして、哲学の何たるか、その意義を少しずつ考えてもらいたい。

【教科書】

教科書は指定しない。講義内容・資料をプリントして配布する。

【参考書】

その都度、紹介する。

哲学Ⅱ

「古代ギリシア哲学から哲学を考える 2 単位 秋学期
(古代哲学の展開)」

【文経法政商医理薬】

奥田 和夫

【授業科目の内容】

この授業では、「哲学Ⅰ」に続いて、古代ギリシア哲学のいわば後期をあつかう。春学期であつかった哲学思想が、どのように充実し展開していくかを確認する。プラトン、アリストテレス、ヘレニズムの哲学が主内容となるが、これらの哲学思想は現代においても研究が盛んであり、古代哲学はある意味で現代哲学であるといえるかもしれない。いずれにせよ、歴史的には、春－秋学期であつかう古代ギリシアの哲学が西洋思想・科学の大きな基礎になったことは事実であり、さらには現代を生きるわれわれにとっても思索の大きな糧となっている。これらの哲学の一端にふれることにより（とくに秋学期ではプラトン、アリストテレスら哲学の巨人たちの思想にふれることにより）、哲学の本質、哲学の意義、哲学の必要性などを考えてもらいたい。

【教科書】

教科書は指定しない。講義内容・資料をプリントして配布する。

【参考書】

その都度、紹介する。

哲学Ⅰ

「哲学の古典」 2 単位 春学期

【文経法政商医理薬】

金子 善彦

【授業科目の内容】

どの学問領域でも「古典」と呼ばれるものがあるが、哲学も例外ではない。この授業では、哲学の古典から主なものを取り上げ、その読解と内容の検討を通じて、「哲学的に考える」ということについて基本的な理解を得たい。そのためには、解説をただ漫然と聞くだけでは意味がなく、哲学者が繰り広げる一つ一つの議論展開を丹念に追い、それを基に「自分でも考えてみる」という作業がぜひとも必要となる。そのような趣旨から、毎回範囲を決め、当該箇所について報告・発表してもらうなど、積極的な態度が期待される参加型の授業を目指す。

【教科書】

『テアイテトス』田中美知太郎訳・プラトン著 岩波文庫を用いる。ガイダンスの次の時間までに、教科書売場で各自 1 冊、必ず購入しておくこと。コピーなどでの参加は認められない。

哲学Ⅱ

「哲学の古典」 2 単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

金子 善彦

【授業科目の内容】

どの学問領域でも「古典」と呼ばれるものがあるが、哲学も例外ではない。この授業では、哲学の古典から主なものを取り上げ、その読解と内容の検討を通じて、「哲学的に考える」ということについて基本的な理解を得たい。そのためには、解説をただ漫然と聞くだけでは意味がなく、哲学者が繰り広げる一つ一つの議論展開を丹念に追い、それを基に「自分でも考えてみる」という作業がぜひとも必要となる。そのような趣旨から、毎回範囲を決め、当該箇所について報告・発表してもらうなど、積極的な態度が期待される参加型の授業を目指す。

【教科書】

『テアイテトス』田中美知太郎訳・プラトン著 岩波文庫を用いる。ガイダンスの次の時間までに、教科書売場で各自 1 冊、必ず購入しておくこと。コピーなどでの参加は認められない。

哲学Ⅰ

「アウグスティヌス 2 単位 春学期

『83 の諸問題について』を読む」

【文経法政商医理薬】

佐藤 真基子

【授業科目の内容】

「魂はそれ自体によって存在するのか」という問題に始まり、「自由意志について」、「悪について」、「理性的でない動物も幸せでありえるのか」、「愛されるべきものは何か」等、全部で 83 の諸テーマ、諸問題について、アウグスティヌスが時に簡潔に時に詳細に考察し、答えている、『83 の諸問題について』と呼ばれる書物があります。まだローマから故郷アフリカに帰ってまもない時期に書き始められ、アウグスティヌスは約 10 年間この書物の執筆に携わっています。

そこで展開されている議論は、彼がローマで学んだギリシア由来の哲学とキリスト教の神学が密接に関係づけられており、そのいくつかの議論は、ボナヴェントゥラやトマス・アクィナスら後世の思想家にも直接の影響を与えました。ギリシア哲学とキリスト教は、「ヨーロッパ」文化の二本の大きな柱と言われます。私たちはアウグスティヌスのこの著作に、ヨーロッパ文化形成の出発点とも言うべき思想の一端をみることができると考えられます。

この授業では、アウグスティヌスの議論に流れ込んでいる思想的背景を辿りながら、一つ一つの諸問題についてともに考え、吟味していきます。テキストを分析しながら読むことを通して、哲学的に考えること、およびその面白さを経験していただきたいと思います。

【教科書】

特に指定しません。『83 の諸問題について』は、授業で扱う部分を中心に、日本語訳のプリントを配布します。

【参考書】

授業内で紹介します。

哲学Ⅱ

「アウグスティヌス 2 単位 秋学期

『83 の諸問題について』を読む」

【文経法政商医理薬】

佐藤 真基子

【授業科目の内容】

「魂はそれ自体によって存在するのか」という問題に始まり、「自由意志について」、「悪について」、「理性的でない動物も幸せでありえるのか」、「愛されるべきものは何か」等、全部で 83 の諸テーマ、諸問題について、アウグスティヌスが時に簡潔に時

に詳細に考察し、答えている、『83の諸問題について』と呼ばれる書物があります。まだローマから故郷アフリカに帰ってまもない時期に書き始められ、アウグスティヌスは約10年間この書物の執筆に携わっています。

そこで展開されている議論は、彼がローマで学んだギリシア由来の哲学とキリスト教の神学が密接に関係づけられており、そのいくつかの議論は、ボナヴェントゥラやトマス・アキナスら後世の思想家にも直接の影響を与えました。ギリシア哲学とキリスト教は、「ヨーロッパ」文化の二本の大きな柱と言われます。私たちはアウグスティヌスのこの著作に、ヨーロッパ文化形成の出発点とも言うべき思想の一端をみることができると考えられます。

この授業では、アウグスティヌスの議論に流れ込んでいる思想的背景を辿りながら、一つ一つの諸問題についてともに考え、吟味していきます。テキストを分析しながら読むことを通して、哲学的に考えること、およびその面白さを経験していただきたいと思います。

〔教科書〕

特に指定しません。『83の諸問題について』は、授業で扱う部分を中心に、日本語訳のプリントを配布します。

〔参考書〕

授業内で紹介します。

哲学Ⅰ

「心と知識の哲学」

2単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

長澤 英俊

〔授業科目の内容〕

この講義では、心の哲学と知識論における諸問題を取り上げます。また、それらと関連のある形而上学および倫理的諸問題も扱われます。講義の中心をなすテーマは心と世界との関係ということになりますが、哲学においては一見無関係に見える諸問題がいかに密接に関連し合っているかがわかってもらえるはずです。論じられる予定になっているのは、以下のような話題です。心身問題、自由意志、人格の同一性、知識の定義、知識の構造、内在主義と外在主義、懐疑論。主として20世紀以降の英語圏における様々な理説を検討しながら、自分なりの解決策を見出すことを目標にしたいと思います。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

『現代哲学入門』西脇与作著 慶應義塾大学出版会 2002年

『マインド：心の哲学』ジョン・R・サール著 山本貴光・吉川浩満訳 朝日出版社 2006年

哲学Ⅱ

「心と知識の哲学」

2単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

長澤 英俊

〔授業科目の内容〕

この講義では、心の哲学と知識論における諸問題を取り上げます。また、それらと関連のある形而上学および倫理的諸問題も扱われます。講義の中心をなすテーマは心と世界との関係ということになりますが、哲学においては一見無関係に見える諸問題がいかに密接に関連し合っているかがわかってもらえるはずです。論じられる予定になっているのは、以下のような話題です。心身問題、自由意志、人格の同一性、知識の定義、知識

の構造、内在主義と外在主義、懐疑論。主として20世紀以降の英語圏における様々な理説を検討しながら、自分なりの解決策を見出すことを目標にしたいと思います。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

『現代哲学入門』西脇与作著 慶應義塾大学出版会 2002年

『知識の哲学』戸田山和久著 産業図書 2002年

哲学Ⅰ / 哲学Ⅱ

「テキストを考えながら読み、

2単位 春学期 / 秋学期

読みながら考えるということ

—西洋哲学史からのアプローチ—

〔文経法政商医理薬〕

中村 公博

〔授業科目の内容〕

私たちが西洋哲学を研究するためには、そこで使われている基本的な諸概念（哲学用語）について一定の理解を持たなければなりません。そのために大切なのは、過去の哲学者の著作に実際に触れることによって、彼らが諸概念をめぐっていかなる仕方方で考えていたかを読み取り、これに基づいて考えることです。こうした作業が、この授業が採る西洋哲学史のアプローチです。これを皆さんが自分でできるように手助けするのが、この授業の目的です。

そこで、この授業では、重要な哲学者の著作（の翻訳）を取り上げ、これに註釈・解説・検討を加えていきたいと思います。もちろん、いたずらに長い部分は避け、諸概念の形成に決定的な影響を与えたと思われる箇所を抜粋したいと思います。

〔春学期〕諸概念の中でも「認識（する）」という概念に注目したいと思います。この概念については、「合理論」と「経験論」という二つの重要な考え方が西洋哲学史にはありますが、それぞれの源流となったプラトンとアリストテレスの考えを比較検討しつつ、近代に至るまでの哲学者がどのように考えてきたかを明らかにしていきます。

〔秋学期〕西洋哲学史上数多くの重要諸概念の成立に寄与したアリストテレスの著作を取り上げます。もちろん、取り上げられるのは膨大な著作群の一部に限られますが、アリストテレスの考え方がよく分かり、かつ、その後の西洋哲学史における諸概念形成に大きな影響を与えた箇所を抜粋し、註釈・検討します。また、それらの箇所に付随する諸問題についても適宜解説していきます。

〔教科書〕

適宜プリントを配布します。

〔参考書〕

必要があれば授業中に言及しますが、上記プリントで取り上げる箇所は『哲学原典資料集』 山本・今井他編 東京大学出版会 1993年 を基準にします。

哲学Ⅰ

「不安定性の哲学（Ⅰ）」

2単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

西山 達也

〔授業科目の内容〕

「不安定性」は現代世界を要約するキーワードのひとつであるが、哲学は世界の不安定性が、なぜ、どのように生じるのかを探究するとともに、不安定な世界の中でいかに生きることが可

能かを考察してきた。そのような世界の不安定性をめぐる考察のひとつのバリエーションとして、ヨーロッパ哲学には古代にまでさかのぼる情念論の系譜がある。この授業では、「不安定性の哲学」という枠組みのもと、近代ヨーロッパ哲学における情念論（デカルト、ルソー、カント）の基本的な考え方を確認すると同時に、現代の哲学者（ハイデガー、デリダ、アガンベン、等）によって情念の類型、変化、統御といった古典的問題がどのように再解釈されているかを検討する。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業時に指示します。

哲学Ⅱ

「不安定性の哲学（2）」

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

西山 達也

【授業科目の内容】

春学期に引き続き、「不安定性の哲学」という枠組みのもと、ヨーロッパ近現代哲学（デカルト、ルソー、カント、ハイデガー、デリダ、アガンベン、等）における情念論の系譜を検討する。秋学期の授業では、狭い意味での情念の問題だけでなく、考察の範囲を広げて、情念とイメージ、情念と言語の関係に着目したい。哲学・美学・文学などの交錯する領域を展望することで、現代における「生」のあり方を考える手がかりを獲得することを目標とする。

哲学Ⅰ

「ギリシア哲学への誘い（1）」

2単位 春学期

【文経法政商医理薬】

納富 信留

【授業科目の内容】

大学で学ぶ者は、誰でも一度は哲学に接してもらいたい。とりわけ、古代ギリシアの哲学は西洋哲学の根源であり、その入門として相応しい。ソクラテスやプラトンなど名前だけ聞いたことのある哲学者たちの本当の思索と向き合い、その著作を読むのが、この授業である。一度手ほどきを受けた者は、その後自分で哲学書を読んでいくことができるだろう。

春学期には、最初に「哲学とは何か」を数回かけて概説し、古代ギリシア哲学の背景を説明した後、プラトンの基本著作『ソクラテスの弁明』と『クリトン』を読む。これらはともにソクラテスの裁判と刑死に関わっており、ソクラテスの生き方がどのように「哲学」を生み出したかを見る上で必須の哲学著作である。プラトン対話篇は一般に難解な哲学術語を用いない平易な文章であるが、その分、哲学的議論を理解するのに手ほどきが必要である。授業では、著作を丹念に解説しながら、そこから析出される問題を議論する。

【教科書】

『ソクラテスの弁明・クリトン』プラトン著 三嶋輝夫・田中享英訳 講談社学術文庫、または『ソクラテスの弁明ほか』田中美知太郎・藤沢令夫訳 中公クラシックス（岩波文庫の久保勉訳ではないのでよく注意すること）

『プラトン』納富信留著 NHK 出版

【参考書】

『哲学者の誕生』納富信留著 ちくま新書、『ソフィストとは誰か?』人文書院、『ソフィストと哲学者の間』名古屋大学出版会

（プラトンの翻訳や他の参考文献については、授業時に説明する。）

哲学Ⅱ

「ギリシア哲学への誘い（2）」

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

納富 信留

【授業科目の内容】

大学で学ぶ者は、誰でも一度は哲学に接してもらいたい。とりわけ、古代ギリシアの哲学は西洋哲学の根源であり、その入門として相応しい。ソクラテスやプラトンなど名前だけ聞いたことのある哲学者たちの本当の思索と向き合い、その著作を読むのが、この授業である。一度手ほどきを受けた者は、その後自分で哲学書を読んでいくことができるだろう。

秋学期は基本的に春学期の続きと考えているが、今年度はプラトン『プロタゴラス』を主題に、ソフィストに関わる問題を検討する。この対話篇はソクラテスとソフィストの対決を鮮明に描いた傑作で、「徳の教育可能性」「文明の起源」「徳の一性」「快楽主義」など、哲学的に重要な問題が多く含まれている。ソフィスト・プロタゴラスの思想もふくめて、関連する話題を随時紹介しながら、この面白い著作に挑んでみたい。秋学期からの参加も認めるが、できれば春学期から聴講してもらいたい。

【教科書】

『プロタゴラス』プラトン著 藤沢令夫訳 岩波文庫

『ソフィストとは誰か?』納富信留著 人文書院

『プラトン』納富信留著 NHK 出版（春学期の課題図書）

【参考書】

『ソフィストと哲学者の間』納富信留著 名古屋大学出版会、『哲学者の誕生』ちくま新書

哲学Ⅰ / 哲学Ⅱ

「科学と知識の哲学」

2単位 春学期 / 秋学期

【文経法政商医理薬】

森元 良太

【授業科目の内容】

この授業では、現代の英米哲学の諸問題を取り上げます。特に、自然科学および知識に関する哲学的な問題を扱います。

まずは、哲学とはどのような学問であるかを概説し、哲学をするための方法を簡単に説明します。そして、春学期は自然科学に関する哲学的問題を扱います。ニュートン力学と進化論を中心に、それらの理論が描く世界観を解説します。秋学期は、知識に関する哲学的問題を扱います。知識とは何かという知識の理論に関する議論の紹介と、科学的知識に関する哲学的問題の解説をおこないます。授業では、これまでに哲学者がおこなってきた議論を紹介しますが、重要なことは自分で実際に問題を考えてみることです。哲学が扱う基本的な事柄と、そこから得られる成果をまとめ、その上で哲学の問題をどのように立て、解くかを習得するのがこの講義の目標です。

【教科書】

とくに指定しません。必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

『現代哲学入門』西脇与作著 慶應義塾大学出版会 2002年

『科学の哲学』西脇与作著 慶應義塾大学出版会 2004年

哲学Ⅰ（火3）

「物理学と数学の概念的基礎に関わる哲学」 2単位 春学期
【文経法政商医理薬】 **横尾 剛**

〔授業科目の内容〕

現代において「哲学」という学問分野として研究され教育されている事柄は多岐にわたっています。この講義では、物理学および数学の概念的な基礎に関わる哲学的問題が解説されます。

講義の序盤では、下記の教科書の第1章から第4章に沿って哲学の主題とその方法についての知識を共有することが目的とされます。それを踏まえた上で、以下の参考書などによる補足のもと、より具体的な問題を検討していきます。なお、この講義では、哲学、物理学、数学に関する知識を特に前提とはしていません。

春学期は、中盤から終盤にかけて、主に物理学の概念的な基礎に関わる問題が扱われますが、物理学と数学に共通して生じている驚くべき概念的なつながりに、哲学の観点から考察が加えられます。

講義で使用するプリントなどは、すべて次のところから入手できるようになっています：

<http://web.hc.keio.ac.jp/~yokoo/>

〔教科書〕

『現代哲学入門』西脇与作著 慶應義塾大学出版会 2002年

〔参考書〕

哲学

『科学の哲学』西脇与作著 慶應義塾大学出版会 2004年

物理学

『Motion Mountain : The Adventure of Physics』, Christoph Schiller, 21st edition, 2007.

<http://www.motionmountain.net/text.html>

数学

『Mathematics : Form and Function』, Saunders Mac Lane, Springer-Verlag, 1986.

哲学Ⅱ（木3）

「数学と物理学の概念的基礎に関わる哲学」 2単位 秋学期
【文経法政商医理薬】 **横尾 剛**

〔授業科目の内容〕

現代において「哲学」という学問分野として研究され教育されている事柄は多岐にわたっています。この講義では、数学および物理学の概念的な基礎に関わる哲学的問題が解説されます。

講義の序盤では、下記の教科書の第1章から第4章に沿って哲学の主題とその方法についての知識を共有することが目的とされます。それを踏まえた上で、以下の参考書などによる補足のもと、より具体的な問題を検討していきます。なお、この講義では、哲学、数学、物理学に関する知識を特に前提とはしていません。

秋学期は、中盤から終盤にかけて、主に数学の概念的な基礎に関わる問題が扱われますが、数学と物理学に共通して生じている驚くべき概念的なつながりに、哲学の観点から考察が加えられます。

講義で使用するプリントなどは、すべて次のところから入手できるようになっています：

<http://web.hc.keio.ac.jp/~yokoo/>

〔教科書〕

『現代哲学入門』西脇与作著 慶應義塾大学出版会 2002年

〔参考書〕

哲学

『科学の哲学』西脇与作著 慶應義塾大学出版会 2004年

数学

『Mathematics : Form and Function』, Saunders Mac Lane, Springer-Verlag, 1986.

物理学

『Motion Mountain : The Adventure of Physics』, Christoph Schiller, 21st edition, 2007.

<http://www.motionmountain.net/text.html>

天文学 a（春学期） / 天文学 b（秋学期）**天文学（通年）**

「宇宙の中の人間」 2単位 春学期 / 秋学期
 4単位 通年

【文経商理】

加藤 万里子

*理工学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

宇宙は波瀾万丈で、ダイナミックな出来事に満ちている。私たちはなぜ地球に生まれたのか、宇宙の中で地球と人間のおかれた位置を明らかにすることがこの講義の目的である。まず、宇宙観が歴史的にどのような変遷をとげたかを見る。アリストテレスの宇宙から、現代のビッグバン宇宙にいたるまでのいろいろな発見と試行錯誤の歴史に注目したい。宇宙は高温高密度の大爆発で始まり、次第に冷えていく中で、銀河や星ができた。星はいまでも生まれている。星は核融合反応のエネルギーで光っており、最後には超新星爆発など劇的な現象を引き起こす。そのとき星の中にあつたいろいろな元素が宇宙にまき散られる。太陽系には地球型惑星と木星型惑星がある。地球型惑星は岩石と金属からなる星で、わたしたち生物はそこで生まれて進化してきた。からだを作っている元素は、むかし星の中心部で核融合反応により作られたものである。太陽系で起こったことは、宇宙のどこかでもやはり起こった可能性がある。宇宙のどこかにいるかもしれない知的生命とめぐりあうことはあるのだろうか。グループ発表や絵本製作を行うので、初回の講義に出て説明をうけること。過去の履修者が作成した絵本は <http://sunrise.hc.keio.ac.jp/mariko/astro.html> にある。

〔教科書〕

『新版 100億年を翔ける宇宙』加藤万里子著 恒星社

動物行動学

2単位 春学期

【文経商薬】

福田 史夫

〔授業科目の内容〕

薬科の学生における教養として、動物に興味をもってもらうことを主目的としている。授業は性行動と性関係からみた社会を取り上げる。同一種の各個体は発情季（あるいは時間帯）が一致し、異性を誘引する行動様式が種に特有であることを理解してもらい、ヒトの行動の規範は動物の行動にあるということを知り、私たちの性や社会について考えてもらう一助にしたい。

【参考書】

『進化からみた行動生態学』クレブス・デビス著 山岸・巖佐訳 蒼樹書房 8500 円

『性・愛・結婚』榎本知郎著 丸善ブックス著 1800 円

『オスとメス：性の不思議』長谷川真理子著 講談社現代新書 650 円

『箱根山のサル』福田史夫著 晶文社 2300 円

21世紀の実学

2単位 秋学期

【文経商薬】

白旗 優 吉田 友子

【授業科目の内容】

社会に対する自主的関心と豊かな発想をもってつねに新しい課題に取り組み、大学で体得した科学的態度と教養を積極的に問題解決に適用できる人物を社会に送り出すことは、われわれ教員の目的とするところである。このような実学の精神を具現化し実社会で指導的役割を担っている先輩には枚挙にいとまがないが、この授業はこれらの人々の力を借り展開される。各回の授業に、実社会で活躍している方々を講師として招き、オムニバス形式の講義を行う。そこでは、他人と協働するとはいかなることか、実社会で指導的役割を果たすとはどういうことか、社会に出て実学の精神を実践するためには学生時代いかに過ごすべきかなど、先輩の立場から話してもらい、大学における勉学の意味を積極的に考える機会を諸君に持ってもらおうと考えている。各回異なる講師による講義が行われるため、具体的な講義内容は多岐にわたることになるが、大学初年級の君達が有意義な大学生活を送れることを目標にして、実社会での成功あるいは失敗の経験から得られた講師の知恵に基づいて講義がなされることは共通する。

【教科書】

13回の講義を予定している。第1回はコーディネーターが授業の概要説明を行い、第2回から第13回までは各回一人ずつ講師を招き授業を展開する。講師陣については確定次第、掲示する。

日本の政治

「現代日本の政治過程」

2単位 秋学期

【経商医理薬】

水戸 克典

【授業科目の内容】

周知の通り、わが国の憲法では主権在民がうたわられています。しかしながら、実際に誰が政治の実権を握り、政策を決定しているかについては、ほとんどの国民にとって闇の中にあるといっても過言ではありません。

本講義では具体的事例を取り上げながら、日本政治についていわれている様々な特質を解説し、わが国における政治力学を多面的に検討していきます。

【教科書】

授業中に適宜指示します。

【参考書】

授業中に適宜指示します。

バリアフリー / ユニバーサル・デザイン入門 I

「バリアフリー / ユニバーサル・デザイン概論」 2単位 春学期

【文経商医薬】

中野 泰志 勝野 有美

【授業科目の内容】

現在、我が国の少子化・高齢化は加速し、高齢化率は世界でも最高に近い水準に達しています。平成20年版白書によると、障害者人口は724万人、65歳以上の高齢者人口は過去最高の2,746万人（総人口に占める割合が21.5%）になっています。このように、単純に人口比から考えただけでも、障害者・高齢者は、すでに全国民中の一部のマイノリティグループとは呼べない規模に増大しています。さらに、疾病や事故・災害等での一時的な障害も含め、短期的に心身のコンディションにハンディを持つ人は多く、何よりも「すべての人が加齢とともにやがて確実に高齢者になる」という現実を考慮すれば、バリアフリー / ユニバーサル・デザイン（UD）問題は国民全体のテーマであるといえます。

商品やサービス等の開発等のビジネス分野においても、マイノリティとは言えなくなった障害者・高齢者を無視することはできなくなりつつあり、各企業が専門の部門を立ち上げて、研究・開発を行っています。また、社会政策分野においても、米国の改正リハビリテーション法508条、Americans with Disabilities Act(ADA)法に見るように障害者の人権に配慮した社会システムが注目を集めています。日本でも、障害者自立支援法、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー新法）、発達障害者支援法、特別支援教育の推進のための学校教育法等の一部改正、「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」（教科書バリアフリー法）等の法改正により、障害者・高齢者を考慮した社会システムが構築されつつあります。さらに、国連による障害者権利条約等を考慮すれば、未来社会をリードする国際的教養人には、あらゆる社会参加の場面において、バリアフリー / UDの視点を持つことが不可欠だと言えるでしょう。

ところが、若くて、健康な人にとって、特別な理由がない限り「高齢」や「障害」ということを意識することは少ないと思います。しかし、一生を考えてみると、不自由なく、移動したり、考えたり、覚えたりできる状態に身体を保つことができるのは、一時的なことです。例えば、誰も乳幼児のときには一人では上手に食事でもできなかったわけです。また、いつ病気や事故等に遭遇するかもわかりませんし、老化を避けることは誰にもできません。この意味で障害や加齢は身近な問題であり、障害や加齢の状態にある人にも住みよい社会を創っていくことは、すべての人にとって大切な課題だと言えるでしょう。

本講義では、障害者や高齢者を含めた多様な人がお互いの違いに気づき、その差異を認め合って共生していく必要性や方法について概観します。すべての人が快適に生活できる「バリアフリー（バリアのない）社会」を実現するために必要な事項についてバリアフリー / UDの先駆者をゲストに招いたり、実習や議論等を行ったりしながら、皆さんと一緒に未来の社会について考えていきたいと思います。

【教科書】

特にありません。なお、講義内容のポイントをまとめた資料は、webサイト

「<http://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>」

よりダウンロードできるようにします。ただし、webサイトは、パスワードによるアクセス制限をかけます。パスワードは、講義の際にお伝えします。

【参考書】

『障害者の経済学』中島隆信著 東洋経済新報社 2006年

『ユニバーサル・デザインの仕組みをつくる一歩パイラルアップを実現するために』川内美彦著 学芸出版社 2007 年

『ユニバーサルデザイン—みんなのくらしを便利に—』東京大学先端科学技術センターバリアフリープロジェクト監修 あかね書房 2006 年

『ICF の理解と活用—一人が「生きること」「生きることの困難(障害)」をどうとらえるか—』上田敏著 萌文社 2007 年

『ICF 国際生活機能分類—国際障害分類改訂版—』障害者福祉研究会編 中央法規出版 2002 年

バリアフリー / ユニバーサル・デザイン入門 II

「様々な障害の理解と支援」 2 単位 秋学期
【文経商医薬】 中野 泰志 勝野 有美

〔授業科目の内容〕

現在、我が国の少子化・高齢化は加速し、高齢化率は世界でも最高に近い水準に達しています。平成 20 年版白書によると、障害者人口は 724 万人、65 歳以上の高齢者人口は過去最高の 2,746 万人（総人口に占める割合が 21.5%）になっています。このように、単純に人口比から考えただけでも、障害者・高齢者は、すでに国民中の一部のマイノリティーグループとは呼べない規模に増大しています。さらに、疾病や事故・災害等での一時的な障害も含め、短期的に心身のコンディションにハンディを持つ人は多く、何よりも「すべての人が加齢とともにやがて確実に高齢者になる」という現実を考慮すれば、バリアフリー / ユニバーサル・デザイン（UD）問題は国民全体のテーマであるといえます。

商品やサービス等の開発等のビジネス分野においても、マイノリティとは言えなくなった障害者・高齢者を無視することはできなくなりつつあり、各企業が専門の部門を立ち上げて、研究・開発を行っています。また、社会政策分野においても、米国の改正リハビリテーション法 508 条、Americans with Disabilities Act(ADA)法に見るように障害者の人権に配慮した社会システムが注目を集めています。日本でも、障害者自立支援法、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー新法）、発達障害者支援法、特別支援教育の推進のための学校教育法等の一部改正、「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」（教科書バリアフリー法）等の法改正により、障害者・高齢者を考慮した社会システムが構築されつつあります。さらに、国連による障害者権利条約等を考慮すれば、未来社会をリードする国際的教養人には、あらゆる社会参加の場面において、バリアフリー / UD の視点を持つことが不可欠だと言えるでしょう。

若く健康な人にとって、特別な理由がない限り「高齢」や「障害」ということを意識することは少ないと思います。しかし、一生を考えてみると、不自由なく、移動したり、考えたり、覚えたりできる状態に心身が保たれているのは、実は、一時的なことです。例えば、誰も乳幼児のときには一人では上手に食事でもできなかったわけです。また、いつ病気や事故等に遭遇するかもわかりませんし、老化を避けることは誰にもできません。この意味で障害や加齢は身近な問題であり、障害や加齢の状態にある人にも住みよい社会を創っていくことは、すべての人にとって大切な課題だと言えるでしょう。

本講義では、様々な障害について紹介すると同時に、適切な支援のあり方について概観します。障害のある当事者や支援者をゲストに招いたり、実習や議論等を行ったりしながら、皆さんと

一緒に理想的なバリアフリー / UD 社会について考えていきたいと思っています。

〔教科書〕

特にありません。なお、講義内容のポイントをまとめた資料は、web サイト

「<http://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>」

よりダウンロードできるようにします。ただし、web サイトは、パスワードによるアクセス制限をかけます。パスワードは、講義の際にお伝えします。

〔参考書〕

『障害者の経済学』中島隆信著 東洋経済新報社 2006 年

『ユニバーサル・デザインの仕組みをつくる一歩パイラルアップを実現するために』川内美彦著 学芸出版社 2007 年

『ユニバーサルデザイン—みんなのくらしを便利に—』東京大学先端科学技術センターバリアフリープロジェクト監修 あかね書房 2006 年

『ICF の理解と活用—一人が「生きること」「生きることの困難(障害)」をどうとらえるか—』上田敏著 萌文社 2007 年

『ICF 国際生活機能分類—国際障害分類改訂版—』障害者福祉研究会編 中央法規出版 2002 年

比較文化論 a（春学期） / 比較文化論 b（秋学期）

比較文化論（通年）

「比較の視点から何が見えてくるか」 2 単位 春学期 / 秋学期
——日本とアジア・西洋」 4 単位 通年

【文経商医】 根岸 宗一郎（コーディネーター）
石井 康史 伊藤 好英
田代 真

〔授業科目の内容〕

日本・アジア・西洋、それぞれの文化について私たちはある程度の知識を持っている。しかし、比較の視点から見た時、文化相互間の関係が浮かび上がるだけでなく、それぞれについて新たな見解を手にすることができる。本講義は、根岸が中国と日本・西洋、伊藤が琉球とアジア、石井と田代が西洋と日本、というように日本・アジア・西洋の文化について比較の視点から論じる。詳細は以下の通り。

「近代中国と日本・西洋」

中国は 13 億を超える人口をかかえる国であり、イギリス・フランス・ドイツといったヨーロッパ近代国家の 20 倍近い規模をもつ。しかし、ウエスタン・インパクトを受けて中国の近代国家形成は極めて急速に進んだ。本講義は、中国の近代国家形成の問題（ナショナリズム、言語）から出発し、激動の 20 世紀中国を日本・西洋との関係に注目しながら考察していく。中国は 20 世紀初頭、日本を経由して西洋文化を吸収していくため、西洋との関係も日本との関係抜きには語ることができない。そこで、激動の時代の中で突出した観察眼を有した中国と日本の知識人たちの証言を手がかりに、時代を追いながら論じていきたい。具体的には中国知識人の魯迅、周作人、日本知識人の芥川龍之介、武者小路実篤などに焦点を当てながら進めていく予定である。（担当者：根岸宗一郎）

「アジアの中の琉球（沖縄・奄美）文化」

日本文化・琉球文化・韓国文化など、いわゆる文化と呼ばれるものとは何なのか、それらはどのように形成されてくるものなのかという問題を考えるために、本講義ではわれわれにとって近しくもあり異質でもある琉球文化に焦点を絞って、その形成を空間的・時間的に考察してみる。

現在われわれが一般にイメージする琉球的なるものは、450年にも及んで、交易国家として栄えた琉球王朝の時代に醸成されたものであろう。しかし、この王朝時代の前にはまだ統一された国家を持たないグスク時代と呼ばれる時代が何世紀にもわたって存在し、さらにその前には長い先史時代がある。琉球文化の形成は、その長い歴史の全体の中で考えていかなければならない。同時に、この歴史の中での文化の形成は、海を挟んだ島々の間の交通、さらには日本（ヤマト）や中国・韓国・東南アジアに及ぶ広い地域の文化との接触によってなされたものである。そのような文化形成の実態を、民俗学・民族学の方法を取り入れながら立体的に考察していく。（担当者：伊藤好英）

「母語以外の言語で書くとはどんなことなのか？」

文字言語を使って「書く」という行為は私たちの日常生活の重要な一部ですが、同時にまた母語においてすらその困難さと直面することも少なくないはず。では決して容易ではないその「書く」という行為を、母語以外の言語で実践するとはどのような性質の作業でしょうか。

母語以外の言語で書かれたテキストがその主要作品となっている作家の数は決して少なくありません。母語以外の言語をたえず意識しながら書いた作家となればその数はもっと増えるでしょう。彼らの書いたテキストを読んで、母語以外の言語で「書く」とはどのような経験なのか考察することが私の担当部分の中心です。さらに、日本語で「書く」という行為そのものを主題として考えられるようになることを目標とします。具体的にはカフカ、コンラッド、ベケット、ナボコフ、多和田葉子、水村美苗ほかのテキストをとりあげる予定です。（担当者：石井康史）

「『文化』、『翻訳』、『比較』」

本講義の科目名には「文化」と言う言葉が含まれています。「文化」という言葉は現在英語で言う culture の翻訳語に相当するものとして定着していますが、その意味範囲は曖昧で、同じく culture の翻訳である「教養」、カタカナ語「カルチャー」さらには同義語である「文明」の意味範囲と重複したり、あるときには対比的に使われたりしているのが現状だと思います。「文化」という言葉がすでに漢語であり、culture に「文化」という語を当てることはいわば外国語でもって外国語を翻訳しているということになり、「文化」という一語の中にさえ、複数の文化の相互干渉が見られるわけです。私の担当分では、「翻訳」を、単に異言語間の翻訳という字義的な意味にとどまらず、他の文化や他の文化ジャンルの移入や書き換え、混淆といった広義の文化現象を含むものととらえ、その諸相を各回のトピックのうちに探ることによって、本講義の科目名に含まれるもうひとつの言葉「比較」について考えていきたいと思います。各トピックは現段階の暫定的なもので取り上げる順番や内容の変更があるかもしれません。私の担当分の初回の授業でそうした変更を含め詳しい内容を説明する予定です。（担当者：田代真）

【教科書】

伊藤担当分：プリントを配布。

石井担当分：『日本語が亡びるとき』 初版 水村美苗著 筑摩書房 2008 年 ISBN:9784480814968

【参考書】

根岸・石井・田代担当分：授業時に指示。

伊藤担当分：

『神話・宗教・巫俗』 日向一雅・崔吉城編 風響社 2000 年 ISBN:4-938718-40-5

『異人その他』 岡正雄著 岩波書店（文庫本） 1994 年 ISBN:4-00-331961-3

『折口学が読み解く韓国芸能—まればとの往還』 伊藤好英著 慶應義塾大学出版会 2006 年 ISBN:4-7664-1250-8

東アジア宗教文化概論 I

「東アジアと仏教」

2 単位 春学期

【文経商医薬】

岡本 一平

【授業科目の内容】

本講義では、東アジア地域における仏教と、その社会的・文化的影響について概観する。

インドに生まれた原始仏教は、やがて部派仏教と大乘仏教とに分かれ、後者は中国へと伝来した後、鳩摩羅什・玄奘らによる漢訳仏典を通じて普及し、やがて朝鮮半島・日本などを含む東アジア全域で受容されるようになった。

本講義では、まず、仏教原典をひもといて、そこに語られるブッダの思想の特色を明らかにする。その上で、東アジア、とりわけ中国と日本における大乘仏教の展開について、主要な宗派がいかなる思想・理論のもとに生みだされ、いかに受容され消長したかを概説する。理論面のみならず、仏教信仰が政治・社会や文化におよぼした影響に留意しつつ、講義を進めていく。

本講義を通じて、現代の我々（日本人が）が当然のものとして受け入れている「常識」には歴史的に仏教思想に起源を持つ部分が多いことを理解し、東アジアに位置する日本のあり方を考える上での視点を養ってもらいたい。これはいかなる専門分野においても不可欠な視点である。従来、日吉にはこうした講座が開講されていなかったが、今年度、新規に開講されるので、是非とも多くの学生諸君の履修を期待したい。

【教科書】

特に指定無し。講義資料のプリントを配布する。

【参考書】

『仏教入門』 袴谷憲昭著 大蔵出版 2004 年 ISBN:4-8043-3062-3

『日本仏教文化史』 袴谷憲昭著 大蔵出版 2005 年 ISBN:4-8043-0564-5

『インド仏教史』 上下 平川彰著 春秋社 1979 年

『朝鮮仏教史』 鎌田茂雄著 東京大学出版会 1987 年

『中国仏教史』 鎌田茂雄著 岩波書店 1978 年 ISBN:4-00-020354-1

東アジア宗教文化概論 II

「氣の思想史」

2 単位 秋学期

【文経商医薬】

加藤 千恵

【授業科目の内容】

儒教および道教についてその概略を講義する。

儒教については、まず春秋時代の孔子に始まる儒家思想の成立とその特色について検討する。このとき、春秋戦国時代の諸子百家のさまざまな学説についても、対比的に言及する。漢代の国教化以降、儒教は王朝の統治を支える理論として大いに発展

し、やがては朱子学・陽明学などの学派を生み出すに至った。そうした儒教思想の展開について解説するとともに、儒教の日本をはじめとする東アジア諸地域における展開と影響についても言及する。

道教については、漢以前の老荘思想から魏晋南北朝における道教教団の成立へと至る歴史を概説し、正一教・全真教など道教教団の展開を追う。現代の中国や台湾における道教および民間信仰のあり方についても、事例に沿って紹介したい。

東アジアの文化は、歴史的に中国思想の影響を強く受けており、欧米化が進んだとはいえ、現代日本にもその影響は色濃く残っている。一方で、中国思想の理解や受容のされ方には、中国と日本、その他の地域との間にギャップが見られるのも事実である。本講座を通じて、東アジアの文化・社会の共通性と差異について具体的に考察する視座を身につけてもらいたい。本講座は従来、日吉には開講されていなかった中国思想の講座であり、新規開講にあたり、多くの学生諸君の履修を歓迎する。

〔教科書〕

講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『気の中国文化—気功・養生・風水・易』三浦國雄著 創元社 1994 年

『中国思想史』上・下 森三樹三郎著 第三文明社〈レグルス文庫〉

『易の話』金谷治著 講談社

『風水—中国人のトボス』三浦國雄著 平凡社〈平凡社ライブラリー〉1995 年

『緯書と中国の神秘思想』安居香山著 平河出版社

『道教の経典を読む』増尾伸一郎・丸山宏編 大修館書店〈あじあブックス〉2001 年

『道教の神々と祭り』野口鐵郎・田中文雄編 大修館書店〈あじあブックス〉2004 年

『不老不死の身体—道教と「胎」の思想』加藤千恵著 大修館書店〈あじあブックス〉2002 年

『不老不死—仙人の誕生と神仙術』大形徹著 講談社 1992 年

『死のレッスン』石田秀実著 岩波書店 1996 年

『中国古代人の夢と死』吉川忠夫著 平凡社〈平凡社選書〉1985 年

美術 I

「西洋建築史概説 (1)」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

金山 弘昌

〔授業科目の内容〕

古代から中世にいたるヨーロッパの建築の歴史を理解することを目的に、各時代各地域を代表する建築について、おもに様式の変遷（かたちの変化）という観点から概説します。また授業ではスライドを使用します。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『カラー版 西洋建築様式史』熊倉洋介・末永航他著 美術出版社 1995 年

『ヨーロッパ建築史』西田雅嗣編 昭和堂 1998 年

『西洋建築史図集』日本建築学会編 彰国社 1981 年

美術 II

「西洋建築史概説 (2)」

2 単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

金山 弘昌

〔授業科目の内容〕

中世から近世にいたるヨーロッパの建築の歴史を理解することを目的に、各時代各地域を代表する建築について、おもに様式の変遷（かたちの変化）という観点から概説します。また授業ではスライドを使用します。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『カラー版 西洋建築様式史』熊倉洋介・末永航他著 美術出版社 1995 年

『ヨーロッパ建築史』西田雅嗣編 昭和堂 1998 年

『西洋建築史図集』日本建築学会編 彰国社 1981 年

美術 I

「スペイン美術」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

木下 亮

〔授業科目の内容〕

16 世紀から 19 世紀初頭までのスペイン美術を、エル・グレコ、ベラスケス、ゴヤを中心に概観し、さらに彼らの作品を例に挙げながらキリスト教美術、宮廷肖像や宮廷装飾について具体的に説明します。またスペインと他のヨーロッパ諸国との美術における影響関係についても考察していきます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義のなかで紹介します。

美術 II

「スペイン近現代美術」

2 単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

木下 亮

〔授業科目の内容〕

19 世紀半ばから現代までのスペイン美術を、ガウディ、ピカソ、ダリを中心に概説します。またスペイン美術に影響を与えた他のヨーロッパ諸国の美術についても紹介していきます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義のなかで紹介します。

美術 I (火 4・5)

「20 世紀の美術」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

近藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

19 世紀後半から 20 世紀にかけて美術の講義です。知的なアプローチによって美術作品のなかに込められた作家の主張を正確に理解することを目的とします。

内容としては、印象派、後期印象派、フォーヴ、特にマティスの作品を中心に説明します。

この講義では近・現代美術を見る上での基本的な知識の習得を目的としますので、ある程度作品や語句を暗記することが求められます。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

『世界美術大全集』小学館

『カラー版 20 世紀の美術』美術出版社

およびマティス関係の文献など。詳しくは授業の際に説明します。

美術 II (火 4・5)

「20 世紀の美術」

2 単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

近藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

20 世紀美術史の講義です。知的なアプローチによって美術作品のなかに込められた作家の主張を正確に理解することを目的とします。

内容としては、ピカソの作品を中心にキュビズムなどについて考えます。

この講義では近・現代美術を見る上での基本的な知識の習得を目的としますので、ある程度作品や年代、語句を暗記することが求められます。

〔教科書〕

ありません。

〔参考書〕

『カラー版 20 世紀の美術』美術出版社

『世界美術大全集』小学館

ピカソ関係文献など。詳しくは授業中に説明します。

美術 I

「日本の仏教美術

2 単位 春学期

(飛鳥時代から平安時代前期)」

〔文経法政商医理薬〕

塩澤 寛樹

〔授業科目の内容〕

美術史を総合的に理解するには、建築、彫刻、絵画、工芸などの造形芸術各ジャンルにわたって知ることが理想ですが、限られた時間の中でこれらを各時代にわたって網羅的に取り上げることは困難です。

そこで本講は、日本美術の中でも最も主要なジャンルである仏教美術を学習の中心に据え、その中でも古代から近世に至るまで連綿と流れを追うことが可能で、かつ各時代を通じて豊富な作例に恵まれている仏教彫刻史を中心にして通史的に日本美術史をたどり、それを通して日本美術の特質の一端を理解することを目指しますが、ここではそのうちの飛鳥時代から平安時代前期までを扱います。

また、美術史は背景としてその当時の政治・経済状況や宗教事情などとも密接にかかわっており、こうした周辺分野についても触れながら幅広い視点での把握を目指します。

講義では、なるべく多くの画像を写し、視覚的な理解に努める予定です。

なお、本講は「美術 II—平安時代後期から江戸時代」と併せて通史的に構成される内容の半期分に当たります。

〔教科書〕

特に指定しません。ただし、授業計画に即して項目ごとに、プリントを配布します。

〔参考書〕

『仏像のみかた』倉田文作著 第一法規出版

『仏像図典』佐和隆研著 吉川弘文館

『仏教美術事典』中村元・久野健編 東京書籍

美術 II

「日本の仏教美術

2 単位 秋学期

(平安時代後期から江戸時代)」

〔文経法政商医理薬〕

塩澤 寛樹

〔授業科目の内容〕

美術史を総合的に理解するには、建築、彫刻、絵画、工芸などの造形芸術各ジャンルにわたって知ることが理想ですが、限られた時間の中でこれらを各時代にわたって網羅的に取り上げることは困難です。

そこで本講は、日本美術の中でも最も主要なジャンルである仏教美術を学習の中心に据え、その中でも古代から近世に至るまで連綿と流れを追うことが可能で、かつ各時代を通じて豊富な作例に恵まれている仏教彫刻史を中心にして通史的に日本美術史をたどり、それを通して日本美術の特質の一端を理解することを目指しますが、ここではそのうちの平安時代後期から江戸時代までを扱います。

また、美術史は背景としてその当時の政治・経済状況や宗教事情などとも密接にかかわっており、こうした周辺分野についても触れながら幅広い視点での把握を目指します。

講義では、なるべく多くの画像を写し、視覚的な理解に努める予定です。

なお、本講は「美術 I—日本の仏教美術 (飛鳥時代から平安時代前期)」と併せて通史的に構成される内容の半期分に当たります。

〔教科書〕

特に指定しません。ただし、授業計画に即して項目ごとに、プリントを配布します。

〔参考書〕

『仏像のみかた』倉田文作著 第一法規出版

『仏像図典』佐和隆研著 吉川弘文館

『仏教美術事典』中村元・久野健編 東京書籍

美術 I

「イギリスの風景画」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

杉村 浩哉

〔授業科目の内容〕

人間が自然とかかわる中から生まれてきたイギリスの美術についての講義です。美術 I (春学期) では中世の絵地図から 18 世紀末までを概観します。個々の美術作品を歴史的な脈絡の中でとらえること、また広く美術一般についての関心を深めることを目的とします。

〔教科書〕

特に指定しません。授業時に資料を配布します。

〔参考書〕

授業の中で適宜指示します。

美術 II

「イギリスの風景画」
【文経法政商医理薬】

2 単位 秋学期
杉村 浩哉

〔授業科目の内容〕

人間が自然とかかわる中から生まれてきたイギリスの美術についての講義です。美術 II（秋学期）では 19 世紀から現代までを概観します。個々の美術作品を歴史的な文脈の中でとらえること、また広く美術一般についての関心を深めることを目的とします。

〔教科書〕

特に指定しません。授業時に資料を配布します。

〔参考書〕

授業の中で適宜指示します。

美術 I

「19 世紀西洋美術史概説（前期）」
【文経法政商医理薬】

2 単位 春学期
富田 章

〔授業科目の内容〕

西欧の 19 世紀は、社会構造が大きく変化した時代であった。美術の世界にもその影響は及んでいる。美術が広い階層に受け入れられるようになり、その結果として受容層の多様な趣味が制作側の意識にも反映されるようになった。このことは具体的には描かれる主題の変化という形であらわれた。これは歴史画を最も価値あるものとするアカデミーの中でさまざまな軋轢を生み出すこととなる。本講義では、以上のようなことを踏まえて、19 世紀前半の西洋美術史を概観する。「美術 II」とあわせて受講することが望ましい。

〔教科書〕

特に定めない。

〔参考書〕

必要に応じて指示する。

美術 II

「19 世紀西洋美術史概説（後期）」
【文経法政商医理薬】

2 単位 秋学期
富田 章

〔授業科目の内容〕

19 世紀に美術の受容層が変化したことは、美術の主題の変化だけではなく、アカデミーを含む美術の体制にも変革を迫ることとなった。一方で科学技術の発展は人々の生活を一編させ、美術の手法にも変化をもたらした。そして、個人と個性を尊重する傾向が強まっていったことが、こうした変化を促進することになった。本講義では、以上のようなことを踏まえて、19 世紀後半の西洋美術史を概観する。「美術 I」とあわせて受講することが望ましい。

〔教科書〕

特に定めない。

〔参考書〕

必要に応じて指示する。

美術 I

「江戸期の浮世絵と、高貴なパトロンたち」
【文経法政商医理薬】

2 単位 春学期
内藤 正人

〔授業科目の内容〕

江戸時代に花開いた風俗画の一種である浮世絵。庶民の芸術としてその名を知られる浮世絵だが、現実には封建社会の貴人である天皇や公家、あるいは将軍・大名といった、庶民にあらざる高貴な階層の人々も、ときにそれらを所有し、あるいは鑑賞を加えた事実がしだいに明らかとなっている。

この講義では、江戸時代の浮世絵の概説をおこなったうえで、現在一般には認知されていない浮世絵と貴人のつながりを、作品や史料から具体的に裏付けていく。一般常識レベルの歴史の勉強では学べない、江戸期浮世絵の多面性や魅力を、美術の歴史を考える立場から探っていききたい。

〔教科書〕

『浮世絵再発見一大名たちが愛でた逸品・絶品』内藤正人著 小学館 2005 年

〔参考書〕

『浮世絵の歴史』小林忠監修 美術出版社 1998 年

美術 II

「日本美術の味わい方」
【文経法政商医理薬】

2 単位 秋学期
林 温

〔授業科目の内容〕

日本の古美術品の鑑賞法と美術史的な視点について講義します。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

適宜、授業中に指示する。

美術 I

「日本絵画史（古代・中世）」
【文経法政商医理薬】

2 単位 春学期
樋口 一貴

〔授業科目の内容〕

飛鳥時代より室町時代までの日本美術の歴史を概観します。日本美術史の入門として、毎回、各時代やジャンルを代表する作品をとりあげて、日本における美意識の変遷を考えようと思います。ただし、日本美術といっても多様な分野があるため、そのすべてを扱うことは限られた時間の中では困難です。そこで本講では絵画を中心に授業を行います。話題を絵画に限定するのではなく、これに関連する諸分野（彫刻・工芸・書など）についても適宜紹介するつもりです。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業の中で適宜指示します。

美術 II

「日本絵画史（近世）」
【文経法政商医理薬】

2 単位 秋学期
樋口 一貴

〔授業科目の内容〕

桃山・江戸時代の日本美術の歴史を概観します。日本美術史の入門として、毎回、一つの流派ないし一人の画家とその作品をとりあげて、近世絵画の変遷を考えようと思います。本講では絵画を中心に授業を行います。話題を絵画に限定するのではなく、これに関連する諸分野（工芸・書など）についても適宜紹介するつもりです。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業の中で適宜指示します。

美術Ⅰ

「日本美術の「かたち」と「こころ」」

2単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

日野原 健司

〔授業科目の内容〕

何百年以上も前に生きていた人たちと全く同じものを見ているということ。長い歴史の隔たりを一瞬にして消し去り、身近なものへと感じさせてしまう圧倒的な力を、彫刻や絵画、工芸や建築などの「かたち」は持っている。

この講義では、日本の歴史の中で生み出されたさまざまな美術品や造形物の「かたち」に着目し、当時の歴史的背景も視野に入れながら、その「かたち」に込められた「こころ」、すなわち、日本人の美的感覚や作品の味わいについて紐解いていく。飛鳥時代から安土桃山時代まで、時代の流れに沿って、幅広いジャンルの作品を紹介する。

和の文化について関心はあるものの今まで接する機会のなかった学生たちに、日本美術を知るための入門としてもらいたい。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

『日本美術の歴史』第1版 辻惟雄著 東京大学出版会 2005年

『日本美術館』第1版 小学館 1997年

美術Ⅱ

「日本美術の「かたち」と「こころ」」

2単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

日野原 健司

〔授業科目の内容〕

何百年以上も前に生きていた人たちと全く同じものを見ているということ。長い歴史の隔たりを一瞬にして消し去り、身近なものへと感じさせてしまう圧倒的な力を、彫刻や絵画、工芸や建築などの「かたち」は持っている。

この講義では、日本の歴史の中で生み出されたさまざまな美術品や造形物の「かたち」に着目し、当時の歴史的背景も視野に入れながら、その「かたち」に込められた「こころ」、すなわち、日本人の美的感覚や作品の味わいについて紐解いていく。江戸時代から現代まで、時代の流れに沿って、幅広いジャンルの作品を紹介する。

和の文化について関心はあるものの今まで接する機会のなかった学生たちに、日本美術を知るための入門としてもらいたい。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

『日本美術の歴史』第1版 辻惟雄著 東京大学出版会 2005年

『日本美術館』第1版 小学館 1997年

人の尊厳

「社会と人権」

2単位 秋学期

〔文経商医〕

渡辺 秀樹 関場 武

安藤 寿康

〔授業科目の内容〕

国内外の情勢を眺めたとき、今日ほど人の尊厳の基盤が危機に瀕している時代はない。国際情勢においては民族間の葛藤が、国内においては少年犯罪、同和問題、性差別、児童虐待、さまざまなハラスメントや、いじめなどの諸問題が、また科学の領域では遺伝子情報や生命操作に絡む倫理的危機が、そしてわが心のうちには自分自身の尊厳を見いだすことができずにさまよう一人一人の精神的・思想的危機がある。これらは一見別々の問題のようでありながら、実は互いに連動しあっている。この講義は単なる「知識を得る」ための授業ではない。これら多様な問題に自ら立ち向かっておられるさまざまな分野の専門家に毎回登場いただき、自らの経験や問題状況を語っていただく。それを受けて、学生諸君には、これらの諸問題を考え、さらには自らをふり振り返り自分自身の考え方や生き方を問い直すきっかけをつかんほしい。それが、この講義の目的である。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

授業時に各講師が適宜紹介する。

表象文化論 a (春学期) / 表象文化論 b (秋学期)

表象文化論 (通年)

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔文経商医〕

林 栄美子 (コーディネーター)

坂尻 昌平 杉原 賢彦

新島 進

〔授業科目の内容〕

「写真と映画の誕生」林栄美子

人間が初めて「映像」を手にしたのは19世紀です。写真は19世紀前半に、映画は19世紀末に誕生しましたので、人間の長い歴史の中ではつい最近のことと言えます。それでも短い間に映像は我々の周りに氾濫し、いつのまにか人間を変え、今では映像の存在しない世界を想像することさえ難しくなっています。写真と映画が誕生した頃に戻って、それらがどのようにして生まれてきたのかを知り、黎明期の写真・映画を今改めて見てみると、それらの面白さに驚かされます。写真については誕生から1930年代ぐらいまでの、映画については19世紀末から20世紀初め頃までの、実際の映像資料に接して楽しみながら、写真とは映画とは何かを考えてみましょう。

「映画における恐怖と笑いの詩学」坂尻昌平

笑いとは恐怖は常に裏表の関係にある。映画はそのはじまりの段階より、笑いとは恐怖とともにあったことは、リュミエール兄弟の『列車の到着』に恐怖し、『水を撒かれた水を撒く人』に笑ったことから、明白だった。恐怖と笑いは、映画の中で、さまざまなシチュエーション、キャラクターを通してそのつど異なったかたちで顕在化し、たちまち姿を消す。恐怖と笑いは、いつでも潜在しており、何かのきっかけで、一挙に浮上する暴力の一撃でもある。ロイドも、キートンも、ラングドンも、恐怖と笑いが背中合わせで

あることを身を以て示したが故に偉大なのだ。なぜ、お化屋敷は、ホラーとコメディ両方に好まれる題材なのか、ロバート・ワイズの傑作『あたり』が、なぜヤン・デ・ボンの『ホーンティング』で、失笑を買うことになったのか、等々、映画史を通して、連綿と続く恐怖と笑いの詩学をじっくりと考えてみよう。映画の別な魅力が発見できることだろう。

「映画は文学の夢を見たか？」杉原賢彦

映画と文学は決定的に異なります。その表現においてもスタイルにおいても、両者を比較するあるいは並べて論じることは論外でしょう。が、それでもしかし、両者はなんらかの影響を与え合わずにはおかenない……。その断面を、フランスのある時期を中心に切り取ってみたいと思います。

「人形映画」 新島 進

ヒトガタ（人形）に演じさせる、人形を撮るとはどういうことなのだろう？ 人形と生身の俳優、あるいは昨今の CG 俳優との違いはなにか？ 人形劇との違いは？ 文化圏によって作風の違いはあるのか？ アニメーションもつきつめれば人形映画だろう。こうした人形の表象について実際の映画作品を観ながら考えてみる。また、とりあげる作品の原作についても触れる。

【教科書】

（杉原賢彦）とくに指定しません。講義時に資料等を配布します。

（新島進）特に指定しません。資料プリントを配布します。

【参考書】

（林栄美子）授業中に紹介する。

（坂尻昌平）授業中に紹介する予定。

（杉原賢彦）『映画のなかの文学 文学のなかの映画』

飯島正著 白水社 ※本書は、ただし、アンチ・テーゼとして。

（新島進）授業中に順次紹介。

物理学 I（実験を含む）

「ミクロの世界と量子力学」

3 単位 春学期

【文経法政商】

青木 健一郎

【授業科目の内容】

原子論はギリシア時代からありましたが、原子の実在を確かめ、その構造を解明したのは 20 世紀の物理学の大きな功績です。この講義では、ミクロの視点から物のふるまいを考えます。それに必要な量子力学的な考え方について説明し、原子の構造を理解します。量子力学は奥深いおもしろい分野で、量子コンピューターなどの分野で近年も発展が続いています。原子論のミクロを突き詰める考え方は現在は素粒子物理や超弦理論と受け継がれています。これらの分野の最先端の展開についても解説します。原子論的な視点は、ブラック・ショールズ理論におけるデリバティブの評価などの経済物理にも応用されており、それについても時間があれば扱います。

実験から結果をどのように導くかを体験し、自然科学における「事実」とは何かを実感できると思います。また、自分で行い結果を得るのは楽しいと思います。実験の前に、実験の内容と日常経験する現象と結び付きや、講義の内容との関連について解説します。

物理の本質は「なぜ」という問題に答えるところだと思います。理屈だけではなく、その理論の実証的根拠を実験も通じて理解することを重視しながら講義を進めます。

【教科書】

実験の教科書：『物理の実験 I』慶應義塾大学日吉物理学教室編

講義の教科書：特に指定しません。

【参考書】

テーマごとに紹介します。

物理学 II（実験を含む）

「宇宙物理と相対性理論」

3 単位 秋学期

【文経法政商】

青木 健一郎

【授業科目の内容】

人類の宇宙に対する強い興味は古代からのものですが、宇宙像は 20 世紀にもっとも大きく変わったものの一つです。19 世紀には銀河の存在さえも確立されていませんでした。講義では、現在の宇宙像をその根拠となる観測の持つ意味とともに理解することを目的とします。宇宙はどのように変化してきたのか？ 星の構造、そしてブラックホールは何なのか？といったトピックを扱います。

相対性理論は 20 世紀初頭にアインシュタインの作った理論です。一方、相対性は自然な考え方であり数百年前にもありました。講義では相対性の考え方を中心にアインシュタインの相対性理論を解説します。相対性理論は初めはわからないかも知れませんが、理解すれば自然に感じられるでしょう。相対性理論は重力レンズやブラックホールの理解には不可欠です。相対性理論が様々な現象にどのように反映されているかも説明します。

実験の前に、実験の内容と日常経験する現象と結び付きや、講義の内容との関連について解説します。

【教科書】

実験の教科書：『物理の実験 II』慶應義塾大学日吉物理学教室編

講義の教科書：特に指定しません。

【参考書】

テーマごとに紹介します。

物理学 I（実験を含む）

「身の回りの物理」

3 単位 春学期

【文経法政商】

小林 宏充

【授業科目の内容】

皆さんは身の回りで起こっている現象の裏に潜む物理法則に興味はないでしょうか？例えば、昼間の空は青いが、夕暮れには空が赤くなるのはなぜでしょう。これは、光の散乱に関する法則から説明されます。飛行機が飛ぶのはなぜか。これは、カーブボールが曲がるのと同じ物理法則で説明できる。電子レンジを使うと冷めた料理が温められるのはなぜか。これは、テレビやラジオさらには携帯電話などで使われている電磁波が関係している。このように講義では、身の回りの物理現象を取り上げ、その現象はどのような物理法則に支配されているかを理解してもらうことを目標とする。

本授業では、講義と実験を隔週で行う。実験は、「物理の実験 I」のテキストに従って、毎回異なるテーマについて二人一組で行う。

【教科書】

講義：講義ノート web サイトからダウンロードできるようにします。

実験：『物理の実験 I』慶應義塾大学日吉物理学教室編

【参考書】

特にありませんが、必要があれば適宜紹介します。

物理学Ⅱ（実験を含む）

「オムニバス現代物理」

3 単位 秋学期

【文経**法政商**】

小林 宏充

〔授業科目の内容〕

20 世紀以降の物理学は、細分化され、それぞれの分野で大きな発見・進展があった。講義では、これらを毎回異なるテーマでオムニバスの紹介する。自然現象に潜む物理法則を見つけ出し、その法則を科学技術に応用してきた偉大な科学者たちの功績を理解してもらうことを目標とする。

本授業では、講義と実験を隔週で行う。実験は、「物理の実験Ⅱ」のテキストに従って、毎回異なるテーマについて二人一組で行う。

〔教科書〕

講義：講義ノートを web サイトからダウンロードできるようにします。

実験：『物理の実験Ⅱ』慶應義塾大学日吉物理学教室編

〔参考書〕

特にありませんが、必要があれば適宜紹介します。

物理学Ⅰ（実験を含む）

「素朴な疑問に答える物理学」

3 単位 春学期

【文経**法政商**】

下村 裕

〔授業科目の内容〕

実験と講義を隔週におこなう授業です。素朴な疑問の重要性和物理学のものの見方を学ぶことが目標です。実験は、テキスト「物理の実験Ⅰ」にある様々なテーマを二人一組で行います。講義では、誰もがいただく素朴な疑問に対して物理学がどのように答えるのかを解説します。

〔教科書〕

『物理の実験Ⅰ』慶應義塾大学日吉物理学教室編

〔参考書〕

『ケンブリッジの卵―一回る卵はなぜ立ち上がりジャンプするのか』下村裕 慶應義塾大学出版会 2007 年

物理学Ⅱ（実験を含む）

「相対性理論入門」

3 単位 秋学期

【文経**法政商**】

下村 裕

〔授業科目の内容〕

実験と講義を隔週におこなう授業です。素朴な疑問の重要性和物理学のものの見方を学ぶことが目標です。実験は、テキスト「物理の実験Ⅱ」にある様々なテーマを二人一組で行います。講義では、物理学でもっとも美しい理論だといわれる相対性理論を、数式や専門用語にできる限り頼らず解説します。アインシュタインによって作り上げられたこの理論は、単純な原理から時間と空間に対する我々の常識を覆します。たとえば「動くものは、長さが縮み、時間の進みかたが遅くなり、質量が増える」などは信じがたい事実です。ビデオ等も援用して、相対性理論の考え方を理解し、その描く不思議な世界（宇宙）を学びます。

〔教科書〕

『物理の実験Ⅱ』 慶應義塾大学日吉物理学教室編

『「相対性理論」を楽しむ本』佐藤勝彦監修 PHP 文庫 1998 年

〔参考書〕

『ケンブリッジの卵―一回る卵はなぜ立ち上がりジャンプするのか』下村裕 慶應義塾大学出版会 2007 年

物理学Ⅰ（実験を含む）

「地球と環境の物理」

3 単位 春学期

【文経**法政商**】

杉本 憲彦

〔授業科目の内容〕

実験と講義を隔週で交互に行います。物理学的な見方や考え方を学ぶことが目標です。実験では、「物理の実験Ⅰ」のテキストに従って、毎回異なるテーマを二人一組で行います。講義では、地球上でおこる様々な自然現象を、物理学的な視点で解説します。地球は核・マントル・地核・大気・海洋からなる巨大なシステムであり、それらが引き起こすさまざまな変動によって、地球環境の変化が引き起こされます。我々にとって身近な、地震や火山活動、オーロラ、台風や竜巻、津波といった自然現象が、どのような物理法則によってもたらされるのか、正しく理解できる力を身につけましょう。また、地球温暖化等の地球環境問題に関する、最近の話題も盛り込みます。講義を通じて、今後の地球と人間活動のあり方についても、一緒に考えましょう。

〔教科書〕

講義：講義スライド(WEB 上に掲示)及び講義ノート(毎回配布)。実験：『物理の実験Ⅰ』慶應義塾大学日吉物理学教室編

〔参考書〕

適宜、授業中に紹介します。

物理学Ⅱ（実験を含む）

「気象の物理」

3 単位 秋学期

【文経**法政商**】

杉本 憲彦

〔授業科目の内容〕

実験と講義を隔週で交互に行います。物理学的な見方や考え方を学ぶことが目標です。実験では、「物理の実験Ⅱ」のテキストに従って、毎回異なるテーマを二人一組で行います。講義では、地球の自然現象の中の、特に大気現象(気象)に着目します。気象の特徴は、(1)日々の天気に関わる雲や雨の発生、前線・低気圧の発達から、(2)冷夏や暖冬などの季節の変動に関わるモンスーンやエルニーニョ、また(3)地球温暖化やオゾンホールなどの長期の気候変動まで、その現象の時間・空間スケールが多様な点にあります。また、竜巻や集中豪雨・豪雪、台風など、様々な自然災害をもたらす点も重要です。本講義は、これらの身近で多様な気象を、物理学的な視点で解説します。現象の本質を正しく理解できる力をつけましょう。また、気象分野における地球環境問題にも着目し、現在の状況と今後の対策についても議論したいと思います。

〔教科書〕

講義：講義スライド(WEB 上に掲示)及び講義ノート(毎回配布)。実験：『物理の実験Ⅰ』慶應義塾大学日吉物理学教室編

〔参考書〕

適宜、授業中に紹介します。

物理学Ⅰ（実験を含む）

「19 世紀の物理学を中心に」

3 単位 春学期

【文経**法政商**】

新田 宗土

〔授業科目の内容〕

講義と実験を隔週で行います。高校の物理学、数学の知識は仮定しません。人々は太古から日常の様々なレベルで様々な疑問を抱いてきました。熱い、冷たいとはどういうことか？温度とは何か？熱とは何か？光とは、色とは何か？音とは何か？このような日常の疑問に加えてもっと哲学的な疑問を持つ人もいます。時間とは、空間とは何か？力とは何か？そもそも物とは何か？このような様々な疑問に答えるために生まれた学問が物理学です。物理学 I では、19 世紀までに物理学の到達した世界観について学びます。

〔教科書〕

実験の教科書：『物理の実験 I』 慶應義塾大学日吉物理学教室編

講義の教科書： 特に指定しません。

〔参考書〕

『一般教養としての物理学入門』 和田純夫著 岩波書店
ASIN:4000050443

物理学 II (実験を含む)

「20 世紀、21 世紀の物理学を中心に」 3 単位 秋学期

【文経法政商】 新田 宗土

〔授業科目の内容〕

講義と実験を隔週で行います。高校の物理学、数学の知識は仮定しません。物理学 I に引き続き、現代物理学を解説します。(I から連続して受けることを推奨します。)

19 世紀とは異なり、20 世紀の物理学はより哲学的な疑問にまで答えられるようになってきました。時間とは何か？空間とは何か？物質とは何か？そして人々の常識を覆すような概念の変革がありました。相対性理論と量子論です。アインシュタインや数々の天才達が世の中の謎を解いていく様子はドラマチックでもあります。特に(特殊)相対性理論は文系でも完全に理解することが出来るので、詳しくやります。森羅万象に対して、現代の物理学がどこまで答えることができ、どこから答えることができないのかをわかってもらえるように工夫します。

〔教科書〕

実験の教科書：『物理の実験 II』 慶應義塾大学日吉物理学教室編

講義の教科書： 特に指定しません。

〔参考書〕

『一般教養としての物理学入門』 和田純夫著 岩波書店
ASIN:4000050443

物理学 I (実験を含む)

「自然現象の本質へ」 3 単位 春学期

【文経法政商】 松浦 壮

〔授業科目の内容〕

物理学 I (実験を含む) では、隔週で講義と実験を交互に行います。

物理学は、身近な現象に目を向け、そこに自然界の本質を見出す学問です。例えば、「なぜ我々は物に触れるのだろうか？」こんな素朴な疑問の裏に、ミクロな世界の単純で美しい構造が隠されています。物理学 I の講義では、古典力学、電磁気学、統計力学をキーワードに、身の回りにある物理現象がいかに単純な原理から説明出来るかを解説します。実験では、指定の教科書「物理の実験 I」に基づいて、毎回違うテーマの基礎

的な実験を二人一組で行います。なお、高校までの物理・数学の知識や、物理実験の経験は仮定しません。

〔教科書〕

講義： 特に指定しません

実験：「物理の実験 I」 慶應義塾大学日吉物理学教室編

〔参考書〕

特に指定しませんが、必要に応じて紹介します。

物理学 II (実験を含む)

「相対性理論と量子力学」 3 単位 秋学期
～新時代の世界観～」

【文経法政商】 松浦 壮

〔授業科目の内容〕

物理学 II (実験を含む) は、物理学 I に引き続き、隔週で講義と実験を交互に行います。物理学 I と同様、高校までの物理・数学の知識や、実験の経験は仮定しません。

20 世紀に入り、観測の精度が上がるにつれ、それまでの物理学では説明の出来ない現象が次々に観測されるようになってきました。それに伴って構築された相対性理論・量子力学は、我々の世界観を一変させます。時間と空間はもはや分けて考えることは出来ず、また、物質は常に揺らいでいます。講義では、相対性理論による時間・空間像、そして、量子力学によって明らかになった、ミクロな世界の驚くべき物質像について解説します。実験では、指定の教科書「物理の実験 II」に基づいて、毎回違うテーマの基礎的な実験を二人一組で行います。

〔教科書〕

講義： 特に指定しません

実験：「物理の実験 II」 慶應義塾大学日吉物理学教室編

〔参考書〕

特に指定しませんが、必要に応じて紹介します。

フランス事情 I

「フランス文化概論、貴族文化・庶民文化」 2 単位 春学期
(16 世紀～18 世紀)」

【文経商薬】 コミネティ、フィリップ 後平 隆

〔授業科目の内容〕

本講義は春、秋毎に独立した内容でありながら、一年を通して相互に関連性を持つものです。フランス語学習者を主たる対象として、フランスやフランス語圏に対する関心を高めるとともに、ものごとを歴史的に見る考え方を養うのを目的とします。それによって履修者が現在自分の置かれている位置を正しく理解する力を身につければ、それはとりもなおさず有効な外国語教育の土台作りとなるでしょう。なお、フランス語の知識がない学生でも履修できるように、講義はすべて日本語で行います。

二人の担当者が交代で講義を受け持ちますが、自らが教壇に立たない日でも聴講し、時には質問を発するという形で授業に参加します。

講義はテキスト、絵画、映画、音楽などの文化的事象を歴史、思想史、政治史的観点から俯瞰する総論部分と、歴史、思想、政治的動向の具体的な現れとしての文化的事象を検討する各論部分の二部構成です。

講義は近世を各世紀に分け、それぞれの時代に顕著な政治的、思想的特徴である宗教戦争、宮廷社会、ブルジョアジーの台頭を取り上げ、上流文化と下流文化の融合、分離、対立に

焦点を当てながら、異なる社会層の認識や価値観の変貌を辿ります。

- 〔教科書〕
リーダーを配布します。
- 〔参考書〕
授業時に指示します。

フランス事情 II

「フランス文化概論、メディアの発展と民主主義の浸透」(19世紀)」
2単位 秋学期
【文経商薬】 コミネティ、フィリップ 後平 隆

〔授業科目の内容〕

本講義は春、秋毎に独立した内容でありながら、一年を通して相互に関連性を持つものです。フランス語学習者を主たる対象として、フランスやフランス語圏に対する関心を高めるとともに、ものごとを歴史的に見る考え方を養うのを目的とします。それによって履修者が現在自分の置かれている位置を正しく理解する力を身につければ、それはとりもなおさず有効な外国語教育の土台作りとなるでしょう。なお、フランス語の知識がない学生でも履修できるように、講義はすべて日本語で行います。二人の担当者が交代で講義を受け持ちますが、自らが教壇に立たない日でも聴講し、時には質問を發するという形で授業に参加します。

講義はテキスト、絵画、映画、音楽などの文化的事象を歴史、思想史、政治史的観点から俯瞰する総論部分と、歴史、思想、政治的動向の具体的な現れとしての文化的事象を検討する各論部分の二部構成です。

フランス革命期から世紀末に至る19世紀全般を二つのテーマから検討します。まず、前半では「ジャーナリズムの力」と題して、新聞の目まぐるしい発展が可能にした具体的な政治的戦略、社会変化、新表象形式を検証します。

次に後半では「民主主義下の文化」と題して、民主主義という新たな社会的パラダイムが成立し、そのイデオロギーが社会全体に浸透するにつれて、様々な文化的局面に影響を及ぼして行く有り様を探ります。

- 〔教科書〕
リーダーを配布します。
- 〔参考書〕
授業時に指示します。

文学 I

「アメリカの詩を読む」
2単位 春学期
【文経法政商医理薬】 朝比奈 緑

〔授業科目の内容〕

アメリカの詩を対訳のかたちで紹介する。以下の項目で論じる。

アメリカの歴史や文化を、詩というジャンルから読み解いていきたい。また可能なかぎり、CDやビデオを用いて、詩人の生の声を味わい、詩の言葉の魅力そのものを伝えたい。

- 〔教科書〕
プリントによる。
- 〔参考書〕
『アメリカ名詩選』岩波文庫
その他、授業時に文献リストを配布する。

文学 II

2単位 秋学期
【文経法政商医理薬】 西川 僚介

〔授業科目の内容〕

アメリカ建国の歴史は、約言すればピューリタニズムとフロンティア精神に基づく人工的な実験国家の成立と発展といつてよいでしょう。この独特な建国のプロセスからアメリカ文学が誕生し、独自の言語表現として成立していく過程を、歴史的背景とともに考察します。

- 〔教科書〕
プリント
- 〔参考書〕
授業ごとのテーマに即し紹介

文学 I

「舞踊論」
2単位 春学期
【文経法政商医理薬】 石井 達朗

〔授業科目の内容〕

シャーマニズム、儀礼、祭祀における舞踊から、伝統舞踊としての様式化が確立したものまでを含めて、アジアの舞踊を考察する。とくに、インド、インドネシア、韓国を対象とする。

- 〔教科書〕
『身体の臨界点』石井達朗著
- 〔参考書〕
『男装論』石井達朗著 青弓社
『異装のセクシュアリティ』石井達朗著 新宿書房
『土方異とともに』元藤子著 筑摩書房
『病める舞姫』土方異著 白水社
『舞踊の世界を探る』ロデリック・ラング著 音楽之友社
『芸術と回想』イサドラ・ダン＝カン著 富山房
『モダンダンスの歴史』海野弘著 新書館
『ダンスの20世紀』市川雅著 新書館
『血の記憶』マーサ・グレーム著 新書館
『ダンス・ハンドブック』ダンスマガジン編 新書館

文学 II

「舞踊論」
2単位 秋学期
【文経法政商医理薬】 石井 達朗

〔授業科目の内容〕

現代の舞踊について考察する。バレエ、モダンダンス、ポスト・モダンダンス、コンテンポラリーダンスなどが対象になる。

- 〔教科書〕
『身体の臨界点』石井達朗著 青弓社
- 〔参考書〕
『男装論』石井達朗著 青弓社
『異装のセクシュアリティ』石井達朗著 新宿書房
『土方異とともに』元藤子著 筑摩書房
『病める舞姫』土方異著 白水社
『舞踊の世界を探る』ロデリック・ラング著 音楽之友社
『芸術と回想』イサドラ・ダン＝カン著 富山房
『モダンダンスの歴史』海野弘著 新書館
『ダンスの20世紀』市川雅著 新書館
『血の記憶』マーサ・グレーム著 新書館

文学 I

「小説を読むための着眼点」

2 単位 春学期

【文経法政商医理薬】

大塚 美保

〔授業科目の内容〕

「文学作品を読むのは苦手」「中学・高校の国語で文学教材を学んだが、今ひとつぴんと来なかった」という人のための文学講座。文学作品の中でも小説というジャンルを取り上げ、どんなポイントに目をつけたら作品を読み解く手がかりが得られ、自らの力でエキサイティングに読み開いていけるか、さまざまな着眼点を提案します。初心者向けの読みのヒントに始まり、最終的には現代文学理論の一端に触れるまでレベルアップします。例に取るのは日本の近代・現代の小説。尾崎紅葉から江國香織までを含みます。

〔教科書〕

講義プリントを配布。

〔参考書〕

『読むための理論』石原千秋ほか著 世織書房

『現代文学理論』土田知則ほか著 新曜社

『小説の技巧』デイヴィッド・ロッジ著 白水社

文学 II

「続・小説を読むための着眼点」

2 単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

大塚 美保

〔授業科目の内容〕

文学 I (春学期) の続編です。趣旨は変わりませんが、内容はやや高度になります。現代文学理論の諸成果の中から、読者に役立つ着眼点を選びすぎて紹介する回が多くなるでしょう。秋学期からの受講も可能ですが、できれば春学期と併修した方が理解しやすいでしょう。

〔教科書〕

講義プリントを配布。

〔参考書〕

『読むための理論』石原千秋ほか著 世織書房

『現代文学理論』土田知則ほか著 新曜社

『小説の技巧』デイヴィッド・ロッジ著 白水社

文学 I / 文学 II

2 単位 春学期 / 秋学期

【文経法政商医理薬】

荻野 安奈

〔授業科目の内容〕

オバマからビン・ラディンまで、TV の CM からクローン技術まで、「文学」はこの世のあらゆる現象、あらゆる人間を対象とします。対象を他人事ではなく、自分の事として感じ、理解する能力を伸ばしていく。いわば頭の筋トレと思って下さい。

〔教科書〕

プリントを配布します。

文学 I

「フランスの詩と芸術——19 世紀後半を中心に」

2 単位 春学期

【文経法政商医理薬】

笠井 裕之

〔授業科目の内容〕

シャルル・ボードレー (1821-1867)、ポール・ヴェルレーヌ (1844-1896)、アルチュール・ランボー (1854-1891)、ジュール・ラフォルク (1860-1887)、ステファヌ・マラルメ (1842-1898) などの作品を題材に、これらの詩人たちがいかにして言語表現の可能性を拓けようとしたかを考えます。また、同時代の音楽、美術、舞台芸術なども取りあげて、純粋な詩的言語を求める詩人たちの努力が、実は他の芸術ジャンルの動向と深く関連し、さらにはジャンルの境界を越えた作品創造への契機を含んでいたことにも触れるつもりです。

〔教科書〕

特に指定しません。資料は Web に掲載します。

〔参考書〕

授業のなかで紹介しますが、まずは入手しやすい以下の一冊を奨めます。

『フランス名詩選』安藤元雄・入沢康夫・渋沢孝輔編 岩波文庫 1998 年

文学 II

「フランスの詩と芸術——20 世紀前半を中心に」

2 単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

笠井 裕之

〔授業科目の内容〕

秋学期は時代を 20 世紀前半に移しますが、春学期と同様、詩を読みながら、他の芸術ジャンルとの関わりにも着目します。取りあげる詩人は、ギヨーム・アポリネール (1880-1918)、ジャン・コクトー (1889-1963)、そしてアンドレ・ブルトン (1896-1966) をはじめとするシュルレアリスムの詩人たち。これら 20 世紀の詩人たちにとっても言語が第一の表現手段であったことに変わりはありませんが、それと同時に、彼らは書物という形式や文字 (活字) に依存しない芸術行為の実践にも身を投じています。その諸相を探ることで、現代の詩や芸術がわたしたちに問うものについても、考察の糸口を得られればと思います。

〔教科書〕

特に指定しません。資料は Web に掲載します。

〔参考書〕

授業のなかで紹介しますが、まずは入手しやすい以下の一冊を奨めます。

『フランス名詩選』安藤元雄・入沢康夫・渋沢孝輔編 岩波文庫 1998 年

文学 I

「『万葉集』を読む」

2 単位 春学期

【文経法政商医理薬】

梶川 信行

〔授業科目の内容〕

『万葉集』を読み進めることを通して、日本の古代の人々の世界観と歴史認識を考えます。

〔教科書〕

『万葉集』鶴久・森山隆著 おうふう

文学 II

「『万葉集』を読む」

2 単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

梶川 信行

〔授業科目の内容〕

『万葉集』を読み進めることを通して、日本の古代の人々の世界観と歴史認識を考えます。

〔教科書〕

『万葉集』 鶴久・森山隆著 おうふう

文学Ⅰ

「オウィディウスの『変身物語』」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

小池 和子

〔授業科目の内容〕

アウグストゥス時代のローマで活躍した詩人オウィディウス（前 43 年～後 17 年頃）の代表作である『変身物語』を紹介する。タイトル通り「変身」をテーマにしたこの作品には、水仙に変じた美少年ナルキッソス（→ナルシズム）のエピソードなど、ギリシア・ローマの神話・伝説上の有名な物語が多数取り入れられている。授業では、まずオウィディウス本人の生涯や、彼が生きた時代の歴史や文学について概観する。その後、『変身物語』の中から毎回一つ乃至二つのエピソードを取り上げ、鑑賞する。

〔教科書〕

『変身物語』（上）（下）オウィディウス著 中村善也訳 岩波書店（岩波文庫） 1981 年 / 1984 年
ISBN-10:4003212010 / 4003212029

文学Ⅰ

「シェイクスピア講義：文化の中の作品論」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

小菅 隼人

〔授業科目の内容〕

ウィリアム・シェイクスピア（1564～1616）の生涯・時代背景を概観した後に、いくつかの劇作品を題材に、最終的にその演劇美としての価値を探る手掛かりを与えることを目的として講義をおこないます。

今日、シェイクスピアの作品は様々な芸術分野にモチーフを提供する一方、英語圏のみならず他の国々の文化にも浸透しつつあります。その意味で、彼の劇作品は文化的背景を異にする人々が芸術・思想を語り合う上での「共通言語」と言えます。同時に、シェイクスピアの作品が 400 年たった今日でも現代芸術としての力を持っているという事実は彼の作品が比類ない美的価値を持っていることを示しています。したがって、この講義では、基本的な知識を伝達するとともに、シェイクスピアの演劇美としての価値を分析的に考える方法を講じます。

〔教科書〕

プリント

〔参考書〕

『ハムレット』、『ベストブレイズ』小菅隼人訳 相田書房
2000 年 所収 4,500 円
『腐敗と再生』小菅隼人編著 慶應義塾大学出版会 2004 年 4,200 円

文学Ⅱ

「シェイクスピア講義：作品の中の思想」

2 単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

小菅 隼人

〔授業科目の内容〕

ウィリアム・シェイクスピア（1564～1616）の生涯・時代背景を概観した後に、いくつかの劇作品を題材に、最終的にその演劇

美としての価値を探る手掛かりを与えることを目的として講義をおこないます。

今日、シェイクスピアの作品は様々な芸術分野にモチーフを提供する一方、英語圏のみならず他の国々の文化にも浸透しつつあります。その意味で、彼の劇作品は文化的背景を異にする人々が芸術・思想を語り合う上での「共通言語」と言えます。同時に、シェイクスピアの作品が 400 年たった今日でも現代芸術としての力を持っているという事実は彼の作品が比類ない美的価値を持っていることを示しています。したがって、この講義では、基本的な知識を伝達するとともに、シェイクスピアの演劇美としての価値を分析的に考える方法を講じます。

〔教科書〕

プリント

〔参考書〕

『ハムレット』、『ベストブレイズ』小菅隼人訳 相田書房
2000 年 所収 4,500 円
『腐敗と再生』小菅隼人編著 慶應義塾大学出版会 2004 年 4,200 円

文学Ⅰ

「ファウスト」の世界に遊ぶ

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

小林 邦夫

〔授業科目の内容〕

ドイツの文豪、ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ（1749－1832）が著した不朽の名作「ファウスト」を、一年間かけてじっくり読んでゆきたい。「ファウスト」が問題として提起する事柄は、現代とも直結する普遍的な価値を持っている。「ファウスト」が世界文学の一つと呼ばれている所以である。そこには「殺し文句」とも言うべき台詞がふんだんにあり、まさに「名言集」の感すらある。「ファウスト」は、まさに現代を生きている我々が直面している諸問題を考える上で、示唆に富み、助言者となり、伴侶とも言うべき価値を持つ古典的作品なのである。また、「ファウスト」は戯曲でもあるので、DVD の上映を通して演劇としての鑑賞も同時に行い、「ファウスト」の解釈に役立てたいと考えている。

「ファウスト」はゲーテ以前の人類の思索と洞察の集大成でもあり、またその後の文学界に与えた影響には計り知れないものがある。ドイツ文学、いや文学一般の入門書として、また人生を考える上での必読の書と言わざるを得ない。ともかくスケールの大きい作品である。この宇宙における人間存在の根本は何か？愛とは、性とは、結婚とは、家庭とは？憎しみとは、争いとは、はたまた戦争とは？生命とは何か？最先端の科学技術とは、ロボットとは？美とは、醜とは、また真実とは？善とは、悪とは、また神とは、宗教とは？義とは、正義とは、法律とは？金とは、経済とは？国家とは、権力とは？死とは、霊魂とは？この世とは、あの世とは、幽霊とは？こころとは、意識とは？無意識とは、自己とは？等々、この作品には、おおよそ人間がこの世で体験することの全てが含まれている、と言ってよいであろう。ニュートン光学と真っ向から争ったゲーテは自然科学者としても秀でていて、植物学、動物学、地質学、気象学等優れた著作があり、とりわけ「色彩論」はつとに有名である。一方ではその自然科学的実証的姿勢を守りながらも、他方ゲーテはまた、徹底的な精神主義者であり、魂の不滅を信じる神秘主義者であるとも言える。そのゲーテのライフワークである「ファウスト」を通して、「天国から、

この世を通り、地獄に至るまで」、ゲーテは我々を遺憾なく案内してくれる。

〔教科書〕

『ファウスト』第一部、第二部（上、下）手塚富雄訳 中公文庫 計三冊

（現在、「第一部」のみ入手可。「第二部」は品切れとなっている模様。）

『ファウスト』山下肇訳；潮出版社刊『ゲーテ全集』第3巻 4854円

『ファウスト』山下肇訳；潮出版社刊『ゲーテ全集』新装普及版、第3巻 1800円

以上のうちいずれかをテキストとする。

以下、その他の主な翻訳書を挙げておく。適宜、参考にされたい。

『ファウスト』森鷗外訳；『鷗外全集』1、2 岩波書店

『ファウスト』相良守峰訳 岩波文庫

『ファウスト』高橋義孝訳 新潮文庫

『ファウスト』高橋健二訳；『世界文学全集』2 河出書房新社

『ファウスト』大山定一訳；『ゲーテ全集』第2巻 人文書院刊

『ファウスト』井上正蔵訳；『愛蔵版世界文学全集』第7巻 集英社

『ファウスト』佐藤通次訳 旺文社文庫

『ファウスト』池内紀訳 集英社「第一部」2200円、「第二部」2800円

『ファウスト』小西悟訳 大月書店 9500円

『ファウスト』片岡義道訳 近代文芸社「第一部」2000円、「第二部」3000円

〔参考書〕

『ゲーテ「ファウスト」を読む』柴田翔著 岩波セミナーブックス11 2500円

『「ファウスト第I部」を読む』柴田翔著 白水社 2000円

『「ファウスト第II部」を読む』柴田翔著 白水社 2400円

『ユングとファウスト』村本詔司著 人文書院

文学II

「ファウスト」の世界に遊ぶ

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

小林 邦夫

〔授業科目の内容〕

ドイツの文豪、ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ（1749－1832）が著した不朽の名作「ファウスト」を、一年間かけてじっくり読んでゆきたい。「ファウスト」が問題として提起する事柄は、現代とも直結する普遍的な価値を持っている。「ファウスト」が世界文学の一つと呼ばれている所以である。そこには「殺し文句」とも言うべき台詞がふんだんにあり、まさに「名言集」の感すらある。「ファウスト」は、まさに現代を生きている我々が直面している諸問題を考える上で、示唆に富み、助言者となり、伴侶とも言うべき価値を持つ古典的作品なのである。また、「ファウスト」は戯曲でもあるので、DVDの上映を通して演劇としての鑑賞も同時に行い、「ファウスト」の解釈に役立てたいと考えている。

「ファウスト」はゲーテ以前の人類の思索と洞察の集大成でもあり、またその後の文学界に与えた影響には計り知れないものがある。ドイツ文学、いや文学一般の入門書として、また人生を考

える上での必読の書と言わざるを得ない。ともかくスケールの大きい作品である。この宇宙における人間存在の根本は何か？愛とは、性とは、結婚とは、家庭とは？憎しみとは、争いとは、はたまた戦争とは？生命とは何か？最先端の科学技術とは、ロボットとは？美とは、醜とは、また真実とは？善とは、悪とは、また神とは、宗教とは？義とは、正義とは、法律とは？金とは、経済とは？国家とは、権力とは？死とは、霊魂とは？この世とは、あの世とは、幽霊とは？こことは、意識とは？無意識とは、自己とは？等々、この作品には、おおよそ人間がこの世で体験することの全てが含まれている、と言ってよいであろう。ニュートン光学と真っ向から争ったゲーテは自然科学者としても秀でていて、植物学、動物学、地質学、気象学等優れた著作があり、とりわけ「色彩論」はつとに有名である。一方ではその自然科学的実証的姿勢を守りながらも、他方ゲーテはまた、徹底的な精神主義者であり、魂の不滅を信じる神秘主義者であるとも言える。そのゲーテのライフワークである「ファウスト」を通して、「天国から、この世を通り、地獄に至るまで」、ゲーテは我々を遺憾なく案内してくれる。

〔教科書〕

『ファウスト』第一部、第二部（上、下）手塚富雄訳 中公文庫 計三冊

（現在、「第一部」のみ入手可。「第二部」は品切れとなっている模様。）

『ファウスト』山下肇訳；潮出版社刊『ゲーテ全集』第3巻 4854円

『ファウスト』山下肇訳；潮出版社刊『ゲーテ全集』新装普及版、第3巻 1800円

以上のうちいずれかをテキストとする。

以下、その他の主な翻訳書を挙げておく。適宜、参考にされたい。

『ファウスト』森鷗外訳；『鷗外全集』1、2 岩波書店

『ファウスト』相良守峰訳 岩波文庫

『ファウスト』高橋義孝訳 新潮文庫

『ファウスト』高橋健二訳；『世界文学全集』2 河出書房新社

『ファウスト』大山定一訳；『ゲーテ全集』第2巻 人文書院刊

『ファウスト』井上正蔵訳；『愛蔵版世界文学全集』第7巻 集英社

『ファウスト』佐藤通次訳 旺文社文庫

『ファウスト』池内紀訳 集英社「第一部」2200円、「第二部」2800円

『ファウスト』小西悟訳 大月書店 9500円

『ファウスト』片岡義道訳 近代文芸社「第一部」2000円、「第二部」3000円

〔参考書〕

『ゲーテ「ファウスト」を読む』柴田翔著 岩波セミナーブックス11 2500円

『「ファウスト第I部」を読む』柴田翔著 白水社 2000円

『「ファウスト第II部」を読む』柴田翔著 白水社 2400円

『ユングとファウスト』村本詔司著 人文書院

文学I

「プロレタリア文学概観」

2単位 春学期

【文経法政商医理薬】

杉浦 晋

〔授業科目の内容〕

1920~30年代の日本におけるプロレタリア文学運動の展開を、主要な文学者の作品の読解を通じて概観する。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

授業時に指示する。

文学 II

「無頼派を読む」

2単位 秋学期

〔文経法政商医理〕

杉浦 晋

〔授業科目の内容〕

日本近代文学史のうえで「無頼派」に位置づけられる三人の文学者の、1930~40年代の代表作を読解する。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

授業時に指示する。

文学 a (春学期) / 文学 b (秋学期)

文学 (通年)

「シェイクスピアと音楽」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理〕

高橋 宣也

〔授業科目の内容〕

シェイクスピアの芝居は今も世界中で上演されています。彼の作品は、長年にわたって多くの観客を魅了すると同時に、様々な時代、ジャンルの芸術家に刺激を与えてきました。なかでも音楽の分野では、作曲家たちがこぞってシェイクスピアを素材に曲を書いています。そして数多くのオペラやオーケストラ作品、歌曲などが生まれてきました。しかし、当然ながら、音楽作品にする過程で原作は手を加えられ、変質します。

この授業では、そうした改変の行われ方を、シェイクスピアの代表作を通してたどっていきます。それは逆に、何がシェイクスピアにおいて本質的なのかを探ることにもなります。様々な音楽の例に接することで、改変によってかえって浮かび上がるシェイクスピアの特徴、現代にも変わらずアピールする人間洞察の魅力を知る機会となるでしょう。

文学 a (春学期) / 文学 b (秋学期) (月 4)

文学 (通年)

「都市の記憶を探る」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理〕

津田 眞弓

〔授業科目の内容〕

日本文化を考えるアプローチのひとつとして、現代の日本文化に大きな影響を残した江戸文化について考えます。

本講義では、江戸で大量に出版されていた浮世絵や絵本「草双紙」(くさそうし)といった視覚的メディアを入りに、当時の人々の目に映っていた江戸はどのようなものであったかを探っていきます。

これらの出版物は、同時代の文学・芸能・流行などを反映するばかりでなく、それ以前の古典文学を踏まえて作られているの

で、江戸という都市を考えるだけでなく、日本文学の伝統について知ることにもなるでしょう。

〔教科書〕

講義プリントを用意します。

〔参考書〕

適宜授業内で指示します。

文学 a (春学期) / 文学 b (秋学期) (水 4)

文学 (通年)

「旅する文学」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理〕

津田 眞弓

〔授業科目の内容〕

日本文化を考えるアプローチのひとつとして、現代の伝統文化に大きな影響を残した江戸時代の文化について考えます。

本講義では、旅をテーマにします。春学期は十返舎一九の『東海道中膝栗毛』を、秋学期は芭蕉の『奥の細道』を中心に据えて、両者が踏まえる古典文学の世界や、江戸文学の雅・俗を考えると共に、周辺の文芸・絵画や、人々の記録などにも言及していきます。

〔教科書〕

『東海道中膝栗毛 上』十返舎一九著 岩波文庫 (岩波書店)

『おくのほそ道』鈴木健一・櫻井真王・倉島利仁編 三弥井書店 2007年

〔参考書〕

適宜授業内で指示します。

文学 a (春学期) / 文学 b (秋学期) (木 3)

文学 (通年)

「百人一首をよむ」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理〕

寺澤 行忠

〔授業科目の内容〕

かつては、正月になると、どの家庭でも『百人一首』を楽しみ、多くの人が百首の歌をそらんじていたものである。長い年月にわたり、国民の間に広く愛され、日本人の教養の基盤を形成してきた。だから、『百人一首』は、日本人が必ず知っておかなければならない、最も重要な古典の一つなのである。

千年も前に、日本の詩歌がこれほど見事な達成を示していたということは、世界の歴史の中でみても、驚くべきことである。

この『百人一首』は、藤原定家が、王朝和歌の精髓を集めたものである。これを一首ずつよみ解きながら、王朝歌人たちの詩と真実を考えていきたい。

講義資料プリントを毎回配布する。

〔教科書〕

『百人一首』笠間書院

『字かな』笠間書院

文学 a (春学期) / 文学 b (秋学期) (木 4)

文学 (通年)

「和歌文学の歴史

2単位 春学期 / 秋学期

一万葉集から良寛まで」

4単位 通年

〔文経法政商医理〕

寺澤 行忠

〔授業科目の内容〕

和歌は、万葉の時代から今日に至るまで、長い年月にわたり、歌いつがれ、読みつがれてきた。和歌文学は日本文学史のいわば中核をなすものである。その和歌文学の歴史を、主要な作品あるいは歌人に焦点を合わせながらたどる。近世までを範囲とし、歌謡や俳諧などにも言及する。できるだけ多くの歌をとりあげ、文学史の理解を深めたい。

講義資料プリントを毎回配布する。

〔教科書〕

『日本詩歌選』 新典社

文学 a (春学期) / 文学 b (秋学期)

文学 (通年)

「フランス文学、その発想と感覚」 2 単位 春学期 / 秋学期
4 単位 通年

〔文経法政商医理〕

西尾 修

〔授業科目の内容〕

歴史と文学、文学と社会、というような観点から、いわゆる「文学」について語り、ある作品なり、文学現象なりの内容と周辺を探りながら、そのとき活用される歴史的想像力について考えることが中心となる。文学を自分なりに感得するには様々なやり方があるが、さて、文学作品らしいと思われるものを読み、鑑賞し、これを楽しむという側に立つとき、ひとつのやり方として、それがたとえ簡便なものであれ、歴史的想像力の活用という方策もあるのではないかと、と思われるからである。

対象は主にフランスを舞台とするもの、時代は大革命以後、とりわけ 19 世紀前半 (ロマン主義の時代) のものが多くなる。担当者の専門が、19 世紀前半に生きた小説家バルザックであるという事情からそうなるのだが、とはいっても時代を問わず日本のものについても語ります。

準備としては、十九世紀フランスの小説 (翻訳) を何かひとつ (短くない作品) 読んでおくと後が楽 (スタンダール『赤と黒』、バルザック『ゴリオ爺さん』、フローバール『感情教育』等々)。

〔教科書〕

指定なし。

〔参考書〕

参考書は特に指定しませんが、できれば文庫本程度の簡単な文学史 (たとえば岩波文庫別冊「フランス文学案内」、高校教科書の「日本文学史」等々) で結構、時代区分などを少しは気にしながら一度でいいからざっと目を通しておけば申し分なし。フランス文学についてより高い関心のある諸君は慶應義塾大学出版会の「十九世紀のフランス文学 I」なども好適。

文学 II

2 単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

西村 太良

〔授業科目の内容〕

この講義の目的は、エウリーピデースの「バッカイ」という作品を読むことを通じて、古代ギリシア悲劇について様々な角度から考えてみることにあります。「バッカイ」はエウリーピデース晩年の傑作ですが、ギリシア悲劇の原点であるディオニュソスを扱った衝撃的な内容についてはその解釈をめぐる議論が続いています。ここでは作品を丁寧に読んでいくと同時に、悲劇というジャン

ル、形式、宗教的、社会的背景、またディオニュソス信仰についても取り上げていきます。

〔教科書〕

プリント

文学 I

「物語・自己・歴史 I」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

武藤 浩史

〔授業科目の内容〕

人は言葉を発するとそれは大抵物語を作り上げます。「今日は雨が降っていやな日だった」も「今日は雨にぬれたけれどもかえって気持ちよかった」もすでに 1 つの物語です。人はそうして大量の物語を作り、又、大量の物語を外から受容しながら自己との関係、他者との関係を作り、物語の中に自己・社会・歴史を屈折させながら反映してゆきます。つまり、皆さんは知らず知らずの内にたくさんの物語の中で生きながら自己像や社会・歴史像を造っているのです。

そこで、皆さんが否応なくその中で生きている物語とは何か、みなさんが無意識の内にどのような物語を作ってその中で生きているのか、その中で生きることによってどのような自己、社会、歴史像が生まれるのか、物語ることによって混沌の中からどのような秩序が生まれ、又、どのような秩序が破壊されるのか、そして物語れないこととは何かなどについて、様々な芸術作品にふれながら考えてゆきたいと思います。また、現代とはどういう時代か、そこに生きる僕たちとは何者？というのが隠れテーマです。

〔教科書〕

『「ドラキュラ」からブンガク』 武藤浩史著

『リバーズ・エッジ』 岡崎京子著

『モモ』 ミヒエル・エンデ著

『夷狄 (いてき) を待ちながら』 J. M. クッツェー著 集英社文庫

『チャタレー夫人の恋人』 D・H・ロレンス著 武藤浩史訳 ちくま文庫

文学 II

「物語・自己・歴史」

2 単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

武藤 浩史

〔授業科目の内容〕

文学 I の続きですが、戦後日本文化をテーマとして物語と歴史について考えてゆきます。映画『ゴジラ』から始めて、やくざ映画を経由し、現代にたどりつこうと思います。読みたい本の希望をつのります。

現代に生きる私たちの諸問題を小説とともに考えてゆきます。

〔教科書〕

『青い山脈』 石坂洋次郎著 新潮文庫 ほか

文学 I

「季節の詩学」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

森 英樹

〔授業科目の内容〕

教科書のなかから四季の景物や風情をあらわす言葉を拾って、それらの言葉にふくまれた日本人の伝統的思考や情調を学びます。

そして実際にこれらの言葉を使って俳句や短歌や漢詩などの作品を各人に試作してもらいます。

学問する眼と、身近の環境を観察し感じる眼とを鍛錬するのが目的です。

〔教科書〕

『南柯唱和抄』 森南仙著 近代文芸社 2006 年 ISBN: 4-7733-7333-4 C0095

〔参考書〕

『南柯の四季』 森南仙著 日本詩歌集 俳句歳時記 国語辞書など

文学 II

「季節の詩学」

2 単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

森 英樹

〔授業科目の内容〕

教科書のなかから四季の景物や風情をあらわす言葉を拾って、それらの言葉にふくまれた日本人の伝統的思考や情調を学びます。

そして実際にこれらの言葉を使って俳句や短歌や漢詩などの作品を各人に試作してもらいます。

学問する眼と、身近の環境を観察し感じる眼とを鍛錬するのが目的です。

〔教科書〕

『南柯唱和抄』 森南仙著 近代文芸社 2006 年 ISBN: 4-7733-7333-4 C0095

〔参考書〕

『南柯の四季』 森南仙著 日本詩歌集 俳句歳時記 国語辞書など

文学 a (春学期) / 文学 b (秋学期)

文学 (通年)

「ドイツ文学入門—

2 単位 春学期 / 秋学期

ゲーテを読む (散文篇)」

4 単位 通年

【文経法政商医理】

山本 賀代

〔授業科目の内容〕

ドイツの詩人ヨーハン・ヴォルフガング・ゲーテ (1749-1832) は、あらゆるジャンルで傑作を残した詩人であるばかりか、美学者であり、自然科学者であり、政治家でもありました。今年度は彼の散文作品 (主として小説) を中心に読みながら、ゲーテ時代のヨーロッパ文学・思想・文化・社会史をさまざまな観点から紹介したいと思います。18 世紀後半から 19 世紀前半はフランス革命を頂点としたヨーロッパ激動の時代です。ドイツでも人々がフランス革命に熱狂し、ドイツ統一を望む (当時まだドイツという国はない) 愛国的なムードが高まりました。ところがゲーテは時流にのることなく、しだいに孤立感を強めていきます。『若きヴェルテルの悩み』 (1774) で一躍スターとなり、次の『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』 (1795 / 96) は後に「教養小説」と呼ばれ、ドイツ近代小説のひとつの典型となりましたが、その続編である最後の小説『ヴィルヘルム・マイスターの遍歴時代』 (1829) は、当時の読者には (そして現代の読者にも?) ほとんど理解されませんでした。この奇妙な (読めばわかります) ユートピア小説に託されたゲーテのメッセージは何だったのでしょうか一緒に考えてみましょう。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業内で指示

文学 I

「近・現代イギリス詩入門：朗読と解説」

2 単位 春学期

【文経法政商医理薬】

レイサイド・ジェイムス M

〔授業科目の内容〕

詩あるいはイギリス文学に興味を持つ人のために、エリザベス朝時代 (16 世紀) から現代までの詩文を研究する。原文を味わうため、代表的な詩を朗読し、内容と形式について講義を行なう。日本語訳を与える予定なので、英語がそれ程得意でない学生も受講可。ただし、好きな詩を選び、朗読・解説することを成績評価の一部として課す。良い英語の発音を身につけ、詩句の韻律分析を理解してもらうことが目標である。

〔教科書〕

プリント

文学 II

「近・現代イギリス詩入門：朗読と解説」

2 単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

レイサイド・ジェイムス M

〔授業科目の内容〕

詩あるいはイギリス文学に興味を持つ人のために、エリザベス朝時代 (16 世紀) から現代までの詩文を研究する。原文を味わうため、代表的な詩を朗読し、内容と形式について講義を行なう。日本語訳を与える予定なので、英語がそれ程得意でない学生も受講可。ただし、好きな詩を選び、朗読・解説することを成績評価の一部として課す。良い英語の発音を身につけ、詩句の韻律分析を理解してもらうことが目標である。

〔教科書〕

プリント

文化人類学

「身近な不思議の探究」

2 単位 春学期

【経商医理薬】

井上 京子

〔授業科目の内容〕

文化人類学という学問は、言語、心理、宗教、婚姻形態などを比較分析することにより、多角的視野に立って人間を全体像としてとらえるものです。ここでは特に、文化の一般論化に伴う危険性に焦点を当てながら、日本文化を他の文化と照らし合わせていきます。すると今まで知らない間にみなさんが身に付けていた先入観が、浮き彫りとなって来るはず。自分自身を世界の様々な人間社会における一つの枠組みの中での存在としてとらえ直せるような、客観的視野を養うことがこのコースの目的です。

特にコースの前半は言語と文化の関わりを中心に、後半は文化の多様性を採り上げて、身近な不思議を探究しその解明を目指します。

〔教科書〕

『文化人類学入門』増補改訂版 祖父江孝男著 中央公論新社 2006 年

〔参考書〕

『目からウロコの文化人類学』斗鬼正一著 ミネルヴァ書房
『文化人類学 20 の理論』綾部恒雄編 弘文堂

『新世代の言語学：社会文化・人をつなぐもの』飯野公一他
著 くろしお出版
『もし「右」や「左」がなかったら』井上京子著 大修館書
店
『フィールドワーク』佐藤郁哉著 新曜社
『文化人類学を学ぶ人のために』米山俊直・谷泰編 世界
思想社

文化人類学

「異文化理解の歴史と方法」

2単位 秋学期

〔経商医理薬〕

坂本 邦彦

〔授業科目の内容〕

人類が地球上に誕生してから今日までの間、さまざまな民族によって多種多様な文化がつくられてきた。現在、世界には6000をこえる言語があるといわれる。これは、また、それだけの異なった民族によって世界が構成されているということにほかならない。人間は、自ら生まれ育った文化の中だけで世界を完結させてきたわけではない。異なった文化に触れ、人類が積み重ねてきた知の多様性をさまざまな形で理解しようとしてきたのである。

本講では、これまで文化人類学が研究対象としてきたさまざまな社会に関する民族誌をもとに、文化のコンテクストにそって異文化を理解するとはどういうことかを考えていく。アフリカに関するデータを中心に、アジア、オセアニアなどからの研究データも取り込んでいく予定である。

〔教科書〕

使用せず。

〔参考書〕

随時紹介する。

文化人類学Ⅰ

「異文化へのまなざしの歴史」

2単位 春学期

〔文経医薬〕

法橋 量

〔授業科目の内容〕

文化人類学は異文化を理解しようとする学問であると同時に、異文化を鏡として自らの文化、さらには人間という存在そのものを問う営みでもあります。異文化を理解するアプローチは一つではありませんが、文化人類学は、現地でのフィールドワークの経験をもとに民族誌を書き、また記述された民族誌を読むことによって、他者を知らうとするところに特色があります。しかし、ヨーロッパに端を発する文化人類学という異文化を見る方法・眼差しは、時代の移り変わりとともに、またそれぞれの国の思想や社会背景によってつねに変化してきました。

本講では、西欧文明が人類学という学問を通して他者に向けたまなざしに注目し、その変遷を歴史的にたどります。そして、グローバル化、多文化化が進む現代社会において、私たちが他者（異文化）を理解し、さらに自文化を認識するために、文化人類学的視点をどのように活かしていくべきかを考えていきます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

適宜指示します。

文化人類学Ⅱ

「伝統文化から日常文化へ」

2単位 秋学期

〔文経医薬〕

法橋 量

〔授業科目の内容〕

従来、文化人類学は、いわゆる未開社会・無文字社会を主な対象としてきましたが、近年では、西欧社会をもその射程に収めるようになってきました。ヨーロッパでは、これまで、自文化を対象とする学問では、日本と同様、民俗学という分野が存在していましたが、現在ではヨーロッパ民族学として、伝統文化に限らず、より広範な日常文化を扱うようになっており、方法論の上でも文化人類学と大きく重なり合っています。

本講では、ヨーロッパ民族学の方法論を手がかりに、メルヘンや伝説といった伝承文化から現代の都市伝説などの言語文化、さらに風俗習慣や祭りといった具体的なトピックを取り上げながら、かつて存在した伝統文化だけでなく私達が生きる現代の日常文化を意識化し、分析し、さらには批判してゆく可能性を考えてゆきます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

適宜指示します。

法学Ⅰ（憲法を含む）

2単位 春学期

〔文経法商医理薬〕

数本 将典

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

「社会あるところ、法あり Ubi societas, ibi jus」という古代ローマの法格言にもある通り、私たちの社会は古来より法によって規律され、機能しています。かくして、変化と多様性に富む社会を規律する法は、ややもすると複雑に入り組んだイメージが伴いがちですが、実際には明解な「体系 system」に貫かれています。つまり、「法学」とは「法の体系についての学」に他なりません。

そこで、本講では初学者を対象に、私たちの社会を規律する法一般についての「体系的な systematic」の理解を深めることを目的として、春学期は、「法とは何か」を考えるうえでの前提となる基礎的な概念（規範と法、法と道德、法の形式・目的・分類、法の適用と解釈、法における権利と義務、等）について学んでいきます。

〔教科書〕

特に指定しません。

法学Ⅱ（憲法を含む）

2単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕

数本 将典

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

「社会あるところ、法あり Ubi societas, ibi jus」という古代ローマの法格言にもある通り、私たちの社会は古来より法によって規律され、機能しています。かくして、変化と多様性に富む社会を規律する法は、ややもすると複雑に入り組んだイメージが伴いがちですが、実際には明解な「体系 system」に貫かれています。

ます。つまり、「法学」とは「法の体系についての学」に他なりません。

秋学期は、春学期に学んだ法についての基礎概念が、私たちの社会の中で実際に用いられている法（＝現行法ないし実定法）、特に「憲法」（基本的人権、権力分立）・「民法」（契約、財産、不法行為と損害賠償、家族）・「刑法」（犯罪と刑罰）においてどのように具体化されているのかを概観しながら、引き続き法一般についての体系的な理解を深めて行きます。

〔教科書〕

特に指定しません。

法学Ⅰ（憲法を含む）

「法学概説」

2単位 春学期

〔文経法商医理薬〕

亀井 源太郎

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

法学を概説する。

春学期は、法とは何か、法の機能、実定法の全体像、司法制度の全体像等、法にかかわる基礎理論や法を論ずる上で頭に入れておくべき基本的な知識を講ずることを中心とする。

〔教科書〕

適宜指示する。

〔参考書〕

『役人学三則』末弘厳太郎著 岩波現代文庫 2000年

『法学ナビゲーション（第2版）』安念潤司・常本照樹・津村政孝著 有斐閣アルマ 2001年

『法の世界』六本佳平著 放送大学教育振興会 2004年

法学Ⅱ（憲法を含む）

「現代社会と法」

2単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕

亀井 源太郎

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

春学期に引き続き、法学を概説する。

秋学期は春学期に概説した基礎理論・一般論を前提に、個別の問題を取り上げて論ずることとしたい。内容はその折その折の立法や議論の状況を踏まえて柔軟に決定したいと考えるが、法と自由を巡る問題を中心に、憲法、刑法、刑事訴訟法の諸問題を講義する予定である。

〔教科書〕

適宜指示する。

〔参考書〕

『憲法と平和を問いなおす』長谷部恭男著 ちくま新書 2004年

『立憲主義と日本国憲法』高橋和之著 有斐閣 2005年

『自由とは何か』大屋雄裕著 ちくま新書 2007年

『新 Live 刑事法』本間一也ほか編 成文堂 2009年予定

『犯罪と非行』160号 日立みらい財団 2009年予定

法学Ⅰ（憲法を含む）

2単位 春学期

〔文経法商医理薬〕

河原田 有一

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

最新の判例、事件を通して憲法およびその他の法を考察し、同時にアメリカ合衆国の憲法およびその他法との比較を通じて、その相違点についても解説する。また、その時々を生じる様々な判例、事件について新聞記事およびDVD等の映像資料を利用することで、いかに法がみちかな存在であるかを学んでいきたい。

〔教科書〕

『プライマリー法学憲法』石川明編 信山社

〔参考書〕

六法（授業時指示）

講義資料プリントを配布します。

法学Ⅱ（憲法を含む）

2単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕

河原田 有一

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

最新の判例、事件を通して憲法およびその他の法を考察し、同時にアメリカ合衆国の憲法およびその他の法との比較を通じて、その相違点についても解説する。また、その時々を生じる様々な判例、事件について新聞記事およびDVD等の映像資料を利用することで、いかに法がみちかな存在であるかを学んでいきたい。また、時間がとれればその時にあった学外講師の話も予定している。

〔教科書〕

『プライマリー法学憲法』石川明編 信山社

法学Ⅰ（憲法を含む）

2単位 春学期

〔文経法商医理薬〕

杉田 貴洋

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

法律を学ぶための基礎知識を整理し、法律学の考え方を理解することを目的とする。また、将来、より専門的に法律を勉強していくための導入を目的とする。そのために、まず、いろいろな法分野を取りあげて、各分野を概観する。そのほか、法の歴史や法の意義についても考えてみたい。

〔参考書〕

最新の六法を用意すること（毎回持参のこと）

法学Ⅱ（憲法を含む）

2単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕

杉田 貴洋

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

法律を学ぶための基礎知識を整理し、法律学の考え方を理解することを目的とする。また、将来、より専門的に法律を勉強していくための導入を目的とする。そのために、まず、いろいろな法分野を取りあげて、各分野を概観する。そのほか、法の歴史や法の意義についても考えてみたい。

〔参考書〕

最新の六法を用意すること（毎回持参のこと）

法学Ⅰ（憲法を含む）

「法律の基礎的・実践的な知識と法的なものの方Ⅰ」 2単位 春学期

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

山田 美枝子

〔授業科目の内容〕

「法学」は、はじめて学ぶ者にとって親しみにくい学問と考えられがちです。しかし、私達は、日常社会生活を送るなかで、意識するとなしにかかわらず、また、好むと好まざるにかかわらず、知らず知らずのうちに法律関係に立ち入ってしまっています。学生生活、職業活動、家族関係等においても、身の回りに網の目のように張りめぐらされている法律を、避けて通ることはできません。法律は、社会の骨格をなし、人と人とのコミュニケーションにも重要な役割を果たしています。それらを踏まえた上で、下記1)～6)において、法律を実践的に学び、法的なものの見方を身につけてほしいと思います。

〔教科書〕

『法の世界へ〔最新版〕』池田真朗他著 有斐閣

〔参考書〕

小型の六法

法学Ⅱ（憲法を含む）

「法律の基礎的・実践的な知識と法的なものの方Ⅱ」 2単位 秋学期

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

山田 美枝子

〔授業科目の内容〕

「法学」は、はじめて学ぶ者にとって親しみにくい学問と考えられがちです。しかし、私達は、日常社会生活を送るなかで、意識するとなしにかかわらず、また、好むと好まざるにかかわらず、知らず知らずのうちに法律関係に立ち入ってしまっています。誕生してから老後、死亡に至るまで、身の回りに網の目のように張りめぐらされている法律を、避けて通ることはできません。法律は、社会の骨格をなし、人と人とのコミュニケーションにも重要な役割を果たしています。それらを踏まえた上で、下記の1)～5)において、法律を実践的に学び法的なものの見方を身につけるとともに、6)において、法学の基礎に触れてほしいと思います。

〔教科書〕

『法の世界へ〔最新版〕』池田真朗他著 有斐閣

〔参考書〕

小型の六法

法学Ⅰ（憲法を含む）

2単位 春学期

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

頼松 瑞生

〔授業科目の内容〕

第一に、法とは何かという問題について考察します。
第二に、憲法の基本的な考え方を学びます。
第三に、憲法がどのような人権を保障しているのかということについて学びます。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

特に指定しない。

法学Ⅱ（憲法を含む）

2単位 秋学期

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

頼松 瑞生

〔授業科目の内容〕

第一に、法にはどのような形式のものがあるのかということについて説明します。

第二に、憲法と他の形式の法との違いを説明します。

第三に、国会によって制定される法の種類及びその特徴を説明します。

第四に、国会によって制定される法の中でも、法律がどのような手続で定められるのかを説明します。

第五に、国の行政機関によって制定される法の種類及びその特徴を説明します。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

特に指定しない。

法学Ⅰ（憲法を含む）

「法の主要な分野である憲法、民法（財産 2単位 春学期法、家族法）、刑法の基本的な問題の検討」

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

石渡 哲

〔授業科目の内容〕

法は、国家と個人、国家相互、個人相互等の関係を規律するものであるから、法を学ぶということは、これらの関係のあり方を考察することである。本講義では、この考察を主要な法分野（春学期には、憲法と民法の家族法。この順序は、下記の教科書における記述の順序と異なり、また、昨年度の順序とも異なる）の基礎的問題を素材として行う。説明が抽象論に終わらないように、重要な判例も取り上げる。

〔教科書〕

『シュタットブラン法学』石渡哲・渡井理佳子著 成文堂
2005年 ISBN:4-7923-0391-5

六法 法令集、『ポケット六法』有斐閣か『デイリー六法』三省堂など。他の出版社のものでもよいが、最新版を用意すること。

〔参考書〕

『法律学小辞典』第4版補訂版 金子宏ほか編 有斐閣
2008年 ISBN:978-4-641-00027-8

その他、教科書に参考文献のリストが掲載されている。講義においても、適宜紹介する。春学期の最初の講義（科目ガイダンス）でも説明をする。

法学Ⅱ（憲法を含む）

「法の主要な分野である憲法、民法（財産 2単位 秋学期法、家族法）、刑法の基本的な問題の検討」

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

石渡 哲

〔授業科目の内容〕

法は、国家と個人、国家相互、個人相互等の関係を規律するものであるから、法を学ぶということは、これらの関係のあり方

を考察することである。本講義では、この考察を主要な法分野（秋学期には、民法の財産法と刑法。この順序は、下記の教科書における記述の順序と異なり、また、昨年度の順序とも異なる）の基礎的問題を素材として行う。説明が抽象論に終わらないように、重要な判例も取り上げる。

〔教科書〕

『シュタットプラン法学』石渡哲・渡井理佳子著 成文堂、2005年 ISBN:4-7923-0391-5

六法 法令集、『ポケット六法』有斐閣か『デイリー六法』三省堂など。他の出版社のものでもよいが、最新版を用意すること。

〔参考書〕

『法律学小辞典』第4版補訂版 金子宏ほか編 有斐閣 2008年 ISBN:978-4-641-00027-8

その他、教科書に参考文献のリストが掲載されている。講義においても、適宜紹介する。「法学Ⅰ」の最初の講義（科目ガイダンス）でも説明をする。

法学Ⅰ（憲法を含む）

「法学の基礎および日本国憲法」

2単位 春学期

〔文経法商医理薬〕

本田 耕一

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

法学の基礎として、諸種の社会規範との関係における法の特徴、近代法の成立とその性格、成分法（憲法・法律・命令・規則・地方自治法規・条約）及び不文法（慣習法・判例法・条理）とその効力、法の実用的ないし理論的な分類、法の解釈等を取扱う。

〔教科書〕

特に特定しません。

法学Ⅱ（憲法を含む）

「法学の基礎および日本国憲法」

2単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕

本田 耕一

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

日本国憲法に関して、これにより保障される基本的人権や統治機構、地方自治、平和主義と国際関係等を取扱う。

〔教科書〕

特に特定しません。

法学Ⅰ（憲法を含む）

「法および法律についての基礎知識」

2単位 春学期

〔文経法商医理薬〕

河村 好彦

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

「法」という言葉には、どうしても難しいもの、訳のわからないものというイメージがある。しかし、たとえば、電車に乗る行為も、パンを買う行為も、下宿を借りる行為もすべて法的側面をもつことから、人は好むと好まざるに関わらず法と関わっていかねばならない。法から逃げることはできない以上、われわれは法についての正しい知識、認識をもたなければならない。また、法は、われわれの権利や自由を保障し、生活を向上させるためのものである。われわれは、この社会にどのような法があり、それらがどのように生活に影響しているかを知ることにより、充実し

た生活を送ることができる。法学Ⅰは、このような観点から法についての基礎理論について説明したうえで、憲法を中心として具体的な例などを挙げながら、市民として、また国民として知らなければならない基本的事項について解説を加えることを目的とする。

〔教科書〕

『法学入門 30 講』石川明編著 酒井書店

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

法学Ⅱ（憲法を含む）

「法および法律についての基礎知識」

2単位 秋学期

〔文経法商医理薬〕

河村 好彦

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

「法」という言葉には、どうしても難しいもの、訳のわからないものというイメージがある。しかし、たとえば、電車に乗る行為も、パンを買う行為も、下宿を借りる行為もすべて法的側面をもつことから、人は好むと好まざるに関わらず法と関わっていかねばならない。法から逃げることはできない以上、われわれは法についての正しい知識、認識をもたなければならない。また、法は、われわれの権利や自由を保障し、生活を向上させるためのものである。われわれは、この社会にどのような法があり、それらがどのように生活に影響しているかを知ることにより、充実した生活を送ることができる。法学Ⅱは、このような観点から民法を中心として具体的な例などを挙げながら、市民として、また国民として知らなければならない基本的事項について解説を加えることを目的とする。

〔教科書〕

『法学入門 30 講』石川明編著 酒井書店

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

民族文化論

「民族と民族イメージ」

2単位 秋学期

〔文経法政商薬〕

羽田 功（コーディネーター）

石井 康史 臼杵 陽

工藤 多香子 鈴木 透

種村 和史

〔授業科目の内容〕

21世紀に入り、「民族問題」はいよいよ混迷の度を深めています。ところが、残念ながら私たちは「民族問題」あるいは「民族」について必ずしも十分な理解を持っているわけではありません。しかも、たとえば「民族」という用語を取りあげてみても、時代や地域によってその意味するところは多様であり、一義的に定義することはできません。その結果、ある「民族」の実際とこれにまつわる「民族イメージ」の間に大きな乖離が生じる場合も少なくありません。

そこでこの授業では、「民族」と「民族イメージ」のさまざまな関係のあり様をできるだけ幅広い時間・空間の中で取り上げることで「民族問題」を考える一つの切り口を提示すると共に、この授業が自己を理解し、他者を理解するための土台作りの一助となることを目的としています。

〔教科書〕

・『民族の表象—歴史・メディア・国家』羽田功編著 慶應義塾大学出版会 2006年 ISBN:4-7664-1310-5

〔参考書〕

・担当者ごとに適宜指示します。

ラテンアメリカ研究 a (春学期) / ラテンアメリカ研究 b (秋学期)

ラテンアメリカ研究 (通年)

「ラテンアメリカ万華鏡」 2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔経商医〕 工藤 多香子 (コーディネーター) 他

〔授業科目の内容〕

この授業は、学内外のラテンアメリカ・スペイン研究者によるオムニバス形式の講義です。ラテンアメリカと何らかのかかわりをもつ研究者たちが、この地域との出会いやその経験 (具体的な滞在の経験があれば、書物や他者の想像を介した経験もあるでしょう) を通して何を学び、考えたのか、そしてそれが各々の研究領域でどのような知的実践と結びついたのかを語ってもらいます。

倫理学 I

「倫理学入門講義 I」

2単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

佐藤 真之

〔授業科目の内容〕

自分が存在していること、生きていることの「意味」や「価値」について悩むのは思春期に特有のことというわけでもありません。このような、いわゆる「哲学的」な問題を「理屈」をたどって深く掘り下げて考えていく学問が倫理学です。また、人が何かを選択して行動するときにはたらいっている判断、実際に行動するときに守らなければならないルール、そうしたものの究極的な「根拠」をこの学問は研究の対象にしています。

講義では、まずこのような「倫理学とは何か」という根本的な問題から話を始めて、実際に哲学者たちが追究してきた、「自由」、「幸福」、「善」、「正義」、「平等」、「責任」、「愛」といった諸々の道徳的概念についてのいくつかの理論を紹介していきます。理論のモデルとその語彙についてある程度の知識を身につけたら、自分なりの「価値観」や「哲学」を作るときの参考に、あるいは自分の考え方をひとに表現するためのツールとして役立ててみてください。

〔教科書〕

『倫理学案内——理論と課題』小松光彦・樽井正義・谷寿美編 慶應義塾大学出版会 2006年

〔参考書〕

授業中に紹介します。

倫理学 II

「倫理学入門講義 II」

2単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

佐藤 真之

〔授業科目の内容〕

春学期に続く内容ですが、古典的な理論を踏まえたうえで、「戦争」、「貧困」、「環境問題」、「尊厳死」など、より具体的な場面で実際に「倫理」が問われることがらについて考えます。ものごとを哲学的に捉える実践です。

〔教科書〕

『倫理学案内——理論と課題』小松光彦・樽井正義・谷寿美編 慶應義塾大学出版会 2006年

〔参考書〕

授業中に紹介します。

倫理学 I

「倫理学の理論と課題」

2単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

柘植 尚則

〔授業科目の内容〕

倫理学は、善悪、正邪、幸福、義務、正義、徳など、倫理に関わる事柄について哲学的に考察するものです。この講義では、倫理学の代表的な理論を学び、現実の課題について考えることを目標とします。

〔教科書〕

『倫理学案内——理論と課題』小松光彦・樽井正義・谷寿美編 慶應義塾大学出版会 2006年

〔参考書〕

講義の中で紹介します。

倫理学 II

「経済と倫理」

2単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

柘植 尚則

〔授業科目の内容〕

現代の社会では経済が人間の生き方に大きな影響を与えています。この講義では、経済を「労働」「企業」「消費」「市場」「制度」「福祉」に分けて、それぞれの領域における倫理的な問題について考えます。その中で、人間が善く生きることのできる経済、あるいは、善く生きるのに必要な経済のあり方を探ります。

〔教科書〕

『経済倫理のフロンティア』柘植・田中・浅見・柳沢・深貝・福岡編 ナカニシヤ出版 2007年

〔参考書〕

講義の中で紹介します。

倫理学 I

「倫理学するってどういうこと? 1

2単位 春学期

(倫理学の諸理論)」

〔文経法政商医理薬〕

奈良 雅俊

〔授業科目の内容〕

倫理学の代表的な理論を概観します。倫理学は何を研究対象とし、どのように考えをすすめ、また、どのような形で私たちの現実と関わっているのかについて、一定の知識を身につけることを目標とします。

〔教科書〕

『倫理学案内——理論と課題』小松光彦・樽井正義・谷寿美編 慶應義塾大学出版会 2006年

倫理学 II

「倫理学するってどういうこと? 2

2単位 秋学期

(応用倫理学)」

〔文経法政商医理薬〕

奈良 雅俊

〔授業科目の内容〕

現代社会が直面しているさまざまな倫理的問題を取り上げ、これらに対して倫理学がどのような取り組みを行っているかについて、一定の知識を身につけることを目標とします。

〔教科書〕

『倫理学案内—理論と課題』小松光彦・樽井正義・谷寿美編
慶應義塾大学出版会 2006年

倫理学Ⅰ（水4・5）

「倫理学概論 — 規範倫理学入門」

2単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

成田 和信

〔授業科目の内容〕

春学期には、倫理学の入門的な事柄を講義します。とくに、規範倫理学（何が道徳的に正しいかを哲学的に考える学問分野）の代表的な理論である帰結主義（行為の道徳的な正しさは、その結果だけによって決まるという考え方）と義務論（行為の道徳的な正しさは、その結果ではなく、それが義務であるかどうかによって決まるという考え方）を解説し、どちらの方が説得力をもつか検討します。そうすることによって、倫理学が典型的にはどのような事柄を考える学問であるのかを学びます。

倫理学Ⅱ（水4）

「倫理学各論 — 責任と自由」

2単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

成田 和信

〔授業科目の内容〕

秋学期は、倫理学の特定のテーマをひとつ選んで、それについて詳しく考えます。ある人の行った行為に関して「あの人はそれに関して責任がある」と言えるためには、その人はその行為を自由に行ったのでなければなりません。この授業では、「この自由（つまり責任に必要な自由）とは何か」という問題を、西洋哲学の諸理論に触れながら考えます。それを通して「人とはどのような存在なのか」ということを少しでも明らかにできればよいと思います。

〔教科書〕

『責任と自由』成田和信著 勁草書房

倫理学Ⅱ（水5）

「倫理学各論 — 幸福論」

2単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

成田 和信

〔授業科目の内容〕

秋学期は、倫理学の特定のテーマをひとつ選んで、それについて詳しく考えます。この授業では、「幸福とは何か」あるいは「その人にとって良い生き方とは何か」という問題について、現代までのさまざまな哲学的理論を振り返りながら、検討します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業中に案内します。

倫理学Ⅰ

「倫理学入門Ⅰ」

2単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

山内 志朗

〔授業科目の内容〕

倫理学は、様々な価値（善、幸福、平和、福祉など）、それを実現するための能力としての徳、社会的ないし個人的模範としての義務などを扱う学問です。この講義では、倫理学の代表的な理論と基本的な概念を学び、現実の倫理的問題に対処するための基本を身につけることを目指します。

〔教科書〕

『倫理学案内——理論と課題』小松光彦・樽井正義・谷寿美編
慶應義塾出版会 2006年

〔参考書〕

授業中に紹介します。

倫理学Ⅱ

「倫理学入門Ⅱ」

2単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

山内 志朗

〔授業科目の内容〕

倫理学は、様々な価値（善、幸福、平和、福祉など）、それを実現するための能力としての徳、社会的ないし個人的模範としての義務などを扱う学問です。この講義では、倫理学の代表的な理論と基本的な概念を学び、現実の倫理的問題に対処するための基本を身につけることを目指します。

〔教科書〕

『倫理学案内——理論と課題』小松光彦・樽井正義・谷寿美編
慶應義塾出版会 2006年

〔参考書〕

授業中に紹介します。

倫理学Ⅰ

「倫理学の基礎」

2単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

山本 剛史

〔授業科目の内容〕

「倫理学」とは「善く生きる」ことをその主題として研究する学問である。しかし私たち自身は毎日の生活の中で「善く生きよう」としているだろうか？なぜ、そもそも「善く」生きなければならないのか？また、「善い」生き方とはいかなる生き方なのか？つまるところ「善い」とは何か？本講義はこうした疑問に答えようとする様々な倫理学を、私たちが己の生を客観的に見つめるための道具として考える。その上で、受講者がこの倫理学という道具の種類の覚え、自力で使いこなすために最低限必要となる基礎的かつ体系的な知識を身につけてもらうことを目的とする。

春学期は、ソクラテスからヘレニズムにいたる古代倫理学に加え、応用倫理学を扱う際に前提となる、社会契約説、義務論、功利論、現代の正義論とそれに対する批判等について講義する予定である。ただし春学期の講義において応用倫理学自体は扱われない。

〔教科書〕

『倫理学案内—理論と課題』小松光彦・樽井正義・谷寿美編
慶應義塾大学出版会 2006年

〔参考書〕

教場でその都度指示する。

倫理学Ⅱ

「倫理学の課題と発展」

2単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

山本 剛史

〔授業科目の内容〕

本講義は西洋倫理学の基礎を概説することを通して、受講者がこの分野の文献を自力で読み、自らの課題を考えてゆく際の
一助を与えることを目的とする。

秋学期は春学期に触れられなかった重要な倫理学説について講義する。加えて、生命倫理、環境倫理、さらには技術倫理等が提起する今日の課題に対し学際的な取り組みが進む中で、倫理学が果たしうる固有の役割について、いくつかのキーワードを手がかりに考えてみたい。

〔教科書〕

『倫理学案内―理論と課題』小松光彦・樽井正義・谷寿美編
慶應義塾大学出版会 2006 年

〔参考書〕

教場でその都度指示する。

倫理学 I

「倫理学案内・理論編」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

吉田 量彦

〔授業科目の内容〕

意識していようといまいと、皆さんは日常生活のさまざまな局面で、いつも既に倫理について考えてしまっています。肝心なのは、思考の筋道を通すことです。倫理的問題について筋の通った思考をするために必要な、最低限の基礎知識を学んでいただくのがこの授業の目標です。

春学期は倫理学のさまざまな理論を取り上げ、それぞれの強みと問題点を明らかにしたいと思います。

〔教科書〕

『倫理学案内―理論と課題』小松・谷・樽井編 慶應義塾大学出版会 2005 年

〔参考書〕

毎回お配りする講義プリントの中で紹介します。

倫理学 II

「倫理学案内・課題編」

2 単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

吉田 量彦

〔授業科目の内容〕

21 世紀の日本に生きるみなさんは、現代社会に特有の条件から生じた、さまざまな倫理的問題に取り巻かれています。中には、専門家たちの内輪の話し合いで解決できないものもたくさんあります。また、みなさん自身が望んでいなくても、知らないうちに問題の当事者になっていることも少なくありません。そうした問題に直面したとき、筋の通った思考をするために必要な、最低限の基礎知識を学んでいただくのがこの授業の目標です。

〔教科書〕

『倫理学案内―理論と課題』小松・谷・樽井編 慶應義塾大学出版会 2005 年

〔参考書〕

毎回お配りする講義プリントの中で紹介します。

歴史 I (金 2・3)

「イスラム世界の歴史的展開 (1)」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

新井 和広

〔授業科目の内容〕

以前に比べてイスラームに関する情報は日本にもだいぶ入ってくるようになりました。皆さんが日々目にするニュースもイスラームに関連したものが結構あると思います。しかしイスラームを一枚岩的にとらえている見方がいまだに多いことも確かです。

この講義では一年かけてイスラーム世界の歴史的展開を特に二つの地域に注目して学びます。春学期はイスラームに関する基礎知識を学んだ後、中東、特にアラブ地域におけるイスラームの展開を見ていきます。秋学期には中東に加えてインド洋海域と東南アジアに目を向けます。多様なイスラームのあり方を学んでください。

〔教科書〕

『イスラームとは何か』小杉泰著 東京：講談社 1994 年

〔参考書〕

必要に応じて授業中に紹介します

歴史 II (金 2・3)

「イスラム世界の歴史的展開 (2)」

2 単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

新井 和広

〔授業科目の内容〕

イスラームは中東の宗教というイメージが強いですが、実は世界で一番ムスリム（イスラーム教徒）人口が多い国はインドネシアです。イスラームはどのようにしてインド洋沿岸地域や東南アジアに広がっていったのでしょうか。そして東南アジア社会の中でイスラームはどのような役割を果たした（果たしている）のでしょうか。秋学期には中東だけでなくインド洋と東南アジアに注目し、イスラームの歴史的展開を学びます。

〔教科書〕

『イスラームとは何か』小杉泰著 東京：講談社 1994 年

※春学期で使用した教科書です。秋学期では特にこの教科書に沿った講義は行いませんが、秋学期のみ受講する学生もこの教科書を読むことを勧めます。

〔参考書〕

必要に応じて授業中に紹介します

歴史 I (水 3)

「イスラム世界の経済史 (1)」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

新井 和広

〔授業科目の内容〕

イスラームは商業活動を肯定・奨励する宗教であると言われていますが、実際にムスリム（イスラーム教徒）はどのような経済システムを作り上げていたのでしょうか。そしてその中でイスラームはどのような役割を果たしていたのでしょうか。この講義では一年かけてイスラーム世界の経済がどのように動いていたのかを見ていきます。ただし、担当教員は経済史の専門家ではありませんので、講義においては「経済」という部分よりは「歴史」という部分が強調されます。講義ではイスラームに関する基礎知識を押さえた後、中東経済史の専門家が書いた教科書を使用し、その内容に沿って進めていきますが、適宜関連する講義をはさんでいきます。

〔教科書〕

『イスラーム世界の経済史』加藤博著 東京：NTT 出版 2005 年

〔参考書〕

必要に応じて授業中に紹介します

歴史Ⅱ（水3）

「イスラーム世界の経済史（2）」

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

新井 和広

〔授業科目の内容〕

この講義は歴史Ⅰ「イスラーム世界の経済史(1)」の続きです。春学期ではイスラームに関する基礎知識を押さえた後、中東経済史の専門家が書いた教科書の内容に沿って講義を進めていきましたが、秋学期では教科書の内容のうち春学期でカバーできなかった部分を重点的に扱います。同時に教科書以外でもイスラーム世界の経済史に関連する講義をはさんでいきます。ただし、担当教員は経済史の専門家ではありませんので、講義においては「経済」という部分よりは「歴史」という部分が強調されます。

〔教科書〕

『イスラーム世界の経済史』加藤博著 東京：NTT出版 2005年

〔参考書〕

必要に応じて授業中に紹介します

歴史Ⅰ

2単位 春学期

【文経法政商医理薬】

安藤 広道

〔授業科目の内容〕

この講義では、日本列島を舞台とした人類の歴史のうち、狩猟採集社会の時代である旧石器時代と縄文時代を取り上げます。考古学が、文字記録がない時代の人々の生活の諸相をどのように明らかにしていくか、その方法に比重を置いた内容にする予定です。

〔教科書〕

使用しません

〔参考書〕

必要に応じて講義内で紹介します。

歴史Ⅱ

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

安藤 広道

〔授業科目の内容〕

この講義では、日本列島を舞台とした人類の歴史のうち、弥生時代と古墳時代を取り上げます。弥生時代・古墳時代の大規模な遺跡群である日吉・矢上キャンパスの調査成果を中心に、農耕が生活の中心となり社会が複雑化していく過程とその背景を、朝鮮半島・中国に及ぶ広い視野から考えます。

〔教科書〕

使用しません

〔参考書〕

必要に応じて講義内で紹介します。

歴史Ⅱ

「エチオピア王国の歴史と文化」

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

石川 博樹

〔授業科目の内容〕

かつてエチオピアの高原にはソロモンの末裔と称する君主を戴いたキリスト教王国が存在しました。この授業では、シェバの女

王伝説やプレスター・ジョン伝説といったエチオピア王国に関わる伝説について紹介するとともに、古典エチオピア語で書かれた年代記やイエズス会士の報告などを基にして、この王国の歴史と文化について解説します。この授業を通して、教科書では語られることのないアフリカ史の魅力に触れてみましょう。

〔教科書〕

特に指定しません。適宜プリントを配布します。

〔参考書〕

『シェバの女王～伝説の変容と歴史の交錯～』薮勇造著 山川出版社 2006年 ISBN:4-634-49193-1

歴史Ⅰ / 歴史Ⅱ

「中世荘園制社会と徳政」

2単位 春学期 / 秋学期

【文経法政商医理薬】

井上 聡

〔授業科目の内容〕

13世紀後半に始まる社会・政治構造の変化を、荘園制と徳政の連関から考えてゆく。

土地制度としての荘園制の変質が、モンゴル襲来の深刻な影響とあいまって、いかに社会全体を動かしてゆくのかを詳説する。

〔教科書〕

特に指定しません

〔参考書〕

『日本中世法史論』笠松宏至著 東京大学出版会 1979年

『中世の国家と在地社会』村井章介著 校倉書房 2005年

歴史Ⅰ

「中世ヨーロッパに生きる」

2単位 春学期

【文経法政商医理薬】

岩波 敦子

〔授業科目の内容〕

ヨーロッパ中世とはどんな世界だったのでしょうか。現代に生きる私たちと何が違い、何を共有できるのでしょうか。私たちの手元に残されている史料は、人々の感情、行動様式などその一部を伝えているにすぎません。春学期開講の歴史Ⅰでは、ヨーロッパ中世世界とはどんな世界だったのか、人びとの世界観・生き方を中心に紹介します。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

『誓いの精神史』岩波敦子著 講談社選書メチエ 391 2007年 1500円

『中世を旅する人びと』阿部謹也著 ちくま学芸文庫

『中世ヨーロッパの都市の生活』『中世ヨーロッパの農村の生活』ギース著 講談社学術文庫

他は適宜授業で紹介します。

歴史Ⅱ

「中世ヨーロッパの女性たち」

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

岩波 敦子

〔授業科目の内容〕

ヨーロッパ中世の女性たちはどんな生活をしていたのでしょうか。女性たちに対する期待・恐れ、そして彼女たち自身が希求した生き方とはどんなものだったのでしょうか。秋学期開講の歴史

II では、女性たちの姿を通して、ヨーロッパ中世社会を読み解いていきたいと思います。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

『十二世紀の女性たち』 ジョルジュ・デュビー著 白水社 2003 年

『中世を生きぬく女たち』 レジーヌ・ベルヌー著 白水社 1997 年

『中世の結婚 騎士・女性・司祭』 ジョルジュ・デュビー著 新評論 1984 年

『中世を生きる女性たち』 アンドレア・ホプキンス著 原書房 2002 年

他は適宜授業で紹介します。

歴史 I / 歴史 II

「日本近世の政治と社会」 2 単位 春学期 / 秋学期
〔文経法政商医理薬〕 岡崎 寛徳

〔授業科目の内容〕

信長・秀吉の時代から幕末に至るまでを取り上げます。

当時の古文書などを利用することにより、様々な視点から歴史の真実に迫ることを目標とします。

〔教科書〕

指定せず。講義時にプリント配布。

〔参考書〕

『遠山金四郎』 岡崎寛徳著 講談社現代新書 2008 年 12 月

歴史 II

「海とイスラーム史」 2 単位 秋学期
〔文経法政商医理薬〕 栗山 保之

〔授業科目の内容〕

西アジアにイスラームが誕生した 7 世紀から、西欧勢力がインド洋に出現する 15 世紀までの時期において、西アジアを中心としたイスラーム世界の歴史の展開を、海（インド洋、紅海、ペルシャ湾）との関係から考えてみたいと思います。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし（授業時にご紹介します）。

歴史 I

「日本神話と古代国家」 2 単位 春学期
〔文経法政商医理薬〕 小林 茂文

〔授業科目の内容〕

『古事記』『日本書紀』に載る日本神話を通じて、古代国家の成立や古代人の自然観を検討する。記紀に記載されている神話を紹介するが、その内容を踏まえ、何が書かれているか、その意図は何かなどについて授業をする。

神話は決して古くそして素朴な伝承ではない。世界の神話と共通させながら、政治的に改変されている。その改変の目的は、人々の規範の起源を教えたり、王権による統治の正当性を主張するためである。それは、絶えず再解釈され中世・近世・近代の社会を規定し、戦争を起こすまでに至った。それらが如何

に根拠のない理由によっていたかを知ることは、歴史を見る眼を養うことになるであろう。

スサノヲのヤマタノヲロチ退治やオホクニヌシや山幸彦の神話にどのような意味があったかなど、神話を紹介しながら検討する。

〔教科書〕

講義中に毎回プリントを配布する。

〔参考書〕

講義中に紹介する。

歴史 II

「女帝と古代社会」 2 単位 秋学期
〔文経法政商医理薬〕 小林 茂文

〔授業科目の内容〕

古代には 6 人 8 代の女帝がいる。授業では古代国家を建設した持統天皇までの検討を通じ、古代社会の特色を明らかにする。また女性史やジェンダーの視点から歴史を見てみると、古代史像は大きく変化する。それは従来、男性中心の政治史であったことによる。女帝史は歴史像に変更を迫るのである。そうした歴史の見方だけではなく、史料の読みにも変更を迫る。新しい歴史学の可能性にも触れてみたい。

現在、女帝論には 3 つの立場がある。性差の存在を否定して男帝と対等とする説と、性差を問題とせず政治史一般として論じる立場と、性差を前提としてその役割を中継ぎとする説が対立している。いずれの説も誤りと考えるが、それらの説が提出される背景にはジェンダーによる偏見があると思われる。授業では自らの中にある偏見にも気付いてほしいと考える。

〔教科書〕

講義中に毎回プリントを配布する。

〔参考書〕

講義中に紹介する。

歴史 I / 歴史 II

「日本の国家と市場」 2 単位 春学期 / 秋学期
〔文経法政商医理薬〕 小山 幸伸

〔授業科目の内容〕

日本の歴史について、歴史 I では主に前近代の日本人や日本国のあり方を解説します。

歴史 II では近世・近代の日本の市場について解説します。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『概説日本経済史 近現代』 第二版 三和良一著 東京大学出版会 2002 年 ISBN:4-13-842113-1

歴史 I

「病気の歴史 先史時代から 18 世紀まで」 2 単位 春学期
〔文経法政商医理薬〕 鈴木 晃仁

〔授業科目の内容〕

病気に着目して人類の歴史を講義する

〔教科書〕

『疫病と世界史』 上下 ウィリアム・マクニール著 中公文庫

〔参考書〕

随時指示する

歴史 II

「病気の歴史 19 世紀から現代まで」 2 単位 秋学期
 【文経法政商医理薬】 鈴木 晃仁

〔授業科目の内容〕

病気に着目して近現代の歴史を講義する

〔教科書〕

『疫病と世界史』 上下 ウィリアム・マクニール著 中公文庫

〔参考書〕

随時指示する

歴史 I

「イスラームの民衆信仰」 2 単位 春学期
 【文経法政商医理薬】 高橋 圭

〔授業科目の内容〕

一般に、イスラームといえば厳格な一神教、画一的な教義、厳しい戒律といったイメージで語られますが、実際にはその歴史的展開と地理的拡大の過程で、こうしたイメージにはおさまらない多様な宗教文化が生み出されてきました。特に民衆がおもな担い手となって実践してきた様々な信仰や儀礼の中には、イスラームの規範的な教義とは大きく異なった姿を持つものも少なくありません。

この講義では中世から現代までを視野に入れながら、このような民衆の信仰や儀礼を紹介してゆきます。中東の事例が中心となりますが、アフリカ、インド、中央アジアなどできるだけ幅広い地域にも目を向けてゆきたいと思います。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します。

歴史 I

「海域東南アジア史の展開」 2 単位 春学期
 【文経法政商医理薬】 坪井 祐司

〔授業科目の内容〕

マラッカ海峡を核とする海域東南アジア地域の歴史及び社会の特徴を論じる。アジアの海上交易路に位置するマラッカ海峡周辺では、様々な地域との間の文化、人間、商品の交流により、多様性を持った社会の発展がみられた。講義では、移民や交易など外部世界との関係に焦点をあてながら、近世・近代における海域東南アジアの歴史を描く。

〔教科書〕

特に指定しない。講義では資料を配布する。

〔参考書〕

『新版世界各国史 6：東南アジア II 島嶼部』 池端雪浦編
 山川出版社 1999 年

歴史 I

「学術の基礎としての歴史学」 2 単位 春学期
 【文経法政商医理薬】 馬場 章

〔授業科目の内容〕

政治・経済・文学・経営・音楽・美術・科学・医学など学術の各分野には、それぞれ政治史・経済史・文学史・経営史・音楽史・美術史・科学史・医学史など歴史に関連する領域が必ず存在し

ます。つまり、学術の基礎には歴史学あるいは歴史学的思考があると言えるのです。しかし、歴史学そのものの範囲はそれらにとどまらず、社会史や女性史といった比較的新しい歴史学も存在します。そのような歴史学の特質をふまえて、それぞれの学術分野において歴史的に物事を思考することの重要性について授業を行います。この授業では、とくに人間科学としての歴史学の目的・構造・方法や理論について講義し、履修生の皆さんと一緒に考えていきます。

〔教科書〕

教科書は使用しません。必要に応じて資料を配布します。

〔参考書〕

参考書は授業中に随時指示します。

歴史 II

「歴史学とデジタルアーカイブ」 2 単位 秋学期
 【文経法政商医理薬】 馬場 章

〔授業科目の内容〕

歴史学に用いられる資料（史料）は、いわゆる古文書・古記録に限りません。例えば日本史の場合、古代の木簡、中世の城郭、近世の貨幣、近代の雑誌など、過去の痕跡を残しているものすべてが資料となります。この授業では歴史学の対象となる資料を文化資源のひとつとして捉え、その保存・修復・利用について授業を行います。なかでも、デジタル技術を用いた文化資源の復元やデータベース化など、近年注目されているいわゆるデジタルアーカイブを中心に上げ、文化経済学の見地から、博物館・美術館・文書館・図書館などの事例をもとに、デジタルアーカイブの意義や目的、技術、メタデータ、さらに地域活性化のためのビジネスモデルについて講義します。

〔教科書〕

教科書は使用しません。必要に応じて資料を配布します。

〔参考書〕

参考書は授業中に随時指示します。

歴史 I (火 3)

「十九世紀ヨーロッパ文明史」 2 単位 春学期
 【文経法政商医理薬】 平林 正司

〔授業科目の内容〕

十九世紀ヨーロッパの文明を、普遍性と地域性という観点から論じる。音楽が中心であるが、舞踊、文学、絵画、政治・社会などを視野に入れて講じる。春学期はチャイコフスキー、秋学期はショパンをテーマとする。二人はそれぞれ、「ロシアの作曲家」、「ポーランドの作曲家」というのが多数説であるが、二人をヨーロッパ文明の中に位置づけたい。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

授業の中で言及する。

歴史 II (火 3)

「十九世紀ヨーロッパ文明史」 2 単位 秋学期
 【文経法政商医理薬】 平林 正司

〔授業科目の内容〕

十九世紀ヨーロッパの文明を、普遍性と地域性という観点から論じる。音楽が中心であるが、舞踊、文学、絵画、政治・社会

などを視野に入れて講じる。春学期はチャイコフスキー、秋学期はショパンをテーマとする。二人はそれぞれ、「ロシアの作曲家」、「ポーランドの作曲家」というのが多数説であるが、二人をヨーロッパ文明の中に位置づけたい。

〔教科書〕

『ショパンとヴァルス』平林正司著 慶應義塾大学出版会 2009 年

歴史Ⅰ（火 4・5）

「十九世紀フランス・バレエの歴史」 2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

平林 正司

〔授業科目の内容〕

バレエ・ロマンティックを中心に、十九世紀のパリ・オペラ座バレエの歴史を講じる。オペラ、音楽、文学、絵画、政治、社会など、様々なジャンルを視野に入れて論じる。十九世紀フランス文化史・文明史として位置づけられる。

〔教科書〕

『十九世紀フランス・バレエの台本』平林正司著 慶應義塾大学出版会 2000 年

歴史Ⅱ（火 4・5）

「十九世紀フランス・バレエの歴史」 2 単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

平林 正司

〔授業科目の内容〕

バレエ・ロマンティックを中心に、十九世紀のパリ・オペラ座バレエの歴史を講じる。オペラ、音楽、文学、絵画、政治、社会など、様々なジャンルを視野に入れて論じる。十九世紀フランス文化史・文明史として位置づけられる。

〔教科書〕

『十九世紀フランス・バレエの台本』平林正司著 慶應義塾大学出版会 2000 年

歴史Ⅰ（水 1）

「古代地中海における市場経済と政治社会体制」 2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

今日的な現象として「経済のグローバル化」が大きく取りあげられているが、このプロセスは最近に始まったわけではなく、はるかに昔から長い時間をかけて進行してきたものである。このプロセスでは、生産に加えて、市場経済という流通や交換に関わる仕組みの発達が大きな役割を担っている。市場経済は、歴史のなかで徐々に形成されてきたものであり、それは単に経済分野にとどまらず、人間関係や政治の性質にも影響を及ぼす。この授業（春学期）では、市場経済が誕生した古代地中海（ギリシア・ローマなど）の状況を検討しつつ、市場経済が人間関係や政治のあり方にも変化をもたらす様子を検討したい。この検討によって、市場経済が誕生時に抱えていた諸問題の多くが、今日でも大きな意義を持つことが明らかになる。つまり、市場経済を題材にとりながら、過去の歴史的問題を、現代的問題との関連で考えるのがこの授業の目的である。

〔教科書〕

特に指定しません

〔参考書〕

講義の中で適宜指示します。

歴史Ⅱ（水 1）

「中近世ヨーロッパ商業経済の形成と発達」 2 単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

今日的な現象として「経済のグローバル化」が大きく取りあげられているが、このプロセスは最近に始まったわけではなく、はるかに昔から長い時間をかけて進行してきたものである。このプロセスでは、生産に加えて、市場経済という流通や交換に関わる仕組みの発達が大きな役割を担っている。市場経済は、歴史のなかで徐々に形成されてきたものであり、それは単に経済分野にとどまらず、人間関係や政治の性質にも影響を及ぼす。この学期（秋学期）の講義では、中世から近世にかけてのヨーロッパにおいて、現代の市場経済の基礎となる仕組みができあがる過程と、それが世界に拡大していく様相について学ぶ。したがって、現代市場経済の揺籃期について学ぶことにより、市場経済がはらむ問題について歴史的な理解をおこなうことがこの講義の目的である。

〔教科書〕

特に指定しない

〔参考書〕

講義の中で適宜指示する

歴史Ⅰ（水 2）

「古代地中海における市場経済と政治社会体制」 2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

今日的な現象として「経済のグローバル化」が大きく取りあげられているが、このプロセスは最近に始まったわけではなく、はるかに昔から長い時間をかけて進行してきたものである。このプロセスでは、生産に加えて、市場経済という流通や交換に関わる仕組みの発達が大きな役割を担っている。市場経済は、歴史のなかで徐々に形成されてきたものであり、それは単に経済分野にとどまらず、人間関係や政治の性質にも影響を及ぼす。この授業（春学期）では、市場経済が誕生した古代地中海（ギリシア・ローマなど）の状況を検討しつつ、市場経済が人間関係や政治のあり方にも変化をもたらす様子を検討したい。この検討によって、市場経済が誕生時に抱えていた諸問題の多くが、今日でも大きな意義を持つことが明らかになる。つまり、市場経済を題材にとりながら、過去の歴史的問題を、現代的問題との関連で考えるのがこの授業の目的である。

〔教科書〕

特に指定しません

〔参考書〕

講義の中で適宜指示します。

歴史Ⅱ（水 2）

「中近世ヨーロッパ商業経済の形成と発達」 2 単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕

伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

今日的な現象として「経済のグローバル化」が大きく取りあげられているが、このプロセスは最近に始まったわけではなく、はる

かに昔から長い時間をかけて進行してきたものである。このプロセスでは、生産に加えて、市場経済という流通や交換に関わる仕組みの発達が大きな役割を担っている。市場経済は、歴史のなかで徐々に形成されてきたものであり、それは単に経済分野にとどまらず、人間関係や政治の性質にも影響を及ぼす。この学期（秋学期）の講義では、中世から近世にかけてのヨーロッパにおいて、現代の市場経済の基礎となる仕組みができあがる過程と、それが世界に拡大していく様相について学ぶ。したがって、現代市場経済の揺籃期について学ぶことにより、市場経済がはらむ問題について歴史的な理解をおこなうことがこの講義の目的である。

〔教科書〕

特に指定しない

〔参考書〕

講義の中で適宜指示する

歴史Ⅰ（木 1）

「環大西洋世界の形成」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

近年、歴史学では海をテーマにした研究が盛んである。大西洋についてもその例外ではなく、ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカがこの大洋によって結びつけられていく過程について、とくに欧米の歴史学者たちが考察を重ねてきた。こうした考察をふまえて、この講義（春学期）では、16 世紀ごろまでの大西洋世界の歴史を素描していく。

〔教科書〕

特に指定しない

〔参考書〕

授業中に適宜指示する

歴史Ⅱ（木 1）

「環大西洋世界の展開

2 単位 秋学期

（16 世紀～19 世紀前半）」

〔文経法政商医理薬〕

伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

近年、歴史学では海をテーマにした研究が盛んである。大西洋についてもその例外ではなく、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカがこの大洋によって結びつけられていく過程について、とくに欧米の歴史学者たちが考察を重ねてきた。この講義（秋学期）では、こうした研究者たちの思考をふまえて、16 世紀から 19 世紀にかけて大西洋世界が相互に依存していく様子を素描していく。

〔教科書〕

特に指定しない

〔参考書〕

『アトランティック・ヒストリー』 ベイリン、バーナード著 名古屋大学出版会 2007 年

歴史Ⅰ

「アメリカ合衆国通史（Ⅰ）——法と社会」

2 単位 春学期

〔文経法政商医理薬〕

松本 典久

〔授業科目の内容〕

「アメリカ合衆国憲法」および主要な連邦法を読みながら、アメリカ合衆国の歴史を考えます。教養としてのアメリカ史を学ぶことが主な目的で、法律に特化した授業ではありません。

〔教科書〕

「独立宣言」『アメリカ独立戦争』友清理士著 学研M文庫

所収 < <http://www.h4.dion.ne.jp/~room4me/america/declare.htm> >

「アメリカ合衆国憲法」『アメリカ合衆国憲法』在日アメリカ大使館 中経出版、所収 < <http://japan.usembassy.gov/j/amc/tamcj-071.html> >

原文は、それぞれ < <http://www.ushistory.org/document/Declaration/index.htm> > および < <http://www.ushistory.org/documents/constitution.htm> > よりダウンロードできます。

〔参考書〕

『概説アメリカ史』有賀貞・大下尚一編著 有斐閣選書

『憲法で読むアメリカ史（上・下）』阿川尚之著 PHP 新書

『日米比較文化論』拙著 慶応大学出版会 ——第四章「政治理念」は必読。

歴史Ⅱ

「アメリカ合衆国通史（Ⅱ）

2 単位 秋学期

——経済成長と社会」

〔文経法政商医理薬〕

松本 典久

〔授業科目の内容〕

アメリカの経済成長および経済構造の変化により、人々の暮らしがどのように変わったかを考えます。工業化に伴う消費社会（中産層中心の社会）の出現や、景気の過熱とその対策などがおもなテーマです。

〔教科書〕

『概説アメリカ経済史』岡田泰男・永田啓恭編著 有斐閣選書

「グローバリズムと反グローバリズム」拙稿 『日吉紀要、英語英米文学』43 2003 年

「グローバリズムの研究、戦後の世界経済を中心に」同 『日吉紀要、人文科学』23 2008 年

（『日吉紀要』Web 上で閲覧できます）

〔参考書〕

『概説アメリカ史』有賀貞・大下尚一編著 有斐閣選書

『日米比較文化論』拙著 慶応大学出版会 ——第五章「経済理念」は必読

「歴史のおわり、もしくは新しい歴史のはじまり」拙稿 『日吉紀要、英語英米文学』44 2004 年

「グローバリズムの研究、18 世紀以降の英米経済を中心に」同 『同誌』47 2005 年

「グローバリズムの研究、アメリカにおける消費資本主義の発展を中心に」同 『同誌』49 2006 年

「グローバリズムの研究、『豊かな社会』を中心に」同 『同誌』50 2007 年

「グローバリズムの研究、戦後の世界体制を中心に」同 『日吉紀要、人文科学』22 2007 年

「チョムスキーの憂鬱、もしくはアメリカ・グローバル支配の終焉」同 『同誌』24 2009 年

歴史 I

「戦後日本の中国近現代史研究」 2 単位 春学期
【文経法政商医理薬】 吉田 建一郎

〔授業科目の内容〕

戦後日本における中国近現代史研究の変遷とその背景を解説する。また、中国、台湾など東アジアに関する時事的話題の紹介も積極的に取り入れたい。

〔教科書〕

プリントを配布。

歴史 II

「近代中国の工業史」 2 単位 秋学期
【文経法政商医理薬】 吉田 建一郎

〔授業科目の内容〕

19 世紀後半～20 世紀半ばの中国における工業の歴史を、いくつかの個別産業に焦点をあてて解説する。また、中国、台湾など東アジアに関する時事的話題の紹介も積極的に取り入れたい。

〔教科書〕

プリントを配布。

歴史 I

「イングランド王国の形成と「封建社会」」 2 単位 春学期
【文経法政商医理薬】 吉武 憲司

〔授業科目の内容〕

現在のイギリス（イングランド）という国の基礎ができてきたのは、中世の時代のことです。それは、さまざまな民族の侵入・征服・定住の過程のなかで形成されてきたもので、現在の我々が当たり前と考えるものとは異なった観念を前提として成り立っていました。イギリスの地理的枠組み自体、今ある形になる必然性もありませんでした。授業では、この形成の過程を、さまざまなトピックを選びながら解説していきます。

〔教科書〕

『中世のイギリス』エドマンド・キング著 慶應義塾大学出版会 2006 年

歴史 II

「中世後期のイングランド王国」 2 単位 秋学期
【文経法政商医理薬】 吉武 憲司

〔授業科目の内容〕

現在のイギリス（イングランド）の制度の多くの基礎は、実質的に中世後期に確立されたものです。庶民院・貴族院からなる議会制などがその典型です。授業では、12 世紀によく明確な形をとり始めるイングランド封建国家が、その後さまざまな発展・変容を経て、近代以後の社会や制度の基礎を築いていく過程を考察します。

〔教科書〕

『中世のイギリス』エドマンド・キング著 慶應義塾大学出版会 2006 年

論理学 I（月 5）

「論理的推論の理解とその応用」 2 単位 春学期
【文経法政商医理薬】 岡田 光弘

〔授業科目の内容〕

論理的思考や正しい論理推論の基準を明らかにする。命題論理及び述語論理の論証理論（証明論）及び意味論を中心に、現代論理学の基本的な考え方を学習していく。また、論理学の種々の応用についても具体例を用いながら解説を加えたい。

命題論理を中心とした入門的内容となる。特に現代的な立場から新しい教材も用いて、論理的思考や正しい推論の基準等の学習を進める。

〔教科書〕

プリントをダウンロードして頂きます。詳しいことは最初の授業で指示します。

〔参考書〕

必要に応じて授業中に指示します。

論理学 II（月 5）

2 単位 秋学期
【文経法政商医理薬】 串田 裕彦

〔授業科目の内容〕

述語論理について、その意味論および構文論を学ぶ。

また、ラムダ計算や直観主義論理についても考察する。

授業では、命題論理についての知識は前提して話を進める。

論理学 I を履修したもの、あるいは命題論理について同程度の理解をもつものに受講してもらいたい。

論理学 I / 論理学 II（金 4）

2 単位 春学期 / 秋学期
【文経法政商医理薬】 串田 裕彦

〔授業科目の内容〕

論理学の基礎を学びながら、真理及びその我々にとっての意味について考察する。

論理学 II は論理学 I の続きです。論理学 I の内容を前提にして授業をすすめますので、論理学 I をも合わせて履修して下さい。

〔教科書〕

特に用いない。

論理学 I

2 単位 春学期
【文経法政商医理薬】 串田 裕彦

〔授業科目の内容〕

論理学の基礎を学びます。特に「数学の形式化」を主題とし、ゲーデルの不完全性定理の証明とその意義を理解することを最終的な目標とします。

論理学 II

2 単位 秋学期
【文経法政商医理薬】 串田 裕彦

〔授業科目の内容〕

論理学の基礎を学びます。特に「数学の形式化」を主題とし、ゲーデルの不完全性定理の証明とその意義を理解することを最終的な目標とします。

論理学 I

「形式論理学入門 1」 真理関数理論 2 単位 春学期
〔文経法政商医理薬〕 佐々木 昭則

〔授業科目の内容〕

演繹的推論について勉強する。特に、推論が正しいかどうか確かめる方法について様々なアプローチを紹介し、その技術を学生に習得してもらう。論理学の形式的思考法の実感してもらいたい。

〔教科書〕

『明解論理学』（予定） 弓削隆一・佐々木昭則著 ミネルヴァ書房

〔参考書〕

教室で適宜指示。

論理学 II

「形式論理学入門 2」 量化理論 2 単位 秋学期
〔文経法政商医理薬〕 佐々木 昭則

〔授業科目の内容〕

春学期に引き続いて授業を行う。したがって、春学期の内容を前提としている。

秋学期は量化理論を中心に扱う。ここでは、「すべて」や「ある」に関する推論を扱う。

〔教科書〕

『明解論理学』（予定） 弓削隆一・佐々木昭則著 ミネルヴァ書房

〔参考書〕

教室で適宜指示。

論理学 I

「命題論理の入門」 2 単位 春学期
〔文経法政商医理薬〕 峯島 宏次

〔授業科目の内容〕

現代論理学の基本的な考え方を身につけることを目標とします。春学期は、現代論理学のもっとも基本的な部分である命題論理を学びます。現代論理学は、「正しい推論・論証とは何か」を探究する分野であると同時に、その応用として、分析哲学や理論言語学の分野において、私たちがふだん使っている日本語のような自然言語のふるまいを研究するための不可欠な道具にもなっています。授業では、自然言語の表現と論理的表現の対応関係を考えることを通して、こうした現代論理学の言語分析への応用についても紹介したいと思います。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

授業の際に必要なに応じて指示します。

論理学 II

「述語論理の入門」 2 単位 秋学期
〔文経法政商医理薬〕 峯島 宏次

〔授業科目の内容〕

現代論理学の基本的な考え方を身につけることを目標とします。秋学期は、春学期の命題論理に引き続いて、述語論理を中心に学びます。現代論理学は、「正しい推論とは何か」を探究する分野であると同時に、その応用として、分析哲学や理論言語学の分野において、私たちがふだん使っている日本語のような自然言語のふるまいを研究するための不可欠な道具にもなっています。授業では、自然言語の表現と論理的表現の対応関係を考えることを通して、こうした現代論理学の言語分析への応用についても紹介したいと思います。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

授業の際に必要なに応じて指示します。

論理学 I

「妥当な推論（確実な根拠付け）の基準」 2 単位 春学期
〔文経法政商医理薬〕 弓削 隆一

〔授業科目の内容〕

現代の論理学では、論理式の意味や推論の正しさの基準が厳密に定義された人工言語の体系を構築することを通じて、論理を捉えようとする。この講義では、このような論理学の言語の基礎である命題論理について解説する。

〔教科書〕

『明解論理学』 弓削隆一・佐々木昭則著 ミネルバ書房
2009 年 3 月出版予定

〔参考書〕

授業中適宜指示する。

論理学 II

「妥当な推論（確実な根拠付け）の基準」 2 単位 秋学期
〔文経法政商医理薬〕 弓削 隆一

〔授業科目の内容〕

現代の論理学では、論理式の意味や推論の正しさの基準が厳密に定義された人工言語の体系を構築することを通じて、論理を捉えようとする。この講義では、このような論理学の言語の中で基本的なものである述語論理について解説する。

〔教科書〕

『明解論理学』 弓削隆一・佐々木昭則著 ミネルバ書房
2009 年 3 月出版予定

〔参考書〕

授業中適宜指示する。

論理学序論

「記号論理学の基礎」 2 単位 春学期
〔経商医理〕 弓削 隆一

〔授業科目の内容〕

現代の論理学では、論理式の真理条件、推論の妥当性を厳密に定義できるような人工的な記号言語の体系を構築し、その言語を用いて知識を表現することによって論理を分析しようとする。

る。この授業では、論理学の人工言語のうち最も単純なものである「命題論理の言語」を取り扱う。標準的な意味論（真理表を用いた分析など）の説明の後、形式的な証明のシステムの一つであるゲンツェンの LK について解説する。証明図の作成の演習、完全性についての解説などを含める予定である。

〔教科書〕

『明解論理学』（仮題） 弓削隆一・佐々木昭則 著 ミネルバ書房 2009 年 3 月発行予定

LK の証明については、別にプリントを作成する。

〔参考書〕

内容に応じて、適宜参考書を指示する予定。

論理学本論

「記号論理学の基礎」

2 単位 秋学期

〔経商医理〕

弓削 隆一

〔授業科目の内容〕

記号論理学の標準的な言語である「述語論理の言語」を取り扱う。具体的には、基本的な考え方、標準的な意味論の解説と、ゲンツェンの LK（連式計算）での形式的証明の演習、LK の完全性が含まれる。余裕があれば、述語論理の中で数学がどのように形式化されるかということと、そうした形式化による分析によって明らかになったことなどについても解説したい。

〔教科書〕

『明解論理学』（仮題） 弓削隆一・佐々木昭則 ミネルバ書房 2009 年 3 月発行予定

LK の証明については、別にプリントを作成する。

〔参考書〕

授業内容に応じて、参考書を紹介する。

Ⅱ 少人数セミナー形式授業科目

ここからは、各学部で設置されている少人数セミナー形式の授業科目について紹介します。各学部で開講されている少人数の特色ある科目を、できるだけ多くの学生に共有してもらいたいという願いから、2003年度から、相互に、他学部の学生に授業を開放しています。他学部に開放された授業では、所属学部の学生の履修が優先された上で、履修人数に余裕のある限り、他学部の学生が履修することができます。

①他学部の「少人数セミナー形式授業科目」を履修した場合、下記科目の単位となります。

文学部 : 総合教育科目の系列外科目
経済学部: 総合教育科目 (Ⅲ系)
法学部 : 自主選択科目
商学部 : 総合教育科目 (Ⅰ・Ⅱ類)
医学部 : 自由科目 ※ただし、法学部設置「人文科学特論Ⅰ」
「人文科学特論Ⅱ」を除く
理工学部: 自由科目
薬学部 : 自由科目

②各学部の時間割に全学部分の「少人数セミナー形式授業科目」時間割を掲載しているので、曜日時限を確認してください。

③「少人数セミナー形式授業科目」は、他学部設置の科目を履修する場合でも、**科目認定用紙の提出の必要はありません。**

④理工学部設置「総合教育セミナーⅠ・Ⅱ」は、事前エントリーが必要です。詳しくは**学部共通掲示板**をご参照ください。

【文学部設置の少人数セミナー形式科目】 総合教育セミナー I・II (各2単位)

主として、文学部1年生を対象に開講する少人数、セミナー型講義科目です。担当するのは、文学部の日吉所属教員で、三田所属教員が開講している「特論」とよく似た形態です。いわゆる教員が壇上で講義をしていく形態の総合教育科目とは違って、各教員が専門とする研究に沿って討論、対話、輪講などの形式で進められます。内容・講義形式等については、各担当教員が自由に設定しますので、必ず第1回目の授業に出席して、内容等を確認してください。

科目名は、**ゴシック (太字)** 部分です。() カッコ記号内の文字は、曜日時限や科目名の備考(証明書などに記載されない科目名)です。

総合教育セミナー I (グローバル化と言語)
「グローバル化と言語」 2単位 春学期
[文] 足立 健次

〔授業科目の内容〕

皆さんは世界中にどれくらいの数の言語が存在しているかご存知でしょうか。2002年にユネスコ(国連教育科学文化機関)は少数派言語消滅の危機を表明しました。

英語圏を代表する文芸批評家ジョージ・スタイナーは、それより25年も前に英国のBBCテレビで一般向けに講演を行い、少数派の言語が消滅の危機に瀕していることに警鐘を鳴らしています。しかし、この問題が国際社会の中で重要視されるまでに実に四半世紀もの歳月が費やされました。なぜこの地球上に何千という数多くの言語が存在しているのか、という素朴な疑問から始まるスタイナーの英文を読み解きながら、最近になってようやく表面化してきた言語の多様性の問題をさまざまな側面から考えてみたいと思います。

〔教科書〕

The Tongues of Men (南雲堂) をプリントで使います。

〔参考書〕

必要に応じて紹介します。

総合教育セミナー I (20世紀の科学の発見)
「20世紀の科学の発見」 2単位 春学期
[文] 大場 茂

〔授業科目の内容〕

科学はどのようにして発展してきたのだろうか。世界の常識を覆すような発見や発明が、どのようになされたのであろうか。20世紀における科学の発展を振り返り、その時代背景や基礎的な科学の概念を学びます。例えば、今から6500万年前に巨大隕石が地球に衝突しなければ、恐竜が絶滅することもなく、現在の人類も誕生しなかったかもしれません。このセミナーで取り扱う内容は、医学、薬学、化学、物理学、心理学、生命科学、工学、地球科学、人類学と幅広い自然科学の分野に渡っていますが、それらが密接に関連していることがわかってきます。

〔教科書〕

毎回プリントを配布します。

総合教育セミナー I (人類学)
「動物園・水族館で進化を学ぶ」 2単位 春学期
[文] 高山 博

〔授業科目の内容〕

現在、生きている動物を観察することで、人類の進化について基礎知識を学ぶ機会としたい。今年度は、特に脊椎動物(魚類以降)の動物に注目して観察していく予定です。講義時間以外に、動物園・水族館等へでかけますので、休業日(日・祝)の観察会も講義の一環となります。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

講義内容、講義参加者のレベルに合わせて、適宜紹介していきます。

総合教育セミナー II (グローバル化と言語)
「グローバル化と言語の画一化」 2単位 秋学期
[文] 足立 健次

〔授業科目の内容〕

皆さんは世界中にどれくらいの数の言語が存在しているかご存知でしょうか。2002年にユネスコ(国連教育科学文化機関)は少数派言語消滅の危機を表明しました。

英語圏を代表する文芸批評家ジョージ・スタイナーは、それより25年も前に英国のBBCテレビで一般向けに講演を行い、少数派の言語が消滅の危機に瀕していることに警鐘を鳴らしています。しかし、この問題が国際社会の中で重要視されるまでに実に四半世紀もの歳月が費やされました。今や世界共通語が出現しつつあるのか。仮にそうであるとして、果たして私たちはそのような共通語を必要としているのか。こうした疑問を提示したスタイナーの英文を読み解きながら、言語の画一化の問題をさまざまな側面から考えてみたいと思います。

〔教科書〕

The Tongues of Men (南雲堂) をプリントで使います。

〔参考書〕

必要に応じて紹介します。

総合教育セミナー II (生き物のかたち)
「生き物のかたち」 2単位 秋学期
[文] 倉石 立

〔授業科目の内容〕

進化の歴史を生き抜いて来た生き物のかたちは、機能的であると同時に力学的に調和のとれた造形美を持っています。このコースでは生き物の形態観察を通して生き物のかたちの面白さに触れるとともに、客観的な目で物事を見るトレーニングを行います。さらに、テーマとして選んだ生き物の魅力を紹介するプレゼンテーションを作製する事により、得られた情報を整理して他人に伝達する技術についても学びます。

総合教育セミナー II (人類学)
「骨に聞く、骨を読む」 2単位 秋学期
[文] 高山 博

〔授業科目の内容〕

人体骨格についての基礎知識を習得しながら、人類学（化石人類学、骨格人類学）の基礎にふれる機会としたい。人類進化の道筋を化石模型等に触れながら、形態進化を実体験していく予定。受講者のレベル等よりですが、他大学・研究所の見学にも出かけることもあります。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

講義内容、講義参加者のレベルに合わせて、適宜紹介していきます。

総合教育セミナー II (ウクライナとロシア)

「ウクライナとロシア ～宿命の対決～」 2単位 秋学期

〔文〕 ナコルチェフスキー、アンドリイ

〔授業科目の内容〕

東ヨーロッパの最大の国であるウクライナとロシアの歴史の諸問題を取り上げて、その特徴を照らし出しながら、東ヨーロッパ史への導入をおこなう。現代政治とのつながりにも注意を払っていきます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『物語ウクライナの歴史：ヨーロッパ最後の大国』黒川祐次 著 東京：中央公論新社 2002年

『ポーランド・ウクライナ・バルト史』伊東孝之、井内敏夫、中井和夫編 東京：山川出版社 1998年

『ロシア史』和田春樹編 東京：山川出版社 2002年

【経済学部設置の少人数セミナー形式科目】

自由研究セミナー

「C++ で実用的なプログラミング」

2単位 春学期

〔経〕

青木 健一郎

〔授業科目の内容〕

C++ は現在もっとも使われているプログラミング言語の一つです。C 言語が進化した C++ は C よりもプログラムを書きやすい言語であるために多くの場面で使われています。C++を学ぶ前に C を勉強する必要はありません。

C++ の主な特徴は実用性とオブジェクト指向性、そして様々なプラットフォームで使える汎用性です。プログラミングで重要な事は、楽に正しく作ることで、オブジェクト指向性はこれにおおいに役立ちます。

このセミナーでは、プログラムを書くことによってプログラミングについて理解する事を目的とします。複雑なプログラムよりも、自分で完璧に理解できる簡単なプログラムを書くようにします。プログラムを書けるようになるまでには壁があり、また、オブジェクト指向性を使いこなすにも壁があります。このセミナーではプログラムを書くことによってそれらの壁を乗り越えることが目的です。

C++ ではファイルの読み書きがしやすく、それを活用します。様々な高品質のライブラリを使えることも C++ の大きな利点であり、これについても学びます。

〔教科書〕

『これならわかる C++』小林健一郎著 講談社

〔参考書〕

『新 C++ 言語入門-ビギナー編』林晴比古著
ソフトバンククリエイティブ

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「国際経済の計量分析」

2単位 春学期 / 秋学期

〔経〕

秋山 裕

〔授業科目の内容〕

(1)貿易、為替レート、海外直接など、国際経済における経済現象について、回帰分析を中心とした簡単な計量分析を履修者が行えるようになること、(2)株式投資についてポートフォリオ理論の簡単な実践を履修者が行なえるようになること、(3)『通商白書 2009』の輪読を通じて、現在の国際経済分野の諸問題について見識を深めることがこのセミナーの目標です。授業は①担当者による講義と②履修者のグループ発表からなります。

セミナーを効率的かつ活発で楽しいものにするため、演習、発表ではグループによる共同作業も行ないます。(2008年度のクラスでは、日本経済新聞社主催の学生円ダービーや日経ストックリーグなどのコンテストにもチームを編成して参加しました。コンテスト参加にあたって、MS Excel の分析ツールを中心に実践的な分析手法を習得していきます。) そのため、授業時間以外で準備の時間、および、課題をこなすための時間がある程度必要となります。

〔教科書〕

『通商白書 2009』経済産業省 (春学期中に発行の予定)

計量分析手法の学習、ポートフォリオ理論の学習にあたっては、講義資料としてプリントを配布します。

〔参考書〕

随時、担当者から指示があります。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「西洋音楽作品とその演奏解釈」 2単位 春学期 / 秋学期
〔経〕 石井 明

〔授業科目の内容〕

今日、西洋の古典芸術音楽（いわゆる「クラシック音楽」）は、プロの音楽家、アマチュア（音楽愛好家）を問わず多くの人々によって日常的に演奏されている。これらの音楽作品のうち、20世紀以前に作曲されたものについては、主に楽譜という形で現代に伝わっているのみである。しかしながら、楽譜というのは、ある意味で記号の集合体でしかなく、そこには、作曲家が意図した事柄の一部が象徴的に表されているだけである。つまり、音楽作品を演奏する者は、限られた情報から演奏を具現化しなくてはならないのである。その際、今日の多くの音楽家は、芸術的感性によってのみ演奏解釈の判断を行っているように見受けられる。

しかしながら、過去の音楽作品を真に理解するためには、学術的な検証が不可欠である。過去の作曲家たちは、後世の音楽家によって演奏されることを目的として創作活動を行っていたわけではなく、むしろ、作曲家自身もしくは直近の音楽仲間たちによって作曲後すぐに演奏されることを前提に音楽作品を楽譜に書き記していた。作曲家と同時代に活躍した音楽家であれば、ある程度省略されているような楽譜でも、そこに何が意図されているのかを理解することはさほど困難なことではなかったであろう。しかしながら、21世紀の我々にとっては、楽譜に残されていない事柄はもちろんのこと、実際に記されていることについてすら難解な場合が多々ある。そして、現代の我々の芸術的感性すら、ときには音楽作品の理解の妨げになる。

そこでこのセミナーでは、基礎的な知識の習得後、参加者が選択する音楽作品について、楽譜に記されている、もしくは記されていない事柄について、どのような演奏解釈を行うべきなのかということを考察することを目指す。なお参加者は、楽譜を読むことができれば、何らかの楽器を演奏することができる必要はまったくない。またこのセミナーは、任意の音楽作品を演奏することが目的ではない。音楽作品を学術的に検証し、文字にて成果を残すことが最終的に求められる。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「Introduction to Film History」 2単位 春学期 / 秋学期
〔経〕 石井 康史 エインジ, マイケル

〔授業科目の内容〕

Movies “capture the imagination”—but what is meant by that? Movies “open up dream worlds”—but whose dreams, and toward what ends? Movies are also said to “tell it like it is”—but what do they in fact tell (or show), how do they do so, and what is the effect of their stories and images?

The purpose of this course is to introduce students to, and develop their use of, some of the analytic tools necessary for academic criticism, which the students will then use to refine and articulate their own critical method. Anyone interested in taking the seminar must come to the first meeting. The seminar is open

to any student willing to learn the skills of film analysis in English.

Those selected (class size is limited) will be introduced to several major film theories, and apply those to analyses of selected films. Thus, in addition to the Wednesday-afternoon class sessions, regular film screenings will be held on Wednesday evenings. Attendance at the former is mandatory, though students unable to attend the latter may watch films on their own. Additional films for viewing will be recommended. Not surprisingly, a substantial amount of reading will be assigned, both of primary sources—i.e., film theorists’ writings, as well as commentary on those theories—and secondary sources, such as analyses of specific films and general material on Film History. In-class lectures, presentations and discussions will offer students a forum for testing the various analytic methods, while the final paper will allow them to demonstrate their analytic skills.

〔教科書〕

To be announced at the first meeting.

〔参考書〕

To be announced at the first meeting.

自由研究セミナー

「20世紀ラテンアメリカ文学」 2単位 春学期
〔経〕 石井 康史

〔授業科目の内容〕

20世紀ラテンアメリカ文学の主要作品をいくつか日本語で読み、13週間後には大まかな見取り図をつかみ基本知識を身につけることが第1の目標です。とりあげる作家それぞれのおかれた文脈、かかえた命題、こころみた解答を確かめながら進みます。

そのうえで、Novelという形式一般が20世紀に抱え込んだ問題とは何だったのかを考えます。Novelというものがもはや不可能に思われた時、ヨーロッパとりわけフランスで紹介されて、1950～60年代に世界中で一気に翻訳されて広がったのがラテンアメリカ文学だったからです。

2週間1冊程度のペースで読みますが、分量は大したことはありません。また日吉のみならず公立図書館にもある本ばかりですから、図書館蔵書を活用すれば本代はかかりません。スペイン語既習者にはスペイン語テキストを使うことも考慮しますが、スペイン語の知識は前提としません。

映画化されているものは可能な限り紹介します。参考文献は授業中に指示します。

〔教科書〕

『伝奇集』ホルヘ・ルイス・ボルヘス著 岩波文庫 ISBN: 4003279212

『ペドロ・パラモ』フアン・ルルフォ著 岩波文庫 ISBN: 4003279115

『悪魔の涎・追い求める男 他八篇——コルタサル短編集』フリオ・コルタサル著 岩波文庫 ISBN: 4003279018

『燃える平原』フアン・ルルフォ著 書肆風の薔薇 ISBN: 4891762403

〔参考書〕

『族長の秋』他 6 篇 ガブリエル・ガルシア＝マルケス著 新潮社 ISBN:4105090127

『小犬たち・ボスたち』マリオ・バルガス＝リョサ著 国書刊行会 ISBN:B000J8Q692

『Narraciones』Jorge Luis Borges, Cátedra ISBN:8437602351

『Pedro Páramo y el Llano en llamas』Juan Rulfo, Cátedra ISBN:8408041797

『Los cachorros』Mario Vargas Llosa, Cátedra ISBN:8437603552

『Las armas secretas』Julio Cortázar, Cátedra ISBN:8437601193

『El otoño del patriarca』Gabriel García Márquez, Plaza y Janes ISBN:0307350525

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「都市の魅力とは何か 2 単位 春学期 / 秋学期
—建築と道の風景から考える—」

【経】 伊藤 行雄

【授業科目の内容】

東京の銀座も変化しつつあるが、町を歩くとやはり袖看板などが目立ち、建物そのものが見えにくい。これは銀座に限らず、どの町にもこうした風景が広がっている。建築家の芦原義信氏はこの建物の持つ線を「第 1 次輪郭線」とし、看板群が作る線を「第 2 次輪郭線」として、第 1 次輪郭線の見えにくさが町の風景の特異性を隠していると述べている。一方ヨーロッパの町には看板は少なく建物の正面性や建物と道との関係が極めて密接な関係を持っている。パリの街角を見事に描いた画家佐伯祐三も東京の風景では良い絵が描けなかったようだ。こうした捉え方は一面的かもしれないが、確かに町の建築が絵になりにくい街並みになっていることは間違いない。更に最近では由緒ある寺院の背後に高層建築が建ち、醜悪に近い光景をあちらこちらで目にするようになっていく。いったい周囲の景観に配慮した都市づくりはもはや不可能なのか。この街並みの構成の相違は、都市の公共性への意識の差異から来ていると考えられる。ヨーロッパの都市と街の深層部分に江戸の面影を残す近代都市東京の特異性を中心に比較検討していきたいと思っている。

本研究会では、ヨーロッパと日本の都市（特に東京）を比較検討しながら、「西」と「東」の都市の形態の差異を考察していく予定である。時には文学作品などを含めた多方面のテキストを使用することによって、都市の分析を行いたいと考えている。

【参考書】（あらかじめ購入する必要はない）

『続・街並みの美学』芦原義信著 岩波現代文庫

『図説 都市と建築の近代』永松栄著 学芸出版社

『ドイツの都市造形史』K.グルーバー著 西村書店

『日和下駄』永井荷風著 岩波文庫

『見えがくする都市』楨文彦著 鹿島出版会

『ヒルサイドテラス＋ウエストの世界—都市、建築空間とその生活—』楨文彦著 鹿島出版会

自由研究セミナー

「Film Theory and Criticism since 1960」 2 単位 秋学期

【経】 エインジ, マイケル

【授業科目の内容】

The purpose of this course is to introduce students to developments in academic film criticism since 1960. We will watch Alfred Hitchcock's 1960 film *Psycho*, and read many different essays and articles about it. Each of the authors employs a different method and theory to analyze that film. We will learn about the theories as well as their applications by reading and comparing the various essays. Later, we will apply the theories to other films, too. In-class lectures, presentations and discussions will offer students a forum for discussing and debating the various analytic methods, while the final paper will allow them to demonstrate their own analytic skills.

NOTE: All interested students are strongly urged to register for Profs. Ishii and Ainge's course on Film History in addition to this seminar. Both courses are PREREQUISITES for Prof Ainge's Kenkyuu Project.

【教科書】

To be announced at the first meeting.

【参考書】

To be announced at the first meeting.

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「開発経済学入門」 2 単位 春学期 / 秋学期
【経】 大平 哲

【授業科目の内容】

世の中にはいろいろな格差があります。経済格差、社会的な格差、保健・衛生面での格差などさまざまです。経済格差の中にも多様なものがあります。所得の格差、資産の格差、就業機会の格差、数え上げればきりがありません。

弱い立場におかれた者がどのように強い立場に近づけるでしょうか。とりわけ地域単位での意志決定はどのようにしたらよいでしょうか。他の地域から弱い地域への援助はどうあるべきでしょうか。このような問題をみなで議論するのがこの授業の目的です。

弱い、強いという言葉をもとにどのようにつかうかについても検討が必要です。勝ち組、負け組という発想で物事を単純に理解してよいのでしょうか。豊かさとか貧困とは一体何なのでしょう。そのことを考えるのもこの授業の目的です。

当然のことですが、ここに書いているような問題はそれほど簡単に解決策が見つかるものではありません。考えるための基礎知識を身につけるだけでも大変です。この授業ではまず知識を身につけることを優先し、履修者が順番に、自分の関心をもつテーマについて発表をし、それに他の履修者がコメントする形で授業をすすめます。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「都市開発と地域活性化について 2 単位 春学期 / 秋学期
取り組む姿勢を養う」

【経】 長田 進

【授業科目の内容】

大都市、地方都市ともに、それぞれの課題を抱えている。このことは、現代を生きるわれわれは何らかの地域問題と無関係で

はいることは不可能である。この講座では、この問題に対する自分の見解を持つための各種活動を行うことを目標としている。

また、私は、自由研究セミナーとは、大学生以上ならば身に付けて欲しい研究手法を取得するためのトレーニングの機会であると考えている。以上の考えに基づいて構成するので、普段の講義形式以外の授業を体験してもらう予定である。

〔教科書〕

最初のセミナーの時間に指定する。(理由は参加人数で授業の形式を変更する可能性があるため)

〔参考書〕

授業の中で適宜指定する。

〔授業の進め方〕

前期は、問題意識を高めるために輪読を行うと同時に、実地調査を行うために必要な技術について学ぶことになる。(なお、夏休みに実地調査を行う予定である。) 後期は、前期の内容を踏まえた上で、各自が自分の興味を持った内容について自分でテーマを設定し、研究報告書の執筆を行うために必要な指導を行う。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「経済分析の理論的方法」 2単位 春学期 / 秋学期

〔経〕 長名 寛明

〔授業科目の内容〕

経済現象は、自然現象や社会現象と同様に複雑であって、どのような要因がどのように作用し合って生じているか、理解するのが必ずしも容易ではない。これを理解するためには、当面の問題に直接関係がないと思われる要因を思い切って捨象して考えることが有益である。不必要と思われる要因を捨象して残ったものが、経済分析に使われるモデルあるいは理論である。モデル(模型)が実物と異なることは当然であるが、経済学を学び始める者の中のある者は、理論が現実と乖離していることに驚き、経済学への興味を失う。これは学問を始めようとする者にとって極めて不幸なことであると思われるが、かなり多くの者に観察されるようである。

これは一種のアレルギー反応といえるものであり、理論の理解と共に消失する。

また経済理論は、かなり本質的な部分において数学的分析を必要としており、したがって、この分析方法を習得しないと十分な理解に達することが難しい。この自由研究セミナーでは、ミクロ経済学的主要項目について演習型式で理解を深めることを目指す。必要な数学的分析方法についても訓練する予定である。

〔教科書〕

H. R. Varian, Intermediate Microeconomics, Norton (7th Edition), 2005.

〔参考書〕

『経済学のための数学入門』神谷和也・浦井憲著 東京大学出版会。その他必要に応じて指示する。

自由研究セミナー

2単位 秋学期

〔経〕 金子 勝

〔授業科目の内容〕

その時々々の社会問題を中心にして、経済学的に分析する。ゼミナール形式なので、参加者の希望で、テーマと本を決める。

ちなみに、昨年度は、ポール・クルーグマン「格差はつくられた」などを取り上げた。テキストについて、基本的にその内容を把握するグループとそれに批判的コメントを加えるグループに分けて議論する。サブプライムローン問題に端を発した米国の住宅バブル崩壊や格差問題について取り上げ、雑誌や新聞を自分で集め、報告をする形式をとった。この自主研究セミナーでは、物事を批判的に考察しながら、議論を組み立てる基礎的な手法を学ぶことを目的にしている。ただし、参加を希望する者は、財政政策・地方財政論、社会保障・社会福祉、あるいは格差問題など日本経済論の領域で何かテーマを選んでレポート(A4用紙で3～5枚)を必ず提出すること。4月初旬の掲示を確認してください。

〔教科書〕

相談して決める。

〔参考書〕

議論の進行に合わせて、その時々々に教える。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「日吉の自然・実践的入門」 2単位 春学期 / 秋学期

〔経〕 岸 由二

〔授業科目の内容〕

日吉の森の散策、雑木林再生作業への実践的な参与、資料を利用した討論、読書等を通して、危機と再生の中にある都市自然のモデルとして、日吉キャンパスとその周辺の生物多様性やランドスケープをまなびケアします。学習と体験の成果は毎回簡単なレポートとして提出し、同時にそれらをとりまとめて、年間を通して受講生それぞれが一冊のパーソナルな「日吉・ナチュラリストダイアリー」としてまとめることをめざします。

〔教科書〕

『自然へのまなざし』岸由二著 紀伊国屋書店

『日吉の森野鳥紀行』伊藤隆広著

ほか資料

参加人数を配慮して適宜指定します。

〔参考書〕

『センス・オブ・ワンダー』R.カーソン著

『流域圏プランニングの時代』岸ほか著

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「経済交流を中心にした近現代」 2単位 春学期 / 秋学期

日韓交流史」

〔経〕 金 明洙

〔授業科目の内容〕

2010年は1910年の日韓併合から数えてちょうど100年になります。帝国主義国家と植民地支配という暗い過去を背負いながらも、現在は文化・スポーツ・経済など様々な分野で活発で密接な交流が行なわれるようになりました。成熟しつつある日韓経済関係とその前史となる100年の歴史を相互影響と相互依存という新しい視点から問い直し・見直しする必要があります。本授業ではそうした視点から日韓併合以後の経済部門において起こった出来事を中心に学生諸君と一緒に両国の歴史と現在を考えてみたいのです。

〔教科書〕

特に指定しません。必要に応じて講義資料を配布します。

〔参考書〕

『相互依存の日韓経済関係』 永野慎一郎著 勁草書房
2008年9月 ISBN: 9784326503124

『白磁の人』 江宮隆之著 河出書房新社 1997年5月
ISBN: 9784309405018

『韓国の「昭和」を歩く』 初版第1刷 鄭銀淑 (Chon Unsuku) 著 祥伝社 2005年7月 ISBN: 4396110138

『年表で見る 韓国の歴史』 初版第1刷 金徳珍著 藤井正昭訳 明石書店 2005年9月 ISBN: 4750321869
その他

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「フィールドワーク入門」 2単位 春学期 / 秋学期
〔経〕 工藤 多香子

〔授業科目の内容〕

身近なところに転がっている「ちょっと気になる何だろう」を、フィールドワークを通してとことん迫するゼミです。受講生にはふだんから気になること、関心のあることの中から研究テーマを設定してもらいます。各自のテーマにそって夏休み中にフィールドワークを実施。最終的には研究成果を20000字程度のモノグラフにまとめてもらいます。

毎回の授業は、受講者の研究計画・成果やブック・レビューの発表を中心に進めます。日常的な場面から学術的に論じるに値するテーマをいかに見つけ出すか、フィールドワークを通していかに思考するかを学び、そして発表の仕方、学術論文の書き方の基礎を身につけてもらうことがこのゼミの目標です。

〔教科書〕

『フィールドワークへの挑戦』 菅原和孝編 世界思想社

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「デジタルメディアの過去・現在 2単位 春学期 / 秋学期
・未来—批判的・総合的研究」
〔経〕 クナウプ, ハンス

〔授業科目の内容〕

現代は、デジタルメディアが日常生活に深く浸透し、私たちの身体の一部になっています。デジタルメディアと私たちの関わりが将来どのように展開し、どのような姿になっていくのかについて、アジア、ヨーロッパ、アメリカなどにおける情報を収集しながら議論を進めていく予定です。また、デジタルメディアの現在と将来を問題にする場合、メディアの過去について十分な知識を持つことが重要です。この授業では、時間の差異と空間の境界を自由に越えながら、メディアに潜んでいる危険性にも注目しつつ、最もアクチュアルな問題に批判的・総合的に接近していくつもりです。

〔教科書〕

プリントで配布

〔参考書〕

『瞬間の君臨—リアルタイム世界の構造と人間社会の行方』 P.ヴィリリオ著 新評論

『情報エネルギー化社会—現実空間の解体と速度が作り出す空間』 P.ヴィリリオ著 新評論

『グラモフォン、フィルム、タイプライター』 F.キトラ著 筑摩書房

その他の参考資料、ゼミの進め方などについては、第1回目の授業で説明します。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「トクヴィルとともに民主主義 2単位 春学期 / 秋学期
とはなにかを考える」

〔経〕

後平 隆

〔授業科目の内容〕

民主主義って何？と考えざるをえない状況に自分はいるなあ、と思っている君たち。その君たちと読んでみたいのが、トクヴィルの「アメリカのデモクラシー」。古代の民主主義を知るにはアリストテレスの「政治学」、現代の民主主義を知るにはトクヴィルのこの本を熟読玩味するのが一番です。単なるアメリカ論ではない。現代世界を丸ごと射程におさめた知識人なら必読の本。浩瀚な本だから、通読するのは無理。しかし現在の私たちがどんな状況に置かれているかを理解するための素晴らしい章がいくつもある。それらの章を君たちと読み解き、さらにトクヴィルに触発されて書かれた他の人たちの本をも併せ読みながら、自分という民主的人間はいったいどんな存在なのか、その過去・現在・未来の姿をはっきりと見極めることを目標とする授業です。

〔教科書〕

『アメリカのデモクラシー』 第二巻 (上下) トクヴィル著 岩波文庫 2008年

〔参考書〕

そのつど授業中で指示

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「統計学で社会をみる」 2単位 春学期 / 秋学期
〔経〕 坂上 紳

〔授業科目の内容〕

日常生活には統計があふれている。試験を受けると偏差値が発表され、本を読むとアンケート結果として平均や分散などのデータが表にまとめられ、新聞には政党支持率が載り、雑誌では有名人の様々なランキングが発表され、テレビでは高視聴率の番組が発表される。これらの統計は様々な判断をするうえで有益であるが、その一方で、統計データそれ自体に問題があったり、統計の解釈がおかしかったりしても、見かけの文章に問題がなかったり、発表機関が有名だったりすれば無批判に受け入れられてしまう。

この自由研究セミナーでは、統計学の考え方と統計学に基づいた統計の見方を学び、見かけにとらわれず自らの目で統計を判断・分析できる力を身につけることを目指していく。そのため、事例を豊富に含んだ基礎的な統計学の新しいテキストに加え、誤った統計に対する批判として知られる古典的名著を用いる。また、授業については、履修者数や希望に応じて決めるが、なるべく履修者が自発的に発言しやすい形態にしていく予定である。

予備知識としては、基礎的な微分積分の知識があった方が望ましいが、特に数学の知識を前提とはしない。取り扱う分野に関しては、経済に限らず様々な分野を扱う予定であり、履修者の希望にも応じていきたい。

〔教科書〕

『やさしい統計入門 視聴率調査から多変量解析まで』 田栗正章・藤越康祝・柳井晴・C.R.ラオ著 講談社 2007年

『統計でウソをつく法 数式を使わない統計学入門』 ダレル・ハフ著 講談社 1968年

その他、講義資料プリント等を適宜配布

〔参考書〕

『確率の科学史 「パスカルの賭け」から気象予報まで』マ
イケル・カプラン、エレン・カプラン著 朝日新聞社 2007 年
『確率の哲学理論』ドナルド・ギリース著 日本経済評論社
2004 年
『統計学のはなし』改訂新版 蓑谷千鳳彦著 東京図書
1997 年
『推測統計のはなし』蓑谷千鳳彦著 東京図書 1997 年
『入門はじめての多変量解析』石村貞夫・石村光資郎著
東京図書 2007 年
その他、授業中に適宜紹介

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b
「医学と現代社会」 2 単位 春学期 / 秋学期
〔経〕 鈴木 晃仁

〔授業科目の内容〕
20 世紀の医学上の大きな事件を題材にしたルポルタージュ、
ノンフィクション、フィクションを読み、現代社会における医学の
位置を考える。
〔教科書〕
なし
〔参考書〕
授業中に指定します。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b
「文章作成の知を共有する」 2 単位 春学期 / 秋学期
〔経〕 津田 眞弓

〔授業科目の内容〕
文章は常に「適切」であることが求められます。内容が充実
していることはもちろんのこと、それだけに留まらず、文章が提供
される場や相手によって何が適切であるかも変わっていきます。
TPO にあわせた文章を書くことに慣れ、最終的には、説得力
のある学術的文章を作成できる力を養成することを目的としたセ
ミナーです。
〔教科書〕
『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門』
佐藤望編 慶應義塾大学出版会 2006 年
〔参考書〕
適宜授業内で指示します。

自由研究セミナー
「「グローバル」化する世界と福澤諭吉」 2 単位 春学期
〔経〕 薦木 能雄

〔授業科目の内容〕
福澤諭吉著『文明論之概略』を通して「グローバル」化す
る世界と日本の進路について考察すること。
〔教科書〕
『文明論之概略』福澤諭吉著 岩波書店 1995 年
〔参考書〕
『「文明論之概略」を読む』丸山真男著 岩波書店 1986 年

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b
「西ヨーロッパの「市民社会」と 2 単位 春学期 / 秋学期
アジア文明」
〔経〕 薦木 能雄

〔授業科目の内容〕
ヘーゲルの『歴史哲学講義』を通して「西欧近代」とアジア
の問題を比較、考察してみること。なぜなら、ヘーゲルの『歴
史哲学講義』では東洋世界—中国、インド、イスラム—が世界
史発展の「枠外」に置かれているからである。このような見方は
その後永い間西欧世界の「共通認識」とされてきた。授業を通
して「西欧文明」と「東洋文明」との間に「共生と協調」の可
能性を探してみたいと考えている。
〔教科書〕
『歴史哲学講義』（上・下）ヘーゲル著・長谷川宏訳 岩波
文庫 1994 年
〔参考書〕
『新稿社会思想小史』水田洋著 ミネルヴァ書房 2006 年

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b
「日本とアジアの人口、 2 単位 春学期 / 秋学期
家族、経済」
〔経〕 津谷 典子

〔授業科目の内容〕
本科目は、人口増加と経済発展 (population growth and
economic development)、人口増加と環境・資源
(population growth and the environment)、人口高齢化
と高齢者介護 (population aging and care of the
elderly)、出生・家族形成 (fertility and family
formation)、結婚とその解消 (marriage and marital
disruption)、死亡・保健・衛生 (mortality and health)、労
働力と就業 (labor force and employment)、家族・世帯
(family and household)、ジェンダー (gender relations)
など、人口学や経済学が取り扱う様々なトピックや問題について
の英文文献を読み、それらに関するクラスでの発表と討論を通し
て、人口問題と経済に関する知識・理解を深めることを目的とす
る。人口変動と経済変動は密接に関連しており、人口変動はま
た環境・資源の最も重要な決定変数の 1 つである。人口は重要
な政策的課題でもあるため、本科目では各トピックの政策的含意
についても検討する。

〔教科書〕
教科書は特に指定しない。なお、本科目で取り上げる論文
は、比較的平易かつ具体的内容をもつものを、現在わが国およ
び国際社会が置かれている状況を考慮して、適切であると思わ
れるものを講師が予め選別する。
〔参考書〕
『世界の人口』（第 2 版）河野稠果著 東京大学出版会
2000 年

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b
「ジェンダーについて考える」 2 単位 春学期 / 秋学期
〔経〕 長沖 暁子

〔授業科目の内容〕

セクシュアリティ、性と生殖、家族、教育、労働、環境問題、今、社会が抱えるさまざまな問題は、ジェンダーという視点を抜きに考えられない問題でもあります。しかし、1999 年男女共同参画基本法が成立して 10 年近く経った現在、男女共同参画社会への批判とともに、「ジェンダー」に対する見直しを主張する流れも出てきました。このような現代的な課題も含め、ジェンダーにかかわる問題を考え、今後の展望を話し合いたいと思います。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

下記候補から受講生の関心に沿って選びます。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「体験を通して学ぶバリアフリー」 2 単位 春学期 / 秋学期
ユニバーサルデザイン」

〔経〕

中野 泰志

〔授業科目の内容〕

若くて、健康な人にとって、特別な理由がない限り「高齢」や「障害」ということを意識することは少ないと思います。しかし、一生を考えてみると、不自由なく、移動したり、考えたり、覚えたりできる状態に身体を保つことができるのは、一時的なことです。例えば、誰も乳幼児のときには一人では上手に食事もできなかったわけです。また、いつ病気や事故等に遭遇するかわかりませんし、老化を避けることは誰にもできません。この意味で障害や加齢は身近な問題であり、障害や加齢の状態にある人にも住みよい社会を創っていくことは、すべての人にとって大切な課題だと言えるでしょう。

このセミナーでは、すべての人が快適に生活できる「バリアフリー（バリアのない）社会」を実現するために必要な事項について実践、調査等を行います。また、様々な障害のある状態を擬似的に体験するワークショップ、点字やノートテイク等の支援の実習、キャンパスや街のバリアチェック等の実践を通して、バリアフリー・ユニバーサルデザインについて学びます。実習は、講義時間以外にも実施することがありますので、意欲のある学生の参加を期待します。なお、本講義の受講希望者は「バリアフリー / ユニバーサル・デザイン入門 I,II」を同時に履修することを推奨いたします。

〔教科書〕

講義内容のポイントをまとめた資料は、web サイト「<http://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>」よりダウンロードできます。ただし、web サイトは、パスワードによるアクセス制限をかけています。パスワードは、講義の際にお伝えします。

〔参考書〕

『障害者の経済学』中島隆信著 東洋経済新報社 2006 年
『ユニバーサル・デザインの仕組みをつくる一スパイラルアップを実現するために』川内美彦著 学芸出版社 2007 年
『ユニバーサルデザインーみんなの暮らしを便利にー』東京大学先端科学技術センターバリアフリープロジェクト（監修）あかね書房 2006 年

『ICF の理解と活用一人が「生きること」「生きることの困難（障害）」をどうとらえるか』上田敏著 萌文社 2007 年

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「中国語翻訳の実際－翻訳術と 2 単位 春学期 / 秋学期
調査術の第一ステップ」

〔経〕

長堀 祐造

〔授業科目の内容〕

中国語上級者を対象にした授業である。教科書は使用せず、ネットや新聞、雑誌などの生の記事を教材とする予定。また履修者の希望する素材を読むこともある。最新ニュースで中国を知ろうという意欲のある学生、三田で中国の経済、政治、文学、歴史などを専門にしようとする学生の履修を歓迎する。

また、中国語の翻訳と翻訳のためのレファレンス活用術を学ぶこともこの授業の眼目の一つ。専門家になるための初歩的知識の習得を目指す。

〔教科書〕

特に指定しない。授業中、プリントを配布するか、教材となるサイトを指示する。

〔参考書〕

中型の辞書（電子辞書でも可）以下のいずれか。1. 中日辞典 小学館 2. 中日辞典 講談社 3. 東方中国語辞典 東方書店 4. 超級クラウン中日辞典 三省堂 5. 白水社中国語辞典 白水社。新語辞典：中日辞典 新語情報篇 小学館

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「独身者機械について考える」 2 単位 春学期 / 秋学期
〔経〕

新島 進

〔授業科目の内容〕

生身の彼女、彼女とつき合う代わりに、たとえば「美少女フィギュア」を愛でる男性、「やおい漫画」に耽溺する女性がいる。当セミナーでは「異性との恋愛→結婚→出産」という道筋から外れた「独身者の生きかた、ありかた」と、それにちなむ言説、事象、芸術作品について考える。

独身者とは結婚をしていない人というよりは「生身の人間であるパートナーを持たない人」。機械はその独身者たちが夢見る相手、ただし「生身の人間ではないヒトガタ、各種光学機器が生み出す幻影」と定義する。そんな独身者 / 独身者機械について、まずはその歴史的、社会的背景を学び、さらに各時代の芸術潮流やテクノロジーとの関連を探る。担当者がこれまで勉強してきたのはフランスを中心とする近代の独身者機械作家や SF 文学だが、考察の対象が受講者の興味によって古今東西のありとあらゆる芸術作品、事象、言説に広がっていくことを期待する。

キーワード：オタク文化（美少女フィギュア、萌え、アキバ、エロゲー、やおい同人誌）、ファッション（ゴスロリ、コスプレ、メイド、ドラッグ・クイーン）、映像作品（『下妻物語』、『エコー』、『イノセンス』）、アニメ（エヴァンゲリオン、ローゼンメイデン、攻殻機動隊）、人形（ビグマリオン・コンプレックス、ハンス・ベルメール、恋月姫、球体関節人形）、漫画（銃夢、ちよびっつ）、音楽（「ホフマン物語」、Ali project）、社会風俗（同性愛文化、ロリコン、少子化、ネット社会）、西洋近代の独身者機械作家とその作品（ホフマン、デュシャン、カフカ、ヴィリエ・ド・リラダン、ヴェルヌ、ルーセル）、身体（サイバーパンク SF）、現代思想（ドゥルーズ / ガタリによる独身者機械論）、とにかくなんでも。

〔教科書〕

特に指定しません。資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『人造美女は可能か?』異孝之・荻野アンナ編 慶應義塾大学出版会

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「文化 / 社会 / 歴史 / 文学、 2 単位 春学期 / 秋学期
その発想と感覚」

〔経〕

西尾 修

〔授業科目の内容〕

何でもいから、興味あることについてしゃべる（喋る）、そういった授業です。

担当者の専門領域は 19 世紀のフランス文学ですが、別段それにこだわるつもりはありません。

日本のこと、現代のこと、あるいはそれ以外の世界のこと、硬質なものから軟弱なものまで何でも、テーマ選びには地域、時代を問いません。授業に参加する諸君個々人が、それぞれに関心を抱くテーマをまずは持ち寄って、そのテーマについて、皆でとにかく自分の考えていることを口にする、そういった授業です。真面目ぶっていえば、議論する、討論するという経験を通して、通常それ以外のコミュニケーション手段で得られるものとはまた別のナニモノかを得られれば格別。この授業が参加者諸君の自己発見、自己啓発の一助になれば、と願っています。

授業は、毎回、メンバーの誰かがあるテーマについて発表し、その後、皆で議論するという形式で行います。詳しくは第 1 回目の授業で説明します。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「ユダヤ人問題」 2 単位 春学期 / 秋学期
—その歴史と特質—

〔経〕

羽田 功

〔授業科目の内容〕

「ユダヤ人問題」とは何か、すなわちホロコースト、パレスチナ問題、ユダヤ人の経済活動、ユダヤ系知識人・文化人・芸術家の活躍など、ユダヤ人についてはさまざまな角度からの関心が寄せられ、多くのことが語られてきているが、これらに通底する問題の特質は何であるのか、またそれらはどのような歴史的経緯を通じて形成されてきたのか、については意外と知られていません。そこでこのセミナーでは、古代から現代にいたるユダヤ人問題の歴史を概観することで、多様な相貌を見せる「ユダヤ人問題」のあり方の基本を知り、この問題が持つ現代的な意味を探っていきます。

〔教科書〕

プリントを予定

〔参考書〕

第一回目にリストを配布する予定（以後、適宜指示をします）

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「写真への接近」 2 単位 春学期 / 秋学期

〔経〕

林 栄美子

〔授業科目の内容〕

写真が発明されたのは 1839 年のことである。人間の長い歴史の中に置いてみれば、つい最近のこととさえ言えるだろう。しかし人間が手にした最初の「映像」である写真は、飛躍的な進

歩をとげ、今や誰もが写真を撮り、撮られるという体験が日常のこととなり、無数の写真に取り巻かれて我々は生きている。氾濫する写真は、我々の世界の捉え方にまで多大な影響を与えている。「写真」とはいったい何か？そのことを具体的に考えるために、実際に写真を撮り、それを他人に見せて、互いに意見を言い合うという作業と、写真のさまざまなありようの考察とを、意識的に並行して行ってみよう。写真史を概観することもその助けとなるだろうし、写真家たちの作品にふれることも時には必要になるだろう。ただし、写真についての知識や体験は問わない。これは写真をうまく撮れるようになるための講座ではない。あくまでも「写真について考える」こと、それを通じて「見ること」「感じること」「人やものと接すること」を考え直す場だと思ってもらえればいいだろう。

後期には、写真に関するもののなかから自分でテーマを選び、担当者のアドバイスを受けながら自力で調べ、考察して、レポートにまとめて、他のメンバーの前でプレゼンテーションをすることが中心的な作業となるだろうが、皆で自分たちの写真作品を発表する写真展を企画・実行するなどの共同作業の試みも、メンバーの希望があれば行ってみよう。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業中に紹介する。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「日本近代文学を読む」 2 単位 春学期 / 秋学期

〔経〕

林田 愛

〔授業科目の内容〕

このセミナーでは、夏目漱石、芥川龍之介、太宰治などの作品から、葛西善三や寺田寅彦など、文学史上、決して目立たない作家たちのものまで含めて、日本近代文学の担い手たちが受けた西洋（文学）の影響や「私小説」の問題について探ります。前期は、上にあげた作家たちや同時代に生きたヨーロッパの文学者・思想家たちの作品を逐次紹介し、また皆で吟味しながら、＜近代日本＞と＜西洋＞との関係について考えます。後期は、前期で得たアイデアを参考にしながら、履修者が各々で発見したテーマや問題意識をもとに、日本とヨーロッパそれぞれの作家たちから一人ずつ選んで比較・発表してもらいます。作品が生み出された歴史的背景を考慮しながらも、国を超えた「何か」を見だし、みずみずしい感性をもって分析に取り組むことは、きっと新たな発見をもたらす生きる知恵を与えてくれるでしょう。

〔教科書〕

授業中に指示します。

〔参考書〕

授業中に指示します

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「マルセル・ブルースト研究」 2 単位 春学期 / 秋学期

〔経〕

比留川 彰

〔授業科目の内容〕

マルセル・ブルーストの小説「失われた時を求めて」を様々な角度から考察する。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b (月3)

「カエル学入門」

2単位 春学期 / 秋学期

〔経〕

福山 欣司

〔授業科目の内容〕

このセミナーは、カエルをモチーフにして「人間と動物との関係」について考察していこうという授業です。一般的にはカエルのイメージは、気持ち悪い、汚いなど、マイナスであることが多いようです。ところがその一方で、私たちの生活や文化の中に「カエル」は頻りに登場します。子どものオモチャ、日用雑貨、文具、コマーシャル、オブジェ、絵画、写真、書物、音楽など、さまざまな局面で私たちはカエルと遭遇しています。マイナスのイメージのある生き物が何故頻りに登場するのでしょうか。カエルのイメージがどのように扱われているかを実際の例に当たりながら、人とカエルとの関係について考えてみたいと思います。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b (土3)

「日吉の森で自然を学ぶ」

2単位 春学期 / 秋学期

〔経〕

福山 欣司

〔授業科目の内容〕

地球環境問題の深刻化に伴い、自然に対する考え方や接し方が急速に変化してきています。現代社会は、自然との共存を模索する時代になり、緑地の少ない都市ではどのようにして自然を残していくかが重要な課題の1つとなっています。そうした中、雑木林（落葉広葉樹林）などの身近な自然の重要性が認識されるようになっていきます。この授業では、日吉キャンパスに広がる雑木林（日吉の森）をフルに使って都市に残された自然への理解や緑地保全・再生などを学びます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「応用経済分析への招待」

2単位 春学期 / 秋学期

〔経〕

藤田 康範

〔授業科目の内容〕

この自由研究セミナーでは、知識を構造化し、経済理論の活用方法を身につけ、戦略や政策を策定できるようになることを目標とします。

自由研究セミナーという科目の性質上、プレゼンテーションやディスカッションを重視しますが、無理なく丁寧に進めることを基本とし、必要なことがらについては随時説明しますので、特別な予備知識は不要です。

春学期は主としてマクロ経済理論の視点から、秋学期は主としてミクロ経済理論の視点から経済を把握します。

レポートによる履修者の選抜を行いますので、履修希望者は4月初旬の掲示に注意して下さい。

〔教科書〕

特にありません。必要に応じて文献を紹介します。

〔参考書〕

『よくわかる経済と経済理論』 藤田康範著 学陽書房

『よくわかる金融と金融理論』 藤田康範著 学陽書房

『経済・金融のための数学』 藤田康範著 シグマベイスキャピタル

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「アーサー王伝説概論」

2単位 春学期 / 秋学期

一伝説から歴史、そして物語へ」

〔経〕

不破 有理

〔授業科目の内容〕

「アーサー王と円卓の騎士」を知っていますか？今なお映画や小説の題材として取り上げられるアーサー王は、イギリス史はもとより、西欧文化においてももっともよく知られた「王様」です。日本においても翻訳や日本独自のアーサー物語が出版されています。しかしながらアーサー王の実像は謎に包まれ、果たして実在したかどうかさえ定かではありません。本セミナーでは、アーサー王伝説が社会的、政治的、文化的な脈絡の中でどのように変容し、人々を魅了してきたのか、年代記や中世騎士道物語、絵画や映画などを題材に分析します。アーサー王伝説を通観することによって、学生諸君とともに、なぜアーサー王伝説は歴史を生き抜いてきたのか、その魅力の謎を考察していきたいと思います。各回短い講義（もしくは各担当者の発表）と学生諸君による文献の分析・討論のほか、DVD 作品など映像資料の分析・討論も予定しています。

〔教科書〕

教科書は特に指定しませんが、どの作品でもかまわないので、「アーサー王物語」を読んでおくことをお勧めします。参考書は大学図書館にあります。いずれかを購入しておくとう便利です。資料プリントを随時授業内で配布します。

〔参考書〕

『アーサー王物語』トマス・マロリー 井村君江訳 筑摩書房 全5巻

『アーサー王宮廷におけるコネチカットヤンキー』マーク・トウェイン著 早川書房

『アーサー王 その歴史と伝説』リチャード・バーバー著 東京書籍

『アーサー王伝説』アンヌ・ベルトウロ 創元社

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「古代文法の成立」

2単位 春学期 / 秋学期

〔経〕

前島 和也

〔授業科目の内容〕

名詞、動詞、文、主語、述語、時制、格と云った概念はどこから来たのか。そもそも文法学はいつ、何のために生まれたのか。

トラキアのディオニュシオス（前2世紀）は我国では著作が読まれる事が稀であるばかりか、その名も殆ど知られていないが、『テクネー・グラマティケー（文法術）』（TG）を著した事で言語研究史に不朽の位置を占める。しかし、全ての学術同様、文法学も一人の人間が創出したのではなく、長い醸成の期間があったのである。このセミナーではTG本文およびディオニュシオス以前に文法概念を創出していたプラトン（『ソピステス』）、アリストテレス（『詩学』、『弁論術』）などの抜粋を読み、今日なお使われる文法諸概念が成立する過程を追うことにしよう。また、文

法学と思想・文学の関連を確認するとともに、中世以降の言語研究が古代文法に負うものを検証して行こう。

TG に関して手軽に入手できる邦語文献は少ないのでプリントを用意する。

〔参考文献〕

本文

Dionysii Thracis Ars Grammatica, in Grammatici graeci (ed. G. Uhlig), I-I/III, Teubner, 1883-1901.

Die Fragmente des Grammatikers Dionysios Thrax, hrsg. von K. Linke, de Gruyter, 1977.

La Grammaire de Denys le Thrace, traduite et annotée par Jean Lallot, CNRS éditions, 2003.

概説・研究書 (TG の抜粋を含む)

Geschichte der Sprachwissenschaft bei den Griechen und Römern, I-II, Steinthal, H., Dümmler, 1891.

Einleitung in das Studium der indogermanischen Sprachen, Delbrück, B., Breitkopf & Härtel, 1919.

言語学概論, 高津春繁著 有精堂 1957 年

La Naissance de la grammaire dans l'antiquité grecque, Ildefonse, Fr., J. Vrin, 1997.

Grammatical theory and Philosophy of language in Antiquity, Swigger, P. & Wouters, A. (ed), Peeters, 2002.

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「地球環境と人間」 2 単位 春学期 / 秋学期

〔経〕 松原 彰子

〔授業科目の内容〕

地球環境問題や自然災害について、各自の関心のあるテーマについて調べた結果を発表し、討論を行うことを主要な目的とします。春学期は文献紹介、秋学期は夏休みに各自が行った現地調査の成果を発表して、その内容について全員でディスカッションを行います。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

『自然地理学 一自然環境の過去・現在・未来』第 2 版 松原彰子著 慶應義塾大学出版会 2008 年 ISBN: 978-4-7664-1485-1

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「戦後ドイツと作家シュリンク」 2 単位 春学期 / 秋学期

〔経〕 八木 輝明

〔授業科目の内容〕

東・西に分断されていたドイツは 1990 年に統合され、現在 EU の中心国となっています。そのドイツにおいて、政治・文化・教育・メディアなどあらゆる分野で中心的役割を担っている世代は、「68 年世代」と呼ばれます。日本の「団塊の世代」にあたるでしょうか。彼らの多くは、第二次世界大戦後に生まれ、未曾有の犯罪を犯したナチスドイツの過去と向き合い、その時代を検証、記憶し、現在と未来へつなげる作業を通じて、克服しようとしてきました。

文学においても、彼らはさまざまなアプローチをしながら、作品のなかでこの問題を取り上げています。また、作家として深く政治に関わってきた人たちもいます。セミナーでは、こうした戦後ドイツの社会で作家たちが向き合い、取り組んできたいくつかのテーマを探りながら、戦後ドイツの流れを概括していきます。セミナーで主に取り上げていくテキストは、世界的ベストセラーとなった作家ベルンハルト・シュリンクの『朗読者』（新潮文庫）という小説です。小説として興味深く読める一方、内容的には戦後から現在までのドイツにおける「過去への取り組み」を歴史的に跡付けています。またこの小説には、文学と政治と歴史がもつ諸問題が主人公をとおして描かれています。

このドイツがかかえる「負の遺産」を見つめることで、日本の太平洋戦争と戦後のあり方をより明瞭に比較検討することが出来るようになるでしょう。

〔教科書〕

『朗読者』B.シュリンク著 新潮文庫

〔参考書〕

『逃げてゆく愛』B.シュリンク著 新潮文庫

『せめて一時間だけでも—ホロコーストからの生還』P.シュナイダー著 慶應義塾大学出版会

その他

自由研究セミナー

「高度成長社会を生きた人々 2 単位 秋学期
—父と母の子供時代再考—」

〔経〕 柳沢 遊

〔授業科目の内容〕

1955 年から始まった高度経済成長は、日本列島にくらす人々の生活・労働、そしてコミュニケーションを大きく変えた。「昭和 30 年代」ブームといわれる現在の地点から、この時代の歴史的意味を再考してみたい。城山三郎の小説、西岸良平のコミック、テレビとクルマの時代に開始を、広い社会経済史的文脈からときあかしていくことが、本セミナーのねらいである。

〔教科書〕

『高度成長』武田晴人著 2008 年

〔参考書〕

『戦後史』中村政則著 岩波新書

『近代日本流通史』石井寛治編 東京堂出版

『高度成長』吉川洋著 読売新聞社 1997 年

自由研究セミナー

「日本の社会政策」 2 単位 春学期
〔経〕 山田 篤裕

〔授業科目の内容〕

社会政策（＝社会保障＋労働政策）とは人々の生活を保障する政策の総称です。具体的には、就労可能な者については就労することで生活が保障されるようにし（＝労働政策）、一時的あるいは永続的に就労できない者については、年金・医療・介護・雇用・労災保険、生活保護あるいは福祉サービスにより、生活が保障されるようにする（＝社会保障）政策です。

本セミナーでは、国際比較の視点から、日本の社会政策が、現在、直面している課題をどのように解決するのか一緒に考えていくことを目的とします。

〔教科書〕

以下の参考文献から、履修者の関心に応じて決めたいと思います。

〔参考書〕

OECD『世界の社会政策の動向』井原辰雄訳 明石書店
2005年6月

ゲスタ・エスピン・アンデルセン、マリーノ・レジーニ編『労働市場の規制緩和を検証する：欧州8カ国の現状と課題』伍賀一
道・北明美・白井邦彦・澤田幹・川口章訳 青木書店 2004年2月

なお文献は日吉図書館の一角にある教科書コーナーで入手可能なようにしておきます。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

「書物 / 読書について考える」 2単位 春学期 / 秋学期

〔経〕 山本 賀代

〔授業科目の内容〕

語学の授業を受ける学生の大半が紙の辞書ではなく電子辞書を携帯、調べものでは図書館よりもウィキペディア、ブログから誕生する人気作家、ケータイ小説。一方で、「私の読書論」的なエッセイでは紙の本への愛着が優勢、紙の本の読書を対象としたハウツーものも相変わらず売れている。電子メディアの登場が活字メディアに及ぼす影響について議論されて久しいけれど、読書文化はどれくらい変ってきたのだろう（あるいは変っていないのだろう）。今日の大学生と一昔前の大学生の読書の違いは？

100年前は？ もっと遡って、活版印刷が普及したころの読書、さらにそれ以前の手書き写本を読む人たちのことを思い描いてみましょう。男女の読書の違いは？ 子供と大人の違いは？ 西洋と日本の違いは？ いつ、どこで、どんな姿勢で読書する？

読書は批判されることもある（あった）？ 本の大きさ、装幀、値段の変化などなど・・・1年間、いろいろな角度から「読書」について考えてみませんか。もちろん、読書しながら。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

①『グーテンベルクの銀河系——活字人間の形成』M・マクルーハン著、森常治訳 みすず書房 1986年

②『声の文化と文字の文化』W・J・オング著、桜井直文他訳 藤原書店 1991年

その他は授業内で指示します。

【法学部設置の少人数セミナー形式科目】

自然科学研究会 I

「ヒトと地球環境との共存を考える」

2単位 春学期

〔法政〕

秋山 豊子

〔授業科目の内容〕

少人数のメリットを生かしたセミナー形式を主にし、学生自身によってテーマ・問題点を提案し、授業日程や進行方法を決定し、発表・討議など進行も行います。自分で学習して積極的・主体的に学びたいという学生諸君に履修を勧めます。

私たちの地球環境は、温暖化や砂漠化、環境ホルモンやダイオキシンなど様々な環境汚染、森林や野生動物の減少など、過去の高度な産業開発と大量消費の結果、さまざまな問題が生じています。しかし、現在は、それらの問題の解決と持続できる地球を目指そうとするさまざまな動きも感じられます。大量の廃棄物をリサイクルに廻し、再利用と無駄を省いてシンプルな生活へと向かうスローライフの勧めや自然志向があり、豊かな自然への回帰現象もその一つといえます。この授業では、現代社会における自然科学を背景とした問題を学生が主体的に考えてゆきます。自分自身が具体的に環境問題や自然科学の問題を考える第一歩となれば良いと考えています。今年は、校外活動、資料収集、観察、臨海実習などキャンパス外での活動も考えています。

〔教科書〕

特に指定はしません。

〔参考書〕

『生きているってどういうこと』種田保穂・秋山豊子著 培風館 2006年刊行

自然科学研究会 I

「植物成分の効能」

2単位 春学期

〔法政〕

金谷 信宏

〔授業科目の内容〕

植物は成長のための代謝のほかに独自の代謝経路をもち、その植物特有の様々な化学物質を合成します。それらは香辛料、薬剤、毒薬としてヒトに利用されています。この研究会ではおのおのが興味をもった植物成分の効能について調べ、他の履修者の前で発表します。その発表に対して全員で討論することにより植物成分についてより深く知ることができると期待されます。

自然科学研究会 I

「化学の言葉で自然の不思議をひも解け」

2単位 春学期

〔法政〕

小瀬村 誠治

〔授業科目の内容〕

改札をぬけると、そこには眩いばかりのイチョウ並木が広がる。小わきに分厚い履修案内を抱えていても、その新緑の美しさに心を奪われていないだろうか。やがて秋の訪れとともに、黄色く色づき風に舞うイチョウの葉。さて、“なぜ”イチョウの葉は黄色く色づき、風に舞うのだろうか。これは一例であるが、自然現象に接して“なぜ”と考えた時、諸君はその答えを見つかることができるであろうか。講義では、氷はなぜ水に浮くのか、リンゴはなぜ赤いのか、などの不思議をひも解き、また後半の授業で

は、諸君が自然に接して“なぜ”と感じたことを自ら調べ発表してもらう。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

なし。

自然科学研究会 I

「エネルギー問題について」

2 単位 春学期

〔法政〕

小林 宏充

〔授業科目の内容〕

21 世紀は、ますますエネルギー問題や環境問題が議論される時代になって行きます。地球温暖化を抑制するためには、二酸化炭素の排出量を減らす必要があります。そのためには火力発電を減らして、原子力発電主導にする必要がありますが、それでよいのでしょうか？今後、原子力発電を増やすのは住民の同意を得ることは難しく、他の代替エネルギーに頼る必要がでてきます。では、太陽電池はどうでしょうか？それだけで、今のエネルギーを賄うことができるでしょうか？また、循環型社会をめざしていますが、リサイクルは経済的にみあうものなのでしょうか？では、どのようにすればそれが達成されるのでしょうか？エネルギーや環境の問題には、法律の話が必ず関係してきますし、政治的な判断で決まる問題も多いのが現状です。地球規模の問題では、国際関係などの知識も必要となります。本研究会では、自然科学の目からそれらを総合的に判断することを目指します。

自然科学研究会 I では、エネルギー問題について考えることにします。教科書を読みこなし、エネルギー問題に関する自然科学的知識・考え方を身につけるように配慮します。

〔教科書〕

『図解 新エネルギーのすべて』化学工学会 SCE.Net（編集）工業調査 2004 年

『地球持続の技術』小宮山宏著 岩波書店 1999 年

〔参考書〕

特にありませんが、適宜紹介します。

自然科学研究会 II

「ヒトと社会環境との共存を考える」

2 単位 秋学期

〔法政〕

秋山 豊子

〔授業科目の内容〕

少人数のメリットを生かしたセミナー形式を主にし、学生自身によってテーマ・問題点を提案し、授業日程や進行方法を決定し、発表・討議など進行も行います。自分で学習して積極的・主体的に学びたいという学生諸君に履修を勧めます。

私たちの社会環境には、バイオテクノロジーのもたらす恩恵と問題点、エイズなど感染症の防御とその人権問題、脳死や臓器移植、クローン作出や iPS 細胞や ES 細胞などと再生医療、尊厳死の問題など、科学技術の開発と発展の結果、さまざまな問題が生じています。秋学期の研究会 II では、このような自然科学的背景を持つ、ヒトと社会環境での問題を中心に取り上げます。テーマの選択や取り上げ方なども学生が主体的に考えてゆきます。自分自身が具体的に現代社会の中での自然科学の問題を考える第一歩となれば良いと考えています。今年は、校外活動、資料収集、観察、臨海実習などキャンパス外での活動も考えています。

〔教科書〕

特に指定はしません。

〔参考書〕

『生きているってどういうこと』種田保穂・秋山豊子著 培風館 2006 年刊行

自然科学研究会 II

「植物と環境」

2 単位 秋学期

〔法政〕

金谷 信宏

〔授業科目の内容〕

動物と植物の大きな違いは、動物は動けるけど植物は動けないことです。環境が悪くなったら動物はその場所から逃げるができますが、植物は動けないので体内の環境を変えることにより、その環境悪化に対応しようとします。また、植物は光合成により大気中の炭酸ガスを有機物に変えます。これにより植物は地球温暖化を引き起こす炭酸ガスを減らすだけでなく、他の生物に有機物（食糧）を供給しているのです。このことから植物は環境中で重要な役割を担っているといえます。この研究会では、このような植物と環境の関わりについて、各自がテーマを見つけ、自分で調べて他の履修者の前で発表します。その発表に対して全員で討論することにより、環境中で植物がいかに重要であることを理解できるものと期待されます。

自然科学研究会 II

「環境問題について」

2 単位 秋学期

〔法政〕

小林 宏充

〔授業科目の内容〕

21 世紀は、ますますエネルギー問題や環境問題が議論される時代になって行きます。地球温暖化を抑制するためには、二酸化炭素の排出量を減らす必要があります。そのためには火力発電を減らして、原子力発電主導にする必要がありますが、それでよいのでしょうか？今後、原子力発電を増やすのは住民の同意を得ることは難しく、他の代替エネルギーに頼る必要がでてきます。では、太陽電池はどうでしょうか？それだけで、今のエネルギーを賄うことができるでしょうか？また、循環型社会をめざしていますが、リサイクルは経済的にみあうものなのでしょうか？では、どのようにすればそれが達成されるのでしょうか？エネルギーや環境の問題には、法律の話が必ず関係してきますし、政治的な判断で決まる問題も多いのが現状です。地球規模の問題では、国際関係などの知識も必要となります。本研究会では、自然科学の目からそれらを総合的に判断することを目指します。

自然科学研究会 II では、環境問題について考えることにします。教科書を読みこなし、環境問題に関する自然科学的知識・考え方を身につけるように配慮します。

〔教科書〕

『手にとるように環境問題がわかる本』三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング 環境・エネルギー部 かんき出版 2007 年

『地球環境論入門（ライブラリ・環境を考える (1)）』松信八十男著 サイエンス社 1999 年

〔参考書〕

特にありませんが、適宜紹介します。

自然科学研究会 II

「自然科学で考える」

〔法政〕

2 単位 秋学期

志村 正

〔授業科目の内容〕

情報があふれ、それに振り回されている感のある現代社会。その中に身をおいているとどんなことでも理解できているかのような錯覚に陥ります。分かっているようで実は何も分かっていない。例えば、環境破壊が一向に収束する気配がないのも、その仕組みが周知されていないからなのです。それこそが最大の環境問題なのではないでしょうか。

この授業は、履修者ひとりひとりがテーマを持ち寄って研究発表し、全員で議論して、知識を深めることを目的としています。併せて、自然科学的な考察を行うことにより、その発想と思考を身につけていただきます。

人文科学特論 I

「両大戦間のフランス社会」

〔法政医〕

2 単位 春学期

アンリ、ナタリー

〔授業科目の内容〕

第一次世界大戦と第二次世界大戦の間の時代に焦点をあて、多様な局面からフランス社会を論じます。第一次大戦直後のフランスは、戦後の状況が深刻であったにも関わらず、軍事的にも精神的にも戦勝国としての意識をもち、同盟国をはじめ諸外国からもフランスの「威信」は認められていました。こうしてフランスの文化は豊かな発展の時を迎えますが、1940 年、フランスはドイツの侵略を受け、今までになかった苦しい敗北を経験することになります。その 20 年間にフランス社会はどのように変化したのかについて考えます。春学期は、政治的・経済的な状況を中心に上げ、それをヨーロッパの背景に据えることで、両大戦間のフランス社会の状況を浮き彫りにします。同時に、およそ大正・昭和初期の時代にあたる当時の日本社会との比較もおこないます。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

初回の授業で紹介します。図書館、ネットの活用も薦めます。

人文科学特論 I

「モーツァルトのオペラとその演出」

〔法政医〕

2 単位 春学期

岩下 真好

〔授業科目の内容〕

モーツァルトのオペラ《魔笛》と《ドン・ジョヴァンニ》を取り上げ、それぞれ、どんな作品であるのかを概観したうえで、従来の演出による上演の映像、続いて最新の演出による上演の映像を鑑賞して、演出によって作品がどう変わってしまうかを詳細に吟味する。これをとおして、オペラが娯楽イベントであることを脱して《芸術》となりうるための可能性と条件を考えてみたいと思う。つまり最終的には《芸術》とはなにかを考えてみようということだ。《芸術》というものは本物になればなるほど、一般に考えられているよりも、はるかに危険で、人々を「家出」へと誘惑する。どこから、どこへの「家出」なのか？

授業では、さらに、モーツァルトの他のオペラや他の作曲家のオペラを取り上げることもあるし、授業担当者の最新の研究と著

作および音楽批評家としての仕事のなかから、テーマに関連したホットな話題をいろいろと提供してゆくつもりだ。機会に恵まれれば、授業の一環として、実際のオペラ公演（学生券利用）やリハーサル見学に行くこともありうる。また、演出の意味することや演出家の意図を理解してもらうために、かなりいろいろな本を読んでもらうことになるだろう。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

必要に応じて、その都度指示する。授業担当者のオペラとその演出についての基本的見解をあらかじめ大筋で知りたい人は次の雑誌掲載論文を参照してほしい：『戦争と現代のオペラ演出』岩下真好著 季刊『前夜』2005 年秋号、『250 年目のモーツァルト体験』同 『グランド・オペラ』36 号 2006 年、『ザルツブルク音楽祭』同 『グランド・オペラ』第 41 号 2008 年。モーツァルトのオペラを概観するには、『グランド・オペラ』第 32 号（2004 年）が、モーツァルトのオペラ全体を豊富な写真を含めて取り扱った入門的かつマニアックな大特集なので便利だ。

人文科学特論 I

「日本の開国と世界 ―「近代」の黎明―」

2 単位 春学期

〔法政医〕

太田 昭子

〔授業科目の内容〕

春学期は、幕末維新期の日本の対外関係史を、主として日本人の対外論、開国日本を訪れた外国人の記録などを読み解きながら考察します。国家レベルの外交関係の背景にある、社会的・文化的な交流史の視点を重視し、異文化接触のあり方を、できるだけ原典を読みながらたどります。対外論・対外意識の変容を探る素材として、いわゆる外交政策論だけでなく、瓦版や錦絵、美術・工芸、博覧会、ファッションなどにも着目し、幅広くこの時代を検証したいと考えています。文庫版などで比較的簡単に入手できる文献を読み、当時の人々の視点や視座の特徴を探りたいと思います。時間に余裕があれば、横浜開港資料館や日本新聞博物館の見学なども行ないたいと考えています。

〔教科書〕

特にありませんが、『開国』田中彰編 『日本近代思想大系』第 1 巻 岩波書店 1991 年は役に立つと思います。

〔参考書〕

文献表を、ガイダンス・ウィーク翌週の初回授業に配布します。

人文科学特論 I

「妖しい日本文学」

2 単位 春学期

〔法政医〕

許 光俊

〔授業科目の内容〕

江戸川乱歩、谷崎潤一郎、泉鏡花、三島由紀夫、夢野久作など、日本の作家が書いた妖しい作品を読む。とろとろねばねばした、エロティックで、暴力的で、自由で、危険な作品である。20 人程度の少人数で、じくじく楽しみ、議論する。18 歳未満禁止。良家の子女は親に黙って来ること。

〔教科書〕

『世界最高の日本文学』許光俊著 光文社新書

人文科学特論Ⅰ

「外から見た日本語」

2 単位 春学期

〔法政医〕

小屋 逸樹

〔授業科目の内容〕

英語に関しては知識があるものの、日本語についてはあまり説明できないという学生が多いのではないだろうか。「日本語はどんな言語か」という質問にどう答えるか。英語の be 動詞に相当する日本語の動詞は何なのか。この授業では、ほとんどの学生の母語である日本語を題材に、音声、文字、文法から若者ことばや言語使用といった点を英語や他の言語と比較しながら、その特徴を明らかにして行きたい。授業では、一人一人が与えられたテーマに関して発表し、学生の個人的意見も積極的に取り上げながら全員で議論をしていくという形態をとる。演習形式の授業なので、受講希望者が多い場合は選抜する。受講希望者は必ず初回の授業（オリエンテーション）に出席すること。

〔教科書〕

『英語の論理・日本語の論理』安藤貞雄著 大修館書店

人文科学特論Ⅰ

「ことばの認知科学への招待（基礎編）」

2 単位 春学期

〔法政医〕

辻 幸夫

〔授業科目の内容〕

人間の心とことばに関する諸問題について認知科学的観点から広く考察します。具体的には、言語学、心理学、人類学、哲学、脳神経科学、行動科学、生物学、社会科学、情報工学などの関連分野の研究の中から履修者の興味に応じて、特に人間が営む意味の生成と復元に関する認知プロセスについて考察します。

〔教科書〕

『心とことばの脳科学』山鳥重・辻幸夫著 大修館書店

2006 年

〔参考書〕

『ことばの認知科学事典』辻幸夫編 大修館書店 2001 年

『認知言語学キーワード事典』辻幸夫編 研究社 2002 年

『認知言語学への招待』辻幸夫編 大修館書店 2003 年

『認知言語学のための 14 章』辻幸夫他訳 紀伊國屋書店

2008 年

『ことばをつくる：言語習得の認知言語学のアプローチ』辻幸夫他訳 慶應義塾大学出版会 2008 年

『比喩と認知：心とことばの認知科学』辻幸夫他監訳 研究社 2008 年

『社会的認知ハンドブック』山本眞理子他編 北大路書房 2001 年

人文科学特論Ⅰ

「シェークスピアを演じる」

2 単位 春学期

〔法政医〕

レイサイド・ジェイムス M

〔授業科目の内容〕

シェークスピアの戯曲の一つを中心に、実際に演じる事を通して、シェークスピアの作品に親しんで貰う。受講者の皆さんは毎回積極的に参加する必要があるため、人数は 20 人に限られる。

演じるためのテキストは原文の英語になるが、参考のため日本語を個人で用意する事を薦める。

〔教科書〕

『Twelfth Night』William Shakespeare 著

〔参考書〕

『十二夜』シェイクスピア全集〔22〕白水 U ブックスなど。

人文科学特論Ⅱ

「両大戦間のフランス社会」

2 単位 秋学期

〔法政医〕

アンリ、ナタリー

〔授業科目の内容〕

第一次世界大戦と第二次世界大戦の間の時代に焦点をあて、多様な局面からフランス社会を論じます。秋学期は、社会的・文化的な状況を中心に論じます。フランス文化が豊かに発展した両大戦間の 20 年は、文学・芸術の領域で新たな運動があいつぎ、世界中から芸術家がパリに集まった時代です。その反面、フランス社会が急激に変化し、たとえば出生率の低下によって国民の年齢構成のバランスが崩れ、社会の活力が徐々に失われていきます。これらの現象をヨーロッパの背景に据えることで、両大戦間のフランス社会の状況を浮き彫りにします。同時に、およそ大正・昭和初期の時代にあたる当時の日本社会との比較もおこないます。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

初回授業で紹介します。図書館、ネットの活用も薦めます。

人文科学特論Ⅱ

「モーツァルトのオペラとその演出」

2 単位 秋学期

〔法政医〕

岩下 真好

〔授業科目の内容〕

モーツァルトのオペラ《魔笛》と《ドン・ジョヴァンニ》を取り上げ、それぞれ、どんな作品であるのかを概観したうえで、従来の演出による上演の映像、続いて最新の演出による上演の映像を鑑賞して、演出によって作品がどう変わってしまうかを詳細に吟味する。これをとおして、オペラが娯楽イベントであることを脱して《芸術》となりうるための可能性と条件を考えてみたいと思う。つまり最終的には《芸術》とはなにかを考えてみようということだ。《芸術》というものは本物になればなるほど、一般に考えられているよりも、はるかに危険で、人々を「家出」へと誘惑する。どこから、どこへの「家出」なのか？

授業では、さらに、モーツァルトの他のオペラや他の作曲家のオペラを取り上げることもあるし、授業担当者の最新の研究と著作および音楽批評家としての仕事のなかから、テーマに関連したホットな話題をいろいろと提供してゆくつもりだ。機会に恵まれれば、授業の一環として、実際のオペラ公演（学生券利用）やりハーサル見学に行くこともありうる。また、演出の意味することや演出家の意図を理解してもらうために、かなりいろいろな本を読んでもらうことになるだろう。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

必要に応じて、その都度指示する。授業担当者のオペラとその演出についての基本的見解をあらかじめ大筋で知りたい人は次の雑誌掲載論文を参照してほしい：『戦争と現代のオペラ演

出』岩下真好著 季刊『前夜』2005年秋号、『250年目のモーツァルト体験』同『グランド・オペラ』36号 2006年、『ザルツブルク音楽祭』同『グランド・オペラ』第41号 2008年。モーツァルトのオペラを概観するには、『グランド・オペラ』第32号（2004年）が、モーツァルトのオペラ全体を豊富な写真を含めて取り扱った入門的かつマニアックな大特集なので便利だ。

人文科学特論Ⅱ

「近代日本人の対外認識 / 自己認識
---明治中期以降の対外思想---」

2単位 秋学期

【法政医】

太田 昭子

〔授業科目の内容〕

秋学期は、明治中期以降の日本人の対外論、海外からのまなざしの双方に目配りしつつ、近代日本の対外観における連続性と非連続性、ナショナリズムのあり方を検討し、近代日本人の対外認識 / 自己認識などを分析したいと考えています。基本的なスタンスの取り方は春学期と同じです。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

文献表を、秋学期初回の授業で配布します。

人文科学特論Ⅱ

「妖しい日本映画」

2単位 秋学期

【法政医】

許 光俊

〔授業科目の内容〕

妖美な日本映画をじっくり鑑賞する。18歳未満禁止。良家の子女は親に黙ってくること。

人文科学特論Ⅱ

「外から見た日本語」

2単位 秋学期

【法政医】

小屋 逸樹

〔授業科目の内容〕

英語に関しては知識があるものの、日本語についてはあまり説明できないという学生が多いのではないだろうか。「日本語はどんな言語か」という質問にどう答えるか。英語の be 動詞に相当する日本語の動詞は何なのか。この授業では、ほとんどの学生の母語である日本語を題材に、音声、文字、文法から若者ことばや言語使用といった点を英語や他の言語と比較しながら、その特徴を明らかにして行きたい。授業では、一人一人が与えられたテーマに関して発表し、学生の個人的意見も積極的に取り上げながら全員で議論をしていくという形態をとる。演習形式の授業なので、受講希望者が多い場合は選抜する。受講希望者は必ず初回の授業（オリエンテーション）に出席すること。

〔教科書〕

『英語の論理・日本語の論理』安藤貞雄著 大修館書店

人文科学特論Ⅱ

「ことばの認知科学の展開」

2単位 秋学期

【法政医】

辻 幸夫

〔授業科目の内容〕

同じ担当者の人文科学特論Ⅰ（春学期）で勉強したことを土台に、さらに人間の心とことばに関する諸問題について考察を深めます。

〔教科書〕

前期の人文科学特論Ⅰの最終日および後期本特論Ⅱの最初の授業時に詳細をお知らせします。

〔参考書〕

前期の人文特論Ⅰ（春）に同じ。その後は授業中に随時お知らせします。

人文科学特論Ⅱ

「シェークスピアを演じる」

2単位 秋学期

【法政医】

レイサイド・ジェイムスM

〔授業科目の内容〕

シェークスピアの戯曲の一つを中心に、実際に演じる事を通して、シェークスピアの作品に親しんで貰う。受講者の皆さんは毎回積極的に参加する必要があるので、人数は20人に限られる。

演じるためのテキストは原文の英語になるが、参考のため日本語を個人で用意する事を薦める。

〔教科書〕

『Twelfth Night』 William Shakespeare 著

〔参考書〕

『十二夜』シェイクスピア全集〔22〕白水Uブックスなど。

【商学部設置の少人数セミナー形式科目】

総合教育セミナー履修案内

総合教育セミナーのすすめ

大学における教育は多くの場合、講義という形態をとります。先人から受け継いだ知識を正確に教師から学生に伝達することが大きな目標のひとつですが、これを達成する効率的な方法として講義は優れています。しかし、講義の弱点は、学生が積極的に考え始め、教師と議論をしたり、さらに学生同士が意見の交換をしたくなった時にはあまり小回りがきかないことです。また、積極的な議論を誘発する雰囲気にならなくなる傾向があることもあげられます。

この弱点を補うために、商学部では総合教育セミナーと呼ばれる授業形態を提供しています。教師と学生、あるいは学生同士との交流が授業時間内に活発に行われるようにとの配慮で、少人数のクラスとなっています。商学部の学生の資質として、自分の考えを論理的にまとめることができ、その考えを的確な日本語あるいは外国語のことで文章で表現でき、さらに他人のことで文章の意味を正確に理解でき、その上で有益な議論が展開できる能力が求められています。この能力を養うことが総合教育セミナーの主な目的なのです。

総合教育セミナーとして開講されるトピックスには様々なものがあります。積極的に参加してください。君達の興味に最も合うものを選べばよいと思います。総合教育セミナーに参加し、教師や学友と親しく接することにより、大人として生きるかぎり陰に陽に問われる君たちの人生観や価値観を形成するきっかけも得られるかもしれません。

総合教育セミナーの履修上の注意

この科目は、選択必修科目ではありません。
また仮登録が必要な科目でもありません。(エントリーシート提出不要)

以下の講義要綱は、「外国語科目・総合教育セミナー履修案内(2009年度)」に記載されている内容と同一です。

少人数のゼミという形態の授業ですので、担当者によって、履修人数の制限がされることがあります。

履修希望者は、必ずオリエンテーション期間中にある初回の授業に出席してください。出席できない場合は、履修できないこともあります。

総合教育セミナーD (I類)

「昆虫の世界」 4単位 通年
[商] 上村 佳孝

〔授業科目の内容〕

昆虫とはどのような生物か？その繁栄と多様性の秘密は？昆虫はどのように世界を見ているか？このセミナーでは、身近で多様な隣人(名前がつけられている種類だけでも世界で約100万種)である昆虫の研究現場を体験します。野外での採集・観

察、標本作成、飼育、室内での行動観察実験を通して理解を深めます。観察結果(データ)の処理方法や一般的な調査計画の立案についても学びます。年に数回、個人またはグループでの実験・観察の成果を発表してもらいます。このような過程を通して、科学者の「ものの見方」を知り、問題発見・問題解決・プレゼンテーション・討論の能力を磨くことをセミナーの目的とします。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業の中で紹介します。

総合教育セミナーD (I類)

「数学で考える経済学」 4単位 通年
[商] 小宮 英敏

〔授業科目の内容〕

経済学は社会科学の中でもっとも早くから数学化が進んだ学問です。学生のころには数学を専攻していて後に経済学の大家となった経済学者は多数います。高校時代数学が得意だった人に向けてこの総合教育セミナーは設置してあります。高校までの数学とこの授業と並行して学ぶ微積分I、微積分II、線形代数を基礎にしながら学習を進めていきます。

学習の形態は一冊の教科書を使いそれを熟読することを主にします。学生各自が予習を丹念に行いセミナー参加者の前で自分の理解を解説しそれを契機に参加者全員で議論を行い理解を深めるという過程を繰り返します。したがって、予習をすることが不可欠ですのでセミナーの授業時間しかこの授業に時間を割けない人には受講は無理です。

〔教科書〕

『数学で考える経済学』第一版 須田伸一・小宮英敏著
丸善 2008年

〔参考書〕

ゲーム理論における数理(配布します)

総合教育セミナーD (I類)

「生命科学と社会の接点を考える」 4単位 通年
[商] 長谷川 由利子

〔授業科目の内容〕

遺伝子診断、遺伝子組み換え農産物、臓器移植、エイズ、狂牛病、生殖医療、新型インフルエンザなどの例をあげるまでもなく、数多くの生命科学に関連する話題が、現代社会に対して倫理的・社会的・経済的な問題を投げかけています。このセミナーの目標の一つは、このような話題を取り上げて、どのような問題が生じているのかを調査し、解決策を模索することです。もう一つの目標は、資料収集の仕方、発表や討論の仕方、レポートのまとめ方などを身につけることです。

〔教科書〕

特定の教科書は使用しません。

〔参考書〕

新聞・雑誌・学術書・インターネットなどから最新の資料を収集することもセミナーの大事な一部なので、調査に必要な資料は自分で探すことを原則としますが、相談には応じます。また、こちらから紹介する場合もあります。

総合教育セミナーD (I 類)

「バイオテクノロジー・バイオビジネスを探る」 4 単位 通年
[商] 福澤 利彦

〔授業科目の内容〕

今やバイオの時代である。バイオテクノロジーは飛躍的に発展し、それに伴ってさまざまなバイオビジネスが出現している。このセミナーでは、バイオ関連の話題の中から、各自興味のあるテーマを決めて文献調査・考察を行い、その結果をパワーポイントによって発表してもらう。さらに、質疑応答・ディスカッションを通して、議論を深める。各自プレゼンテーションした内容は、レポートにもまとめてもらう。このセミナーの目的は、問題発見・解決能力や、社会に出てから必要とされる情報発信・コミュニケーション能力を鍛錬することである。バイオテクノロジーとバイオビジネスの現場を知ってもらうために、バイオ企業の研究所見学も予定している。

〔教科書〕

特に指定しない。必要に応じて資料プリントを配布する。

〔参考書〕

授業時に紹介する。

総合教育セミナーD (I 類)

「生活の中の確率」 4 単位 通年
[商] 安田 公美

〔授業科目の内容〕

私たちの社会活動や自然現象の中に現れる確率的現象にはどのようなものがあるでしょうか。ゲーム、くじやギャンブル、株価の変動や品質管理、或いは天候、遺伝学など、身近に起こり得る問題を題材にしながら、その中の数学的法則を見つけてみましょう。前半ではパズルのような問題を扱いながら、少しずつ複雑な問題にもチャレンジできるよう進んでいきます。後半には確率・統計に関連した自由課題について調査・研究をします。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

必要に応じて紹介する。

総合教育セミナーD (I 類)

「初めての数論」 4 単位 通年
[商] 渡部 睦夫

〔授業科目の内容〕

数論は、数の性質を究めようということから始まった数学の一分野です。数の宇宙は、神秘的で美しい世界です。学問としての数論は、古代のギリシャ時代まで遡ります。本セミナーでは、ギリシャから現代までの初歩的な数論のトピックスを取り上げながら、数論の簡潔さ、美しさが、いかに数学者たちを魅了し続けているかを、シルヴァーマンの著書『初めての数論』を輪読しながら、実体験することを目的とします。

〔教科書〕

『はじめての数論』シルヴァーマン著 ピアソン・エデュケーション

総合教育セミナーD (II 類)

「イギリス文化研究」 4 単位 通年
[商] 浅川 順子

〔授業科目の内容〕

イギリス文化について理解を深めること、研究・発表の方法を身につけることがこの授業のねらいです。演劇、音楽、美術、文学、スポーツなど各分野において世界に発信されるイギリス文化の魅力を探り、それを生み出した社会や歴史について考察します。最近では、『ハリー・ポッター』が話題になりましたが、その作品世界がもつ魅力の背景にはイギリス・ヨーロッパ文化の長い歴史があります。魔術、錬金術、占星術、占いはアラブ世界から中世ヨーロッパにもたらされた「学問」です。キリスト教ラテン文化は異文化をどのように受け入れたのでしょうか。作品の舞台となっている学校はパブリックスクールをモデルにしていると言われますが、イギリスの学校制度は今どうなっているのでしょうか。イギリスはまたサッカー、ラグビーの発祥地としてスポーツが盛んなことで知られています。それらはどのように始まり、発展してきたのでしょうか。これらは一例ですが、授業ではイギリス文化を概観し、履修者各自の興味関心に応じた問題設定の可能性を探ることから出発します。その後、テーマを絞って小論文にまとめていきます。授業は履修者による発表・討論の形式で行います。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業時に紹介します。

総合教育セミナーD (II 類)

「アメリカ合衆国の歴史と文化」 4 単位 通年
[商] 朝比奈 緑

〔授業科目の内容〕

アメリカの歴史と文化を知る上で、重要な文献を対訳のかたちで読む。

文献検索の方法、効果的な口頭発表の仕方、レポートの書き方など、基本的な学問のルールを学ぶ。

〔教科書〕

プリントによる。

〔参考書〕

『史料で読むアメリカ文化史』東京大学出版会 2005 年
その他、授業時に文献リストを配布する。

総合教育セミナーD (II 類)

「隠されたメッセージ・イメージの層」 4 単位 通年
[商] 足立 典子

〔授業科目の内容〕

映画・音楽・ゲームなどさまざまな表現、またプロモーションや広告などに使われるイメージ戦略の力について考えます。

人々を強く惹きつける作品は、かならず見た目以上の複雑さを備えています。意識的に捉えられるものとは別の要素、時には相矛盾するイメージやメッセージを含んでいるからこそ、強い力を放つのです。

自由、スピード、健康、かわいさ、あるいは暴力や不気味さ。私たちの日常を取り囲んでいるイメージの「魅力」はどのよ

うに作られているのか。参加者全員による発表と議論を中心に分析を試みます。

総合教育セミナー D (II 類)

「人の移動の歴史」

4 単位 通年

〔商〕

新井 和広

〔授業科目の内容〕

歴史上、人はさまざまな形で移動を繰り返してきました。移動の理由も、経済的なものから迫害、宗教的義務の遂行、知識を求める、旅行、探検など様々です。そして人の移動は時には大きな社会的変動を引き起こしてきました。現在の社会がこのような形で存在するのも、人の移動の結果と言えるかもしれません。人はなぜもといった場所から移動するのか、その結果社会にどのような変化が起こるのかを様々な事例に基づいて考えてみたいと思います。「歴史」と書いてありますが、必ずしも過去の事例のみを対象とするわけではありません。また担当教員は中東・イスラームの専門家ですが、事例に関しては地域や時代を限定しません。受講生は人の移動に関するテーマ（主に移民や旅）を選定し、それに沿った資料収集、発表、議論を行い、最終的にはレポートを提出します。その過程で大学での勉強に必要なスキルを身につけていきます。

〔教科書〕

使用しません

〔参考書〕

『アカデミック・スキルズ—大学生のための知的技法入門』佐藤望ほか編著 東京：慶應義塾大学出版会 2006 年

総合教育セミナー D (II 類)

「日本の文化を考える」

4 単位 通年

〔商〕

石光 輝子

〔授業科目の内容〕

留学や仕事で海外へ出た日本人の多くが口をそろえて言うのは、日本について、また日本の文化について何も知らなくて恥ずかしい思いをした、ということです。グローバリゼーションのかけ声の盛んなこんにち、とすると目は海外にばかり向けられがちですが、異文化圏の人間と内容のあるコミュニケーションをとるためには、まず自文化に対する十分な知識と洞察が必要不可欠です。海外へ出る前に、日本の文化についての自分の理解・考察を整理し、深めておきましょう。

この授業では日本の文化の諸現象を文化学の立場から検討・分析します。「文化学」というのは文字通り文化を扱う学問ですが、人文科学において旧来の分野分け（たとえば哲学、歴史、文学など）に対抗する新しいパースペクティブの提示を試み、伝統的メソッドでは拾いきれない文化現象や文化行動を分析する新しいメソッドを探る、文化横断的な知のありかたです。文化学は非常に間口が広く、文化人類学からジェンダー論、メディア論なども含み、その対象は文化に属するものなら何でも成りうるわけですが、今年度はその対象に（たいていの受講生にとっては自文化であるところの）日本の文化の諸現象を選び、自文化であるからこそ認識しがたいところのある日本の文化について、じっくりと考えてゆきます。

同時に、文献の調べ方、論文の書き方、口頭発表の仕方など、大学での勉強で知っておかなければならない基礎的スキルを学ぶこともセミナーの目標です。

〔教科書〕

プリントを使用

〔参考書〕

授業内でそのつど指示

総合教育セミナー D (II 類)

「国際関係論・入門」

4 単位 通年

〔商〕

宇津木 愛子

〔授業科目の内容〕

(HP がありますので、ご参照ください：http://seminar.hc.keio.ac.jp/utsugizemi/検索が困難な場合は、直接アドレスバーに打ち込んでください。)

グローバル化が進む中、健全な国際関係の原点に立ち返って考えてみる必要があるのではないのでしょうか。本ゼミはグローバル・リテラシーを習得することを目指しと致します。個々のプレゼンテーションの後に、共通項を模索しグループを結成してグループ発表をしていただくことが本ゼミの特徴のひとつです。これまでの例を挙げますと「人権・NGO」「紛争・NGO」「文化・宗教」「貧困・格差」「エコ・デザイン」「環境とビジネス」などの研究グループに分かれて発表していただきました。学年の壁を超えて学生の皆さんが連帯感をもつことを重要視いたし、皆で作っていくゼミです。

〔教科書〕

特に教科書は指定いたしません。

〔参考書〕

『地球市民への入門講座』宇田川晴義監修 三修社 2001 年

『グローバル時代のシティズンシップ』G.デランティ著 日本経済評論社 2004 年

『グローバル化の行方』山脇直司他著 新世社 2004 年

『グローバル公共哲学』山脇直司著 東京大学出版 2008 年

総合教育セミナー D (II 類)

「詩を読む」

4 単位 通年

〔商〕

大畑 純一

〔授業科目の内容〕

文学といえどもつばら小説という現在、詩を読む機会は確実に減っていると思われます。この授業では、広く古今東西の詩を精読してみたいと思います。ただただ詩を読んで美しい、綺麗だというだけでは面白くありません。詩的言語は日常言語とどう違うのか、とか小説も含めた文学一般の問題を考える際に、文学のエッセンスかもしれない詩を探ることで、少しでも本質に近づくことができるのではないかとといった方向にもアプローチできればというのが狙いです。

〔教科書〕

適宜指示します。

〔参考書〕

『アメリカ名詩選』『ドイツ名詩選』（岩波文庫）他

総合教育セミナー D (II 類)

「ハリウッドのシェイクスピア：戯曲と映像表現」

4 単位 通年

〔商〕

大矢 玲子

〔授業科目の内容〕

「ハリウッド最高の売れっ子シナリオライターはシェイクスピアだ」という説があります。確かに 400 年近く前にイギリスの田舎で生涯を終えたこの劇作家の作品は、サイレント時代にすでに 600 回以上映画化され、その後も、世界の著名な映画監督や人気俳優によってシェイクスピアの映像化されてきたことは、黒澤明の『乱』・『蜘蛛巣城』、アカデミー賞受賞の『恋に落ちたシェイクスピア』、ディカプリオ主演の『ロミオ&ジュリエット』などにも明らかです。この授業では、ハリウッド映画を中心に、映像化されたシェイクスピア作品をとりあげ、原作との比較や、映画がつくられた時代背景の分析などをとおして、劇の不変の生命力と、無限ともいえる変化の可能性をさぐることを目的とします。シェイクスピアを手がかりに、受講者たちが総合芸術である映画の魅力にふれる機会となることをねがっています。またアメリカ型資本主義社会のなかの芸術のありかたを考える、よい手がかりにもなるでしょう。

〔教科書〕

シェイクスピアの作品（特にエディションは指定しません。原典を読むことは求めません。入手しやすいのは、白水Uブックスから出版されている、小田島雄志訳のシェイクスピア全集など。）

〔参考書〕

『シェイクスピア映画論』ラッセル・ジャクソン編；井上優 他訳
東京：開文社出版 2004 年

総合教育セミナー D (II 類)

「社会科学の古典を読む」

4 単位 通年

〔商〕

小野 修三

〔授業科目の内容〕

まずエーリッヒ・フロム『自由からの逃走』、マックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』、トーマス・クーン『科学革命の構造』の 3 冊を最初に皆で読みたいと思う。その上でさらに時間があればジグムント・フロイト『精神分析入門』、カール・ポパー『科学的発見の論理』、ユルゲン・ハーバーマス『公共性の構造転換』なども読みたいと思う。毎回予め報告者を決めて進める。

総合教育セミナー D (II 類)

「日本に於ける中国文化」

4 単位 通年

〔商〕

許 曼麗

〔授業科目の内容〕

このセミナーは、日本に於ける中国の文化に関する書物を読む。分担を決め、毎回担当者がレジメを作成し、発表する。それをもとに質問・ディスカッションを行い、教員が補足する。

分担発表を通して、興味のあるテーマを見出し、それについて、複数の資料を使い、その起源、伝来、変遷、現状、中国との異同等を調査し、その結果をレポートにして提出する。

この授業を通して、自らの考えでテーマを決め、学問的な方法で調査し、結論をしかるべき形式の論文にまとめる能力を身につけてもらいたい。そして、中国が身近な存在であることを改めて実感してもらいたい。

〔教科書〕

ガイダンスに指示する。

〔参考書〕

必要に応じて紹介する。

総合教育セミナー D (II 類)

「食されるモノは、食する者のすべてを語る」、4 単位 通年
フランス食文化論

〔商〕

コミネッティ、フィリップ

〔授業科目の内容〕

フランスと言えば即「フランス料理」を連想する人が多いでしょう。しかし、よくイメージされるような結婚式の披露宴で出てくるフルコースの料理や、日本で知られている料理の数々（フォア・グラ、キッシュ、ラタトゥイユ、カッスレなど）がそのすべてというわけではありません。それらに加えて、例えば長い歴史の過程で起こった食生活の変貌、地方独自の様々な家庭料理、食事の形式などは、実際に渡仏して経験してみない限りなかなか実感できないものと言えます。

そうした「フランス食文化」を可能な限り具体的に紹介しながら、それに関わる様々なテーマを手がかりとして一年間、知的発見を可能にする方法論、意見交換に欠かせない発言技術を身につけてもらうようにします。食文化自体から少しずつ文学、映画、絵画、思想、哲学にまで考察の対象を拡大できるような思考の訓練に挑みます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

必要に応じて文献紹介を行います。

総合教育セミナー D (II 類)

「翻訳を考える」

4 単位 通年

〔商〕

櫻庭 ゆみ子

〔授業科目の内容〕

主に文化領域での日本語への翻訳と日本語からの翻訳について通時的、共時的に考えてゆくセミナーです。

春学期は、柳父章『翻訳とは何か』等のテキストに沿って翻訳の問題を考えていきます。

教師の側から紹介を行うと同時に、毎回担当者を決めて、テキストの内容紹介、まとめ、自分の意見などを順次発表してもらいます。

秋学期は、春学期で学んだ知識、議論をもとにこちらで用意したテーマ、方向とすり合わせながらそれぞれ取り上げるテーマを決めてもらいます。例えば、好きな作品の違った訳の読み、翻訳家の紹介、日本の翻訳語の問題、外来語の変遷等等。それを学年末のレポートに向けてまとめていく作業を行います。テーマの妥当性、視点、方向性、資料などについて、意見交換をしながら、論点を絞ってゆく作業です。

このセミナーの目的は、具体的な言葉の問題を考えながら、意見の述べ方、資料の集め方、取り扱い方、まとめ方の方法を学ぶことです。

〔参考書〕

『翻訳とはなにかー日本語と翻訳文化』柳父章著 法政大学出版局

その他セミナーで指示します。

総合教育セミナーD (II 類)

「二つの言語と思考 /

4 単位 通年

Two Languages and Thought]

【商】

佐々木 美帆

〔授業科目の内容〕

人・もの・情報の国際化が進むなか、日常的に二つ以上の言語を使う人々や、第二・第三の言語を使う環境は珍しいことではなくなっている。本セミナーでは、このように多少でも二つの言語を「使う」人をバイリンガルと呼び、母語ではないもう一つの言語システムによって思考・認知・世界の見方がどう変化するのかに焦点を当てていく。言語が思考に影響するのか、二つの言語はどのような係わり合いを持つのか？二つ以上の言語を知っている人は一つの言語だけを知っている人とどう違うのか？日本語と英語を中心に、子どもの言語習得、方言、国際メディアで使われることばなど、学生自身の経験もふまえて、バイリンガルおよび第二言語・外国語話者の思考・認知・世界の見方について考える。またプロジェクトとして自分の興味のある視点から簡単な言語調査を行い、発表およびディスカッションを経て、小論文にまとめる力を身につける。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料を配布します。

〔参考書〕

授業中に指示します。

総合教育セミナーD (II 類)

「Seminar in English Presentation」

4 単位 通年

【商】

シェイ, デイビッド

〔授業科目の内容〕

This course will give students practice making presentations in English in order to learn academic and professional ways of speaking in public. The theme will be *Business & Society*, and class will be based on issues related to this topic. The course will be conducted as an *interactive seminar*, with a lot of chances to make presentations and participate in discussion every week. Students will research topics, summarize issues, express opinions, and think on their feet. All students will do a mini-presentation every class, and 2-3 major presentations each semester. The goal of the class is to (1) increase your knowledge about issues related to business and society, and (2) improve your ability to express ideas and opinions in natural, professional English.

〔教科書〕

Readings will be (1) provided by the instructor and (2) collected by students from the internet. You do not have to buy a textbook, but you *do* need an email account.

〔参考書〕

We will sometimes use Power Point to make presentations. No experience is necessary, but you should be able to use a computer. An email account is needed, too.

総合教育セミナーD (II 類)

「『ほんとうは〈住まなきやわからない〉けれど、あえて机上でドイツ語圏の文化に触れてみる』

演習」

【商】

識名 章喜

〔授業科目の内容〕

〈ドイツ〉というと、「ビール」、「ソーセージ」、「サッカー」が、たいていの日本人が思い描くステレオ・タイプではないだろうか。まあ、実際そうだから仕方ない。日本人のドイツ語圏に対する関心が薄れる一方、ドイツ人にとっても日本は遠く離れた、極端に風習文化の違うアジアのなかの一島国にすぎなくなっている。ドイツの町で見かける日本人はたいてい中高年以上の観光客で、ドイツの大学で学ぶ若いアジア人は8割がた中国人である。で、彼らは、外国を理想化したがる日本人ほどにドイツ語圏文化に興味があるようには見えない。

日本とどこが違うかを知るには、まず〈住まなきやわからない〉のがドイツである。国際性やグローバル化とはちょっとちがうローカルさが残っている田舎者の国なのかもしれない。このセミナーでは、将来ドイツを旅行してみる予行演習もかねた文化研究の基礎を身につけることを目標とする。ドイツ語を履修しているにこしたことはないが、1年か2年の教養語学では、はっきりいってドイツ人とまともなコミュニケーションをとるのは無理である。だからドイツ語履修を前提とはしない。ドイツ語圏についてまったく知識がない諸君に多少のインプットと洗脳ができれば、と思っている。

〔教科書〕

『ドイツ人のこころ』高橋義人著 岩波新書 1993年

『戦後ドイツ—その知的歴史』三島憲一著 岩波新書 1991年

『住まなきやわからないドイツ』熊谷 徹著 新潮文庫 2001年

その他の文献は授業初回に文献リストを配布します。

総合教育セミナーD (II 類)

「入門フランス学」

4 単位 通年

【商】

鈴木 順二

〔授業科目の内容〕

フランスは、私たちの生活のなかで比較的身近に感じることのできる国の一つでしょう。フランス語を学んだり、映画や美術、あるいは料理やワインなどの食文化を通じてこの国に親しみを持っている人も多いと思います。

しかし改めて考えてみると、フランスの社会やフランス人について、私たちははたしてどれほどのことを知っているのでしょうか？例えば、フランス本土でも少なからぬフランス人が地域語と呼ばれるフランス語以外の少数言語を使って生活していることを。また、フランスの産業というと、観光、農業、流行のブランド品などを思い浮かべます。しかし先端科学技術を結集した航空・宇宙産業も盛んで、ミサイルや戦闘機も実は重要な輸出品なのです。

フランスに関する基本的知識を深め、フランスとフランス人の真の姿を探るのがこのセミナーの目的です。そのことはまた、日本と日本人自身について改めて考えるきっかけともなるでしょう。

〔教科書〕

『フランス』清水 徹・根本長兵衛ほか著 新潮社

〔参考書〕

授業で紹介します。

総合教育セミナー D (II 類)

「中国の古典小説」

4 単位 通年

〔商〕

高橋 幸吉

〔授業科目の内容〕

中国では明代～清代において、古典小説の集大成とも言うべき作品が次々と完成しました。明代の『三国志演義』『水滸伝』『西遊記』『金瓶梅』は四大奇書と呼ばれ、多くの読者を獲得しました。さらには現代の日本においても様々なかたちで受容され、小説・漫画・ゲーム・ドラマなど、これらを題材にしたものが数多く見受けられます。本セミナーではまず中国古典小説についての概略を学びます。その後、履修者がテーマを定めて調査し、発表し、最終レポートにまとめます。これらの作業を通して学問的に「調べ・読み・書き・話す」能力を身につけていきます。

〔教科書〕

授業で指示します。

〔参考書〕

授業で随時紹介します。

総合教育セミナー D (II 類)

「都市と表象」

4 単位 通年

〔商〕

田上 竜也

〔授業科目の内容〕

こんにち社会活動の多くの部分が、都市の機能に寄り添い、その影響下に営まれていることは疑いを容れません。この授業では、文学、ジャーナリズム（都市伝説も含む）、絵画、映画、音楽、建築、広告、ファッションなど、都市をめぐるさまざまな言説・表象を取りあげつつ、都市の機能がハード面とソフト面の関係においてどのように形成され、ひとびとの意識にどのようなイメージを投影してきたか検証します。さしあたり近代都市の原型たるパリや、東京・横浜の変遷を辿ることから始めますが、学生の皆さんの関心に応じて、それ以外の都市も広く対象にします。

〔教科書〕

授業で適宜指定。

〔その他〕

この授業はフランス語強化プログラムの認定単位となります。

総合教育セミナー D (II 類)

「中世～近代のスペインを読む」

4 単位 通年

〔商〕

瀧本 佳容子

〔授業科目の内容〕

スペイン語はラテン語から派生したことばです。スペイン語の現存する最古の記録は 10 世紀のもので、ラテン語聖書に記された書き込みです。11 世紀にはスペイン語による文学作品（詩）が現れ、興味深いことにその作り手は、イスラーム支配圏に住んでいたユダヤ教徒でした。以後、時の経過とともにスペイン語による文学作品の数は徐々に増え、13 世紀半ばからはラテン語に代わって公文書にも用いられるようになりました。15 世紀末からは海外領土でも用いられ、今日では 20 を超える国や地域で 3 億を超える人びとに使用されています。このようにスペイン語が成熟し広がるには、重要な歴史的事件が契機となったり、使い手たちのスペイン語に対する意識の変化が大いに作用したりしました。

中世後半から近代にかけてのスペインは、イスラーム教徒を放逐するための国土回復戦争に終止符を打つと同時に海外進出を果たし、「太陽が沈むことのない帝国」と称されるほどの広大な領土を手にするなど、劇的な変化を経験しました。これらの歴史的事件を可能にしたスペイン人たちのエネルギーや、事件が人々に与えた影響は、さまざまな文書の中に如実にあらわれています。ことばは常に変化し続けるものですが、特に使い手が明確な目的意識をもって言語に相対する時、強く永い生命力を持った新しい表現が生まれます。日本語においては、明治の文学者たちが、外国文学の影響のもと多大な努力を払って生み出した言文一致体が、その顕著な一例として挙げられます。スペイン語においても同様に、社会の変化が契機となって従来にない気概を持ち、新しい表現を目指した多くの文人たちが成した努力は、多くの豊かな実りを残しました。

このセミナーでは、上に述べたような、新しい言語表現の誕生はその歴史的背景と不可分であるという問題意識に基づき、中世から近代にかけてのスペイン語の文章を読み、それらが成立した背後にあった歴史事情を調べていきます。法律、文法書の序文、日記、年代記、小説などさまざまなジャンルのテキスト（すべて邦訳）を、時系列に従って取り上げます。授業の進み具体によりますが、近代小説の先駆的作品である M. デ・セルバンテスの『ドン・キホーテ』（前篇 1605 年、後篇 1615 年）までたどり着くことを目標とします。これと並行して、学生は、中世から近代にかけてのスペインあるいはスペイン領アメリカ（ポルトガルおよびブラジルも可）の歴史・文化・文学に関するテーマを見つけ、レポート（400 字×25 枚分）を書いて提出します。

〔教科書〕

授業でプリントを配布します。

〔参考書〕

授業中に指示します。

総合教育セミナー D (II 類)

「アメリカ研究入門」

4 単位 通年

〔商〕

竹内 美佳子

〔授業科目の内容〕

「建国 200 年余りを経た今も、人民の人民による人民のための政治は、地上から消え失せることはなかったのだ。」米国史上初のアフリカ系の大統領となるオバマ氏は、リンカーンの有名な一節を引いて勝利演説を行いました。この言葉に象徴されるアメリカの民主主義精神は、建国以来修正を重ねながら一貫して国のありようを律してきた、憲法と不可分の関係にあります。授業では、独立革命から現代に至るアメリカの歴史を、憲法や最高裁判決を軸に辿り、民主政治の意味を考察します。

〔教科書〕

『憲法で読むアメリカ史 上・下』阿川尚之著 PHP 新書 2004 年

〔参考書〕

『歴代アメリカ大統領総覧』高橋通浩著 中公新書ラクレ

総合教育セミナー D (II 類)

「外国との交流から見た日本」

4 単位 通年

〔商〕

種村 和史

〔授業科目の内容〕

日本は、古代から現代に至るまで多くの国々と関わりその文化を受容しながら、独自の文化を創り上げてきた。

本セミナーでは、そのありさまを様々の側面から探り、日本について広い視野から考える能力を養うことを目的とする。

〔教科書〕

随時指定します。

総合教育セミナー D (II 類)

「Seminar In Leadership and Change in Global Organizations」 4 単位 通年

〔商〕

トビン, ロバート

〔授業科目の内容〕

This course examines current issues in global business leadership & organizational change. The focus will be on understanding and developing your own skills as a leader and providing opportunities for working and leading small groups in the class. The course will be conducted as a seminar with lecture-discussions, student group presentations, case studies, video segments, experiential class activities, and research assignments. The course will explore a wide range of related topics. See the website, www.tobinkeio.com for additional information. This course is conducted entirely in English.

〔教科書〕

Learning To Lead, Bennis and Goldsmith and additional texts and materials to be assigned

総合教育セミナー D (II 類)

「プラトンを読む」

4 単位 通年

〔商〕

成田 和信

〔授業科目の内容〕

このセミナーでは、プラトンの「国家」(岩波文庫)を丁寧に読みながら、正義、良い人生、良い政治、といった哲学的な問題を考えます。あわせて、抽象的な議論の論理的な展開をまとめ、その議論についての疑問や意見を述べる力を養うこともめざします。

プラトンの作品は対話で成り立っています。その対話は、さまざまな議論を形作っています。参加者には、それらの議論がどのようなものなのか、その骨子(アウトライン)を読み取ってそれを書いてきてもらい、それを比較検討し、そうすることで、それらの議論の内容がどのようなものであるかを考え、さらに、それらに対してどのような反論が可能かを検討してもらいます。

なお、このセミナーの履修を希望する者は、かならず第一回目の授業に出席してください。

〔教科書〕

『国家』プラトン著 岩波文庫

〔参考書〕

授業中に案内します。

総合教育セミナー D (II 類)

「イギリス研究：教養とはなにか？」

4 単位 通年

〔商〕

西川 正二

〔授業科目の内容〕

現代は学問の専門分野が細かく細分され、専門家自身が幅広い知識を得ることが、困難な時代になっています。専門知識

はそれぞれの学問には不可欠ですが、様々な知識は専門的な知識までつきつめなくても、自分自身との関わりで、自己向上のために十分その役割を果たすこともできます。自分の感覚、感情、直感、思考、を豊かにする知識を「教養」と位置づけ、具体的な例を考えながら、「教養」について、このセミナーで考えていきます。大学生の時期に自分を豊かにする「教養」の素地を作ることは後の人生をより多いものにするようになるでしょう。絵画、文学、宗教、思想、など自分との関わりで、[教養]のもつ力はどのようなものかを考えていきます。具体的にはケネス・クラークの『芸術と文明』を読みながら、「教養」について考えます。自発的な学習のための授業ですので、積極的に自ら調べ、問題を考察できるように努力することが求められます。他の人の発表に対し、質問し、ディスカッションをする力をつけることも重要です。自分の考えを積極的に述べ、他人との違いを理解し多面的な思考、理解力を得る訓練が大切です。自分の頭でものを考えられる人間になることを目指しましょう。履修するには必ず最初のガイダンスウィーク中の授業に出席すること。

〔参考書〕

『芸術と文明』ケネス・クラーク著 叢書・ユニベルシタス 河野徹翻訳 法政大学出版局

総合教育セミナー D (II 類)

「現代社会を考える」

4 単位 通年

〔商〕

西川 僚介

〔授業科目の内容〕

明治維新から第二次世界大戦を経て、現代日本社会の抱える政治経済、思想、心理等の諸問題について、日本の視点のみならず国際的な視座から考えてゆくセミナーとします。本セミナーにおいて受動的に知識を得るのではなく、主体的関心に基き積極的にテーマを選択し、思考と論理を深め発表することを目的とします。

〔教科書〕

『文明論之概略』福沢諭吉著

『人間の条件』ハンナ・アレント著

『Escape from Freedom』Erich Fromm

〔参考書〕

随時クラスにて紹介

総合教育セミナー D (II 類)

「比較文化論(詩と音楽)」

4 単位 通年

〔商〕

原 大地

〔授業科目の内容〕

「詩とはなにか」ということを、各領域にまたがる比較を通して考えます。

前期は、様々な文化圏において、「詩」がどのように観念され、実践されているか、その社会的・文化的背景とともに観察します。その際、まずはフランス近代に現れる詩の様相を、形式面を中心に紹介し、議論のきっかけにしたいと思います。それを参考にしつつ、日本語や英語、それからもっと別の言語でもいいのですが、それぞれの文化伝統における「詩」に関して、受講者の興味に応じて具体的に調査・発表してもらいます。

詩について、議論の前提を共有したところで、後期には比較の方向を変えて、詩と、その隣接領域である「音楽」を比較します。ここでも一つの枠組みとして、フランス近代の文学・音楽に

ついて紹介することから始めたいと思います。それから、受講者の興味に従ってテーマを選び、具体的な例を挙げて発表してもらいます。扱うテーマの時代、ジャンルは問いません。「歌詞」も詩の一種と考えるならば、皆さんが普段聴いている音楽でいいのです。ただし、それを調査し、「詩と音楽」という切り口で議論の俎上に載せ、人を説得するには、論理的な思考力や言語能力などが必要となります。そういった一通りの技術を磨くことが、このセミナーの目的のひとつです。

そしてさらに、そのような技術的目標から進んで、この授業が言語や芸術に関するみなさんの認識・知識を深め、感性を磨く機会になれば幸いです。詩は、おそらく諸芸術のうちで、また文学のうちでも、みなさんに最も馴染みの薄いものかもしれません。しかし、それは言語生活のごく身近に潜んでいるものです。それを一緒に発見してゆきましょう。

〔教科書〕

用いません。必要なものは授業中に配布します。

〔参考書〕

『フランス名詩選』安藤元雄他編集 岩波文庫

そのほか、授業中に指示します。

総合教育セミナーD (II 類)

「English Presentation Skills

4 単位 通年

(Intermediate Level)」

〔商〕

ハンリー、マシュー

〔授業科目の内容〕

The main aim of this course is to develop your presentation skills in English. With this aim in mind, I will show you some basic model presentations on suitable topics at first. These presentations will be followed by comprehension questions, discussion, and analysis. You will then be free to choose presentation topics that interest you, but I will have to approve them. I am particularly interested in interdisciplinary topics that connect the various subjects that you are studying at Hiyoshi with your own interests. Once you have chosen appropriate topics, you will have a chance to research them in the library and on the Internet. Your research, which I will supervise, will give you the vocabulary and expressions necessary to discuss your topics in English. It will also improve your ability to summarize and analyze written texts. Finally, you will have to present your results orally in PowerPoint presentations. Depending on the size of the seminar, your presentations may be given individually or in small groups.

Briefly, in addition to improving English presentation skills, this seminar should have the following outcomes:

Increased vocabulary and mastery of English expressions

Improved listening comprehension skills

An ability to summarize texts and arguments

Improved critical thinking skills

The ability to make connections in English among discreet academic subjects

A better knowledge of the Internet and PowerPoint

An additional benefit is that the skills you acquire should also be useful to you in Japanese (or whatever your own native language or second foreign language happens to be).

The seminar will be held in a classroom equipped with computers. Everyone will have Internet access, and much of our material will be Web based.

〔教科書〕

Internet-based materials, printed articles and books appropriate to your research topics, and occasionally part of a video-taped program. Model presentations from my files, Yale Global Online, the BBC, TED.com, and UC Berkeley Websites. There is no set textbook.

*Be sure to have Internet access via a Hiyoshi ITC account by the first day of class.

〔参考書〕

During the course of the semester, we will develop individual reading lists tailored to each student's research interest. Since we will be using a computer-equipped classroom, we will have access to most of the best dictionaries on the Internet.

総合教育セミナーD (II 類)

「ウィーンの旅」

4 単位 通年

〔商〕

フォークル、ヴァルター

〔授業科目の内容〕

ドイツのガイドブックのなかでおそらく一番有名で由緒あるものと思われるパーデカーを使って、ウィーンをできるだけ多くの観点から知るところを本授業の眼目とする。パーデカーの実用的な使用を通じて、学生はウィーンの歴史、地理、文化、そして政治に対する理解を得るだけでなく、さらに旅行に関連した語彙を学び、各自がウィーンへの「自分の旅」を計画し、また一般的に「旅」というテーマそのものや、旅の歴史、あるいはツーリズム（観光）についても考えをめぐらすことになる。

〔教科書〕

Baedeker Allianz Reiseführer Wien, Verlag MAIRDUMONT, Ostfildern, ISBN-13:978-3829710763

総合教育セミナーD (II 類)

「古代地中海における市場経済と政治社会体制」4 単位 通年

〔商〕

伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

歴史は高校までの教育で重要な位置を占めていますが、実際に皆さんが学んだ歴史は、歴史学の研究成果のごくごく一部分です。とくに近年の歴史学は、価値観や文化、日常生活などといった大きな事件からは見えにくいテーマや、広い地域や大陸、海などの国を超えたテーマを重視するようになっており、事件 =

年号や各国史を中心にした教育には、そのような成果はなかなか反映されないのが実情です。そこで、このセミナーでは、近年の歴史学のひろがりについて知ってもらい、みなさんの歴史の見方を広げていくことを目的にしています。授業形式は討議中心の参加型です。参加者は、授業であつかったテーマに関わる文献を探し、調査や読書をして、自分なりの意見を持ち、他の人と議論することを学びます。そして、自分の調査結果を文章や口頭発表の形でまとめることを身につけます。

【教科書】

参加者と相談して、いくつかの文献を読みます。

【参考書】

授業中に適宜触れます。

総合教育セミナーD (II 類)

「中国経済入門」

4 単位 通年

【商】

孟 若燕

【授業科目の内容】

この授業の目的は、中国経済についての基本知識を学ぶことです。一国の経済を理解するには、まず人口や地理、資源、民族、政治制度、社会構造などから入る必要があります。政治経済学の視点からすれば、これらの要素がいずれも経済成長に大きな影響を与えるわけです。

それから、1979 年末から始まった経済改革・対外開放政策とその実践について勉強します。計画経済から市場経済への転換、自力更生から対外開放への転換、それらに伴った成果と問題点。例えば、よく聞かれる国有企業改革はどのようなことなのか、私有企業は現在どのような位置づけなのか、日本・東南アジア諸国との経済関係はおおよそ貿易・生産構造はどうなっているのかなど、一つ一つ理解してもらいたいと思います。

【教科書】

『The State of China Atlas, mapping the world's fastest growing economy,』 Stephanie H. Donald and Robert Benewick, University of California Press, 2005.

【参考書】

履修者の関心分野に関連する参考書を授業中指示します。

総合教育セミナーD (II 類)

「ラテンアメリカから世界を見る」

4 単位 通年

【商】

安井 伸

【授業科目の内容】

よく現代は「グローバルに考え、ローカルに行動する」ことが求められる時代だと言われる。では「グローバルに考える」とはどういうことだろうか。それには少なくとも「先進国」からの視点だけではなく、「周縁」あるいは「南」から世界を見る視点をも身に付けることが不可欠だろう。

もし仮に地球上のすべての人々が先進国並みの生活様式を送れば、地球環境はとても持ちこたえられないと言われる。だとすれば一般に「途上国」と呼ばれる国々は、一体どの程度までなら発展することが許されているのだろうか？ そもそも「途上国」としての問題は本当に「発展の不足」にあるのだろうか？ それとも「発展の方向」そのものが問題なのだろうか？ それならば、代替的な発展は可能なのか？

本セミナーでは、常にこれらの問いかけを行いつつ、現代ラテンアメリカが抱える諸問題（民主化、人権侵害、経済統合、金融危機、大気汚染、地球温暖化、バイオエネルギー、貧困・不

平等、インフォーマルセクター、児童労働・麻薬・売春、テロ・内戦、日系移民 etc.）を議論して行きたい。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

『ラテン・アメリカを知る事典(新訂・増補版)』大貫良夫他監修 平凡社 1999 年

『ラテンアメリカ研究への招待(改訂新版)』国本伊代・中川文雄編著 新評論 2005 年

『アカデミック・スキルズ—大学生のための知的技法入門』佐藤望編著 慶應義塾大学出版会 2006 年

その他、授業時に紹介する。

総合教育セミナーD (II 類)

「スペイン語圏世界とその周辺：道」

4 単位 通年

【商】

横山 和加子

【授業科目の内容】

この総合教育セミナーは、商学部でスペイン語を履修する学生を対象とし、スペイン語圏世界についての知識を深めることを目的としている。スペイン語を話す国と地域はヨーロッパとアメリカ大陸双方にまたがっている。スペインではイベリア半島に去来したさまざまな民族によって、興味深い歴史と文化が築かれた。ラテンアメリカでも、古代文明の時代から現在まで、さまざまな文化が盛衰して、多様な歴史が展開され、ユニークな文化遺産が生まれた。この広大なスペイン語圏諸国を理解するための切り口として、2009 年度は「道（ルート）」というテーマをとりあげたい。

古来より、人間はさまざまな道（ルート）をつくり出してきた。シルクロードのように、広大な地域にわたって、いくつもの地点がある必然によって結びつけられ、長年、多くの人々に多大な影響を与え続けた道もあれば、探検や征服の道のように一連の偶発的な出来事の積み重ねの中で、個人や少数の人々が辿った道もある。

スペインにおいてもラテンアメリカにおいても、その長い歴史の中でさまざまな道が生まれた。そして現在、あるものは記録の中にだけ生き残り、あるものは「古道」となって観光ルートに生まれ変わり、またあるものは当初からの役割を依然果たし続けている。いずれの場合も、道は、時代と地域と人間の営みを結びつけるためのまたとない手がかりである。たとえば、フランス、ドイツなどの北部ヨーロッパとスペイン北西部の聖地サンチアゴ・デ・コンポステーラを結ぶ巡礼の道として、11 世紀ころから人々の往来が盛んになった「サンチアゴの道」は、その沿道に都市を発達させてレコンキスタの最前線を固め、ロマネスク美術を開花させて、スペイン中世の形成に大きな役割を果たした。ユネスコの世界遺産に登録された現在は、すばらしい景観と豊かな文化遺産に引きつけられて多くのハイカーがここを歩き続けている。本セミナーの参加者には、スペイン語圏世界のさまざまな道を調べる作業を通じて、この地域に関する幅広い知識を深めていただきたい。

【教科書】

オリエンテーションで指示する。

【参考書】

参考文献はセミナーの中で順次指示する。

総合教育セミナー D (III 類)

「地域との対話」

4 単位 通年

〔商〕 牛島 利明 柏崎 千佳子

〔授業科目の内容〕

この授業では、皆さんが学ぶキャンパスの後背地である日吉、および他の地域でフィールドワークを行いながら、地域の抱えるさまざまな問題（商店街の活性化、子育て、高齢者、障害者や外国人居住者の支援、地域コミュニティのあり方など）について考察・提言を行います。大学の立地する地域を、単に生活したり消費したりする場所と捉えるばかりではなく、地域の問題・課題を発見し、多様な人々が安心して暮らせる魅力ある「まち」を支える新しい制度や文化を創出しようと試みる意欲ある学生の参加を歓迎します。

〔教科書〕

特になし。必要な文献は適宜授業で指示します。

〔参考書〕

『フィールドワーク―書を持って街へ出よう』佐藤郁哉著 新曜社 1992 年

総合教育セミナー D (III 類)

「留学生セミナー」

4 単位 通年

(東アジアを考える)

〔商〕 木島 伸彦

〔授業科目の内容〕

このセミナーは、留学生の皆さんの日本語能力を高めるとともに、皆さんの日本での生活をサポートすることを目的としています。また、日本人の学生も参加して相互の交流を進めることも意義のひとつです。基本的には、大学で学ぶために必要な能力、すなわち学問的方法で調査し、自ら考え、評価し、表現する能力を総合的に身につけることを目的としています。すなわち、本の調べ方、読み方、情報収集、整理、文章の書き方、プレゼンテーションとディスカッションなどを、日本語でしっかりと行うことができるよう勉強していきます。商学部の留学生は必ずこのセミナーを受講しなければなりません。

留学生と交流をしながら、これらの能力を身につけたい日本人の学生の参加も歓迎します。なお、初回のガイダンスに出席しない者は履修出来ないこととし、さらに、もし希望者が多い場合、既に木島の心理学 I・II を履修した学生を優先します。

〔教科書〕

適宜、指示します。

〔参考書〕

適宜、指示します。

総合教育セミナー D (III 類)

「航空・観光経営研究入門」

4 単位 通年

〔商〕 中条 潮

〔授業科目の内容〕

本講義では、航空および航空とかかわりの深い観光産業について、現場担当者や経験者による講義も交えて、入門的知識を提供するとともに、学生にはレポート執筆とプレゼンテーションを課し、文章の書き方、PPT によるプレゼンテーション技術の基礎を学んでもらうことを目的とする。春学期は、水曜 2 時限および昼

休みを利用して講義とプレゼンテーションを行なう。秋学期はレポートの添削を適宜行なう。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

適宜、指示する。

総合教育セミナー D (III 類)

「世界の言語の共通点・相違点と研究発表の 4 単位 通年方法」

〔商〕 深澤 はるか

〔授業科目の内容〕

本セミナーの目的は 2 つある。

1 つめは、世界の言語の共通点と相違点を探究することである。人間の言語は 5000 以上あると言われている。それぞれの言語の構造はもちろんのこと、それが話されている社会、文化、起源など大変異なっているように思われる。しかしながら人間はどこに生まれてもそこで接する言語を母語として自然に身につけることができる。また人間の発声、発音の器官、言語を司る脳のしくみはどの言語を話す人も同じようである。世界の言語は一見したように異なるものなのか、それとも何らかの共通点があるものなのか？なぜ母語は容易に自然に獲得できるのに外国語の習得は難しいのか？世界中の言語はさまざまな角度から分析・分類・探究することにより、言語の不思議を探る。

2 つめは、そのテーマを基に、研究の仕方、研究の口頭発表およびポスター発表の仕方、レポートの書き方を学ぶことである。与えられたテーマに対し学生自らの視点を持ち、それを研究していく仕方、その研究の口頭発表、ポスター発表の仕方を学ぶ。また討論・議論・レポートにまとめる仕方も学ぶ。

〔教科書〕

(1) 『ことばに魅せられて：対話篇』大津由紀雄著 ひつじ書房 2008 年

(2) その他（担当教員よりの配布資料）

〔参考書〕

(1) 『探検！ことばの世界』大津由紀雄著 ひつじ書房 2004 年

(2) 『ことばの科学』加藤重広著 ひつじ書房 2007 年

(3) 『アクセントの法則』窪蘭晴夫著 岩波書店 2006 年

(4) 随時指示する。

総合教育セミナー S (I 類)

「集合・関係・関数」

2 単位 春学期

〔商〕 白旗 優

〔授業科目の内容〕

数学の基礎についてはいくつかの立場がありますが、実際的には、現代数学は集合論を基礎として展開されているとみなして、さしつかえありません。たとえば、個々の実数は有理数の集合として定義されますし、関数は数の組の集合である関係の特殊な事例とされます。また、実は関係という概念は、数に限定されずに、より一般的に定義され、それは、ミクロ経済学で選好の順序を表すために応用されてもいます。

この授業では、集合・関係・関数といった概念について、予備知識は前提としないで、初歩的なことからきちんと学んでいってもらえればと思います。特に重要視したいのは、集合に関する命題

の論証がきちんとできるようにすることです。そのため、補助教材として、論理学教育用のソフトウェアを使用するかもしれません。

〔教科書〕

授業時にテキストを配布する予定です。

〔参考書〕

『論理学の基礎と演習』（ジョン・バーワイズ、ジョン・エチメンディ著 大沢・白旗・中川・中戸川・橋本訳 慶應義塾大学出版会）を参考書とします。

総合教育セミナー S (I 類)

「相対性理論の紡ぐ時間と空間」

2 単位 秋学期

〔商〕

新田 宗土

〔授業科目の内容〕

アインシュタインの発見した相対性理論は、時間・空間の概念を一新しました。そこでは、時間と空間は一体となった時空として理解できます。果たして時間旅行（タイムマシン）やスペースワープは可能なのでしょうか？

そして、宇宙旅行に関する双子のパラドクスなど様々なパラドクスが存在します。これらのパラドクス一緒に解いて行きましょう。目標は、新しいパラドクスを見つけることです。

〔教科書〕

『数式いらず! 見える相対性理論』竹内 建著 岩波書店
ASIN:4000055291

総合教育セミナー S (I 類)

「輪読セミナー「オイラー入門」」

2 単位 春学期

〔商〕

深谷 太香子

〔授業科目の内容〕

「複素数はどのようにして発見されたのか、どうしてどのように重要なのか」、「数の世界の原子のような存在である素数は無限個存在するのか」、などといったトピックを選んで、本を輪読しながら学んでいきます。主に輪読をする本は「オイラー入門」（シュプリンガー数学リーディングス）W. ダンハム著、黒川信重・若山正人・百々谷哲也訳です、テーマ次第で他の本も読み込んでいきます。セミナー参加者には、提示された内容について読み込み、わからないところをあらかじめ調べてセミナー時に解説、発表して頂きます。解説、発表、議論を通して主体的に取り組み、内容をより深い理解し、更に「人にわかりやすく発表するとはどういうことか」についても共に考えていきます。

〔教科書〕

『オイラー入門』W. ダンハム著 黒川信重・若山正人・百々谷哲也訳 シュプリンガー

〔参考書〕

必要に応じて適宜紹介します。

総合教育セミナー S (I 類)

「統計が支配する自然現象」

2 単位 秋学期

〔商〕

松浦 壮

〔授業科目の内容〕

我々の身の回りには、ものがたくさん集まることで生じる現象が数多くあります。そのような現象は一般に「統計現象」と呼ばれ、物理学、生物学、経済学などなど、あらゆる分野に登場するユニバーサルな概念です。水や金属などの物質の性質はもちろん、株価の変動や人間の行動、そして、この世界で最も小さ

い素粒子の世界ですら、統計の原理に支配されています。逆に言えば、統計物理学の考え方を理解することによって、分野という垣根を越え、身の回りにある一見異なる様々な現象を、共通の観点から理解出来るようになります。

この授業では、統計物理学の考え方を基礎的な部分からじっくりと学んでいきます。参加者は教科書の内容を読み込み、毎回担当を決めて発表してもらいます。授業の内容はもちろん、自分が理解した内容を聴衆に分かりやすく説明し、また、自分の分からないことを的確に質問する能力を身に付けることも目的のひとつです。議論を通じて、統計がいかに幅広い世界を支配しているかと一緒に見ていきましょう。

〔教科書〕

授業中にプリントとして配布する予定です

〔参考書〕

必要に応じて授業中に紹介します

総合教育セミナー S (II 類)

「音楽自由研究」

2 単位 秋学期

〔商〕

佐藤 望

〔授業科目の内容〕

この授業では音楽について自分自身の研究テーマを決め、それについて論文を仕上げる練習をします。音楽を題材にして、調べて、読んで、書くという一覧のアカデミックな技法について学ぶことを目的とします。音楽は聴いて楽しむものです。しかし、その背景には広大な知の世界が広がっています。音楽は「知って」楽しむものでもあります。

音楽についての情報の調べ方、情報整理の仕方、分析の仕方、論文の書き方（文章の構成、書式のルール）などについての訓練を行っていきます。

〔教科書〕

『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』佐藤望編著 慶應義塾大学出版 2006 年

〔参考書〕

授業中に指定します。

総合教育セミナー S (II 類)

「Research and Methods」

2 単位 春学期

「論文を書く：調査と執筆」

2 単位 秋学期

〔商〕

英 知明

〔授業科目の内容〕

選択したテーマに沿って自ラリサーチ・収集した内容をわかりやすく説得力ある論にまとめ、「論文のマナー」に従い高度かつ良質な日本語で表現する技術的訓練を行う。また定められた字数の中で、自身の考えを過不足なく効果的に盛り込んだ「書評」や「論考」を書くことを通じ、豊かな語彙と正確な日本語を駆使する能力を養う。短期集中型科目(履修は半期のみ可：春学期・秋学期とも同じ内容)で密度の濃い授業を目指すため、履修者を少数に制限して行なう。

〔教科書〕

一部に英語のプリントを使用。授業中に配布します。

〔参考書〕

特になし

総合教育セミナー S (II 類)

「異文化間トレーニング」

[商]

2 単位 春学期

吉田 友子

〔授業科目の内容〕

異なる文化の人々とのコミュニケーションの際、言葉が通じても文化の差による勘違いや摩擦が起きることが多々ある。逆にその勘違いや摩擦から得るものも大きい。この授業では英語でのレクチャー、ディスカッション、ケーススタディーの分析やシミュレーション等を通して、異文化接触を体験的に学んでもらう。授業はすべて英語で行われ、学生の積極的な参加を求む。(2009 年度は春学期のみ開催します。)

〔教科書〕

プリントを授業で配る。

〔参考書〕

(ア) 『異文化トレーニング：ボーダレス社会を生きる』 八代京子・町恵理子・小池浩子・磯貝友子著 参修社出版 1998 年

(イ) 『Intercultural Communication Training: An Introduction』 By: Richard Brislin & Tomoko Yoshida Sage Publications. 1994.

【理工学部設置の少人数セミナー形式科目】 総合教育セミナー I (春学期)・II (秋学期)

総合教育セミナー I

「哲学」

[理]

2 単位 春学期

荒金 直人

〔授業科目の内容〕

「現象する」とはということなのか? 「心」という場所はあるような場所なのか? 平易な言葉でつづられる明快な思索があつという間に読者を哲学的な深淵へと導く、その面白さを感じてもらいたいと思います。

この授業の目的は以下の二点です。第一に、哲学を体験し、これが哲学だという感触を得ること。第二に、哲学的な意味での厳密さを体験することで、考える力 (①他人の思索を追跡する力、②他人の考えに対して自分の考えを持つ力、③自分の考えを明確に表現する力) を養うこと。

斎藤慶典著『心という場所』を教科書として使います。毎回数人の担当者にテキストの一部分のレジュメを作ってきてもらい、著者の考えとそれに対する自分の意見を口頭で発表してもらいます。そしてその発表をもとに、みんなで議論したいと思います。

〔教科書〕

『心という場所——「享受」の哲学のために』 斎藤慶典著 勁草書房 2003 年

〔参考書〕

『哲学・思想事典』 広松渉その他編 岩波書店 1998 年

『現象学事典』 木田元その他編 弘文堂 1994 年

その他は授業の中で適宜指示します。

総合教育セミナー I

「生命とは何か」

[理]

2 単位 春学期

岡 浩太郎

〔授業科目の内容〕

生命科学は急速に進んでおり、分子レベルの知見は膨大なデータベースとして集約されてきている。そのような環境の中で、改めて「生命とは何か」について考え、議論してみようというのが本講義の目的である。

テキストには E.シュレディンガー著「生命とは何か - 物理的に見た生細胞 -」を用いる。この本は遺伝子の本体である DNA の立体構造もその機能についても明らかになっていない時代に書かれた古い本であり、現代生物学の観点から見ると誤った記載もあり、いまさらそんな古書を引っ張りだしてもという意見もある。しかしながら量子力学を構築したシュレディンガーが生命の本質について考え抜き、物理的な視点から生命に切り込んでいる興味深い著作である。また特に生命現象の統計的扱いや「ゆらぎ」等についての指摘は、生命現象を理解する上でも重要な設問となっている。

〔教科書〕

『生命とは何か - 物理的にみた生細胞 -』 E.シュレディンガー著 岡小天・鎮目恭夫訳 岩波文庫 (新書版でも構いません)

〔参考書〕

先にも申しましたように本テキストは最新の科学知識を含んでいるものではありません。そのため関連するテキストは講義中に随時紹介し、またはプリント等配布するつもりです。

総合教育セミナーⅠ

「ユング心理学の世界に遊ぶ」

2単位 春学期

〔理〕

小林 邦夫

〔授業科目の内容〕

近代文明の科学とその知識は、人間の外側へと向かい、多大なる恩恵とそしてその弊害をもたらした。反面、人間の内側へと向かう科学の発展は遅々として進まず、我々は、我々自身のものであるはずの我々の「こころ」について、何も知らないに等しい。C.G.ユングの心理学は、近代合理主義を背景とする科学文明の枠組みから外れた諸分野を、堂々と取り上げ、考察し、そして現代の精神的危機を救済すべき「拠り所」として我々に突き付けている。以下の「授業の計画」を参照。これらの分野は、「非科学を科学する」とも表現できよう。しかしユング心理学の魅力はまさにそこにこそあるのであり、現代人の抱える諸問題を解明してくれるものなのである。

〔教科書〕

『ユング』FOR BEGINNERS シリーズ 65 文・大住誠、イラスト・田島薫美 現代書館 1236円

〔参考書〕

『エッセンシャル・ユング』アンソニー・ストー編著 / 山中康裕監修 創元社 3914円

総合教育セミナーⅠ

「近代美術について考える」

2単位 春学期

〔理〕

近藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

この授業は、口頭発表やレポートを通じて、20世紀美術および現代美術をみるうえでの知識を身につけます。

具体的には、各自テーマを設定し、それに沿って美術展を見学したり資料を調べるなどして、その結果を口頭発表、ディスカッション、レポートなどで発表します。特に理工学部の学生にとっては、如何に人文分野の資料にアクセスするかということも学びます。

〔教科書〕

特にありません

〔参考書〕

授業中適宜指示します

総合教育セミナーⅠ / 総合教育セミナーⅡ

「創造的な思考力を育むグループ 2単位 春学期 / 秋学期ワーク」

〔理〕

坂倉 杏介

〔授業科目の内容〕

あなたは普段、どのように見て、感じて、考えていますか？人間は本来、ひとりひとりがオリジナリティ豊かな発想を持った個性です。この授業では、みなさんそれぞれが持つ創造的な思考力・表現力を、教室での対話や、身の回りの日常的なモノゴトを見直すワークショップを通じて養っていきます。誰でも楽しく参加できる授業を心がけますが、コミュニケーション、感覚、デザイン、ワークショップなどに興味のある人、レポートやプレゼンテーションをもっと表現力豊かにしたいと感じている人なら、さらに有益な経験になるはずです。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

授業中、適宜指示します。

総合教育セミナーⅠ

「現代の英詩を読む——P・ラーキン、T・ヒューズ、S・プラス、S・ヒーニー」

2単位 春学期

〔理〕

広本 勝也

〔授業科目の内容〕

本セミナーの目的は、英語で書かれた現代詩の魅力を発見することです。

1950年代以降、現代に到る4人の英米詩人を取り上げます。(日本語訳があります。)それぞれの詩人の代表作とされる詩作品について、①テキストに忠実に、語学的に正しく読みます。②作品の背景、主題、問題点などについて考えます。③対象となる詩人や作品に対する自分の考え・評価を明確にします。

①については、発表者が自分のことばで新たな訳を試みます。

②については、日本語および英語の注釈書、研究書を紹介しますので、それらを調べてもらいます。

③については、作者の考え方と一致する点、相違する点、作品への共感や反発、今までの研究についての評価——などについて、自由に論じてください。

〔教科書〕

プリントを用意します。

〔参考書〕

教室で指示します。

総合教育セミナーⅠ

「もつとロシアを知ろう」

2単位 春学期

〔理〕

前木 祥子

〔授業科目の内容〕

文献は日本語です。ロシア語の予備知識は要りません。

「ロシアってどんな国?」「ロシア人ってどんな人たち?」

セミナーでは、この問いに自分なりの答えを出すことを目指します。地理、歴史(古代・近代・革命・現代)、文化(言語・学問・芸術・教育・食・宗教)、科学技術(鉄道・宇宙開発)、民族、スポーツなど、ロシアについて自分の興味のある分野を分担して勉強し、発表し、聴き、感想を書き、意見を交換しましょう。ビデオも見ます。

ロシアは世界一広大な国土をもち、ヨーロッパ、アメリカ、中東、アジアと関わってきました。日本にもっとも近い外国でもあります。ロシアについて学ぶことで、皆さんの世界に対する理解と日本についての認識が深まることを期待しています。

〔教科書〕

①『ロシア(地図で読む世界の歴史)』J・チャノン他著 河出書房新書 1999年

②『ロシアについて』司馬遼太郎著 文春文庫 1999年

〔参考書〕

分担する分野によって、違います。教室で個人に指示します。

以下は参考で必ずしも使うとはかぎりません。

『キャラバン・サライのロシア』植田樹著 東洋書店

『ロシア人しか知らない本当のロシア』井本沙織著 日経プレミアム

『ロシア・ショック』大前研一著 講談社

『国際関係の十字路』コーカサス著

『パステルナーク』前木祥子著 清水書院
『物理学者ランダム』みすず書房
『ロシア文学への扉』金田一真澄監修 慶応大学出版
『ロシア料理・レシピとしたり』荒木宝子著 ユーラシア・ブックレット

総合教育セミナーⅠ

「最先端技術の未来を考える」

2単位 春学期

〔理〕

宮田 昌悟

〔授業科目の内容〕

モノ作りや技術開発に興味を持つ人に向けたセミナーです。医療、福祉、IT、家電、ロボット分野などにおける最先端の技術について調査して、その未来を考えてみましょう。まず、皆さんそれぞれに興味のある最先端技術について調査してもらいます。次に、自分なりのアイデアで最先端技術のさらに未来のカタチを考案して、実現するための手段やその技術の重要性について議論します。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

授業中、適宜指示します。

総合教育セミナーⅠ

「生活中心デザイン」

2単位 春学期

〔理〕

山崎 信寿

〔授業科目の内容〕

新製品企画、道具、家具、家電、住居、新モビリティなど、生活をより豊かにするためのモノ作りに興味を持つ人向きです。本当は他者の気持ちを想像することで、共感される新製品が生まれるのですが、まずは、自分の生活から発想したものをデザインしてみましょう。それは、自分や生活を見つめ直すことから始まります。このような例題に取り組むことで多面的な見方と論理的思考力および表現力を身につけるのが、このセミナーの目標です。このため、書くことと話すことに慣れる様々な企画をしています。

〔教科書〕

特に指定しません。関連資料は配付します。

〔参考書〕

『理科系の作文技術』木下是雄著 中公新書 1981年

『科学技術日本語案内新訂版』山崎信寿・富田豊・平林義彰・羽田野洋子著 慶應義塾大学出版会 2002年

総合教育セミナーⅡ

「哲学（デカルトから現象学へ）」

2単位 秋学期

〔理〕

荒金 直人

〔授業科目の内容〕

私たちが直接経験する絶対に疑えないものから出発して、厳密な学問としての哲学を構築しようとする、その二つの試み。その明快さ、奇妙さ、面白さを感じてもらいたい。

近代哲学の創始者であるデカルトの『省察』と、現代哲学の流れを決定付けた現象学の創始者であるフッサールの『デカルト的省察』を精読します。

この授業の目的は以下の二点です。第一に、哲学を体験し、これが哲学だという感触を得ること。第二に、哲学的な意味での

厳密さを体験することで、考える力（①他人の思索を追跡する力、②他人の考えに対して自分の考えを持つ力、③自分の考えを明確に表現する力）を養うこと。

上記の二冊を順に教科書として使います。毎回数人の担当者にテキストの一部分のレジュメを作ってきてもらい、著者の考えとそれに対する自分の意見を口頭で発表してもらいます。そしてその発表をもとに、みんなで議論したいと思います。

〔教科書〕

①『省察』デカルト著 山田弘明訳 ちくま学芸文庫 2006年

②『デカルト的省察』フッサール著 浜渦辰二訳 岩波文庫 2001年

〔参考書〕

『哲学・思想事典』広松渉その他編 岩波書店 1998年

『現象学事典』木田元その他編 弘文堂 1994年

その他は授業の中で適宜指示します。

総合教育セミナーⅡ

「エレクトロニクスデザイン」

2単位 秋学期

〔理〕

石黒 仁揮

〔授業科目の内容〕

本セミナーでは、電子工作を通して理工学の基本である作る喜びを感じて欲しいと思っています。

図面と部品から、実際にハンダ付けしながら、一からトレーサーロボットを製作します。前半は、PIC, FET, センサー、初めは分からないことばかりですが、電子部品の動作を調べ、全体の回路の動作原理について学びます。後半は PIC にプログラミングし、より安定にかつ高速にトレースできるアルゴリズムを開発します。電子製品は、ハードだけ、あるいはソフトだけではなく、両方を理解してこそ良い製品が作られることを理解して欲しいと思います。ハードとソフトの開発過程で、数回の発表を行い、自分の作ったトレーサーロボットについて、その特徴や苦勞したことを文章でまとめます。

教材費として3千円（予定）が必要です。

総合教育セミナーⅡ

「数理科学入門」

2単位 秋学期

〔理〕

太田 克弘

亀谷 幸生

栗原 将人

高山 正宏

〔授業科目の内容〕

この講義は、本格的な数学、数理科学に触れてもらうための講義です。1年生、2年生では線形代数や微積分のような基本的な数学の講義しかありません。大学の数学、専門の数学とはどういうものなのだろう、ということを知りたい学生のために理工学部数理科学科の4人の教員が、それぞれの専門分野にかかわる内容の入門を(主に1年生を念頭に置いて)行います。

講義の形式は以下の通りです。4人の教員がそれぞれ1回の講義を行います。その中で課題や問題が出ます。その後、学生さんたちに本を読んできてもらったり、問題を解いてもらったりして、発表してもらいます。4回の講義、8回の発表を予定しています。

具体的には今年度は次のようなテーマを用意しています。

「幾何学入門」

授業では図形の色々な特徴を調べる方法を説明し、具体的な計算を通して理解を深めてもらいたいと思っています。

「整数論入門」

予備知識を必要としない整数論の本を読もうと思います。たとえば、Fermat 予想の証明にも使われた楕円曲線という3次曲線の有理数解の様子を調べるなどを通じて、現代的な整数論の入門を行いたいと思っています。

「組合せ論入門」

組合せ論に現れるいくつかのパズル的な問題を扱い、その定理やエレガントな証明を味わってもらおうと思います。

「解析学入門」

身の回りの事柄を理解する上で解析学がどのように使われるのか、またその解析を通して何が分かるのか、などを学んでもらいたいと思っています。

〔教科書〕

授業中に指示します。

総合教育セミナー II

「サイエンスライター入門 —— 望遠鏡」 2単位 秋学期
〔理〕 加藤 万里子

〔授業科目の内容〕

科学の成果を一般むけにわかりやすく解説できる力は、研究者になる人やマスコミを目指す人にはもちろんのこと、いろいろな職業につく人にも求められている大切な能力です。科学の内容がわからなければ、解説できないし、内容がわかっている、文章にすることができなければ伝わりません。このセミナーでは、科学のいろいろな分野の解説を書く練習をしますが、今年は特に「望遠鏡」を中心テーマとします。文章添削の他、ショートスピーチを繰り返し、人前で話すことに慣れる訓練もします。

総合教育セミナー II

「自身が興味のある研究分野や関心のある 2単位 秋学期
仕事について考える」
〔理〕 木下 京子

〔授業科目の内容〕

志望大学とその学部を選んだ時点で、今後勉強する内容について少なからず考えたと思います。しかしながら実のところ、皆さんはご自分の興味のある研究分野や漠然でもいいので将来就きたいと希望する仕事についてどれだけ深く知っているでしょうか。その研究の歴史や現時点での成果や問題点、未来への展望などを具体的に把握していますか。本セミナーでは、各自の関心のある研究分野や仕事内容を様々な角度から調べます。そして専門的な内容であっても、老若男女問わずできるだけ多くの人に理解できるようわかりやすい発表を行うことを目指し、レポートにまとめます。本セミナーを契機に、自分が何に興味があり何をしたいのか、そしてどのような研究に組みみたいかについて考えてみましょう。本授業は自分自身を改めて見つめる貴重な機会にもなると思います。

〔教科書〕

資料プリントを配布

〔参考書〕

『理科系の作文技術』木下是雄著 中公新書 1999年

総合教育セミナー II

「夢分析入門」 2単位 秋学期
〔理〕 小林 邦夫

〔授業科目の内容〕

我々は何故夢を見るのでしょうか？夢って一体何？この問題の解決に出来得る限り接近しようとするのが、このセミナーの目的です。一人の人間が一生のうちで夢を見ている時間を全て合わせると、四年半にもなるそうですが、この不可解な、神秘に満ちた夢という現象を、様々な角度からアプローチします。以下の「授業計画」を参照。最先端の科学技術を駆使しても、恐らく、夢を見ることの出来るロボットを作り出すことはできないでしょう。このことは、コンピュータの世界と夢の世界の一番大きな違いを表わしている、と言えるでしょう。このセミナーでは、最終的に、自分の見た夢、他人の見た夢を何とか解釈してみる、即ち、夢分析ができるようになることを目標にします。

〔教科書〕

『夢——時空を超える旅路』（イメージの博物誌3）デーウィド・コクスヘッド＋スーザン・ヒラー著、河合隼雄＋氏原寛訳 平凡社 1850円

〔参考書〕

『子どもの夢』I、II（「ユングコレクション」8、9）C.G.ユング著、氏原寛監訳 人文書院 I 6695円、II 6592円

総合教育セミナー II

「近代美術について考える」 2単位 秋学期
〔理〕 近藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

この授業は、口頭発表やレポートを通じて、20世紀美術および現代美術をみるうえでの知識を身につけます。

具体的には、各自テーマを設定し、それに沿って美術展を見学したり資料を調べるなどして、その結果を口頭発表、ディスカッション、レポートなどで発表します。特に理工学部の学生にとっては、如何に人文分野の資料にアクセスするかといったことも学びます。

〔教科書〕

ありません。

〔参考書〕

適宜授業の中で指示します。

総合教育セミナー II

「エンジニアリングへのいざない」 2単位 秋学期
〔理〕 澤田 達男

〔授業科目の内容〕

エンジニアリング(工学)には、数学のように数式を取り扱って理論整然と論理を進める学問とは少し異なった側面があります。理科系の学問だからといって、理論通り行くものばかりではありません。こういった、事象をなるべく題材に取り上げ、理工系文章作成とプレゼンテーションの能力を高めるセミナーにしていこうと思います。

具体的な事は、学生諸君の配属希望で履修者が決まった段階で、みんなと相談しながら決めたいと思います。おおまかなことを以下に列挙します。

- レポートの提出
- 工場見学(学生諸君の希望も考慮して見学先を決めます)
- 研究・調べた事の発表
- 最終報告書の作成

〔参考書〕

- ・『科学技術日本語案内新訂版』山崎・富田・平林・羽田野 著 慶應義塾大学出版会 2002 年
- ・『エンジニアの文章読本』山口喬著 培風館 1998 年

総合教育セミナー II

「光への招待－光の持つ可能性を探る」 2 単位 秋学期

〔理〕 二瓶 栄輔

〔授業科目の内容〕

光は我々の周りに満ち溢れています。そして我々は無意識のうちに光をさまざまな情報源として巧みに利用しています。しかし、光って何？と質問されたときに、すぐに答えられるでしょうか。

本セミナーでは、光が持っている性質を解き明かし、さらに、現在の高度情報化社会を支える光技術や、先端医療を支える光技術など、様々な分野で利用されている光技術を理解し、また自分で調査すると共に、実際に光を制御する実験を体験しながら、光の持つ可能性について考えていきたいと思います。

〔教科書〕

プリント教材

〔参考書〕

授業中に紹介する

総合教育セミナー II

「ものづくりの好きな人の日本語教室 2 単位 秋学期

－調べる！考える！！伝える！！－」

〔理〕 村上 康代

〔授業科目の内容〕

ものづくりが大好きだけれど、書いたり話したりする日本語のコミュニケーションに自信がない人、レポート作成やプレゼンテーションがうまくなりたい人のためのクラスです。この授業では、一人一人が興味のある「ものづくり」に関する資料を広く集め、自ら設定したテーマに沿って調査し、クラスで発表・議論し、最終レポートにまとめます。調査対象とする「ものづくり」は、科学・技術分野の「モノづくり」から、芸術や社会の様々な分野での「創る」活動まで、幅広く考えています。作文添削と口頭発表の練習とを繰り返し、日本語のコミュニケーション能力の向上を目指します。

〔教科書〕

『理科系の作文技術』木下是雄著 中央公論新社
(中公新書) 1981 年

〔参考書〕

『ピアで学ぶ大学生の日本語表現』大島弥生他 5 名著 ひつじ書房 2005 年

『自己表現力の教室——大学で教える「話し方」「書き方」——』荒木晶子他 2 名著 情報センター出版局 2000 年

総合教育セミナー II

「量子物理学入門」

2 単位 秋学期

〔理〕 山内 淳

〔授業科目の内容〕

コンピュータに代表される現代のハイテクを支えるもの、これが量子物理学です。

この授業では、現代物理学、現代テクノロジーの基礎である量子物理学について基本的なテキストを皆で読み理解を深めます。

〔教科書〕

『初等量子力学 (改訂版)』原島鮮著 裳華房

Ⅲ 学部独自設置授業科目

1 文学部

科目名は、ゴシック（太字）部分です。（ ）カッコ記号内の文字は、曜日時限や科目名の備考（証明書などには記載されない科目名）です。

科目名の後に【セット履修科目】と表記のある科目は、春・秋共履修してください。

基礎情報処理（A）～（I）

2単位 春学期 / 秋学期

- (A) 岸田 和明
(B) 丹野 貴行
(C)、(H) 森山 剛
(D)、(E) 石井 拓
(F)、(I) 福田 浩章
(G) 江藤 正己

〔授業科目の内容〕

コンピュータや各種アプリケーションの使い方を学びながら、情報を処理する際に必要な「考え方」やネットワークを介したコミュニケーションを行う際に必要な「倫理」について解説します。コンピュータそのもののしくみを学ぶことよりは、コンピュータを利用して情報を扱う基礎知識を身につけ、大学での活動や今後の社会生活に役立たせることを目的としています。

言語学

「言葉 — 人間の本質を探る鍵」

4単位 通年

金田一 真澄

〔授業科目の内容〕

言葉とは何かという素朴な疑問から入り、誰もが使う言葉の不思議な魅力に迫ります。

初めに、言葉について人はどのように考え、どのようにアプローチしてきたのか、その歴史を振り返ります。言語学の歴史を古代ギリシャから近代まで辿り、言葉に対する人間の飽くなき探究心の歴史を跡づけます。またその際に、言語と人間との関係を探ります。人間の認知や心理など、どちらかというと今まで構造主義の言語学では敬遠されてきた側面に焦点を当て、人間にとって不可欠な存在である言葉の仕組みを明らかにします。したがって、生物学、脳科学、心理学、哲学、コンピュータ科学などの領域についても言及します。そのほかのテーマとしては、意味論、語用論、メタファ論、カテゴリー論などを議論します。一方で、日本語表現の文法問題を扱い、自分が毎日何気なく使用している言葉について、その不可思議な性質を再発見します。毎回、授業の最後の20分ほどは、授業で扱ったテーマについて皆で意見交換を行います。

年2回、各6000字のレポートを課題として要求します。

〔教科書〕

ありません

〔参考書〕

- 『認知言語学への招待』辻幸夫編 大修館書店 2003年
- 『認知言語学』大堀寿夫著 東京大学出版会 2002年
- 『認知言語学入門』F. ウングラー他著 池上他訳 修館書店 1998年
- 『はじめての認知言語学』吉村公宏著 研究社 2004年

- 『認知意味論』松本曜編、大修館 2003年
- 『認知言語学の発展』坂原茂編 ひつじ書房 2000年
- 『認知言語学キーワード事典』辻幸夫編 研究社 2002年
- 『ことばの認知科学事典』辻幸夫編 大修館書店 2001年
- 『意味論 2. 認知意味論』杉本孝司著 くろしお出版 1998年
- 『認知意味論』G. レイコフ著 池上他訳 紀伊国屋書店 1993年

書物の世界 I

2単位 春学期

石川 透

〔授業科目の内容〕

日本の書物、特に絵入り本・絵巻について講義する。

〔参考書〕

授業時に指示する。

書物の世界 II

2単位 秋学期

石川 透

〔授業科目の内容〕

さまざまな書物について、その専門家が講義し、考察する。

〔参考書〕

授業時に指示する。

人類学

「自然界の中のヒト：進化と変異」

4単位 通年

高山 博

〔授業科目の内容〕

ヒト (Homo sapiens) の定義を知っていますか？人類学的定義には、他にもヒト属、ヒト科、ヒト上科という分類名があって、広義にはすべて「ヒト」または「人類」として使われています。この講義は、現生種ヒト（地質学的現世に生存した人類を包括する生物学的分類単位）が、30億年の進化の中で、どのような位置に存在するか、を考えます。原始細胞から無脊椎動物、脊椎動物、哺乳類、霊長類へと進化の流れをたどりながら、ヒトの特長・その起源と進化について、なるべく最新の情報を提供する予定です。

本文冒頭の質問の答えの一つが「文化」なのですが、どのような「文化」がヒトを定義できるのかについては、講義の中で紹介していくつもりです。

〔教科書〕

指定しません。

〔参考書〕

講義内容に近いものとしては、『人類の進化史』埴原和郎著 講談社、『ここまでわかった人類の起源と進化』ルーウィン,R.

著 保志訳 てらべいあ、『人類の起源』馬場・高山編著 集英社

数学 I

2 単位 春学期
丸山 文綱

〔授業科目の内容〕

実は数学がないという理由で文科系を選択した人も多いと聞く。パズルを解くのは楽しいのになぜ数学は面白く感じないのか？

もしかすると数学を無味乾燥なものと感じてしまった人たちに、数学の実用性ととも、数学的論理とそこに内在する美意識を伝えることがこの講義の主目的である。

〔教科書〕

特に指定しない。場合によっては講義資料を配付する。

〔参考書〕

講義の内容に即して知らせるが、たとえば、『博士の愛した数式』小川洋子著 新潮社 など。

数学 II

「線形性と確率論」 2 単位 秋学期
丸山 文綱

〔授業科目の内容〕

数学は日常生活に深くかかわっている。その中でも特に守備範囲の広い概念として線形性と呼ばれる性質がある。

行列を中心に線形性の初歩的事項からはじめ、応用としての確率を学習する。

〔教科書〕

特に指定しない。場合によって講義資料を配付する。

〔参考書〕

講義内で知らせる。

朝鮮文化・文学の歴史 I

朝鮮文化・文学の歴史（春学期）

2 単位 春学期
4 単位 通年
野村 伸一

〔授業科目の内容〕

朝鮮民族の文化と文学を歴史のなかで考える授業です。前期、後期は独立したものですが、ともに、問題の所在を知らせるための講義をやり、そのあと受講生との質疑をします。

前期はドラマ『大長今』をみながら朝鮮半島の伝統文化について幅広くみていきます。

このドラマは2003年9月から2004年3月まで54回にわたって放送されました。朝鮮王朝時代、1500年ごろの設定です。士族が「両班」として支配的な地位を占めることをはじめとしてさまざまな場面が展開されます。そのひとつひとつが文化史的な興味をそそります。

同時に、2000年代という時代の社会的要請もドラマのなかに十分に反映されています。とくに女性の社会進出を鼓舞する場面が多々みられます。チャングムという女性が諸種の困難を克服しつつ職業を通してところざしを遂げようとする姿は時代の要請になったものです。

朝鮮語を学ぶ学生はいうまでもなく、また朝鮮語を解さぬ学生にも十分理解できるように簡単な解説をし、そのあとでドラマをみます。

後期は、文学、文化史とのかかわりのなかで文化の諸相を取り上げます。

〔教科書〕

毎回、プリントを配布します。

〔参考書〕

『ドラマより面白い チャングムを旅する 54 話』高炫美著
明石書店 2006 年

朝鮮文化・文学の歴史 II

朝鮮文化・文学の歴史（秋学期）

「想像力、そして交流と比較」 2 単位 秋学期
4 単位 通年
李 泰文

〔授業科目の内容〕

朝鮮文学の歴史を理解する前に、文学とのかかわりのなかで文化の諸相を取り上げます。人類の想像力と文学、そして技術と発展と文学など様々な観点から文学を照明してみます。建国神話から朝鮮王朝の文学、そして近代文学まで文学の流れとその特徴についても概論していきます。西欧列強との葛藤、新興日本帝国による侵略といった難しい状況下、人びとの文化的な営みはどのようなものだったのか、知識人の模索した近代はどのような作品を生み出したのかを検討してみます。

〔教科書〕

毎回プリントを配布

〔参考書〕

講義時にプリントで提示。

『朝鮮を知る事典』平凡社

『知れば知るほど理解が深まる「日本人と韓国人」なるほど事典』PHP 研究所

人文科学特論 I（哲学） / 人文科学特論 II（哲学）

「西洋古代・中世哲学」 2 単位 春学期 / 秋学期
中川 純男

〔授業科目の内容〕

プラトン『パイドン』を読む。

〔教科書〕

『パイドン』の翻訳は各自用意すること。複数の翻訳があるが、いずれでもよい。

〔参考書〕

授業中に指示する。

人文科学特論 I（哲学） / 人文科学特論 II（哲学）

「哲学書の味読入門」 2 単位 春学期 / 秋学期
堀江 聡

〔授業科目の内容〕

少人数のゼミナール形式で、哲学書を読み合わせます。春学期と秋学期は別の著作を取り上げる予定です。私の専門領域は西洋古代中世、イスラーム哲学なので、まずアリストテレス『形而上学』など古典的な書物から一冊、そしてもう一冊は、フランス現代思想のエマニュエル・レヴィナスの主著を読む公算が高いでしょう。私は趣味的に語学習得に血道をあげてきた人間です

ので、板書は古代ギリシア語はじめ、アラビア語、ヘブル語など多数の言語が飛び交うことになります。

〔教科書〕

4月開講時までには、テキストを選定しておきますので、購入していただくことになるでしょう。

〔参考書〕

授業中、文学部の学生として読んでおいた方がよい本、哲学を専門に研究する学生として読むべき本を、逐次紹介してゆきます。

人文科学特論Ⅰ（倫理学）

「古典を読む」

2単位 春学期
谷 寿美

〔授業科目の内容〕

東西の文化圏で読み継がれてきた古典的名著の講読を通して、様々な文化に根づく精神性、宗教性に触れます。

〔教科書〕

プリント、あるいは文庫本で。

人文科学特論Ⅱ（倫理学）

「古典を読む」

2単位 秋学期
谷 寿美

〔授業科目の内容〕

東西の文化圏で読み継がれてきた古典的名著の講読を通して、様々な文化に根づく精神性、宗教性に触れます。

〔教科書〕

プリント、あるいは文庫本で。

人文科学特論Ⅰ（倫理学古典読書会）

「倫理学の古典を読む」

2単位 春学期
山内 志朗

〔授業科目の内容〕

倫理学の古典である、和辻哲郎『人間の学としての倫理学』を購読しながら、倫理学の基礎について学びます。「人生の目的とは何か」ということを知りたい人、必ずしもそうでない人、どちらも歓迎します。

倫理学の基礎概念を丁寧に考えていきます。

〔教科書〕

『人間の学としての倫理学』和辻哲郎著 岩波文庫

〔参考書〕

『和辻哲郎——異文化共生の形』坂部恵著 岩波書店（岩波現代文庫）

人文科学特論Ⅱ（倫理学古典読書会）

「倫理学の古典を読む」

2単位 秋学期
山内 志朗

〔授業科目の内容〕

倫理学の古典中の古典である、カント『道徳形而上学原論』を邦訳で購読・味読・堪能します。予備知識は特に必要ありません。やさしく解説しながら進みます。

〔教科書〕

『道徳形而上学原論』カント著 篠田英男訳 岩波文庫

〔参考書〕

授業中に紹介します。

人文科学特論Ⅰ（音楽）

「作曲家研究入門」

2単位 春学期
西川 尚生

〔授業科目の内容〕

ある特定の作曲家について調査・研究しようとする際、どのようなアプローチの仕方があるのかを学ぶ。今年度は古典派の代表的な作曲家 W. A. モーツァルト（1756-91）を題材として、伝記研究と作品研究のさまざまな方法論、および作曲家研究の抱える諸問題について考えてみたい。履修者には課題を与え、授業内に発表してもらう予定である。

〔教科書〕

『（作曲家 人と作品）モーツァルト』西川尚生著 音楽之友社 2005年

〔参考書〕

授業中に指示する。

人文科学特論Ⅱ（音楽）

「西洋音楽史の名曲」

2単位 秋学期
西川 尚生

〔授業科目の内容〕

J. S. バッハ（1685-1750）以降の西洋音楽史の代表作を鑑賞し、作品の特徴、成立の背景等について考察する。履修者には課題を与え、授業内に発表してもらう予定である。

〔参考書〕

授業内で指示する。

人文科学特論Ⅰ（美術）

「西洋美術史入門」

2単位 春学期
金山 弘昌

〔授業科目の内容〕

本講義は、西洋美術の歴史に興味のある初学者のための、基礎講座です。

レオナルドの《モナリザ》をはじめ、西洋美術の傑作は、今日なお人々を魅了して止みません。しかしその作品がなぜ優れているのか、あるいはまたどのようなメッセージを伝えているのかということになると、詳しくは知らないという人が多いでしょう。そのような疑問に答える科目が「西洋美術史学」です。

本講座では、西洋美術史学の基本的な方法論を講義と演習を通して身に付けつつ、造形的特徴の把握から意味内容の解釈、社会における機能の解明にいたるまで、西洋美術の作品をより深く理解するために必要な分析法を学んでいきます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

授業中に指示します。

人文科学特論Ⅱ（美術）

「日本美術の魅力を探る」

2単位 秋学期
内藤 正人

〔授業科目の内容〕

日本の歴史を振り返ってみたとき、各時代にはその時代に生きた人々の手で、数多くの優れた美術品が作りだされている。

ときに文化圏の異なる遠い西欧諸国の人々をも魅了する、日本で生まれたかたちあるもの = 日本美術の魅力や特質とはなにか、この非常に大きな問題について考えていきたい。

本講義は、日本美術の歴史を学ぶ初学の方々のための、基礎講座である。

〔教科書〕

毎回授業時に配布、あるいは指示する。

〔参考書〕

毎回授業時に指示する。

人文科学特論（日本史学）

「紀行文からみた日本の中世」

4 単位 通年
中島 圭一

〔授業科目の内容〕

現代とは比べ物にならないほど交通が不便だった鎌倉時代や室町時代の人々も、様々な理由から旅をしました。鉄道や自動車のような高速の移動手段がないだけに、旅行者の目は沿道の風景や生活慣習を鋭くとらえており、彼らの遺した紀行文は中世社会のあり方を知るための重要な手がかりとなっています。この授業では、そうした紀行文のいくつかを参加者全員で読んでいくとともに、史料から得られる情報を組み立てて当時の社会の実像を探るという歴史学の楽しみを味わってもらいたいと思います。そのため、毎回担当者を決めて、その回に読むテキストの内容を理解するために必要な補足・背景情報（登場する地名や人名、難解な言葉の意味、言及されている事件の内容など）を調べてきて、みんなに提供してもらいます。

〔教科書〕

初回の授業で提示します。

〔参考書〕

中世がどのような時代であったかを押さえておくと、テキストの理解が深まると思います。最新の通史として『全集日本の歴史』5~8 巻 小学館を、さらに詳しいものとして『日本の歴史』9~14 巻 講談社、『日本の中世』全 12 巻 中央公論新社を挙げておきます。その他、授業中に適宜提示します。

人文科学特論（東洋史）

「中東・イスラーム世界史入門」

4 単位 通年
長谷部 史彦

〔授業科目の内容〕

本講義は、中東・イスラーム世界を歴史的に理解するうえで必要な基礎的な知識の習得を目的とします。固定観念に囚われた断片的な情報が氾濫するなか、どうしても一面的で浅薄なイメージを抱きがちな「中東」や「イスラーム」ですが、その歴史や社会のもつ多様な側面に目を向けることによって柔軟な思考の構築を持つようになってもらいたい、とエジプトでの一年間の研究生活を終えたばかりの担当者は思っています。

春学期は、担当者による講義を中心に授業を進めます。参加する諸君にほとんど予備知識がないことを想定しながら、中東地域の政治、法、文化、社会において圧倒的な重要性を持つイスラームという宗教は如何なる宗教なのかというあたりから語り始め、各回重要なテーマを取り上げてわかりやすく説明します。毎回ではありませんが、参加者に講義を聴いて考えたこと、疑問に思ったことなどを短いレポートとして書いてもらい、それに応答するなどして、可能な限り対話的に進めて行きたいと考えています。

秋学期には、春学期の講義内容を踏まえつつ研究テーマを設定し、グループでの発表も行ない、自由な意見交換を試みるつもりです。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを適宜配布します。

〔参考書〕

『新版世界各国史 8 西アジア史 1（アラブ）』佐藤次高編
山川出版社 2002 年

人文科学特論（西洋史）

「イギリス革命（いわゆる「ピューリタン革命」 4 単位 通年
について考える）」

清水 祐司

〔授業科目の内容〕

イギリス革命について認識を深めるとともに、英語で書かれた文献の読み方に慣れるための授業です。

〔教科書〕

『*England in the Seventeenth Century*』, new edn.,
M. Ashley, Hutchinson, London, 1978. (テキストは最初の
授業時間に配布します。)

〔参考書〕

『世界歴史大系 イギリス史 2（近世）』今井宏編 山川出
版社 1990 年 ISBN:4-634-46020-3

(他の参考書は授業中に、必要に応じて紹介します。)

人文科学特論（西洋史）

「マルク・ブロックの歴史学と西洋中世世界」 4 単位 通年
吉武 憲司

〔授業科目の内容〕

20 世紀フランスのもっとも重要な歴史家の 1 人であるマルク・ブロックの著作や彼について書かれた著作を読み、歴史学とはなにか、西洋中世世界とはなにかといった問題を考えてみます。

人文科学特論（民族学考古学）

4 単位 通年

阿部 祥人 安藤 広道
佐藤 孝雄 杉本 智俊
山口 徹

〔授業科目の内容〕

この科目は、考古学及び民族学がどのような関心を持ち、成果を上げてきたのかを簡潔に紹介することを目的としている。文学部史学科民族学考古学専攻の教員 5 名がそれぞれの専門領域について基礎的な講義を行うので、最終的にはこれらの研究の全体像が大づかみで理解できるようになると期待される。担当は、それぞれ阿部が日本考古学（旧石器時代）、安藤が日本考古学（日吉地域の遺跡）、佐藤が環境考古学、杉本がオリエント考古学、山口がオセアニア考古学・民族学である。また、各担者が各地で行なう、各種のフィールドワークにも参加できる。

〔教科書〕

特に使用しない。

〔参考書〕

講義中に随時指示する。

人文科学特論 (国文学) 「日本語・日本文芸の諸相」

石川 透	小川 剛生
川村 晃生	佐藤 道生
藤原 茂樹	松村 友視
屋名池 誠	

4 単位 通年

〔授業科目の内容〕

国文学専攻の専任教員によるオムニバス形式の講義。日本の上代（古代前期）から近・現代にいたる諸ジャンルの、言語・文学・芸能等の諸テキストについて、図像・映像をあわせつつ言語表現を軸として紹介・考察する。国語学・日本語学的、また文献学・書物学的な面からのアプローチがある一方、柳田国男・折口信夫の学統の民俗学的研究法による芸能史・古代学、平安朝漢文を中心とする日中比較文学、中世社会と言語文化の論、メディア論・大衆文化論ともかかわる明治～現代の作家・作品研究、文学と環境・人権・平和の問題——と、その切口・間口は多様かつひろい。

〔教科書〕

なし。担当者ごとに、写本・板本・活字本の影印・複写等の資料を配布。原資料・映像資料等も適宜提示する。

〔参考書〕

担当者ごとに、それぞれの初回および講義内に紹介。

人文科学特論Ⅰ (国文学) 「絵入り御伽草子を読むⅠ」

2 単位 春学期
石川 透

〔授業科目の内容〕

御伽草子は、室町時代から江戸時代前期にかけて成立した短編の物語群である。この御伽草子の中から作品を選び、挿絵を鑑賞するとともに本文を活字本で講読していきたい。また、江戸時代以前制作の、実物の絵巻物や絵入り写本を身近に閲覧する。

人文科学特論Ⅱ (国文学) 「絵入り御伽草子を読むⅡ」

2 単位 秋学期
石川 透

〔授業科目の内容〕

御伽草子は、室町時代から江戸時代前期にかけて成立した短編の物語群である。この御伽草子の中から作品を選び、挿絵を鑑賞するとともに本文を活字本で講読していきたい。また、江戸時代以前制作の、実物の絵巻物や絵入り写本を身近に閲覧する。

人文科学特論Ⅰ (中国文学) / 人文科学特論Ⅱ (中国文学)

「オムニバス「中国学への誘い」」 2 単位 春学期 / 秋学期
…慶應のチャイニーズ・スタディーズ」

(春)山下 輝彦	八木 章好
杉野 元子	
(秋)関根 謙	渋谷 誉一郎
吉永 壮介	

〔授業科目の内容〕

文学部中文専攻の専任スタッフがそれぞれの専門分野から、「中国学＝チャイニーズ・スタディーズ」の入門的な紹介を行います。春学期と秋学期ともに担当者は4回の授業で完結する内容を用意し、古典文学、現代文学、中国語学など多彩なジャンルから、現在もっとも興味深い話をわかりやすく語ります。教材は担当者ごとに準備しますが、テキストのコピーのほかに、映画なども紹介する予定です。

〔教科書〕

テキストなどは各担当者が用意します。

〔参考書〕

授業時に紹介します。

人文科学特論Ⅰ (英米文学) / 人文科学特論Ⅱ (英米文学)

「英語英米文学入門」 2 単位 春学期 / 秋学期
河内 恵子 松田 隆美
大串 尚代 高橋 勇

〔授業科目の内容〕

みなさんはイギリスやアメリカの文学・文化にどのようなイメージをお持ちでしょうか。映像化されたものだけでも、イギリス文学なら『プライドと偏見』『オリバー・ツイスト』『眺めのいい部屋』、アメリカ文学なら『風と共に去りぬ』『華麗なるギャツビー』『スカーレット・レター』など、さまざまな作品が思い浮かぶことでしょう。文学や映画のほか、音楽や芸術などの文化的側面でも、イギリスやアメリカは常に視野に入ってくる国ですし、また「英語」という言葉は、わたしたちがもっとも親しんできた外国語の一つでもあります。

この講座では、英語学・英米文学に関連した様々な話題について、オムニバス形式で授業をすすめます。今年度は特に「英語英米文学入門」と銘うって、英語・言語学やイギリス文学、アメリカ文学に興味はあるがまだよく知らないという初学者に向けて、その基本とさわりの両方をお話ししていく予定です。三田で開講されている英米文学専攻の科目、とくに「英語史」「英文学史」「米文学史」「現代英語学」といった基本科目への導入といった位置づけとなるでしょう。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

各講義で指示され、期末試験の対象となります。

人文科学特論Ⅰ (独文学) / 人文科学特論Ⅱ (独文学)

「映像から考えるドイツ」 2 単位 春学期 / 秋学期
大宮 勘一郎

〔授業科目の内容〕

ドイツの文学、文化に関心を抱いてもらうための授業です。入り口として、ドイツと関連のある映像作品をいくつか見てゆき、その過程で浮かび上がってくる「ドイツ」的なものの姿をとらえ、個々人が考え、さらに一緒に考えてゆきます。材料となるのは絵画、写真、映画作品、歌劇、演劇のような舞台芸術のビデオによる映像化などです。

〔教科書〕

指定しません

人文科学特論Ⅰ (仏文学)

「エッフェル塔百景」

2 単位 春学期

岑村 傑

〔授業科目の内容〕

フランスという何が思い浮かぶでしょう。ジャンヌ・ダルク、マリー・アントワネット、ナポレオンといったフランス史を彩る人物でしょうか。モン・サン・ミッシェル、ノートル＝ダム大聖堂、ベルサイユ宮殿といった今では観光名所でもある建造物でしょうか。あるいはフォアグラやシャネルや『アメリー』といったさまざまな文化の産物でしょうか。しかし、フランスの象徴、パリの象徴といえ、何はさておき、エッフェル塔を忘れるわけにはいかないでしょう。

本特論では、まず、絵画、映画、文学などに描かれたエッフェル塔の姿を紹介し、そこにエッフェル塔が登場することの意味を読み解いていきます。エッフェル塔とは単なる巨大な鉄の塔ではありません。わたしたちが仰ぎ見ているのは、多様なイメージの集積、多様な記憶の総体にはかならないのです。

また、受講者にも、フランスの歴史、文化、社会問題などから自由に選択したテーマについて調査、発表してもらいます。発表をどのように構想、構築するかという技術面についても教授します。

文献資料のみならず視覚資料も多く用い、また受講者間でのディスカッションにも時間を割いて、多彩かつ活発な授業を目指します。

〔教科書〕

プリント (すべて和文) を配布します。

〔参考書〕

『エッフェル塔ものがたり』 倉田保雄著 岩波新書 1983 年

『エッフェル塔物語』 フレデリック・サイツ著 松本栄寿・小浜清子訳 玉川大学出版部 2002 年

『フランスを知る 新〈フランス〉学入門』 東京都立大学フランス文学研究室編 法政大学出版局 2003 年

『記憶の場』 (全 3 巻) ピエール・ノラ編 谷川稔監訳 岩波書店 2002-2003 年

『エッフェル塔』 ロラン・バルト著 宗左近・諸田和治訳、ちくま学芸文庫 1997 年

『エッフェル塔試論』 松浦寿輝著 ちくま学芸文庫 2000 年

人文科学特論Ⅱ (仏文学)

「フランス文学百景」

2 単位 秋学期

岑村 傑

〔授業科目の内容〕

『赤と黒』、『ボヴァリー夫人』、『狭き門』、『失われた時を求めて』、『嘔吐』、『異邦人』……。題名は聞いたことはあるけれど、実際に読んだことはないというフランス小説は多いのではないのでしょうか。しかし、たとえば人文科学特論Ⅰ (仏文学) で扱うエッフェル塔のような、フランスの記憶が刻み込まれている文物を考えるならば、文学もまたその記憶の精髓です。

本特論では、古典といってよい文学作品を取り上げて、そのなかの特徴的な一場面を読解します。作品をすらすらと読むことではなく、細部につまづき、引っかかり、それを契機に調べ、考えていくという、いわば迂遠な読みの方法を実践していきます。

受講者は、「読まず嫌い」だった文学作品に新鮮な魅力を発見できるはずです。

また、それと並行して、フランス文学専攻の専任教員数人が出講し、それぞれ 1 時限を用いて、文学、言語、歴史、文化、映画、舞台などについての専門的な知見を、軽快に講義します。この特別講義によっても、フランスに対して漠然としたイメージしか持っていなかった受講者は、その多様な魅力を存分に知ることになります。

〔教科書〕

プリント (すべて和文) を配布します。

〔参考書〕

『フランス文学史』 田村毅・塩川徹也編 東京大学出版会 1995 年

『記憶の場』 (全 3 巻) ピエール・ノラ編 谷川稔監訳 岩波書店 2002-2003 年

『フランスを知る 新〈フランス〉学入門』 東京都立大学フランス文学研究室編 法政大学出版局 2003 年

社会科学特論Ⅰ (図書館・情報学)

「情報社会、知の公共領域、情報アクセス」 2 単位 春学期

原田 隆史

〔授業科目の内容〕

図書館・情報学では、紙だけではなく最近の新しい媒体までを含んだ情報メディア、蓄積された情報にアクセスするための情報検索、さらには情報メディアの収集・提供・保存のための社会的な制度である図書館をはじめとした情報システムなどについて、様々な観点から取り扱っています。この講義では、図書館・情報学分野の基礎的なことから、種々のトピックをとりあげながら紹介していきます。

春学期に設置されている社会科学特論Ⅰ (図書館・情報学) では、図書館のしくみやたらきを中心にいくつかのトピックを選んで授業を行います。現代の図書館が、図書を保存し貸し出しを行うというだけではない多くの役割を果たしている状況や、映画に見られる図書館の取り扱い方などを取り上げる予定です。

〔教科書〕

特に指定はしません。必要に応じて資料プリントを配布します。

社会科学特論Ⅱ (図書館・情報学)

「情報社会、知の公共領域、情報アクセス」 2 単位 秋学期

原田 隆史

〔授業科目の内容〕

図書館・情報学では、紙だけではなく最近の新しい媒体までを含んだ情報メディア、蓄積された情報にアクセスするための情報検索、さらには情報メディアの収集・提供・保存のための社会的な制度である図書館をはじめとした情報システムなどについて、様々な観点から取り扱っています。この講義では、図書館・情報学分野の基礎的なことから、種々のトピックをとりあげながら紹介していきます。

秋学期に設置されている社会科学特論Ⅱ (図書館・情報学) では、インターネット上のサーチエンジンやデータベースの利用などを題材に情報へのアクセスについて考えます。また、効果的な検索を可能にするためには、どのような仕組みが使われているのかについても検討して行く予定です。その際に、PC を使って実際に検索も行う予定です。

〔教科書〕

特に指定はしません。必要に応じて資料プリントを配布します。

社会科学特論 (社会学)

「現代社会を読み解く」

4 単位 通年

(春)浜 日出夫 / (秋)大貫 恵佳

〔授業科目の内容〕

「格差」「貧困」「雇用」「少子化」「高齢化」「教育」「ナショナリズム」「グローバル化」などをキーワードとして現代社会を多角的に読み解く。

〔教科書〕

新書を中心に 20 冊程度。

〔参考書〕

社会学全般については、『社会学』長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志著 有斐閣

社会科学特論 I (教育学)

2 単位 春学期

真壁 宏幹

〔授業科目の内容〕

近代の条件下で「大人になること」の意味を探っていきたい。まずは、近代欧米で「大人になる」ことの意味やその困難を、カント『啓蒙とは何か』、マックス・ヴェーバー『職業としての学問』、エリクソンのアイデンティティ論などを手がかりに考える。そして、最後、現代日本における「大人になる条件」を考察する。

〔教科書〕

『永遠平和のために / 啓蒙とは何か』カント著 光文社古典新訳文庫 2006 年、『職業としての学問』マックス・ヴェーバー著 岩波文庫 1980 年 (エリクソンに関しては考慮中。)

〔参考書〕

適宜指示します。

社会科学特論 II (教育学)

2 単位 秋学期

藤澤 啓子

〔授業科目の内容〕

この授業では、今日の教育心理学の基礎となった研究を紹介する本を読みます。履修者による発表やディスカッションを通して、教育心理学の基本的な考え方について理解することをめざします。

〔教科書〕

初回授業日に紹介します。

社会科学特論 I (人間科学) /

社会科学特論 II (人間科学)

「調査のための基本的な

2 単位 春学期 / 秋学期

スキル習得」

鈴木 淳子

注) 後期のみ履修は認めません。

〔授業科目の内容〕

質問紙法と面接法について、基本的なスキルを実践的に学ぶことが目標です。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

参考文献リストを講義中に適宜配布します。

自然科学特論 I (心理学)

「現代心理学の基礎と臨床」

2 単位 春学期

山本 淳一

〔授業科目の内容〕

現代の心理学のトピックスから、発達心理学と臨床心理学に関係するテーマを取り上げ、その中に含まれる問題の抽出、研究の進め方、事実の分析方法などについて学びます。ビデオ視聴、グループワーク、レポート発表と討議、簡単なデモンストレーション、などを通して体験的に学んでいきます。授業を通して、現代の科学的な心理学とはどのようなものか、社会の中でどのように活用できるか、についての理解を深めることができます。

〔教科書〕

特に指定しません。資料プリントを配布します。

〔参考書〕

授業内で参考書一覧を配布します。

自然科学特論 II (心理学)

「裁判・捜査における心理学的問題の
実験的検討」

2 単位 秋学期

伊東 裕司

〔授業科目の内容〕

裁判や事件捜査などの手続きにおいては、自白や目撃証言の信頼性をどのように評価するか、目撃者から信頼性の高い情報をできるだけ多く聞き出すにはどうすればよいのか、裁判員が判断をする際にどのようにすれば適切な判断が可能になるのか、など、心理学的な問題が数多く存在する。本講義では、目撃者の記憶、裁判員の判断、嘘の検出、などの問題を取り上げ、問題の指摘、実験心理学的研究の成果を紹介するとともに、このような問題に対する科学的なアプローチの方法についての理解を深めることを目的とする。受講者の人数に応じて、可能な限りグループワークなどの演習形式も取り入れる予定である。

〔教科書〕

『特集「司法における心理学的問題」』伊東裕司・仲真紀子編 心理学評論 48(3) 2005 年

その他、授業時間、web ページを通して紹介します。

2 経済学部

●基礎教育科目

線形代数

2 単位 春学期

池田 薫	笹平 裕史
立谷 洋平	名古屋 創
西岡 久美子	服部 哲弥
山口 祥司	

〔授業科目の内容〕

ベクトルや行列の演算、行列式、その応用として連立1次方程式の解法について学ぶ。これらの知識は多変数関数の解析においても使われるので確実に理解しておく必要がある。講義の中で演習も行い理解を確認しながら進む。

2年次に経済数学I、II、IIIを履修しようとしているタイプIIの学生は必ず履修しておくこと。

〔教科書〕

『線形代数』慶應義塾大学経済学部

〔参考書〕

授業中に指示する。

微分積分

2 単位 秋学期

相原 義弘	厚地 淳
桂田 昌紀	戸瀬 信之
名越 弘文	夏井 利恵
服部 哲弥	光 道隆
湯浅 久利	

〔授業科目の内容〕

2変数関数の偏微分、1, 2変数関数の積分について学ぶ。偏微分は経済学を理解するために必須であり、また積分は統計学で必要となる。講義の中で演習も行い理解を確認しながら進む。

再履修する学生で1変数の微分法をしっかり修得していない場合には春学期の微分積分入門も履修してください。

〔教科書〕

各教員が指定する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

微分積分入門

「微分積分への導入として

2 単位 春学期

1変数微分学の基礎」

相原 義弘	厚地 淳
桂田 昌紀	戸瀬 信之
名越 弘文	夏井 利恵
服部 哲弥	光 道隆
湯浅 久利	

〔授業科目の内容〕

春学期の「微分積分入門」ではイプシロン-デルタ論法に基づく極限概念を導入し、そこから Rolle の定理や Taylor の定理など説明し、さらに、その応用にまで話が及ぶ。演習も織り交ぜながら講義をする予定であるが、講義時間以外にも各学生が自主的な演習を行うことが望ましい。秋学期の「微分積分」では春学期の「微分積分入門」の知識を前提とし講義を行う。従って、春学期に基礎教育選択科目の「微分積分入門」を未履修のものは秋学期必修科目の「微分積分」の合格がきわめて難しくなる（実質的に不可能となる）ので、必ず春学期に「微分積分入門」を履修すること（クラス指定有）。

〔教科書〕

各教員が指定する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

線形代数統論

2 単位 秋学期

池田 薫	笹平 裕史
立谷 洋平	名古屋 創
西岡 久美子	服部 哲弥
山口 祥司	

〔授業科目の内容〕

線形代数に引き続きベクトルや行列について学ぶ。2年次の経済数学I、II、IIIはこの講義の内容を前提とする。講義の中で演習も行い理解を確認しながら進む。2年次に経済数学I、II、IIIを履修しようとしている学生は必ず履修しておくこと。

〔教科書〕

『線形代数』慶應義塾大学経済学部

〔参考書〕

授業中に指示する。

数学概論 I

2 単位 春学期

桂田 昌紀 光 道隆

〔授業科目の内容〕

経済の成長や市場メカニズムなどの、経済の基本的な事項を記述するのに、数学が用いられている。そのため、経済学を理解するのに、数学、特に微分積分の考え方が必要になってくる。数学概論Iでは高校ではあまり数学を勉強してこなかった学生諸君を対象にして、マクロ、ミクロ経済学で必要になる数学を準備する。数学概論Iでは高校の復習をしながら1変数の関数の微分について学ぶ。

〔教科書〕

各教員が指定する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

数学概論 II

2 単位 秋学期

桂田 昌紀 光 道隆

〔授業科目の内容〕

数学概論Ⅰで扱った1変数の関数 $f(x)$ は変数 x の値が決まると1つの値 $f(x)$ が決まるような関数であった。しかし、実際の現象では1つの要因によって決まるということは珍しく、2つ以上の要因によって値が決まるということが多い。そこで、数学概論Ⅱではマクロ、ミクロ経済学で必要になる多変数の関数の微分について学ぶ。

〔教科書〕

各教員が指定する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

世界経済の現状と問題

『世界経済論入門』

2単位 春学期

馬田 啓一

〔授業科目の内容〕

本講義では、最新かつ重要な世界経済の諸問題を平易に解説します。講義を通じて、世界経済の現実の展開に対する学生諸君の関心と理解を大いに高めたい。このため、国際経済学の基礎理論の説明にとどまらず、いま論議を呼んでいる世界経済のトピックス、例えば、貿易摩擦、企業のグローバル化、円レート、通貨・金融危機、WTO交渉、地域統合化、地球環境問題、各国経済事情などをできるだけ講義のテーマに取り上げる予定です。

〔教科書〕

『国際経済関係論』田中素香・馬田啓一編著 文眞堂
2007年 2800円

なお、毎回、簡単なレジュメも一枚配布します。

〔参考書〕

『検証 / 東アジアの地域主義と日本』馬田啓一・木村福成編著 文眞堂 2008年 2800円

『日米経済関係論』青木健・馬田啓一編著 勁草書房
2006年 3300円

『日本の新通商戦略』馬田啓一・浦田秀次郎・木村福成編著 文眞堂 2005年 2600円

『新興国のFTAと日本企業』馬田啓一・大木博巳編著 ジェトロ 2005年 2200円

『政策提言 / 日本の対アジア経済政策』青木健・馬田啓一編著 日本評論社 2004年 2800円

『日本の通商政策入門』青木健・馬田啓一編著 東洋経済新報社 2002年 2800円

世界経済の現状と問題

2単位 秋学期

竹森 俊平

〔授業科目の内容〕

今日の世界経済が抱える課題や問題をとらえ、それを経済理論の立場から検討する。

経済理論についてはテクニカルな説明や数式は使わずに、直観的な「勘所」のみを説明するが、経済理論的に考える能力は必要であるし、またその能力を鍛えるのが、この授業の重要な目的である。また、現状の国際経済問題を考えるにあたっては、過去の経験がたいへん参考になるので、授業の中には歴史的な視野も取り入れる。

〔教科書〕

『世界経済の謎』竹森俊平著 東洋経済新報社

日本経済の現状と問題

2単位 春学期 / 秋学期

大村 達弥 藤田 康範

〔授業科目の内容〕

日本経済は冷戦終焉以降90年代の「失われた10年」を経て、戦後最長の景気拡大期を経験したが、その後は世界金融危機の直撃を受けて、景気は後退している。日本の経済成長や雇用事情に明るい未来はあるのか、少子高齢化時代において、財政や社会保証など長期的課題にどう取り組んでゆくのかなど、日本経済の抱える問題は大きい。このコースでは、初めて経済学を学ぶ諸君に対し、必要な経済学的知識の裏付けを与えつつ、日本経済に関する幅広い問題意識とアップトゥーデイトな視点から、重要なトピックスを取上げて講義をしてゆく。

〔教科書〕

『ゼミナール日本経済入門2008』三橋・内田・池田著 日経新聞社、経済財政白書20年版等。ただし、担当者ごとに異なるので、最初の授業で実際に使用する教科書を確認すること。

〔参考書〕

各担当者が授業の進行に合わせ指示する。

情報処理履修上の注意事項

履修にあたっての学則上の制約などについて

1. 卒業するためには「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」のいずれか1科目2単位を履修し、合格しなければなりません。
2. ただ、これは一科目のみしか履修できないことを意味するわけではなく、複数の情報処理科目を履修することができます。
3. また違うサブタイトルのものであれば同一名称の科目であっても履修することが可能です。たとえば同じ「情報処理Ⅱ」であってもサブタイトルの違う「C言語プログラミングⅠ」と「WWWによる情報発信とサービス提供Ⅰ」の両方を履修できます。（もちろん履修単位上限の範囲を超えて履修はできません。）
4. ただし同一名称の情報処理科目を複数履修する場合、2科目めからは自由科目として履修します。進級や卒業要件として算入される単位数には制約がありますので、注意してください。

進級単位

第2・3学年に設定されている基礎教育科目の進級条件には、「情報処理Ⅰ」2単位、「情報処理Ⅱ」2単位の合計4単位までが含まれます。

卒業要件

- a. 違うサブタイトルの同一科目（「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」「情報処理Ⅲ」）を複数履修した場合は、2科目めからは自由科目としての履修となり、卒業要件には含まれません。
- b. 「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」の片方だけを履修し合格した場合、1科目2単位分が基礎教育科目として卒業要件に認定されます。
- c. 「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」の両方を履修し合格した場合、1科目2単位分が基礎教育科目に、残りの2単位分は卒業単位認定科目として認定されます。
- d. 「情報処理Ⅲ」は履修し合格すると1科目2単位分が基礎教育科目の選択科目として卒業単位認定科目に認定されます。

どのような科目を履修すればよいか

経済学部において「情報処理」は基礎教育科目として位置づけられています。今後、諸君が経済学部で必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的としています。もちろん必要最低限の知識を修得するだけではなく、さらに高度な知識を得られるような科目も用意されています。

諸君は、自らの興味と必要を満たすためにどの科目を受講すべきかを考えて、履修科目を決めましょう。

ただし、科目によっては、ある程度の知識を前提として必要とするものがあります。何もない状態で教室に来てすべてがわかるほど学問というものは甘いものではありません。それは段階を追って必要な科目を履修することによって（もしくは自分で知識を得ることによって）得られるものです。たとえばある科目を履修したいと思ったならば、その科目を履修するために必要な知識は何かを見極め、それを得るために必要な科目を履修したのちに自分がターゲットとする科目を履修する、という履修プランをたてましょう。

各科目を履修するために必要な知識については、各科目の講義要綱に記載されています。また科目によっては、はっきりとある科目の履修を前提としている場合もあります。これらについても講義要綱に記載されています。まず、講義要綱を熟読することが大事です。

過去、時間割の「選択必修科目」という項目だけを見て、わけもわからず高度な内容の講義の教室に学生が多数殺到するという情けない状況が見られました。自分のレベルはどの程度なのか、そして、自分がどういった知識を身につけたいのか、を把握し、各科目でどのようなことをやっているのかを講義要綱で確認してから、科目を選択しましょう。

次に前提とする知識ですが、どの科目をあらかじめ履修すべきかは各科目の講義要綱に記されています。また、必ずしも前提条件というわけではありませんが、関連する知識を提供する科目であるため、履修しておく、別の科目の理解が容易になる、という科目もあります。これらをまとめておきます。

科目名	前提となる科目	関連する知識を提供する科目
情報処理 II (WWWによる情報発信とサービス提供 I)		情報処理 I (UNIX入門)
情報処理 III (WWWによる情報発信とサービス提供 II)	情報処理 II (WWWによる情報発信とサービス提供 I)	情報処理 I (UNIX入門) 情報処理 II (C言語プログラミング I) 情報処理 II (fortran言語による統計データ処理 I)
情報処理 II (C言語プログラミング I)		情報処理 I (UNIX入門)
情報処理 III (C言語プログラミング II)	情報処理 II (C言語プログラミング I)	
情報処理 II (fortran言語による統計データ処理 I)	統計学 I (並行して履修すること)	
情報処理 III (fortran言語による統計データ処理 II)	情報処理 II (fortran言語による統計データ処理 I) 統計学 I 統計学 II (並行して履修すること)	
情報処理 II (Excelによる統計データ処理)	情報処理 I (Windows入門) (もしくはそれ相当の知識) 統計学 I / II (並行して履修すること)	

以上の表と各講義の講義要綱をよく読んで、情報処理科目の履修プランをたてた上で、今年度の履修科目を決めましょう。

履修制限について

情報処理の各科目は講義とともにPCを使った演習を伴うため、配当された教室の定員が履修者数の上限となります。したがって、履修希望者が教室の定員を超えた場合、履修制限を実施することになります。クラス指定のない春学期・火曜3時限の「情報処理 I (Windows入門)」を履修することもできます。この場合は以下を参考にしてください。

クラス指定のある「情報処理 I (Windows入門)」

1. 情報処理 I (Windows入門) は、春学期・火曜3時限の講義を除き、クラス指定が設けられています。諸君は指定されたクラスのコマを履修してください。

クラス指定のない「情報処理 I (Windows入門)」、「情報処理 I (UNIX入門)」、情報処理 II、情報処理 III

1. クラス指定のない科目 (春学期・火曜3時限の情報処理 I (Windows入門)、情報処理 I (UNIX入門)、情報処理 II、情報処理 III) で履修希望者が定員を超えた場合には**事前登録に基づいた履修制限**を行います。
2. 事前登録は、各科目の第1回目の講義 (科目ガイダンス週間中) の際に行いますので、履修希望者は必ず出席するようにしてください。
3. 履修制限を行う場合、この事前登録を行ったものを優先的に扱うことになります。(ただし事前登録者数が教室定員を超えてしまった場合には、事前登録者の中から抽籤を行うことになりますので、事前登録者が必ず履修できるわけではないことはご承知おきください。)

情報処理 I (Windows 入門)

	2 単位	春学期 / 秋学期
有澤	達也	岡 誠
加藤	良信	神林 靖
久野	禎子	中西 はるみ
延澤	志保	山地 秀美

※クラス指定あり

〔授業科目の内容〕

諸君が大学において研究を進めていくにあたっては、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。たとえばさまざまな統計からデータを引っ張ってきたり、さまざまな情報を収集・検索したり、計算をしたり、グラフを描いたり、文献の整理をしたり、大量の文章を書いたり、編集したりする必要がでてくるだろう。しかし扱うべき情報が膨大な場合、できるだけ効率よくおこなっていかなければ、時間はいくらあってもたりなくなる。手と電卓と鉛筆と定規と紙のカードだけで対処しようとしたら日が暮れてしまう。コンピュータはそのような情報処理をおこなうための強力なツールの一つである。

経済学部における経済学・統計学・数学・専門科目などの講義においてもこれらのツールを活用することが求められることは言うまでもない。

また研究の過程において、ネットワークを通じたさまざまな形の情報の受発信をしなければならない局面が発生する。ここで諸君はネットワークを介して（極端に言えば）全世界と対峙することになるわけだが、さまざまな危険から我が身を守らなければならないことは覚悟しなければならない。と同時に自らが無意識のうちに加害者とならないように常に心がける必要もあるのである。

経済学部の情報処理科目は、今後、諸君が経済学部で研究や情報の受発信をするために必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的として設置されている。

その情報処理科目において、この「情報処理 I」は、Windows 搭載のパーソナル・コンピュータ上での文書処理（作成・編集・加工など）・データ処理（計算・グラフの作成など）・情報の受発信（Eメール・WWW など）の方法を講義し、演習を行う予定である。また、それと同時に、ネットワーク社会の中で自らを守り、加害者にならないための基礎知識も身につけてもらうことになる。

〔教科書〕

最初の講義で指示する。

〔参考書〕

最初の講義で指示する。

情報処理 I (Windows 入門) (火 3)

2 単位 春学期
赤林 由雄

※クラス指定なし

〔授業科目の内容〕

諸君が大学において研究を進めていくにあたっては、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。たとえばさまざまな統計からデータを引っ張ってきたり、さまざまな情報を収集・検索したり、計算をしたり、グラフを描いたり、文献の整理をしたり、大量の文章を書いたり、編集したりする必要がでてくるだろう。しかし扱うべき情報が膨大な場合、できるだけ効率よくおこなっていかなければ、時間はいくらあってもたりなくなる。手と電

卓と鉛筆と定規と紙のカードだけで対処しようとしたら日が暮れてしまう。コンピュータはそのような情報処理をおこなうための強力なツールの一つである。

経済学部における経済学・統計学・数学・専門科目などの講義においてもこれらのツールを活用することが求められることは言うまでもない。

また研究の過程において、ネットワークを通じたさまざまな形の情報の受発信をしなければならない局面が発生する。ここで諸君はネットワークを介して（極端に言えば）全世界と対峙することになるわけだが、さまざまな危険から我が身を守らなければならないことは覚悟しなければならない。と同時に自らが無意識のうちに加害者とならないように常に心がける必要もあるのである。

経済学部の情報処理科目は、今後、諸君が経済学部で研究や情報の受発信をするために必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的として設置されている。

その情報処理科目において、この「情報処理 I」は、高校で「情報」科目を履修した程度の知識がある者を対象として、コンピュータを使った情報処理の第一歩、すなわち Windows 搭載のパーソナル・コンピュータ上での文書処理（作成・編集・加工など）・データ処理（計算・グラフの作成など）・情報の受発信（Eメール・WWW など）の方法を講義し、演習を行う予定である。また、それと同時に、ネットワーク社会の中で自らを守り、加害者にならないための基礎知識も身につけてもらうことになる。

と、ここまでは、この講義要綱は他の情報処理 I (Windows 入門) とほとんど変わらない。この講義が他の「情報処理 I (Windows 入門)」と違うのは、教え方（に対する考え方）である。

私の授業の目標、それは、「短期間でバリバリ使えるようになる」ことである。もちろん他の授業でも「使える」ようになることを目指すことは言うまでもない。しかし**本当に使える**ようになるのは実はそう容易なことではない。この講義が行われるのはあくまで大学である。街のいわゆる「パソコンスクール」のようにインストラクターがマンツーマンについて手取り足取り教えたりはしない。半期のたった 12~13 回しかない講義で諸君はさまざまなことを修得しなければならないのである。もちろんソフトのすべての機能について講義の時間内に触れるわけにはいかないのだ。

そのような制約の下で「使える」ようになるために、この授業ではどうするのか。もちろん授業中には概略を説明するだけである。あとは各自で参考書やソフトのヘルプを読みながら**自分で考え、悩み、苦しみながら大量の演習を授業時間外にこなしてもらうことになる**。また、そういうプロセスを経なければ**まともに使えるようにはならない**というのが永年にわたる経験の示すところであり、それが私の信念でもある。くどいようだが、ここは大学であり、諸君は大学生である。教えてもらわなければわからないとか、習った範囲以外の演習はこなせない、というのではあまりにも情けない。示唆をうけたら自分で調べてやってみる。いろいろ自分なりに工夫してみる。これが使えるようになる唯一無二の道である（と私は信じている）。

過去数年にわたって私の授業は学生からはきびしいという評価を受けてきている。それは簡単にはできない課題が毎回のように出される（と学生は感じるらしい。実は 3 回に 2 回の割合なのだが）からである。しかし簡単に答えがでるようなものをやってみたところで「使える」ようにはならないし、つまらないだけである。自分の頭で考えぬき、試行錯誤を繰り返したうえでクリアできてこそおもしろいのではないかと私は思う。そしてそれらの課題は

あとあと必ず直面するような問題に役立つものを厳選してある。諸君を虐めるために無駄にきびしくしているわけではない。

しかしながらこのやり方になじむ学生はそう多くない。だが受講してみても本当に使えるようになったという学生も少なからずいることも確かである。一応この講義の位置づけとしては、高校で「情報」科目を履修した、パーソナル・コンピュータを使用した経験のある学生が主な対象ということになっているが、私の心づもりとしては、初心者でもわかるような、しかしかなりハードな授業という位置づけである（初心者が受講するにはかなりの覚悟が必要であるが）。もちろん経験者にとってもよい復習となるだけでなく、新たな技巧や知識の修得の機会となるだろう。

とはいっても、やることは Word や Excel を使ったものに限られるわけであるし、初心者の少し上をターゲットとした講義であるから、Word と Excel についてある程度の知識がある学生にとっては既知のことばかり教えられることになる可能性がある。それがいい学生は別の情報処理科目を履修すべきだろう。

〔教科書〕

最初の講義で指示する。

〔参考書〕

最初の講義で指示する。

情報処理 I (UNIX 入門)

2 単位 春学期 / 秋学期

丸山 文綱

〔授業科目の内容〕

この授業では、一般的なパソコン（Windows または Macintosh）しか扱ったことのない学生を対象にして、大規模なコンピュータにも使われているオペレーティングシステム（OS）の 1 つである UNIX（あるいは POSIX、LINUX）を通し、主にコマンドラインからコンピュータを操作する方法を学習します。

いわゆるパソコンは、いまや構成や仕組みをあまり知らなくてもひととおり「道具」として使えるようになっています。そのため多くの人は仕組みについて考えることなく、単に便利な道具として使っています。

しかし中身を知らないことにより、ときにはコンピュータを便利に使っているつもりが、コンピュータに振り回されるという皮肉な状況を産むことにもなります。たとえば、自分で新しいことを始めようと思ったり、トラブルに自分で対処しなければならなくなったり、トラブル防止の保守作業を自分でしたりするためには、コンピュータの仕組みと動作原理についての基本的な知識が必要になります。

Windows でも Macintosh でも、OS やアプリケーションは、UNIX 等の、コマンドラインから命令を与えて処理をする、という環境がもとになっています。UNIX の考え方を理解することで、コンピュータそのものの理解はもとより、たとえばコンピュータ業界の現状に関してもより理解しやすくなるはずです。

またネットワークの理解に必要な UNIX の標準的なアプリケーションの紹介もします。日吉では UNIX を通して個人ホームページが持てるようになっていますので、その方法も学習します。必要に応じ、さらに深いところまで説明することもあるかもしれません。

コンピュータの基本を、UNIX を通してひととおり体験、学習することで、コンピュータの理解、さらにコンピュータを使った将来の作業への助けとしてください。

〔教科書〕

特に指定しません。授業ではプリント等を配布するなどして、その回に必要な情報を提供します。

〔参考書〕

特に指定しません。授業ではプリント等を配布するなどして、その回に必要な情報を提供します。

情報処理 II (Excel による統計データの処理)

2 単位 秋学期

赤林 由雄

〔授業科目の内容〕

諸君には「統計学」が必修科目として課せられている。経済を分析するためには統計学の知識は不可欠だと考えられているからである。（経済現象だけではなく、さまざまな現象を計量的に分析しようとするための作法として統計学は必須の知識である。）

ところが統計学では、時間数に比して学ぶことが多く、実際のデータを用いた演習が不足しがちである。（もちろん担当者による差異はある。）また、演習の際には大量の計算が必要であるが、そのために用いられているのは電卓であることが多いようである。（これには学生全員がパーソナルコンピュータを教室に持ち込める環境ではない、という事情もある。）

しかしながら、諸君が三田に来て直面するのは、実際に大量のデータを使った分析であり、その際には電卓での計算などはほとんど考えられず、多くの場合はコンピュータを駆使して計算せざるをえなくなるはずである。

この授業では、統計学の知識に基づいて（・・・といっても現実には忘れてしまっている学生が多いので、復習をかねた話を混ぜながら）、統計学で学んだことをコンピュータで処理する方法、さらには、その前後で必要となるさまざまな処理法（たとえば、経済データを日経 NEEDS などの各種データベースから収集する方法など）について身につけてもらうことを目的としている。この授業を通じて、統計学の知識をより確実なものにし、実際のデータ分析にも強くなってもらおう、というのが、担当者のねらいである。

情報処理 II (C 言語プログラミング I)

情報処理 III (C 言語プログラミング II)

2 単位 春学期 / 秋学期

北川 尚 丸山 文綱

〔授業科目の内容〕

コンピュータとは、あらかじめ与えた手順に従って、終了の指示まで自動的に処理を行う機械です。

C 言語がそなえるポインタを通して、このはたらきを理解してもらうことがこの授業の目的の一つです。

春学期の情報処理 II (C 言語プログラミング I) では、これまで C 言語を学んだことのない学生を対象にして、C 言語の基礎的な内容を紹介します。

秋学期の情報処理 III (C 言語プログラミング II) では、春学期の情報処理 II の内容を前提としてさらに高度な内容を紹介します。

プログラミングを通してコンピュータの処理を理解すれば、自前のアプリケーションの作成や開発もできるようになるでしょう。また、Windows 等のアプリケーションでの高度な操作を容易に行えるようになるでしょう。

〔教科書〕

授業で毎回プリントを配布します。

〔参考書〕

最初の講義で指示します。

情報処理 II (Fortran 言語による統計データ処理 I)

情報処理 III (Fortran 言語による統計データ処理 II)

2 単位 春学期 / 秋学期

赤林 由雄

〔授業科目の内容〕

諸君が大学において研究を進めていくにあたって、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。その際、強力なツールになるのはコンピュータであり、その処理の多くはワードプロセッサや表計算ソフト、統計処理パッケージなどのアプリケーションソフトで対処できるものである。しかしながらそこでできるのはあくまでお仕着せの処理であり、必ずしもかゆいところに手が届くような仕様になっているとは限らない。自分が本当にやりたいことをコンピュータにやらせるためには自分でプログラムを組む必要がある。そのためには何か一つ言語を習得しておくことが必須の条件である。

また自分でプログラムを組むことにより、コンピュータがさまざまな処理をどのようにおこなっているかの一端が理解できるようになる。これは決して無駄なことではない。この経験はアプリケーション・ソフトを使用している際に発生するさまざまなトラブルに遭遇したときに生きてくる。計算機での一般的な処理がわかればある程度の対処の仕方がわかってくるのである。

私が担当する情報処理 II・III では、fortran 言語を使ったプログラミングを扱う。

この fortran はコンピュータが実用化した当初からあるプログラミング言語であり、主に科学技術計算に使われている。計算機科学の専門家にはいつも時代遅れというレッテルを貼られ、まもなく廃れるであろうと言われ続けながらもしぶとく生き残ってきている言語である。それは大型コンピュータでもパーソナル・コンピュータでもそれほど使い勝手が変わらず、**初心者にとっては理解が容易な言語**だからというのがその理由の一つである。おそらく実際の処理に使える段階に到達する速度は他の言語よりもかなり早いのではないだろうか。

諸君はこの言語によるプログラミングを通じて、コンピュータで情報を処理するためにはどのような手順をふむべきかを修得してほしい。ここで一つの言語と処理の手順をものにできれば、他の言語での処理の修得はかなり楽なものになるだろう。

また経済学部の学生がよく使う**計量分析用のパッケージ TSP**はもともと fortran 言語で開発されたという経緯があり、fortran 言語に近いコマンド体系をとっている。したがって fortran を学ぶことにより、TSP を違和感なく高いレベルで使えるようになるだろう。

春学期の情報処理 II ではプログラミング言語 fortran の基本的な文法と基本的なアルゴリズム（処理の手順）の修得を目的とする。これはあくまで基本である。この基本を前提として、秋学期の情報処理 III では諸君が経済学の研究を行っていくうえで実際に遭遇するであろうさまざまな事例を解決していくためのプログラミング技法の修得を目的とする。実際のデータを扱う場合、さまざまなデータの性質をふまえて処理をする必要がある。数値計算をするとき、統計処理をするとき、また大量のデータを効率的に処理しようとするとき、その場面に応じて必要となる技法がある。それらを具体例に即して覚えていき、この講義が終わったと

きには使えるプログラムを組めるようになることがこの講義の目標なのである。

〔教科書〕

『FORTRAN77 入門』 浦昭二編 培風館

〔参考書〕

・『et al. NUMERICAL RECIPES —The Art of Scientific Computing—』, William H. Press, Cambridge

・『岩波コンピュータサイエンス FORTRAN77 最適化プログラミング』 茨城俊秀・福島雅夫著 岩波書店

情報処理 II (WWW による情報発信とサービス提供 I)

「—HTML による情報発信 (HTML 2 単位 春学期とスタイルシート) —」

細川 達己

〔授業科目の内容〕

当科目では、Web ページを作成できる HTML 関連の知識を習得することを目的とする。ただし、いわゆる個人の趣味的なページの作成に必要な能力ではなく、企業や各種団体のページなど、より公的な意味を持つページを作っていく技術の習得に目標を置き、Web 関連の技術と方法論について学んでいく。

このような Web ページでは、単に画面のデザインや内容だけではなく、サイトのトータルデザインや、さまざまな環境における使いやすさ、そして視覚障害者への対応など、個人の Web ページをつくる以上に考慮すべき事項が多くあり、またそれらは必ずしも「技術的」なものではない。

当科目では、日吉 ITC の使用权（アカウント）と keio.jp 教育支援システムの使用权を持っていることを前提としている。また、パソコンや Web ブラウザに関しても、基本的な操作の知識を持っていることが望まれる。テキストエディタ（Windows なら「メモ帳」でもよい）を使ってテキストファイルを作成することが必要である。

当科目の対象は、例えば次のような人である。

- ・Web ページを作ったことはあるが、より実地的な Web ページの作り方に興味がある
- ・はじめて Web ページを作りたいと思っており、HTML の書き方に興味がある
- ・CGI などを将来的に作ってみたいと思っている

なお、当科目では、各種プラグイン等の HTML にあまり関係のない話題はあえてテーマから外し、HTML とスタイルシートに話題を絞る。また、いわゆる HTML エディタは使用せず、HTML を直接テキストエディタで記述することで、HTML の持つ意味を理解しながら学習していく。そして最終的には HTML エディタのようなツールをよりよく使えるようになることや、CGI を作成する基礎となる HTML の知識を得ることを目的とする。

まずは「Web のコンテンツを書き、インターネット経由で公開する」ということが、従来の印刷による出版やワープロによる文章作成とどのように異なる性質を持つかという、もっとも根本的な問題からはじめ、その性質を踏まえて HTML（とスタイルシート）の使用法、活用法を学習していく。

〔参考書〕

- ・『XHTML+CSS スタンダード・デザインガイド』 エ・ビスコム・テック・ラボ著 毎日コミュニケーションズ 2005 年
- ・『ユニバーサル HTML / XHTML』 神崎正英著 毎日コミュニケーションズ 2000 年

情報処理 III (WWW による情報発信とサービス提供 II) 「—CGI によるサービス提供—」

2 単位 秋学期

細川 達己

〔授業科目の内容〕

HTML による静的な Web 情報提供サービスに動的な要素を加えたのは CGI であり、他にもさまざまな動的コンテンツに関する技術が出て来た現在でも、もっとも重要な技術のひとつである。

CGI はインターネットに対して、計算機資源を用いたサービスを公開する技術であり、従来であればネットワークプログラミングの経験豊かなプログラマーが行なうことが多かったものである。このため、CGI を製作するには、ネットワークのセキュリティに対する一般的な知識も重要である。

また、情報処理 II (WWW による情報発信とサービス提供 I) で取り上げたさまざまな HTML に関する知識を前提として、より公的なサービスに適用できる CGI の作り方を取り上げていく。

CGI のプログラミング言語としては、基本的に Perl を使用する。Web サーバとして Apache httpd をインストールした Unix サーバを利用し、その上で演習を行なう。

当科目は、情報処理 II (WWW による情報発信とサービス提供 I) を前提とする。

対象となるのは、例えば以下のような人である。

- ・CGI の作り方に興味がある、プログラミングに興味がある
- ・Web サーバの管理をしたいと思っている、あるいはする予定がある
- ・ネットワークの管理者となる可能性がある

〔参考書〕

『CGI プログラミング入門 第二版』秋本祥一・古川剛著 翔泳社 2002 年

統計学 I

「データの記述・統計的推測・仮説検定」 2 単位 春学期

赤林 由雄 秋山 裕
稲葉 由之 河井 啓希

〔授業科目の内容〕

- (1) 統計的記述 (実際のデータをどのように捉えるか)
- (2) 統計的推測 (標本から母集団の特徴をどのように推定するか)
- (3) 統計的検定 (理論的主張をどのように検定するか)
を学ぶことにより統計的分析の基礎を身につける。

講義のみならず、演習も重視し、コンピュータを用いての統計処理の解説も行う。

〔教科書〕

第 1 回の講義において担当教員から指示がある。

〔参考書〕

第 1 回の講義において担当教員から指示がある。

統計学 II

「回帰分析・社会科学分野における応用・統計学の数理的基礎」 2 単位 秋学期

赤林 由雄 秋山 裕
稲葉 由之 河井 啓希

〔授業科目の内容〕

- (1) 回帰分析 (複数の変数の間の因果関係についての分

析) を学ぶことにより、経済理論の実証の基礎を身につける。

- (2) 応用分析 (様々な経済・社会現象を統計的に分析) を学ぶことにより、統計学を現実社会で幅広く応用する力を身につける。

- (3) 統計学の数理的基礎を学ぶことにより、より高度な統計的分析に備える。

講義のみならず、演習も重視し、コンピュータを用いての統計処理の解説も行う。

〔教科書〕

第 1 回の講義において担当教員から指示がある。

〔参考書〕

第 1 回の講義において担当教員から指示がある。

●専門教育科目

経済史 I

2 単位 春学期

飯田 恭 崔 在東
長谷川 淳一 藤田 幸一郎
矢野 久

〔授業科目の内容〕

経済史の入門的講義を行う。三田で欧米経済史、日本経済史、アジア経済史等を学ぼうとしている学生に対して基礎的知識を与え、また、理論、政策を中心に、学ぼうとしている者に対しては、その視野を広めることを目的とする。地域的には欧米を主に扱うことになる。

〔教科書〕

担当者が個別に指定する。

〔参考書〕

担当者が適時に提示する。

経済史 II

2 単位 秋学期

神田 さやこ 小室 正紀
杉山 伸也 古田 和子
柳沢 遊

〔授業科目の内容〕

15 世紀 - 20 世紀の中国・日本を中心とするアジアの経済史について入門的講義を行う。この講義の目的は、経済学を学習するために必要な歴史的視野の拡大と、日本経済史およびアジア経済史についての基礎的な知識を習得してもらうことにある。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

『世界経済史入門：欧米とアジア』長岡新吉・太田和宏・宮本謙介編 ミネルヴァ書房 1992 年

マクロ経済学初級 I

2 単位 春学期

伊藤 幹夫 酒井 良清
瀬古 美喜 山田 太門

〔授業科目の内容〕

国民所得あるいは国民総生産の大きさは、国民の経済活動の水準を示す指標である。その高さと変動の性質が、雇用と物価に影響を与え、国民の生活水準に影響を及ぼす。国民総生産、失業率、物価などの指標を見ながらそれらの統御を目指す政策をマクロ経済政策という。「マクロ経済学初級 I、II」では、まず経済学の基本的な考え方を説明した上で初歩のマクロ経済学を説き、マクロ経済政策の有効性や経済変動の問題を考える基礎を与える。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

- 『クルーグマン マクロ経済学』ポール クルーグマン・ロビン ウェルス著 大山他訳 東洋経済新報社 2009 年
 『スティグリッツ 入門経済学』第 3 版 ジョセフ・E・スティグリッツ著 藪下他訳 東洋経済新報社 2005 年
 『スティグリッツ マクロ経済学』第 3 版 ジョセフ・E・スティグリッツ著 藪下他訳 東洋経済新報社 2007 年
 『マンキュー マクロ経済学 (1) 入門篇・(2) 応用篇』N. グレゴリー・マンキュー著 足立他訳 東洋経済新報社 1995 年、1996 年
 『マクロ経済学』〈上・下〉第 2 版 オリヴィエ・ブランシャール著 東洋経済新報社 2003 - 2004 年
 『ゼミナール経済学入門』第 4 版 福岡正夫著 日本経済新聞社 2008 年
 『完全マスター・ゼミナール経済学入門』4 版用 瀬古美喜・渡辺真知子著 日本経済新聞社 2009 年

マクロ経済学初級 II

2 単位 秋学期

大平 哲 塩澤 修平
 白井 義昌 西 孝

〔授業科目の内容〕

「マクロ経済学初級 I」で習得する知識を前提として、引き続きマクロ経済学の講義を行う。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

参考書については、「マクロ経済学初級 I」を参照のこと。

ミクロ経済学初級 I

2 単位 春学期

須田 伸一 津曲 正俊
 中村 慎助 丸山 徹

〔授業科目の内容〕

「ミクロ経済学初級 I、II」では、ミクロ経済学の入門的内容を講義する。消費者と生産者の選択が成立させる需要法則と供給法則を分析すると同時に、希少資源の配分問題を解く一つの経済メカニズムである「市場機構」の分析手法を学ぶ。これらの分析を通じて「市場機構」の機能に関する理解を深めることを目標とする。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

- (1) 入門書 (経済学部以外の学生をも対象としたもの)

『クルーグマン ミクロ経済学』ポール クルーグマン・ロビン ウェルス著 大山他訳 東洋経済新報社 2007 年

『スティグリッツ ミクロ経済学』第 3 版 ジョセフ・E・スティグリッツ著 藪下他訳 東洋経済新報社 2006 年

『ミクロ経済学』伊藤元重著 日本評論社 2003 年

『ミクロ経済学の基礎』第 2 版 矢野誠著 岩波書店 2001 年

『ミクロ経済学の応用』矢野誠著 岩波書店 2001 年

『ミクロ経済学入門』2 版 奥野正寛著 日本経済新聞社 1990 年

『入門・ミクロ経済学』石井安憲・西條辰義・塩澤修平著 有斐閣 1995 年

『経済学・入門』塩澤修平著 有斐閣 1996 年

(2) 中級 (経済学部教養課程)

『ゼミナール経済学入門』第 3 版 福岡正夫著 日本経済新聞社 2000 年

『完全マスター・ゼミナール経済学入門』3 版用 瀬古美喜・渡辺真知子著 日本経済新聞社 2000 年

『ミクロ経済学入門』第 2 版 西村和雄著 岩波書店 1995 年

『ミクロ経済学』武隈慎一著 新世社 1989 年

『入門ミクロ経済学』ハル・R. ヴァリアン著 佐藤隆三監訳 勁草書房 2000 年

(3) 中級以上 (経済学部教養課程あるいはそれ以上)

『ミクロ経済学 I、II』奥野正寛・鈴木興太郎著 岩波書店 1985 年、1988 年

『ミクロ経済学講義』根岸隆著 東京大学出版会 1989 年

『Microeconomic Analysis』Hal R. Varian, 3rd ed. Norton, 1992.

ミクロ経済学初級 II

2 単位 秋学期

石橋 孝次 グレーヴァ香子
 玉田 康成 穂刈 享

〔授業科目の内容〕

「ミクロ経済学初級 I」で習得する知識を前提として、引き続きミクロ経済学の講義を行う。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

参考書については、「ミクロ経済学初級 I」を参照のこと。

経済思想の歴史 I

「経済思想史研究入門」

2 単位 春学期

池田 幸弘

〔授業科目の内容〕

経済思想史研究についての入門的の講義。主として、イギリス古典派からカール・マルクスまでの経済思想を扱う。経済学全体についての見通しを失ってしまった学生諸君も少なくないかもしれないが、本講義では経済思想史を主題として扱うかわら、経済学全体についての鳥瞰図、そして経済学の各分野の連関などについて一定の理解を与えることも意図している。できるだけ平易な講義を志したい。制度上の強制ではもちろんないが、後期に開講される経済思想の歴史 II もあわせて履修されること

を勧める。さらに理解が深まるであろう。なお、経済学会編の『スタディ・ガイド』を使用するので、履修希望者は持参されたい。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

授業時に指示する。

経済思想の歴史Ⅰ

「経済学」の作り方」

2 単位 春学期

伊藤 誠一郎

〔授業科目の内容〕

どんなに経済学が人気のない、“ひからびた”学問になったとしても、今日なお社会が経済学によってもっとうまく表現され、分析されていることは否定しようのない事実である。しかし、そもそも経済学はそのような社会の原理を説明するものとして「発見」されたものだったのだろうか。本講で見ていく経済思想の歴史では、じつは経済学は「発見」されたのではなく作り出されたのだということがわかる。経済学の生誕をつげたアダム・スミスにいたるまでも、そしてその後スミスをさまざまなかたちで信奉する人々のあいだでもつねに、自分たちの生きる社会を説明するもつとも説得的な道具立てを作り出すことが試みられてきた。社会は、経済は、なにによって最うまく表現できるのか。貨幣なのか、労働なのか、貿易なのか。こうしたさまざまな試みが経済学を形づくってきたといえる。本稿では17世紀からマルクスに至るまでの時代の、イギリスを中心とするヨーロッパを舞台として、こうした問題を考えていきたい。

〔教科書〕

使用しない。必要な資料はその都度配布する。

〔参考書〕

『福祉の経済思想家たち』小峯敦編 ナカニシヤ出版 2007年

『啓蒙のエピステーメーと経済学の生誕』田中秀夫編 京都大学学術出版会 2008年

経済思想の歴史Ⅱ

「経済学の成立から古典派および

2 単位 春学期

マルクスまで」

神代 光朗

〔授業科目の内容〕

1890年にマーシャルの『経済学原理』が登場するまでは、経済学はすぐれて政治経済学（political economy）と言われ、理論・歴史・政策を統一した体系的な且つ政治的な学問としての特質と名称をもっていた。そして、この体系的統一の導きの糸こそが経済思想または歴史的ヴィジョンなのである。しかるに近年、とりわけこの10数年来、経済学の著しい専門・細分化の下で、現実世界の不安定に対応しきれない経済学の危機といわれる現状がある。本講義では、重商主義からはじまり、古典学派をへて、マルクスに到る経済思想の概略を講じ、経済学のそもその成り立ちを考え、それによって経済学という学問の特質とあり方を考察したい。

〔教科書〕

特にスタンダードな教科書はない。履修者は必ず出席をし、ノートを自らとることを心掛けてほしい。

〔参考書〕

- ・『経済学史講義』著作集第2巻 内田義彦著 岩波書店 または未来社（復刻版あり）
- ・『社会認識の歩み』内田義彦著 岩波新書
- ・『経済学史』馬渡尚憲著 有斐閣

経済思想の歴史Ⅱ

「日本の経済思想」

2 単位 秋学期

小室 正紀 蔦木 能雄

〔授業科目の内容〕

この講義は、日本における経済思想史を扱う。学期の前半は、小室が担当し、江戸時代から明治初期までを扱い、後半は、蔦木が担当し明治時代から大正時代頃までを対象とする。

広く経済現象や経済問題についての考え方は、時代とともに変化するとともに、もちろん、国・地域・文化圏によっても相互に異なる。現代のように情報や知識が瞬時に世界を駆け回る時代においてさえも、国により経済についての考え方の違いはあるが、時代をさかのぼればさかのぼるほど、その違いは一層大きい。それは、それぞれの国や地域により社会形態が異なり、また特定の知性・学問・宗教などの伝統もあり、経済思想もその影響を受けざるを得なかったからである。そして、このような歴史的な相違は、単に過去の問題にとどまらず、現代の思想にも深く影響し、現実世界における経済思想の違いを形づくっていると言える。

そのような中で、日本の経済思想の特質を歴史的に把握することは、日本に特別な関心を抱く者の単なる興味を越えて、世界的に極めて大きな意義をもっている。従来、経済思想の歴史は、欧米における展開を中心に論じられてきた。それは、近代資本主義が世界に先駆けて成長したのが欧米であったからである。しかし、現代世界は、欧米のみでなく、多くの文明圏に資本主義経済が存在し、またそれを目指している国々が至る所にある。そして、日本は、非欧米世界の中で、最も早く、近代資本主義へと進んだ国であった。日本が歴史的に経験した、固有の経済思想の展開と、欧米から導入された思想や経済システムとの軋轢・融合の経過は、単に日本のみの問題ではなく、多くの非欧米圏の経済思想の問題でもある。

そして、このような非欧米の事例を考えることなしに、現代世界の経済をグローバルな視点で理解することもまた出来ないのである。

なお、講義を江戸時代から始めるのは、その時期に、日本独自の経済社会の始動とともに、中国の思想の影響をうけつつも、日本独自の経済思想が形成されてくるからであり、それが、明治以降の経済思想の隠れた原型をなしていると考えられるからである。また明治初期については、小室が主に江戸時代から見る視点で扱い、蔦木が、明治以降の出発点としての視角から扱い、両者が取り上げることになる。講義の最後は、大正期ないし昭和恐慌の開始前に置かれる。これは、その時期をもって、「日本の近代化」に一応の区切りがつけられると考えるからである。

〔教科書〕

使用せず。

〔参考書〕

『日本の経済思想四百年』逆井孝仁・藤原昭夫他編 日本経済評論社 2000年

『日本の経済思想』テッサ・モリス・スズキ著 岩波書店 1991年

『日本経済思想史読本』杉原四郎・長幸男編 東洋経済 1979年

経済思想の歴史 II

「経済思想と社会のヴィジョン」

2 単位 秋学期

佐藤 方宣

〔授業科目の内容〕

この科目では限界革命以降の経済思想の展開について講義します。新古典派や制度学派の興隆、厚生経済学の展開、ケインズ『一般理論』の登場からその批判へ…といった現代に至るプロセスを、いくつかのテーマごとに論じていきます。その際、経済思想の歴史を単線的な理論の発展史として捉えるのではなく、経済社会をめぐる多様な理念・思想の展開の歴史として論じてみたいと思います。経済理論や政策論の背後にある望ましい社会や経済についてのヴィジョンの相違に注目し、それぞれの時代において人々がどのような問題に直面していたのか、そして個々の経済学説・経済思想はそれに対しいかなるかたちで解答しようとする試みであったのか、という点に注意を払って学んでいただければと思います。また必要な範囲で、倫理学や政治哲学など関連諸領域の論議についても積極的に紹介していきます。

〔参考書〕

『福祉の経済思想家たち』小峯敦編 ナカニシヤ書店
2007年 ISBN:9784779501524

経済思想の歴史 II

「江戸時代の経済思想」

2 単位 秋学期

三島 憲之

〔授業科目の内容〕

本講義では、江戸時代の「経世論」を中心とした経済思想を取り扱います。その際、経済思想の前提となる様々な思想状況についても、基礎から解説する予定です。

〔教科書〕

『日本の経済思想四百年』杉原四郎ほか編著 日本経済評論社

経済数学 I

2 単位 春学期

厚地 淳 戸瀬 信之
西岡 久美子

〔授業科目の内容〕

1年生の「微分積分」(履修タイプ I)と「数学概論 II」(履修タイプ II)に続いて多変数関数の微分とその応用について学ぶ。

ミクロ経済学やマクロ経済学などで使われる数学の定理について証明をつけて解説するのでこれらの分野をきちんと理解したい人は是非履修して下さい。また3、4年次に数学を使う分野を学びたい場合にも「経済数学 I」は履修しておいた方がよいでしょう。

線形代数、線形代数統論の知識を前提とするので、これらの科目を履修しなかった学生が講義を理解することは不可能です。

必要となる線形代数の知識は、行列の演算、行列式、余因子展開、ベクトルの1次従属、1次独立、固有値、2次形式、実対称行列の符号判定などです。

〔教科書〕

各担当教員が指示する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

経済数学 II

2 単位 秋学期

厚地 淳 戸瀬 信之
西岡 久美子

〔授業科目の内容〕

経済数学 I に続き多変数関数の極値問題について学ぶ。

経済数学 I に比べて証明が長くなり難度も上がるので、レベルアップを目指し意欲的に取り組む学生向けである。

この科目を履修するためには経済数学 I の内容を十分に理解しておく必要がある。

〔教科書〕

各担当教員が指示する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

経済数学 III

「最適化とゲームの数理」

2 単位 秋学期

中山 幹夫

〔授業科目の内容〕

この講義では、最適化理論とゲーム理論の初歩について学び、経済学で必要な数理的思考と分析力を身につけます。

〔教科書〕

特に指定せず、適宜、講義資料を配布します。Web サイト
<http://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakayama/gakubu.html>
からダウンロードできるものもあります。

〔参考書〕

より詳細な数学的基礎の勉強には、たとえば

『経済学・経営学のための数学』岡田章著 東洋経済新報社 2001年 3200円などが薦められます。

『経済学のための最適化理論入門』西村清彦著 東大出版 1990年は経済学への応用に重点を置く参考書です。

経済と環境

「自然の人間のかかわり」

2 単位 春学期

青木 健一郎 細田 衛士

〔授業科目の内容〕

本講義は、環境問題を自然科学および社会科学(経済学)の目で眺め、問題が一体どこにあるのか、問題解決のために現象をどのように理解したらよいかを提示することを目的とする。環境問題と一口にいってもその現象形態・内容は多様である。もとより、すべての環境問題を語りつくすことはできないので、我々が学生諸君と共有したいと思っている問題を講義の中で提示したい。環境問題に的確に対処するためには、既成概念にとらわれることのない見方が必要である。履修を希望する学生には、柔軟な思考をすることを求めたい。現代のみでなく、歴史の中の環境問題にも目を留め、環境問題がいつの時代にもどこにでもあったことを明らかにする。歴史の中の環境問題と対比することによって現代の環境問題の特徴を明確にすることも本講義の一つの目的である。とりわけ身の回りの環境問題にスポットをあて、環境と経済のかかわりについて解き明かして行きたい。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

授業中に提示する。

経済と環境

2 単位 春学期

武山 政直 松原 彰子

〔授業科目の内容〕

今日の経済活動を取りまく自然、社会、情報の分野の諸環境に注目し、そこに見られる最近の話題や問題の理解を通じて、経済活動をそれらの「環境」から多様にとらえる視座と視点を獲得する。

経済と環境

「自然の人間のかかわり」

2 単位 秋学期

清水 健一 細田 衛士

〔授業科目の内容〕

本講義は、環境問題を自然科学および社会科学（経済学）の目で眺め、問題が一体どこにあるのか、問題解決のために現象をどのように理解したらよいかを提示することを目的とする。環境問題と一口にいてもその現象形態・内容は多様である。もとより、すべての環境問題を語りつくすことはできないので、我々が学生諸君と共有したいと思っている問題を講義の中で提示したい。環境問題に的確に対処するためには、既成概念にとらわれることのない見方が必要である。履修を希望する学生には、柔軟な思考をすることを求めたい。現代のみでなく、歴史の中の環境問題にも目を留め、環境問題がいつの時代にもどこにでもあったことを明らかにする。歴史の中の環境問題と対比することによって現代の環境問題の特徴を明確にすることも本講義の一つの目的である。とりわけ身の回りの環境問題にスポットをあて、環境と経済のかかわりについて解き明かして行きたい。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

授業中に提示する。

経済と環境

2 単位 秋学期

武山 政直 福山 欣司

〔授業科目の内容〕

今日の経済活動を取りまく自然、社会、情報の分野の諸環境に注目し、そこに見られる最近の話題や問題の理解を通じて、経済活動をそれらの「環境」から多様にとらえる視座と視点を獲得する。

計量経済学概論

「経済分析における統計的方法」

2 単位 秋学期

秋山 裕

〔授業科目の内容〕

コンピュータの発達および普及に伴い、経済現象を統計的に分析することは実社会でもごく当たり前の時代になってきました。計量経済学は、経済現象を統計的に分析するにあたって生じる様々な問題を解決していく研究分野であり、計量経済学概論は、統計学 I を履修した学生諸君を対象とした計量経済学の入門

コースです。この秋山クラスは、経済現象として国際経済分野の例を中心として取り上げます。

講義を受けるだけで統計的分析を身に付けるのは難しいため、実際の経済データを用いての演習を行うことが不可欠となっています。そのため、講義においてはコンピュータを用いた分析の解説も行います。コンピュータでは、R（統計ソフト）および MS Excel（表計算ソフト）を利用します。

本講義は入門コースなので、複雑な数式の展開は避け、図を用いての直感的理解を重視し、大変な計算はコンピュータに任せて進めていきます。

〔教科書〕

『R による計量経済学』第 1 版 秋山裕著 オーム社

2009 年 ISBN:978-4-274-06748-8

〔参考書〕

第 1 回の講義において担当教員から指示します。

計量経済学概論

「経済分析における統計的方法」

2 単位 秋学期

河井 啓希

〔授業科目の内容〕

計量経済学(Econometrics)とは、観察可能な経済データからその資料の発生メカニズムを経済理論にもとづいて推測する方法を示すものである。一般に経済分析に登場するデータは自然科学のように条件をよくコントロールされた実験データではないため、経済分析固有の統計的問題がこりうる。この授業では、統計学で学んだ知識を確認しながら、経済分析固有の問題を実例を交えて紹介していく。

〔教科書〕

『計量経済学』浅野哲・中村二朗著 有斐閣

〔参考書〕

『計量経済学』山本拓著 新世社

『計量経済学(第 3 版)』蓑谷千鳳彦著 東洋経済

計量経済学概論

2 単位 秋学期

田中 辰雄

〔授業科目の内容〕

計量経済学の基礎を講義する。2 年生の段階では知識を広げるより、基礎的分析手法を確実に身につけた方がよいので、話題を絞ってトレーニングを行う。2 回に 1 回はパソコンを使って演習を行い、受講生はデータを打ち込み、回帰分析を走らせるという作業を自ら行うことになる。統計解析のためのソフトは、エクセルを使う予定である。したがって、エクセルの操作に慣れておいてもらって講義の理解がスムーズだろう。

前提とする知識は、学部の統計学の知識だけである。講義の中で数式で説明した事は、そのあとグラフで補完して直感的な理解が得られるように工夫するので、数式の苦手な諸君も意欲さえあれば理解できるであろう。ただし、自分でパソコンを操縦することを厭わないという決意だけはしておいていただきたい。成績は 2 回課すレポートを中心につける。計量分析は経済理論の実証という意味もあるが、それ以外に実世界に出てから使う場面が多い手法なので、この機会に是非覚えておく事をおすすめする。景気予測、支店の売上予測、マーケティング、コンサルティングなどの分野で計量分析が使われることは多い。将来留学を考えている人、国際機関に出て働きたい人も学んでおいて損は

ないだろう。「数字に強い」というのは将来の諸君の大きなセールスポイントになる。

なお、教室で同時に使えるパソコン台数に限りがあるため、受講人数に制限（100名強）がかかる。これを越える希望者が出た場合は、春学期冒頭に簡単なレポートを課して受講者を選ぶ予定である。掲示に注意されたい。

社会問題 II

2 単位 春学期
井手 英策

*社会問題 II を春学期、社会問題 I を秋学期に開講します。

〔授業科目の内容〕

この講義では、所得格差や非正規雇用問題、少子高齢化、医師不足など、現在の日本で起きつつあるさまざまな社会問題を取りあげる。特に、1) 今日、明治以来の近代化と戦後改革を経て形づくられたわが国の社会システムがどのように変化しつつあるのか、2) その変化を受けて生じる社会問題に対して政府がどのように対応したのか、しなかったのか、3) こうした私たちの社会の歴史が他の先進諸国のそれと比べてどのような特色を持つのか、といった観点に即して講義を行うこととする。

〔参考書〕

『希望の構想』神野直彦・井手英策編 岩波書店 2006 年

社会問題 I

2 単位 秋学期
倉沢 愛子

*社会問題 II を春学期、社会問題 I を秋学期に開講します。

〔授業科目の内容〕

東南アジアの開発途上国が抱えている様々な社会問題を、ミクロな観点からとりあげ、個別な事例を紹介しつつ考察する。開発途上国の中でも特に、倉沢が専門とするインドネシアの具体的な例をとりあげ、「開発」がもたらした影響や社会変容を考察しながら論じていく。そこには日本などの先進国がかけているのはまったく異なる社会問題が存在する。理解をたやすくするために毎回、写真やビデオを見せながら授業をする。

〔教科書〕

『ジャカルタ路地裏フィールドノート』倉沢愛子著 中央公論新社 2002

マルクス経済学 I

2 単位 春学期
北村 洋基 神代 光朗
延近 充

〔授業科目の内容〕

カール・マルクスの主著『資本論』は、資本主義社会の経済的運動法則を解明することを目的として、資本主義経済の特質を総体的に明らかにした著書である。同書が出版されて 1 世紀以上過ぎたが、資本主義のメカニズムを構造的・体系的に明らかにした著書として、今日においてもなお有効性をもっている。

もちろん今日の資本主義はマルクスの時代とはかなり変化したところもある。「マルクス経済学」は資本主義の変化をも踏まえながら、現代資本主義を総体として把握するとともに、現代経済の

諸問題を批判的に解明する理論的基礎を提供することを目的としている。

〔教科書〕

担当者が個別に指定する。

〔参考書〕

担当者が個別に指定する。

マルクス経済学 II

2 単位 秋学期
北村 洋基 駒形 哲哉
延近 充

〔授業科目の内容〕

「マルクス経済学 I」における叙述を参照されたい。

〔教科書〕

担当者が個別に指定する。

〔参考書〕

担当者が個別に指定する。

解析学入門 I

「距離空間と位相構造」 2 単位 春学期
池田 薫

〔授業科目の内容〕

以下に述べる授業計画を見て数学科のカリキュラムと見紛うかもしれません。しかし今問題となっているサブプライムローンなど金融工学やファイナンスを理解するためには必要不可欠な基礎知識です。解析学入門 I では主に n 次元ユークリッド空間の位相空間としての性質について講義します。例えば有理数を基にして実数を厳密に定義し 1 年のときに学習した中間値の定理を証明したり、有界な閉区間を n 次元に一般化したコンパクト集合というものを定義し最大最小値の原理を証明します。位相空間論とは通常我々が使っている「近い、離れている」あるいは「繋がっている、断絶している」といった概念を抽象化した概念でデータ処理などで幅広く応用されています。

この科目は三田における解析学 Ia、Ib、II のための基礎科目になります。意欲のある学生諸君の聴講を期待しています。

〔教科書〕

『解析学入門』西岡久美子著 慶応義塾大学経済学部

〔参考書〕

『解析概論』高木貞治著 岩波書店

解析学入門 II

「多変数関数の微分とリーマン積分」 2 単位 秋学期
池田 薫

〔授業科目の内容〕

マクロ経済学・ミクロ経済学・金融工学を学ぶ上での必要不可欠な基礎知識です。最初に偏微分、全微分について講義します。さらに逆関数の定理と陰関数の定理を証明しラグランジュの未定乗数法の厳密な証明を行います。次に多変数関数のリーマン積分を定義します。これは 3 年次に学習するルベグ積分論へのちょうど良い橋渡しとなるでしょう。この講義の履修には「解析学入門 I」の履修が必要です。

〔教科書〕

『解析学入門』西岡久美子著 慶応義塾大学経済学部

〔参考書〕

『解析概論』 高木貞治著 岩波書店

確率論入門 I

2 単位 春学期

厚地 淳

〔授業科目の内容〕

近年、金融業務のリスク管理のために確率論を用いる手法が盛んに用いられている。「金融工学」という言葉を諸君は聞いたことがあるだろうが、金融工学を学ぶためには、それなりに数学の「修行」が必要である。そのために、経済学部 2 年生に対して開講するのが「確率論入門 I、II」および「解析学入門 I、II」である。東京工業大学、一橋大学などでは、すでに金融工学の大学院が開設されているが、この科目はその進学をサポートすることをその目的の一つとしている。もちろん、金融工学に興味を持たないものも、確率的な発想は知的に生きるための一つの知恵であるので、履修する価値は十二分にある。確率に関しては、「統計学 I、II」でも、初歩的なことを学ぶことができるが、それでは将来、金融工学を学ぶために不十分であろう。また、「統計学 I、II」では、数学的に厳密な構成がなされていない部分が多いが、この講義では完全とは言わないが、それなりに数学的な論理性を重視して教えるつもりである。その意味で、「統計学 I、II」の別の意味での理解を促す役割も果たしたいと考えている。多くの計算実例を与えるので、「統計学 I、II」の演習ともなるであろう。講義の内容は常に具体的なモデルや実例を多く用いて理解を促すつもりである。そのために、多くの計算練習をしてもらう予定である。

確率論入門 I では初等確率論の問題から始め、主に離散的な値をとる確率変数や、離散集合上の分布を扱う。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

『確率・統計入門—数理ファイナンスへの適用』森真・藤田岳彦著 講談社

『穴埋め式確率・統計らくらくワークブック』藤田岳彦・高岡浩一郎著 講談社

『モデルで学ぶ確率入門』ピエールブレモー著 シュプリングァーファーク東京

その他いろいろあるので、講義時に適宜紹介する。

確率論入門 II

2 単位 秋学期

厚地 淳

〔授業科目の内容〕

この科目では、前期の「確率論入門 I」に引き続き、確率論の初歩を学ぶ。前期では離散的なモデルを多く扱うが、後期では連続的なモデルを多く扱うこととする。後期だけの履修は望ましくない。数学は積み上げていくものであり、一夜にして理解することは不可能だからである。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

『確率・統計入門—数理ファイナンスへの適用』森真・藤田岳彦著 講談社

『穴埋め式確率・統計らくらくワークブック』藤田岳彦・高岡浩一郎著 講談社

『モデルで学ぶ確率入門』ピエールブレモー著 シュプリングァーファーク東京

その他いろいろあるので、講義時に適宜紹介する。

簿記 a / 簿記 b

2 単位 春学期 / 秋学期

高久 隆太

〔授業科目の内容〕

簿記は、「帳簿記入」の略称と言われ、企業の日々の経済活動を勘定科目と貸借記入原則によって記録・計算・整理し、その結果として財産計算と損益計算とを同時に行う記録システムである。

本講義では、日商簿記 3 級取得を目標に、複式簿記の基礎から決算手続きに至るまでを学習する。簿記には、固有の専門用語やルールがあり、初学者には困難があるが、練習問題を通じて計算に慣れることで理解を図る。

〔教科書〕

『平成 21 年新検定簿記講義 3 級商業簿記』加古宣士・渡部裕巨編著 中央経済社

簿記 a / 簿記 b

「財務諸表の技術的基礎」

2 単位 春学期 / 秋学期

李 精

〔授業科目の内容〕

複式簿記とは、企業の行う経済活動を帳簿に複式記録することによって、企業の財政状態と経営成績を明らかにするものである。財政状態は貸借対照表（バランスシート）、経営成績は損益計算書によって示されるが、これらは複式簿記の手続きを経て誘導的に作成される。貸借対照表や損益計算書は企業の決算書類であるが、財務諸表と呼ばれる。

本講義は、複式簿記の基礎知識を提供するものであり、決算に至るまでの一巡の簿記手続きの理解を図ることを目的としている。

〔教科書〕

『エッセンス簿記会計』新田忠誓編著 森山書店

※なお、演習用に問題集を使うことも予定している。

●総合教育科目**経済数学入門 I**

2 単位 春学期

戸瀬 信之

〔授業科目の内容〕

この科目では経済学を学ぶために必要な数学、特に微分積分と線形代数を学びます。経済学部の 1 年生の数学の科目と異なり、経済学で用いるということを念頭において講義内容を構成します。

〔教科書〕

コアテキスト『経済数学』戸瀬信之著 新世社

〔参考書〕

『経済学とファイナンスのための基礎数学』伊藤幹夫・戸瀬信之著 共立出版

『早わかり経済数学』西村和雄著 日本評論社

経済数学入門 II

2 単位 秋学期

戸瀬 信之

〔授業科目の内容〕

この科目では、前期の「経済数学入門 II」に続き、経済学を学ぶために必要な数学、特に微分積分と線形代数を学びます。後期は確率・統計の内容も少し触れます。前期と同様に、経済学部の1年生の数学の科目と異なり、経済学で用いるということを念頭において講義内容を構成します。特に、後期ではミクロ経済学と計量経済学を念頭に講義します。

〔教科書〕

コアテキスト『経済数学』戸瀬信之著 新世社

〔参考書〕

『経済学とファイナンスのための基礎数学』伊藤幹夫・戸瀬信之著 共立出版

『早わかり経済数学』西村和雄著 日本評論社

データ解析 I

「線形モデルとデータ」

2 単位 春学期

今泉 忠

〔授業科目の内容〕

近年、データを解析して、それをどのような観点から比較評価するかがより重要になってきた。そこでは、評価の視点を明確にし、他の比較検討が十分に可能なようにする必要がある。その場合、収集されたデータを分析するだけでなく、そのようなデータを生じせしめると考えられる構造を推測することにより、より一般的な推論が可能となる。

この講義では、特に、説明変数と被説明変数が想定される場合のデータ解析について講義する。受講者が、

(1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる

(2) 多変量データについて統計分析が可能となること

を目標にする。これらのために、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

〔教科書〕講義プリントは web サイト <http://stat.tama.ac.jp/> よりダウンロードできます。**データ解析 II**

「特徴の抽出」

2 単位 秋学期

今泉 忠

〔授業科目の内容〕

近年、データを解析して、それをどのような観点から比較評価するかがより重要になってきた。そこでは、評価の視点を明確にし、他の比較検討が十分に可能なようにする必要がある。その場合、収集されたデータを分析するだけでなく、そのようなデータを生じせしめると考えられる構造を推測することにより、より一般的な推論が可能となる。

この講義では、特に、多変量データが得られた場合に、それを要約する場合のデータ解析について講義する。受講者が、

(1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる

(2) 多変量データについて統計分析が可能となることを目標にする。これらのために、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

〔教科書〕講義中に指定する。講義資料などのプリントは web サイト <http://stat.tama.ac.jp/> よりダウンロードできます。

分析用ソフトウェアとしては、R を用いる。

データ解析入門 I

「データを探る」

2 単位 春学期

今泉 忠

〔授業科目の内容〕

ある事柄についてデータをもとに分析する場合が多くなってきた。この講義では、統計学にもとづいてデータを解析する観点からのデータ解析について講義する。特に、1 変数の場合のデータ解析について講義する。講義では、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

受講生に関しては、以下のことが行えることを目標とする。

(1) データから基礎的な統計推論が可能となる

(2) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる

〔教科書〕講義プリントは web サイト <http://stat.tama.ac.jp/> よりダウンロードできます。**データ解析入門 II**

「データによるモデル構成を行うには」

2 単位 秋学期

今泉 忠

〔授業科目の内容〕

ある事柄についてデータをもとに分析する場合が多くなってきた。この講義では、統計学にもとづいてデータを解析する観点からのデータ解析について講義する。特に、2 変数の場合について講義する。講義では、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

受講生に関しては、以下のことが行えることを目標とする。

(1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる

(2) 2 変数間の関係について、仮説構築、検討、評価を行うことができる

〔教科書〕講義プリントは web サイト <http://stat.tama.ac.jp/> よりダウンロードできます。**ファイナンス数学 I**

「線形代数と微分・積分で理解する

2 単位 春学期

ファイナンス理論の基礎」

伊藤 幹夫

〔授業科目の内容〕

この授業では、ファイナンスに関する基礎理論を題材にして、学習者が必要となる解析学と線形代数、確率論を学ぶことを目的とする。特に、微分積分を使つての、金利（収益率）の計算に親しむこと。不確実性の取り扱いに不可欠な確率論を、既習の微分・積分の知識を通じて、履修者が理解することを目標とする。

〔教科書〕

指定しません

〔参考書〕

『経済学とファイナンスのための基礎数学』 伊藤幹夫・戸瀬信之著 共立出版

『金融経済学の基礎』 池田昌幸著 朝倉書店

ファイナンス数学 II

「線形代数と微分・積分で理解する

2 単位 秋学期

デリバティブの理論」

伊藤 幹夫

〔授業科目の内容〕

この授業では、ファイナンスに関する基礎理論を題材にして、学習者が必要となる解析学と線形代数を学ぶことを主目的とする。特に、証券価格決定理論の一般理論・デリバティブ価格の決定に関する理論などの、基礎であるリスク中立確率とマルチンゲールを、微分・積分の学習を通じて、履修者が理解することを目標とする。

〔教科書〕

指定しません

〔参考書〕

『経済学とファイナンスのための基礎数学』 伊藤幹夫・戸瀬信之著 共立出版

『金融経済学の基礎』 池田昌幸著 朝倉書店

3 法学部

●数学・統計・情報処理科目

基礎数学Ⅰ

「社会科学と数学的思考」

2単位 春学期

名取 良太

〔授業科目の内容〕

本講義は、社会現象を解明するツールとしての数学、あるいは数学的思考の体得を目的とします。

社会現象を解明するとき、われわれは知らず知らずのうちに、数学的な発想を用いています。そこで本講義では、その無意識の部分を意識的に取り上げ、社会科学における数学を学んでいきます。講義では、難しい数式は出てきません。皆さんと一緒に、数学的思考について考えたいと思います。

春学期は、正しい指標の作り方から、社会秩序の形成に関わるパレート最適やナッシュ均衡までを取り上げます。

〔教科書〕

とくに使いません。

〔参考書〕

適宜、紹介します。

基礎数学Ⅱ

「社会科学と数学的思考」

2単位 秋学期

名取 良太

〔授業科目の内容〕

本講義は、社会現象を解明するツールとしての数学、あるいは数学的思考の体得を目的とします。

社会現象を解明するとき、われわれは知らず知らずのうちに、数学的な発想を用いています。そこで本講義では、その無意識の部分を意識的に取り上げ、社会科学における数学を学んでいきます。講義では、難しい数式は出てきません。

秋学期は、ゲーム理論、社会的選択の理論、ベイズ統計学など、社会現象を解明するさまざまなモデルについて、できるだけ分かりやすく説明します。また、履修者自身にも、これらのモデルを用いて社会現象を考えてもらいます。

〔教科書〕

とくに使いません。

〔参考書〕

適宜、紹介します。

基礎統計学Ⅰ

2単位 春学期

中野 文平

〔授業科目の内容〕

コインを何回か振ったとき表が出る回数は、およそ $1/2$ と予想されるが、実際、10回程度振ったとき、いつも振った回数の $1/2$ だけ表が出るとは限らない。しかし、多数回振れば、表が出る回数は、 $1/2$ にだんだん近くなるであろう。このような現象は、私たちの身の回りにいろいろあり、たくさんさんのデータがあって

初めてその様子が分かる現象である。ここでは、多数あるデータの取り扱いの基礎を解説する。

1章 順列・組み合わせ

- (1) 順列
- (2) 組み合わせ
- (3) 二項定理と組み合わせ

2章 確率

- (1) 専門用語と記号
- (2) 和の法則
- (3) 乗法定理
- (4) 余事象の定理
- (5) ベルヌイ試行
- (6) λ レの臨界値

3章 確率変数と確率分布

- (1) 離散型確率変数
- (2) 連続型確率変数
- (3) 確率の平均
- (4) 分散・標準偏差
- (5) 確率変数の変換

4章 代表的な確率分布

- (1) 二項分布
- (2) 二項分布の平均・分散・標準偏差
- (3) 大数の法則
- (4) 正規分布
- (5) 標準化正規分布
- (6) 標準化正規分布とその応用

5章 データの整理

- (1) 頻度分布
- (2) 頻度分布表
- (3) 累積分布関数
- (4) 資料の代表値

〔教科書〕

『確率・統計学入門』勝野恵子著 八千代出版

〔参考書〕

『知の統計学』福井幸男著 共立出版

基礎統計学Ⅱ

2単位 秋学期

中野 文平

〔授業科目の内容〕

基礎統計学Ⅰでは確率の基礎とデータ整理まで学んだので、後期では体重と身長の関係などの扱い方、シミュレーション実験の基礎としての乱数の発生と使い方、標本調査の話などを解説する。基礎統計学Ⅰを学んでいることを前提として進める。

6章 相関関係

- (1) 共分散
- (2) 相関関係
- (3) 相関係数
- (4) 回帰直線

7章 確率現象のコンピュータシミュレーション

- (1) 乱数とは

- (2) 一様乱数
- (3) 正規乱数
- (4) 二項乱数
- (5) Excel を用いた様々な乱数の発生と分布の作成

8 章 母集団と標本

- (1) 母集団
- (2) 標本調査
- (3) 確率変数の一次結合の平均と分散
- (4) 中心極限定理

9 章 推定

- (1) 点推定
- (2) 不偏推定量
- (3) 母平均の区間推定
- (4) t 分布
- (5) 母比率の区間推定
- (6) カイ自乗分布
- (7) 母分散の区間推定

10 章 仮説検定

- (1) 帰無仮説
- (2) 片側検定と両側検定
- (3) 平均値の検定

〔教科書〕

『確率・統計学入門』勝野恵子著 八千代出版

〔参考書〕

『知の統計学』福井幸男著 共立出版

数学 I

「政治学と数学的思考」

2 単位 春学期
名取 良太

〔授業科目の内容〕

本講義は、政治現象を解明するツールとしての数学、あるいは数学的思考の体得を目的とします。

近年の政治学では、政治現象を解明するときに、しばしば数学を用います。しかし、それは論理的に考えた結果として用いているに過ぎません。そこで本講義では、“論理的に考える”ことからスタートし、数学という道具が便利なツールであることに気づいてもらえるように進めていきます。難しい数式は一切出てきません。

春学期は、指標の作成、政治に関する指標の検討、多数決や意志決定、選挙行動について、論理的・数学的に考えていきます。

〔教科書〕

とくに使いません。

〔参考書〕

適宜、紹介します。

数学 II

「政治学と数学的思考」

2 単位 秋学期
名取 良太

〔授業科目の内容〕

本講義は、政治現象を解明するツールとしての数学、あるいは数学的思考の体得を目的とします。

近年の政治学では、政治現象を解明するときに、しばしば数学を用います。しかし、それは論理的に考えた結果として用いているに過ぎません。そこで本講義では、“論理的に考える”ことから

スタートし、数学という道具が便利なツールであることに気づいてもらえるように進めていきます。難しい数式は一切出てきません。

秋学期は、国会（議会）、官僚制、国際政治、社会シミュレーションについて考えていきます。

〔教科書〕

とくに使いません。

〔参考書〕

適宜、紹介します。

数学 III

「行動科学における数学（集合論）」

2 単位 春学期
松岡 勝男

〔授業科目の内容〕

数学は、自然科学・工学はもとより、社会科学・人文科学におけるいろいろな現象の解明のための基本的な道具としての役割を果たしている。そこで、テーマとしては、

- (1) 現代数学の最も重要な基礎をなし、哲学や論理学の現代化にも著しい影響を与えている「集合論」
- (2) 確率論をはじめとして、物理学・工学・統計学・制御理論・学習理論・OR など、非常に広汎な分野に現れる「エントロピーとマルコフ連鎖」
- (3) 経済・社会・政治などで現れる競争状態の数学的モデルを扱う「ゲームの理論」などについて、適宜選択の上、「行動科学における数学」という立場から講義する。

〔教科書〕

特に指定しません。

数学 IV

「行動科学における数学

2 単位 秋学期

（エントロピーとマルコフ連鎖）」

松岡 勝男

〔授業科目の内容〕

数学は、自然科学・工学はもとより、社会科学・人文科学におけるいろいろな現象の解明のための基本的な道具としての役割を果たしている。そこで、テーマとしては、

- (1) 現代数学の最も重要な基礎をなし、哲学や論理学の現代化にも著しい影響を与えている「集合論」
- (2) 確率論をはじめとして、物理学・工学・統計学・制御理論・学習理論・OR など、非常に広汎な分野に現れる「エントロピーとマルコフ連鎖」
- (3) 経済・社会・政治などで現れる競争状態の数学的モデルを扱う「ゲームの理論」などについて、適宜選択の上、「行動科学における数学」という立場から講義する。

〔教科書〕

特に指定しません。

統計学 I

「データリテラシーの習得」

2 単位 春学期

広田 すみれ

〔授業科目の内容〕

（※今年度は昨年度までと内容・進め方が変更になるので注意すること）

前半は数量的情報の的確な読み取り方、犯しやすい誤りについて、現実社会のデータなどを事例に紹介し、データリテラシー

を習得し、またさまざまなグラフの作成法およびグラフを使ったプレゼンテーションの基礎を学ぶ。また、今年度は確率分布と社会現象の関係についても紹介する。

後半はデータを記述するための基本的な統計量を習得する。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『The visual display of quantitative information 2nd ed』Tufte, E R, Graphic Press, 2001.

『確率論とその応用』W.フェラー著 紀伊國屋書店 1960 年

『読む統計学 使う統計学』広田すみれ著 慶應義塾大学出版会 2005 年

統計学 II

「データの記述と予測、推測の基礎」

2 単位 秋学期

広田 すみれ

〔授業科目の内容〕

(※今年度は昨年度までと内容・進め方が変更になるので注意すること)

推測統計学 (区間推定、統計的検定の基礎)、モデルへのデータの当てはめなど。

〔教科書〕

『読む統計学 使う統計学』広田すみれ著 慶應義塾大学出版会 2005 年

〔参考書〕

『Introduction to probability and statistics』

Mendenhall, W. & Beaver, R J, Duxbury Press, 1998.

『回帰分析のはなし』蓑谷千風彦著 東京図書 1985 年

その他、適宜授業内で紹介する。

統計学 III

「推測統計学の基礎」

2 単位 春学期

大森 貴秀

〔授業科目の内容〕

統計学の基礎知識 (記述統計・確率分布) を持つ学生を対象に、推測統計の論理と基本的な統計検定の手法を解説します。ばらつきを持ったデータを用いてどのようにして事象の白黒を判断できるのかという検定の論理を理解し、実際の個々の検定手法の使い方を実習を通じて身につけてもらうことを目指します。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『初等統計学』P.G.ホーエル著 培風館 1981 年 1650 円

『統計解析入門』白旗慎吾著 共立出版 1992 年 2400 円

その他、講義内で適宜紹介します。

統計学 IV

「多変量解析の基礎」

2 単位 秋学期

大森 貴秀

〔授業科目の内容〕

統計検定の基礎知識を持つ学生を対象に、より複雑で多数のデータに対しておこなう多変量解析の主な手法について、その論理を解説し、Excel を用いて計算の実習をおこないます。ま

た、SPSS による実習を通して、どのようなデータがあるときに、どの分析法を選び、どうやって分析をおこない、どのように結果を解釈するのかについても学んでもらいます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『多変量統計解析法』田中豊・脇本和昌著 現代数学社 1983 年 2900 円

その他、講義内で適宜紹介します。

情報処理 I / 情報処理 II

「コンピュータリテラシーと Excel を 2 単位 春学期 / 秋学期用いた統計処理の基礎」

恩田 憲一

〔授業科目の内容〕

これからの大学生活や社会に出てからも役に立つ実践的なコンピュータリテラシーの習得を目標として、インターネットとプレゼンテーション、そしてデータ処理に重点を置いた情報処理の講義と実習を行います。この科目では、日吉 ITC の PC を使用して、電子メール、Web 制作、ワードプロセッサ、プレゼンテーション、表計算など、様々な応用プログラムの使い方を学習します。また表計算の授業では、相関や回帰分析など統計学の基礎的な事項や、調査結果の分析に用いられる多変量解析など、法学部の学生としてやがて必要となるデータ処理について、表計算ソフトの Excel を用いた実習を行います。

この科目では、理論と実践の両面から学ぶ事により、「Word と Excel の深い使い方」と「統計処理に関する基礎知識」、そして「ネットとプレゼンテーションに関する正しい知識」の習得を目指しています。

〔教科書〕

講義のはじめに指示します。

〔参考書〕

講義の進行に従い、適宜紹介します。

情報処理 I / 情報処理 II

2 単位 春学期 / 秋学期

木元 宏次

〔授業科目の内容〕

大学のコンピュータを利用して、アプリケーションプログラムの使い方を学習しつつ、コンピュータの仕組みや社会との関わり、情報倫理等についても理解できるようにする。各アプリケーションプログラムの使い方自体を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用した情報の獲得、整理、加工、さらには伝達、発信するための基礎知識を理解することが主目的である。インターネット時代の今日、ネットワーク上でのトラブルや被害から身を守るよう、情報セキュリティの基礎知識についても学んでゆく。

〔教科書〕

講義のはじめに指示する。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介する。

情報処理 I / 情報処理 II

2 単位 春学期 / 秋学期

島田 由美子

〔授業科目の内容〕

日吉 ITC の PC を利用して、法学部において必要となる情報処理技術について、講義と演習を通して身につけてもらうことを目指しています。授業では、コンピュータの使い方について、実際にコンピュータを操作しながら身につけていってもらいますが、それにとどまらず、「情報」とは何か、「情報」の見方、収集、分析の仕方、情報システムなどについても解説していきます。

〔教科書〕

講義中に講義内容に関するプリントを配布します。

〔参考書〕

『入門 情報処理』山本喜一著 JB 企画

その他、応用ソフトに関する参考書、講義内容の理解を深める為の書籍を講義中に必要に応じて指示していきます。

情報処理 I / 情報処理 II

2 単位 春学期 / 秋学期
遠山 朋子

〔授業科目の内容〕

パソコンで使用するワープロなどのソフトウェアの使い方を学びながら、コンピュータの仕組みや社会との関わり・使用上の倫理的注意などを理解する。それぞれのソフトウェアの使い方を学ぶこと自体が目的ではなく、コンピュータとインターネットを駆使して情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達する能力を身につけ、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方以外にも、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、の仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションスキルについても理解することが大切である。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理 I / 情報処理 II

2 単位 春学期 / 秋学期
鼠屋 将志

〔授業科目の内容〕

日吉 ITC のパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わり・使用上の倫理的注意などを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのみではなく、コンピュータの仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについても理解することが大切である。基本的に毎回、IT に関する時事問題の紹介・解説も行うので、新技術や世の中での IT の流れなどについて知識を得てもらおう狙いとしている。

〔教科書〕

基本的には指定なし。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理 I

2 単位 春学期
松永 賢次

〔授業科目の内容〕

コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達するための情報処理の基礎知識を学ぶ。実践的な実習を通して、それをこれからの大学生活や社会に出てからも役立てられるようにすることを目的とする。コンピュータやネットワークの仕組み、利用する上での様々な注意（情報倫理、著作権、セキュリティ、なりすまし、など）についてもあわせて学習していく。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理 II

2 単位 秋学期
松永 賢次

〔授業科目の内容〕

情報処理 I で身につけた情報処理能力を活用して、より実践的な情報処理活動ができるようにする。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理 III

2 単位 春学期
三船 毅

〔授業科目の内容〕

この授業では表計算ソフト (Excel) の基本的操作を習得し、社会科学で必要な情報処理の基礎を学ぶ。特に、政治学、社会学などを学んでいくうえで必要最低限の情報処理およびデータ整理、分析の方法を習得する。また、Excel から進んで SPSS などの統計処理ソフトの初歩的な操作方法を習得する。

〔教科書〕

特に指定しない

〔参考書〕

特に指定しない

情報処理 IV

2 単位 秋学期
三船 毅

〔授業科目の内容〕

この授業では表計算ソフト (Excel) の基本を踏まえ、さらに進んだ内容を習得して、社会科学で必要な情報処理の応用を学ぶ。特に、政治学、社会学などで多用される情報処理、統計分析の具体的な手法を学ぶ。さらに、実際に多様な情報、データを用いて実際に分析を行い、社会を分析する視点を養う。

〔教科書〕

特に指定しない

〔参考書〕

特に指定しない

●自然科学科目

自然科学総合講座 II

「－多様な視点から見た環境・エネルギー問題－」 2 単位 秋学期

秋山 豊子	六車 明
大平 哲	金谷 信宏
小林 宏充	林 秀光
杉本 憲彦	

〔授業科目の内容〕

環境やエネルギー問題を読み解くには、自然科学の知識や考え方が必要であるが、法学や経済学などの視点も必要とされる。この授業は、これらの問題に興味のある学生が、その問題の現状と対策について、多様な視点から学際的に学ぶことを目的としている。自然科学（生物学・物理学・土壌学など）、法学、経済学などの専門分野の教員が、オムニバス方式で同じテーマを異なる専門的立場から講義していく。大きなテーマとして取り上げるのは「地球温暖化や環境の変化」と「エネルギー問題」とし、各担当者が1-2回ずつ、講義していく。テーマは、担当者によってその専門分野に更に絞り込んだ話題として展開する。環境やエネルギー問題を多様な視野から捉え、将来的な対策も総合的に効果的に考えられることが期待される成果である。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

担当者が適宜、紹介します。

自然科学特論 I

「生物多様性の意味－亜熱帯圏の生物達を中心に－」 2 単位 春学期

秋山 豊子

〔授業科目の内容〕

この地球上には300万種から数千万種といわれる動植物が生存しています。それらは多様な環境に適応して、食べ物を得、分解消化して、成長し、次世代を作っていきます。また、お互いに食物連鎖でつながり、生態系を作っています。この授業では、原始生命が生まれて38億年といわれる現在の地球にこの豊かな生物多様性が見られるまでの生き物の歴史を概説し、生物多様性の意味とその維持の重要性について考えていきます。特に、亜熱帯圏の生物達に焦点を当てて、個々の生物学的特徴から全体の生態系を構成するかわりなどを解説します。「生物の多様性」の意義の理解や、「持続可能な地球」のために何をすべきかを学ぶことが最終目的です。マングローブ林や亜熱帯圏特有の生物達について特別招聘講師にも講義を担当してもらう予定です。希望者には、夏休みに西表島への課外授業（マングローブ林の中でのフィールドワーク、サンゴ礁の海でのシュノーケリング、亜熱帯林の中での観察など）も計画しています。これまでの生物学の知識は問いませんが、亜熱帯圏の生物学や生物多様性に関心がある学生に履修を勧めます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

一般的な生物学的知識には『"生きている"ってどういうこと－生命の仕組みを探る生物学－』種田保穂・秋山豊子著 培風館 2006年刊行

自然科学特論 I

「21世紀を生きるために知っていたい化学」 2 単位 春学期
志村 正

〔授業科目の内容〕

宇宙が誕生したのはるか昔から現在まで、そしてこれから先も永遠に、自然科学はきわめて重要な役割を担い続けています。時間の長さから考えれば、最も大切な学問分野であるといっても過言ではありません。しかし、その内容は残念ながら科学者の中だけで取り扱われていて、なかなか一般の人々にまで伝わっていないのが実情です。

この授業では、数ある自然科学分野の中から化学を中心に将来それを専門としない法学部の学生諸君に対して、21世紀を生きるために是非知っておいていただきたい知識をできるだけ分かりやすく講義します。併せて、自然科学的な発想力と思考法を学習していただこうと考えています。

〔教科書〕

講義資料はwebサイト（URLは授業でお知らせします）にアップロードする予定です。

自然科学特論 II

「自然界の資源から有用な材料へ」 2 単位 秋学期
小野 雅之

〔授業科目の内容〕

高校化学でもなじみのある「金属のイオン化傾向」を念頭に置きながら、金属の製法や性質について、実操業の体験などを交えて解説します。併せて金属の歴史、最近注目の金属についても解説します。

〔教科書〕

特に使用しません。資料は適宜配布します。

〔参考書〕

『資源の化学』初版 富永博夫・櫻井宏・白田利勝著 大日本図書 1987年 ISBN:4-477-14609-4 C3343
その他

法 律 学 科

2007年度以降入学者参照

※2007年度以降入学者は下記の表に従ってシラバスを参照してください。

2007年度以降入学者の春学期科目名	2007年度以降入学者の秋学期科目名
法学Ⅰ(憲法を含む)	法学Ⅱ(憲法を含む)
憲法(総論・人権)Ⅰ	憲法(総論・人権)Ⅱ
民法(総論)Ⅰ	民法(総論)Ⅱ
刑法(総論)Ⅰ	刑法(総論)Ⅱ
法制史概論Ⅰ	法制史概論Ⅱ
法学演習(民法)(春)	法学演習(民法)(秋)
	法学演習(憲法)(秋)
法学演習(刑法)(春)	法学演習(刑法)(秋)
憲法(統治)Ⅰ	憲法(統治)Ⅱ
刑法(各論)Ⅰ	刑法(各論)Ⅱ
民法(物権法)Ⅰ	民法(物権法)Ⅱ
民法(債権各論)Ⅰ	民法(債権各論)Ⅱ

2006年度以前入学者参照

※2006年度以前入学者は下記の表に従ってシラバスを参照してください。

2006年度以前入学者の春学期科目名	2006年度以前入学者の秋学期科目名
法学Ⅰ(憲法を含む)	法学Ⅱ(憲法を含む)
憲法ⅠA	憲法ⅠB
民法ⅠA	民法ⅠB
刑法ⅠA	刑法ⅠB
法制史Ⅰ(基礎)	法制史Ⅱ(基礎)
民法演習ⅠA	民法演習ⅠB
憲法ⅡA	憲法ⅡB
刑法ⅡA	刑法ⅡB
民法ⅡA	民法ⅡB
民法ⅢA	民法ⅢB
民法演習ⅡA	民法演習ⅡB

法学Ⅰ(憲法を含む)

2単位 春学期
霞 信彦

〔授業科目の内容〕

本講義は、今後「法」との長い関わりをもつことになるであろう諸君達が、そのスタートにあたって、どうしても知っておかなければならない最も基礎的かつ必須の事項について、共通知識をもってもらうことを目的として開講される。本講義では、まずわが国において「法」を学習するために必要な諸種の基本情報を提供したいと思う。すなわち、法典近代化の経緯、法律関係基本文庫、「六法」の利用方法、法と言葉の諸問題等の内容を講じるつもりである。

〔教科書〕

『法学講義ノート第三版』霞信彦著 慶應義塾大学出版会
授業出席に際しては、必ず「六法」を持参すること（ただし最初の授業において「六法」についてのガイダンスをするので、それを聞いてから選択をすることをすすめる）

〔参考書〕

講義において必要に応じて指摘する。

法学Ⅱ(憲法を含む)

2単位 秋学期
霞 信彦

〔授業科目の内容〕

本講義は、「法学Ⅰ」に連続し、今後「法」との長い関わりをもつことになるであろう諸君達が、そのスタートにあたって、どうしても知っておかなければならない最も基礎的かつ必須の事項について、共通知識をもってもらうことを目的として開講される。ここでは、法の実在形式、法の種類、法の効力、法の解釈と適用等について、逐次述べていきたいと思う。併せて、現行司法制度の概要や今回の司法制度改革の内容（裁判員制および法曹養成を中心に）についても言及するつもりである。受講を通じて、学生諸君の「法」への、より強い興味が喚起できればと望んでいる。

〔教科書〕

『法学講義ノート第三版』霞信彦著 慶應義塾大学出版会
授業出席に際しては、必ず「六法」を持参すること。

〔参考書〕

講義において必要に応じて指摘する。

法学Ⅰ(憲法を含む)

「法律学の基礎」

2単位 春学期
坂原 正夫

〔授業科目の内容〕

「社会あるところに法あり」との法諺（法格言）が示すように、我々は法と無縁に生活することはできない。そこで現実の法はどのような構造をしているのか、どのような原理・原則によって我々の生活に作用しているのかを知る必要がある。本講義は、法および法学についての一般的な知識を体系的に講義することによって、この目的を達成しようとするものである。

秋学期の「法学Ⅱ」担当の加藤修教授とそれぞれが担当する項目を協議した結果、本講義では次のような項目を中心に講義することになった。「法と社会」、「法と道徳」、「法と正義」、「法の実在形式」である。

なお現実には生起する様々な社会問題については、その解釈に法律的なものの見方が求められることは少なくない。そこで必要に応じて時事問題を取り上げ、法学的な視点で解説する場合がある。

〔教科書〕

講義では特定の教科書は使用しない。

〔参考書〕

参考書は必要に応じてその都度、紹介する。本講義を受講した後に、法学の基礎をより一層勉強したい場合に読む本としては、下記の本を推薦する。

- ・『原典による法学の歩み 1』伊東乾著 信山社 1998年 ISBN:4-7972-5138-7
- ・『原典による法学の歩み 2』伊東乾著 信山社 1998年 ISBN:4-7972-5139-5
- ・『法学の基礎』第2版 団藤重光著 有斐閣 2007年 ISBN:978-4-641-12519-3

法学Ⅱ（憲法を含む）

「法学入門各論」

2 単位 秋学期
加藤 修**〔授業科目の内容〕**

- ① 法の種類
- ② 法の効力
- ③ 法の解釈と適用
- ④ 法律世界への実践的講述

「法とは何か」とか「法源論」については、春学期に「総論」として坂原正夫教授によって講義される。

〔教科書〕

特に指定しない。講義において必要かつ充分なことが示される。

〔参考書〕

予習、復習の手がかりとして、霞信彦「法学講義ノート」（最新版）。

更に詳細なものについては、最初の講義の時に説明します。

憲法（総論・人権）Ⅰ / 憲法ⅠA
憲法（総論・人権）Ⅱ / 憲法ⅠB

「憲法原理と基本的人権」

2 単位 春学期 / 秋学期
小林 節**〔授業科目の内容〕**

国家生活の基本法たる憲法の基本原則とその憲法が私達に保障している基本的人権について、標準的な見解を体系的に語る。

〔教科書〕

『憲法』（全訂版）小林節・園田康博著 南窓社

〔参考書〕

『憲法危篤！』小林節・平沢勝栄著 KK ベストセラーズ

憲法（統治）Ⅰ / 憲法ⅡA

「国家権力を管理する法」

2 単位 春学期
小林 節**〔授業科目の内容〕**

- 立法権と立法過程、政党
- 行政権と行政機構
- 財政

〔教科書〕

『憲法』（全訂版）小林節・園田康博著 南窓社

憲法（統治）Ⅱ / 憲法ⅡB

「国家権力を管理する法」

2 単位 秋学期
小林 節**〔授業科目の内容〕**

- 司法権と司法過程
- 憲法訴訟
- 地方自治

〔教科書〕

『憲法』（全訂版）小林節・園田康博著 南窓社

民法（総論）Ⅰ / 民法ⅠA

「民法総則」

2 単位 春学期
平野 裕之**〔授業科目の内容〕**

本講義では、講学上「民法総則」と呼ばれる、民法典の第1編「総則」の部分（1条から174の2条まで）の部分の講義する。専門的な法的知識や応用能力などは、専門演習また法科大学院で習得することになっているので、ここでは、法科大学院の入試で既修者として認定を受けられるために必要な知識を習得できるよう、要領よく判例・学説を説明していく。しかし、法律相談を受けて答えられるような使える知識でなければならないので、なるべく具体的な事例を用いつつ説明をしたい。受講生は必ずその規定がどのような事例にどのように適用されるのか、具体的な思考能力を身に付けていただきたい。

全体的には、1年生を対象としているため、なるべく事例を挙げながら分かりやすい講義に努めたい。対象領域が膨大であるため、なるべくすべての領域を話すことができるようにしたいと思っている。膨大な量がありスピードを上げなければ全部を説明することはできないが、ある程度の予習をしている者がついていける程度のスピードに止める予定である。前期は、教科書の代理の前までを扱う。

〔教科書〕

私の教科書で恐縮であるが、『民法総則（第2版）』平野裕之著 日本評論社 を用いて、これをベースメーカーとして進めていく。詳細な教科書ではあるが、授業では読むべき箇所を指摘しつつ、ポイントを説明するので、基本的には復習用に使ってもらえばよい。

〔参考書〕

特に指定しない。判例ものは教科書の副読本として必ず何かを用意し、講義の予習・復習の際に目を通していただきたい。『民法判例百選Ⅰ』（百選と俗称されるシリーズ）有斐閣、『新判例マニュアル民法Ⅰ総則』三省堂、『判例講義民法Ⅰ総則・物権』悠々社 は解説つきであるが、『民法判例集（総則・物権）』有斐閣 は解説がない。教科書と併読するのであれば、解説のない後者で十分である。

民法（総論）Ⅱ / 民法ⅠB

「民法総則」

2 単位 秋学期
平野 裕之**〔授業科目の内容〕**

本講義では、講学上「民法総則」と呼ばれる、民法典の第1編「総則」の部分（1条から174の2条まで）の部分の講義する。専門的な法的知識や応用能力などは、専門演習また法科大学院で習得することになっているので、ここでは、法科大学院の入試で既修者として認定を受けられるために必要な知識を習得できるよう、要領よく判例・学説を説明していく。しかし、法律相談を受けて答えられるような使える知識でなければならないので、なるべく具体的な事例を用いつつ説明をしたい。受講生は必ずその規定がどのような事例にどのように適用されるのか、具体的な思考能力を身に付けていただきたい。

全体的には、1年生を対象としているため、なるべく事例を挙げながら分かりやすい講義に努めたい。対象領域が膨大であるため、なるべくすべての領域を話すことができるようにしたいと思っている。膨大な量がありスピードを上げなければ全部を説明する

ことはできないが、ある程度の予習をしている者がついていける程度のスピードに止める予定である。後期は教科書の代理から後の部分を扱う。

〔教科書〕

私の教科書で恐縮であるが、『民法総則（第2版）』平野裕之著 日本評論社 を用いて、これをペースメーカーとして進めていく。詳細な教科書ではあるが、授業では読むべき箇所を指摘しつつ、ポイントを説明するので、基本的には復習用に使ってもらえばよい。

〔参考書〕

特に指定しない。判例ものは教科書の副読本として必ず何かを用意し、講義の予習・復習の際に目を通していただきたい。『民法判例百選Ⅰ』（百選と俗称されるシリーズ）有斐閣、『新判例マニュアル民法Ⅰ総則』三省堂、『判例講義民法Ⅰ総則・物権』悠々社 は解説つきであるが、『民法判例集（総則・物権）』有斐閣 は解説がない。教科書と併読するのであれば、解説のない後者で十分である。

民法（総論）Ⅰ / 民法ⅠA

「民法の基本原則と民法総則の基礎理論(1)」 2単位 春学期
松尾 弘

〔授業科目の内容〕

この授業では、民法の基本原則と民法総則の基礎理論を、具体的な事例に置き換えながら、かつ体系的に理解することを目的とする。それによって法律学の基礎知識を身に付け、法的思考方法の基本をマスターするとともに、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。

民法は、私人間の法律関係において、誰に、どのような権利が帰属するのかを決定する実体法の一般原則を定めている。そこには、権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についての基本ルールが含まれている。日本民法はこれらを、総則、物権、債権、親族および相続の5つの部分に分けて規定している。民法（総論）Ⅰ / 民法ⅠAは、このうちの総則の前半に重点を置き、権利の主体および客体について検討するとともに、法律学の基本概念や民法の基本原則についても解説する。

〔教科書〕

『民法の体系——市民法の基礎——（第5版）』松尾弘著 慶應義塾大学出版会 2009年刊行予定

〔参考書〕

講義の際に随時紹介するが、最新改正を取り込んだものとして、以下のものがある。

『民法Ⅰ（第4版）』内田貴著 東京大学出版会 2008年

『民法概論Ⅰ（民法総則）（第4版）』川井健著 有斐閣 2008年

民法（総論）Ⅱ / 民法ⅠB

「民法の基本原則と民法総則の基礎理論(2)」 2単位 秋学期
松尾 弘

〔授業科目の内容〕

この授業では、民法の基本原則と民法総則の基礎理論を、具体的な事例に置き換えながら、かつ体系的に理解することを目的とする。それによって法律学の基礎知識を身に付け、法的思考方法の基本をマスターするとともに、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。

民法は、私人間の法律関係において、誰に、どのような権利が帰属するのかを決定する実体法の一般原則を定めている。そこには、権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についての基本ルールが含まれている。日本民法はこれらを、総則、物権、債権、親族および相続の5つの部分に分けて規定している。民法（総論）Ⅱ / 民法ⅠBは、このうちの総則の後半に重点を置き、権利の変動について検討するとともに、権利の一般原則についても解説する。

〔教科書〕

『民法の体系——市民法の基礎——（第5版）』松尾弘著 慶應義塾大学出版会 2009年刊行予定

〔参考書〕

講義の際に随時紹介するが、最新改正を取り込んだものとして、以下のものがある。

『民法Ⅰ（第4版）』内田貴著 東京大学出版会 2008年

『民法概論Ⅰ（民法総則）（第4版）』川井健著 有斐閣 2008年

民法（物権法）Ⅰ / 民法ⅡA

「—物権法の基本理論を理解する—」 2単位 春学期
斎藤 和夫

〔授業科目の内容〕

1 物権法総論

2 物権変動論（不動産物権変動・動産物権変動）

3 物権法各論（占有権・所有権・地上権・永小作権・地役権・入会権）

〔教科書〕

『レアブーフ民法Ⅱ（物権法）』斎藤和夫著 中央経済社 2009年5月刊行予定（刊行までは、レジメ配布の予定）

〔参考書〕

随時指定する

民法（物権法）Ⅱ / 民法ⅡB

「—担保法の基本構造を理解する—」 2単位 秋学期
斎藤 和夫

〔授業科目の内容〕

①民法典中の担保物権、②民事執行法による実行手続、が二つの柱となります。

〔教科書〕

『レアブーフ民法Ⅲ（担保物権法）』斎藤和夫著 中央経済社 2006年

〔参考書〕

随時、指示します。

『基本法コンメンタール・民事執行法（第5版）』（担保権の実行：斎藤）浦野編 日本評論社 2004年

民法（物権法）Ⅰ / 民法ⅡA

「物権法の基礎と諸問題」 2単位 春学期
武川 幸嗣

〔授業科目の内容〕

民法の物権法に関する講義を行う。当該科目では、物権法入門および総論から、物権変動、占有の意義と機能、所有権、用益物権までを主要な講義対象とする。物権法に関する基本的

理解の確立と問題思考力の養成に資する授業を目指している。
なお、講義は、担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。
〔教科書〕

上記の通り、講義は担当者作成によるレジュメにしたがって行うが、自習用のテキストとして、『民法入門 物権法』第3版 森泉章・武川幸嗣著 日本評論社 を挙げておく。

〔参考書〕

同上

民法（物権法）II / 民法 II B

「担保物権法の基礎と諸問題」

2 単位 秋学期

武川 幸嗣

〔授業科目の内容〕

民法第二編・物権編のうち、担保物権にあたる部分を講義対象とする。民法典に規定されている担保物権のみならず、実務上重要な担保手段についても取り上げる予定である。なお、講義は担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。

〔教科書〕

上記の通り、講義は担当者によるレジュメにしたがって行うが、自習用のテキストとして、『民法入門 担保物権法』第3版 森泉章・武川幸嗣著 日本評論社 を挙げておく。

〔参考書〕

同上

民法（債権各論）I / 民法 III A

2 単位 春学期

北居 功

〔授業科目の内容〕

本講義では、講学上いわゆる債権各論と呼ばれる、債権発生原因論の前半部分を扱う。主として、契約法の基本的なモデルを習得することとなる。具体的には、契約総論と不当利得とを扱う予定である。

〔教科書〕

教科書は指定しない。講義はレジュメに沿って行う予定である。なお、各自六法を持参すること。

〔参考書〕

参考書は、授業の最初に説明する。

民法（債権各論）II / 民法 III B

2 単位 秋学期

北居 功

〔授業科目の内容〕

本講義では、講学上いわゆる債権各論と呼ばれる、債権発生原因論の後半部分を扱う。契約法の各論と不法行為法の基本的なモデルを習得することとなる。

〔教科書〕

教科書は指定しない。講義はレジュメに沿って行う予定である。なお、各自六法を持参すること。

〔参考書〕

参考書は、授業の最初に説明する。

民法（債権各論）I / 民法 III A

「契約および不法行為の基礎理論

2 単位 春学期

（第1部）」

片山 直也

〔授業科目の内容〕

いわゆる「債権各論」中、「契約総論」および「財産権移転型契約（贈与・売買・交換）」の講義を行う。

〔教科書〕

『弘文堂 NOMIKA4-1 債権各論 I』笠井修・片山直也著 2008 年

〔参考書〕

初回の講義の際、解説・紹介する。

民法（債権各論）II / 民法 III B

「契約および不法行為の基礎理論

2 単位 秋学期

（第2部）」

片山 直也

〔授業科目の内容〕

いわゆる「債権各論」中、「契約各論（財産権移転型契約を除く）」、「事務管理」、「不当利得」および「不法行為」の講義を行う。

〔教科書〕

『弘文堂 NOMIKA4-1 債権各論 I』笠井修・片山直也著 2008 年

『弘文堂 NOMIKA4-2 債権各論 II』前田陽一著 2007 年

〔参考書〕

初回の講義の際、解説・紹介する。

刑法（総論）I / 刑法 I A

刑法（総論）II / 刑法 II B

2 単位 春学期 / 秋学期

井田 良

〔授業科目の内容〕

刑法総論の概要とその基本的な考え方を、正確かつ確実に理解してもらえるような講義をしたい。講義の内容は、「犯罪論」が中心となるが、重要な論点については、可能な限り、掘り下げた検討を加えたい。判例と学説に見られる問題解決の論理を、確実に習得してもらえる内容とすることに力を注ぎたい。

〔教科書〕

『講義刑法学総論』井田良著 有斐閣 2008 年

〔参考書〕

入門書としては、『基礎から学ぶ刑事法 [第3版]』井田良著 有斐閣 2005 年 を薦める。

刑法（総論）I / 刑法 I A

「刑法の基礎理論と犯罪論」

2 単位 春学期

伊東 研祐

〔授業科目の内容〕

本講義は、刑法（総論）II ないし刑法 I（秋学期分） / 刑法 IB と実質的には一体化して展開されるものである。刑事法の全体像・枠組みを全法秩序との関連において把握すると共に、その各領域を支配・構成する諸理念・原則等を概観し、特に刑法

に関して詳細に検討し、確実に理解することを、第1の目的とする。次いで、現代社会における刑法犯罪論の基礎知識を学習し、自分なりの体系論の根幹を固めることを第2の目的とする。今後、刑法（各論）I&II・刑事訴訟法・刑事政策・被害者学等々の刑事法を学習していく上で常に立ち返ることの必要な正に基礎となる理論（学）領域を対象とするものである。

〔教科書〕

『刑法総論』伊東研祐著 新世社 2008年

『別冊ジュリスト刑法判例百選I 総論 [第6版]』 有斐閣 2008年

〔参考書〕

授業中に適宜指示する。

刑法（総論）II / 刑法I B

「刑法の基礎理論と犯罪論」

2単位 秋学期

伊東 研祐

〔授業科目の内容〕

本講義は、刑法（総論）Iないし刑法I（春学期分）/刑法IAと実質的には一体化して展開されるものである。刑事法の全体像・枠組みを全法秩序との関連において把握すると共に、その各領域を支配・構成する諸理念・原則等を概観し、特に刑法に関して詳細に検討し、確実に理解することを、第1の目的とする。次いで、現代社会における刑法犯罪論の基礎知識を学習し、自分なりの体系論の根幹を固めることを第2の目的とする。今後、刑法（各論）I&II・刑事訴訟法・刑事政策・被害者学等々の刑事法を学習していく上で常に立ち返ることの必要な正に基礎となる理論（学）領域を対象とするものである。

〔教科書〕

『刑法総論』伊東研祐著 新世社 2008年

『別冊ジュリスト刑法判例百選I 総論 [第6版]』 有斐閣 2008年

〔参考書〕

授業中に適宜指示する。

刑法（各論）I / 刑法II A

刑法（各論）II / 刑法II B

2単位 春学期 / 秋学期

鈴木 左斗志

〔授業科目の内容〕

「刑典第2編罪」に規定されている個別の犯罪の検討

〔教科書〕

『判例刑法各論』西田典之・山口厚・佐伯仁志編 有斐閣

〔参考書〕

最初の講義で説明する。

刑法（各論）I / 刑法II A

刑法（各論）II / 刑法II B

2単位 春学期 / 秋学期

和田 俊憲

〔授業科目の内容〕

刑法各論に関する判例・学説について解説します。

〔教科書〕

『刑法各論〔補訂版〕』山口厚著 有斐閣

『判例刑法各論〔第4版〕』西田典之・山口厚・佐伯仁志著 有斐閣

法学演習（民法）（春） / 民法演習II A

「物権法—実践のための基礎的理解」

2単位 春学期

井上 能裕

* 第2学年対象

〔授業科目の内容〕

弁護士として（法学部出身者と他学部出身者が混在する）企業の総務・法務担当者と日常的に接する中で、法学部出身者の強みは民法の全般的な知識と、「民法的なものの考え方」を持っていることであるとの感を深くしています。その中でも物権法は不動産に関する部分等、実生活や実務に直結した重要度の高い分野を取り扱っています。

このような考えのもと、実社会での適用場面、使われ方を常に意識しながら、物権法における重要概念、論点の解説を行うとともに、判例百選等の重要判例や事例問題の分析・検討を通じて知識の定着と法的思考法の習得を目指します。

主に2年生対象の科目ですので、昨年度実施の民法演習I等より徐々に演習のウエイトを高めていきたいと考えています。また、実務家が担当する以上、当然のことながら、実務の話題にも極力触れていきたいと思っています。

履修者は毎回教科書のあらかじめ指定する範囲を通読の上、講義に臨むことを前提として進めていきます。

〔教科書〕

『民法I（第4版）総則・物権総論』内田貴著 東京大学出版会

『民法判例百選I 総則・物権（第5版新法対応補正版）』有斐閣

〔参考書〕

授業の中で適宜紹介します。

法学演習（民法）（秋） / 民法演習II B

「担保物権法—実践のための基礎的理解」

2単位 秋学期

井上 能裕

* 第2学年対象

〔授業科目の内容〕

担保物権法における重要概念、論点の解説を行うとともに、判例百選等の重要判例や事例問題の分析・検討を通じて知識の定着と法的思考法の習得を目指します。

主に2年生対象の科目ですので、昨年度実施の民法演習I等より徐々に演習のウエイトを高めていきたいと考えています。また、実務家が担当する以上、当然のことながら、実務の話題にも極力触れていきたいと思っています。

履修者は毎回教科書のあらかじめ指定する範囲を通読の上、講義に臨むことを前提として進めていきます。

〔教科書〕

『民法III（第3版）債権総論・担保物権』内田貴著 東京大学出版会

『民法判例百選I 総則・物権（第5版新法対応補正版）』有斐閣

〔参考書〕

授業の中で適宜紹介します。

法学演習（民法）（春） / 民法演習ⅡA**法学演習（民法）（秋） / 民法演習ⅡB**

「判例を題材とした演習」 2単位 春学期 / 秋学期

河合 秀樹

* 第2学年対象

〔授業科目の内容〕

判例の構造、考え方を理解できるようにします。

〔教科書〕

『民法判例百選Ⅱ 債権』 有斐閣

〔参考書〕

『民法Ⅲ[第3版]』内田貴著 東京大学出版会

『民法Ⅱ[第2版]』内田貴著 東京大学出版会

法学演習（民法）（春） / 民法演習ⅠA**法学演習（民法）（秋） / 民法演習ⅠB**

2単位 春学期 / 秋学期

木屋 義範

〔授業科目の内容〕

民法総則の重要判例、事例問題の分析、検討を通じて、民法の知識と法的思考方法の習得を目指します。前半は講義を中心に進めていきますが、後半は受講生にも意見を述べる機会を適宜増やしていきます。授業では条文を参照しますので六法（民法の条文が掲載されていれば可）は必ず授業に持参してください。

なお、履修者は毎回指定した分野について教科書を通読した上で、講義にのぞむことが望ましい。

〔教科書〕

特に指定しませんが、1冊教科書は用意して下さい。

法学演習（民法）（春） / 民法演習ⅠA

2単位 春学期

小坪 淳子

〔授業科目の内容〕

初めて民法を勉強する方を対象に、民法総則の基礎的知識を習得し、法的なものの考え方に慣れることを目標にします。この授業では、一方的に講義を聴くのではなく、積極的に授業に参加して発言することを期待します。

〔教科書〕

特に指定はしませんが、各自何か1冊、民法総則の教科書を用意し、授業の進行に合わせて読み進めてください。なお、六法は必ず持参してください。

法学演習（民法）（秋） / 民法演習ⅠB

2単位 秋学期

小坪 淳子

〔授業科目の内容〕

春学期に続き、民法総則の基礎的理解を前提に、事例問題や判例を題材にして考えながら、民法総則についての理解を深めることを目標とします。

授業では、積極的に自分の意見を発言し、討論に参加することを期待します。

〔教科書〕

特に指定はしませんが、各自何か1冊、民法総則の教科書を用意し、授業の進行に合わせて読み進めてください。なお、六法は必ず持参してください。

法学演習（民法）（春） / 民法演習ⅠA**法学演習（民法）（秋） / 民法演習ⅠB**

2単位 春学期 / 秋学期

中島 美砂子

〔授業科目の内容〕

判例や事例問題の検討を通じて、民法総則について基礎的な知識と考え方の習得を目指します。また、実務家が担当しますので、折に触れて実務の話をしていきます。

〔教科書〕

『民法判例百選Ⅰ 総則・物権』

なお、六法は必ず持参してください。

詳細はガイダンスにて説明します。

〔参考書〕

授業の中で適宜紹介します。

法学演習（民法）（春） / 民法演習ⅡA**法学演習（民法）（秋） / 民法演習ⅡB**

2単位 春学期 / 秋学期

三谷 淳

* 第2学年対象

〔授業科目の内容〕

法律は暗記じゃない。理解し、考えれば、応用できる！！

〔教科書〕

特に指定しません。

法学演習（刑法）（春）

「刑法事例演習」

2単位 春学期

亀井 源太郎

*2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

2年生を対象として、刑法総論に関する重要判例を素材とした演習を行う。具体的には、指定された者による報告の後に、参加者全員による質疑応答を行う形式により講義を進める。

このような方法により、刑法に関する知識を定着させるのみならず、大学生として恥ずかしくない思考力や表現力をも養うことを目指したい。

なお、演習の性質上、参加者の人数を制限する場合があるので(多くとも20名前後が上限と考えている)、参加希望者は、初回に必ず出席すること。

〔教科書〕

『刑法判例百選Ⅰ総論(第6版)』西田典之・山口厚・佐伯仁志編 有斐閣 2008年

〔参考書〕

特に指定しない。

法学演習（刑法）（春）

2単位 春学期

鈴木 左斗志

*2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

2 年生を対象にして、刑法総論の主要問題を検討する。
〔教科書〕
 初回の授業で説明する。
〔参考書〕
 初回の授業で説明する。

法学演習（刑法）（春）

2 単位 秋学期
 鈴木 左斗志

*2006 年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

1 年生を対象にして、刑法総論の主要問題を検討する。
〔教科書〕
 初回の授業で説明する。
〔参考書〕
 初回の授業で説明する。

法学演習（憲法）（秋）

2 単位 秋学期
 小山 剛

*2006 年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

憲法上の権利の「論じ方」「考え方」を習得する上で必要な、最高裁判所の重要判例を精読する。
 昨年度は、薬事法違憲判決、泉佐野事件判決、広島市暴走族追放条例事件判決（平成 18 年）、国籍法違憲判決（平成 19 年）、非嫡出子法定相続分差別事件判決、ノンフィクション「逆転」事件判決等を取り上げた。これらの判決は、それぞれの分野での重要判例というだけではない。本演習では、これらの判例の「全文」を読むことによって、教科書や百選等では習得できない、最高裁判所の「論じ方」「考え方」を学ぶ。

法学演習（民法）（秋）

「民法財産法」
 2 単位 秋学期
 平野 裕之

*2006 年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

教科書を使用して、ソクラテスメソッドでの授業を行う。必要に応じて、私が講義のように解説をすることがある。
〔教科書〕
 『法曹への民法ゼミナール II[債権]』平野裕之著 法学書院 2003 年
〔参考書〕
 なし

法学演習（民法）（秋）

「民法重点事例演習
 （総則・物権・債権各論）」
 2 単位 秋学期
 武川 幸嗣

*2006 年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

1・2 年次において履修されている民法総則・物権・債権各論を対象として、事例演習を通して主要な制度ないし問題点に関する理解を深めることを目的とする。講義内容の理解を確認するだけでなく、もう一步踏み込んで思考力の養成に努めたい。演

習事例は予め配布し、授業に先立って各自で検討してくることを前提として演習を進める。

〔教科書〕
 特に指定しない。
〔参考書〕
 同上。

法律外国語演習（仏）

「フランス法文献の読み方」
 2 単位 春学期
 北澤 安紀

*2006 年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

本演習では、フランス法に関する文献（法令・判例・論文等）を読みながら、フランス法についての理解を深めることを目標とします。フランス法を理解するのに必要な基礎的知識および法律用語等を確認しながら、フランス語の比較的読み易い文献を熟読することで、フランス法の基礎的な文章を理解できるようになることを目指します。
〔教科書〕
 教科書は特に指定しません。フランス語文献については、コピーして配布します。
〔参考書〕
 参考書については、演習の中で必要に応じ紹介します。

法律外国語演習（西）

「法律学のためのスペイン語」
 2 単位 春学期
 前田 美千代

*2006 年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

本講義では、Blanca Aguirre Beltrán 他著の Lenguaje Jurídico をテキストとして使用し、法律用語を中心に法律学に必要なスペイン語力の習得を目指します。
 1 年生のときに履修した法学をスペイン語で勉強するようなイメージですが、その中で日本法との違いを探し、その理由を考えることを通じて、スペイン語の語学力だけでなく、スペイン語圏の法学部生と対等に議論できるだけの知識を深めます。

〔教科書〕
 プリント配布
〔参考書〕
 『スペイン語法律用語辞典』山田信彦編著 信山社 2006 年

法律外国語演習（独）

2 単位 秋学期
 小山 剛

*2006 年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

ドイツ語文献の輪読を行う。何を読むかは受講者と相談のうえ決定するが、憲法総論、基本権総論、法解釈の方法論のいずれかとなしたい。ちなみに、昨年度は、K. Larenz, Methodenlehre der Rechtswissenschaft の一部を読んだ。

法律外国語演習（英）

2 単位 秋学期
尹 仁河

*2006 年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

本演習では、英語の法律用語に慣れ、米国連邦最高裁判所判決や国際司法裁判所判決を正確に読む力を養うことを目標にします。

法学部法律学科において学ぶ憲法、民法、刑法などの基本概念・用語には、法律学独自の意味が付与されています。法律学は言葉を基礎としており、様々な法律用語の意味的確な理解が基本となります。そのため、まず国内法の着実な学習が重要であり、法律外国語の学習はこの前提の上に成り立つと考えます。

外国の法律用語にも独自の意味が付与されています。辞書で直訳した語や日本の法律用語があてはまらない例が多々あり、意味の把握のためにはその国の法構造の理解も不可欠です。本演習では英文資料を丹念に読み日本語に訳しながら正確に理解していく地道な訓練を行います。

〔教科書〕

特に指定せず、演習資料プリントを配布します。開講時に参考文献一覧を示します。

国際化と法

2 単位 秋学期

明石 欽司（コーディネーター）
尹 仁河 小山 剛
犬伏 由子 オスティン、フィリップ
太田 達也 君嶋 祐子
山手 正史 吉村 典久
大森 正仁 出岡 直也
本谷 裕子

*2006 年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

様々な分野において所謂「国際化」が進展する中で、実際に発生した（している）問題と、それに対する法制度の対応について各分野の専門家が論じます。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

なし。

法学情報処理

2 単位 秋学期

池田 真朗
原田 隆史 他

〔授業科目の内容〕

この講義は、三田での 3 年生からの研究会での学習を円滑に進める能力を与えることを目的に、1986 年から 2 年生後期の設置科目として開講されているものである。日吉でのいわば与えられた教材による「学習」から進んで、法学の「研究」段階に少しでも進もうとするために必須となる、各種の学術情報源、情報処理方法、図書館利用法について説明するとともに、法学関係資料・文献の利用法、法学論文の書き方などについて解説する。

各テーマにつき、本塾大学文学部の原田隆史（図書館・情報学専攻）、法学部法律学科の池田真朗、青木淳一ら（担当者には追加・変更があり得る）がそれぞれオムニバス形式で講義を担当し、メディアセンター職員が基本的な文献検索ツールとリサーチの方法について説明を行う。本年度担当予定の法律学科専任教員は、池田真朗（民法）、青木淳一（行政法）、大森正仁（国際法）、佐藤拓磨（刑法）、太田達也（刑事政策）、岩谷十郎（法史学）（順不同）である。なお、履修に際しては、下記の履修意思確認のためのレポート提出が必要であることに注意してほしい。

〔教科書〕

教科書は特に指定しない。なお、担当教員によっては授業で使用する資料等を以下のサイトにアップロードすることがあるので必要におうじて参照すること。

<http://www.slis.keio.ac.jp/~ushii/infolaw.html>

〔参考書〕

『リーガル・リサーチ 〔第 3 版〕』いしかわまりこ・藤井康子・村井のり子著 日本評論社 2008 年

法制史概論Ⅰ / 法制史Ⅰ（基礎）

「法文化の歴史と交流」

2 単位 春学期

岩谷 十郎 数本 将典

〔授業科目の内容〕

日本と西洋の法制史をつなぐ、「法の継受」と「近代法典編纂」を中心的な視座に据えて、法制史そのものに内在する思想的背景や法文化について多角的にアプローチして行くことを目的に、日本法制史と西洋法制史の担当者が、共通のテーマに沿ったトピックを取り上げて、それぞれ講義を行います。

西洋法制史の担当部分では、先ずヨーロッパにおける文化的伝統としての図像解釈学(イコノロジー)のあらましを紹介した後、これを近代ヨーロッパにおける法典編纂事業の幕開けとされる、1789 年の『フランス人権宣言』ならびに 1804 年の『ナポレオン法典』をめぐる図像の分析に用いることで、その中核となった近代自然法思想についての理解を深めると共に、源流にあるヨーロッパ法文化の歴史的概要について学んでゆきます。

日本法制史の担当部分では、現行日本法システムの大部分が形成された明治時代以降の近代化過程を中心に講義します。その制度的・思想的基幹部分の多くを西洋諸国から導入して形作られた近代日本法は、文化的歴史的起源を異にするそれらの外国法的要素をどのように自らのものにしていったのでしょうか。本講義では、特に東アジアにおいては古来から法がどのようにイメージされてきたのか、様々な図像－絵画・彫刻・建築・他－を取り上げ、「書かれた法」のみならず「描かれた法」に着眼して、法を読み解く方法を提示します。シンボルや諸表象を通して、法観念・法文化の異同に受講者の関心を啓いてゆくつもりです。

〔教科書〕

『法と正義のイコノロジー』森征一・岩谷十郎他編 慶應義塾大学出版会

〔参考書〕

『概説西洋法制史』勝田有恒・森征一・山内進編著 ミネルヴァ書房

その他、授業内で適宜紹介してゆきます。

法制史概論Ⅱ / 法制史Ⅱ（基礎）

2 単位 秋学期

霞 信彦**〔授業科目の内容〕**

法律学という学問に取り組み、これから長い期間にわたり法との関わりを持つであろう学生諸君にとって、古代以来のわが国の法の変遷を承知することは、法に対する知見を広げ、現行法理解に向けて豊かな基礎力を涵養するために、有効な手段のひとつであると考え。そこで本講義では、古代を中心に日本法の足跡をたどり論じてみたいと思う。具体的な内容であるが、まず聖徳太子の手になるといわれる「憲法十七条」をとり上げ制定の背景や内容について論じてみたい。ついで大化改新後に示された、古代律令制発祥の原点ともいうべき「改新詔」、さらには、中国法継受の結果わが国にもたらされた「律令」をとりあげ、その編纂過程や条文内容を概観するつもりである。

〔教科書〕

『日本法制史史料集』霞・漆原・浜野著 慶應義塾大学出版会

〔参考書〕

講義において必要に応じて指摘する

法の基礎

2 単位 春学期

太田 達也	小林 節
斎藤 和夫	三木 浩一
鈴木 千佳子	井田 良
亀井 源太郎	青木 淳一
田村 次郎	内藤 恵
君嶋 祐子	六車 明
明石 欽司	武川 幸嗣

* 2006 年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

本講は、法学部及び大学院法務研究科の専任教員によるオムニバス形式の講義である。

担当教員が、各法分野の概要や関連分野との関係、学習方法、将来の進路との関わりなどについて講義する。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

各教員から講義において指示する。

政治学科

●社会科学科目

社会学

「社会学入門」

4 単位 春学期集中

有末 賢

〔授業科目の内容〕

社会学は、近代社会の登場と軌を一にして「社会」（社交、世間など）という目に見えない存在の「発見」から出発した。この講義では、第一に「社会」の発見から、社会学の基礎としての行為、関係、相互作用、地位と役割、社会化、集団、組織、制度、構造、変動、情報、コミュニケーション、社会調査など基礎知識を学ぶ。そして、後半では「21 世紀社会」として、ジェンダー、国際化とエスニシティ、高齢化社会と福祉、公害問題と環境社会学、日本の社会学史などについて、講義を行う。基本的には、テキストに沿って解説していくが、抽象的な諸概念を暗記するのではなく、具体的な社会の諸問題を通して現代社会のしくみや変動について、自分自身の頭で考えられるようになるのが授業の目標である。

〔教科書〕

・『社会学入門』有末賢・霜野壽亮・関根政美編著 弘文堂 1996 年

〔参考書〕

・『社会学—現代社会学の課題—』川合隆男ほか著 劉草書房 1984 年
・『現代大都市の重層的構造』有末賢著 ミネルヴァ書房 1999 年

社会学

「社会学でみる現代社会・文化の変動——現代社会学入門」 4 単位 春学期集中

関根 政美

〔授業科目の内容〕

本講義では、19 世紀の近代社会の生成から現代 21 世紀初頭までの間、主な社会・文化変動を探索し続け、現代政治研究にも大いに役立つ社会学について紹介したい。それは、諸君らが今生きている現代社会を自分の力で分析し、理解し、対応できるようになってほしいからである。基本的には、19 世紀後半から 20 世紀の社会・文化変動を概観し、21 世紀の変動について予測してみたい。授業の進行具合により内容の変更はありうるが、必修授業なので第 1 回目より授業に入る。教科書は 2 回目授業より必要になる。なお、2006 年秋に受験競争を名目に世界史の授業を履修していない高校生の存在が報道され問題視されたが、社会学は近代世界史の基本的知識を必要とするものである。万が一世界史の知識に不安がある場合は、世界史(近代世界史)のテキストなどを読んでおくこと。

〔教科書〕

『社会学入門』有末賢・霜野壽亮・関根政美編著 弘文堂 1997 年。教科書は授業の予習・復習に欠かせないものである。必ず購入すること。

〔参考書〕

『岩波小辞典 社会学』宮島喬編 2003 年 10 月。社会学の授業を効率的に進めるため、簡単な概念はこの辞書参照で済ませるので、できるだけ購入し利用すること。

法学（憲法を含む）

4 単位 春学期集中

水津 太郎

〔授業科目の内容〕

法および法学の内容と特質につき、具体的・個別的な法および法学領域の分析・検討から出発し、しだいに抽象的・全体的なそれに視野を広げていくことをもって、基本的な知識を習得するとともに、みずから法的に思考する力を涵養することを目的とします。

講義においては、細部を捨象して、もっとも基本的な事柄を、具体例を用いながらも、なるべく体系的に整理したかたちで解説することとします。

〔教科書〕

講義は担当著作・配布のレジュメに基づき行いますが、補助教材として、『法律学入門〔第 3 版〕』佐藤幸治・鈴木茂嗣・田中成明・前田達明著 有斐閣 2006 年 を挙げておきます。

〔参考書〕

開講時に指示します。

法学（憲法を含む）

4 単位 春学期集中

前田 美千代

〔授業科目の内容〕

生活上の身近な事柄を素材としながら、法律学習の基礎となる知識を身につけます。

〔教科書〕

『プレスステップ法学』池田真朗編 弘文堂 2009 年

〔参考書〕

授業中に指示します。

経済原論 I

4 単位 秋学期集中

鞠 重鎬

〔授業科目の内容〕

経済概論 II で扱うミクロ経済学においては、家計や企業などの個別経済主体の行動やその応用について学ぶのに対し、経済概論 I では、経済全体の動きに関するマクロ経済学を対象とする。マクロ経済学は、ミクロ経済学とともに近代経済学の分野を勉強するにあたって基本的なツールとなっている。この授業の主なテーマとしては、国民所得の測定、経済成長、投資や貯蓄、失業率、貨幣システム、為替レート、総需要と総供給、インフレーション、金融・財政政策などが挙げられよう。近代経済学を学びたい学生だけではなく、他の専門分野の学生でも経済全体の動きがどのようになるかについて知ってもらふ機会を与えることが授業のねらいである。

〔教科書〕

『マンキュー経済学②マクロ編』足立英之他訳 東洋経済 (原著：Mankiw 『Principles of Economics』Dryden)

〔参考書〕

『入門ミクロ経済学』井堀利宏著 第 2 版 新世社

経済原論Ⅰ

「マクロ経済学入門」

4 単位 秋学期集中
麻生 良文**〔授業科目の内容〕**

マクロ経済学は、GDP や物価水準、経済成長率などのマクロ経済変数がどのように決まるかを分析する学問である（経済学のもう一方の柱のミクロ経済学は経済原論Ⅱで扱う）。現代のマクロ経済学は、ケインズ経済学と古典派マクロ経済学の二つの対立がある。こうした対立があることを踏まえてマクロ経済学の入門的講義を行なう。主な講義の内容は以下の通り。

1. マクロ経済学とは何か
2. 長期均衡（古典派モデル）
3. 短期均衡（乗数理論、IS-LM モデル、フィリップス曲線とAD-AS モデル）
4. 開放経済モデル
5. 消費関数・投資関数の理論
6. 経済成長モデル

〔教科書〕

講義中に指示します（近刊予定）。講義資料は次のホームページを参照のこと。

<http://www.law.keio.ac.jp/~aso/>

〔参考書〕

『マンキュー マクロ経済学Ⅰ 入門編』N.グレゴリー・マンキュー著 東洋経済新報社

『マンキュー マクロ経済学Ⅱ 応用編』N.グレゴリー・マンキュー著 東洋経済新報社

経済原論Ⅱ

「ミクロ経済学入門」

4 単位 春学期集中
吉岡 祐次**〔授業科目の内容〕**

本講義では、ミクロ経済学の基本的な内容を簡潔に解説する予定です。まず、市場経済を前提に、企業の生産活動や家計の消費行動を説明します。そして、自由放任な市場経済の方が、政府等の介入（数量規制や価格規制など）があるより、市場全体の利益は大きいことを示します。これに対して、市場に価格影響力を持つ主体や外部性などが存在する状況では、市場経済における資源配分機能が低下するため、政府等の適切な介入も必要であることを導きます。さらに、様々な経済主体間の相互依存関係を考察するために、ゲーム理論の入門的な内容も解説します。なお、簡単な計算やグラフを使う予定です。

〔教科書〕

特に指定なし

〔参考書〕

特に指定なし

経済原論Ⅱ

「ミクロ経済学入門」

4 単位 春学期集中
麻生 良文**〔授業科目の内容〕**

ミクロ経済学の入門的講義を行う。さまざまな公共政策の目的や効果を理解するために、ミクロ経済学の習得は不可欠である。マクロ経済学が経済全体の変数（GDP やインフレ・失業率

など）に注意を集中するのに対し、ミクロ経済学では消費者や生産者が価格や政策にどのように反応するかという個別の意思決定の問題を明示的に扱う。ミクロ経済学を学ぶことによって、市場メカニズムがどのように機能し、その限界がどこにあり、そして政府の役割はどうあるべきかを理解できるようになる。講義内容は以下の通り。

- 1) 経済学入門
- 2) 市場メカニズムの機能と限界
- 3) 消費者行動の理論
- 4) 生産者行動の理論
- 5) 独占・寡占

〔教科書〕

講義中に指示します（近刊予定）。講義資料は次のホームページを参照のこと。

<http://www.law.keio.ac.jp/~aso/>

〔参考書〕

・『クルーグマン ミクロ経済学』クルーグマン・ウェルス著 東洋経済新報社

・『入門ミクロ経済学』ヴァリアン著 勁草書房

・『スティグリッツ ミクロ経済学』スティグリッツ・ウォルシュ著 東洋経済新報社

憲法4 単位 秋学期集中
葛西 まゆこ**〔授業科目の内容〕**

この講義では、政治学科の学生にとって必要な憲法の基礎知識を習得するため、なるべく多くの項目について、学説や裁判例を取り扱います。最終的には、立憲主義とは何か、立憲の意味の憲法とは何か、ということを真に理解することを目指します。

〔教科書〕

教科書は、『憲法入門（第三版）』大沢秀介著 成文堂 を指定する。なお、講義の際には、『判例ライン憲法』大沢秀介編著 成文堂 2007 年 を使用するので、小型六法とあわせて持参すること。

〔参考書〕

参考書は、講義において適宜紹介します。

憲法4 単位 秋学期集中
大沢 秀介**〔授業科目の内容〕**

この講義では、法学部政治学科の学生として理解しておくことが望ましい日本国憲法についての基本的な知識について学びます。

〔教科書〕

教科書として、『判例憲法』大石眞・大沢秀介編著 有斐閣 2009 年 を使用。なお、六法（小型のもの）を持参してください。

〔参考書〕

『憲法（第四版）』芦部信喜著 高橋和之補訂 岩波書店 2007 年 3,150 円

●政治学科目－基礎科目（必修）

政治学基礎Ⅰ

「政治学の基礎概念・理論・アプローチ」 2単位 春学期
萩原 能久

〔授業科目の内容〕

この講義では政治学の基礎概念、理論、アプローチについて、以下のような順序でできるだけわかりやすく説明していくつもりです。

1) 権力、権威、自由、正統性、イデオロギー

これらの諸概念について、特に相互の関連に留意して説明し、いくつかの理論を紹介しします。

2) 国家

ネーション・ステートおよびナショナリズムの成立・展開と現在におけるその問題点を示し、未来の世界への展望を考えます。

3) 民主主義

近代民主主義の成立と現代における様々な民主主義・民主化理論を検討します。

4) 戦争と平和

平和の構築という課題の重要性と、政治学における戦争と平和の関係について様々な角度から考えます。

〔教科書〕

特に用いませんが、Web上に置いた、関連する様々な私の文章をあらかじめ読んで受講すれば理解が高まるでしょう。

〔参考書〕

逐一、講義・レジュメのなかで示していきます。多いです。

政治学基礎Ⅱ

「現代政治学～政治理論と政治過程の解明」 2単位 春学期
小林 良彰

〔授業科目の内容〕

「第二次世界大戦以降の現代政治学」を中心に、政治学における中心的テーマである「公共政策が形成される過程」、つまり政治過程の実態について、できるだけわかりやすく説明を行うことにします。

本授業では、まず「政治とは何か？」について説明した上で、政治学における重要なテーマである「決定」と「配分」の問題について、これまでの政治学で何が明らかになり、何が課題として残されているのかを説明します。また、政治に関する利益集団論や地域権力構造論、権力エリート論、政治多元論、ボリアーキー論、ネオ・コーポラティズム論、ニュー・ポリティカル・カルチャー論など様々な理論についても紹介して行くことにします。本授業を通して、履修者は公共政策における必要な知識を得ると共に、これからの社会や政治を見ていく上で、新しい視点を持ってもらうことができると考えています。

〔教科書〕

『制度改革以降の日本型民主主義』小林良彰著 木鐸社
2008年

政治思想基礎

「西欧政治思想史概説—近代を中心に—」 2単位 春学期
田上 雅徳

〔授業科目の内容〕

西欧政治思想史の入門講義を行います。授業の中心は近代となります。これは、受講者の関心が例えば「日本」や「現代」の政治（思想）にあるとしても、近代ヨーロッパに登場した著名な政治思想家たちの理論を理解しておくことは（引照基準を設定する意味でも）極めて大切だと、担当者が考えているからです。また授業では、思想家たちが生きた時代状況の説明にも少なからぬ時間を割く予定です。思想の学習で大切なのは、思想内容を把握し性急にその是非を論じることよりも、個々の思想家が自分を取り巻く環境の中にいかなる問題を見出したのか・そしてそれにどれだけ真摯に答えようとしたのか、そのことの理解にあると思われるからです。「理論としては矛盾だらけだが、問題意識は恐ろしく一貫している」、時にはこういう事例をも紹介しながら、受講者に思想を学ぶ面白さをお伝えできればと思っています。

〔参考書〕

授業中に適宜紹介していきますが、さしあたって『政治学史』福田歓一著 東京大学出版会、『西洋政治思想史』佐々木・鷺見・杉田共著 北樹出版をあげておきます。

政治思想基礎

2単位 春学期
堤林 剣

〔授業科目の内容〕

次のテーマにそって、政治思想史全般についての入門講義を行います。

I 政治思想史とは？ — 主題と方法について

認識・判断・行為の規定要因としての思想——哲学と歴史（時間）と宗教的作用

理性・合理的解釈・科学の領域と限界——基礎・価値基準をめぐって

ロゴスの地位——普遍性と個別性、必然性（確実性）と偶然性の狭間において

歴史の意味と無意味——時間概念と進歩と「歴史のアンビヴァレンス」

II 古代政治思想

ホメロス（神話）的世界観の衰退——思考様式の転換：ミュトスからロゴスへ？

ポリスにおける民主政治の展開と政治学の誕生

ソクラテス、プラトン、アリストテレスの政治思想

現代における古代思想の政治的意義と政治的利用—プラトンの呪縛～自由の政治

ポリスからコスモポリスへ——ストア派的自然法の展開

ギリシア世界からローマ世界へ——哲学から法へ

ローマ共和政における自由と法の観念

ローマ帝政期における法と権力の観念

キリスト教の影響と古代政治思想の変容

III 中世政治思想

普遍世界（キリスト教共同体）の理念と現実

叙任権闘争とゲラシウス理論——二つの中心を有する楕円的統一体としての中世

「12 世紀ルネサンス」の政治的・思想的意義
教会法の体系化と自然法の新たな展開
中世における立憲思想・人民主権論の展開

IV 近代政治思想

ルネサンスと宗教改革のインパクト——普遍世界の解体？
新たな人間像と国家観の出現——近代精神と近代国家
マキアヴェッリの政治思想
近代的主権論の生成と展開——ボダン～ホッブズ
王権神授説の生成と展開——ボシュエ
自然権理論に基礎づけられた人民主権論と社会契約論の生成と展開
ロックのプロパティ論——人権思想の原型？
フランス啓蒙思想とスコットランド啓蒙思想——合理主義と功利主義
モンテスキューの政治思想——反主権論の系譜
ルソーの政治思想
19 世紀自由主義思想：コンスタン、ギゾー、トクヴィル、J・S・ミル
合理主義・啓蒙思想への反発とドイツ・ロマン主義の展開
近代国家とナショナリズム

〔教科書〕

特に指定しません

〔参考書〕

授業の際に適宜紹介します

日本政治基礎

「日本の統治構造と政策形成」

2 単位 秋学期

笠原 英彦

〔授業科目の内容〕

1. 日本政治研究—歴史的・理論的アプローチ
2. 日本の政治と行政
3. 日本における政策決定プロセス
4. 日本の公共政策
5. 日本の政治文化

〔教科書〕

『日本行政の歴史と理論』笠原英彦他編 芦書房

日本政治基礎

「近現代日本の統治システム」

2 単位 秋学期

小川原 正道

〔授業科目の内容〕

本講義では、日本政治の実態についての基礎的な理解を獲得することを目指し、政治制度・機構、政治団体・政治家、官僚、利益集団、有権者、マスコミという6つの観点から、近現代における日本政治の構造と特色について考察を加えていく予定である。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

- ・『日本の統治システム—官僚主導から政治主導へ』堀江湛他編 慈学社出版 2008 年
- ・『日本の政治 変動の 30 年—政治家・官僚・団体調査に見る構造変容』村松岐夫・久米郁男編著 東洋経済新報社 2006 年

このほか、授業中に適宜指示する。

地域研究基礎

2 単位 秋学期

横手 慎二

〔授業科目の内容〕

この科目は、アフリカ研究、アメリカ研究、中国研究、中東研究、東南アジア研究、ロシア研究などの形でなされる個別の講義を受ける前の総論として設置されている。授業は、地域研究と政治学との関係、地域研究でよく取り上げられる事柄（問題）やよく利用される概念の説明を基本的内容とする。したがって、内容が簡単だということではない。必修科目なので二つの講義に分かれてなされるが、概ね似たような内容となる。（専門などの違いで多少内容が異なることもある）。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

講義の中で挙げる。

地域研究基礎

2 単位 秋学期

高橋 伸夫

〔授業科目の内容〕

地域研究は、一方で特定の地域の個性をつかまえる学問でありながら、他方で豊富な素材をもとに各地域を横断するモデルの構築を志向する。こうした内的緊張をはらむこの学問分野の輪郭を、主として比較政治学と歴史学という二つの視座から描くのがこの講義の目的である。

国際政治基礎

「国際政治学入門」

2 単位 秋学期

田所 昌幸

〔授業科目の内容〕

国際政治学の基礎的な概念と枠組みを伝え、三田でのより専門的な講義への導入を提供する。

〔教科書〕

教科書は指定しない。

〔参考書〕

『国際政治』高坂正堯著 中央公論新書

国際政治基礎

「国際政治理論の基礎と戦後国際政治の潮流」

2 単位 秋学期

小此木 政夫

〔授業科目の内容〕

国際政治論の入門編である。理論と實際を平易に講義するので、学生諸君はしっかりと身に付けて、専門課程に進んでほしい。

〔教科書〕

とくに指定しないが、下記の参考文献中の『国際紛争』（ジョセフ・ナイ）と『国際政治の分析枠組み』（岡部達味）、『冷戦期の国際政治』（小此木・赤木）をよく参照すること。

〔参考書〕

『国際紛争』ジョセフ・ナイ著 有斐閣 2002 年

『国際政治の分析枠組み』岡部達味著 東京大学出版会 1992 年

『冷戦期の国際政治』小此木・赤木著 慶應通信 1897 年

『朝鮮戦争』小此木政夫著 1896 年

『アメリカ外交の大戦略』ジョン・ギャディス著 慶應義塾大学出版会 2006 年

●政治学科目－系列科目

行政法

4 単位 春学期集中
竹之内 一幸

〔授業科目の内容〕

行政法分野の基本となる原則（総論）と違法な行政活動に対する救済システム（救済法）について講義を行う。行政法は法典を持たないので、概念・理論の理解が不可欠である。

〔教科書〕

『はじめての行政法』石川敏行他著 有斐閣 2007 年

〔参考書〕

『行政法のエッセンス』桜井敬子著 学陽書房 2007 年

『判例行政法入門』第 4 版増補版 芝池義一編 有斐閣 2008 年

刑法

4 単位 春学期集中
佐藤 拓磨

〔教科書〕

『よくわかる刑法』井田良ほか著 ミネルヴァ書房 2006 年
六法（小型のものでよい）

〔参考書〕

・導入書として、『基礎から学ぶ刑事法〔第 3 版〕』井田良著 有斐閣 2005 年

・より発展的な学習を志す履修者のための参考書として、

『講義刑法学 総論』井田良著 有斐閣 2008 年

『刑法各論〔第 4 版〕』西田典之著 弘文堂 2007 年

国際法

4 単位 秋学期集中
尹 仁河

〔授業科目の内容〕

本講義では、国際社会において適用される法としての国際法とは何か、その基本構造・用語・概念について学び、現実に行き起している国際問題を国際法の観点から理解してゆきます。国際社会を見る眼として、政治・経済・文化等様々な観点がありますが、法的観点から分析する力を養うことを目標にします。

〔教科書〕

『よくわかる国際法』大森正仁編著 ミネルヴァ書房 2008 年
毎回講義資料プリントがあり、keio.jp からダウンロードできます。

〔参考書〕

『解説条約集 2009 年版』広部和也・杉原高嶺編 三省堂 2009 年

他、開講時に一覧を示します。

民法 I

「民法総論および総則・物権法の基礎」 4 単位 春学期集中
武川 幸嗣

〔授業科目の内容〕

民法は、財産上の権利義務関係を規律する最も基本的な法律であり、取引・経済活動に関する基本法でもある。この科目では、民法総論および、民法典の第一編総則、第二編物権までを講義対象とする。主要な諸制度の概要および重要な問題点につき、できるだけ明快に説くよう、心がけつつ、法的思考力の養成に努めたい。なお、講義は担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。

〔教科書〕

上記の通り、講義内容は担当者によるレジュメにしたがうが、自習用の補助教材として、『民法総則・物権』山野目章夫著 有斐閣アルマシリーズを挙げておく。

〔参考書〕

同上

民法 II

4 単位 秋学期集中
水津 太郎

〔授業科目の内容〕

本講義では、債権法、民法典でいうと第 3 編 債権の諸規定につき、基本的知識を確認するとともに、法的思考力を涵養することを目的とします。債権法は、法典上、債権総論（債権一般に共通のルール：第 1 章）と債権各論（特定債権に固有のルール：第 2 章～第 5 章）に体系化されていますが、本講義では、契約と不法行為を中核とした機能的体系に再編して解説を行います。

〔教科書〕

講義は担当者作成・配布のレジュメに基づき行いますが、補助教材として、『スタートライン債権法〔第 4 版〕』池田真朗著 日本評論社 2007 年を挙げておきます。

〔参考書〕

開講時に指示します。

行政学 I

「『ガバナンスの行政学』は可能か」 2 単位 春学期
大山 耕輔

〔授業科目の内容〕

行政学（public administration）の前半部分を講義します。履修者はできるだけ行政学 II とセットで履修してください。この講義では、伝統的な「国家中心の行政学」を批判的に検討するとともに、グローバル化のなかの「国から地方へ民間へ」という時代における「ガバナンスの行政学」の可能性と限界を考察します。

〔教科書〕

『行政学教科書（第 2 版）』村松岐夫著 有斐閣 2001 年

〔参考書〕

『行政学（新版）』西尾勝著 有斐閣 2001 年

『日本の行政 2009』行政管理研究センター編集発行
2009 年

『エネルギー・ガバナンスの行政学』拙著 慶大出版会
2002 年

『行政学入門—CD ブック』拙著 慶大通信教育部 2000 年
『行政指導の政治経済学』拙著 有斐閣 1996 年 等。

行政学 II

「『ガバナンスの行政学』は可能か」

2 単位 秋学期

大山 耕輔

〔授業科目の内容〕

行政学 (public administration) の後半部分を講義します。履修者はできるだけ行政学 I とセットで履修してください。この講義では、伝統的な「国家中心の行政学」を批判的に検討するとともに、グローバル化のなかの「国から地方へ民間へ」という時代における「ガバナンスの行政学」の可能性と限界を考察します。

〔教科書〕

『行政学教科書 (第 2 版)』村松岐夫著 有斐閣 2001 年

〔参考書〕

『行政学 (新版)』西尾勝著 有斐閣 2001 年

『日本の行政 2009』行政管理研究センター編集発行
2009 年

『エネルギー・ガバナンスの行政学』拙著 慶大出版会
2002 年

『行政学入門—CD ブック』拙著 慶大通信教育部 2000 年

『行政指導の政治経済学』拙著 有斐閣 1996 年 等。

現代中東論 I

「中東のエスニシティと政治秩序」

2 単位 秋学期

富田 広士

〔授業科目の内容〕

次の講義項目を予定している。

(1) 一体性

1 国家概念の重層性

2 アラブ・アイデンティティーの構成要素

(2) 多様性

1 少数宗派・宗教・民族

2 地域紛争の構造

(3) 政治文化

1 アラブの社会構造

2 ベドウィン (遊牧民部族) の意思決定様式

(4) 政治体制と市民意識

〔教科書〕

『国際情勢ベーシックシリーズ③中東』第 3 版 立山良司他
著 自由国民社 2002 年

国際政治論 I

2 単位 春学期

薬師寺 泰蔵

〔授業科目の内容〕

マクロ国際政治理論 (国家間の関係を中心) について、勢力均衡論、相互依存論、覇権論などについて今日的意味を中心に講義する。

〔参考書〕

『国際関係論』P.R.ピオティ・M.V.カピ著

国際政治論 II

「東南アジアにおける安全保障」

2 単位 春学期

山本 信人

〔授業科目の内容〕

安全保障は国家の専売特許なのか。グローバル化の進展は安全保障概念に変容を迫った。従来の伝統的な安全保障は政治・軍事的な観点を重視していた。ところが、近年では、そこにははまりきらない環境問題、移民問題、感染症問題、テロリズムの問題などが新たな安全保障問題として浮上してきた。こうした新たな安全保障への視点は非伝統的安全保障と呼ばれる。本講義では非伝統的安全保障の観点から東南アジアにおける安全保障問題に迫る。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

授業中に適宜提示する。

古代日本政治史 I

「律令国家の形成」

2 単位 春学期

笠原 英彦

〔授業科目の内容〕

古代日本における国家の形式過程について、東アジアの国際関係を視野に入れつつ詳述する。

〔教科書〕

とくに指定しない。

〔参考書〕

『歴代天皇総覧』笠原英彦著 中公新書

政治文化論

「日本の政治文化——ドイツやアメリカ

2 単位 秋学期

と比較しつつ——」

片山 杜秀

〔授業科目の内容〕

たとえば、同じ議会制民主主義の国でも、ある国は二大政党制をよしとし、ある国は多党の合従連衡で落ち着くということがあります。なぜ、そういう違いが起きてくるのでしょうか。そこには、やはりそれぞれの国の政治の背景をなす、何らかの文化というか価値観のちがいが絡んでいたのでしょうか。そこを掘り下げてみるのが、「政治現象や政治制度を根底で規定する文化 (価値観) についての論」としての政治文化論ということになります。

本講座では、そういう観点から、日本の伝統的政治文化を、ドイツなどと適宜比較しながら検討してみたいと思います。

たとえば、ドイツと日本は、戦間期の危機の時代、共にファシズム的な国のありようへと向かっていったことになっていますが、その中身となると、ドイツの場合は指導者原理や独裁の理念を標榜し、一方、日本は、強力なリーダー・シップの不在をかえってよしとするような雰囲気の特徴づけられていたわけで、ずいぶん異なっているようです。そこにはどんな政治文化の相違が反映しているのでしょうか。そこらへんを突っ込むことで、今日の世界とも重なる、いろいろな論点が見えてくるはずです。

〔教科書〕

特に指定せず、それにある程度まで代わるものとして適宜プリントを配布する予定ですが、場合によっては講義開始時に指定することがあるかもしれません。

〔参考書〕

『近代日本の右翼思想』片山杜秀著 講談社 2007 年

西洋外交史 I

「激動期ヨーロッパの 400 年」

2 単位 春学期

君塚 直隆

〔授業科目の内容〕

「外交」とは、二国間でそれぞれの利害を調整しあう手段であるとともに、多数の国の代表が集まり、集団的な安全保障のあり方を討議する手段でもあります。そのような近代的な意味での外交術が確立され、定着していったのが、16 世紀以降のヨーロッパにおいてでした。本講座では、こんにちの国際政治の枠組みを形成した近代ヨーロッパ (1516 ~ 1914 年) における外交の歴史をわかりやすく解説していきます。

〔教科書〕

『パクス・ブリタニカのイギリス外交』君塚直隆著 有斐閣 2006 年 ISBN:4-641-17322-2

〔参考書〕

『外交』細谷雄一著 有斐閣 2007 年

ISBN:978-4-641-17801-4

『ヨーロッパ国際関係史』(新版) 渡邊啓貴編 有斐閣アルマ 2008 年 ISBN:978-4-641-12348-9

『イギリス外交史』佐々木雄太・木畑洋一編 有斐閣アルマ 2005 年 ISBN:4-641-12253-9

日本外交史 I

「戦前日本の外交と安全保障」

2 単位 春学期

戸部 良一

〔授業科目の内容〕

幕末から敗戦まで、日本が安全保障環境をどのように認識し、その変化に対してどのような外交的対応を試みたかを考察する。

〔教科書〕

指定しない。

〔参考書〕

『日本の外交』入江昭著 中公新書 1966 年

『戦争の日本近現代史』加藤陽子著 講談社現代新書 2002 年

『東アジア国際政治史』川島真・服部龍二編 名古屋大学出版会 2007 年

『逆説の軍隊 (日本の近代 9)』戸部良一著 中央公論社 1998 年

その他テーマごとに授業で紹介する。

比較地域研究論 I

「比較政治学の理論と枠組み」

2 単位 春学期

粕谷 祐子

〔授業科目の内容〕

最近の比較政治学研究における主要な理論と枠組みを講義します。「比較政治学」の定義は様々ありますが、ここでは理論的観点から世界各国の国内政治 (domestic politics) を分析す

る政治学の一分野、と位置づけています。ですので、念頭においているのは、すでに (日本を含む) ある地域の政治に関心をもっている学生や、国際関係の分析をする際に国内の政治過程にも目をむけたい学生に対し、対象となっている国・地域の政治を理論的に分析するための道具だてを提供するような講義です。各回において、比較政治学の主要のテーマを取り上げ、研究蓄積状況、主な分析枠組み・理論を解説するとともに、いくつかの研究例をとりあげて、理論の応用のしかたやリサーチデザインの設計方法についても検討します。

〔教科書〕

特になし (講義資料プリントは講師のホームページからダウンロードできるようにします)

〔参考書〕

随時紹介します

文化人類学 I

「文化人類学に親しむ」

2 単位 春学期

田中 正隆

〔授業科目の内容〕

私達は今日依然として異なるものや他なるものの存在に気づくときがあります。それは地域、言葉、宗教や常識が、思わぬ機会にその違いを思い知らされるときです。文化人類学は具体的、経験的な事柄から、人類のあらゆる文化・社会現象を理解しようします。本年は、アフリカの社会・文化にこだわります。私が専門とするアフリカ地域の事例から、人間の思考・行動様式の多様性を知り、みなさんにも通じる普遍的な事柄を見出すことが目標です。講義では、多くの視聴覚資料や具体的事例とともに理解をすすめます。下記のトピックに関して興味を抱く方の受講を、広く歓迎します。ただし、詳細について初回講義で必ず確認してください。

〔教科書〕

『神をつくるーベナン南西部におけるフェティッシュ・人・近代の民族誌』田中正隆著 世界思想社 2009 年

〔参考書〕

講義で指示します。

文化人類学 II

「文化人類学の理解を深める」

2 単位 秋学期

田中 正隆

〔授業科目の内容〕

私達は今日依然として異なるものや他なるものの存在に気づくときがあります。それは地域、言葉、宗教や常識が、思わぬ機会にその違いを思い知らされるときです。文化人類学は具体的、経験的な事柄から、人類のあらゆる文化・社会現象を理解しようします。本年は、アフリカの社会・文化にこだわります。私が専門とするアフリカ地域の事例から、人間の思考・行動様式の多様性を知り、みなさんにも通じる普遍的な事柄を見出すことが目標です。講義では、多くの視聴覚資料や具体的事例とともに理解をすすめます。下記のトピックに関して興味を抱く方の受講を、広く歓迎します。ただし、詳細について初回講義で必ず確認してください。

〔教科書〕

『神をつくるーベナン南西部におけるフェティッシュ・人・近代の民族誌』田中正隆著 世界思想社 2009 年

〔参考書〕

講義で指示します。

マス・コミュニケーション論Ⅰ

「マス・メディアと政治社会」

2 単位 秋学期

鳥谷 昌幸

〔授業科目の内容〕

マス・メディアと政治社会の関わりに焦点を当てながら、マス・コミュニケーション論の基礎的な知識、考え方を解説します。

〔教科書〕

『コミュニケーション研究—社会の中のメディア』 第2版
大石裕著 慶應義塾大学出版会 2006年 ISBN:
978-4-7664-1258-1

〔参考書〕

授業内でその都度紹介します。

民主主義思想論Ⅰ

「民主主義の思想史」

2 単位 秋学期

田上 雅徳

〔授業科目の内容〕

私たちの政治考察にとって公理になっているともいえるデモクラシーですが、それがかかる積極的な評価を獲得した歴史は決して長くありません。そこで、古来よりデモクラシーに向けられてきた批判を検討しつつ、あらためて、民主主義と私たちの「付き合い方」といったものを考えてみたいと思います。

〔教科書〕

とくに指定しません。

〔参考書〕

授業時に随時紹介していきます。

●政治学科目－集中学習科目

演習Ⅰ

「ナショナリズムに関する考察」

2 単位 春学期

阿南 友亮

〔授業科目の内容〕

本演習では、ナショナリズムに関連した近代社会の諸問題について幅広く議論をすることを目的とする。学生は、テキストを読み、報告をおこない、その報告に関して積極的に討論をすることが求められる。本演習は、ネイションとナショナリズムに関する専門的知識の習得に加えて、問題発見・論理的思考・プレゼンテーションに関する能力・スキルの向上を目標とする。

〔教科書〕

『ナショナリズムの歴史と現在』 E.L.ホブズボーム著 浜林正夫訳 大月書店

〔参考書〕

『想像の共同体 ナショナリズムの起源と流行』 ベネディクト・アンダーソン著 白石さや・白石隆訳 NTT出版

『民族とナショナリズム』 アーネスト・ゲルナー著 加藤節訳 岩波書店

『二〇世紀のナショナリズム』 アンソニー・スミス著 巢山靖司訳 法律文化社

『人種・国民・階級 揺らぐアイデンティティ』 エティエンヌ・バリバル、イマニュエル・ウォーラーステイン著 若森章孝訳 大村書店

『ナショナリズム その神話と論理』 橋川文三著 紀伊国屋書店

『単一民族神話の起源』 小熊英二著 新曜社

『ナショナリズム論の名著 50』 大澤真幸編 平凡社

演習Ⅰ

「国際社会とジェンダー」

2 単位 春学期

オイ、シヨングウ

〔授業科目の内容〕

現代国際社会におけるジェンダー問題を理解するのが本演習の目標である。前半は日本を中心にしながら、後半はアジアの諸国、例えば中国、マレーシア、シンガポール等におけるジェンダーに関わる社会問題の事例研究を取り上げる予定。主なトピックは、家族、エスニシティ、階層、少子・高齢化、労働、グローバルマイグレーション、社会化とライフコース等に関わるジェンダー問題となる。事前に配布した資料プリント（英語含む）を輪読して、要旨を簡単にまとめて授業で発表・ディスカッションする。詳細の授業の進め方とテキストの内容については、最初の授業で打ち合わせしたい。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

1. 『よくわかる社会学』 宇都宮京子著 ミネルヴァ書房
2006年

演習Ⅰ

「日本政治史・行政史研究入門」

2 単位 春学期

柏原 宏紀

〔授業科目の内容〕

この授業では、明治維新期の政治行政史を題材としながら、日本政治史・行政史研究について学習し、高校時代の暗記中心の「日本史の勉強」とは違った、大学における「歴史研究」がどのようなものであるのかについて、理解を深めることを目的とします。具体的内容としては、研究手法や維新史の概要についての解説、文献輪読と議論、簡単なグループワークなどを予定しています。

〔教科書〕

輪読文献などは、初回の授業で指示します。

〔参考書〕

授業中に適宜指示します。

演習Ⅰ

「ヨーロッパ統合の来歴と展望

2 単位 春学期

ードイツからの視角を中心にー」

金子 新

〔授業科目の内容〕

世界はいま、アメリカにおけるサブプライム問題に端を発する未曾有の金融危機、経済危機に直面している。そして戦後から冷戦後へと強化されたアメリカの覇権体制が大きく揺らいでいると言われる。そうした中で、EU（欧州連合）の存在感とリーダーシップへの期待が否応なしに高まってきている。加えて、今後の

日本の外交政策も、これまでどおり対米関係を重視しつつもより多角的な外交関係の充実が求められており、EUとのパートナーシップの強化は喫緊の課題である。そのためには、なによりもまず、生成発展するヨーロッパ統合の実相を、深くかつ的確に認識することが不可欠である。

そこで本演習では、過去半世紀を超えるヨーロッパ統合の歩みを、歴史的視座から深く理解し、それを踏まえて、混迷を極める国際社会におけるEUの役割と貢献を考察する。その上で特に、日本と同じ敗戦国であるドイツの視点を重視する。敗戦国ドイツはどのようにヨーロッパ統合に参加し、国際的な威信を回復し、目下その指導的役割を担いつつあるのか。こうしたドイツの視座からヨーロッパ統合を考察することは、日本と「東アジア共同体」の将来を展望する上でも、有益な視座を与えてくれるかもしれない。

〔教科書〕

特に教科書は指定しません。講読する文献・論文を初回授業時に選択し、各部をコピー配布する予定です。

〔参考書〕

『ヨーロッパ国際関係史』新版 渡邊啓貴編 有斐閣 2008年

『ヨーロッパ統合史』遠藤乾編 名古屋大学出版会 2008年

『European Integration 1950-2003』John Gillingham, Cambridge University Press, 2003

『Origins and Evolution of the European Union』Desmond Dinan(eds), Oxford University Press, 2006

『Policy-Making in the European Union』Helen Wallace & William Wallace (eds), Oxford University Press, 2000

『Germany since 1945』P. O'Dochartaigh, London: Palgrave, 2004

『Coming of Age: German Foreign Policy since 1945』Helga Haftendorn, Lanham: Rowman & Littlefield, 2006

『The German Problem Transformed』Thomas Banchoff, Michigan: The University of Michigan Press, 1999 など。

演習 I

「ラインホルド＝ニーバー (Reinhold Niebuhr: 1892 - 1971) を読む。」 2単位 春学期

田上 雅徳

〔授業科目の内容〕

20世紀を代表するプロテスタント神学者であり、アメリカの現実的な政策決定にも指針を与えた（また戦後日本では、丸山眞男らの政治観確立にも寄与した）ニーバーの著作を講読します。

キリスト教神学という、一見社会科学とは無縁なディシプリンに立脚していたからこそ、彼が見抜くことができ、また語ることであった、政治の特質というものを学び直したいと思います。加えて、ニーバーの発言の背景にある、アメリカの政治文化に思いを巡らすことも、授業のひとつの目標とします。

〔教科書〕

開講時点で入手可能なニーバーの著作を、優先的に教科書として用いる予定です。

現時点では、『道徳的人間と非道徳的社会』大木英夫訳 白水社、『光の子と闇の子—デモクラシーの批判と擁護』武田清子訳 聖学院大学出版会、『アメリカ史のアイロニー』大木・深井訳 聖学院大学出版会などを講読文献として考えています。

〔参考書〕

授業時間内に随時紹介していきます。

演習 I

「バラク・オバマからみるアメリカの現在」 2単位 春学期
西川 賢

〔授業科目の内容〕

皆さんも知っているように、バラク・オバマという人が2008年に行われた大統領選挙に勝利し、第44代アメリカ合衆国大統領に選ばれました。オバマは史上初の黒人大統領ということで非常に注目を集めてきましたが、「史上初の黒人大統領である」ということだけで全てを片づけてしまうのは、ちょっと単純すぎます。この授業ではオバマがこれまでに書いた二冊の著作のうち、最新刊である『合衆国再生』を読み、それを通じてアメリカにいま何が起きているのかを理解し、そしてみんなで討論して意見を交換し、理解を深めていくことを目指します。

オバマを通じてアメリカの政治、外交、社会、経済のどのような問題が見えてくるのか、みんなで一緒に考えていきましょう。

この授業の履修の参考までに、以下のコラムも覗いてみてください。

http://www.jiia.or.jp/column/200808/26-Nishikawa_Masaru.html

〔教科書〕

『合衆国再生—大いなる希望を抱いて』バラク・オバマ著 棚橋志行訳 ダイアモンド社 2007年

（原書は、Barack Obama, 『The Audacity of Hope: Thoughts on Reclaiming the American Dream』です。）

〔参考書〕

特になし。必要のあるものは適宜紹介します。

演習 I

「戦後日韓・日朝関係の理解」 2単位 春学期
西野 純也

〔授業科目の内容〕

戦後日韓・日朝関係に関する文献を講読し、日本と朝鮮半島の関係に関する基礎的知識を習得すると共に、学問的な関心を深めることが本演習の目的です。現在、日韓・日朝関係が抱える課題について歴史的経緯を踏まえながら考察していきます。できるだけ、秋学期の演習IIとあわせて履修してください。

〔教科書〕

『戦後日韓関係』吉澤文寿著 クレイン 2005年

『検証 日朝交渉』高崎宗司 平凡社新書 2004年

〔参考書〕

『戦後日韓関係史』李庭植著 小此木政夫・古田博司訳 中央公論社 1989年

『検証 日韓会談』高崎宗司著 岩波新書 1996年

『帰国運動とは何だったのか』高崎宗司・朴正鎮編著 平凡社 2005年

『増補版 日朝関係の克服』姜尚中著 集英社新書 2007年
そのほかの文献は、授業中に示します。

演習 I

「現代政治理論」

2 単位 春学期

松元 雅和

〔授業科目の内容〕

本講義は、ウィル・キムリッカの『現代政治理論』と各テーマに関連する文献を輪読しながら、主として1970年代以降における英米圏の現代政治理論について理解を深めることを目的としています。毎回の授業では、以下の授業計画に従い、担当者によるレジュメ報告と全員によるディスカッションを行う方式を取ります。

〔教科書〕

『新版 現代政治理論』W・キムリッカ著 千葉眞・岡崎晴輝 他訳 日本経済評論社 2005年

〔参考書〕

授業中に適宜紹介します。

演習 I

2 単位 春学期

葉師寺 泰蔵

〔授業科目の内容〕

国際政治の分野である「秩序論、ソフトパワー論、技術と国際政治、環境問題」などを議論する。

演習 I

2 単位 秋学期

小此木 政夫

〔授業科目の内容〕

国際政治の分析枠組みについて学びつつ、最新の国際情勢を観察する。

〔教科書〕

『国際紛争』ジョセフ・ナイ著 有斐閣 2002年

〔参考書〕

『国際政治の分析枠組み』岡部達味著 東京大学出版会 1992年

演習 I

「イギリス王室の光と陰」

2 単位 秋学期

君塚 直隆

〔授業科目の内容〕

21世紀初頭のこんにちでは、世界のわずか27カ国にしか残らなくなってしまった王室。それはもはや無用の長物であると言うことを意味しているのでしょうか？本講座では、世界でもっとも有名にして活動的な、イギリス王室が歩んできた2世紀ほどの歴史を、テキストをもとに勉強していきます。また本講座では、レジュメの作り方、プレゼンテーションの仕方などについても同時に学んでいきます。

〔教科書〕

『女王陛下のブルーリボン』君塚直隆著 NTT出版 2004年 ISBN:4-7571-4073-8

『女王陛下の影法師』君塚直隆著 筑摩書房 2007年 ISBN:978-4-480-86118-4

『女王陛下の外交戦略』君塚直隆著 講談社 2008年 ISBN:978-4-06-214566-4

〔参考書〕

『ヴィクトリア女王』君塚直隆著 中公新書 2007年 ISBN:978-4-12-101916-5

『エリザベスの食卓』西川恵著 新潮社 1996年 ISBN:4-10-413301-9

演習 I

「政治現象の経済学的分析」

2 単位 秋学期

河野 武司

〔授業科目の内容〕

1950年代初頭からの経済学者による分析を出発点とし、政治学においても1970年代以降パラダイムの一つとなったと言われている「公共選択論」（政治学においては「合理的選択の政治学」と呼ばれています）について、その対象領域や思想背景などを概説し、政治家、有権者、官僚、利益団体などの行動を合理的選択といった観点から平易に解説した下記の教科書の講読を通して、公共選択論の基本的視点を理解します。

〔教科書〕

『入門 公共選択－政治の経済学－』加藤寛編 東洋経済新報社 1999年

〔参考書〕

特に指定しません。

演習 I

「ベーシック・インカムの秩序構想」

2 単位 秋学期

鈴木 正彦

〔授業科目の内容〕

本演習では、現在ヨーロッパを中心に議論されているベーシック・インカム構想を取り上げます。ベーシック・インカムとは、「すべての市民に、その人生のあらゆる期間にわたって、無条件の社会手当を政府が保証する」という大胆な最低所得保障制度です（イギリスではcitizen's incomeとも呼ばれています）。ベーシック・インカムの導入によって、保険、年金、公的扶助、各種補助金といった複雑な社会保障制度が一本化され、膨大な官僚機構と租税システムが大幅に整理されます。また、ベーシック・インカムは、すべての市民に無条件に最低所得を保証することによって、市場経済の競争を「より人間的な競争」に変え、多様な生き方の開花する社会を可能にすると期待されます。それは、「小さな国家」でありながら、人びとに無条件の社会保障を確実にする「分配する最小国家」を目指しているともいえるでしょう。このようにベーシック・インカム構想は、まったく新しい社会のあり方を提案します。本演習では、従来の福祉国家を乗り越え、しかし熾烈な不平等を生み出す「野蛮な資本主義」をも拒絶する「人間の顔をした資本主義」という社会構想（ベーシック・インカム資本主義）を、その利点と問題点をともに議論し、皆さんと一緒に学んでいくことを目指しております。

〔教科書〕

『自由と保障―ベーシック・インカム論争』トニー・フィッツパトリック著 武川正吾他訳 勁草書房 2005年

事前の購入は不要です。

〔参考書〕

『ベーシック・インカム―基本所得のある社会へー』ゲッツ・ヴェルナー著 渡辺一男訳 東京書館 2007年

『福祉社会と社会保障改革』小沢修司著 高菅出版 2002年

演習 II

「ジャーナリズムとノンフィクションの社会学」 2 単位 春学期
烏谷 昌幸

〔授業科目の内容〕

現代社会における新聞ジャーナリズム、ノン・フィクション作品の意義について社会学的視点から考えることを目的とします。授業では、米国のジャーナリズム論、ノン・フィクション論に関する文献購読を中心に進めていきます。

〔教科書〕

指定はしません。その都度必要な資料を配布します。

〔参考書〕

以下のものを最初に読む文献として予定しています。ただし、どこまで読むか、他の文献とどの程度併用するかは受講者の数や問題関心にあわせて調整します。

『Fact & Fiction: The New Journalism and the Nonfiction Novel』, Hollowell, John. The University of North Carolina Press. 1977.

演習 II

「アメリカの民主主義のあり方を 2 単位 春学期
 選挙の実態を通して学ぶ」
河野 武司

〔授業科目の内容〕

下記の教科書の輪読を通して、アメリカの実態から代議制民主主義を駆動させるエンジンの一つである選挙の諸問題を理解します。

〔教科書〕

『Is this any Way to Run a Democratic Election?』, Stephen J. Wayne, Boston: Houghton Mifflin Company, 2003. 本書は全 9 章 230 ページからなる比較的短くて読みやすい英書です。

〔参考書〕

特に指定しません。

演習 II

「ベーシック・インカムと新たな社会秩序構想」 2 単位 春学期
鈴木 正彦

〔授業科目の内容〕

現在、世界は転換期にあります。80 年代以降この世を謳歌したレーガン・サッチャー型の新自由主義、グローバルな金融資本主義経済が崩壊し、今や大きな見直しを迫られています。世界は新たな社会秩序を模索する苦しい段階にあるといえるでしょう。難しいのは、その代替案である従来型の福祉国家も、同じくらい問題を抱えている点にあります。完全雇用と経済成長、稼働労働主義に支えられた福祉国家は、福祉受給者に対するスティグマ付与、官僚制の肥大、勤労意欲の減退、膨大な財政赤字、パターナリズムといった社会的、政治的病理に苦しんできました。古きよき福祉国家への先祖返りも難しいのです。

本講義は、こうした問題意識を前提に、現在、ヨーロッパを中心に議論されているベーシック・インカムについて学んでいくものです。ベーシック・インカムとは、「すべての市民に、その人生のあらゆる期間にわたって、無条件の社会手当を政府が保証する」という大胆な最低所得保障制度です（イギリスでは citizen's

income とも呼ばれています）。ベーシック・インカムの導入によって、保険、年金、公的扶助、各種補助金といった複雑な社会保障制度が一本化され、膨大な官僚機構と租税システムが大幅に整理されます。また、ベーシック・インカムは、すべての人に最低所得を無条件に保証することによって、市場経済の競争を「より人間的な競争」に変え、多様な生き方の開花する社会を可能にすると期待されます。本講義では、「人間の顔をした資本主義」という社会構想（ベーシック・インカム資本主義）を、新たな社会秩序構想の一つとして皆さんに紹介し、その利点と問題点を議論し、一緒に学んでいくことを目指しております。

〔教科書〕

授業のはじめに英語文献を一冊指定します。200 頁ほどの著書を考えております。ですので事前の購入は不要です。

〔参考書〕

『Basic income, Unemployment and Compensatory Justice』, L. M. F. Groot, Kluwer Academic, 2004.

『ベーシック・インカム—基本所得のある社会へ—』ゲッツ・ヴェルナー著 渡辺一男訳 東京書館 2007 年

演習 II

「政治学における東南アジア」 2 単位 春学期
山本 信人

〔授業科目の内容〕

本演習は政治学の観点から東南アジアに迫る。国家、民主化、社会運動、市民社会、宗教、民族など、問題の設定によって東南アジアは異なる政治の姿をみせる。政治学の主要なトピックを扱う教科書を通して、東南アジア政治についての学びを深めたい。

また、本演習はたんに受動的に教科書を読み進めるのではなく、教科書の議論をヒントにして、履修者には期末ペーパー（研究論文）を作成してもらう。

〔教科書〕

『Southeast Asia in Political Science: Theory, Region, and Qualitative Analysis』Erik Martinez Kuhonta・Dan Slater・Tuong Vu (eds.), Stanford: Stanford University Press, 2008, 480p

本書は日吉メディアセンターにて利用可能の予定。メディアセンターに問い合わせてください。

〔参考書〕

授業中に適宜提示する。

演習 II

「ネイション・ステイト（国民国家）と 2 単位 秋学期
 戦争・革命」
阿南 友亮

〔授業科目の内容〕

本演習では、18 世紀後半以降形成されたネイション・ステイト（国民国家）と戦争・革命・軍隊との相関性について考察する。学生は、テキストを読み、報告をおこない、その報告に関して積極的に討論をすることが求められる。本演習は、専門的知識の習得に加えて、問題発見・論理的思考・プレゼンテーションに関する能力・スキルの向上を目標とする。

〔教科書〕

『States and Social Revolution』, Theda Skocpol, Cambridge: Cambridge University Press, 1979.

〔参考書〕

『*War and the Rise of the State : The Military Foundations of Modern Politics*』, Bruce D. Porter, New York : Free Press, 1994.

『"Social Revolutions and Mass Military Mobilization", Rosemary O'kane, *REVOLUTION vol. 2*』, Theda Skocpol, London : Routledge, 2000.

『戦争の世界史 技術と軍隊と社会』ウィリアム・マクニール 著 高橋均訳 刀水書房

『国民国家と暴力』アンソニー・ギデンズ著 松尾精文他訳 而立書房

『徴兵制と近代日本 1868-1945』加藤陽子著 吉川弘文館

『ミリタリズムの歴史 文民と軍人』アルフレート・ファークツ著 望田幸男訳 福村出版

演習 II

「グローバリゼーションと現代日本」

2 単位 秋学期

オイ、シヨンゴウ

〔授業科目の内容〕

21 世紀には、大都市のグローバル化の発展に伴い、ヒト、モノ、カネ等の国境を超えた、新たな国際社会が形成されてきている。その中、移住・移民、ジェンダー、エスニシティ、外国人労働者、人権、多文化共生など、様々な問題を視野に入れて、グローバリゼーションの現象と影響を中心に課題にしたい。授業の進め方とテキストについては、最初の授業で打ち合わせ、検討したいが、英語文献の輪読、ディスカッション、英文の文献を分担し発表する等の予定。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『*Introduction to Sociology, Fourth Edition*』. Giddens, Anthony, Mitchell Duneier, and Richard P. Appelbaum. New York: W. W. Norton & Company. 2003.

演習 II

「戦間期」再考—世界の「いま」を診る
ための 1919 - 1939」

2 単位 秋学期

金子 新

〔授業科目の内容〕

世界恐慌、ニューディール、保護主義、経済のブロック化……。混迷を極める現在の世界経済を語るとき、しばしば今から 80 年前に発生した 1929 年の世界恐慌やその後の国際社会の展開が参照される。80 年を隔てた二つの時代を安直に比較することは自制すべきであるが、しかし国際政治と国際経済の歴史的な構造変動という点では共通であろう。そこで、本演習では、1919 年から 1939 年の戦間期を、これまでの歴史研究の知見を踏まえつつ振り返り、この時代の実相を問い直すことを主題とする。それによって、現下の世界秩序の変動を見る目を養い、展望を得る契機としたい。その上で、本演習においてもドイツを視角の中心に置きたい。この時期のドイツは、いわゆるワイマール共和国の時代が中心をなす。つまり第一次大戦の敗北からヒトラーの台頭、第二次大戦の勃発に至るまでのワイマール・ドイツから戦間期の国際政治を再考することとなる。それにより、

戦勝国や覇権国の目線による国際秩序論とはひと味ちがった知見や教訓が得られるのではないかと期待している。本演習では英語文献を中心に講読していく。

〔教科書〕

特に教科書は指定しません。講読する英語文献・論文を初回授業時に選択し、各部をコピー配布する予定です。

〔参考書〕

『ヴァイマル共和国』リタ・タルマン著 文庫クセジュ 2003 年

『ワイマール共和国史』ハンス・モムゼン著 水声社 2001 年

『*The Inter-War Crisis 1919-1939*』, 2.edition R. J. Overy, Longman, 2007

『*Twenty Years' Crisis, 1919-1939*』E.H. Carr, Harper, 1981

『*Weimar: Die überforderte Republik*』Ursula Büttner, klett-Cotta, 2008

その他の参考文献は、初回授業時に紹介します。

演習 II

「現代アメリカ政治とメディア」

2 単位 秋学期

清原 聖子

〔授業科目の内容〕

アメリカ政治については、日本に居ながらに得られる情報も多く、「もう十分知っている」という感覚を持つ人も少なくないだろう。しかし社会人となり、様々な分野で活躍するようになると、アメリカ政治の正確な基本的知識を必要とする機会は想像以上に多いものである。そこで、本授業の目的は、アメリカ政治の基礎知識や特徴をしっかりと学び、自分なりのアメリカ政治に対する見解を身につけてもらうことにある。本授業では前半、「現代アメリカ政治を動かすメディア」という視点から、毎回教科書の指定箇所を輪読することを基本に、インターネットの利用が広がった 2008 年大統領選挙を振り返り、アメリカ外交に及ぼすメディアの影響について議論を行う。また、本授業は、少人数授業の特徴を生かして、問題発見・論理的思考・議論の展開の仕方など、プレゼンテーションに関する能力・スキルの向上も目標にしている。そこで授業後半には、グループワークによるリサーチ・プレゼンテーションを中心に、授業を進めていきたい。

〔教科書〕

『オバマのアメリカ 大統領選挙と超大国のゆくえ』渡辺将人 著 幻冬舎出版 2008 年

『情報戦争 9・11 以降のアメリカにおけるプロパガンダ』ナンシー・スノー著 福間良明訳 岩波書店 2004 年

〔参考書〕

『アメリカ政治』久保文明・砂田一郎・松岡泰・森脇俊雅著 有斐閣 2006 年

『アメリカの政治』久保文明編著 弘文堂 2005 年

『アメリカ外交の政治過程』浅川公紀著 頸草書房 2007 年

『誰がオバマを大統領に選んだのか』越智道雄著 NTT 出版 2008 年

その他授業中に紹介します。

演習 II

「現代中東論に関する英語文献の講読」

2 単位 秋学期

富田 広士

〔授業科目の内容〕

現代中東論に関する英語文献を次の記事を手始めに、講読する。

Egypt
Financial Times Special Report Wednesday
December 17 2008
'Fragile advances under threat'
'Reforms set to take edge off tough times'
'Good intentions fail to fill diplomatic void'
'A more cautious approach to lending'
'Sentiment gets bruised'
'Division, rule and a sense of stagnation'
'The fastest route, even in a slowdown'
'Struggle to keep pace with ever increasing numbers'
'Emerging from years of neglect'
'A deepening religious divide puts strains on national unity'
'State tries to sweeten terms'
'Big push to keep old and new customers happy'
'High hopes for change as schools fail the test'
'Attention turns to virgin travel territory'
'New home for treasures of the boy king'
etc

〔教科書〕

テキスト：文献のコピーの求め方は初回授業時間に指示する。

演習 II

「アメリカの有名政治家の自伝を英語で読む」 2 単位 秋学期
西川 賢

〔授業科目の内容〕

この授業では、バラク・オバマ、ジョン・マケイン、ニクソン、クリントン、アイゼンハワーといったアメリカの有名な政治家の自伝からの抜粋をみんなで少しずつ読んでいきます。

彼らの伝記を読むことは、政治家のパーソナリティや政治指導のスタイルを知る手がかりになるばかりでなく、もちろん英語力を高めることにもつながります。とはいっても、この授業ではただ英語を読んでいくだけではなく、各自がそこから「何を読み取るか」を重視していきたいと思います。また、英語を読んで翻訳し、ただ内容を発表するだけではなく、みんなで討論して意見を交換し、アメリカ政治への理解を深めていくことを目指したいと思っています。

この授業の履修にあたって、参考までに以下のコラムも参考にしてください。

http://www.jiia.or.jp/column/200809/30-Nishikawa_Masaru.html

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

いまのところ予定しているのは以下の本です。

『*Worth the Fighting for: The Education of an American Maverick, and the Heroes who Inspired Him*』 John McCain and Mark Salter, New York: Random House Paperback, 2003

『*Dreams from My Father: A Story of Race and Inheritance*』 Barack Obama, New York: Three Rivers, 2004

その他、必要のあるものは適宜紹介します。

演習 II

「北東アジアの安全保障」

2 単位 秋学期

西野 純也

〔授業科目の内容〕

朝鮮半島の安全保障に関する英語文献を講読し、日本が直面する安全保障問題に対する専門的知識を習得すると共に学問的な問題関心を深めることが本演習の目的です。近年刊行された英文学術誌から北朝鮮核問題、米韓同盟関係、日韓・日朝関係などのトピックを扱った論文をとりあげます。できるだけ、春学期の演習 I とあわせて履修してください。

〔教科書〕

最初の授業で、使用論文リストを提示します。

〔参考書〕

日本語文献で参考になるものをいくつかあげておきます。

『ポスト冷戦の朝鮮半島』 小此木政夫編 日本国際問題研究所 1994 年

『米日韓 反目を超えた提携』 ヴィクター・D・チャ著 有斐閣 2003 年

『日韓国際政治学の新天地』 大畠英樹・文正仁編 慶應義塾大学出版会 2005 年

『韓国における市民意識の動態 II』 小此木政夫・西野純也編 慶應義塾大学出版会 2008 年

そのほかの文献は、授業中に示します。

演習 II

「国際関係思想」

2 単位 秋学期

松元 雅和

〔授業科目の内容〕

本講義は、英国学派の代表的理論家であるクリス・ブラウンのテキストを輪読しながら、英語による専門的文献の読解力を高めること、国際関係思想の見取り図について理解を深めることを目的としています。毎回の授業では、以下の授業計画に従い、担当者によるレジュメ報告と全員による読解の確認、ディスカッションを行う方式を取ります。

〔教科書〕

Chris Brown, *Sovereignty, Rights and Justice: International Political Theory Today*, Cambridge: Polity Press, 2002

〔参考書〕

授業中に適宜紹介します。

4 商 学 部

商学部では2005年4月一年次入学より新カリキュラムが導入されました。それにより設置科目や設置形態が学則により異なりますので、シラバスを読む際に気をつけてください。参照ページは以下のとおりです。

2005年4月以降一年次入学者 → 176ページ～
2004年以前入学者（2005年度二年編入含） → 186ページ～

●基礎科目Ⅰ類（基礎必修科目）

経済学基礎Ⅰ

「ミクロ経済学の基礎」

2単位 春学期

桜本 光 中島 隆信
牧 厚志

〔授業科目の内容〕

初級の経済学を講義する

〔教科書〕

『経済学入門（第二版）』井原・牧・桜本・辻村著 日本評論社 2008年

〔参考書〕

なし

経済学基礎Ⅱ

「マクロ経済学の基礎」

2単位 秋学期

桜本 光 中島 隆信
牧 厚志

〔授業科目の内容〕

初級の経済学を講義する

〔教科書〕

『経済学入門（第二版）』井原・牧・桜本・辻村著 日本評論社 2008年

微積分Ⅰ

「微分積分の基礎（前）」

2単位 春学期 / 秋学期

小宮 英敏 白旗 優
深谷 太香子 眞中 裕子
安田 公美 渡部 睦夫

*注意事項：この科目を履修し不合格だった場合は「微積分Ⅱ」を履修できません。履修申告の方法については履修案内を参照してください。

〔授業科目の内容〕

社会科学の様々な学問において、数学的な考え方や数学的手法が必要とされています。専攻科目の基礎となる経済学、経営学などを数学を用いて理解、研究する時に必要となる、微分、積分の基礎について学ぶのがこの「微積分Ⅰ」です。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示

〔参考書〕

最初の授業の時に指示

微積分Ⅱ

「微分積分の基礎（後）」

2単位 春学期 / 秋学期

小宮 英敏 白旗 優
眞中 裕子 安田 公美
渡部 睦夫

*注意事項：この科目は「微積分Ⅰ」が不合格だった場合は履修できません。履修申告の方法については履修案内を参照してください。

〔授業科目の内容〕

「微積分Ⅰ」に引き続き、微分、積分の基礎について学びます。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示

〔参考書〕

最初の授業の時に指示

統計学Ⅰ

2単位 春学期

早見 均 藪 友良
吉岡 完治

〔授業科目の内容〕

統計学Ⅰおよび統計学Ⅱを通じて、統計学の基本的知識を身につけるとともに、データの分析手法を習得する。

〔教科書〕

『経済分析のための統計的方法』第2版 岩田暁一著 東洋経済新報社

〔参考書〕

『統計学』小尾恵一郎・尾崎巖・松野一彦・宮内環著 NTT出版

担当教員によっては別に教材等を配布することがある。

統計学Ⅱ

2単位 秋学期

早見 均 藪 友良
吉岡 完治

〔授業科目の内容〕

統計学の基本的知識を身につけるとともに、データの分析手法を習得する。統計学Ⅰの知識（履修）を前提とする。

〔教科書〕

『経済分析のための統計的方法』第2版 岩田暁一著 東洋経済新報社

〔参考書〕

『統計学』小尾恵一郎・尾崎巖・松野一彦・宮内環著 NTT出版

担当教員によっては別に教材等を配布することがある。

●基礎科目Ⅱ類（基礎基盤科目）

経済史Ⅰ

2 単位 春学期
牛島 利明

〔授業科目の内容〕

この講義は、日本の経済や経営・産業について専門的に学ぶ際に必要となる、戦後の日本経済・産業の歴史的背景についての知識を習得してもらうことを目的とします。春学期の授業では、第二次大戦後の復興期から高度成長期までの日本経済全体の歩みを理解するとともに、各時代を代表する主要な産業をケースとしてとりあげ、「日本的」と称されるシステムがどのようなプロセスで生成してきたのかを講義する予定です。

〔教科書〕

『日本経済史』浜野潔ほか著 慶應義塾大学出版会（近刊）を適宜使用する。

〔参考書〕

『現代日本経済』橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭著 有斐閣 1998 年

経済史Ⅱ

2 単位 秋学期
牛島 利明

〔授業科目の内容〕

この講義は、将来、日本の経済や経営・産業について専門的に学ぶ際に必要となる、戦後の日本経済・産業の歴史的背景についての知識を習得してもらうことを目的とします。秋学期の授業では、「日本型」経済・企業システムの変化を意識しつつ、1970 年代の石油危機以降から 90 年代までの日本経済全体の歩みを理解するとともに、各時代を代表する主要な産業・企業の事例に注目して講義する予定です。

〔教科書〕

『日本経済史』浜野潔ほか著 慶應義塾大学出版会（近刊）を適宜使用する。

〔参考書〕

『現代日本経済』橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭著 有斐閣 1998 年

経済史Ⅰ

「近代日本経済史入門」

2 単位 春学期
平野 隆

〔授業科目の内容〕

開港・明治維新期から 1920 年代（昭和恐慌）までの時期を対象として、日本の経済・社会の歴史的展開を概観します。この講義の目標は、「今」の日本社会が直面する諸問題を考えるための長期的・複眼的視野を身につけてもらうことです。そのために、①史実を「できごとの因果関係の連鎖」としてとらえる、②1 つの史実に対して、できるだけ複数の解釈を提示し、どの見方がより説得的かを各自が考える機会を提供する、ことを意識して話を進めます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

『近現代日本経済史要覧』三和良一・原朗編 東京大学出版会

『概説日本経済史・近現代』（第 2 版）三和良一著 東京大学出版会

『日本経済』（第 3 版）中村隆英著 東京大学出版会

『日本経済史』（1～6 巻）梅村又次他編 岩波書店

『日本経済の 200 年』尾高煌之助・斎藤修編 日本評論社

『途上国ニッポンの歩み』大野健一著 有斐閣

その他の参考文献は講義中に適宜紹介します。

経済史Ⅱ

「現代日本経済史入門」

2 単位 秋学期
平野 隆

〔授業科目の内容〕

経済史Ⅰを受けて、1930 年代（戦時体制）から 21 世紀初頭までの時期を対象として、現代日本の経済・社会の歴史的背景を理解するための複眼的視野を身につけてもらうことを目標とします。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

『近現代日本経済史要覧』三和良一・原朗編 東京大学出版会

『概説日本経済史・近現代』（第 2 版）三和良一著 東京大学出版会

『日本経済』（第 3 版）中村隆英著 東京大学出版会

『日本経済史』（6～8 巻）梅村又次他編 岩波書店

『昭和経済史』中村隆英著 岩波書店

『戦後の日本経済』橋本寿朗著 岩波新書

『日本の経済—歴史・現状・論点』伊藤修著 中公新書

『途上国ニッポンの歩み』大野健一著 有斐閣

その他の参考文献は講義中に適宜紹介します。

社会経済学Ⅰ

2 単位 春学期
赤川 元章

〔授業科目の内容〕

数理主義的観点から「経済人」の効率的な経済行為を基本として構成される経済学に対し、社会経済学は歴史・社会的諸現象全体との関連を重視する。すなわち、社会制度の発展に応ずる政治的・社会的・倫理的・地政学的諸要因などを包括する現実態としての社会経済を対象とし、これを経済的観点から整理・分析して、その構造・実体を究明する。その意味では、本講義は現代経済の提起する社会制度上の諸問題への導入口であるにとどまらず、広い世界認識を養うと同時に細分化された専門領域に入る前にその領域の位置を確認する契機ともなう。本講義は以下の順序で行う予定である。

社会経済学Ⅱ

2 単位 秋学期
赤川 元章

〔授業科目の内容〕

数理主義的観点から「経済人」の効率的な経済行為を基本として構成される経済学に対し、社会経済学は歴史的・社会的諸現象全体との関連を重視する。すなわち、社会制度の発展に応ずる政治的・社会的・倫理的・地政学的諸要因などを包括する現実態としての社会経済を対象とし、これを経済的観点から整理・分析して、その構造・実体を究明する。その意味では、本講義は現代経済の提起する社会制度上の諸問題への導入口であるにとどまらず、広い世界認識を養うと同時に細分化された専門領域に入る前にその領域の位置を確認する契機ともなう。本講義は以下の順序で行う予定である。

私法基礎 I

「契約法の基礎」

2 単位 春学期

鹿野 菜穂子

〔授業科目の内容〕

この授業では、契約・財産・家族などを柱とする市民法のうち、特に契約をめぐる問題を中心に提起し、その基本概念と基礎理論を、できるだけ具体的な事例を交えながら解説することを目的とする。それにより、法学の基礎知識と法的思考方法の基本をマスターし、市民社会を支える最も基本的な法制度の特色を理解することを通じて、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。私法は、民法、商法、その他の特別法を通じて、誰に、どのような私法上の権利（人格権、所有権・その他の物権、債権、家族法上の権利を中核とする、いわゆる私権）が帰属するのかを決定する実体法の中心部分を占めている。そこには、私法上の権利の主体・権利の客体・権利の変動および権利の効果についてのルールが含まれている。私法基礎 I（春学期）では、こうしたルールの基本的な仕組みに焦点を当て、民法上定められた権利の主体および客体と、契約の成立および効力をめぐる問題とを中心にして解説を行う。

〔教科書〕

『はじめての契約法（第2版）』笠井修・鹿野菜穂子・滝沢昌彦・野沢正充著 有斐閣 2006 年

教科書のほか、六法は必携

〔参考書〕

『判例講義民法1（補訂版）』奥田昌道・安永正昭・池田真朗編 悠々社 2005 年

私法基礎 II

「契約をめぐる諸問題」

2 単位 秋学期

鹿野 菜穂子

〔授業科目の内容〕

この授業では、契約の成立から履行が終了するまでに生ずる諸問題を取り上げ、それをできるだけ具体的な事例を交えながら解説することにより、民法の解釈について理解してもらうことを目的とする。

〔教科書〕

『はじめての契約法（第2版）』笠井修・鹿野菜穂子・滝沢昌彦・野沢正充著 有斐閣 2006 年

教科書のほか、六法は必携

〔参考書〕

『判例講義民法2（補訂版）』奥田昌道・安永正昭・池田真朗編 悠々社 2005 年

私法基礎 I

「民事法の基礎」

2 単位 春学期

本田 耕一

〔授業科目の内容〕

民法・民事訴訟法など民事法について初歩的な知識を身につけることをめざします。

〔教科書〕

『民法への招待』池田真朗著 税務経理協会

〔参考書〕

必要に応じて講義の際に指示します。

私法基礎 II

「民事法の基礎」

2 単位 秋学期

本田 耕一

〔授業科目の内容〕

民法・民事訴訟法など民事法について初歩的な知識を身につけることをめざします。

〔教科書〕

『民法への招待』池田真朗著 税務経理協会

〔参考書〕

必要に応じて講義の際に指示します。

●専攻科目I類（専攻核科目）

経営学（環境と戦略）

2 単位 春学期

岡本 大輔 菊澤 研宗
谷口 和弘

〔授業科目の内容〕

国際化や情報化の進展とともに今日の企業経営を取り巻く状況は大きく変化している。またそれとともに「経営学」の名において扱われる問題領域もますます多岐に渡っている。本講義では、このような経営学の全体像を明らかにするために、経営学の主要なテーマについて論じ、企業行動の分析のための基本的な知識の理解と習得を目指す。

〔教科書〕

初回の講義で説明する。

〔参考書〕

初回の講義で説明する。

経営学（組織と管理）

2 単位 秋学期

岡本 大輔 菊澤 研宗
谷口 和弘

〔授業科目の内容〕

国際化や情報化の進展とともに今日の企業経営を取り巻く状況は大きく変化している。またそれとともに「経営学」の名において扱われる問題領域もますます多岐に渡っている。本講義では、このような経営学の全体像を明らかにするために、経営学の主要なテーマについて論じ、企業行動の分析のための基本的な知識の理解と習得を目指す。

〔教科書〕

初回の講義で説明する。

〔参考書〕

初回の講義で説明する。

基本簿記と財務諸表の見方

「簿記会計の基礎」

2 単位 春学期

坂口 博

〔授業科目の内容〕

簿記はビジネスの言葉といわれます。今日では企業活動だけでなく行政活動の実態を理解するうえで簿記の知識は欠かせません。企業や行政の活動の効率を判断する有力な技法・知識が簿記です。企業(株式会社)はその活動の実態を財務諸表の形で公表する(届け出る)義務があります。また私たちには、財務諸表を読み取って、企業活動の良し悪し(業績)判断する能力が求められます。そこで、本講義では、企業簿記(複式簿記)のシステムと財務諸表の見方を身につけることを目標にしています。授業は半期講義ですので、授業の進度が早いですが、授業を欠席しないように主体的勉強を期待します。

〔教科書〕

『新簿記会計提要』改訂版 坂口博著 泉文堂 2008 年及び 2009 年 ISBN:978-4-7930-0346-2

〔参考書〕

日本商工会議所編『商業簿記 3 級問題集』一ツ橋出版や税務経理協会ほか数社から発行されている。

基本簿記と財務諸表の見方

「複式簿記論と財務諸表分析」

2 単位 春学期

佐藤 康廣

〔授業科目の内容〕

複式簿記の処理手続を体系的知識として修得すること。更に、記録に基づき財務諸表の作成・分析の技法を修得することを目的とする。このため、講義資料により内容を分析・整理した上で、その確認・理解のために練習を行う。

〔教科書〕

講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『新検定簿記講義 3 級』中央経済社
『新検定ワークブック 3 級』中央経済社

基本簿記と財務諸表の見方

2 単位 春学期

高田 京子

〔授業科目の内容〕

複式簿記とは、企業の経済活動を翻訳し、記録し、報告するためのシステムである。このシステムによって作成される財務諸表は、企業の財政状態や経営成績を表す情報として種々の利害関係者に利用されることとなる。

本講義で学習する複式簿記の基礎、および、財務諸表の基本的な読み方は、企業や企業をとりまく経済環境を理解するための基盤となるだろう。

〔教科書〕

『新検定簿記講義 3 級商業簿記』加古宜士・渡部裕巨・片山覚編著 中央経済社

〔参考書〕

『新検定簿記ワークブック 3 級商業簿記』加古宜士・渡部裕巨・片山覚編著 中央経済社

『財務会計・入門－企業活動を描き出す会計情報とその活用方法(第 5 版)』桜井久勝・須田一幸著 有斐閣

基本簿記と財務諸表の見方

2 単位 春学期

鷹野 宏行

〔授業科目の内容〕

企業は、その経済活動を継続的に記録し、それを加工して、定期的に報告していかなければならない。この一連の流れは、ふつう、企業会計と呼ばれている。企業会計が、企業を取り巻く利害関係者への一種のコミュニケーションの手段であるということに注目すると、企業会計は、ことばの体系にたとえることができよう。このようにたとえた場合、簿記は、さしずめ企業会計の文法規約であると考えられるであろう。

〔教科書〕

『アカウンティング・エッセンシャルズ』友岡賛・福島千幸著 有斐閣

基本簿記と財務諸表の見方

2 単位 春学期

永見 尊

〔授業科目の内容〕

企業の成績を評価するためには、会計数値を理解することが不可欠です。どの企業がより優れているのか、あるいは一企業の 3 年間の成績はどのように推移しているのか、といった側面を知るためには、たとえば売上高、経常利益、流動資産あるいは自己資本といった会計用語や数値の意味が理解できなければなりません。この授業は、簿記の仕組み、貸借対照表および損益計算書の意味、そして財務諸表の分析といった幅広い領域を対象として、簿記および会計の基本的な考え方を学びます。

〔教科書〕

『新訂 現代簿記』中村忠著 白桃書房

講義資料プリントおよび問題プリントを適宜配布します。

商業学 II (春学期)

「マイクロ・マーケティング論の基礎」

2 単位 春学期

齊藤 通貴

〔授業科目の内容〕

本講義はマイクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究のマイクロ・マーケティング論部分の基礎的な知識の獲得を目的とし、また、さらに専門的な研究への導入の役割を持つ。また、秋学期に開講される商業学 I を同時に受講することが望ましい。講義内容は以下の通りである。

I. 商業学とマーケティング論

1. 商業学とはなにか
2. 商業学研究の領域—マイクロおよびマクロ・マーケティング

II. ミクロ・マーケティング論

1. マーケティングの生成と発展
2. マーケティング戦略意思決定とそのプロセス
3. マーケティング・ミックスの構成要素
4. サービス・マーケティング

5. 生産財 (B to B) マーケティング
6. ブランド戦略
7. 競争の戦略
8. 消費者行動研究とマーケティング

〔教科書〕

講義で指示する。

〔参考書〕

特に定めないが適宜適切な参考書を講義で紹介していく。

商業学Ⅰ (秋学期)

「マクロ・マーケティング論の基礎」

2 単位 秋学期

齊藤 通貴

〔授業科目の内容〕

本講義はミクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究領域の中でマクロ・マーケティング論の基礎的な知識の獲得を目的とし、また、さらに専門的な研究への導入の役割を持つ。講義内容は以下の通りである。

I. 商業学とマーケティング論

1. 商業学とはなにか
2. 商業学研究の領域—ミクロおよびマクロ・マーケティング

II. マクロ・マーケティング論

1. 社会における流通・商業の役割と機能
2. 日本の流通システムおよび商業の特質
3. 小売業の発展と諸理論
4. 小売流通の特質と課題
5. 卸売業の特質と課題
6. マーケティングと環境

〔教科書〕

講義で指示する。

〔参考書〕

特に定めないが適宜適切な参考書を講義で紹介していく。

商業学Ⅰ (春学期)

「日本の流通業の実態と流通政策」

2 単位 春学期

清水 聡

〔授業科目の内容〕

マーケティングはそもそも流通経路の確保から始まった学問であり、その意味では流通について最初に学ぶことはマーケティング研究の第一歩である。この講義では、個々の企業の戦略レベルの話ではなく、大きな社会システムとしての理論を学ぶ。具体的には現在の日本における具体的な流通についての事例から話を始め、流通に関するさまざまな問題や政策の理論を体系的に学んでいくことを目的としている。

〔教科書〕

『1からの流通』石原武政・竹村正明編 碩学舎 2008 年

商業学Ⅱ (秋学期)

「マーケティング戦略の基本を学ぶ」

2 単位 秋学期

清水 聡

〔授業科目の内容〕

三田の専門課程で行われる各種マーケティング理論の基礎を学ぶ科目であり、商業学Ⅰが社会システムの中での講義であるのに対して、この商業学Ⅱでは、個々の企業戦略のベースとなる考え方を学ぶのがその目的である。

〔教科書〕

『マーケティング戦略[新版]』和田充夫・恩蔵直人・三浦俊彦著 有斐閣アルマ 2000 年

商業学Ⅱ (春学期)

「ミクロ・マーケティング基礎論」

2 単位 春学期

鄭 潤澈

〔授業科目の内容〕

本授業は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とします。講義の内容は、商業学（経営、経済全般）における様々な既存文献から多様な分野の基礎を幅広く取り扱いますので、各自興味のある個別内容は三田設置の各専門科目にて深層的に勉強してください。また、定性的アプローチと定量的アプローチを平行しますが、定量的概念は数理分析を具体的に学ぶよりは、分析から出た結果の意味を理解することを目指します。商業学Ⅱ (春学期：ミクロ) では、「企業レベル」の視野から見たマーケティング・マネジメントの基本概念を講義します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

商業学全般に関して様々なテキストがあるので各自参考にしてください。授業の内容に関連するものとして一例の参考文献を挙げますと、

『現代マーケティング』嶋口充輝・石井淳蔵著 有斐閣 1995 年

『商業学』石原武政・池尾恭一・佐藤善信著 有斐閣 2000 年

『経営の経済学：Business Economics』丸山雅祥著 有斐閣 2005 年

商業学Ⅰ (秋学期)

「マクロ・マーケティング基礎論」

2 単位 秋学期

鄭 潤澈

〔授業科目の内容〕

本授業は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とします。講義の内容は、商業学（経営、経済全般）における様々な既存文献から多様な分野の基礎を幅広く取り扱いますので、各自興味のある個別内容は三田設置の各専門科目にて深層的に勉強してください。また、定性的アプローチと定量的アプローチを平行しますが、定量的概念は数理分析を具体的に学ぶよりは、分析から出た結果の意味を理解することを目指します。商業学Ⅰ (秋学期：マクロ) では、「社会レベル」の視野から見たマーケティング・マネジメントの基本概念を講義します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

商業学全般に関して様々なテキストがあるので各自参考にしてください。授業の内容に関連するものとして一例の参考文献を挙げますと、

『現代流通』矢作敏行著 有斐閣 1996 年

『流通原理』田村正紀著 千倉書房 2001 年

『ベーシック流通と商業』原田英生・向山雅夫・渡辺達朗著 有斐閣アルマ 2002 年

『経営の経済学：Business Economics』丸山雅祥著 有斐閣 2005 年

商業学Ⅰ（春学期）

2 単位 春学期
堀越 比呂志

〔授業科目の内容〕

本講義は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とする。商業学は、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果と、個別経済主体に焦点を当てたミクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をマクロ・マーケティング論、後者をミクロ・マーケティング論と呼んでいる。商業学Ⅰでは、商業学全体にかかわる総論的イントロダクションに続いて、マクロ的研究成果の概観とその基礎知識の提供を目的とする。内容としては、商業史、流通論、流通政策といった分野の成果に焦点を置いたものとなる。

〔教科書〕

特に使用しない。講義資料は適宜配布する。できるだけ、板書を詳しくするつもりなので、ノートの整理をきちんとするよう心がけてほしい。

〔参考書〕

『商業学』久保村隆祐・荒川祐吉編 有斐閣
『日本の流通機構』佐藤肇著 有斐閣
『現代流通政策』渡辺達朗著 中央経済社

商業学Ⅱ（秋学期）

2 単位 秋学期
堀越 比呂志

〔授業科目の内容〕

本講義は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とする。商業学は、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果と、個別経済主体に焦点を当てたミクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をマクロ・マーケティング論、後者をミクロ・マーケティング論と呼んでいる。商業学Ⅱでは、上記のような商業学の構造の説明をした上で、ミクロ的研究成果の概観とその基礎知識の提供を目的とする。内容としては、商業経営論、マーケティング管理論、消費者行動論といった分野の成果に焦点を置いたものとなる。

〔教科書〕

特に使用しない。講義資料は適宜配布する。できるだけ、板書を詳しくするつもりなので、ノートの整理をきちんとするよう心がけてほしい。

〔参考書〕

『商業学』久保村隆祐・荒川祐吉編 有斐閣
『マーケティング・マネジメント』邦訳の4版、7版 ミレニアム版（ピアソン・エデュケーション）のどれでもよし P. コトラ著 プレジデント社
『現代マーケティングの基礎理論』村田昭治・田内幸一編著 同文館

産業経済論 a / 産業経済論 b

2 単位 春学期

2 単位 秋学期

井手 秀樹（コーディネーター）
平野 隆（コーディネーター）

〔授業科目の内容〕

本講義は、商学部の4大専攻分野のひとつである「経済・産業」に属する諸分野の総合的な入門講義である。

他の3分野（経営、会計、商業）については、それぞれ入門的な講義が用意されているので、日吉の学生諸君にも比較的なじみがあるものと思われる。しかし、「経済・産業」を構成する様々な分野、すなわち、金融、保険、公共経済、交通、産業組織、社会保障、労働経済、労務管理、国際経済、国際金融、産業史・経営史については、必ずしも十分には知られていないのが実情である。

いずれも経済学（ミクロ経済学およびマクロ経済学）を基礎とする学問であるという点は共通性を持つが、取り上げる題材は異なり、アプローチの仕方も一様ではない。

そこで、各分野の担当者による入門講義を集中的に組むことで、これらの学問に対する認識を深めてもらい、あわせて三田でそれらを学ぶのに必要な基礎知識を身につけてもらうというのがこの講義のねらいである。

〔教科書〕

本講義に関する統一の教科書はない。文献は必要に応じて各担当者が講義中に指示する。

〔参考書〕

上に同じ。

●専攻科目Ⅱ類（専攻基本科目）

応用経営学

「企業をめぐる諸課題」

2 単位 秋学期

佐藤 和（コーディネーター）

〔授業科目の内容〕

本講義は日吉キャンパスに設置されている経営学（環境と戦略）・経営学（組織と管理）と三田キャンパスに設置されている現代企業経営各論・経営管理各論・経営学説史各論などの講義との橋渡しの役割を持っている。前者では経営学の初学者を対象に入門的な経営学概論が講義され、後者ではより専門的な各論が扱われるが、本講義では、三田の各論担当者による各専門分野・各論の紹介が毎週オムニバス方式で行なわれ、経営学という学問分野全体に対する位置づけを考察する。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

応用簿記

4 単位 秋学期集中

佐藤 康廣

〔授業科目の内容〕

「基本簿記と財務諸表の見方」の科目で修得した基本原則・知識を基礎にして、個人企業及び株式会社を対象にした複式簿記を学習する。このため講義資料・教科書により内容を分析・整理した上で、その確認・理解のために記帳練習を行う。

〔教科書〕

講義資料プリント『新検定簿記講義商業簿記2級』中央経済社、『新検定簿記ワークブック商業簿記2級』中央経済社
〔参考書〕

『日商簿記検定試験問題集3級、2級』日本商工出版

応用簿記

4単位 秋学期集中
高田 京子

〔授業科目の内容〕

「基本簿記と財務諸表の見方」をふまえ、日商簿記2級程度の商業簿記の修得を目標とする。株式会社固有の取引や本支店会計、帳簿組織などの学習は、企業の経済活動を知るだけでなく、株式会社の特性を理解する一助にもなるだろう。

〔教科書〕

『新検定簿記講義2級商業簿記』加古宜士・渡部裕亘・片山覚編著 中央経済社

〔参考書〕

『新検定簿記ワークブック2級商業簿記』加古宜士・渡部裕亘・片山覚編著 中央経済社

応用簿記

4単位 秋学期集中
鷹野 宏行

〔授業科目の内容〕

本講義は、春学期科目「基本簿記と財務諸表の見方」を履修済みの学生を対象に、株式会社で行われる簿記の諸手続を中心に展開される。概ね日商簿記検定2級商業簿記の学習範囲を対象とする。

〔教科書〕

開講時に指示する。

応用簿記

4単位 秋学期集中
前川 千春

〔授業科目の内容〕

本科目は「基本簿記と財務諸表の見方」を履修後の学生を対象としており、複式簿記の基本構造についての理解を深めるとともに、特殊商品売買・本支店会計の学習に重点を置いて日商簿記2級程度の商業簿記を習得することを目的としている。

〔教科書〕

『新検定 簿記講義2級商業簿記』中央経済社

〔参考書〕

第1回の授業の際に紹介する。また、必要に応じてプリントを配付する。

財務会計論

4単位 春学期集中
黒川 行治

〔授業科目の内容〕

財務会計の基本的枠組み、会計基準の設定過程の問題、会計代替案選択に関する会計意思決定の問題、会計認識および会計測定に関する基本的論理、会計測定の変容を踏まえた近年の会計諸基準の具体的内容について、理解を深めることを目標とする。

〔教科書〕

『会計学一般教程（第7版）』武田隆二著 中央経済社
〔参考書〕

『合併会計選択論』黒川行治著 中央経済社

管理会計論

4単位 秋学期集中
園田 智昭

〔授業科目の内容〕

本講義では、原価計算と管理会計の基礎的な部分について学習します。原価計算は、企業が製品を製造したり、サービスを提供したりするために、どのくらいのコストがかかったのかを計算します。一方、管理会計は、企業を経営するために必要な会計情報を提供します。管理会計で用いられる情報の多くは、原価計算の手法を用いて作成されますので、両者は密接な関係にあると言えます。（1・2限の連続授業です）

〔教科書〕

本年度に出版予定のテキストを使用します。書名等は秋学期開始前に掲示します。出版が遅れた場合には別のテキストを使用しますが、そのときは1回目の授業で指示します。

〔参考書〕

『新検定簿記ワークブック 2級工業簿記』岡本清・廣本敏郎著 中央経済社

監査論

2単位 春学期
永見 尊

〔授業科目の内容〕

本講義では、監査論に初めて触れる人を対象に、監査とは何か、なぜ監査が必要とされるのか、監査の対象は何か、監査はどのように行われ、どのような形で報告されるのか、といったテーマについて学んでいきます。具体的には、「監査の主題」「監査生成論」、さらに財務諸表監査における「監査主体論」「監査証拠論」「監査報告論」に取り組んでいきます。また、毎回の授業で新聞記事の切り抜きを配布し、現在の監査の問題、現状、規定の動向、事件などに触れていきたいと思います。

〔教科書〕

『監査論テキスト [第2版]』山浦久司著 中央経済社

また、講義資料プリントおよび新聞記事を適宜配布します。

企業法

4単位 春学期集中
来住野 究

〔授業科目の内容〕

企業法とは商法の意義を実質的に捉えた場合の別名であり、商法総則・商行為法、会社法、手形法・小切手法などを含む。本講義では、商法総則・商行為法を中心として講義するが、会社法、手形法・小切手法、経済法・消費者保護法についても序論的に講義することにより、商法の主要な制度の体系的な理解

と考え方の養成を目指すとともに、三田での関連科目の足がかりとしたい。

〔教科書〕

特に指定しない。レジュメを配布する。

〔参考書〕

『現代商法入門〔第7版〕』近藤光男編 有斐閣アルマ 2006年

『商法I－総則・商行為〔第3版補訂版〕』落合誠一・大塚龍児・山下友信著 有斐閣Sシリーズ 2007年

『企業法入門〔第4版〕』龍田節・杉浦市郎著 悠々社 2008年

マーケティング・マネジメント論

2単位 春学期
小野 晃典

〔授業科目の内容〕

「マーケティング・マネジメント」は、マーケティングの基礎理念である企業と顧客との交換関係の構築を企業のマネジメントの基礎をなす重要戦略と見なす考え方である。本科目は、マーケティング・マネジメントに含まれる様々な戦略的アイデアを体系的に学習することを通じて、日吉設置の核科目である「商業学I」「商業学II」、および、三田設置の応用科目である「広告論」「流通論」「消費者行動論」「製品開発論」「マーケティング・リサーチ」等々を架橋することを目的とする。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業中に適時紹介する。

マーケティング・マネジメント論

「マーケティング戦略立案のための理論と実際」2単位 秋学期
高橋 郁夫

〔授業科目の内容〕

マーケティング戦略を立案する上で必要となる理論や考え方を具体的事例も踏まえながら講義する。商業学IIでは取り上げ切れなかった応用的領域や先端的事例も適宜取り上げることによって、マーケティングへのより深い関心と理解を受講生に与えることを目的とする。

〔教科書〕

特に使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

〔参考書〕

『三訂 消費者購買行動－小売マーケティングへの写像』高橋郁夫著 千倉書房 2008年

その他については、講義の際に紹介する。

マーケティング・マネジメント論

「マーケティング意思決定入門」2単位 春学期
濱岡 豊

〔授業科目の内容〕

この授業では、マーケティングにおける意思決定の諸局面および、そこで利用される主要な概念、モデルを紹介する。これを通じて、マーケティングにおける諸概念、なかでも情報、モデル、論理の一貫性の重要性を理解してもらいたい。あわせてマーケティングの最新の動向についても紹介し、日吉での商業学II（マイクロ・

マーケティング）から三田での専門科目（マイクロ・マーケティング各論）への橋渡しとしたい。

〔教科書〕

（指定なし）

講義資料は濱岡のホームページからダウンロード可能とする予定である。

<http://news.fbc.keio.ac.jp/.hamaoka/>

〔参考書〕

上記の資料およびホームページを参照

経済学I

「現実社会や政策を理解するためのマクロ経済学」2単位 春学期

樋口 美雄

〔授業科目の内容〕

この授業では身の回りの経済問題を取り上げ、マクロ経済学の視点から考察する。景気変動やインフレ、デフレはなぜ起こるか。これに対する政府や中央銀行の対策はいかにあるべきか。経済発展はどのような要因によって決まってくるか。少子高齢化とどのように関連しているかなどについて講義する。

〔教科書〕

『労働経済学』樋口美雄著 東洋経済新報社

〔参考書〕

『労働経済学』中馬宏之・樋口美雄著 岩波書店

経済学II

「現実社会や政策を理解するためのミクロ経済学」2単位 秋学期

樋口 美雄

〔授業科目の内容〕

この授業では身の回りの経済問題を取り上げ、ミクロ経済学の視点から考察する。資源配分やイノベーションが企業行動や家計行動、市場を通じてどのように変化していくかについて考察する。

〔教科書〕

『労働経済学』樋口美雄著 東洋経済新報社

〔参考書〕

『労働経済学』中馬宏之・樋口美雄著 岩波書店

経済学I

「金融経済を理解するためのマクロ経済学」2単位 春学期
山本 勲

〔授業科目の内容〕

この授業では、金融経済を理解するツールとしてのマクロ経済学を学習するとともに、身の回りで問題になっている経済現象に適用することを試みる。三田の専門課程で経済学の応用分野を学習する準備段階として、また、現実経済を経済学の視点から捉える訓練として、景気変動や経済成長のメカニズム、インフレ・デフレ、失業、金融・財政政策などについて、日本経済を例に取りながらわかりやすく講義する。

〔教科書〕

『マクロ経済学・入門（第3版）』福田慎一・照山博司著 有斐閣 2005年

〔参考書〕

授業において適宜指定。

経済学 II

「金融経済を理解するためのミクロ経済学」 2単位 秋学期
山本 勲

〔授業科目の内容〕

この授業では、金融経済を理解するツールとしてのミクロ経済学を学習するとともに、身の回りで問題になっている経済現象に適用することを試みる。三田の専門課程で経済学の応用分野を学習する準備段階として、また、現実経済を経済学の視点から捉える訓練として、家計や企業の行動、価格、市場や政府・中央銀行の役割などについて、日本経済を例に取りながらわかりやすく講義する。

〔教科書〕

『ミクロ経済学（第2版）』伊藤元重著 日本評論社 2005年

〔参考書〕

授業において適宜指定。

●総合教育科目（Ⅲ類）

社会との対話D

「短期インターンシップ科目」 4単位 通年
安藤 光代 石光 輝子
新田 宗土 濱岡 豊
伏見 岳志 吉田 栄介

〔授業科目の内容〕

この授業は商学部2年生を対象に、平成11年度に設置されました。他の授業との最大の違いは、夏休み中の2週間ないし3週間に企業・機関で実地研修を受けるという点にあります。

〈開講の趣旨〉

商学部では、学外での実地研修を通じて大学における教育内容と現実問題との関連を自覚的に把握できる機会を提供する目的で、短期インターンシップ科目「社会との対話」を平成11年度から開講しました。当学部が設置する「社会との対話」は、以下の特色があります。

(1) 学業へのフィードバックを目的とするものであり、その後の研究・勉学、学生生活の改善、目的意識の明確化などに役立てることが期待されています。学業へのフィードバックを目的とすることから、対象を2年生としています。

(2) 学生は与えられたテーマを年間をとおして研究・検討することを要求されます。事前教育、実地研修、事後教育をきっかけにしてテーマに対する理解を段階的に深め、粘り強く自主的に研究を進める事により、総合的な問題解決能力を高めていく授業であることを理解しておいてください。

(3) 人気の高い大企業だけではなく、中小の特徴ある優良企業、成長著しい新興のベンチャー企業、非営利組織など、多様な企業・機関に研修先を求めています。

〈授業の概要〉

- ・設置学年：商学部2年生
- ・単位数：通年・4単位
- ・学生への報酬：無給

- ・講義概要：事前・事後教育および研修先での実地研修からなります。
- ・研修時期と期間：8月10日（月）～9月4日（金）を中心とする2週間ないし3週間（研修先によって研修期間が若干異なる場合があります）。
- ・実施規模：履修学生30名～40名程度
研修先として30前後の企業・機関を予定しています。
- ・開設曜日・時限：火曜日4・5限。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

特に指定しませんが、各自が年間を通じて取り組むテーマに応じて、多くの参考図書を自分で見つけて内容を良く理解する必要があります。

情報リテラシー基礎

4単位 春学期集中 / 秋学期集中
飯箸 泰宏 恩田 憲一
河内谷 幸子 瀬川 清
五月女 仁子

〔授業科目の内容〕

ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わりを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要ならば加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのではなく、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについて理解することが大切である。授業計画については講義担当者によって細部に違いがあるが、一般的な内容を次に示す。なお、春学期は5月、秋学期は10月に、メディアセンターにおける文献検索などについての講義を行う。部分的ではあるがWebに自習用教材がアップしてある。講義時間内に理解できなかった部分をこのWebを使って自分で補うことができる。

〔参考書〕

『入門情報処理 Office XP版』山本喜一著 J.B.企画 2100円

『情報リテラシー入門』慶應義塾大学日吉メディアセンター編 慶應義塾大学出版会 1200円

日本の産業と経営

2単位 秋学期
田邊 勝巳（コーディネーター）

〔授業科目の内容〕

この科目では、日本の産業と経営をめぐる様々な研究課題にかんして、それぞれを専門に研究している商学部教授陣がオムニバス形式で講義をおこなう。各講義の担当教授は、初学者にとって興味深い課題を選択し、1回で講義が完結するように工夫している。本学部の研究対象がいかに幅広いものであり興味深い研究課題を抱えているかを知ってもらい、幅広く奥深い学究姿勢と問題意識をもつ手掛りを提供することが、科目のねらいである。

●総合教育科目 (IV類)

確率論基礎

2 単位 秋学期
安田 公美

〔授業科目の内容〕

ランダムに起こる現象を数学的に取り扱う、確率論の基礎を学びます。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示。

〔参考書〕

最初の授業の時に指示。

ゲーム理論基礎

2 単位 秋学期
木戸 一夫

〔授業科目の内容〕

ゲーム理論とは、互いに無視し得ない力を持つ、複数の主体に係る最適化問題である。いろいろなタイプのゲームがあるが、この授業では、戦略形ゲームと協力ゲームを学ぶ。ゲーム理論の前提条件・基本概念・定理および含意を、身近にあるわかりやすいゲームや仕組みと対比させながら学ぶことにより、「使えるゲーム理論」を身に付けることを目指す。すなわち、問題に直面した時、現状を鋭く分析し、現実的な解決策を提案する能力を養成する。

〔教科書〕

『仕事に使えるゲーム理論』ミラー著 阪急コミュニケーションズ

〔参考書〕

『はじめてのゲーム理論』中山幹夫著 有斐閣ブックス

線形代数演習

2 単位 春学期
白旗 優

〔授業科目の内容〕

同時に開講される『中級線形代数』の授業内容に即して、練習問題の演習を行います。宿題として解いてきた練習問題の解答を、授業時に発表してもらい、その発表の出来具合と回数で評価を付けます。

〔教科書〕

『中級線形代数』と同一のものを使用します。

〔参考書〕

『中級線形代数』と同一のものを使用します。

微積分演習

2 単位 秋学期
白旗 優

〔授業科目の内容〕

同時に開講される『中級微積分』の授業内容に即して、練習問題の演習を行います。宿題として解いてきた練習問題の解

答を、授業時に発表してもらい、その発表の出来具合と回数で評価を付けます。

〔教科書〕

『中級微積分』と同一のものを使用します。

〔参考書〕

『中級微積分』と同一のものを使用します。

線形代数

2 単位 春学期 / 秋学期
深谷 太香子 安田 公美
菅原 昭博

〔授業科目の内容〕

社会科学のかんりの分野で、その理論が数学を用いて記述されたり、数学的手法により問題解決が図られたりして、数学の知識の必要性が増してきている。この講義では、線形代数の中でも、特に、行列の理論を中心に講義する。行列は経済学、経営学においても用いられているので、この講義を通して、行列を自由に使いこなせるようになることを期待したい。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示。

〔参考書〕

最初の授業の時に指示。

中級線形代数

「線形代数の完結に向けて」

2 単位 春学期
渡部 睦夫

〔授業科目の内容〕

この科目では、「線形代数」で学んだ内容を前提として、引き続き、線形代数のいろいろな概念と理論を、応用を視野に入れて講義します。

〔教科書〕

『線形代数とその応用』渡部睦夫著 培風館

〔参考書〕

講義の中で紹介します。

中級微積分

「経済学への応用のための微積分学」

2 単位 秋学期
渡部 睦夫

〔授業科目の内容〕

経済学を学ぶには、数学の知識とその運用能力が求められます。この科目の内容は、『微積分 I』、『微積分 II』の内容をさらに発展させた内容から構成されています。経済学への応用を念頭に講義をします。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義の中で紹介します。

データとの対話 D

「表計算応用」

4 単位 春学期集中
木戸 一夫

〔授業科目の内容〕

EXCEL の機能はあまりに豊富で、全てを予め覚えることは不合理である。こういうことをしたいという問題が生じた時に、最後

までくじけずに試行錯誤し、「自分の力で」解決法を探すことを身につけたい。このような状況は予め解答が用意されていない世の中では必ず発生するものであり、この授業を通じて、一生を通じて役に立つ問題解決能力養成を目指す。最後までがんばれば、立派な EXCEL 使いになっていることも必然である。

〔教科書〕

『データ分析 はじめの一步』清水誠著 講談社ブルーバックス

データとの対話 D (Delphi)

「オブジェクト指向プログラミングとは」

4 単位 通年
田村 高幸

〔授業科目の内容〕

DELPHI は WINDOWS 形式で、WINDOWS プログラミングを簡単に行うことができる言語です。

そして、この言語はオブジェクト PASCAL を基にしています。JAVA などに代表されるオブジェクト指向のプログラミングの概念を実際の WINDOWS プログラミングを通して、理解してもらうことを目的としています。

オブジェクト指向プログラミングの考え方はこのネットワーク社会において重要な役割を果たしているとともに、問題解決手法としても大変重要な方法であり、この点もあわせて、明らかにしていきます。

〔教科書〕

『Delphi によるプログラミング入門』山崎秀記著 培風館
ISBN:4-5630-1413-3

〔参考書〕

『Delphi オブジェクト指向プログラミング』塚越一雄著 技術評論社 ISBN:4-7741-0427-2

データとの対話 D (ネットワーク活用)

「コンピュータネットワークセキュリティ入門」

4 単位 通年
田村 高幸

〔授業科目の内容〕

コンピュータネットワークセキュリティの基礎となる TCP / IP プロトコルを中心にコンピュータネットワークにおける重要なプロトコルについて学び、それらが、コンピュータネットワークセキュリティに果たしている役割について、学びます。

〔教科書〕

ゼロからはじめるネットワーク

増補・新装版

ASCII

〔参考書〕

『TCP/IP セキュリティ』久米原栄著 ソフトバンクパブリッシング

2004年度以前入学者用(旧学則)

●基礎科目Ⅰ類

商学概論

2単位 春学期 / 秋学期
(なし)

「商学概論」は以下の科目を読み替え科目としますので、単位未修得者は5科目の中から選択してください。

- ・基本簿記と財務諸表の見方 (シラバスP.179参照)
- ・経営学 (環境と戦略) (シラバスP.178参照)
- ・経営学 (組織と管理) (シラバスP.178参照)
- ・商業学Ⅰ (シラバスP.179～参照)
- ・商業学Ⅱ (シラバスP.179～参照)

なお以下の表のとおり履修出来ないケースもありますので注意してください。

	経営学既習者もしくは 今年度履修希望者	商業学既習者もしくは 今年度履修希望者
基本簿記と財務諸表の見方	○	○
経営学 (環境と戦略)	×	○
経営学 (組織と管理)	×	○
商業学Ⅰ	○	×
商業学Ⅱ	○	×

経済学

4 単位 通年

桜本 光 中島 隆信
牧 厚志

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済学基礎Ⅰ」「経済学基礎Ⅱ」(P.176)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

●基礎科目Ⅱ類 (A群)

簿記論

4 単位 通年

高久 隆太 李 精

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、経済学部設置の講義要綱「簿記 a / b」(P.146～)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

社会科学の考え方

4 単位 通年

小野 修三

「社会科学の考え方」は以下の科目を読み替え科目としますので、履修希望者は2科目の中から選択してください。

- ・社会科学概論Ⅰ・Ⅱ（小野修三）（P.18～参照）
- ・近代思想史Ⅰ・Ⅱ（小野修三）（P.11～参照）

ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

情報処理Ⅰ

4単位 春学期集中 / 秋学期集中
飯箸 泰宏 恩田 憲一
河内谷 幸子 瀬川 清
五月女 仁子

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「情報リテラシー基礎」（P.184～）を参照してください。

情報処理Ⅱ（表計算応用）

4単位 春学期集中
木戸 一夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」（P.185～）を参照してください。

情報処理Ⅱ（Delphi）

4単位 通年
田村 高幸

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」（P.185～）を参照してください。

情報処理Ⅱ（ネットワーク活用）

4単位 通年
田村 高幸

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」（P.185～）を参照してください。

●基礎科目Ⅱ類（B群）

線形代数

2単位 春学期 / 秋学期
安田 公美 深谷 太香子
菅原 昭博

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「線形代数」（P.185～）を参照してください。

微分法

2単位 春学期 / 秋学期
小宮 英敏 白旗 優
渡部 睦夫 安田 公美
眞中 裕子 深谷 太香子

「微分法」は「微積分Ⅰ」「微積分Ⅱ」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「微積分Ⅰ」「微積分Ⅱ」（P.176～）を参照してください。

解析Ⅰ

2単位 春学期
渡部 睦夫

「解析Ⅰ」は「中級線形代数」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級線形代数」（P.185～）を参照してください。

解析Ⅱ

2単位 秋学期
渡部 睦夫

「解析Ⅱ」は「中級微積分」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級微積分」（P.185～）を参照してください。

数理計画法

2単位 秋学期
木戸 一夫

「数理計画法」は「ゲーム理論基礎」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「ゲーム理論基礎」（P.185～）を参照してください。

●基礎科目Ⅱ類（C群）

統計学Ⅰ

2単位 春学期
早見 均 吉岡 完治
藪 友良

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「統計学Ⅰ」（P.176）を参照してください。

統計学Ⅱ

2単位 秋学期
早見 均 吉岡 完治
藪 友良

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「統計学 II」(P.176 ~) を参照してください。

●専攻科目Ⅰ類

経済史

4 単位 通年
牛島 利明 平野 隆

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済史Ⅰ」「経済史Ⅱ」(P.177 ~) を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

社会経済学

4 単位 通年
赤川 元章

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「社会経済学Ⅰ」「社会経済学Ⅱ」(P.177 ~) を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

私法基礎

4 単位 通年
鹿野 菜穂子 本田 耕一

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「私法基礎Ⅰ」「私法基礎Ⅱ」(P.178 ~) を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

商業学

4 単位 通年
齊藤 通貴 清水 聡
鄭 潤澈 堀越 比呂志

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「商業学Ⅰ」「商業学Ⅱ」(P.179 ~) を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

経営学

4 単位 通年
岡本 大輔 菊澤 研宗
谷口 和弘

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経営学（環境と戦略）」「経営学（組織と管理）」(P.178 ~) を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

●専攻科目Ⅱ類

会計学

4 単位 春学期集中
黒川 行治

「会計学」は「財務会計論」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「財務会計論」(P.182 ~) を参照してください。

理論経済学Ⅰ

4 単位 通年
樋口 美雄 山本 勲

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済学Ⅰ」「経済学Ⅱ」(P.183 ~) を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

産業経済学

4 単位 通年
井手 秀樹（コーディネーター）
平野 隆（コーディネーター）

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「産業経済論 a / b」(P.181) を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

●総合教育科目（Ⅲ類）

社会との対話 D

4 単位 通年
安藤 光代 石光 輝子
新田 宗土 濱岡 豊
伏見 岳志 吉田 栄介

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「社会との対話 D」(P.184) を参照してください。

日本の産業と経営

2 単位 秋学期
田邊 勝巳（コーディネーター）

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「日本の産業と経営」(P.184) を参照してください。

●自主選択科目

確率論基礎

2 単位 秋学期
安田 公美

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「確率論基礎」(P.185)を参照してください。

線形代数演習

2 単位 春学期
白旗 優

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「線形代数演習」(P.185)を参照してください。

微積分演習

2 単位 秋学期
白旗 優

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「微積分演習」(P.185)を参照してください。

中級線形代数

2 単位 春学期
渡部 睦夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級線形代数」(P.185)を参照してください。

中級微積分

2 単位 秋学期
渡部 睦夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級微積分」(P.185)を参照してください。

5 医学部

【第1学年】

●基礎科学必修科目

数学 I

「線形代数学」

2 単位 春学期

南 就将 鈴木 由紀

〔授業科目の内容〕

線形代数学の基礎理論を学ぶ。特に、線形空間、行列、行列式、線形写像、固有値問題の理解を目標にする。

〔教科書〕

『改訂 線形代数要論』青木利夫・大野勝寛・川口俊一共著 培風館 1983 年 ISBN:4-563-00178-3

数学 II

「微分学」

2 単位 春学期

南 就将 鈴木 由紀

〔授業科目の内容〕

一変数関数の微分積分学、および多変数関数の偏微分について学ぶ。統計学、物理・化学への微分積分学の応用を常に念頭に置きながらも、数学的論理の流れの理解に努める。

〔教科書〕

『入門微分積分』三宅敏恒著 培風館 1992 年 ISBN:978-4-563-00221-3 C3041

数学 III

「積分学」

2 単位 秋学期

南 就将 鈴木 由紀

〔授業科目の内容〕

多変数関数の重積分と無限級数の理論を学ぶ。授業の後半では微分積分学を用いて統計解析の基礎理論を学ぶ。

〔教科書〕

『入門微分積分』三宅敏恒著 培風館 1992 年 ISBN:978-4-563-00221-3 C3041

物理学 I

「運動の数学的理解」

2 単位 春学期

古野 泰二

〔授業科目の内容〕

物理学では、原理や法則に基づいて自然現象を理解し結果を予測する。物理的な考え方ひとつで計算をしなくとも答えが簡単に見つかることもある。現実の現象は種々の要因が大なり小なり複雑に絡み合っていることが多く、単純と見える現象でもこれを精度よく方程式に表すことが困難な場合が多い。仮に、複雑な方程式で表現できたとすると、今度はその解を導き出すことが困難となる。現象に支配的なパラメータを抽出して現象を近似的に数学的に表現できた場合には、その解はその現象をかなりよく表現し、時間的変化を量的に予測することが可能となる。数学

の解がなぜ現実を表現できるのか、考えると不思議であるが、振り子の振動や電場中の荷電粒子の運動などの方程式の解は実際の現象をかなり正確に表現できる。春学期は運動方程式による質点の運動の解析、回転座標系で見た質点の運動、物体の回転運動にともなう保存量やエネルギー、振動・波動の数学的理解について学ぶ。高校数学の微積分を積極的に用いた物理現象の理解を試みる。

〔教科書〕

・講義資料（プリント）を配布する。

〔参考書〕

『力学と電磁気学』原康夫著 東京教学社

『ファインマン物理学 I~IV』ファインマン・レイトン・サンズ著 岩波書店

物理学 II

「医学・生物学のための物理学を中心として」 2 単位 秋学期

古野 泰二

〔授業科目の内容〕

物理学 II の 2 / 3 は、諸君が医学部の学生であることを意識した講義内容となっている。生体の物理学的研究法や最近のナノバイオテクノロジーの基礎、光電効果およびその応用、さらには、眼球やレンズによる光の屈折と結像について学ぶ。これらは諸君が信濃町に進級したときに実際に役立つであろう。できるだけ具体的な内容の講義を行う。

〔教科書〕

・講義プリントを配布する。

・物質・原子・原子核の物理学については、高校物理の教科書（物理 II）も役立つ

〔参考書〕

特に指定しない

物理学 I

「力学を中心とした自然界の表現と数式による自然現象の取り扱い」

2 単位 春学期

三井 隆久

〔授業科目の内容〕

生命を含む自然現象は複雑で理解しがたいように思えるが、自然現象の中の一部は物理法則として既に解明されており、厳密な記述が容易に可能である。容易に記述できることについて無意味な苦労や誤解をしないため、物理学の基本法則を理解している必要がある。

第1、2回の講義では、表現について述べる。ガリレオが述べたように、「自然という書物は数学の言葉で書かれている」。ここでは、自然現象を数学の言葉で表現するとはどのようなことなのかについて述べる。写生と同じような感覚で、自然現象を数式で表現できるようになって頂きたい。

力と運動との関係を理解し、ニュートンの運動方程式を使いこなして運動の解析ができるようになって頂きたい。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義内容の復習を容易にするため、講義に沿ったテキストを毎回講義の前に配布するので、購入する必要はない。以下に参考書を示すが、講義で興味を持ち深く調べてみたい場合に、図書館などで利用してほしい。

- (1) 『ファインマン物理学 I, II, III, IV』 ファインマン・レイトン・サンズ著 岩波書店
- (2) 『力学 (物理入門コース)』 戸田盛和著 岩波書店

物理学 II

「電磁気現象を中心とした自然現象の理解」 2単位 秋学期
三井 隆久

〔授業科目の内容〕

ニュートン力学では、力と運動の関係について学ぶが、世の中に存在する力について具体的に学ばない。ここでは、最も重要な力である電磁気力について述べる。電磁気力は、物体が持つ性質（電荷）に作用する力であるが、電磁気現象は物体の持つ性質だけでなく、空間の持つ性質でもある。このような空間の働きについて定量的に述べる。また、電磁気現象の応用として、交流回路、光学、レーザ、医用画像診断装置について述べる。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義内容の復習を容易にするため、講義に沿ったテキストを毎回講義の前に配布するので、購入する必要はない。以下に参考書を示すが、講義で興味を持ち深く調べてみたい場合に、図書館などで利用してほしい。

- (1) 『ファインマン物理学 I, II, III, IV』 ファインマン・レイトン・サンズ著 岩波書店
- (2) 『電磁気学 I, II (物理入門コース)』 長岡洋介著 岩波書店

化学 I

「現代物理化学の基礎」 2単位 春学期
久保田 真理

〔授業科目の内容〕

一般に物理化学とよばれる化学の理論的分野を学ぶ。物理化学の理論は、微視的観点からのものと巨視的観点からのものに大別できる。微視的観点からの理論としては量子力学が代表格であるが、その量子力学に立脚して原子の電子構造や化学結合のメカニズムについて考える。また、巨視的観点からの理論である化学反応速度論と化学熱力学の基本的考え方についても学ぶ。

〔教科書〕

『基礎化学結合論』 小林常利著 培風館

〔参考書〕

- (1) 『エッセンシャル化学辞典』 玉虫伶太他編 東京化学同人
- (2) 『化学通論』 吉岡甲子郎著 裳華房
- (3) 『基礎物理化学 (上、下)』 児島邦夫他著 朝倉書店
- (4) 『アトキンス 物理化学 (上、下)』 P. W. アトキンス著 東京化学同人
- (5) 『化学熱力学』 原田義也著 裳華房

〔その他の特記事項〕

医学部以外からの受講は 10 名まで可能。

化学 II

「医療のための化学」 2単位 秋学期
井上 浩義

〔授業科目の内容〕

医学および医療科学技術の基礎となる化学を、有機化学および放射線化学を中心に解説します。有機化学では、有機化合物の命名法、反応機構、有機化合物の構造を決定するための機器分析手法、および有機化合物を用いた医薬品の開発と利用について概説します。また、放射線化学では、放射線・放射性同位元素の性質の理解、放射線規制法令、放射線防護、および放射線の医療への応用例について概説します。

〔教科書〕

『有機化学概説』 第 6 版 J. マクマリー著 東京化学同人

『知りたい！医療放射線』 井上浩義他編 慧文社

〔参考書〕

『有機化合物のスペクトルによる同定法』 R.M. シルバースタイン・F.X. ウェブスター著 東京化学同人

『有機化合物への吸収スペクトルの応用』 J.R. ダイヤー著 東京化学同人

『基礎化学結合論』 小林常利著 培風館

生物学

4単位 春学期
長井 孝紀 鈴木 忠

〔授業科目の内容〕

この講義の生物学の対象は生物個体ばかりでなく、細胞の次元、もっと小さな分子の世界へと、あるいは逆に地球全域へと広がる。その広がりゆえ、また科学としての進歩の急速さゆえ、現代の生物学はそのほかの自然科学の学問領域からの知識を統合したものとなっている。したがって学ぶべき項目は非常に多い。しかし、よく整理して学べば恐れることはない。整理された生物学の知識は医学での基礎専門分野である解剖学、生理学などを学ぶために不可欠である。学習内容の量、詳細さ、常に最新の知見に基づき更新されている現状などを考え、海外で出版されている英文の教科書をそのまま使用する。

〔教科書〕

『Biology』, 8th ed., N.A. Campbell ほか著, Benjamin/Cummings, 2008, International Edition, ISBN: 978-0321-53616-7/0-321-53616-9

(改定されたので昨年度までの教科書とは異なります。春学期開始までに大学生協書籍部に入荷するので、購入すること。)

物理学実験

1単位 通年
古野 泰二 三井 隆久
寺沢 和洋

〔授業科目の内容〕

多くの諸君は、信濃町あるいはそれ以後において、短期間あるいは長期間にわたって実験研究を経験する筈である。発見・発明・理論の検証など、創造的な研究はとても楽しいものであるが、すぐにこのレベルに達するのは困難である。日吉での実験科目はそのための導入・練習と考えてもよい。

物理学実験では、長さの測定から始まり、オシロスコープによる電圧変化、パソコンを使った計測からプロテングラフィックスまで、1年間に最低12課題を設定している。高校や大学の物理学講義で習った現象も出てくるし、物理法則や演繹法の有用性が実感できるので面白い。長さ・質量・温度・時間など、必要な物理量を測定で求め、電卓を使ってそれらを数式に代入し、得られた結果をグラフ用紙にプロットし曲線でつないでみる。場合によっては、まったくのずれな値や奇妙なグラフになってしまい、大いに悩むこともある。「自分の手を動かしてみる」、これがすべての実験の基本でありとても大切である。

〔教科書〕

『物理学実験』慶應義塾大学医学部物理学教室編を実験初日に配布する。

〔参考書〕

特に指定しないが、必要に応じて図書館備え付けの物理教科書および物理学実験書などを利用。

化学実験

1単位 通年

井上 浩義 久保田 真理
大石 毅

〔授業科目の内容〕

春学期は無機化学実験を行います。無機陽イオンの定性分析を題材として、化学実験の基本操作と実験のマナーを身に付けると共に、無機化学の各論的分野を主体的、体験的に学びます。秋学期は有機化学実験を行います。有機化合物を合成・抽出し、定性分析やスペクトルによる構造決定などを通じて、基礎的な有機化学実験を通して有機化学の理解を深めると共に、有機化合物の取扱法、安全に実験を行うために注意すべき事項などを学びます。

〔教科書〕

『有機化学概説』第6版 J.マクマリー著 東京化学同人

〔参考書〕

〔通年〕

『分析化学実験』阿部光雄編 裳書房

『理科系の作文技術』木下は雄著 中央公論新社

『化学のレポートと論文の書き方』泉美治他監修 化学同人

『エッセンシャル化学辞典』玉虫怜太他編 東京化学同人

『岩波理化学辞典』長倉三郎他編 岩波書店

〔春学期〕

『無機半微量分析』松浦二郎他著 東京化学同人

『定性分析化学（上、中、下）』高木誠司著 南江堂

『基礎無機化学』F.A.コットン・G.ウィルキンソン著 培風館

『無機化学（上、下）』F.B.ヘスロップ・K.ジョーンズ著 東京化学同人

『無機化学（上、下）』F.A.コットン・G.ウィルキンソン著 培風館

〔秋学期〕

『基礎有機化学実験』畑一夫・渡辺健一著 丸善

『有機化学実験』L.F.フィーザー・K.L.ウィリアムソン著 丸善

『有機化合物のスペクトルによる同定法』R.M.シルバースタイン・F.X.ウェブスター著 東京化学同人

『有機化合物への吸収スペクトルの応用』J.R.ダイヤー著 東京化学同人

『機器分析のてびき』泉美治他監修 化学同人

『実験化学講座 シリーズ』日本化学会編 丸善

生物学実験

2単位 通年

長井 孝紀 鈴木 忠
中澤 英夫

〔授業科目の内容〕

生物学実験ではアメーバ、ゾウリムシなど単細胞生物から始めて、マウスなどの哺乳動物までが観察対象として用意される。顕微鏡観察のために標準化された試料を観察する場合もあるが、その他に多くの生きた材料が提供される。動き回る精子、そして卵細胞が細胞分裂する瞬間を観て欲しい。そして観たものには、それを同定する和名、英名、ラテン名を与えてやって欲しい。3つの表記を用いなければならないのは、我が国の自然科学者の宿命である。自らの手を動かすことで、記憶の脳細胞は活性化される。

〔教科書〕

『生物学実験教本』医学部生物学教室編

（春学期に配布する）

●医学基礎教育科目

基礎分子細胞生物学Ⅰ

「基礎医学科目への準備と入門」

4単位 秋学期

長井 孝紀（コーディネーター）

〔授業科目の内容〕

基礎分子細胞生物学Ⅰは、高校で十分な生物学教育を受けなかった学生にも第2学年から信濃町キャンパスで、基礎医学科目の専門的且つ広範な領域での勉学に興味を持って取り組めるよう、生命現象の物質論的理解と統合的把握を目指すために設けられた科目である。教科書は最新の生物学分野を幅広く網羅しているMolecular Cell Biologyを用いるが、単に全章の網羅的読破を目的とするのではなく、各章内の重要な概念や生命活動の「しくみ」をピンポイントに理解してもらい、第2学年以降の専門教育の礎としていただきたい。

〔参考書〕

『Molecular Cell Biology』, 6th Edition, Lodish ほか著, W.H. Freeman and Company, 2007, ISBN-13: 987-0-7167-7601-7 ISBN-10: 0-7167-7601-4

医療科学Ⅰ

4単位 通年

奈良 雅俊（コーディネーター）
樽井 正義 増田 真也
中島 三知子 石井 留美

〔授業科目の内容〕

医療はもとより自然科学としての医学研究も、それに関わるのは人です。人を自然科学とは異なる視点から考察する人文科学系の文献を講読し、報告と討議を行い、レポートを作成することを通じて、人と社会についての理解を深めることが、この授業の

課題です。(1) 人を理解する多様な視点を得ること、(2) 医療や科学が生活のなかで占める位置、担っている課題を検討する基礎を得ること、(3) 医師や研究者として診療や研究の場で人とどう関わればよいのかを考える基礎を得ることを目標とします。

〔教科書〕

春学期のテキストは、掲示にて通知する。

EEP

1 単位 春学期

佐藤 徹	星野 晴彦
広瀬 信義	山岸 敬幸
鹿島 晴雄	古茶 大樹
長谷 公隆	長井 孝紀
木村 彰男	川城 丈夫
木村 満	

〔授業科目の内容〕

EEP (Early Exposure Program) は、文字通り医学教育の早期に医療現場に赴き体験実習する課目である。

医学教育の早い段階で医療現場に医学生が足を運び参加して、患者さん、御家族、そして看護師、PT、OT、福祉関係者など医師以外の多く医療関係者からお話を伺い、医療チームの一員の体験もして、医療の実際と現実を自ら体験、医師の役割を考えることを目的としている。

6 理工学部

●基礎教育科目

数学A 1 (学門1、3、4、5)

「微分法の基礎と応用」

2単位 春学期

石川 史郎	勝良 健史
亀谷 幸生	坂川 博宣
下村 俊	田村 要造
仲田 均	坂内 健一
宮崎 琢也	

〔授業科目の内容〕

1変数関数および多変数関数の微分法に関する基礎概念の理解とそれに裏打ちされた計算力を身につけるのが本講義の目的です。

〔教科書〕

『数学 A1・B1』慶應義塾大学理工学部数理科学科編 (生協で購入可能)

数学B 1 (学門1、3、4、5)

「重積分の基礎と応用」

2単位 秋学期

石川 史郎	勝良 健史
亀谷 幸生	坂川 博宣
下村 俊	谷 温之
田村 要造	仲田 均
坂内 健一	宮崎 琢也

〔授業科目の内容〕

1変数および多変数関数の積分に関する基礎概念の理解とそれに裏打ちされた計算力を習得することが本講義の目標です。

〔教科書〕

『数学 A1・B1』慶應義塾大学理工学部数理科学科編 (生協で購入可能)

数学A 2 (学門1、3、4、5)

「線形代数」の入門としての行列

2単位 春学期

(特に2次行列)の理論とその応用

太田 克弘	小田 芳彰
清水 邦夫	田村 明久
前田 吉昭	南 美穂子

〔授業科目の内容〕

線形代数の基礎を2次行列の計算を通して習得、線形微分方程式の解法を通して「線形性」の重要性を理解することを目的とします。その過程で行列の対角化と線形微分方程式の解を求める計算の基礎が身に付けて下さい。

〔教科書〕

指定のテキスト (生協で販売)

〔参考書〕

『線形代数入門』斉藤正彦著 東京大学出版会

『線形代数入門』中岡稔・服部晶夫著 紀伊國屋書店

数学B 2 (学門1、4、5)

「線形代数の基礎を学んだ学生がさらに深く 2単位 秋学期
その内容を理解するためのコース」

太田 克弘	小田 芳彰
栗原 将人	田村 明久
前田 吉昭	

〔授業科目の内容〕

数学A2で2次行列で学んだ線形代数の基本計算を3、4次行列で習得し多元連立1次方程式を解け、さらに多変数関数の極値問題を固有値問題と共に理解し、具体的計算法を身につけることを目的とします。

〔教科書〕

指定のテキスト (生協で販売)

〔参考書〕

『線形代数入門』斉藤正彦著 東京大学出版会

『線形代数入門』中岡稔・服部晶夫著 紀伊國屋書店

数学A 3 (学門2)

「解析学の基礎 (その1)」

2単位 春学期

井口 達雄 前島 信

〔授業科目の内容〕

理工学の様々な分野において使用される解析学の基礎を学ぶ。具体的には、今まで皆さんが習ってきた実数、数列の極限、連続関数などの定義を見直し、それらの厳密な定義を与え、高校では直観で済まされていた様々な定理の証明を与える。また、1変数関数および2変数関数の微分法とその応用について解説する。

〔教科書〕

この講義用に作成したプリントを使用する。(1回目の授業開始時に履修者に配布する。)

数学B 3 (学門2)

「解析学の基礎 (その2)」

2単位 秋学期

井口 達雄 前島 信

〔授業科目の内容〕

春学期の数学A3に引き続き、解析学の基礎を学ぶ。面積や体積を求める求積法は紀元前から存在するが、その求積法としての定積分の基礎理論と計算法を解説する。また、級数の収束判定法、関数列の収束についても取り上げる。

〔教科書〕

この講義用に作成したプリントを使用する。(1回目の授業開始時に履修者に配布する。)

数学A 4 (学門2)

「線形代数」

2単位 春学期

石井 一平 栗原 将人

〔授業科目の内容〕

線形代数とは、ベクトルや行列を扱う数学の分野であり、理工学の数学の基礎の大きな部分を占めるものである。この講義で

は線形代数の基礎概念である「ベクトル」「ベクトル空間」「行列」「行列式」「線形変換」などを学び、また実際の計算方法を習得する。

〔教科書〕

『線形代数入門』中岡稔・服部晶夫著 紀伊国屋書店

〔参考書〕

授業中に指示する。

数学 B 4 (学門 2)

「線形代数」

2 単位 秋学期

石井 一平 栗原 将人

〔授業科目の内容〕

春学期の数学 A4 に引き続き、線形代数の基礎を学ぶ。この講義の主な内容は、「固有値」「固有ベクトル」および「行列の対角化」である。

〔教科書〕

『線形代数入門』中岡稔・服部晶夫著 紀伊国屋書店

〔参考書〕

授業中に指示する。

物理学 A (全学門)

2 単位 春学期

江藤 幹雄 齋藤 幸夫
福田 礼次郎 泰岡 顕治

〔授業科目の内容〕

高校時代の力学とは異なり、ニュートン方程式を微分方程式と捉えて、すべての力学の法則はここから出てくるという、力学はまさに近代的な物理の理論の始まりといわれるゆえんを味わっていただく。

微分、積分、ベクトルなどの基本的な知識を仮定する。

〔教科書〕

教科書として『物理学 A——粒子系の力学——』を使用します。生協で購入してください。

この中には、演習で使う問題、さらに過去の試験問題とその解答が載っています。

大いに活用して大学の力学問題が解ける実力を身につけてください。

〔参考書〕

特に指定しません

物理学 C (全学門)

2 単位 秋学期

江藤 幹雄 齋藤 幸夫
福田 礼次郎 藪野 浩司

〔授業科目の内容〕

物理学 A に続いて、力学の後半を学ぶ。主に、中心力の中での運動、多粒子系の運動、剛体の運動である。

〔教科書〕

教科書として『物理学 C——中心力、多体系、剛体——』を使用します。生協で購入してください。この中には、『物理学 A——粒子系の力学——』と同様、演習に時間に使う問題、過去の試験問題、その解答が収められています。積極的に活用して各自のレベルアップにつなげてください。

〔参考書〕

特に指定しません。

物理学 B (全学門)

「真空中の静電磁気学」

2 単位 春学期

小原 實 神成 文彦
高野 宏 日向 裕幸

〔授業科目の内容〕

電界、電位、磁束密度、電流、など電磁気学の基本概念を学びながら、例えば対称性のよい電荷分布による電界の計算法などを身につける。さらに、流体力学、弾性体力学などの背景にある「場」というものの概念も身につける。

〔教科書〕

『物理学 B&D』

毎年更改されますので、当該年度版を生協で購入のこと。

〔参考書〕

授業中に、学生の質問に応じて推薦します。

物理学 D (全学門)

「時間的に変動する電磁場および物質中の

2 単位 秋学期

電磁場そしてマクスウェル方程式」

小原 實 神成 文彦
高野 宏 日向 裕幸

〔授業科目の内容〕

時間的に変動する電磁場を考える。電磁誘導や変位電流を導入し、真空中のマクスウェルの方程式を導出し、真空中の電磁波について論じる。つぎに電磁場中の物質の性質を扱う。誘電体にはどういう電界ができるか、磁性体中にはどういう磁界ができるか、ということを理解する。同時にベクトル解析の基礎を身につける。

〔教科書〕

『物理学 B&D』

毎年更改されますので、当該年度版を生協で購入のこと。

〔参考書〕

授業中に、学生の質問に応じて推薦します。

化学 A (全学門)

「原子や分子の電子構造論と

2 単位 春学期

化学結合論入門」

近藤 寛 中嶋 敦
藪下 聡 山元 公寿
吉岡 直樹

〔授業科目の内容〕

化学物質の単位である原子の構造を、量子力学の考え方を使って解説します。高校で習った K 殻、L 殻、M 殻、という考え方を、1s, 2s, 2p などの原子軌道という考え方に深めることにより、原子の電子配置と周期律の関係を理解します。さらに、化学物質を形づくっている化学結合を、電子の振る舞いの点から解説して、分子軌道の考え方を理解します。ここで学んだ分子の化学結合の理解は、1 年生秋学期の化学 B、あるいは化学 C、D の基礎となります。

理解を助けるために、講義の中で、数回程度の簡単な演習をクイズ形式で行います。なお、この演習での解答は、平常点として考慮します。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

教科書として特に指定はしませんが、以下の参考書の中から自分に合ったものを買っておくと便利です。

岩波講座『化学の考え方』茅幸二・中嶋敦著 岩波書店
『物理化学演習』伊藤正時著 裳華房
『入門量子化学』ヘイワード著 立花明知訳 化学同人
『フレッシュマンのための化学結合論』ウィンター著 西本吉助訳 化学同人
『基礎化学結合論』小林常利著 培風館
『化学の基礎』平尾公彦・加藤重樹著 講談社サイエンティフィク

化学B (学門1、2、4、5)

「無機化学、物理化学、有機化学の基礎 2単位 秋学期
(化学全般におけるものづくりの基礎)」

垣内 史敏 近藤 寛
中田 雅也 山田 徹

〔授業科目の内容〕

理工学部1年生においては、数学、物理、化学を基礎科目として全員履修します。化学は「もの」づくりの基本となる分野であり、私達の身の回りにたくさんある「もの」を、サイエンスの立場から理解するためには、化学全般に渡る知識が必要です。講義の前半では無機化合物を、後半には有機化合物をとりあげ、サイエンスの化学的基礎知識、ものづくりの基礎知識を修得することを目標としています。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『物理化学演習』茅幸二著 裳華房
『コンパクト基本有機化学』太田博道著 三共出版

化学C (学門3)

「初等物理化学」 2単位 秋学期
美浦 隆

〔授業科目の内容〕

1. 分子科学の基礎
 - 1.1 結合エネルギー
 - 1.2 結合のイオン性と原子の電気陰性度
 - 1.3 分子の極性と誘電分極
 - 1.4 分子間相互作用
 - 1.5 実在気体の状態方程式
2. イオン結晶
 - 2.1 イオン配列の規則性
 - 2.2 クーロンポテンシャルとイオン間平衡距離
 - 2.3 イオン半径
 - 2.4 イオン半径比と配位数
 - 2.5 イオン結晶の溶解(溶媒和)とイオン伝導
3. 金属・半導体
 - 3.1 等大球の充填と最密充填; 金属結晶
 - 3.2 異種原子の混在; 合金
 - 3.3 自由電子と束縛された電子
 - 3.4 価電子帯・禁止帯・伝導帯

- 3.5 不純物半導体
- 3.6 電子伝導率の温度変化
4. 錯体・錯イオン
 - 4.1 配位共有結合と配位子
 - 4.2 配位子場中の d 軌道電子
 - 4.3 d 軌道を含む混成
 - 4.4 不対電子と常磁性
 - 4.5 吸光スペクトルと分光化学系列
5. 化学熱力学の基礎
 - 5.1 系と外界
 - 5.2 系の内部エネルギー
 - 5.3 系の状態変化とエネルギー保存則
 - 5.4 熱が状態量となる条件; エンタルピー
 - 5.5 可逆過程での熱とエントロピー変化
 - 5.6 自発変化の判定条件
 - 5.7 純化学変化の自発性判定条件; 自由エネルギー
 - 5.8 ΔH , ΔS , ΔG の温度変化
 - 5.9 体積仕事以外の仕事も関わる化学変化
6. 化学反応速度論の基礎
 - 6.1 応速度式; 微分形と積分形
 - 6.2 気体分子間の衝突反応
 - 6.3 活性錯体
 - 6.4 反応速度定数の温度変化

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

一般に「物理化学」に分類される書籍。

特定のものは推奨しないが、アトキンス、バーローなどが著名。

どうせ購入するなら英語リプリント版の方が安価で、後々の役に立つ。

化学D (学門3)

「有機化学の基礎。有機化合物と反応。」 2単位 秋学期
西山 繁

〔授業科目の内容〕

炭素原子を中心に構成される有機化合物に特有の電子配置と立体化学を解説します。さらに、有機化合物の変化(反応)にともなう電子の動きを理解できるようにします。以上のような基本事項は、生命現象に関わる生体反応の仕組みを理解する上で非常に重要な手がかりとなります。

〔教科書〕

なし。必要に応じて、PDF ファイルとして配布します。

〔参考書〕

『現代有機化学(上・下)』ボルハルト・ショアー著 化学同人
『有機化学解説』(1, 2)』ストライトウィーザー著 廣川書店
『有機化学』奥山格監修 丸善

生物学序論 (全学門)

「ヒトの理解を目指して」 2単位 春学期 / 秋学期

井本 正哉 小野 裕剛
金子 洋之 鈴木 忠
長井 孝紀 松本 緑

〔授業科目の内容〕

科学や技術を通じて次の時代を担う人材となることが期待されている理工学部の学生にとって、基礎的な生物学の知識（敢えていえば、生命のしなやかさとしたたかさをもたらす複雑なシステムの理解）は欠くことの出来ない素養であり、それ無しには人類が解決すべき諸問題に立ち向かうことはおぼつかないといっても過言ではない。生物は、歴史的に獲得した情報を内包している遺伝プログラムの枠組みのうちで、環境からの刺激にตอบสนองしながら、複雑な系を安定な状態に維持することのできる統合システムとしてとらえることができる。このような柔軟な統合システム的な考え方・見方を学ぶことは、理工学部の学生にとっては特に意義深いものと考えられる。また、すべてのテクノロジーはヒトによって担われ、最終的にヒトを対象としたものであり、生物としてのヒトという観点を抜きにしたテクノロジーは本来ありえない。

生物学序論はこのような認識に基づいて昨年度より新たに開講されたもので、細胞と個体を中心にすえて生命現象の多様性と共通性を見るときにも、それぞれのシステムの成り立ちとその活動の基本的な機構を学ぶことによって、生物の“しなやかさ”と“したたかさ”、およびそれらの裏返しでもある“もろさ”を理解し、その延長としてヒト *Homo sapiens* のより深い理解を目指す。それぞれのテーマにつき、典型的なあるいは理解しやすい具体例を用いて説明するが、さらに深く学ぶために、関連する書籍等を随時紹介する。

〔教科書〕

指定せず

〔参考書〕

『生命科学のための基礎シリーズ 生物』 実教出版

自然科学実験（全学門）

「科学の基礎に関する物理および 2 単位 春学期 / 秋学期
化学実験」

西山 繁 他

〔授業科目の内容〕

自然科学実験は、物理学編と化学編から構成されています。物理学編は、重要な物理現象と基本的な測定技術習得を目的として各テーマを置いています。また、化学編は化学の基礎を理解する上で役立つ「ものを作る実験」と「物の性質を調べる実験」を中心にテーマを組み立てています。この実験を受講することで、あらゆる分野に関連する科学の基礎知識を習得します。

〔教科書〕

自然科学実験 物理学編および化学編の 2 冊があり生協で購入して下さい。

〔参考書〕

特にありません。

情報処理同実習（全学門）

「パソコンを使いこなす」

2 単位 春学期

佐藤 春樹	篠沢 佳久
高田 眞吾	高橋 正樹
延澤 志保	萩原 将文
宮田 昌悟	山本 喜一
柚木 克之	横森 剛

〔授業科目の内容〕

これからの科学者、技術者にとってコンピュータを使いこなせることはもともと基礎的な技術です。この科目では、ITC のパソコンを利用して、コンピュータに馴れ、その特徴を知ることが目的とし

ています。このため、コンピュータ・リテラシー（コンピュータの基本的な使い方）を短期間に密度濃く実習します。

今年度からワープロ、表計算、プレゼンテーションには Microsoft Office 2007 を使います。また、メールには Becky! 2、Web ページ作成には Kompozer を使います。また、e-learning のコンテンツを用意しているので、講義時間内であっても技術的な実習は e-learning を使う予定である。

〔教科書〕

教科書は講義のはじめに指示します。また、Web に講義資料を載せておきます。

理工学概論（全学門）

2 単位 春学期 / 秋学期

上村 大輔 黒田 忠広

〔授業科目の内容〕

新聞や雑誌でしか知らなかった、最新の学問分野あるいは社会の大きな潮流とその背景を把握するとともに、自身が目指す勉強あるいは働く分野の中身を十分に理解し、同時に自分自身が持つ可能性を再認識することを目的としている。広い教養が専門知識を一味、より深いものに味付けします。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『理科系の作文技術』木下是雄著 中公新書 ￥700

『情報リテラシー入門』慶應義塾大学日吉メディアセンター編 慶應義塾大学出版会 ￥1200

●専門基礎科目

アルゴリズム

2 単位 秋学期

大野 義夫

〔授業科目の内容〕

コンピュータを用いて解きたい問題には、いくつかの典型的なパターンがあります。また代表的なパターンの問題に対しては、解法の定跡が確立しています。

この科目では、定跡となっているアルゴリズムやデータ構造を学ぶとともに、アルゴリズム同士の定量的な比較の仕方についても考えます。

〔教科書〕

『アルゴリズムとデータ構造』石畑清著 岩波書店

アルゴリズムと情報処理

2 単位 秋学期

榎原 康文

〔授業科目の内容〕

プログラミング言語を勉強しただけでは、データ解析などの実際の仕事を行うためのプログラムを書くことはできない。問題を解決するための手順を正確に記述して、それをプログラムに書き下す必要がある。この問題を解決するための手順には、いくつかの定石があり、その定石を組み合わせることにより、上質なプログ

ラムを完成させることができる。計算機科学において、この定石はアルゴリズムと呼ばれている。

本講義では、データ構造の設計からはじめて、いくつかの代表的なアルゴリズム、ソーティング、グラフ探索、などを紹介し、さらにいくつかのアルゴリズムスキーマについても勉強する。

さらに、生命科学においてもっとも重要なデータ構造である「配列」を扱うための基礎理論である形式言語とオートマトン理論についても勉強する。

〔教科書〕

『アルゴリズム データ構造 計算論』横森貴著 サイエンス社

〔参考書〕

『オートマトン・言語理論』富田・横森著 森北出版

アルゴリズム同演習

2単位 秋学期
青木 義満

〔授業科目の内容〕

論理的思考に基づく各種アルゴリズム設計及びその実装方法について、演習方式で学習する。取り上げるアルゴリズムは、工学計算において広く活用されているような題材を中心とするので、将来どの専門分野へ行っても有益であろう。プログラミング言語はC言語とし、OSはLinux、コンパイラはgccを用いる。

〔教科書〕

毎回、講義資料を配布する。

〔参考書〕

特にないが、あれば講義時に紹介する予定。

毎回の講義資料は講義開始前までに青木研究室のWebページに公開します。

アルゴリズム論

2単位 秋学期
山口 高平

〔授業科目の内容〕

基本的なアルゴリズムをフローチャートレベルで理解し、書けるようになることを目標とする。また、これらアルゴリズムの応用についても学ぶ。

〔教科書〕

資料配布。あるいは指定したWebページ各自ダウンロードして持参すること。

〔参考書〕

講義中に示す。

インダストリアル・エンジニアリング

「作業システムの分析と改善」

2単位 春学期
金沢 孝

〔授業科目の内容〕

経営工学で中心的役割を果たすインダストリアル・エンジニアリング (IE) の諸手法を、歴史的な観点や哲学的な観点を加えながら説明します。企業活動におけるIEの役割、「改善のための発想」に重点をおいた仕事の方法の分析、仕事の時間の把握、工程設計の基礎知識に関して講義します。

〔参考書〕

『IEの基礎』藤田彰久著 建帛社

『IE問題の解決』川瀬武志著 日刊工業新聞社

エレクトロニクス・デバイス

「半導体デバイスの基礎」

2単位 秋学期
松本 智

〔授業科目の内容〕

エレクトロニクス・デバイスは、現在の情報通信化社会の基盤技術として大きな役割を担っている。パソコン、ディスプレイ、携帯電話を始め、様々なエレクトロニクス機器には、半導体材料で作製された多種のデバイスが用いられている。この中で、本講義では、もっとも基本的なデバイスであるpn接合ダイオードとLSIを構成しているMOSトランジスタおよび基本的MOS論理ゲートに関して、その動作原理、動作特性について学習する。バイポーラ・トランジスタ、化合物半導体高速トランジスタ、太陽電池、半導体レーザ等の多種のエレクトロニクス・デバイスについては、3年秋学期「半導体物理」で講義を行う。

〔教科書〕

『半導体デバイスの基礎』松本智著 培風館

〔参考書〕

『半導体デバイス』S.M.Sze 著 産業図書

エレクトロニクス基礎

「シリコンの中の電子を理解する」

2単位 春学期
斎木 敏治

〔授業科目の内容〕

電子工学科で回路、デバイスを学ぶ上で必須となる半導体(特にシリコン)の基本事項を習得することを目指します。半導体中の電気伝導を理解するために必要なエネルギー帯構造、有効質量、正孔、状態密度、エネルギー分布、不純物単位など、独習が難しい概念に重点を置いて講義をおこないます。不純物半導体の理解まで到達することを目標とし、秋学期の「エレクトロニクス・デバイス」へスムーズに移行できるように配慮します。

〔教科書〕

講義資料を配布し、それに沿って授業を進めます。

〔参考書〕

初回の講義で紹介します。

エレクトロニクス創造演習

2単位 秋学期
岡田 英史 高橋 信一

〔授業科目の内容〕

エレクトロニクス創造演習は、自らのアイデアを生かしてエレクトロニクス・システムを製作する“実験書なき実験”を行う科目です。個々の学生が主体的に取り組めるよう、与えられるのは基本的にはテーマのみで、あとは決められた予算の範囲内でより高性能になるよう、各グループが自由に工夫を行ってシステムを構築します。システム構築の過程において、調査、討論、プレゼンテーションなどを実施して、研究・開発に必要な基本的なスキルについて学びます。学期末には、各グループが作成したシステムを用いてコンペティションを実施するとともに、各自の成果に関するプレゼンテーションを行います。

なお、原則2名1組の少人数でグループを組む演習科目ですので、履修制限を行うことがあります。

〔教科書〕

適宜プリントを配布する。

応用解析第 1 (機械)「微分方程式の理解とその解法 /
ベクトル微分演算の基礎」

2 単位 春学期

澤田 達男 堀田 篤

〔授業科目の内容〕

本講義は大きく 2 つに分けられる。

- (a) 微分方程式の解法
- (b) ベクトルの微分演算

おのおの 6 回の講義が行われる。演習・宿題を数多く取り入れ理解が深まるようにする。担当教員も (a) 堀田、(b) 澤田、が行う。(a) 微分方程式の解法では、常微分方程式の性質を理解し、その解法をマスターすることが目標である。(b) ベクトルの微分演算では、添字表示に基づくベクトルの微分演算法をマスターし、微分演算の物理的性質を理解することが目標である。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

- (a) 微分方程式の解法

『常微分方程式』物理数学コース 渋谷仙吉・内田伏一著 裳華房 1998 年

- (b) ベクトルの微分演算

無し。プリントを用意します。

〔参考書〕

無し

応用解析第 1 (電子、S D)

2 単位 春学期

田口 良広 須藤 亮

〔授業科目の内容〕

微分方程式は、理工学分野に現れる現象を記述し解析するための重要なツールの一つである。常微分方程式、偏微分方程式の基礎を理解し、実際に微分方程式を導出したり解いたりできる応用能力を修得することが目的である。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

『常微分・偏微分方程式ノート』志水・鈴木著 コロナ社

応用解析第 1 (応化、化学)

2 単位 春学期

朝倉 浩一

〔授業科目の内容〕

化学及び物理現象の解明に必要な種々の微分方程式に対する解析法の基礎を学びます。単に数学としての講義ではなく、化学及び物理現象と関連させて説明します。

〔教科書〕

『常微分・偏微分方程式ノート』志水・鈴木著 コロナ社 1995 年

応用解析第 1 (数理、物理)

「常微分・偏微分方程式の入門」

2 単位 春学期

井口 達雄

〔授業科目の内容〕

常微分及び偏微分方程式の初期値問題及び境界値問題、Fourier の方法

〔参考書〕

『フーリエの方法』応用解析の基礎 4 入江昭二・垣田高夫 共著 内田老鶴圃

応用解析第 2

「線形システム解析の基礎理論」

2 単位 秋学期

池原 雅章

〔授業科目の内容〕

線形常微分方程式で記述される対象（現象）すなわち、線形動的システムの基礎的理解を深めることを目的とし、線形システム理論、回路網理論、制御理論等への準備と位置付けられる。線形代数の基礎、ラプラス変換、Z-変換を履習したあと、常微分方程式、差分方程式の解法、解析へ向かう。したがって、応用解析第一の履修を前提としない。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、<http://www.mech.keio.ac.jp/Table6-2008.pdf> または履修案内を参照ください。

〔教科書〕

『線形システム解析入門』高橋進一・高橋徹共著 培風館

応用化学計算基礎「化学系におけるコンピュータ操作の
リテラシーおよびスキルアップ」

2 単位 秋学期

寺坂 宏一 吉岡 直樹

〔授業科目の内容〕

化学分野においてもコンピュータは必要不可欠な道具となり、実験結果の整理および論文作成、実験操作の支援、反応装置の開発や設計を目的とした数値計算あるいは分子構造のシミュレーションなどを行う機会が多くなってきました。

そこで、化学分野においてコンピュータ計算を必要とする例題を、Windows 上の表計算ソフトやプログラミング言語を用いた実習の中で解きながら、コンピュータの操作方法や応用方法について理解を深めます。

表計算ソフトの実習では Excel を使い、主としてデータの整理法および公的論文や報告書のグラフ様式として不都合のない作図法について学び、さらにマクロや VBA を使ったプログラミング入門へ導きます。

プログラミング言語の実習では Visual Basic for Applications を使い、主としてコンピュータ処理の流れおよびコンピュータ言語に共通のプログラミング技術の基礎に関して学習します。

履修学生は基礎的な化学の知識を身につけたうえで、パソコンの利用によりどのような効果が期待できるかを体験してください。

〔教科書〕

『化学系学生のための Excel/VBA 入門』CD-ROM 付
寺坂宏一著 コロナ社 2006 年 3150 円

応用確率論（機械、物情）

「確率・確率過程論とその応用」

2 単位 秋学期

山本 直樹

〔授業科目の内容〕

工学、理学から経済学に至るまで、現在、確率・確率過程論は必須の武器です。

時系列信号に現れるノイズ、量子論における光子カウント、経済の動向を示す株価変動など、確率モデルで表現される現象は無数にあります。授業の目的は、これらの現象を解析するための、確率・確率過程論の最も基礎となる土台を提供することです。さらに、時系列の推定などの応用も扱う予定です。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

『確率と確率過程』伏見正則著 講談社

『確率過程の数理』広田薫・生駒哲一著 朝倉書店

応用確率論（電子）

「理工学における現象を確率過程としてとらえるための基礎を学ぶ」

2 単位 春学期

真壁 利明

〔授業科目の内容〕

駅改札口の込み具合、携帯電話の呼び、PC の故障など事故予測などは、確定現象と異なり、「その事象がある確率で起こることを予言する」立場の確率現象である。本講義では理工学の諸課題を確率過程の立場で明らかにするためのスキルを身につける入門編である。これまでに学んだ確率の諸概念を簡単に復習した後、確率現象を確率過程としてとらえる基礎をやさしく学ぶ。確率現象あるいは確率過程として自然を解き明かす喜びを伝えたい。

〔教科書〕

『確率過程』中川・真壁著 培風館

応用確率論（情報）

2 単位 春学期

大槻 知明

〔授業科目の内容〕

確率は、情報理論、通信理論、信号処理、ネットワーク工学などの様々な工学分野から、経済などの分野まで広く利用されている。本講義では、確率の基礎から確率過程まで、工学分野で見られる様々な現象を例にして解説する。

〔教科書〕

『確率過程』中川正雄・真壁利明著 培風館

応用数学（機械、電子、物理）

「フーリエ解析」と「線形代数」

2 単位 秋学期

岡田 英史

〔授業科目の内容〕

理工学における現象の解明や工学機器の設計などへの応用を目的とした数学が応用数学です。この講義では、データ解析に

おいて必要とされるフーリエ解析と線形代数を中心に解説を行います。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

なし。keio.jp を利用してハンドアウト等を配布します。

応用数学（情報）

「情報処理のためのフーリエ変換・ラプラス変換・Z 変換」

2 単位 春学期

斎藤 英雄

〔授業科目の内容〕

情報処理の基本的な数学的道具として最も重要である、フーリエ変換・ラプラス変換・Z 変換について講義する。

〔教科書〕

特に指定しない。講義に際して配布するプリントを利用する。

応用電磁気学同演習

2 単位 秋学期

畑山 明聖

〔授業科目の内容〕

1) マクスウェル方程式が記述する物理現象及び法則のしっかりとした理解、2) 電磁気学の応用問題を自分自身でモデル化し、解くことができる、3) そのための数学的な力を身につける。

〔教科書〕

プリント配布

オペレーションズ・リサーチ第 1

「見積りと意思決定の科学的基礎」

2 単位 秋学期

栗田 治 武田 朗子

〔授業科目の内容〕

オペレーションズ・リサーチ (OR) とは、数学的なアプローチにより、経営を始めとする諸問題の解決を支援する知的枠組みであり、別名、意思決定の科学あるいは見積りの科学とも呼ばれています。企業活動を例にとっても解決すべき問題はたくさんあります。設備投資の意思決定、納期が厳しいプロジェクトの作業計画、在庫管理、競争環境における撤退・縮小・拡大等の意思決定、など。また、都市・地域計画や交通計画といった公共的な分野においても OR に依拠した科学的な意思決定の重要性が認識されつつあります。こういった様々な問題を解決するための道具として、多くの OR 手法が提案されています。OR 第 1 では、OR の考え方や手法についての基礎を習得してもらうことを目的としています。例を織り交ぜながら、オペレーションズ・リサーチの代表的な手法である、線形計画法、凸二次計画法、動的計画法、微分方程式モデルを取り上げます。

〔参考書〕

『線形計画法』今野浩著 日科技連 1987 年

『非線形最適化の基礎』福島雅夫著 朝倉書店 2001 年

『微分方程式で数学モデルを作ろう』D.バージェス・M.ポリー著 垣田高夫・大町比佐栄訳 日本評論社 1990 年

『微分方程式 (上) (下)』M.ブラウン著 一楽重雄ほか訳
シュプリンガー・フェアラーク東京 2001 年

解析力学

2 単位 春学期
福田 礼次郎

〔授業科目の内容〕

「物理学 A」、「物理学 C」で学んだニュートン力学は、変分原理に基づいて解析力学と呼ばれる新しい形式に体系化されます。それは現代物理学の理論体系の基礎となるものです。本講義では、解析力学のうち、「ラグランジュの運動方程式」と「ハミルトンの正準方程式」について解説をします。

解析力学を使うと、力学の演習問題を見通しよく、容易に解くことができます。その力を身につけることを目指します。量子力学への橋渡しに注目します。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

特にありません。問題を集めたものを(解答も一緒に)何回かに分けて配ります。

〔参考書〕

『力学 II — 解析力学 —』原島鮮著 裳華房

回路とシステム第 1

「電気回路の表現と解析」

2 単位 春学期
大森 浩充 浜田 望

〔授業科目の内容〕

電気工学の中心となる理論である回路論の体系化された表現法・解析法・設計法は、電磁気現象がその他の物理現象と類似していることから、力学、化学、生物学など他の工学分野へ広く導入され、それぞれの分野で独自の理論へと発展している。このように、電気回路理論の概念は、多くの工学理論の根拠を支える重要な考え方となっている。講義では、電気回路を用いてシステムを表現するセンスを養うことをひとつの目的とし、その基礎として、回路素子の性質と回路に関係する諸定理を述べ、回路方程式による表現法を習得した後、回路解析法として過渡応答解析法と交流回路解析法を習得する。授業は理論的内容を具体的に直ちに理解・確認できるように、演習・例題を含めた構成とする。

〔教科書〕

システムデザイン工学科配布のテキストを使用する。

〔参考書〕

『電気回路』浜田望著 森北出版 (株)

『電気回路ノート』森真作著 コロナ社

『電気回路演習ノート』森真作・南谷晴之著 コロナ社など

回路とシステム第 2

「回路とシステム第 1」のアドバンストな内容」2 単位 秋学期
浜田 望

〔授業科目の内容〕

電気回路のアドバンストな内容として、下記の事項について説明し、問題も解けるように講義を実施する。

回路解析手法のオーバービューと回路の電力・エネルギーと受動性 (2 回)

3 相交流回路と電力伝送 (2 回)

2 端子対回路 - 回路の特性表示 - (2 回)

周期信号に対する回路の解析 (1 回)

信号処理機能としての回路 (2 回)

演算増幅器(オペアンプ)便利な機能素子 (2 回)

分布線路 - 回路における波動現象 - (2 回)

各項目に関してすべて演習を実施

〔教科書〕

『回路とシステム』浜田望著 共立出版

化学統計熱力学

2 単位 春学期
中嶋 敦

〔授業科目の内容〕

Introduction 熱、温度、仕事 (熱力学第 0 法則)

Part 1 エネルギー (気体分子運動論と熱力学第 1 法則)

§1 気体の状態方程式

§2 気体分子運動論

分子の運動と温度

§3 エネルギーと熱力学第 1 法則

仕事と熱、エネルギー

内部エネルギー、エンタルピー、比熱、熱化学

Part 2 エントロピー (統計熱力学と熱力学第 2 法則)

§4 気体分子の量子力学

§5 分子のエネルギー分布 - 統計熱力学入門

§6 量子統計 (Bose-Einstein 分布、Fermi-Dirac 分布) と Maxwell-Boltzmann 分布

§7 エントロピーと第 2 法則

統計熱力学的エントロピー、第 2 法則、第 3 法則

Part 3 自由エネルギー (平衡)

§8 自由エネルギーと化学ポテンシャル

§9 化学平衡

化学反応と自由エネルギー、平衡定数、平衡定数の温度変化

§10 相平衡

〔教科書〕

特に、教科書は指定しません。教科書がなくても、毎回聞く講義のノートで、十分な理解が得られるように進めます。

〔参考書〕

『物理化学演習』茅幸二他著 裳華房

『岩波講座「化学の考え方」』茅幸二、中嶋敦著 岩波書店

『物理化学』第 6 版 上・下 バーロー著 東京化学同人

『物理化学』第 6 版 上・下 アトキンス著 東京化学同人

『統計熱力学の基礎』ライフ著 吉岡書店

化学統計熱力学演習

「化学統計熱力学の理解を確実にするために」1 単位 春学期
中嶋 敦 長岡 修平

〔授業科目の内容〕

「化学統計熱力学」の講義に対応して、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーといった重要な新しい考え方を中心として、これらの理解を具体的な問題を解くことを通じて深めるために演習を行ないます。講義「化学統計熱力学」と進度をあわせて補足・先取りしながら進めますので、効果的な学習が期待できます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

『物理化学演習』茅幸二他著 裳華房

『岩波講座「化学の考え方」』茅幸二・中嶋敦著 岩波書店

『物理化学』第6版 アトキンス著 東京化学同人

学外実習第1

2単位 秋学期

宮本 憲二

〔授業科目の内容〕

定められたカリキュラム以外に理工学部外、塾外の大学等での授業の履修、あるテーマに関する講習会等の受講、企業・研究機関等での一定期間以上の実習等の内容が専門基礎科目の単位として相応しい内容を有するものであると認定されたとき、本学科目の単位として認定する。すなわち、内容（場所・時間等を含む）については学生自身が企画することになる。

実習についての詳細は学習指導副主任に相談すること。

確率（機械、応化、数理、物理、化学）

2単位 春学期

増田 靖

〔授業科目の内容〕

不確実な現象を数学的に扱うために、確率論の基礎を学びます。工学的・社会的現象への応用についても例示します。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

『確率と統計』清水良一著 新曜社 1980年

講義資料プリントは web サイト <http://www.ae.keio.ac.jp/lab/soc/masuda/masuda-hp/lectures.htm> よりダウンロードできます。

〔参考書〕

『確率と確率過程』伏見正則著 朝倉書店 2004年

確率（管理）

「統計解析の基礎」

2単位 春学期

鈴木 秀男

〔授業科目の内容〕

不確実の現象を数学的に扱うために、確率論の基礎を学びます。確率論の基本事項を例題を通して説明し、学確率モデルの工学・社会現象への応用についても解説します。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを keio.jp にアップロードします。講義は、おおむね講義資料プリントに基づき行います。

〔参考書〕

『確率・統計』田口玄一・真壁肇・古林隆・森雅夫著 日本規格協会 1981年

『確率統計演習1』国沢清典編 培風館 1966年

『確率と統計』清水良一著 新曜社 1980年

『信頼性データの解析』真壁肇著 岩波図書 1987年

確率・統計

「不確定性を含むデータにおける解析方法」 2単位 春学期

大森 浩充 小檜山 雅之

〔授業科目の内容〕

実世界で生じる現象は、ほとんどが不確定性を含んでおり、現代の科学・技術の研究において、確率・統計は欠くことのできない重要な道具である。この講義では、確率・統計の初学者を対象として、確率・統計を講義する。本講義は、3年春の確率システムの基礎となる。

〔教科書〕

テキストを配布する予定である。

〔参考書〕

授業中に指定する場合がある。

環境化学 / 環境化学概論

「地球環境の化学」

2単位 秋学期

鹿園 直建

〔授業科目の内容〕

- ・地球環境問題（温暖化学）
- ・廃棄物問題
- ・資源問題
- ・地球環境倫理

〔教科書〕

『地球惑星システム科学入門』鹿園直建著 東大出版 1992年

『廃棄物とのつきあい方』鹿園直建著 コロナ社 2001年

〔参考書〕

『地球システムの化学』鹿園直建著 東大出版 1997年

関数論第1同演習

「複素変数関数についての微積分学」

3単位 秋学期

下村 俊 田中 孝明

〔授業科目の内容〕

関数論の基本事項について解説する。これらが自由自在に應用できるようになることを目標にする。

1. 複素平面、複素関数、数列、級数
2. 正則関数、べき級数の正則性
3. コーシーの積分定理、コーシーの積分公式とその応用
4. テーラー展開、一致の定理
5. 有理型関数、留数
6. ローラン展開、孤立特異点

〔教科書〕

『解析関数』田村二郎著 裳華房

管理工学概論

「管理工学と社会とのつながり」

2 単位 秋学期
松林 伸生 他**〔授業科目の内容〕**

管理工学とはどのような学問であるのか、そして社会でどのように活用されているのか、ということについて、学科教員並びに企業等に所属される外部講師の方に講義をしてもらう。この講義が、諸君の今後の専門的な勉強計画並びに、卒業後のキャリアプランを立てる一助となることを期待する。

〔教科書〕

特に無し

〔参考書〕

特に無し

管理工学基礎演習 I1 単位 春学期
篠崎 信雄 他**〔授業科目の内容〕**

管理工学における基礎的な概念や手法について演習を通して理解を深める。演習は、全体を 2 班に分け、原則として各班隔週で 2 時限連続して行なう(班分けは事前に掲示する)。また、最終回に演習内容全般についての試験を行なう。なお、毎回電卓は必要であるので持参すること。バーコードのシールも忘れないこと。

〔教科書〕

演習で使用するテキストは、第 1 回目の講義で販売するので購入すること。テキストには、演習で使用する用紙などが綴じこまれているので、毎回持参すること。バーコードのシールも忘れないこと。

〔参考書〕

それぞれのテーマの参考書等については、担当者に尋ねること。

管理工学基礎演習 II1 単位 秋学期
篠崎 信雄 他**〔授業科目の内容〕**

管理工学における基礎的な概念や手法について演習を通して理解を深める。演習は、全体を 2 班に分け、原則として各班隔週で 2 時限連続して行なうが、そうでないものもあるので注意すること。班分けについては事前に掲示する。また、最終回に演習内容全体についての試験を行なう。なお、毎回電卓は必要であるので持参すること。バーコードのシールも忘れないこと。

〔教科書〕

演習で使用するテキストは、第 1 回の講義で販売するので購入すること(管理工学基礎演習 I で購入するテキストの後半部分)。テキストには、演習で使用する用紙などが綴じこまれているので、毎回持参すること。

〔参考書〕

それぞれのテーマの参考書等については、各担当者に尋ねること。

管理工学用数学第 1

「管理工学のための線形数学」

2 単位 春学期
小澤 正典**〔授業科目の内容〕**

1 年生のときに線形代数の基本的なことは勉強していると思いますが、これから管理工学を学ぶ上で、線形数学が大事な用具・方法となります。この授業では、線形代数の幾何学的なイメージを養い、アルゴリズムを学ぶことを主眼とし、その工学や統計への応用、最適化の考え方などについて紹介し、講義と演習の形でしっかりと修得してもらうことを狙っています。

〔教科書〕

適宜、講義内容のプリントを配布する。

〔参考書〕

授業のときに紹介する。

機械工学創造演習

「自主的行動力と表現力の向上」

2 単位 秋学期
泰岡 顕治 他**〔授業科目の内容〕**

機械工学創造演習は、各人の興味や才能に基づき、自らの発想でテーマを決め、自分で考えた実験や物作りを実際に行うことで、学びつつあることの具体的な意味や相互の関連を理解し、主体的な勉学の習慣を身につけることを目的とした実技科目です。演習の進行はおおよそ以下になります。テーマの検討などは 6 クラス×2 曜日(12 人程度)に分かれて行いますが、実験・加工などの相談についてはすべての科目担当者が対応します。このような自主的活動を通して、専門学力のみならず、これからの科学技術者に求められる行動力と表現力も向上することを期待しています。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

テキストを配布する。

〔参考書〕

特に指定しない。

機械力学の基礎

「機械を動かすための仕組みと運動の力学」 2 単位 春学期

竹村 研治郎 三木 則尚
森田 寿郎**〔授業科目の内容〕**

この科目では、目的とする動きを実現するための機構要素と、そのために必要な力やモーメントの計算方法を学びます。これにより、ある機能を達成するにはどのような仕掛けにすればよいのか、それが動くときにはどのような力が加わるのか、あるいはどのような運動が起こるのかわかるようになることを目指します。講義前半は、機構の模型も回覧します。また、機構の発想力や運動の解析力を養うために、毎回演習を行い、かつ毎回宿題も出します。

【学習・教育目標との関係】

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

(講義の前半)『機構学』森田均著 サイエンス社

(講義の後半)『応用力学 (動力学編)』S.ティモシェンコ・D.H.ヤング著 渡辺茂・三浦宏文訳 好学社

基礎化学実験

2 単位 秋学期

鈴木 孝治 他

【授業科目の内容】

化学実験の基礎となる操作、考え方並びに専門知識を修得するため、以下の内容について、少人数単位の実験実習を行う。

- 実験ガイダンス
- 過マンガン酸カリウムによる酸化還元滴定
- アルカリ金属の原子発光分析
- 還移金属錯体の可視スペクトル
- 電解質溶液の電導度
- 臭化アルキルの生成反応速度
- D-グルコースの変旋光速度
- アズラクトンの合成と同定
- ポリマー粒子の作製と粒度分布

【教科書】

指定の実験テキストを生協で販売する。

【参考書】

理工学部のメディアセンターなどを利用のこと。

基礎生物学

「生物の多様性と統一性」

2 単位 春学期

松本 緑

【授業科目の内容】

生物学は進歩が最もめざましい学問の一つである。生命情報学科において、最新の生命科学を学ぶ上では生命の本質であるその多様性と統一性を理解することが必須となる。

この講義では、現代生物学の基礎知識として、生命活動の基本単位である細胞の構造と機能、生命活動を支える物質およびエネルギーの流れ、個体としての統一性を支える情報の処理と統合、個体性の認識、生命の連続性を支える生命情報の流れ、につき学習する。

【教科書】

“Biology”Campbell and Reece (8th ed.)

【参考書】

随時紹介する。

基礎生命実験

2 単位 秋学期

宮本 憲二 他

【授業科目の内容】

生命現象を理解するには、化学、生物、物理・情報の総合的な理解が必要である。

本講義では、実験を通してそれらの基礎を習得することを目的とする。

空間設計製図 A

3 単位 秋学期

岸本 達也 他

【授業科目の内容】

設計製図の基礎と空間構成手法を習得する。平面図、立面図、断面図、立面図の描き方、パース (透視図) の描き方、模型製作など建築の各種設計・表現手法を学ぶ。さらに用途を限定した小建築、小住宅の設計を通して空間構成手法の基礎を体得し、製図の基礎から小規模建築の空間構成手法までを習得することを目標とする。

経営管理論

「経営管理の全体像と
コーポレートファイナンス」

2 単位 春学期

今井 潤一

【授業科目の内容】

経営管理は、広義には経営資源 (ヒト、モノ、カネ、情報) の転換効率や環境適応の能力と創造性を高めて、企業の目的を実現しようとする活動のことを指します。授業では、まず経営管理の全体像の理解、個々の構成要素となる学問との関連について説明を行います。続いて、経営資源の中でもおカネの視点から焦点を絞り、コーポレートファイナンスについて他の関連科目との関係にも触れながら、詳しく説明していきます。

【教科書】

『基礎からのコーポレート・ファイナンス』第3版 古川浩一 ほか著 中央経済社

【参考書】

必要に応じて、授業中に紹介します。

計算機科学同実習

「コンピュータ言語(C-言語) 入門」

3 単位 秋学期

野寺 隆

【授業科目の内容】

マルチメディアやバーチャルリアリティなど、インターネットを使ったサイバースペースの世界が次々 to 出現している。このような現代社会で、新たに人とコンピュータのコミュニケーションを考えることは重要な事柄である。本講義は、最初に数式を含む文書処理の入門として、LaTeX の基本概念について実習を通して学習する。次に、コンピュータのプログラミングの入門として、C 言語を利用し、その実習を通してアルゴリズムの構成法やコンピュータの役割などについて学習する。C 言語は、ワークステーション用のオペレーティングシステム UNIX の記述に利用され、高水準プログラミング言語の持つ「構造化」と呼ばれる機能を持ち、コンピュータの金物 (ハードウェア) としての機能を充分発揮できるように考えられた高級言語である。この講義では、C 言語の学習を通してコンピュータの持つ力を各自の情報処理の仕事に充分発揮できるための基礎的な素養を育成することにある。

【教科書】

なし

〔参考書〕

『楽々 LaTeX (第2版)』野寺隆志著 共立出版

『これだけは知っておきたい数学ツール』野寺隆志著 共立出版

『C 入門』浦昭二、原田賢一共著 培風館

『プログラミング言語 C』B.W.カーニハン・D.M.リッチー著
石田晴久訳 共立出版

計算機基礎 (機械、管理、数理、物理)

「ブール代数、デジタル回路、コンピュータ 2 単位 春学期
アーキテクチャの基礎」

藤代 一成

〔授業科目の内容〕

現在、ありとあらゆる場所にコンピュータは組み込まれ利用されているが、本講義では、コンピュータ自身の仕組みと動作を理解することを目的とする。実際にコンピュータがどのように動作しているのかを理解するための基礎知識を、演習を行いながら学習する。

本授業は、本来はコンピュータを主たるトピックスとはしない学科の学生のために、情報系と並行し基礎からの理解を図るように進める。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照してください。

〔教科書〕

特に指定しません。

授業で使用するパワーポイントのスライドを PDF 形式で配布する予定です。

〔参考書〕

『電子計算機 I 基礎編』相磯秀夫・松下温共著 電子情報通信学会編 コロナ社 1992 年 ISBN:978-4-339-00049-8

計算機基礎 (化学、情報)

「ブール代数、デジタル回路、コンピュータ 2 単位 春学期
アーキテクチャの基礎」

山崎 信行

〔授業科目の内容〕

現在、ありとあらゆる場所にコンピュータは組み込まれ利用されているが、本講義では、コンピュータ自身の仕組みと動作を理解することを目的とする。実際にコンピュータがどのように動作しているのかを理解するための基礎知識を演習を行いながら学習する。

〔教科書〕

以下の URL から授業で使用するパワーポイントのスライドを PDF 形式で配布します。 <http://www.ny.ics.keio.ac.jp/>

〔参考書〕

『電子計算機 I 基礎編』相磯秀夫・松下温共著 電子情報通信学会編 コロナ社

計算機構成同演習

2 単位 秋学期

天野 英晴

〔授業科目の内容〕

マイクロコンピュータの CPU を HDL (Hardware Description Language) を用いて設計しながら、その内部構造を理解する。16bit RISC 型 CPU (パイプライン化されていないもの) の設計までを半期で行なう。1 コマの授業の後に 1 コマの設計演習を行なう。具体的には、(1) 加算、減算回路、バレルシフトを含む ALU の設計ができる。(2) アキュムレータマシンの設計ができ、アセンブラで簡単なプログラムができる。(3) 16bit RISC に独自の命令を付け加えることができ、アセンブラで簡単なプログラムができる。を目標とする。

2008 年度から利用言語を Verilog HDL に切り替えた。

〔教科書〕

毎回、Web 上にプリントを掲示します。

〔参考書〕

『作りながら学ぶコンピュータアーキテクチャ』天野・西村著 培風館

計算力学の基礎 I

「コンピュータによる数値計算の基礎と実習」 2 単位 春学期

小尾 晋之介

〔授業科目の内容〕

本科目では主に以下の内容を扱う：

- A コンピュータを使用する際に必要な基礎知識
- B ワークステーションの利用
- C 簡単な数値計算のプログラムの作成・実行

計算機の内部で処理される数値はアナログではない。このことによって、単純な四則演算を実行しても予想外の結果が得られることがある。この授業では計算機に特有の問題について理解するとともに、プログラムを作成し、使いこなすための基礎を習得することを目的とする。

プログラミングアプリケーションとして MATLAB を用い、数値計算のプログラムを作成・実行する。また、MAPLE などのユーティリティの使用方法を学ぶ。秋学期の「計算力学の基礎 2」では、微分方程式の数値解析を取り扱うため、2 つの科目を履修することにより機械工学で扱うさまざまな方程式について自力で数値解析を行う力が身につくことが期待される。コンピュータ (LINUX) に関する知識は前提としない。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照してください。

〔教科書〕

テキストを配布予定

〔参考書〕

『ザ・数値計算リテラシ』戸川隼人著 サイエンス社

『矢上キャンパス IT 利用バイブル』慶應義塾大学理工学
インフォメーションテクノロジーセンター

『はやわかり MATLAB』芦野隆一・Remi Vaillancourt 共著 共立出版

『(機械工学基礎コース) コンピュータの基礎と数値計算』 森下信編著 丸善株式会社

計算力学の基礎 II

「微分方程式の数値解析」

2 単位 秋学期

泰岡 顕治

〔授業科目の内容〕

この科目では微分方程式の数値解析について学ぶ。物理学の基礎となる常微分方程式、流体力学や伝熱工学で用いる偏微分方程式などの解の性質を調べることで物理現象の理解を促進する。単なる知識の習得にとどまらず、方程式を自分で解ける、解いた結果の精度を評価できる、結果が正しく解釈できる、といった力を身につけることを目指す。「計算力学の基礎 I」の履修が必須。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

配布資料を使用

〔参考書〕

『ザ・数値計算リテラシ』 戸川隼人著 サイエンス社

『矢上キャンパス IT 利用バイブル』 慶應義塾大学理工学インフォメーションテクノロジーセンター

『はやわかり MATLAB』 芦野隆一・Remi Vaillancourt 共著 共立出版

『(機械工学基礎コース) コンピュータの基礎と数値計算』 森下信編著 丸善株式会社

『Numerical Methods for Engineering Application』, J.H. Ferziger, John Wiley & Sons, Inc. など

計算論理学

「論理と計算のつながり」

2 単位 秋学期

岡田 光弘

〔授業科目の内容〕

計算機科学や情報工学の理解のために必要な論理学的基礎を与えることを目的とする。論理的言語及び論理的知識表現論、論理的意味論、ルールベースの推論システム、証明論等の基礎理論を与える。又、それらと計算モデル理論（チューリングマシンやラムダ計算等）の関係を示す。プログラム言語理論、フォーマルメソッド、AI 分野等で提案されてきた推論エンジンモデル等との関係についても授業内で触れたい。計算機や計算理論の基礎は 1930 年代に論理学分野で確立された。論理学分野において誕生したコンピュータ概念に対する歴史的経過についても解説する。

〔教科書〕

教材については秋学期開始時に授業及び掲示で指示する。

〔参考書〕

授業の中で紹介する。

形状情報の表現

「三次元物体を二次元の図面に表現する 2 単位 秋学期方法、技術内容の指示方法等の習得」

小川 邦康 他

〔授業科目の内容〕

図面は、設計技術者の世界共通言語である。将来、機械技術者として自ら設計を行う場合は、自分が意図した機械等の構造や形状、精度、特性等を図面上に自由に表現するとともに、他の技術者の意図を自由に読み取ることができなければならない。また、直接設計に携わらない場合でも、製品の良否を判断する上で、図面内容を適確に把握できる能力が必要である。特に、グローバル化された現在、世界的に活躍するためには国際基準の図面を作成する能力が必要である。本講義では、グローバルに活躍できる技術者になるために、図面に記入すべき項目や国際基準に準拠した指示方法等を、CAD を使った実習を通して教授する。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

『初心者のための機械製図 第 2 版』 植松育三・藤本元・御牧拓郎著 森北出版を教科書とする。また、講義内容をまとめた資料を必要に応じて配布する。

計測工学（物情、物理）

「電気計測を中心とする「はかる」ことの 2 単位 秋学期考え方と技術」

松本 佳宣

〔授業科目の内容〕

はかるということは、観察・調査・実験などに基づいて、自然・事物・対象についての知識を手に入れることです。私達が科学的に物事を進めようとする場合、まずははかることから始めます。これを称して「計測なくして科学なし」といいます。もちろん、科学のみでなく、技術の発展にもはかることは欠すことができません。この講義では、個別の測定法や測定装置もあげますが、それを通じて優れた計測システムの構成方法を理解できるように進めます。

〔教科書〕

『よくわかる電気電子計測』 南谷晴之・山下久直著 オーム社

および他の参考文献から引用した講義に関する図・資料を配布します。

〔参考書〕

『よくわかる電気電子計測』 南谷晴之・山下久直著 オーム社

『はじめての計測工学』 南茂夫・木村一郎・荒木勉著 講談社サイエンティフィク

『計測工学』 前田良昭・木村一郎・押田至啓著 コロナ社

光学基礎

2 単位 秋学期
木下 岳司

〔授業科目の内容〕

光技術は現在最も急速に発展している技術の一分野です。レーザを応用した多くのハイテク機器が身近に使われています。光の波としての性質と代表的な応用例について講義します。今の電機、精密メーカーに必要な内容です。

〔教科書〕

pdf ファイルを配布します。未完成にしますので、講義で補充して完成させてください。

〔参考書〕

『Optics』 Eugene Hecht 著 Addison- Wesley 丸善から和訳 3 冊組があります

『光学の基礎』 左貝潤一著 コロナ社

『基礎光学』 大頭仁・高木康博著 コロナ社

『光入門』 大坪順次著 コロナ社

『光工学』 羽根一博著 コロナ社

工学数学

2 単位 春学期
柿沼 康弘 桂 誠一郎

〔授業科目の内容〕

工学をシステム論から解析し、設計しようとすれば、必ず数学の助けが必要になる。本講では、級数、微積分、複素解析、ベクトル解析等を横断的に取り上げ、総合的な見方が出来るよう講義を行う。

〔教科書〕

資料プリント配布

高分子化学基礎

「実感する高分子」 2 単位 秋学期
藤本 啓二

〔授業科目の内容〕

高分子とはなんでしょうか。このような素朴な疑問から始めて、他の物質との相違点・存在状態のユニークさについて解説していきます。基礎的なサイエンスの目で高分子の本質に迫り、実体をイメージすることは大切なことです。

また、どのように高分子を扱うのかというケミストリーを知ることができます。それによって自らが「ものづくり」に取り組むという姿勢が養われます。実験科目とのつながりを意識してください。世の中にはさまざまな高分子が存在します。なぜそのようなものが存在するのでしょうか。偶然でしょうか、必然でしょうか、それは必要なものなのでしょうか。そう考えながら自分自身が高分子で出来ていることに気づくことも理工学の道を歩む者には大切なことです。

さて、これからの時代に高分子はどのような役割を果たすのでしょうか。どのようなことが未解決なのでしょう。高分子にはどのような未来があるのでしょうか。それについても考えていきたいと思います。

この科目は 3 年生以降に開講される、高分子化学、応用高分子、バイオ高分子などに関する科目の基礎となる重要なものです。まずは高分子の基礎を実感してみてください。

〔教科書〕

講義内容のプリントを配布します。

コンピュータ実習

「UNIX の基礎」 2 単位 春学期
斎藤 博昭 重野 寛

〔授業科目の内容〕

現在のコンピュータには様々な種類がある。その中に UNIX に基づいて動くものがあるが、UNIX はコマンドラインを中心としたものであり、Windows と異なる部分が多々ある。本講義では、UNIX を利用する際の基本的なコマンドや基本的なソフトウェアを実習することにより、UNIX に関する基礎の習得を目指す。

〔教科書〕

講義の初めに指示する。

〔参考書〕

講義の初めに指示する。

細胞生物学第 1

2 単位 秋学期
井本 正哉

〔授業科目の内容〕

生命を分子レベルで研究する上で必要な分子細胞生物学の基礎知識を教科書に沿って学ぶ。

〔教科書〕

『分子細胞生物学』第 5 版 東京化学同人

材料力学の解法

「はり軸の強度・変形に関する事例と解法」 2 単位 春学期
大宮 正毅 小茂鳥 潤
高橋 邦弘 高野 直樹

〔授業科目の内容〕

必修科目「材料力学の基礎」と表裏を成す科目であり、選択科目ですが是非履修するよう勧めます。本科目では「材料力学の基礎」で学んだ原理あるいは定理を用いて、実際の構造物を解析する上での解決能力を養うことを目的としています。すなわち機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材に関する理解を演習を通じて深めることになります。

個々人に対して丁寧な説明を行いながら演習問題を解説します。実際の計算の例題を豊富に提示することになりますから、「材料力学の基礎」の良き復習となるように構成されています。

内容は「材料力学の基礎」と同様で、下に示す項目です。教科書、参考書は特に定めません。必修科目である「材料力学の基礎」の講義の 5 日後に、本科目で例題を解くこととなりますので、「材料力学の基礎」の授業を良く把握して臨んで下さい。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

特に指定しませんが、「材料力学」という名称の書籍が多数あるのでそれらを参考にして下さい。

材料力学の基礎

「はり軸の強度と変形」

2 単位 春学期

大宮 正毅 小茂鳥 潤
高橋 邦弘 高野 直樹

〔授業科目の内容〕

機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材を取り上げます。はりや軸のような棒材における力と変形、あるいは応力とひずみについて解析を行います。材料力学の基本的考え方、基本原理を解説し、3 年次以降の材料力学関連科目を学ぶ上での基礎固めを目的としています。

基本事項の理解を深めることを主要課題とするとともに、計算に慣れることにも力を注ぎます。同時に開講されている選択科目「材料力学の解法」では、この「材料力学の基礎」における講義内容を基に、練習問題を解くこととなります。「材料力学の解法」では個々人に対し丁寧に解説を加えますから、併せて履修することにより深い理解が得られるよう配慮されています。

教科書、参考書は特に定めませんが、材料力学のテキストには市販のものが多くあるので個人的に参照することが可能です。ただし本授業独自の内容も多いので、授業を基に理解を進める必要があります。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

特に指定しませんが、「材料力学」という名称の書籍が多数あるのでそれを参考にして下さい。

酸塩基及び酸化還元

「あらゆる化学現象を理解するための基礎的概念」

2 単位 春学期

大坂 武男

〔授業科目の内容〕

化学全般の基礎である「酸・塩基反応」および「酸化・還元反応」を理解できるようにします。

〔教科書〕

特に用いない。毎回、講義内容のプリント (A4 用紙 10 枚程度) を配布し、同じ内容の OHP を用いて講義する。

〔参考書〕

『物理化学』 関連の参考書
『酸塩基の理論』 藤永太郎 訳 化学同人
『酸化と還元』 曾根興三 著 培風館

システム制御論

2 単位 秋学期

富田 豊 柚木 克之

〔授業科目の内容〕

下記の内容のほか、制御理論が生命科学に応用されて成果を挙げた例を取り上げます。

- ・線形 2 階微分方程式と振動
- ・固有値と安定性
- ・Laplace 変換
- ・伝達関数
- ・インパルス応答
- ・ブロック線図とその変換法
- ・周波数応答
- ・Bode 線図
- ・Routh-Hurwitz の方法による安定性判別
- ・制御系の設計
- ・非線形制御と分岐

〔教科書〕

『振動論と制御理論』 吉田勝俊 著 日本評論社

〔参考書〕

『演習で学ぶ基礎制御工学』 森泰親 著 森北出版

『Nonlinear dynamics and chaos』, Steven H. Strogatz, Westview

『非線形制御』 平井和正 著 コロナ社

『Schaum's Outlines Feedback and Control Systems Second Edition』, Joseph J. Distefano, et al., McGraw Hill, Paperback

システムデザイン工学概論

2 単位 春学期

内山 太郎 佐藤 洋平

〔授業科目の内容〕

「システムデザインとは何か」について、特別講義、課外講義を通して学ぶ。

システムデザイン工学が目指すものは何か、何をどのように学ぶべきか？ システムデザイン工学に関して、学内の講義のみではない課外講義を含む活力ある形式により、その理念とその視点からの先端技術の状況を講義する。

この講義では、人類 (社会・経済・文化) と自然との調和を考えた工学の必要性、情報化社会に適したシステムづくり、複雑そして総合的なシステムを扱える工学の確立など、社会で本学科が果たす役割を理解して、既成の分野に拘らない広い学識を持ち、新しい発想から新分野を開拓できる、横断的な思考と学際的な発想からシステムデザイン目指して学ぶその動機づけを与えることを目的としている。

機能を追求するだけでなく、現象の本質をグローバルな視点で解析するとともに取り巻く環境との調和にも十分配慮してシステムデザインすることを学びひとりひとりが積極的にシステムデザイン工学そのものを創造することを目指してほしい。

システムデザイン工学基礎演習

1 単位 秋学期

佐藤 春樹 他

〔授業科目の内容〕

本科目は、システムデザイン工学科 2 年生春学期に開講した「熱流体システム第 1」「力学的モデリング」「電磁気工学」「回路とシステム第 1」なる 4 つの基礎必修科目に関する理解を深めさせ、学生に十分にその内容を身に付かせることを目的として設置した演習科目であり、基礎的な問題に対処できるようになることと、これら基礎科目に関する分野横断的な側面もカバーして

いる。春学期に履修した授業内容の演習を秋学期に行うことで、さらなる習熟度向上が期待され、同時に、秋学期に履修しているアドバンスな関連科目に関する理解向上に貢献することもある。本演習科目は、上記基礎必修科目の担当教員8名による2クラス制のオムニバス形式で開講される。

〔教科書〕

『熱流体システム第1』『力学的モデリング』『電磁気工学』『回路とシステム第1』のテキスト

社会・経済と工学

2単位 秋学期

青山 藤詞郎 三田 彰

〔授業科目の内容〕

科学技術を道具として出発したコンピューターを例にとれば、単なる計算道具でなく、経済活動や社会システムまでも変えてしまう、予期しなかった大きな影響を生み出している。あるいはエネルギーの例に見れば、生活を豊かにしただけでなく、地球温暖化や資源競争など、国際・法律・社会心理へも及ぶ広い影響がある。科学技術者には、一方では技術の波及効果について社会的責任を求められる機会が増えており、また、他方では経済や社会の広い知識と問題意識を持つ人が社会で求められている。この講義では、一部は外部専門家の話を依頼して、現在の具体的な事例を挙げることにより、科学技術の影響の広がりを知り、将来の対応の糸口を考える。

周期表の化学基礎

2単位 春学期

山元 公寿

〔授業科目の内容〕

宇宙と地球における元素の誕生と分布の過程を知る。また、周期表にしたがって各元素の特性を把握し、それが化学物質の構造や性質にどのように反映されているかを理解する。特に、類似の性質を持つ元素群（族）に分類して、具体的な特徴を解説する。

- 1 元素の誕生
- 2 周期律
- 3 元素各論

〔参考書〕

『基礎無機化学』コットン・ウィルキンソン・ガウス著 中原訳 培風館

『原子、分子の現代化学』田中政志・佐野充著 学術図書

『元素と周期律』井口洋夫著 裳華房

周期表の化学第1

「無機化学、錯体化学、配位子場理論、群論入門、群論の化学への応用」

2単位 秋学期

近藤 寛

〔授業科目の内容〕

無機化学の基礎となる配位子場の考え方、配位結合について述べます。無機化合物を学ぶ上で最も大切な基礎を扱います。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『配位化学』F.Basolo・R.C.Johnson 著 山田祥一郎訳 化学同人

集合と位相第1

2単位 春学期

亀谷 幸生

〔授業科目の内容〕

数学全般の基礎となる集合の基礎を学びます。集合の演算、写像、集合の直積、濃度などについて基本事項を例題を交えて解説します。

〔参考書〕

『集合・位相入門』松坂和夫著 岩波書店

集合と位相第2

「位相空間入門」

2単位 秋学期

坂内 健一

〔授業科目の内容〕

実数空間内の点列の「収束性」や、実数空間上で定義された関数の「連続性」は、数学においてとても大切な概念です。これら重要な考え方を、実数空間以外の空間でも扱うために導入されたのが、「位相空間」の概念です。この講義では、位相空間の定義を始めとして、位相空間の例や新しい位相空間を構成する方法、点列の収束性、写像の連続性、位相空間の連結性・分離性・完備性・コンパクト性、距離空間など、位相空間論の初歩を学びます。特に最も基本的な例である実数空間の場合とも対比させながら、収束性や連続性などの諸概念が、現代の抽象数学においてどう扱われているか、解説します。

必ずしも直感が働かない抽象数学の世界では、様々な概念を論理的にかつ正確に記述することが大切です。位相空間を学ぶことを通して、数学的な記述能力を身につけることも、合わせてこの講義の目的です。

〔教科書〕

『集合と位相』斎藤毅著 東京大学出版会 2009年秋出版予定

情報経済学

2単位 秋学期

増田 靖

〔授業科目の内容〕

この科目では、管理工学の経済学的側面からのアプローチを考え、企業間・企業内活動を主な分析対象とします。具体的には、二つのテーマを取り扱います。第一のテーマは価格設定です。企業の行動に焦点をあて、市場と企業組織内部の両方に対する価格の役割を調べます。第二のテーマは不確実性と情報です。意思決定者が不確実性にどのように取り組むかという問題を、モデル分析を通じて検討します。そのために重要な道具である期待効用理論を学び、危険回避行動を議論します。典型的な例として保険契約や独占的差別価格の問題を議論します。

〔教科書〕

教科書は特に指定しません。講義資料は web サイト <http://www.ae.keio.ac.jp/lab/soc/masuda/masuda-hp/> よりダウンロードできます。

〔参考書〕

『ミクロ経済学 I, II』奥野正寛・鈴木興太郎著 岩波書店
1985 年 1988 年
『経営の経済学』丸山雅祥著 有斐閣 2005 年
『組織の経済学』P.ミルグローム・J.ロバーツ著 NTT 出版
1997 年

情報処理システム

「論理的思考、手続き的思考、構造化、 2 単位 春学期
オブジェクト指向」

矢向 高弘

〔授業科目の内容〕

実験を計画したりレポートを執筆したりする場合など、我々理工学に携わる者には初期状態から目標に向かって理路整然と物事を進行・展開していく能力が求められる。また、そのような問題設定と解決方法を理論的にデザインすることで、情報処理システムによる解決の道が開かれる。本講義では、物事を論理的に思考したり、解法などの処理手続きを構成する手法を講義する。また、構造的な構成手法や、オブジェクト指向の構成手法により、手続きの可読性や再利用性が高まることを理解するであろう。また、簡単な論理だけを幾重にも組み合わせることで大規模な問題の解法を与えることができる面白さと利便性に興味を持ってもらえるように、また簡単な演習を通じて実体験を通して体得していけるよう配慮しながら講義する。

〔教科書〕

配布資料、およびウェブへの掲載資料による。

〔参考書〕

数理工学基礎シリーズ 5『コンピュータの数理』矢向高弘・村上俊之・大西公平共著 朝倉書店

情報数学概論

「計算機科学に使われる数学」 2 単位 春学期
田村 明久

〔授業科目の内容〕

計算機科学でよく使われる数学概念を概説します。特に、論理的推論、集合、写像、同値関係、半順序関係、グラフ、簡単なアルゴリズムなどに重点をおき、講義を行います。広い範囲の話題を扱うので、それぞれの話題についてはあまり深入りせずに、具体的な例を通じて概念や記法を理解してもらうことに主眼をおきます。

〔教科書〕

使用せず。毎回資料を配布します。配布方法については、受講人数にも依存するため初回講義で説明します。

情報通信工学基礎

2 単位 春学期
小沢 慎治

〔授業科目の内容〕

情報・通信分野の基礎を統括する科目として、以下の項目の概要が把握でき、重要な術語が理解できることを目的とする。また 3 年で設置される、情報・通信関連科目の関連、系統が理解できるように配慮する。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業で用いるスライドのコピーを配布する。

情報理論

「情報を把握するための第一歩」 2 単位 秋学期
中川 正雄

〔授業科目の内容〕

情報とは何か、情報の量とは何か、情報をどう伝えるのか等、情報の本質に迫ります。情報理論は確率の基礎がわかれば、きわめて簡単な法則ですので理解の容易な分野です。以下に目次を示します。

1 情報理論の背景

軍用暗号の解析から始まったといわれる情報理論は、通信、計算機、メディア、経済など広い応用分野があります。コンパクトディスクに傷をつけても音に変化がないのも情報理論の成果の一つです。

2 確率過程のモデル

文章や音符などは、一定の法則で構成されますが、それを表すのにマルコフモデルを使い、情報の流れを解析します。そこで見つけた遷移確率は逆に文章の自動作文や音楽の自動作曲に利用できるはずですが、はたしてどうでしょうか？モーツァルト風自動作曲はできますか？

3 平均情報量（エントロピー）

めったに起こらないメッセージが伝わると大きな情報量になります。砂漠の国の雨のようなものです。しかし、殆ど晴れなので、平均情報量（エントロピー）は低いのです。日本では雨がよく降るので、雨の情報量は少ないのですが、晴れも、曇りもよくありますので、平均情報量（エントロピー）は砂漠の国よりも多いのです。エントロピーはこの場合、天気予測のしにくさをあらわすことになります。

マルコフ過程のエントロピー、誤りのある場合のエントロピーなども紹介されます。

4 通信路

情報源は複数のメッセージ（晴れ、曇り、雨など）とその確率で表し、通信路はそれらのメッセージの時間長で表します。短い時間長は高速な伝送を可能にします。この通信路でどれだけの最大の通信速度がでるかが通信路容量 C です。

5 シャノンの符号化定理：第一符号化定理（情報源符号化）と第二符号化定理（通信路符号化）

情報源から通信路に 1, 0 の符号にて送りだすには種々の問題があります。まず、10 進数字やアルファベット、音声、画像などの情報源は、固有の性格があり、そのままでは、必ずしも 1, 0 の 2 進数と整合がよいものではありません。整合をうまく取り損失を少なくしようというのが、情報源符号化です。また、1, 0 は通信路で誤ります。これを検出したり、訂正するのが、通信路符号化の役目です。

情報源符号化としてシャノンの符号化、通信路符号化としてパリティ検査符号や、その拡張のブロック符号を紹介しします。

6 連続的情報源の情報量

どんな分布をもつ連続な情報源がエントロピー最大になるのでしょうか？これを追求していくと、雑音をもつ連続通信路の通信路容量を求める問題になります。雑音にもっとも強い情報源はガウス分布をもちますが、この関係から最大の通信速度、すなわち通信路容量と信号対雑音電力比（SN）の関係が示されます。SN 比が大きいほど通信路容量は大きいのです。よ

く澄み切った (SN 比が高い) 空間では遠くの山の細部まで見える (通信路容量が大きい) のです。

7 標本化定理

連続的情報源をデジタル化するには、サンプリング (標本化) が必要です。ではどれだけ細かく標本化するのでしょうか? 細かすぎると冗長ですし、粗いと、元のアナログ波形に戻りません。連続波形の最高周波数の 2 倍のサンプリングが答えですが、それを証明します。

標本化定理と、6 の通信路容量を利用すると、通信路容量は周波数帯域と SN 比によって決まるのです。周波数帯域を広くすれば、通信路容量を大きくできるでしょう。たとえば光ファイバーの周波数帯域はすごく広いので、通信路容量は大きいのです。

〔教科書〕

『基礎情報理論』藤田広一著 昭晃堂

振動と波動

2 単位 春学期

下村 晋

〔授業科目の内容〕

振動と波動は、力学以外にも様々な物理系においてあらわれる現象です。本講義では、振動・波動現象を共通する性質としてとらえ、その考え方を理解することを目的とします。また、フーリエ級数・フーリエ変換の基礎およびその応用についても学びます。

〔教科書〕

特に指定しません (参考書の欄を参照してください)。

〔参考書〕

講義中にも紹介しますが、以下にいくつか参考書をあげます。

『振動・波動』小形正男著 裳華房テキストシリーズ

『振動と波』長岡洋介著 裳華房

フーリエ級数・変換については、物理数学の教科書を含め数多く出ていますので、自分にあった参考書で良いと思います。

例 『フーリエ解析』大石進一著 岩波書店

数学解析第 1 (機械、応化、物理、化学)

2 単位 春学期

田村 要造

〔授業科目の内容〕

数学 A3、B3 に引き続き、陰関数定理とその応用、重積分と累次積分、積分変数の変換、線積分と面積分、積分定理、ベクトル解析等を学ぶ。

【学習・教育目標との関係】

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

特に指定はしない。

数学解析第 1 (管理、数理)

2 単位 春学期

勝良 健史

〔授業科目の内容〕

数学 A3、B3 に引き続き、陰関数定理とその応用、重積分と累次積分、積分変数の変換、線積分と面積分、積分定理、ベクトル解析等を学ぶ。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

特に指定はしない。

数学解析第 2 (機械、物理)

「常微分方程式」

2 単位 秋学期

井口 達雄

〔授業科目の内容〕

ニュートンが古典力学を体系化して以来、自然科学が扱う現象の多くは微分方程式によってモデル化されている。微分方程式とは、ある未知関数とその導関数との関係式のことであり、その未知関数が 1 変数の場合、常微分方程式と呼ばれる。本講義ではその常微分方程式の基礎事項を学ぶ。

【学習・教育目標との関係】

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔参考書〕

『常微分方程式』応用解析の基礎 3 入江昭二・垣田高夫 共著 内田老鶴圃

『微分方程式の基礎』数理科学ライブラリー 5 笠原皓司著 朝倉書店

数学解析第 2 (数理)

2 単位 秋学期

石川 史郎

〔授業科目の内容〕

微分方程式 (常微分方程式) についての基礎的な内容を講義する。微分方程式はいろいろな力学的現象や電氣的現象などの数学的な記述として現れ、応用上も重要であり、もちろん数学の様々な分野でも基礎的な概念となる。

この講義の主な内容は次の通りである。なお、履修者は「線形代数」、「数学解析第 1」を既に履修していることが望ましい。

- 1 微分方程式の基礎概念 (定義、解、解の延長など)
- 2 解の存在と一意性
- 3 線形常微分方程式 (独立解、一般解、解空間の構造)
- 4 定数係数同次線形常微分方程式の解法
- 5 定数係数非同次線形常微分方程式の解法 (定数変化法)
- 6 線形常微分方程式の級数解

数理科学基礎第 12 単位 春学期
田村 明久**〔授業科目の内容〕**

1 年生で学んだ数学の内容の復習を中心に、解析学、線形代数の基礎事項に関し演習を中心にして学びます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

数学 A3、B3、A4、B4 の教科書

数理科学基礎第 2

「数理科学の論理基礎」

2 単位 秋学期
太田 克弘**〔授業科目の内容〕**

数理科学の基礎となる下記の内容について、演習を中心に学びます。

- (1) 命題・論理
- (2) 集合・順序・同値
- (3) 位相構造
- (4) 代数構造

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

特に指定せず。

図形情報処理2 単位 春学期
森田 寿郎 他**〔授業科目の内容〕**

設計を行う際に必要となる図形情報の表現・伝達に関して、講義および演習を行う。具体的には、まず、CAD / CAM / CAE の製品開発における位置づけ、ならびにその現状と動向に関して、基礎知識の解説を交えて講義する。つぎに、図形情報の表現・伝達に関する基本スキルの修得を図るべく、CAD および簡単な CG の演習を行う。さらに、その基本スキル習得のために不可欠な立体表現能力の養成に関しても、スケッチや概案図などの演習を通じて試みる。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

CAD の利用法に関してはマニュアルを配布する。

〔参考書〕

とくに指定しない

生化学

「生命現象を分子のレベルで理解する」

2 単位 春学期
宮本 憲二**〔授業科目の内容〕**

複雑な生命現象を分子レベルで理解するために必要な基礎を習得する。生命活動の基本である細胞を作っている分子とそこで働いている分子の構造と機能およびそれらの代謝過程を理解する。

〔教科書〕

『分子細胞生物学』第 5 版 東京化学同人

生体計測論「電気・電子回路を用いた生体計測方法
の理解」

2 単位 秋学期

水谷 賢史

〔授業科目の内容〕

本講義では生命現象を解析する計測方法のうち、特に電気回路を利用した計測方法を理解するための基礎的な知識について講義する。まず電気回路を構成する基本的な受動素子 (R C L) について理解を深め、回路網を記述する方法と電気回路の諸定理について説明する。また生命現象との関係として、生体膜等価回路としての電気回路についても述べる。次に能動素子の例としてトランジスタとオペアンプに着目し、加算減算、微分・積分回路を取り扱う。また生体信号の取得はノイズとの戦いでもあるので、フィルタ回路についても詳述する。本講義を履修することにより、基礎生命情報実験で扱う電子回路の動作についての理解が深まるものと考えている。

〔教科書〕

『医・生物系のための電気・電子回路』堀川宗之著 コロナ社

〔参考書〕

『電気回路演習ノート』森真作・南谷晴之著 コロナ社
『初等電子回路』吉田徹著 コロナ社
『よくわかる生物基礎物理学-生命科学のよりよい理解のために-』最上善広著 サイエンス社

生体反応論第 1

「有機化学と反応機構」

2 単位 秋学期

宮本 憲二

〔授業科目の内容〕

有機化合物の反応がどのように進行するかを予測すること、反応の結果をきちんと解釈し理論的な説明を付けることは非常に重要である。新しい化学反応を見出すという有機化学的な意味だけではなく、生体内の様々な生合成反応、代謝反応も有機化学の反応理論によって説明できる。したがって生命機能、生命システムを理解する上で必須の素養である。有機化合物の反応はおおよそ以下の要素に支配されていることを様々な場面で応用できるよう理解を深めていきたい。

- (1) 電子の片寄りの度合い
- (2) 立体化学的嵩高さ
- (3) 立体化学的な形
- (4) HOMO および LUMO のエネルギーレベル、ローブの大きさや方向

この講義を理解した後に生体反応をその観点から見たとき、それがいかに巧みにデザインされているか実感できるようになることを到達目標としたい。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

『有機化学の考え方ー有機電子論ー』 右田俊彦・西山幸三
郎共著 裳華房
『有機反応論』 加納航治著 三共出版

生体物質の化学

「現代生物学と最新のトピック」

2 単位 秋学期
梅澤 一夫

〔授業科目の内容〕

－ 生化学の基礎と最新のトピック －

以前の生物学が主に事実の集積であったのに比べ、現代の生物学は、有機化学、物理化学で多くの部分が説明される、系統的に整理された科学になった。本講では生体分子の構造と機能を中心に、生物学の骨子を解説する。生命科学における最近のトピックも合わせて紹介する。

1. 蛋白質の構造と機能
2. 酸素の構造と作用機構
3. 脂質の構造と機能
4. 糖質の構造と機能
5. 生体エネルギーの生成
6. 核酸の生化学

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

あまり厚くない生化学の参考者は役に立つ場合があります。

生体分子構造論

「生命を支える有機化合物の構造化学」

2 単位 秋学期
佐藤 智典 松原 輝彦

〔授業科目の内容〕

生命現象を支える有機化合物分子の構造と構造に密接に関わる化学的性質について概説する。

〔教科書〕

『第2版マクマリー 生物有機化学 生化学編』 丸善

生物量子化学

「化学結合論、分子軌道法、分子の振動回転運動、生物量子化学基礎」

2 単位 秋学期
藪下 聡

〔授業科目の内容〕

現在、量子化学を代表とする分子科学における理論的手法は非常に高度に発展し、そのターゲットはより複雑な化学現象に向かっている。生命現象に関わりをもつ分子の構造や機能を解明する手段としても、近い将来大いに威力を発揮するものと期待されている。この授業では、化学的な視点から量子論の基本的な考え方を論じ、分子中の電子の運動（分布）および分子の振動回転運動を概説し、化学現象との関わりを述べる。取り扱う内容は、

- (1) 古典力学の復習。ハミルトンの運動方程式。
- (2) シュレディンガーの波動方程式と、簡単な系への応用。不確定性原理。波動関数の直交性、対称性など。
- (3) 軌道角運動量、水素原子、および多電子原子。
- (4) 二原子分子の電子状態。LCAO 近似。
- (5) 多原子分子とヒュッケル分子軌道法。HOMO-LUMO 相互作用と反応性。

(6) 分子の振動回転運動と分子分光法入門。

(7) 生物量子化学。分子軌道法の応用。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントは web サイト
<http://sepia.chem.keio.ac.jp/qchem/qchem.html> よりダウンロードできます。

パスワードなどは最初の授業時にお知らせします。

〔参考書〕

『原子・分子の現代化学』 田中政志・佐野充著 学術図書

『物理化学演習』 茅幸二編著 裳華房

『量子化学』 朽津耕三・濱田嘉昭著 放送大学教育振興会

『基礎化学結合論』 小林常利著 培風館

『入門分子軌道法』 藤永茂著 講談社サイエンティフィック

『化学の基礎』 平尾公彦・加藤重樹著 講談社サイエンティフィック

生命科学のための確率論

「生命科学の鍵となる確率論」

2 単位 秋学期
柴田 里程

〔授業科目の内容〕

生命科学で必要となる確率論を、それがどのように役立っているかという視点で、基礎から講義します。駆使できるようになることが目標です。必要に応じて演習やレポートを課します。

〔教科書〕

特に指定しません。プリントを配布するとともに、Web で入手できるようにします。

〔参考書〕

講義中に随時紹介します。

生命系の数学

2 単位 秋学期

岡 浩太郎 富田 豊

〔授業科目の内容〕

生命現象を記述するのに必要な数学、すなわち線形代数および微分方程式を学ぶ。主要な項目は、

- 1 線形システムの数学（線形システムとは何か、行列、1 次独立と 1 次従属、逆行列、基底と基底変換、フーリエ級数展開と正規直交系、固有値、部分ベクトル空間、行列の対角化とその応用、Jordan 標準形、連立方程式の解法）
- 2 連続システムの数学（常微分方程式、定常解と周期解、解の安定性、偏微分方程式、熱伝導・拡散・波動・膜振動の方程式）

毎週演習（宿題）できるよう、プリントを配布する。

〔教科書〕

『応用システム数学』 伊理他著 共立出版社

生命系の有機化学

「分子レベルの生命科学」を指向した有機化合物の合成と反応入門

佐藤 智典

〔授業科目の内容〕

1年生の化学B、Dで有機化学の電子論、立体化学を総論的に学んだ。これを基礎に、生命科学を理解する上で重要な官能基について個々に性質や反応性を解説する。

有機化学の基本的知識は生命機能を語る際には不可欠です。また、生命機能を理解したり、物質変換に応用するときに有機化学の知識が必要になってきます。そこで、生命科学において用いられる分子の性質や化学反応の理解に最低限必要なことを丁寧に論述します。

【参考書】

『第2版マクマリー生物有機化学 有機化学編』丸善株式会社

『現代有機化学』ボルハルト・ショアー著 化学同人

生命物理化学第1

「熱力学から酵素反応速度論まで」

2単位 春学期
岡 浩太郎

【授業科目の内容】

生命を分子レベルから理解し、また定量的な議論を行うためには物理化学的な知識は必須である。本講義では「生命系研究に役立つ物理化学」の観点から、熱力学の法則、化学平衡、電気化学、反応速度論についての定量的な議論の方法について、演習を含めて詳述する。

【教科書】

『Physical Chemistry for the Life Sciences』

Peter Atkins, Julio de Paula, Oxford University Press (2006)

(生命物理化学第1と第2では同じテキストを使います)

【参考書】

講義中に随時紹介する。

生命物理化学第2

「ミクロをマクロを結び

物理化学的なアプローチ」

2単位 春学期

岡 浩太郎

【授業科目の内容】

生命を分子レベルから理解し、また定量的な議論を行うためには物理化学的な知識は必須である。本講義では「生命系研究に役立つ物理化学」の観点から、統計力学と量子力学の初歩を、演習も行いながら解説する。

【教科書】

『Physical Chemistry for the Life Sciences』

Peter Atkins, Julio de Paula, Oxford University Press (2006)

(生命物理化学第1と第2は同じテキストを用います)

【参考書】

講義中に随時紹介します。

線形代数 (機械、物理)

「行列の対角化問題」

2単位 春学期
栗原 将人

【授業科目の内容】

【目的】

「線形代数」は理工系の学生が習得していなければならない基礎科目の一つであり、理学、工学を含めて幅広く応用され

る。全学科の学生を対象に分かりやすく線形代数の基礎的な概念と計算をマスターしてもらうことを目的とする。特に対称行列の対角化と2次形式の標準形問題に重点をおく。

【内容】

- 1 ベクトル空間についての基本的性質について、一年次で行った数学A2、B2での内容の復習および補足をする。
- 2 内積と直交行列の性質を調べる。
- 3 線形空間の基本的性質について。
- 4 行列の固有値・固有ベクトル、対角化可能性。
- 5 対称行列の対角化。
- 6 2次形式の標準形と応用問題。
- 7 ジョルダン標準形。

【学習・教育目標との関係】

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

【参考書】

『理工系の基礎線形代数学』 碓野 敏博・加藤芳文著 学術図書出版社

『線型代数入門』 斉藤正彦著 東京大学出版会

線形代数 (応化、化学)

「対称行列の対角化問題」

2単位 春学期
前田 吉昭

【授業科目の内容】

【目的】

「線形代数」は理工系の学生が習得していなければならない基礎科目の一つであり、理学、工学を含めて幅広く応用される。全学科の学生を対象に分かりやすく線形代数の基礎的な概念と計算をマスターしてもらうことを目的とする。特に対称行列の対角化と2次形式の標準形問題に重点をおく。

【内容】

- 1 ベクトル空間についての基本的性質について、一年次で行った数学A2、B2での内容の復習および補足をする。
- 2 内積と直交行列の性質を調べる。
- 3 線形空間の基本的性質について。
- 4 行列の固有値・固有ベクトル。
- 5 対称行列の対角化。
- 6 2次形式の標準形と応用問題。
- 7 ジョルダン標準形。

【学生への要望】

目的の項で述べた様にこの科目は君達がどの学科に進んでも必ず大事となるものです。私達も理解を深めてもらう様工夫しますが、講義を聞く君達もぜひ努力して下さい。特に、計算がしっかり出来る様要望します。講義の中で演習も出来るだけ多く取り入れますが、講義90分についてそれと同等の予習復習をしてください。単位は上記の目的に到着した者に対して与えるつもりです。なお学期内に一度中間試験を行う予定です。

【教科書】

『線型代数入門』 中岡稔・服部昌夫著 紀伊国屋書店

【参考書】

『線型代数入門』 斉藤正彦著 東京大学出版会

『線型代数演習』 齊藤正彦著 東京大学出版会
『行列と行列式』 佐竹一郎著 裳華房

線形代数 (管理、数理)

「線形空間の理論と行列の標準化 2 単位 春学期
(対角化とジョルダン標準形)」

小田 芳彰

〔授業科目の内容〕

線形空間の基礎的な概念と計算をマスターすることを目標とします。具体的には、線形代数が単にベクトルと行列の話にとどまらずに幅広い応用があることを理解することと、対称行列の対角化やジョルダン標準形の計算ができるようになることが目標となります。

〔教科書〕

講義内で指示します。

ソフトウェア工学

2 単位 秋学期
飯島 正

〔授業科目の内容〕

プログラミングの基本と、オブジェクト指向の基礎概念の習得を目的とします。

授業中に、PCをつかった Java プログラミングの実習も行います。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

必要に応じて、授業中に紹介します。

代数学基礎同演習

「基礎的な群の理論」 3 単位 秋学期
宮崎 琢也 田中 孝明

〔授業科目の内容〕

正多角形や正多面体をみたとき、回転させたり折り返したりという操作、つまり「対称性」があるということは経験的に理解できるでしょう。またある種のパズルで見られる並べ換えの操作や、もうすこし高級な感じでは代数方程式の解の間に考えられる置き換え操作 (互いに共役という感じ) もある種の「対称性」と理解することもできます。このような「対称性」を代数的にとらえるものとして、「群」の概念はわれわれの前に姿を現します。今では幾何学や物理学でも群の作用という基本的な考え方は深く浸透していると考えられます。理論にまとめられたのは 19 世紀半ばくらいからで、それからおよそ本講義で扱うような内容が定式化されてきました。なかなか根源的であるゆえに結構高級な概念なので最初難しいですが、慣れてくれば不思議といろいろ調和のとれていることに気付くでしょう。ゲームみたいで面白いです。群論では、個々の具体的な群 (対称群、巡回群、2 面体群) で計算をつんで、抽象的な概念をより身近に理解することが極めて重要です。したがって演習問題を積極的にどんどんやってください。

〔参考書〕

『対称性からの群論入門』 M.A.アームストロング シュプリンガー東京

『代数学』 永尾汎著 朝倉書店

『群の発見』 (数学、この大きな流れ) 原田耕一郎著 岩波書店

ダイナミカルシステム (機械)

「ダイナミカルシステムのモデリングと制御」 2 単位 秋学期
江上 正

〔授業科目の内容〕

現在の状態が過去の入力に依存して変化するシステムがダイナミカルシステム (動的システム) であり、メカニカルシステムのほとんどはダイナミカルシステムです。ダイナミカルシステムを制御するためには、まずこのダイナミカルシステムを数式を用いてモデル化し、そのモデルを解析して、特性を調べる必要があります。

本講義ではこのダイナミカルシステムのモデル化の方法や、その特性について述べます。さらにこの特性を望みのものに変えるフィードバック制御系の基礎について論じます。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

『新版現代制御工学』 第 5 刷 土谷武士・江上正著 産業図書 3700 円

〔参考書〕

『基礎システム制御工学』 土谷武士・江上正著 森北出版

『自動制御の講義と演習』 添田喬・中溝高好著 日新出版

ダイナミカルシステム (S D)

「ダイナミカルシステムのモデリングと制御」 2 単位 秋学期
滑川 徹 村上 俊之

〔授業科目の内容〕

現在の状態が過去の入力に依存して変化するシステムがダイナミカルシステム (動的システム) であり、メカニカルシステムの多くはダイナミカルシステムです。ダイナミカルシステムを制御するためには、まずこのダイナミカルシステムを数式を用いてモデル化し、そのモデルを解析して、特性を調べる必要があります。

本講義ではこのダイナミカルシステムのモデル化の方法や、その特性について述べます。さらにこの特性を望みのものに変えるフィードバック制御系の基礎について論じます。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、<http://www.mech.keio.ac.jp/Table6-2008.pdf> または履修案内を参照ください。

〔教科書〕

プリント

〔参考書〕

『基礎システム制御工学』 土谷武士・江上正著 森北出版

『自動制御の講義と演習』 溝田喬・中溝高好著 日新出版

通信システム

2 単位 秋学期
重野 寛

〔授業科目の内容〕

通信ネットワークの基礎的な概念や技術とともに、電話網、ISDN、ATM ネットワーク、移動体通信網などの構成や仕組みについて学びます。

〔教科書〕

講義資料は web サイトで提供します。

〔参考書〕

『図解 通信ネットワークの基礎』松下温著 昭晃堂
その他については、講義の中で適宜紹介します。

ディジタル回路

2 単位 秋学期
天野 英晴

〔授業科目の内容〕

現在の IT 産業で不可欠なディジタル回路のデバイスレベル、回路レベルの設計技術を習得する。ブール代数等の論理回路の基礎は「計算機基礎」で、ハードウェア記述言語による RTL (Register Transfer Level) 設計は「計算機構成」でそれぞれ習得するため、この授業では、それらの技術により設計されたディジタル回路が動作するデバイスの特性、利用法に関してが中心となる。今後、情報工学科で行なう LSI 設計関連の基礎科目である。具体的には、(1) CMOS 回路の動作を判別でき、簡単なゲートのレイアウトを行なうことができる (2) 規格表を見て、動作レベル、消費電力を見積もることができる (3) 規格表から簡単な順序回路の STA (Static Timing Analysis) ができる (4) バス構成用の素子の記号と意味を判別する (5) SRAM 回路を設計できる (6) FPGA,GPLD の分類を知り、簡単な回路の設計ができる、を目標とする。

〔教科書〕

『ディジタル設計者のための電子回路』天野著 コロナ社

デザインリテラシー演習

2 単位 春学期
青山 藤詞郎 他

〔授業科目の内容〕

工業図面を正確に読みとりかつ作成できることは、物づくりの基本能力の一つである。この講義では、工業図面情報の理解とその記述を行うための基礎知識を教授する。すなわち、工業図面の機能と規格、投影法、公差、はめあい、部品の簡略図法などについて具体的な解説を行い、実際の機能部品を図面上に記述する能力を養う。また、演習においては、CAD (コンピュータ援用設計) システムを利用して、機能部品の設計を行い、部品の形状・寸法を、2 次元図面情報あるいは 3 次元図面情報として記述するトレーニングを行う。

〔教科書〕

独自の資料を使用する。

デジタル・アナログ回路

「デジタル回路とアナログ回路の基礎」

2 単位 秋学期
石黒 仁揮

〔授業科目の内容〕

本講義では、現代のエレクトロニクス社会を支える電子回路技術について、その概観を得ると同時に回路の基本動作原理を学ぶ。アナログ回路の基礎としてトランジスタを用いた増幅回路の小信号等価回路による解析方法を講義する。デジタル回路の基礎として組合せ回路、順序回路を取り扱う。また、アナログ信号とデジタル信号を変換する D/A 変換、A/D 変換について講義する。

〔教科書〕

『電気・電子・情報工学系テキストシリーズ 3 電子回路』高橋進一・岡田英史共著 培風館

デジタル基礎

「計算機を構成するデジタル回路の基礎」

2 単位 春学期
内山 孝憲

〔授業科目の内容〕

計算機の内部では、どのように数が扱われているのか、またそれらはどのように計算されているのかについて学びます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『Digital Fundamentals』, Floyd, Prentice Hall International

電気回路基礎

「電気回路理論と回路解析の基礎を学ぶ」

2 単位 春学期
津田 裕之

〔授業科目の内容〕

この科目では電気、電子、情報、通信などの諸分野に共通した基礎である電気回路についてその基本的な部分を中心に解説します。また、理解を深めるために演習を行います。回路解析に必要な微分方程式の解法についても理解できるようにします。

- 1 キルヒホッフの法則
- 2 回路素子の性質
- 3 基本回路の性質
- 4 ラプラス変換
- 5 正弦波定常状態の解析
- 6 回路方程式
- 7 回路における諸定理

〔教科書〕

『電気回路ノート』森真作著 コロナ社

〔参考書〕

『電気回路演習ノート』森真作・南谷晴之共著 コロナ社
『電気回路基礎ノート』森真作著 コロナ社

電気回路同演習

「電気回路の基本的性質」

2 単位 春学期
松本 佳宣

〔授業科目の内容〕

本科目では、基本的に線形、時不変、受動素子の電気回路を対象にしますが、電気の本質である電流と電圧の関係がいろいろな回路素子の組み合わせによってどうなるか、急に回路の状態が変化する過渡現象や正弦波交流を加えた定常状態の回路の取り扱いをどうすればよいかなどを考えていきます。既に「物理学」で学んだ“電磁気学”も密接に関連していますので、その知識は十分に役立ちますし、別物と考えずに活用して下さい。数理的には簡単な微分・積分と初歩的な行列の計算だけで記述することが可能であり、これまで学習してきた数学の知識があれば十分に理解できます。講義は一方的に聴くだけのものとならないよう、各時間の1/3を演習にあて学習効果が上がるようにしています。

〔教科書〕

『詳しく学ぶ 電気回路 - 基礎と演習 -』南谷晴之・松本佳宣共著 コロナ社

〔参考書〕

『電気回路演習ノート』森真作・南谷晴之共著 コロナ社

『電気回路ノート』森真作著 コロナ社

電気回路理論

2単位 秋学期

池原 雅章

〔授業科目の内容〕

春学期の電気回路基礎に続く科目であり、電気・電子系に必要とされる回路に関するより高度な内容について講義する。

- 1 複雑な回路の初期値
- 2 2端子対回路
- 3 三相交流回路
- 4 分布定数回路
- 5 波形解析

〔教科書〕

『定常回路解析』高橋進一著 オーム社

〔参考書〕

『回路理論例題演習』末崎輝雄・森真作・高橋進一著 コロナ社

電気電子工学セミナーⅠ

「エレクトロニクスの基礎と実際」

1単位 春学期

津田 裕之

〔授業科目の内容〕

電気電子技術は、情報技術産業を支えるために不可欠であり、日本の産業はこの電気電子技術を軸に発展していくのは明らかであるが、ソフトやブラックボックスとしての電気電子システムの陰にあって必ずしも大学1、2年の学生諸君には見えにくいのも確かである。

そこで、本セミナーでは、電気電子技術開発において、どのような人間社会構築を目標にしてどういう開発が行われているのか、そしてその開発のためには大学ではどのような学問の習得が必要であるのかを具体例を持って実感してもらおうのが目的である。

5名程度の班に分かれて複数の教員から直接指導を受ける。セミナーⅠとⅡの運用について、セミナーⅠのガイダンスで説明する。セミナーⅡのみの学生もセミナーⅠのガイダンスに出席すること。

電気電子工学セミナーⅡ

「エレクトロニクスの展望」

1単位 秋学期

津田 裕之

〔授業科目の内容〕

電気電子技術は、情報技術産業を支えるために不可欠であり、日本の産業はこの電気電子技術を軸に発展していくのは明らかであるが、ソフトやブラックボックスとしての電気電子システムの陰にあって必ずしも大学1、2年の学生諸君には見えにくいのも確かである。

そこで、本セミナーでは、電気電子技術開発において、どのような人間社会構築を目標にしてどういう開発が行われているのか、そしてその開発のためには大学ではどのような学問の習得が必要であるのかを具体例を持って実感してもらおうのが目的である。

5名程度の班に分かれて複数の教員から直接指導を受ける。セミナーⅠとⅡの運用について、セミナーⅠのガイダンスで説明する。セミナーⅡのみの学生もセミナーⅠのガイダンスに出席すること。

電気電子材料

「電気・電子材料」

2単位 秋学期

山下 久直

〔授業科目の内容〕

電子デバイスには多くの種類が用いられています。これらの材料は最先端の科学技術を支える重要な基盤となるものです。この講義では、電子工学科の基盤分野の基礎として、材料の種類、特性、応用などについて、解りやすく概説します。

〔教科書〕

内容が多岐にわたっているために、教科書はありません。

電子回路基礎（機械、応化、物理、化学）

「デジタル回路とアナログ回路の基礎」

2単位 秋学期

石黒 仁揮

〔授業科目の内容〕

本講義では、現代のエレクトロニクス社会を支える電子回路技術について、その概観を得ると同時に回路の基本動作原理を学ぶ。アナログ回路の基礎としてトランジスタを用いた増幅回路の小信号等価回路による解析方法を講義する。デジタル回路の基礎として組合せ回路、順序回路を取り扱う。また、アナログ信号とデジタル信号を変換するD/A変換、A/D変換について講義する。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

『電気・電子・情報工学系テキストシリーズ3 電子回路』高橋進一・岡田英史共著 培風館

電子回路基礎 (情報)

「アナログ電子回路の基礎と応用」

2 単位 春学期

斎藤 英雄

〔授業科目の内容〕

電子回路の基礎として、アナログ電子回路とその応用について講義する。まず、アナログ電子回路を構成する素子である半導体素子（ダイオード、トランジスタ）の基本動作原理について説明する。そして、半導体素子のトランジスタによる増幅の原理について解説し、それに基づいて構成される増幅回路について講義する。また、この増幅回路の解析に、小信号等価回路表現を利用する考え方について説明する。さらに、半導体素子により構成されるアナログ IC として現在広く利用されているオペアンプ（演算増幅器）の動作について講義する。最後に、トランジスタをデジタルデバイスとして利用するときの基本的な回路構成について触れる。

〔教科書〕

電気・電子・情報工学系テキストシリーズ『電子回路』高橋進一・岡田英史共著 培風館

電子回路同演習

「トランジスタと演算増幅器を用いた能動回路」

2 単位 秋学期

宮下 照夫

〔授業科目の内容〕

増幅機能を持つ素子をふくんだ基本的な電子回路を取り上げて、能動回路の解析方法や実用回路の設計方法を易しく解説します。また、講義の中でしめされる演習問題を各自が解くことによって回路の動作を理解し、解析方法を身に付けるとともに応用力を養います。講義は、「電子回路基礎」の講義内容に含まれる受動回路の知識を踏まえて、トランジスタ素子や演算増幅器の回路要素としての特性を解説し、更にこれらを用いた実用的な能動回路網の特性解析や設計方法を、例題を用いて説明します。

〔教科書〕

プリントを配布します。

電磁エネルギー変換工学

「モータ・アクチュエータ・電機統合システムの原理」

2 単位 秋学期

桂 誠一郎

〔授業科目の内容〕

物理現象の中には、圧電効果、Seebeck 効果などエネルギー変換に関する様々な現象が存在する。特に、電磁エネルギーから機械エネルギーへの変換は産業の発展に関わる重要な工学分野であり、現在の科学文明を支える分野といっても過言ではない。こうした観点から、電気－機械エネルギー変換の基本原理解から電機統合システムの統一的解析手法までを概説し、電機エネルギー変換システムの基本を知る。

〔教科書〕

資料プリント配布

〔参考書〕

『大学講義 最新電気機器学』宮入庄太著 丸善

『電気学会大学講座 基礎電気機器学』難波江章他著 電気学会

『電磁気工学』村上俊之他著 培風館

電磁気学

2 単位 春学期

木下 岳司

〔授業科目の内容〕

光の伝搬を制御するために、薄膜やファイバー、あるいは微細加工によるパターン等の構造を用いたデバイスが使用されている。たとえば干渉フィルター、DFB レーザー、音響光学素子、疑似位相整合第二高調波発生では光波長程度のスケールの微細構造で光の伝搬を操ることができる。光波結合方程式による解析を中心として具体例を解説する。フォトニッククリスタルのような新領域についても触れる。光の伝搬をより詳しく理解するための手段を習得する。

〔参考書〕

『Optical Waves in Crystals』A.Yariv,P.Yeh,John Wiley & sons

『光導波路の基礎』岡本勝就著 コロナ社

『フォトニッククリスタル』藤井壽崇・井上光輝共訳 コロナ社

電磁気学第 1

「Maxwell 方程式に立脚し真空・物質中の電磁場を解析する」

2 単位 秋学期

宮島 英紀

〔授業科目の内容〕

電磁気学は 1 年生の物理学 B・D で、現象や分野別に勉強してきた。これらの電磁気学の諸現象は、物理学の中で最も美しい方程式、Maxwell 方程式として集約される。物理学 B・D とは逆に電磁気学第 1 では、Maxwell 方程式を出発点として、主として時間に依存しない静的な電磁気現象、回路素子の特性、および物質の電磁氣的性質などについて解説する。なお、時間を陽に含んだ動的な電磁気学は、3 年次に電磁気学第 2 で講義する。

〔教科書〕

毎回プリントを配布し、これをもとに講義を行う。

1 年生のとき使用した「物理学 B&D」の教科書の内容を理解していることを前提とする。講義の中で随時「物理学 B&D」の教科書を使うので、毎回持参すること。

〔参考書〕

1 年生のときの教科書『物理学 B&D』

『詳解電磁気学演習』後藤憲一・山崎修一郎共編 共立出版

両者とも生協の書籍部で入手できる。

電磁気学同演習

2 単位 春学期

石樽 崇明 畑山 明聖

〔授業科目の内容〕

授業のターゲット / ゴール：

1) 真空中のマクスウェル方程式を書き下すことができる、2) 各方程式が記述する物理現象及び法則のしっかりとした理解、3)

電磁気学の基本的問題を自分自身でモデル化し、解ける、4)
そのための数学的な基礎力を身につける

〔教科書〕

プリント配布

電磁気工学

「Electromagnetic Engineering」 2 単位 春学期
内山 太郎 村上 俊之

〔授業科目の内容〕

現代の産業機器システムの動力メカニズムは力学と電磁気学
にその基礎を置いているといっても過言ではない。本科目はその
うち電磁気現象について電磁気力、電磁エネルギーに重点を置
き、さらに電磁波までを理解することを目的とする。電磁気学
は、とかく物理現象の解釈に偏りがちであるが、ここではとくに工
学的視野に立って、具体例をあげてわかりやすい身近な学問と
してシステムの設計に役立つ電磁気学を身につける。

- 1 電荷と力
- 2 電界中のエネルギーと力
- 3 電流と力
- 4 磁界中のエネルギーと力
- 5 電磁界

〔教科書〕

『電磁気工学』培風館

統計解析

「データ解析のための基礎としての
統計的推測」 2 単位 秋学期

篠崎 信雄

〔授業科目の内容〕

標本データを記述するための基礎的概念・道具としての平均
や分散の議論から始め、分割表、散布図、相関係数といった 2
次元データの記述について、まず学びます。その上で、標本分
布、推定・検定の統計的推測の議論に進みます。現実の問題に
適用し情報を引き出すためには、統計学のものの見方・考え方を
正しく理解することが必要であり、その修得に努めます。基本的
な信頼区間や仮説検定などの手法を使いこなせるようになり、そ
の意味を正しく理解できるようになることをめざします。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係について
は、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の
「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内
を参照ください。

〔教科書〕

『統計解析入門』篠崎信雄著 サイエンス社

〔参考書〕

『日常のなかの統計学』鷲尾泰俊著 岩波書店

『統計学入門』東京大学教養学部統計学教室編 東京大
学出版会

熱物理

「巨視的な現象の理解の基礎をかためよう。」 2 単位 秋学期
的場 正憲

〔授業科目の内容〕

見通しよく一新された最近の熱力学理論の枠組みで解説す
る。旧来の多くの熱力学の教科書では、なにが仮定で、どうい
う前提条件でなにが結論されるのか、全く不明確であった。
本講義(秋学期前半に週 2 回の講義)では、この点が明確になる
よう講義したい。

〔参考書〕

『熱力学—現代的な視点から』田崎晴明著 培風館 2000
年

熱力学

「物質の熱現象に関する巨視的現象論」 2 単位 秋学期
齋藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

熱力学は、巨視的物体の関係する現象を経験的にまとめた四
法則から、多くの物理量を定義し、多岐に渡る熱現象を統一的
に理解できる美しい学問である。熱平衡に関係する部分は、将
来力学や量子力学を用いた統計力学で基礎付けされる。非平
衡での熱、電気などの輸送現象についても知っておきたい。

〔教科書〕

keio.jp からテキストをダウンロードして、予習・復習に役立て
てください。

〔参考書〕

『大学演習 熱学・統計力学』久保亮五編 裳華房で各自
演習問題を解き、理解を深めてほしい。

熱力学の基礎

2 単位 秋学期

大村 亮 植田 利久
森 康彦

〔授業科目の内容〕

熱力学は機械工学の体系を支える重要な柱である。熱力学
によって「熱を仕事に変換する熱効率」や「自然界で起こる変
化の方向」を決めることができる。この講義では、熱力学の基
本概念、熱力学の第 1・第 2 法則とその応用について学ぶ。以
下に講義の内容を示す。

第 1 章 概要

- 1.1 熱力学の意義
- 1.2 熱の授受と熱力学
- 1.3 熱力学の歴史的背景

第 2 章 基本概念と熱力学第 0 法則

- 2.1 系・物質・エネルギー
- 2.2 熱力学の微視的理解
- 2.3 温度と熱平衡
- 2.4 熱量と比熱
- 2.5 状態量
- 2.6 単位系

第 3 章 熱力学第 1 法則

- 3.1 熱と仕事 (動力発生装置)
- 3.2 閉じた系の熱力学第 1 法則
- 3.3 熱力学的平衡と準静的過程

熱力学的平衡、準静的過程、可逆過程と不可逆過程

- 3.4 準静的過程における閉じた系の熱力学第 1 法則
サイクルの正味の仕事、定積比熱と定圧比熱
- 3.5 開いた系の熱力学第 1 法則

定常流動系と質量保存、流動仕事とエンタルピー、定常流動系のエネルギー保存則、各種機械における定常流動系

3.6 理想気体における熱力学の第1法則

理想気体と内部エネルギー、比熱、準静的過程、混合

第4章 熱力学の第2法則

4.1 熱を仕事に変換する効率

熱効率の限界、カルノーの考え

4.2 熱機関のモデル化

サイクル、可逆過程と不可逆過程、内部可逆過程

4.3 カルノーサイクルの性質

4.4 閉じた系の第2法則

一つの熱源と作業するサイクル、二つの熱源と作用するサイクル、 n 個の熱源の場合

4.5 エントロピー

状態量としてのエントロピーの定義、閉じた系のエントロピーバランス、開いた系のエントロピーバランス、エントロピー生成

4.6 エントロピーの利用

エントロピー変化の式、理想気体・液体・固体のエントロピー変化、エントロピー生成、線図の利用

第5章 エネルギー有効利用とエクセルギー

5.1 エクセルギー解析の必要性

5.2 仕事を発生する潜在能力

5.3 自由エネルギー

その他

各種サイクル、実在気体・蒸気、各種熱機器等に関する概説

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

JSME テキストシリーズ『熱力学』 丸善

〔参考書〕

『Thermodynamics -; An engineering approach』(4th edition), Yunus A. & Cengel and Michael A. Boles, 2002, McGraw-Hill

熱流体システム第1

「モデリングと熱力学」

2 単位 春学期

佐藤 春樹 長坂 雄次

〔授業科目の内容〕

熱および流体の関わる問題を、総合的に理解するための基礎的な科目である。従来の熱力学、流体力学を部分的に講義するのではなく、非平衡開放系からスタートし、熱流体システムにおける基礎方程式とモデル化の基本を教える。身近なテーマの演習問題やアニメーション等を利用して、本講義内容がデザインにどのように役立つかを強調する。熱流体システム第2とは内容が連続している。

〔教科書〕

学科で作成し配布するテキスト

〔参考書〕

JSME テキストシリーズ『熱力学』 日本機械学会 2002 年 1886 円

熱流体システム第2

「流れのメカニズムを理解するための基本」 2 単位 秋学期

佐藤 洋平 谷下 一夫

〔授業科目の内容〕

システムデザインに即座に適用できる、流体力学及び流体工学に関して授業を行う。

〔教科書〕

システムデザイン工学科用意

バイオプログラミング第1

2 単位 春学期

牛場 潤一 榊原 康文

柚木 克之

〔授業科目の内容〕

C 言語の学習と実践を通して、プログラミングの基本的な考え方と、技術を習得することを目指す。C 言語は、現在もっとも広く使われている実際的なプログラミング言語である。まずはじめに、プログラムの制御構造と基本的なデータ型、及び関数の使い方を学習する。次に、より実際的なプログラミング技術を習得することを目指し、関数の再起処理やポインタ、ファイル処理などを学習する。毎回、講義中にプログラミングの演習を行う。成績評価は、4 回くらいを予定しているレポートと期末試験により行う。プログラミングの勉強は、とにかく自分でプログラムを作成して、何度も間違いを起こすことを通じて、プログラミング技法を覚えていくことが重要である。

〔教科書〕

『入門 ANSI-C』 石田晴久他著 実教出版

〔参考書〕

『プログラム言語 C (第2版)』 カーニハン・リッチー著 石田訳 共立出版

バイオプログラミング第2

2 単位 秋学期

榊原 康文 舟橋 啓

〔授業科目の内容〕

バイオプログラミング第1での C 言語習得を踏まえて、第2ではより実際的な問題の解法のために必要となるプログラミング手法とアルゴリズムについて学ぶ。プログラミング言語の文法を学んだだけでは問題の解を計算するためのプログラムを書くことは出来ない。効率的なプログラムを書くためには、アルゴリズムと呼ばれる基本的ないくつかのプログラム手法を習得して、それらを組み合わせることにより目的の問題のためのプログラムを作成できる。本講義では、生命科学における具体的な問題として配列のアライメントを計算するプログラムの作成と、行列計算等の数値演算プログラムの作成を中心に勉強する。

毎回、講義中にプログラミングの演習を行なう。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

反応有機化学

「有機化学反応をいかに理解し
合成化学に利用するか」

2 単位 秋学期

山田 徹

〔授業科目の内容〕

複雑で膨大な数の有機化学反応を反応形式で分類し、電子密度の片寄り、立体規制などの基本原理にもとづく理解を目ざす。有機反応の基礎・酸と塩素・求核置換反応・脱離反応・求核付加反応・求核付加-脱離反応・求電子付加反応・芳香族求電子置換反応・芳香族求核置換反応、これらの機構を「曲がった矢印」で電子の流れを記述できることを学び、反応を原理から理解する。

〔参考書〕

参考書：

『現代有機化学』ボルハルト・ショアー著 古賀・野依・村橋監訳 化学同人

『有機化学解説』スライトウィーザー著 湯川泰秀監訳 廣川書店

『有機化合物の命名 - 解説と演習 - 』畑一夫著 培風館、ISBN:4-563-04222-6

演習書：

『有機化学演習』吉原・神川・上方・藤原・鍋島共著 三共出版

光デバイス工学

2 単位 秋学期

高橋 信一

〔授業科目の内容〕

光ディスク、レーザプリンタ、デジタルカメラといった製品や光通信には種々の光デバイスが高度情報化 (IT) 社会を維持していくのに不可欠なものとして多数使われている。

この講義ではそうした光デバイスの動作原理を固体中の光の吸収と放出の基本から理解して、光デバイスをよりよく利用出来るようにする。前半では光の持つ性質と半導体中の電子のエネルギー構造を理解して吸収・発光の理論及びそれらと密接に関連する光学定数について学ぶ。後半では光デバイスの例として光伝導素子、太陽電池、フォトダイオード、アバランシェフォトダイオード、CCD、発光ダイオード、半導体レーザを取り上げ、その動作原理や応用について述べる。最後に人工超格子や低次元の量子井戸などの量子サイズ効果を利用した各種光デバイスを紹介する。

〔教科書〕

板書しながら講義を進めます。OHP (パワーポイント) の図表等はプリントで配布します。

〔参考書〕

『オプトエレクトロニックデバイス』青木昌治編著 昭華堂

『光エレクトロニクスデバイス』針生尚著 培風館

『半導体レーザ工学の基礎』沼居貴陽著 丸善

『発光の物理』小林洋志著 朝倉書店

その他個々のデバイスについて適宜講義の中で紹介します。

ヒューマン・ファクターズ

「人間の諸特性に関する管理工学的基礎」

2 単位 秋学期

岡田 有策

〔授業科目の内容〕

作業者と機械・製品だけでなく、作業者をとりまくシステム、組織・社会までを対象とし、そこにおける人間に関わる諸要因を総合的に評価する学問であるヒューマンファクターズの基本概念とアプローチの仕方について概説する。

〔教科書〕

『ヒューマンファクターズ概論』岡田有策著 慶應義塾大学出版会 ISBN:4-7664-1173-0

複素解析 (機械、応化)

「複素関数が舞う世界」

2 単位 春学期

石川 史郎

〔授業科目の内容〕

これまでの微分積分学では実数を変数とする関数をあつかってきました。しかしたとえばよく勉強してきた多項式関数、三角関数などでも実は複素変数の世界で考えることができ、さらにそうやって広い視野に立ってみると、ずっと優雅で統制のとれた風景が開けてきます。こういう豊かな舞台のうえで複素変数関数をのびのびと解析してみましょう。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、<http://www.mech.keio.ac.jp/Table6-2008.pdf> または履修案内を参照ください。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

『複素関数入門』神保道夫著 岩波書店

『工科系の数学 6 関数論』K.マイベルク・P.ファヘンアウア著 サイエンス社

『複素関数論入門』R.V.チャーチル・J.W.ブラウン著 サイエンティスト社

複素解析 (電子、化学、物理)

「複素関数の微分積分」

2 単位 春学期

本田 郁二

〔授業科目の内容〕

複素関数の微分積分計算が行えるようになることを当面の目標とします。

そのために原則として毎回講義の後に演習を行います。

〔教科書〕

用いません。補充プリントを配布します。

〔参考書〕

補充プリント内で提示します。

物質の精製分析

「相平衡の物理化学」

2 単位 秋学期

山元 公寿

〔授業科目の内容〕

物質の機能や物性を正確にしかも効率よく引き出し利用するために、分離・精製して高純度の物質を得ることは極めて大切である。物質の分離・精製の過程は相平衡を基盤にしているものが多く、これを中心に物理化学の立場から平易に解説する。次の項目について演習も含めて講義する。

- 1) 相平衡
- 2) 分配平衡 (溶媒抽出)
- 3) 沈殿平衡 (沈殿、再結晶)
- 4) クロマトグラフィー
- 5) 蒸留による分離 (気液平衡)
- 6) 結晶化による分離 (固液平衡)
- 7) 膜分離

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

プリント配布

物理化学 1

「変化の方向と速度」

2 単位 秋学期

木村 敏夫

〔授業科目の内容〕

「物質の性質」は、原子やイオンの配置などの「物質の構造」により決まります。そこで、所望の性質を持つ物質（製品）を合成するには、まず製品の構造を設計し、次に、その製品を合成する原料を選択し、反応経路を設計します。この講義は、主に反応経路の設計に関係し、原料から製品ができる反応（変化）が進行するか？ 変化が生じるとすれば、どの程度の速さで進行するか？ といった問題を取り扱います。これらのことは、変化の速度 = 駆動力×移動度という関係で表されます。この講義の目標は、駆動力と移動度を決める原理を理解することです。この講義を受講した結果、物理変化や化学反応の速度についての洞察力が養われ、所望の性質を持つ物質を合成する方法を設計する基礎が身につきます。

〔教科書〕

『アトキンス物理化学（上）（下）』第6版 東京化学同人 2001年

講義資料（プリント）を配布します。

〔参考書〕

多くの「物理化学」という名前の教科書が出版されていますが、この講義で使う教科書を含め、どれか一冊を読むと良いでしょう。

物理化学演習

「物理化学 1」の演習

1 単位 秋学期

木村 敏夫 小林 大祐
緒明 佑哉

〔授業科目の内容〕

専門基礎科目の「物理化学 1」の理解を深めるために、講義内容についての演習を行う。

〔教科書〕

『アトキンス物理化学（上）（下）』第6版 東京化学同人 2001年

演習問題のプリントを配布します。

物理化学基礎

2 単位 春学期

朝倉 浩一

〔授業科目の内容〕

有機、無機に関わらず、化学の基礎として必須の学問である熱力学の初歩を学ぶ。

1. 気体の圧力、温度、体積は、それぞれどのような関係になっているのか？
2. 系に熱を流すと、どのように温度が変化し、またどのように仕事をするのか？
3. 化学反応が進行すると、どのように発熱や吸熱がおこるのか？
4. 熱は高温領域から低温領域へ、物質は高濃度領域から低濃度領域へと流れるのはなぜか？また、その流れはどのような速度で起こるのか？
5. 化学反応が進行する方向は、どのようにして決まるのか？
6. 1つの相を形成する個々の分子の挙動と相全体の挙動とは、どのような関係になっているのか？

といった物質の挙動に関する法則を理解し、化学の基盤となる知識を習得する。

〔教科書〕

『物理化学』Atkins 著 千原・中村訳 東京化学同人 2001年

物理学演習第 1

1 単位 秋学期

江藤 幹雄

〔授業科目の内容〕

「量子力学第 1」の演習をおこなう。したがって本科目の受講者は上記の講義を受講しているものと仮定して授業をおこなう。量子力学の具体的な問題や、その解法に必要な数学の問題を解くことで、講義の理解を深めることを目的とする。

物理学演習第 2

1 単位 秋学期

江藤 幹雄 光武 亜代理

〔授業科目の内容〕

「電磁気学第 1」の講義、物理数学（複素解析、フーリエ変換、ラプラス変換、特殊関数など）に関する演習を行う。従って、本科目の受講者は「電磁気学第 1」、「複素解析」の講義を受講しているものと仮定して、授業を行う。また、「振動波動論」、「応用数学」、「応用解析第 1」を受講していることが望ましい。

〔参考書〕

電磁気学（学部生の時に、下記の参考書または自分が気に入った本を読むことを望みます。）

『詳細電磁気学演習』後藤憲一・山崎修一郎著 共立出版

『理論電磁気学』砂川重信著 紀伊国屋書店

『なっとくする電磁気学』後藤尚久著 講談社

物理テキストシリーズ『電磁気学』砂川重信著 岩波書店

物理テキストシリーズ『電磁気学演習』砂川重信著 岩波書店

フラインマン物理学 III 『電磁気学』フラインマン著 岩波書店
『電磁気学』ランダウ＝リフシッツ著 東京図書株式会社
『ジャクソン 電磁気学 (上)』ジャクソン著 吉岡書店

物理数学 (下記の参考書から問題を出す場合が多い)
『理工学部のための応用数学 I、II』弥永守著 朝倉書店
『詳細 応用物理数学演習』後藤健一・山本郁夫・神吉健著 共立出版
『物理のための数学入門 複素関数論』神部勉・有馬朗人著 共立出版

物理情報数学 A

「複素関数論とフーリエ解析の基礎」 2 単位 春学期
足立 修一 山本 直樹

〔授業科目の内容〕

さまざまな物理現象の理解とその工学への応用に際して重要となる複素関数論とフーリエ解析の基礎理論と計算法を学ぶ。

〔教科書〕

特に指定しない。プリントを配布する。

〔参考書〕

第 1 部、第 2 部ともに同様のタイトルの参考書が多数出版されています。適宜選んで下さい。たとえば、第 1 部については「R.V.チャーチル・J.W.ブラウン著 中野實訳：複素関数入門 (原書第 4 版)、サイエンティスト社」が、第 2 部については、「足立：信号とダイナミカルシステム、コロナ社」などが参考になります。

物理情報数学 B

「数理から物理まで横断的に「線形性」 2 単位 秋学期
を学ぶ」

相吉 英太郎

〔授業科目の内容〕

大学での「線形代数」という科目で初めて「線形」という用語に接しますが、小学校で習う「1 次関数」から、高校で習う「ベクトルや行列」や「微分・積分」まで、そして高校の物理で習う「運動方程式」から「電気回路」に至るまで、これらすべてに「線形」という共通した性質があります。つまり、これまで習得してきた数学や物理の多くの事柄が、場合によっては経済現象や社会現象までも「線形現象」として、統一的に把握できます。そして、これらの性質が工学的に利用され、様々な技術を生み出してきました。この科目では、小学生以来大学 1 年生までに習得したことを、「線形」という概念の「横系を通す」ことによって、統一的に把握してその知識を工学の分野に応用できるようにし、1 冊の教科書には書けない、きわめて横断的な数理的知識を学習します。

〔教科書〕

数回に 1 回の割合で、パワーポイントの内容を縮刷したプリントを配布します。欠席した人には、原則として渡しません。この授業およびプリントの内容は非公開としますので、プリントのコピー・転用・他人への譲渡を厳禁とします。

〔参考書〕

授業全体の参考になるような 1 冊を紹介することは不可能ですので、授業中に適宜紹介します

プログラミング演習

「システムデザインのための
プログラミング技法」

2 単位 秋学期

須藤 亮 高橋 正樹
中澤 和夫 西 宏章
矢向 高弘

〔授業科目の内容〕

〔講義目的〕

物理システムを対象として、高性能な計測制御システムを総合的に構築するには、実際の物理モデルと整合性のあるプログラムの作成法を習得し、情報の処理・変換・伝送などをマイクロコンピュータに実行させる必要がある。本講義では、単にソフトウェアを使用した情報の取り扱い手法を習得することよりも、物理システムとマイクロコンピュータ間の情報のやりとりを通して最適なシステムをデザインすることを目的としたプログラミングの方法論の習得に重点が置かれている。具体的には、計測制御用コンピュータを理解する上で基礎となる計算機の基本構成、入出力インターフェイスの基礎を理解し、C 言語を用いたプログラミング実習により、計算機ユーザとして必要とされるシステム計測・制御と画像処理等の情報処理の基礎知識およびプログラミング技法を習得する。

〔教科書〕

配布資料

プログラミング基礎同演習

「C 言語によるプログラミング入門」

2 単位 秋学期

田中 敏幸

〔授業科目の内容〕

C 言語を用いて、コンピュータシミュレーションに必要なプログラミング技法の基礎を習得することを目的とする。各講義時間の後半に、その日に習った C 言語文法を用いたプログラミング実習を行い授業内容の理解を深める。また、実習は短時間でできる簡単な題材を扱うため、3 週に一度程度の割合でプログラミングに時間のかかる課題を宿題とし、結果を提出してもらう。課題の作成によってそれまでに習った C 言語文法を体系的に理解し、いろいろな問題を解決できるようになる。

〔教科書〕

『C 言語によるプログラミングの基礎』田中敏幸著 コロナ社
2009 年 9 月までに全面改定版の発行を予定している。

プログラミング言語

「コンピュータのプログラムを作ってみよう」

2 単位 春学期

櫻井 彰人 篠沢 佳久

〔授業科目の内容〕

自分でコンピュータのプログラムが書けるようになるためのプログラムの基礎を学ぶ。プログラミング言語は Ruby 言語 (または Java 言語) を使用する。授業時間中にできるだけプログラミングの実習を行う。授業時間外にパソコンでプログラムを作成し、レポートとして提出する。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

Ruby の入門書は (Java の入門書も) たくさん書かれています。自分の気に入ったものを選ばよいでしょう。また、WWW 上にも多くあります。

プログラミング実習

2 単位 春学期
古池 達彦

〔授業科目の内容〕

計算機の進歩 (高速化、低価格化、ネットワーク化) にともない、物理学において計算機を使う機会が非常に多くなってきている。数値計算、数式処理、実験データの処理、実験装置の制御、データの可視化等、従来の理論物理学、実験物理学の分野においても、計算機の利用は非常に重要である。さらに、これまで解析の理論や実験で扱うことのできなかった現象を、計算機を使うことによって初めて扱うことができるようになり、新しい物理学の分野として、計算物理学という分野も発展している。このような現状において、物理学における計算機利用の基礎として、自ら計算機を用いて問題解決を行うためのプログラミングの基本を習得することが、この授業の目標である。

プログラミングについての解説の後、物理学の基本的問題を中心に関連する課題が与えられ、各自が具体的にプログラムを作成し計算を行うという形式で授業を行う。プログラミング言語は FORTRAN を使用する。

〔教科書〕

特に指定しない。資料としてプリントを配布する。

〔参考書〕

『FORTRAN 90 プログラミング』富田博之著 培風館

プログラミング第 1 同演習

「C 言語およびプログラミング技法の基礎」 2 単位 春学期
植松 裕子 寺岡 文男

〔授業科目の内容〕

プログラミングの初心者を対象とし、C 言語の基礎およびプログラミングの基礎を学習する。授業では Linux オペレーティングシステムを使用し、コンピュータを操作しながら学習する。毎回演習を行い、レポートを提出する。

〔教科書〕

『C 入門 電子計算機のプログラミング(11)』浦 昭二・原田賢一著 培風館

〔参考書〕

なし。必要な情報は適宜 Web にて公開。

プログラミング第 3 同演習

「C 言語中級コース」 2 単位 秋学期
山崎 信行 大村 廉

〔授業科目の内容〕

C 言語を正確により深く理解するとともに、C 言語を用いたプログラミング能力を磨く。

〔教科書〕

『プログラミング言語 C 入門から中級へ』山崎信行著 コロナ社 2,625 円

〔参考書〕

『プログラミング言語 C』カーニハン & リッチー著 石田晴久訳 共立出版がお奨めです。

プログラム実習

「プログラミング言語 C とその応用」 2 単位 春学期
青木 義満 中野 誠彦

〔授業科目の内容〕

コンピュータを用いて問題を解決するためのアルゴリズムとそのプログラミング言語での記述について講義および実習を行う。プログラミング言語には C 言語を用いる。初回の講義は全体で行うが、実習はプログラミング言語の素養に応じたグループに分けて行うこととする。

〔参考書〕

プログラミング言語 C

分子生物学第 1

2 単位 秋学期
柳川 弘志

〔授業科目の内容〕

2003 年 4 月、ヒトゲノムの全塩基配列解読完了が宣言され、これまで 166 個のゲノム (145 個の原核生物ゲノム、21 個の真核生物ゲノム) が解読されている。さらに現在、775 のゲノム解読プロジェクト (415 個の原核生物ゲノム、360 個の真核生物ゲノム) が進行中である。2003 年には、アメリカで ENCODE (ENCyclopedia Of DNA Elements) 計画が発表され、いよいよポストゲノム時代が始まった。日本でも、文科省のゲノムネットワークプロジェクトが 2004 年 10 月にスタートした。ゲノムネットワーク解析は、ポストゲノム時代の最も重要な課題であり、その成果は生命現象の統合的理解と共に、ゲノム産業やゲノム創薬といった具体的実用化が期待されている。

また 2002 年 1 月には、チンパンジーのゲノムが解読され、ヒトのゲノム配列との差はわずか 1.23% しかないことがわかった。ヒトとチンパンジーの差はゲノム配列からだけではとても説明できないものであった。ここからわかることは、我々はまだ、「進化」を記録したゲノム地図の読み方、ゲノム配列が意味することを知らないということである。ポストゲノム研究とは、このゲノム地図の読み方を知ることにあるだろう。すなわち、ヒトとチンパンジーの差は、ゲノム配列から翻訳されるタンパク質とそのタンパク質間相互作用に支えられた遺伝子ネットワークのパターンの違いによる可能性がある。ポストゲノム研究に求められるものは、従来の一遺伝子を深く掘り下げる研究だけではなく、網羅的な遺伝子群の機能解析研究である。

このような日進月歩の生命科学の進展を背景に、21 世紀のゲノムサイエンス時代を切り拓いて行く若い人達に、その基礎となるこれまでにわかった分子生物学の知識を、広くかつ深く理解してもらい、問題解決能力を養ってもらうのが本科目の主旨である。

〔教科書〕

『分子細胞生物学』(上) 第 5 版 H.Lodish ら著 石浦章一ら訳 東京化学同人の第 4 章、第 10 章、第 11 章、第 12 章を担当します。

〔参考書〕

配布プリント

分析化学 1

「Analytical Chemistry 1」

2 単位 秋学期

鈴木 孝治

〔授業科目の内容〕

前提科目である「分析化学基礎」の授業で、“化学物質”に関する十分な知識を身につけた。また、物質を分離する手法や理論的考え方を学んだ。この授業では、“物質”を検出する手法を学ぶことを中心に、分離分析の実際と使う機会の多い汎用の機器分析の基礎を講義とビデオで学ぶ。

- 1 化学分析と機器分析の基礎
- 2 分離分析
- 3 光関連分析
- 4 磁気関連分析
- 5 電子関連分析
- 6 分析化学トピックス

具体的には、

1. ガスクロマトグラフィーと元素分析
 - 1-1. 大気分析
 - 1-2. ガスクロマトグラフィーとは
 - 1-3. 分離カラムの構造と種類
 - 1-4. 検出器の構造と種類
 - 1-5. 有機元素分析
2. 質量分析
 - 2-1. 質量分析とは
 - 2-2. 質量選別部の種類と原理
 - 2-3. イオン化の種類と原理
3. 光化学分析
 - 3-1. 物質と光・色
 - 3-2. 光分析の装置構成
4. 吸光・蛍光分光光度法
 - 4-1. 光の吸収と放射
 - 4-2. 吸光分光光度法
 - 4-3. 蛍光分光光度法
 - 4-4. 化学発光・生物発光分析法
5. 原子吸光・原子発光分析
 - 5-1. 原子吸光・発光分析とは
 - 5-2. 原子吸光分析法
 - 5-3. 原子発光分析法
6. 核磁気共鳴分光法 (NMR)
 - 6-1. 核磁気共鳴分光法 (NMR) とは
 - 6-2. NMR から何がわかるか
 - 6-3. NMR 測定の種類

〔教科書〕

生協から販売。

分析化学基礎

「Basic Analytical Chemistry」

2 単位 春学期

鈴木 孝治

〔授業科目の内容〕

物質を分離し、同定し、定量する。この操作を確実に行うためには、まず様々な物質そのものの性質や特性を十分理解していなければならない。このことを念頭に置き、本科目では物質化学に立脚した分析化学および機器分析の基礎について学ぶ。

- ・分析化学体系
- ・化学物質の性質と見方
- ・化学物質の平衡
- ・物質の分離と検出

具体的には、

1. 分析化学とは
 - 1-1. 分析化学とは
 - 1-2. 分析に用いられる単位 (SI 単位、非 SI 単位)
2. 分析値の取り扱い
 - 2-1. 誤差の考え方
 - 2-2. 分析データの処理演算
 - 2-3. 分析値の信頼
 - 2-4. 検量線
 - 2-5. 検定
3. 分析の実際
 - 3-1. 分析の実際
 - 3-2. 分析用器具
 - 3-3. 試薬・水の取り扱い
 - 3-4. 脱水剤、寒剤
 - 3-5. 固体試料の扱い
4. 物質の形態と特性
 - 4-1. 分析対象の選定と性質
 - 4-2. 原子と分子の性質
 - 4-3. 物質の状態と平衡
 - 4-4. 極性
5. 酸・塩基
 - 5-1. 酸・塩基の概念
 - 5-2. Brønsted-Lowry 説 (ブレンステッド酸・塩基)
 - 5-3. Lewis 説 (ルイス酸・塩基)
 - 5-4. イオンと活量
6. 物質の分離
 - 6-1. 物質の分離
 - 6-2. 難溶塩と溶解度積
 - 6-3. 沈殿生成現象
 - 6-4. 溶解度の抑制
7. 分配と抽出
 - 7-1. 分配と抽出
 - 7-2. 溶媒抽出
 - 7-3. キレート抽出
 - 7-4. HSAB 則
 - 7-5. イオン会合抽出
8. クロマトグラフィー
 - 8-1. クロマトグラフィーとは
 - 8-2. クロマトグラフィーの理論
 - 8-3. クロマトグラフィーの種類
 - 8-4. 高速液体クロマトグラフィー

〔教科書〕

生協から販売

〔参考書〕

基礎化学コース 『分析化学 I』、『分析化学 II』および『分析化学 III』 丸善

分布系の数理

2 単位 秋学期
本多 敏

〔授業科目の内容〕

〔概要〕

物理現象を情報として扱うということはシンボル / 記号化することから始まります。物理的变化を担う媒質が空間的に連続に分布しているような、物理学工学のいろいろな分野で現れる連続体の問題を、線形分布定数系という共通性に着目して理解できるようにします。数学的には応用偏微分方程式論に相当する内容ですが、物理的工学的意味を物理情報として理解できるようにします。

〔学習の目標〕

- 講義計画に示した毎回の演習を通じて
- ・放物型・楕円型・双曲型偏微分方程式が表現する拡散、熱移動、対流、振動、波動、ポテンシャル等の物理現象が理解できる。
 - ・現実のそれらの問題を境界条件も含めて定式化できる。
 - ・あたえられた問題を、変数分離法、積分変換法等を用いて解くことができる。
- ようになることをめざします。

〔参考書〕

『偏微分方程式』スタンリー・ファローウ著 伊理訳 啓学出版

マテリアルデザイン概論 1

2 単位 春学期
今井 宏明

〔授業科目の内容〕

マテリアルとは、私たちの役に立つ機能を持つ「モノ」のことです。私たちの快適で豊かな生活はマテリアルの機能に支えられていることになります。ケータイでもクルマでも、便利になる一方ですが、それらの便利はマテリアルの研究と製造によって支えられています。でも、エネルギーや環境、国際価格競争など、たくさんの制約に囲まれながらマテリアルを作っていくためには、ものすごく幅広い知恵が必要です。マテリアルデザイン概論(I)では、みなさんがこうした大問題に挑戦するための基礎体力をつけることを目的に、なぜ、どうして、どのように、マテリアルが使われるのかを学んでいきます。多様なマテリアルの世界から皆さんの未来が見出せるかも知れません。授業計画に示したテーマに沿って、わかりやすい話をしていこうと思っています。

〔教科書〕

資料として、プリントを毎回配布します。

マテリアルデザイン概論 2

2 単位 秋学期
磯部 徹彦

〔授業科目の内容〕

機能材料開発において、その材料の特性をを評価することは、機能を向上させる上できわめて重要となる。本講義では、機能材料をデザインするうえで最も重要なことのひとつである材料のキャラクタリゼーション（材料評価の手法）を習得することを目標とする。

〔教科書〕

プリントを配布します。

無機化学 1

2 単位 春学期
磯部 徹彦

〔授業科目の内容〕

本講義では、無機化学の基礎を身につけることを目標としています。シュライバー・アトキンス「無機化学（上）」の第 I 部の基礎を重点的に勉強します。

〔教科書〕

『無機化学（上）』シュライバー・アトキンス著

無機化学 2

「無機化学や分子モデリングを理解
するための量子論・分子分光入門」 2 単位 秋学期

片山 靖

〔授業科目の内容〕

「無機化学」を理解するためには量子化学の基礎を身につける必要があります。本講義では、量子論と原子の電子構造、分子の電子構造と対称性、原子および分子の分光学、分子の磁気的性質などについて解説します。

〔教科書〕

『物理化学(上、下)』P.W.Atkins 著 千原秀昭・中村亘男
訳 東京化学同人 2001 年

〔参考書〕

『ATKINS' PHYSICAL CHEMISTRY』, 8th Edition,
P. Atkins and J. de Paula, Oxford Univ. Press (2006)
www.oxfordtextbooks.co.uk/orc/pchem8e/

有機化学基礎

「有機化合物の合成と反応入門」 2 単位 春学期
山田 徹

〔授業科目の内容〕

1 年生の化学 D で有機化学の電子論、立体化学を総論的に学んだことを基礎に、重要な官能基について、個々に合成法、反応性を解説する。各化合物間の相互の関係についても考察し、体系化した視点から俯瞰的に有機化学全体を眺めることの面白さをも忘れないようにしたい。内容を箇条書きにすると以下のようである。

〔参考書〕

『現代有機化学』第 4 版 上・下 ボルハルト・ショアー著
化学同人『有機化合物の命名一解説と演習一』畑一夫著 培風館
ISBN:4-563-04222-6

有機立体化学

「三次元でみた有機化合物の構造と反応性」 2 単位 秋学期
只野 金一

〔授業科目の内容〕

天然に見出される多種多様な有機化合物も、実験室で化学合成される新規な有機化合物も、それらの大半は三次元立体構造をもつ。sp³ 混成した炭素原子が、正四面体構造（テトラヘドロン構造）をとる事に由来した結果である。酵素などの生体触

媒により司られる生体内化学反応の本質を理解するためには、また機能性分子を創製する際にも、研究対象とする有機分子を三次元構造で捉えることが重要になる。

2001年度のノーベル化学賞が我が国の野依良治博士に授与されたが、「有用な有機化合物を望む三次元構造をもつものとして効率良く化学合成する」という野依博士の研究業績が評価された結果である。

本講義ではまず有機化合物を立体構造の視点から解説し、ついで有機化合物が行う化学反応を立体化学的な見地から考察し、さらには三次元構造をもつ有機化合物を実際に合成合成する手段について順次講述していく。

その結果受講者には、有機化合物を三次元構造で捉えることに慣れ、また有機化学反応を立体的に考えるようになってもらうことを目的・目標としている。

〔教科書〕

特に指定はしません。

〔参考書〕

『有機立体化学』カガン著 小田順一訳 化学同人

『基礎立体化学』バクストン・ロバーツ著 小倉克之他訳 化学同人等。

力学的アナリシス

2単位 秋学期

小國 健二 三田 彰

〔授業科目の内容〕

静力学と動力学に関するモデリングの基礎を力学的モデリングで学んだ後、その特性と応答解析の基礎を学ぶために設けられた科目である。機械工学、建築工学、土木工学の基礎としての静力学、動力学、機械力学、材料力学などの基礎知識を習得でき、基礎的で重要な科目である。近年制御工学、ロボット工学などの学際的な分野においても、対象は力学系であることが多く、エンジニアリングの広範な分野の基礎を学ぶことができる。

〔教科書〕

自作テキスト

力学的モデリング

2単位 春学期

小國 健二 高橋 正樹

〔授業科目の内容〕

システムデザイン工学科のカリキュラムの一つの重要な柱として、静力学および動力学がある。これらの基礎知識はエンジニアにとって必須の基礎学力である。本科目は、静力学と動力学の学問的な基礎を学び、それらの知識を基にして物理現象のモデリングの方法を学ぶために設けられた基礎科目である。なお、力学を横断的に学ぶことができるように縦割りの内容を講義するのではなく、静力学と動力学を融合した教育を行う。以下の項目について講義する。

〔教科書〕

自作テキスト

理工学基礎実験

2単位 春学期 / 秋学期

富田 豊 他

〔授業科目の内容〕

春学期に履修する学科群に属する者は下記テーマ群の中からABCを、また、秋学期に履修する学科群に属する者は下記テーマ群の中からABDの組合せによって全12課題について実験、レポートの提出、討論を完結する。

- A 実験
 - 1 演算増幅器
 - 2 熱の移動
 - 3 機械加工
 - 4 応力およびひずみの測定
 - 5 流体の流動
- B 実験
 - 1 音波の干渉
 - 2 偏光
 - 3 分光測定
 - 4 回路の共振
 - 5 マイクelsonの干渉計
 - 6 核磁気共鳴
- C 実験
 - 1 吸光光度法による銅の定量
 - 2 ガスクロマトグラフ法
 - 3 pH と電離平衡
 - 4 可逆電池の超電力と平衡定数
- D 実験
 - 1 表示系のヒューマンインターフェース
 - 2 コンピューテーションコンプレキシティ
 - 3 経営意思決定問題
 - 4 グラフィカルデータ解析
 - 5 幾何学的確率の実験

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

『理工学基礎実験』 慶應義塾大学理工学部編

流体力学の基礎

2単位 秋学期

小尾 晋之介 深淵 康二
松尾 亜紀子

〔授業科目の内容〕

流体力学は、水や空気など、気体や液体を問わず、流れと物体の運動やそれらの相互作用に関係する問題を扱う学問分野です。人間の体内やエンジンなどの機械の内部では様々な流体が熱や物質の輸送に重要な役割を果たし、風車やタービンでは流体のもつ運動エネルギーの有効利用が重要であり、大気や海洋の流れは地球環境に決定的な影響を及ぼす、というように、我々の周りの問題は流体運動なしでは考えられないもので満たされていることから、その重要性は容易に想像できるでしょう。

授業では、非常に多岐にわたる問題のなかから、流体運動を考えるための基礎理論とその応用力を身につけることを目指します。3年次の設置科目である「流体力学」、「高速空気力学」、「環境流体力学」は、「流体力学の基礎」から発展した内容を扱いますが、すべて共通の教科書を使いますので、一貫した内容となっています。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照してください。

〔教科書〕

『Fluid Mechanics』6th Edition, F.M. White, McGraw-Hill International Editions

〔参考書〕

とくに定めない

量子化学基礎

「化学結合論、分子軌道法、分子の振動回転運動」

2 単位 秋学期

藪下 聡

〔授業科目の内容〕

化学的な視点から量子論の基本を学び、分子中の電子状態および分子の振動回転運動を題材に、様々な化学現象にとって量子論の考え方がなぜ必要なのかを理解する。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントは web サイト

<http://sepia.chem.keio.ac.jp/qchem/qchem.html> よりダウンロードできます。

パスワードなどは最初の授業にお知らせします。

〔参考書〕

『原子・分子の現代化学』田中政志・佐野充著 学術図書

『物理化学演習』茅幸二編著 裳華房

『量子化学』朽津耕三・濱田嘉昭著 放送大学教育振興会

『基礎化学結合論』小林常利著 培風館

『入門分子軌道法』藤永茂著 講談社サイエンティフィック

『化学の基礎』平尾公彦・加藤重樹著 講談社サイエンティフィック

量子力学基礎

「『エレクトロニクス』を学ぶための基礎物理の1つ」

2 単位 春学期

梅垣 真祐

〔授業科目の内容〕

本科目は、電磁気学、統計力学と共に、20 世紀後半の技術社会の根幹を成した「エレクトロニクス」を理解する上で不可欠な基礎物理の1つである。21 世紀は、さらに発展させた「電子技術」と、20 世紀後半になって現れたレーザーを基とする「光技術」とを融合した「フォトンクス」の時代と言われる。レーザーもまた基礎物理に立脚した電子技術の産物である一方、将来の電子デバイス、光デバイスにおいては量子効果を十分に発揮させたデバイスが多用されるものと予想される。授業は教科書を中心に進めるが、上述の応用を念頭におき、固体物理、レーザー物理さらには量子化学との関連を理解するため、随時、参考書の内容についても触れる。教科書の範囲外の内容についてはプリントを配布する予定であるが、教科書の範囲内の内容についても教科書だけに頼らない自習を勧める。

本科目は上記の応用を念頭においた「量子力学の基礎」であり、(1) 量子論が成立していく背景をなす物理現象を述べることから始め、(2) プランクの見出したエネルギー量子の考え方、(3) ボーアの前期量子力学、(4) ハイゼンベルグの行列

力学、(5) ド・ブロイによる物質の波動論を経て、(6) シュレーディンガー方程式に至る量子力学を講義する。

〔教科書〕

『量子力学の考え方』砂川重信著（物理の考え方シリーズ 4）岩波書店

〔参考書〕

1. 『量子力学 I、II』朝永振一郎著 みすず書房

2. R.H.Pantell and H.E.Puthoff (John Wiley&Sons Inc.) "Fundamentals of Quantum Electronics"

(絶版になっているが、当方に有り。興味のある学生は申出てください。)

3. 『キッテル固体物理学入門（上・下）』山下次郎他訳 丸善

4. 『量子化学』原田義也著 裳華房

量子力学第 1

2 単位 秋学期

福田 礼次郎

〔授業科目の内容〕

本格的な量子力学の履修の始まりと考える。

量子力学の基本原理解、数学的な構造、観測量と観測値、シュレーディンガー表示とハイゼンベルグ表示、対称性と保存則、(できれば群論との関係)、時間発展と定常問題、角運動量、など

〔教科書〕

特に指定はしない。テキストは keio.jp に up load しますので印刷してください。それに従って講義します。

〔参考書〕

特に指定しない。

量子力学入門（機械、物理）

「電子、光子、シュレーディンガー方程式、プランク定数、不確定性関係」

高野 宏

〔授業科目の内容〕

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の2重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と1次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

〔学習・教育目標との関係〕

この科目と機械工学科の学習・教育目標との関係については、機械工学科ホームページ <http://www.mech.keio.ac.jp> の「教育、JABEE 関連/学習教育目標」のページまたは履修案内を参照ください。

〔教科書〕

『量子力学 I』川村清著 産業図書

量子力学入門 (応化、数理、化学)

「電子、光子、シュレーディンガー方程式、 2 単位 春学期
プランク定数、不確定性関係」

植田 毅

〔授業科目の内容〕

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の 2 重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と 1 次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

〔教科書〕

『量子力学 I』川村清著 産業図書

〔参考書〕

『量子力学入門』物理テキストシリーズ 6 阿部龍蔵著 岩波書店

自習の演習書：(値段が安く、英語も平易なので試してみてください)

『Quantum Mechanics DeMYSTiFieD A SELF-TEACHING GUIDE McGraw Hill』David McMahon 著

量子力学入門 (物情)

2 単位 秋学期

椎木 一夫 牧 英之

〔授業科目の内容〕

原子、分子などのミクロな世界を支配する物理法則は日常世界における常識とは必ずしも相いれない。ミクロ世界の法則を理解して、ここから情報を得て制御する、つまり新しい機能性材料を開発したり電子波デバイスなどの先端素子を研究する、その準備段階として、量子力学の基礎を学ぶ。演習を行い、勉強した内容が使えるようになることを目標にする。

〔教科書〕

『工科系 量子力学』椎木一夫著 裳華房

〔参考書〕

『量子力学(I)』小出昭一郎著 裳華房

●総合教育科目**遺伝子の科学**

「現代生物学の骨子と遺伝子にまつわる 2 単位 春学期
最新のトピック」

梅澤 一夫

〔授業科目の内容〕

1950 年代に Watson-Crick のモデルが提唱され、分子レベルの生物学が盛んになった。1970 年代には DNA の操作技術が飛躍的に進歩して、現在では生物学のほとんどすべての分野で、DNA がかわかって研究が行われるようになった。本講では DNA 操作の実際 (ビデオ使用)、最近の生物学と医療を DNA の役割を中心に説明してゆきたい。生物が初めてでもほかの生

物系の講義をすでに経験していても、遺伝子に関わる生体物質の構造と昨日を重視して、1 で 10 を知る新鮮な生物学を紹介する。

1. 生体物質入門
2. 生命の情報の流れ
3. 遺伝子の構成
4. 遺伝子操作
5. ノックアウトマウス
6. その他のトピック

初学者用に「生体物質入門」を入れ、遺伝子を実際にどんな風に扱われているかをビデオで説明。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

宇宙科学

「宇宙人はいるだろうか」

2 単位 春学期

加藤 万里子

〔授業科目の内容〕

この講義では、現代天文学が明らかにした宇宙の姿を解説する。宇宙はビッグバンで始まり、大規模構造や銀河、最初の星が形成された。星は今でも生まれたり死んだりしている。星の中では核融合反応により重い原子核ができ、超新星爆発などにより宇宙にまきちらされる。太陽系は宇宙誕生後 100 億年たってから誕生した。惑星の形成についてもかなりわかってきている。これらの知識をふまえて、宇宙人はいるのかについても考えたい。

〔教科書〕

『100 億年を翔ける宇宙』加藤万里子著 恒星社厚生閣

〔参考書〕

プリントを配布します

近現代建築史

2 単位 秋学期

倉方 俊輔

〔授業科目の内容〕

本授業では、近現代の社会の変化が建築・都市にどのような影響を与え、建築・都市を考える者たちがそれにどのように対応しようとしてきたのかを解説します。主に扱うのは 19 世紀末から 20 世紀末の時期です。この間に、様式主義からの脱却がさまざまに図られ、モダニズムが盛期を迎え、やがてその乗り越えが模索されました。世界的な視野に立ちながら、私たちと地続きである近現代日本の事例をより詳しく論述します。歴史を通じて《現在》の根を理解することが本講義の目標となります。

〔教科書〕

講義資料プリントを配布します。参考書を任意で購入。

〔参考書〕

『東京建築ガイドマップ』倉方俊輔・齊藤理著 エクスナレッジ 2007 年 1900 円

『吉阪隆正とル・コルビュジエ』倉方俊輔著 王国社 2005 年 2000 円

現代化学概論

2 単位 秋学期
垣内 史敏 他

〔授業科目の内容〕

理工学部化学科・応用化学科教員・外部からの特別講師がオムニバス形式で毎回、化学の最先端の内容（トピックス）を分かりやすく講義します。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

現代物理学概論

「原子核・素粒子物理学の過去・現在・未来」 2 単位 秋学期
平田 光司

〔授業科目の内容〕

原子核・素粒子物理学は、物質の根源的な存在形態を研究する分野である。物質の根源形態を探求して、人類は原子、原子核、核子（陽子や中性子、中間子）、そして核子を構成する基本粒子クォークにいきついた。現在では、クォークとレプトン（電子やニュートリノ）、そしてそれらの相互作用を媒介するゲージ粒子によって、（重力の量子化が問題となる宇宙初期を除く）すべての現象が理解されている、と信じられている（素粒子の標準理論）。

物質の根源を求める知的好奇心に導かれて、20 世紀前半には、原子核変換が発見され、核兵器および原子力へとつながっていった。20 世紀後半には以下のようなことが起きた。(1) 核兵器は国際政治を大きく変えた (2) 夢のエネルギー源と思われた原子力の様々な問題も明らかになった (3) 巨大加速器の進歩によって、高エネルギー物理学が発達し、標準理論へとつながったが、巨額の資金を要し、産業に貢献しない「知識のための科学」は、今後も続けられるのか不明である。

このような、輝かしい、しかし、問題を含んだ原子核・素粒子物理学について、物理学としての発展だけでなく社会への影響と社会からの影響を知ることが、理工系の学生にとって必須の課題であろう。

講義は (1) 原子核・素粒子物理学の発展 (2) 原爆の開発と国際政治 (3) 原子力の利用と問題点 (4) 巨大科学となった素粒子物理学、についてそれぞれ解説する。歴史的には、これらすべてが半ば独立に、なかばもつれあって進んできたので、これら 4 つのテーマを別個にあつかうことはできないが、最低限、それぞれについての基本的な知識を持つように、授業を進めたい。

〔予備知識〕

高校までの数学。物理学の知識は必要に応じて復習するようにします。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『クォークから宇宙へ』レーダーマン・シュラム著 東京化学同人

『加速器とビームの物理』(岩波講座・物理の世界) 平田光司著 岩波書店

総研大ジャーナル 2 号特集「世界最強の加速器 KEKB の挑戦」

(<http://www-kekb.kek.jp/Publication/Sokendai/sokendai.pdf>)

その他、インターネットからダウンロードできる資料を授業中に指示する

住宅・建築史概論 (2009 年度 2 年生) /
西洋建築史 (2009 年度 1 年生)2 単位 春学期
岸本 達也

〔授業科目の内容〕

この授業では、西洋における古代から中世、近世近代にいたる、建築の歴史について解説します。都市との関連、科学技術との関連、社会制度との関連など、いくつかの角度から、建築デザインとその変遷について解説します。

〔教科書〕

プリントを配布する予定

〔参考書〕

『三訂版西洋建築史図集』日本建築学会編 彰国社

『西洋建築入門』森田慶一著 東海大学出版会

『図説建築の歴史西洋・日本・近代』西田雅嗣ほか著 学芸出版社など

人体の生理

「人体調節の分子機構とその破綻」 2 単位 秋学期
河上 裕

〔授業科目の内容〕

担当教員：河上裕・桜井敏晴・藤田知信・工藤千恵・塚本信夫・松下麻衣子

医学部先端医科学研究所では生体防御機構の一つである免疫システムの研究を行っている。免疫系はリンパ球などの様々な血液細胞がネットワークを形成して、細菌やウイルスなどの微生物から体を守っている。AIDS では、HIV によりリンパ球が破壊されるために、通常ではかからない微生物や癌におかされてしまうことは、免疫機構の重要性を示している。また、免疫ネットワークは神経・内分泌・免疫と呼ばれるように、神経系による情報伝達や内分泌系の各種ホルモンとも相互作用を行っている。このように、人体は、外界からの影響に対して、様々な制御システムにより、その恒常性が維持されているが、それが破綻したときに病気となる。例えば、免疫機構の異常により、免疫系が自己の体を障害してしまう自己免疫疾患や、外来分子に異常に反応してしまうアレルギーなども起こる。本講義では、人体の恒常性維持機構に関して、マクロな生理学から、細胞生物学としての細胞間相互作用、細胞内での遺伝子、蛋白質などの分子調節機構まで、その概要を解説する。正常調節機構の破綻による病気の一つとして、癌や自己免疫疾患などの病態も紹介する。現在、多くの生命現象が分子レベルで説明できるようになってきたが、まだ、不明なことだらけである。そのために、多くの病気の発症機構は明らかでなく、よい治療法も存在しない。これらを解決していくためには、今後の分子レベルでの、さらなる研究が必要である。そこで、最近、話題のヒトゲノム計画も含めて、現代の医学研究の手法についても紹介したい。理工学部の学生にとっても、このような生物の巧妙なシステムとその破綻による異常、また

その研究方法を知っておくことは、役立つのではないかと思う。知的好奇心旺盛な熱意のある方の受講を希望します。

〔教科書〕

特定の教科書は指定しませんが、生理学、細胞生物学の薄い本を読むことを勧めます。

〔参考書〕

必要であれば講義で紹介します。(オックスフォード生理学、丸善など)

心理学Ⅰ(月3、火3、水3)

「生涯発達する“しなやかな”人間のチカラを科学する」

2単位 春学期

高山 緑

〔授業科目の内容〕

本講義では、“生涯発達の視点”から、乳幼児から思春期、青年期を経て高齢期までを視野に入れて、しなやかに生涯発達する人間のチカラを学んでいきます。最新の実証研究から得られた知見をもとに、具体的には、愛着、自己、情動、性格の形成プロセス、対人関係、ストレスとコーピング、恋愛と結婚、ライフスタイル、サクセスフル・エイジング等のテーマを取り上げます。さまざまなテーマを通じて、生涯発達する“しなやかな”人間のチカラを学びましょう。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します。

心理学Ⅱ(月3、火3、水3)

「認知と学習」

2単位 秋学期

高山 緑

〔授業科目の内容〕

人の心の奥底では、いったい何が行われているのでしょうか。私たちはどのように外界から情報を受け取り、それを加工し、行動をとるのでしょうか。本講義では人間が“事物について物事を知る”といったことがどのようなメカニズムで行われているのか、そしてその能力がどのように発達していくのか学んでいきます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します。

生物科学入門

「ヒトの生物学：疾患を分子で捉える」

2単位 春学期

中村 真理子

〔授業科目の内容〕

生体を1つの宇宙と見なすと、その中で起こっていることは無数のランダムなイベントの結果であることがわかります。近年問題になっている抗生物質に対する耐性菌の問題、免疫系の多様性を説明する clonal selection theory などは、まさに生物がランダムな事象から成り立っていることを示しています。

21世紀の医学では、病気について考える際に、生体反応を分子や細胞のレベルで考えることが必須であります。病気とは、前述の様なランダムな偶然が重なり、遺伝子が先天的あるいは

後天的に極端に振れる結果として生じるわけですから、逆に病気は正常を知るための良いモデルとなるわけです。

社会のグローバル化、生態系の変化と共に、AIDS、結核などの新興・再興感染症の出現がめまぐるしく、人類に脅威を与えています。感染症の古典的な理解は同じ病気に2度かからないという免疫の基本を教えてください。自己免疫疾患、アレルギー、糖尿病など体質依存性といわれている疾患や悪性腫瘍などのいわゆる難病には、生体防御系としての免疫反応が強く関与しています。さらに、幹細胞の分化誘導と再生医療への応用可能性の模索、gene chip や RNA 干渉など最近の生物学に関する手法の進歩は著しく、以前には未知の世界とされていた事象も次々に明らかにされてきました。今後の10年を考えるならばその進歩はさらに加速されるに違いなく、現時点では想像もできないような世界が拓かれている可能性が大いと言わざるを得ません。こうした内なる宇宙への探索の旅に携えるべき知恵と知識を求めての講義を進行させたいと考えています。

オリエンテーションとして分子生物学の基本言語について説明しながら、AIDS、癌を中心に、病態と治療法についての最新の知見も加えながら分子生物学について学びます。その際に微生物(特にウイルス)という観点から病気の理解をしてゆきたいと考えています。なぜならば、今日の分子生物学の発展はウイルスに端を発しているからであり、生物の内包する原理を理解するための最もシンプルな実験系として当時の科学者がウイルスを選択したその視点も、今後の私たちの真理追究へのヒントを与えてくれると感じるからです。

〔教科書〕

特に指定しませんが、分子生物学の簡単なテキストを用意することをお勧めします。

〔参考書〕

『基礎分子生物学』第3版 田村隆明・村松正實著 東京化学同人など、必要に応じて随時紹介します。

『遺伝子工学キーワードブック』羊土社などの専門用語のための辞典があると学習しやすいと思います。

生物学実験

「生物のかたち、機能、メカニズムの理解 2単位 春学期
—細胞を中心として—」

倉石 立

〔授業科目の内容〕

生物が持つ多様なかたち、機能、それらを裏打ちするいくつかの巧緻なメカニズムを理解するためには、それらの構成単位となる細胞をいろいろなテーマのもとで体験することが重要である。本実習では、種々の生物を材料に、細胞のかたちや動態を観察する。また細胞を構成する分子の同定操作も行う。これらの過程で、本質を見抜く眼力、柔軟な思考をトレーニングしたい。この科目は教職科目の「生物実験(コンピューター活用を含む)」との併設である。

〔教科書〕

指定しない。教材は教員が準備する。

〔参考書〕

指定しない。推薦図書を講義中に知らせる。

生物学実験集中

「臨海実習」

2 単位 春学期

堀田 耕司 他

〔授業科目の内容〕

生物世界の多様性と豊饒性を体験するとともに、分類体系の基本を理解することを目標にして、三浦半島西海岸のほぼ先端に位置する東京大学三崎臨海実験所において、夏休み期間中（8月24日～28日を予定）に実施する。各種採集法により自ら集めた磯の生物、プランクトン、ベントス等を材料にして観察と同定、ならびに初期発生の観察を行う。4月中旬に行うガイダンスに参加すること、上記の全期間参加することが条件。収容人員は20名以内。ガイダンス日程は別途掲示参照のこと。

〔教科書〕

指定せず。

〔参考書〕

随時紹介する。

西洋建築史（2009年度1年生） / 住宅・建築史概論（2009年度2年生）

2 単位 春学期

岸本 達也

〔授業科目の内容〕

この授業では、西洋における古代から中世、近世・近代にいたる、建築の歴史について解説します。都市との関連、科学技術との関連、社会制度との関連など、いくつかの角度から、建築デザインとその変遷について解説します。

〔教科書〕

プリントを配布する予定

〔参考書〕

『三訂版西洋建築史図集』日本建築学会編 彰国社

『西洋建築入門』森田慶一著 東海大学出版会

『図説建築の歴史西洋・日本・近代』西田雅嗣ほか著 学芸出版社など

世界の経済

2 単位 秋学期

竹森 俊平

〔授業科目の内容〕

今日の世界経済が抱える課題や問題をとらえ、それを経済理論の立場から検討する。

経済理論についてはテクニカルな説明や数式は使わずに、直観的な「勘所」のみを説明するが、経済理論的に考える能力は必要であるし、またその能力を鍛えるのが、この授業の重要な目的である。また、現状の国際経済問題を考えるにあたっては、過去の経験がたいへん参考になるので、授業の中には歴史的な視野も取り入れる。

〔教科書〕

『世界経済の謎』竹森俊平著 東洋経済新報社

天文学

「重力の不思議」

2 単位 秋学期

加藤 万里子

〔授業科目の内容〕

重力は宇宙の現象の中で重要な位置をしめている。星の形や進化、宇宙膨張や宇宙空間の曲がり、ブラックホールなど重要な現象にかかわっている。ここでは重力という観点から宇宙をみていく。「宇宙科学」ではいろいろな天文現象を広く浅くとりあつかうが、この「天文学」では、テーマをしぼって、やや深く考えることを目的とする。

〔教科書〕

『100億年を翔ける宇宙』加藤万里子著 恒星社厚生閣

〔参考書〕

プリントを配布します。

日本・東洋建築史

2 単位 春学期

大田 省一

〔授業科目の内容〕

建築デザインとその形式は、その時代の技術、文化や社会システムと関係している。日本の建築文化は、我が国の風土・社会の中から先人が紡ぎ出した美の体系のひとつである。他方、伝統世界では、近隣の朝鮮半島や中国とのダイナミックな交流の中から、我が国の建築が形づくられた歴史がある。日本を知るためには、東洋を見据えた広い視点が必要である。

この授業では古代から近代までの日本および東洋における建築のその歴史的な変遷について概説する。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

・『日本建築史序説』太田博太郎著 彰国社 1989年 ISBN-10:4395002609

・『日本建築史図集』新訂第二版 日本建築学会編 彰国社 2007年 ISBN-10:4395008518

・『図説日本建築の歴史』玉井哲雄著 河出書房新社 2008年 ISBN:978-4-309-76121-3

日本の経済「地球環境と庶民にやさしい、
いいもの作り国家をめざして」

2 単位 春学期

相沢 幸悦

〔授業科目の内容〕

1990年にバブル経済が崩壊して、日本経済は、長期の平成大不況に襲われました。そこで、長期不況克服の為に経済の自由化や経済構造改革が進められましたが、その結果、マネー経済の膨張や規制緩和などによる「いいもの作り」軽視の傾向が出てきたように思います。耐震強度偽装、食肉偽装、不正表示など、経済倫理や職業倫理の欠如も目立ってきています。

そこで、本講義では、アメリカやドイツ経済などと比較検討しながら、どのようにして「いいもの作り国家」を再生したらいいか考えます。2008年9月には、アメリカの住宅バブルが崩壊して、サブプライム危機が顕在化し、百年に一度といわれる深刻な世界金融危機に見舞われています。金融機関は膨大な損失を抱え、景気の落ち込みも激しくなっています。本講義では、世界金融危機とは何かということについて明らかにします。

その上で、これからの日本経済はどうあるべきかということ、理論的かつ実証的に講義します。

〔教科書〕

『平成大不況』相沢幸悦著 ミネルヴァ書房 2001 年
3200 円

比較文化論

「文化と言語」

2 単位 春学期 / 秋学期

ドゥウルフ, チャールズ

〔授業科目の内容〕

...il n'y a point d'hommes si hébétés et si stupides, sans en excepter même les insensés, qu'ils ne soient capables d'arranger ensemble diverses paroles, et d'en composer un discours par lequel ils fassent entendre leurs pensées ; et qu'au contraire il n'y a point d'autre animal tant parfait et tant heureusement né qu'il puisse être, qui fasse le semblable.

...どんなに愚かで魯鈍な人間でも、ことばをつなぎあわせて、思考を理解させるような宣言を作れないような人間はいない。白痴ですらそうだ。ところが一方では、どんなに完全で恵まれた環境におかれても、そんなことができる動物はいないのである。ルネ・デカルト (1596-1650) 方法序説

言語という不思議な現象は、一体何だろう。私たちは、言語の起源について何を知っているのか。現在、世界の言語はどのぐらいあるのか。言語と文化には、どのような関係があるのか。言語文化によって、人間の考え方が基本的に違うのか。このコースでは、このような議題を論じることになる。

〔教科書〕

担当が配るプリント

〔参考書〕

『The Cambridge Encyclopedia of Language』David Crystal 著 間喜代三・長谷欣佑川翻訳 言語学百科辞典

物性科学

「身のまわりのモノの世界」

2 単位 春学期

伊藤 公平

〔授業科目の内容〕

私たちの身のまわりはモノ (materials) であふれ返っています。特に炊飯器からロケットまでの日用品？ となると、それらは自然に存在したモノではなく、人々が工夫に工夫を重ねて生み出した製品です。物性科学では、私たちの生活を豊かにするモノを支える科学を物質・材料という観点から講義します。高校の物理と化学の知識のみを前提として、できるだけ式を使わずに物質・材料の世界を探検します。講義内容は目安として以下のとおりです。

〔参考書〕

毎回の講義で必要な資料は配布します。ただし、『材料科学 1 ー材料の微視的構造ー』C.R バレット、W.D ニックス、A.S. テルマン著、培風館は参考にとすると良い本なので興味のある学生は購入してください。

7 薬学部

必修科目

●薬学準備教育

※語学科目については、「平成21年度シラバス 履修の手引き」を参照してください。

F (6) 基礎微分積分学

1単位 春学期
兵藤 充利

〔授業科目の内容〕

薬学部で学ぶ化学、物理学系科目の修得に必要な不可欠な数学、すなわち三角関数、対数関数、指数関数など重要な関数理解の確認と微分積分学の修得が目標です。春学期は前半は高等学校の数 III の内容を理解すること、後半は1変数の微分・積分を一通り終えることを目標にします。

〔教科書〕

『微分積分学』小田原宏行著 北樹出版

〔参考書〕

特に必要ないと思いますが、必要と思う人には相談の上、紹介します。

F (6) 基礎微分積分学

1単位 秋学期
兵藤 充利

〔授業科目の内容〕

薬学部で学ぶ化学、物理学系科目の修得に必要な不可欠な数学、すなわち三角関数、対数関数、指数関数など重要な関数理解の確認と微分積分学の修得が目標です。秋学期は主に多変数関数の微分（偏微分）、積分（重積分）の基本を理解し計算できること、そして平易な微分方程式（1階、2階線型微分方程式）を解けることが到達目標となります。また、2年生で学ぶ統計のための基礎知識を得ることも、目標にしています。

〔教科書〕

『微分積分学』小田原宏行著 北樹出版

〔参考書〕

特に必要ないと思いますが、必要と思う人には相談の上、紹介します。

●生命の大切さを知るために

【薬学科】

※「F (7) 薬学生のための情報科学」、「F (8) プレゼンテーション」、「A (1) 命の大切さを知るために-1 (コミュニケーション/ヒューマニズム)」は芝共立キャンパスで開講されます。「平成21年度シラバス 履修の手引き」を参照してください。

F (7) スポーツ科学

1単位 春学期
江原 吉博 佐々木 玲子
加藤 幸司 板垣 悦子

〔授業科目の内容〕

自己の健康・体力の維持管理はもちろんの事、医療に携る薬学生は、健康管理指導も出来ることが必要不可欠である。運動継続の重要性を認識し、適切な運動処方が行えるように、「身体・健康・体力」に関して科学的根拠に基づいた知識を身に付けなければならない。スポーツ科学では健康全般に関連した、飲酒やストレスの他、スポーツの科学的理論や運動と健康の関わり（運動処方、トレーニング方法、体重コントロール、血圧と運動、生活習慣病予防における食事療法、運動療法、等）を理解すると共に、薬学を学ぶ者の基礎として緊急時における基本的な救急法を習得することも目標とする。

〔教科書〕

使用しない。

●イントロダクション

【薬学科・薬科学科共通】

B (1) 薬学への招待

1単位 春学期
増野 匡彦 中島 恵美
笠原 忠 諏訪 俊男
三澤 日出巳 木津 純子
福島 紀子 平野 公晟

〔授業科目の内容〕

薬の専門家、医療人として必要な基本姿勢を身につけるために、幅広い薬学の領域を理解するとともに、医療、社会における薬学出身者の役割や仕事、薬剤師あるいは医薬品開発に関わる者の使命を学ぶ。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

授業中に適宜紹介してゆきます。

【薬学科】

※「B (2) 薬学的保健体験学習」「B (2) 早期体験学習 (病院・薬局)」は芝共立キャンパスで開講されます。

「平成21年度シラバス 履修の手引き」を参照してください。

【薬科学科】

※「薬科学概論（秋学期）」「B（2）薬学的保健体験学習」「B（2）早期体験学習（企業・研究所）」「B（2）早期体験学習（大学内研究室）」は芝共立キャンパスで開講されます。
「平成21年度シラバス 履修の手引き」を参照してください。

薬科学概論

1 単位 春学期

増野 匡彦	中島 恵美
金澤 秀子	諏訪 俊男
鈴木 岳之	千葉 康司
石川 さと子	登美 斉俊

〔授業科目の内容〕

薬学研究の歴史から、現在大学内で行われている研究、社会で話題となった研究などを学ぶことで、薬科学科学生としてのモチベーションを向上させる。さらに、これから習得する講義内容が将来的にどのように生かされるかを学ぶ。

〔教科書〕

特にもうけない。

●C1物質の物理的性質

C 1（1）物質の構造

1 単位 秋学期

阿部 芳廣	森田 裕子
伊藤 佳子	

〔授業科目の内容〕

物質を構成する基本単位である原子および分子の性質を理解するために、原子構造、分子構造および化学結合に関する基本的知識と技能を修得する。

〔教科書〕

伊藤 『薬学物理化学』 小野行雄編 廣川書店

阿部・伊藤・森田 『物理系薬学 I. 物質の物理的性質』 日本薬学会編 東京化学同人

〔参考書〕

『薬学物理化学演習』 小野行雄編 廣川書店

『新放射化学・放射性医薬品学』 佐治英郎・前田稔・小島周二編 南江堂

C 1（2）物質の状態 I

1 単位 秋学期

金澤 秀子	伊藤 佳子

〔授業科目の内容〕

物質の状態および相互変換過程を解析できるようになるために、熱力学の基本知識と技能を修得する。

〔教科書〕

『薬学物理化学』 小野行雄編 廣川書店

〔参考書〕

『薬学物理化学演習』 小野行雄編 廣川書店

『物理系薬学 I. 物質の物理的性質』 日本薬学会編 東京化学同人

●C2化学物質の分析

※「C2（1）化学平衡」「C2（2）化学物質の性質と定量」は日吉キャンパスと芝共立キャンパスで交互に開講されます。

C 2（1）化学平衡

1 単位 秋学期

森 久和

〔授業科目の内容〕

医薬品を含む化学物質をその性質に基づいて分析できるようになるために、物質の定性、定量などに必要な基本的知識と技能を修得する。ここでは特に、物質の性質を理解するために、各種の化学平衡に関する基本的知識と測定の基本的技能を修得する。

〔教科書〕

『基礎薬学 分析化学 I』 改訂版 中村洋編集 廣川書店

〔参考書〕

『日本薬局方』

C 2（2）化学物質の検出と定量

1 単位 秋学期

阿部 芳廣 森 久和

〔授業科目の内容〕

試料中に存在する物質の種類および濃度を正確に知るために、代表的な医薬品、その他の化学物質の定性・定量法を含む各種の分離分析法の基本的知識と技能を修得する。

〔教科書〕

『基礎薬学 分析化学 I』 改訂版 中村洋編集 廣川書店 (森)

『基礎薬学 分析化学 II』 改訂版 中村洋編集 廣川書店 (阿部)

〔参考書〕

『物理系薬学 II 化学物質の分析』 日本薬学会編 東京化学同人

●C4化学物質の性質と反応

※「C4（1）化学物質の基本的性質」は芝共立キャンパスで開講されます。

C 4（2）有機化合物の骨格

1 単位 秋学期

須貝 威	庄司 満
東 利則	

〔授業科目の内容〕

医薬品および生体物質の基本となる有機化合物の構造、物性、反応性を理解するために、高校で学んだ有機化学を発展させた基本的な知識を習得する。さらに、基礎専門科目である有機化学へつなげ、基本構造、物理的性質、反応性に関する知識を習得する。

〔教科書〕

講義のつど、プリントを配布する。

〔参考書〕

『ベーシック薬学教科書シリーズ5 有機化学』化学同人
『マクマリー 有機化学概説第6版』東京化学同人

●C8生命体の成り立ち

※「C8 (1) ヒトの成り立ち」は芝共立キャンパスで開講されま
す。

C 8 (2) 生命体の基本単位としての細胞

1単位 秋学期

竹鼻 眞 岡 美佳子

〔授業科目の内容〕

近年の分子生物学関連の学問の進歩には目覚ましいものがあり、それらを理解するためにも本講義は重要である。細胞の構造、構成成分について学ぶ。

〔教科書〕

『標準細胞生物学』石川春律編集 医学書院

〔参考書〕

『細胞の分子生物学』中村桂子・松原謙一監訳 ニュートン
プレス

●C9生命をミクロで理解する

C 9 (1) 細胞を構成する分子

1単位 秋学期

園田 よし子 横田 恵理子

〔授業科目の内容〕

生命の活動単位としての細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子の構造、生合成、性状、機能に関する基本的知識を習得する。

〔教科書〕

『ヴォート基礎生化学』第2版 東京化学同人 2007年

〔参考書〕

- ・『ニュー生化学』富田基郎他編 廣川書店 2000年
- ・『カラー生化学』マシュズ他、清水孝雄ら訳 西村書店 2003年
- ・『スタンダード薬学シリーズ4 生物系薬学 II.生命をミクロに理解する』東京化学同人

選択必修科目

●基礎科目

F (3) 基礎物理

1単位 春学期

菅田 節朗

〔授業科目の内容〕

第一の目標は、薬学の専門科目を学ぶために必要な物理学の基礎知識を身につけることである。第二の目標は、物理学の

学習を通して、数理的な考え方を身につけることである。すなわち、物理学および数理系の薬学専門科目（物理化学、物理薬剤学、薬物動態学など）には共通した考え方が繰り返し出てくるので、その基礎的な考え方を、物理学の学習を通して習得することである。

〔教科書〕

『やさしく学べる基礎物理』基礎物理教育研究会編 森北出版

F (4) 基礎化学

1単位 春学期

森 久和 伊藤 佳子
森田 裕子 石川 さと子

〔授業科目の内容〕

薬学を学ぶ上で必要となる物理化学・物理薬剤学・有機化学の基本的知識について、専門科目との関連性を含めて習得する。

〔教科書〕

- ①『バイオサイエンス化学』新井孝夫ら著 東京化学同人
- ②『薬学物理化学』小野行雄編 廣川書店
- ③『薬学物理化学演習』野行雄編 廣川書店
- ④『基礎薬学 分析化学 I』改訂版 中村洋編 廣川書店
(授業計画中に使用する教科書の番号を記入してある)

〔参考書〕

伊藤『薬学教科書シリーズ 物理系薬学 I.物質の物理的性質』日本薬学会編 東京化学同人

石川『マクマリー生物有機化学 基礎化学編』第2版 菅原二三男監訳 丸善

F (5) 基礎生物

1単位 春学期

下遠野 久美子 横田 恵理子

〔授業科目の内容〕

主に高校で生物を履修してこなかった学生向けに開講するもので、生物に興味を持ち、生命とは何かを理解することを目指します。1年秋学期以降に開講する専門科目を理解するために重要な科目です。

〔教科書〕

『理系総合のための生命科学』東京大学生命科学教科書編集委員会編

〔参考書〕

ガイダンス時に提示する。

●第2外国語

※語学科目については、「平成21年度シラバス 履修の手引き」を参照してください。

選択科目

●F (1) 人と文化

※履修できる科目は、「薬学部履修案内」P.33 (薬学科) P.37 (薬科学科) の共通科目です。本書P.1からの【I日吉設置共通授業科目】を参照してください。

自由科目

●演習科目

F (9) 有機化学演習 I

1単位 春学期

須貝 威 庄司 満
東 利則

〔授業科目の内容〕

本講義はC4 (1) (2)「化学物質の性質と反応」に対応した具体的事例にもとづく演習問題を解き、解説を聴きながら理解不足や疑問に思う点を把握する。

〔教科書〕

プリント (演習問題) を使用する。

〔参考書〕

『ベーシック薬学教科書シリーズ5 有機化学』化学同人
『マクマリー 有機化学概説』第6版 東京化学同人

F (9) 有機化学演習 I

1単位 秋学期

須貝 威 庄司 満
東 利則

〔授業科目の内容〕

本講義はC4 (1) (2)「化学物質の性質と反応」に対応した具体的事例にもとづく演習問題を解き、解説を聴きながら理解不足や疑問に思う点を把握する。

〔教科書〕

プリント (演習問題) を使用する。

〔参考書〕

『ベーシック薬学教科書シリーズ5 有機化学』化学同人
『マクマリー 有機化学概説』第6版 東京化学同人

F (10) 化学演習

1単位 秋学期

伊藤 佳子

〔授業科目の内容〕

薬学物理化学系の科目を学ぶ過程で、化学の知識が不十分と思われる学生が対象となり、化学の基礎知識の向上を目的とする。C1 (2) の講義に沿った問題演習を中心に、視聴覚教材を用いて理解を深める。

〔教科書〕

『薬学物理化学演習』小野行雄編 廣川書店

〔参考書〕

『薬学物理化学』小野行雄編 廣川書店

『物理系薬学 I. 物質の物理的性質』日本薬学会編 東京化学同人

F (11) 生物学演習 I

1単位 秋学期

竹鼻 眞 岡 美佳子

〔授業科目の内容〕

薬学を学ぶ上で、生命現象を理解することは重要であり、本演習では生物系の専門科目の理解を深めるために生物を基本から復習し直すことを目的とします。

F (12) 物理学演習

1単位 秋学期

菅田 節朗

〔授業科目の内容〕

一つの目標は微分積分学 (特に微分方程式) を使って物理学を学ぶことである。これに習熟することは数理系薬学専門科目のよりよい理解にも役立つ。もう一つの目標は放射線物理学を学ぶことである。放射線物理学は物理学のさまざまな基礎知識を必要とし、物理学の応用力向上にも役立つ。

〔教科書〕

この科目のために新たに購入する必要はない (春学期の「基礎物理」および秋学期の「C1 (1)」で使用する教科書を用いる)。

基礎物理演習

1単位 春学期

菅田 節朗

〔授業科目の内容〕

選択必修科目である「F (3) 基礎物理」の補習科目である。教科書の問題を解くのを主とするが、簡単な復習、補足説明も行う。

〔教科書〕

『やさしく学べる基礎物理』基礎物理教育研究会編 森北出版

●他の自由科目

【薬学科】

※「薬学生のための体験学習プログラム」、「B (2) 早期体験学習 (企業・研究所)」は芝共立キャンパスで開講されます。

【薬科学科】

※「薬学基礎研究のための情報リテラシー」「B (2) 早期体験学習 (病院・薬局)」は芝共立キャンパスで開講されます。

IV 研究所設置講座、履修案内

1 メディア・コミュニケーション研究所

【メディア・コミュニケーション研究所について】

所長（法学部教授） 大石 裕

メディア・コミュニケーション研究所は、1946年に産声を上げた新聞研究室を母体とする歴史の長い研究所です。新聞研究室は、後に新聞研究所と名称を改め、1996年に創立50周年を迎えました。それを機に、名称もメディア・コミュニケーション研究所となりました。その背景には、放送が急速に発展し、新聞とともにマス・メディアの中心に位置するようになったこと、そしてインターネット時代を迎えるようになったことがあげられます。

新聞研究所は、第二次世界大戦前と戦争中、新聞報道を中心とする日本のマス・メディアが軍国主義に迎合した報道姿勢をとったことを憂いた連合国占領軍が、戦後の民主化に新聞を中心とする言論報道機関の果たす役割の大きさを考慮して、その遂行に貢献しうる人材の育成とともに、マス・メディア研究を行いうる研究機関の設置を幾つかの日本の大学に求めました。選ばれた大学の一つが慶應義塾であり、後に法学部の学部長になった米山桂三教授に研究所の運営が任されることになったというのがその発端であると伝えられております。

この目的は現在も継承されており、メディア・コミュニケーション研究所は、新聞、放送、通信社、出版、広告などのマス・メディア業界に就職を希望する学生のための教育機関として大きな役割を果たしてきました。また、メディアやコミュニケーションについて、教員と学生（この研究所では研究生と呼ばれています）が研究を進める機関でもあります。

実は、私も1979年にこの研究所（新聞研究所）を修了しました。私の研究生時代、研究所の規模は小さく、専任や非常勤の先生方に公私にわたって大変お世話になりました。文章作法では自分の作文力のなさを、研究会では基礎概念の理解不足を実感させられました。でも、そうした経験は、今貴重な財産になっています。現在の研究生も、私と同じような経験をしていることでしょう。

この研究所は、名前をあげれば誰でも知っているような著名なジャーナリストやメディア業界で活躍する人材を数多く輩出してきました。また、それほど目立たなくても個性的で優れた仕事をしているジャーナリスト、そしてマス・メディア企業の経営者になった修了生も多数います。こうした伝統は脈々と受け継がれています。もちろん、すべての修了生が、マス・メディアやその関連業界に進むわけではありません。しかし、この研究所で学んだこと、そして人とのつながりは、必ずやマス・メディア業界以外でも様々な形で生かされていくはずです。

研究生たちは今、従来型のマス・メディアだけでなく、様々なメディアを通じて情報を入手し、それを処理加工し、情報発信をしています。でもその基本はやはり、入手した情報をもとに「考え」、そして「表現する」ことだと思います。特に、批判的に「考える」ことの重要性は、高度情報社会の今でも変わら

ないのは当然です。その力をぜひ、この研究所で磨くようにしてください。そして、その成果を社会に還元するようにして下さい。それが私の心からの期待であり、希望です。

平成21年度慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所基礎科目（オープン科目）一覧

* 基礎科目（オープン科目）研究生以外も履修可能

設置場所	科 目 名	単位数	講 師
三田設置科目	マス・コミュニケーション論I・II（法学部併設）	春2 / 秋2	大石 裕
三田設置科目	マス・コミュニケーション発達史I・II（法学部併設）	春2 / 秋2	大井 眞二
三田設置科目	国際コミュニケーション論I・II（法学部併設）	春2 / 秋2	内藤 耕
三田設置科目	メディア社会論I（法学部併設）	春2	遠藤 薫
三田設置科目	メディア法制I	春2	山田 健太
三田設置科目	ジャーナリズム論I	春2	鳥谷 昌幸
三田設置科目	ジャーナリズム論II	秋2	伊藤 高史
三田設置科目	世論I・II	春2 / 秋2	井田 正道
三田設置科目	情報行動論I・II	春2 / 秋2	小城 英子
三田設置科目	異文化間コミュニケーションI・II	春2 / 秋2	藤田 結子
三田設置科目	メディア文化論I・II	春2 / 秋2	小川 葉子
三田設置科目	メディア産業と政策I	春2	菅谷 実
三田設置科目	メディア産業と政策II	秋2	豊嶋 基暢
三田設置科目	ジャーナリズム総合講座I（朝日新聞寄附講座）	春2	千葉 大石 伊藤
三田設置科目	ジャーナリズム総合講座II（朝日新聞寄附講座）	秋2	大阿久 大石 伊藤
三田設置科目	コミュニケーション調査法I	春2	有馬 明恵
三田設置科目	コミュニケーション調査法II	秋2	金山 智子
三田設置科目	フジテレビ寄附講座 テレビメディア論I・II	春2 / 秋2	池貝 根本 菅谷 豊嶋
三田設置科目	毎日コミュニケーションズ寄附講座I・II メディアの再編	春2 / 秋2	河内 孝
日吉設置科目	マス・コミュニケーション論I（法学部併設）	秋2	鳥谷 昌幸
日吉設置科目	社会心理学I・II（法学部併設）	春2 / 秋2	萩原 滋

日吉キャンパスに設置されている「基礎演習」の科目（研究生以外は履修不可）についての講義内容等は、メディア・コミュニケーション研究所で配布される案内を参照のこと。

* 基礎演習（研究生以外は履修不可）

時事英語 I

「英字新聞から学ぶ『世界の今』」 2 単位 春学期
【日吉設置科目】 原 学

〔授業科目の内容〕

日刊英字紙を読むことで、国内外の政治、経済、社会問題についてどのように報道されているかを学び、国際社会の動きを身近なものとして感じるようにしていく。時事英語独特の言い回しなどに触れていくことにより、英文読解力も徐々に高めていくことを目標にする。英文で書かれた身近な話題や事件などを要領よくポイントを押さえて短時間で把握できる訓練をする。英文記事の作成過程、紙面レイアウト作りなどの解説を通じてニュース・バリュー（価値）を理解できるようにしていく。

〔教科書〕

日刊英字紙など

時事英語 II

「英字新聞から学ぶ『世界の今』」 2 単位 秋学期
【日吉設置科目】 原 学

〔授業科目の内容〕

インターネットの飛躍的發展で英語が世界の共通語になった今日、英文 E メールで海を越えて交信する風景はごく日常的なものになってきた。英字情報に慣れ親しむことが以前にも増して有

益となる時代になってきたのだ。英語で情報をインプットし、様々な国の人と意思疎通する時代を念頭に、日刊英字紙の記事に定期的に接し、時事英語特有の表現も覚えながら、記事情報を短時間で効率的に把握するやり方を学ぶ。同時に邦字紙とのスタイル、視点、関心の違いも考察する。

〔教科書〕

日刊英字紙、英字週刊誌など

文章作法 I

「一般的な文章」 2 単位 春学期
【日吉設置科目】 内山 眞

〔授業科目の内容〕

「読んでみたい」と思わせる文章をどうやって身につけるか。それは、実際に文章を書いて、さまざまな指摘を受け、直されることによって可能になります。多量の文章でその実践を積みみます。

〔教科書〕

毎回、資料プリントを配布

〔参考書〕

特に指定しない

文章作法 II

「ジャーナリズムの文章」 2 単位 秋学期
内山 眞

〔授業科目の内容〕

ジャーナリズムの各側面に現れる文章の実践的な練習をします。

〔教科書〕

毎回、資料プリントを配布

〔参考書〕

特に指定しない

2 体育科目 (体育研究所)

体育科目は授業形式と評価方法により以下の4つに分類されます。

履修にあたっては学部ごとに取り扱いが異なりますので、確認の上、申告してください。

①体育学講義 半期2単位 「身体」「運動」「健康」等に関する講義 →P244～245へ

②体育学演習 半期1単位 講義+実習による演習形式の授業 →P246へ

③体育実技A 半期1単位 身体運動を中心にした実技 A～Dの4段階で評価する

1) ウィークリースポーツ: 週1回実施の授業

2) シーズンスポーツ: 夏季・春季休業中の集中授業

体育実技Aの成績評価方法は100点満点のうち、出席点が60点。欠席は1回につき5点減点、遅刻は1回につき3点減点します。評価対象者は全授業回数の2/3以上出席した者です。残りの40点を各授業担当者が技術・態度・理解の観点で配分します。

④体育実技B 半期1単位 身体運動を中心にした実技 合否 (pass/fail) の2段階で評価する

3) ウィークリースポーツ: 週1回実施の授業

4) シーズンスポーツ: 夏季・春季休業中の集中授業

ウィークリースポーツの種目には以下のものがあります。

区分		種目別	掲載頁	区分		種目別	掲載頁
球技	1	サッカー (A)	P248	個人 種目	17	水泳 (A)	P253
	2	フットサル (A)	P248		18	アクアエクササイズ (A)	P254
	3	ソフトテニス (A)	P249		19	体力アップコース (A)	P254
	4	テニス (A)	P249		20	ボディメイクエクササイズ (A)	P254
	5	卓球 (A)	P250		21	エアロビクス (A)	P254
	6	バドミントン (A)	P250		22	ダンス (A)	P255
	7	バスケットボール (A)	P251		23	ボディーコンディショニング (A)	P255
	8	バレーボール (A/B)	P251		24	ウォーキングエクササイズ (A)	P255
	9	ハンドボール (A)	P251		25	ジョギング (A)	P255
	10	野球 (A)	P252		26	ゴルフ (A)	P256
	11	軟式野球 (A)	P252		27	自動車 (A)	P256
武道・ 格技	12	合気道 (A)	P252		28	陸上競技 (A)	P256
	13	柔道 (A)	P252		29	アーチェリー (A)	P257
	14	剣道 (A)	P253		30	ニュースポーツ (A/B)	P257
	15	フェンシング (A)	P253		31	フライングディスク (A)	P257
	16	ボクシング (A)	P253				

シーズンスポーツの種目には以下のものがあります。日数・費用の有無などがそれぞれ異なります。

実施日 (学期)	科目	定員	実施期間	実施場所	初日 集合場所	備考	掲載頁
7・8月 (春)	体育実技A (空手)	40	7/29(水)～8/5(水) 日曜を除く	空手道場 (虻谷)	同左 10:00集合		P258
	体育実技A (弓術)	40	7/29(水)～8/5(水) 日曜を除く	志正弓道場 (虻谷)	同左 9:00集合	500円 (教本) 初日徴収	P258
	体育実技A (水泳 (オープン ウォータースイミング)) (合宿)	25	7/30(木)～8/2(日)	体育会館山合宿所 (千葉県館山市)	同左	※30,000円 交通費除く	P258
	体育実技B (山岳) (合宿)	20	7/31(金)～8/3(月)	北アルプス槍ヶ岳周辺 (長野県)	松本駅 9:45集合	※37,000円 交通費除く	P259
	体育実技B (馬術) (合宿)	32	7/31(金)～8/3(月)	望月馬事公苑 (長野県)	佐久平駅 10:00集合	※42,000円 交通費除く	P259
	体育実技B (ヨット) (合宿)	40	7/30(木)～8/2(日)	三浦郡葉山町 (神奈川県)	逗子駅 13:00集合	※37,000円 交通費除く	P260
8・9月 (秋)	体育実技B (ビーチバレー)	30	8/5(水)～10(月)	第3校舎下 バレーボールコートおよび 湘南サーブビレッジ	第3校舎下 バレーボールコート 13:00集合		P260
	体育実技B (アウトドア レクリエーション) (合宿)	40	9/1(火)～5(土)	立科山荘 (長野県)	同左	※27,000円 交通費除く	P261
2月 (秋)	体育実技B (スキー) (合宿)	120	2/8(月)～11(木)	志賀高原発哺 (長野県)	同左	※45,000円 交通費除く	P261
	体育実技B (スケート) (合宿)	40	2/7(日)～10(水)	軽井沢風越アリーナ (長野県)	未定	※28,000円 交通費除く	P261

※合宿種目費用納入

納入日時 4月22日(水)～5月11日(月) 8:45～16:45

納入場所 日吉学事センター総合窓口

(費用が納入期間に間に合わない場合は、窓口で相談してください。)

体育学講義

体育学講義

「スポーツと身体 (からだ) の基礎理論」

金曜 3 限 春

吉田 泰将

〔授業科目の内容〕

健康の大切さを実感するのは、その肝心な健康を損なってしまったときでしょう。現代社会において、私達は様々なストレスに曝されながら生活をしています。そこで、本講義では身体のメカニズムやスポーツ・トレーニングの基礎知識を学習することにより、「心身の状態を常に良好に保つ」方法を身につけることを目的とします。日々の生活をいかに送っていくのか、どのように生活をプログラムしていくのか、一緒に考えて行きましょう。

体育学講義

「スポーツの効用を科学的にみる
(スポーツ総論)」

火曜 3 限 春

村山 光義 佐々木 玲子
近藤 明彦 吉田 泰将

〔授業科目の内容〕

スポーツは社会の中で文化として多様な姿を持ちますが、その中心は我々が身体活動を行うことです。体育・スポーツ活動は、ヒトの身体 (こころとからだ) に多くの影響を与えます。本講義はこうした体育・スポーツ活動が我々に与える効用についてオムニバス形式で解説します。身体に関する知識を得るとともに、人文・社会・自然の科学的視点から身体活動実践の現代的意義を考えます。スポーツ実施・指導および教育場面に幅広く役立つ内容 (教職や体育会・スポーツサークルのリーダーを目指す人に適切な内容) となるでしょう。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業の中で随時紹介します。

体育学講義

「スポーツの技と文化を探る」

火曜 4 限 春

植田 史生 松田 雅之
村山 光義

〔授業科目の内容〕

2008 年北京オリンピックでジャマイカのウサイン・ボルト選手が 100m 走で 9 秒 69 という驚異的なタイムで優勝した。彼の速さの秘密はどこにあるのだろうか？また、2 大会連続でメダルを獲得したハンマー投げの室伏広治選手。彼の美しい回転動作はど

のように完成しているのでしょうか？スポーツを行う人も、観る人も、オリンピックやワールドカップに現れる究極の身体に興味をそえられるのではないのでしょうか。

人間の身体能力によって極め、伝承されてきた「技」「技術」はスポーツ文化の重要な構成要素であり、人類の遺産といえるでしょう。本講義は、人間のスポーツ技能の獲得や発達を基礎に置き、スポーツの技と文化を幅広く解説することを目的としています。世界の多様なスポーツの歴史と変遷、スポーツ技術やトレーニング方法の最前線、日本のスポーツ文化などを解説し、技の伝承という営みのあるスポーツ文化について理解します。そして、そこから競技者に、スポーツ愛好家に、またスポーツを観るファンに示唆されることは何か？ということについても、共に考えたいと思います。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

授業の中で紹介します。

体育学講義

「アウトドアを考える」

木曜 3 限 秋

村山 光義

〔授業科目の内容〕

1999 年 8 月、神奈川県玄倉川の河原でキャンプをしていた人々が大雨による増水に流され、13 名もの犠牲者を出す大事故が起きてしまった。また、2004 年は台風や地震による自然災害が日本列島を震撼させた。被災地では大自然の中で厳しい避難生活が続いた。こうした事故や災害から我々は何を学ぶべきなのだろう。休日ともなると、思い思いのキャンプ道具や遊び道具を車に積んで、海や山に出かける人々で道路は渋滞している。町に出ればパタゴニアやノースフェイスといったアウトドア・ブランドに身を包んだ人々が闊歩している。こうした現代の「アウトドア文化」は、レジャーであり、スポーツであり、ファッションである。しかし、そこには本来自然の中に生まれ育って来た我々人間が失いかけている何かが映し出されているのではないだろうか。ある調査では、都会の人間の 7 割以上が自然に対して「中にいるとほっとする」「出かけるのが好き」「安らぎの場である」と感じている。アウトドアでの活動が我々に魅力的で有益なものであることも事実である。本講義では「アウトドア」を Quality of Life (生活の質) を高めるライフスタイルのひとつとして享受していく上で、今何をしていくべきかを一緒に考えていきたい。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

授業の中で随時紹介します。

体育学講義

「健康と運動の科学」

火曜 3 限 秋

近藤 明彦

齊藤 郁夫

辻岡 三南子

和井内 由充子

〔授業科目の内容〕

高度な文明化が達成された現代を生きる我々が健康な生活をおくるために必要な知識を体系的に学んでいく。本講座では、人体の主要な臓器の機能、健康と生活習慣（運動、食事、喫煙、飲酒など）との関連を学び、健康な生活習慣が健康の保

持増進に必要なことを理解する。疾病に関しては、青年期に正確な知識を身につけておくことが特に重要なものを取りあげる。さらには運動が健康とどのように係わるかについて理解する。

〔教科書〕

指定しない。

体育学講義

「スポーツ心理学の世界」

木曜 5 限 春

近藤 明彦

〔授業科目の内容〕

20 世紀はスポーツが大きく飛躍した世紀でした。そのスポーツの発展とともにスポーツ心理学が誕生し最近急速にその広がりが増えています。運動心理学・体育心理学・スポーツ心理学といった分野から現在ではスポーツの実施と健康の関連が着目され健康運動心理学という新しい領域も広がっています。この授業では、スポーツに関連する様々な心理学の分野からのアプローチを概観し、スポーツ実施に伴う心理的側面で現在どのような知見があるかを学びます。

〔教科書〕

特に指定しません。

体育学講義

「現代社会とスポーツ」

金曜 3 限 秋

加藤 大仁

〔授業科目の内容〕

本来スポーツ活動は、私的な領域に属するものであり、公的な機関が介入すべきではないと論じられることが多い。しかし現実には、スポーツは社会の中に制度化されており、政治と全く無関係には存在しえない。

そこで、本講義では、主としてスポーツと政治の関係や、スポーツを通じて垣間見られる現代社会の問題点について、具体例を示しながら解説する。

〔教科書〕

特に指定しない。適宜講義資料プリントを配布する。

体育学演習

体育学演習

「トレーニング演習」

火曜 4 限 春
山内 賢

〔授業科目の内容〕

「トレーニング演習」では、体を鍛えるために必要なトレーニング方法論やスポーツ栄養学に関する内容について学習します。また、スポーツ・レクリエーション現場などで発生する損傷や疾病に対する予防法や心肺蘇生法を含む応急処置法に関する基礎知識を身に付けることもあわせて授業内容を展開していきます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

体育学演習

「ベーシックライフサポート（救急法の基礎）」

火曜 4 限 秋
山内 賢

〔授業科目の内容〕

事故にであったり、怪我をしてしまった場合、その直後の処置がとても大切です。この授業の目的は、第一に「事故防止」の考え方を身につけてもらうこと。第二に緊急時に備え、各種の処置を実際に身につけることにあります。いつ、どこで、どのような事故にあったとしても、医師に患者を手渡すまでに落ち着いて適切な処置ができるような理論と対処の方法について、実技を伴い学んでもらいます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

体育学演習

「からだの動きをはかる（バイオメカニクス）」

木曜 4 限 春
佐々木 玲子 村山 光義

〔授業科目の内容〕

人間の日常的な動きやスポーツの動作などについて、バイオメカニクスの手法を用いて測定・分析することによって、客観的、定量的に動きを分析し、理解していきます。本年度は画像による動作分析を中心に行います。

対象とする人の動きをビデオ撮影し、それを分析することによってその運動の特徴を探ります。自分たちが興味ある動きをとりあげ、実際に自分たちを対象として測り、分析してみます。

私たちはどのように身体を使って動いているのか、巧い人の動きはどのようにになっているのか、動きのコツとは何か、といったことにデータの分析から迫っていきます。

（参考）これまでにとりあげた運動の事例

- ・野球のピッチング動作
- ・合気道の受身動作
- ・剣道の素振り動作

- ・空手の突き動作
- ・バッティング動作
- ・ハードル走
- ・サッカーのキック動作
- ・ジャンプ動作、など

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

授業内で適宜紹介します。

体育学演習

「スポーツメンタルトレーニング」

木曜 5 限 秋
近藤 明彦

〔授業科目の内容〕

スポーツにおけるメンタルトレーニングの重要性が指摘されている。この講義では体力のトレーニングや技術の練習との係わりを基本に現在行われているメンタルトレーニング技法の理論と実際について学ぶことを目的とする。

〔教科書〕

指定しない。

体育学演習

「テニスを更に楽しもう」

木曜 4 限 秋
村松 憲

〔授業科目の内容〕

テニスをしている方を対象に、テニスを更に楽しむために、戦術面、技術面、心理面、体力面などを幅広く学びます。また、テニスについて自主的に考える力を身につけます。

〔服装・携帯品・その他〕

原則として更衣は必要ありません。体育研究所の講義室や動作解析室で授業を行います。

体育学演習

「バドミントンを科学する」

木曜 5 限 秋
加藤 幸司

〔授業科目の内容〕

バドミントンのシャトルを打ち合うという行為の中で、同じ現象は2度と起こらない。すべてが1回限りの運動である。だからわれわれは思ったようにシャトルを打ち返すために、毎回変化する状況の中で、飛来するシャトルに対しその都度身体やラケットを柔軟に操作しているのである。こうした1回限りの運動で実際に起こっている現象を、できるだけ客観的に捉えながら、バドミントンについて議論していく。

体育学演習

「動くからだのしくみ」

火曜 4 限 秋
奥山 静代 佐々木 玲子

〔授業科目の内容〕

普段何気なく動いている私たちのからだですが、そのしくみはなかなかうまくできているものです。この授業では、あらためてそのしくみにアプローチし、自分自身のからだを知ることを目的とします。からだが太る・痩せるとは？なぜ心臓が速く動くの？日常生活行動の消費カロリーってどのくらい？どうすれば巧く動けるの？

この授業では「動くからだのしくみ」を理解するために、主に生理学的手法を用いた様々な測定を行い、実際に体験しながら、巧みなしくみが備わっている自分たちのからだに対する理解を深めます。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

授業内で適宜紹介。

体育実技A/B (ウィークリー・スポーツ)

●ウィークリー・スポーツ 【球技】

体育実技 A（サッカー）

（初心者、経験者を問わず） 月 2、月 3、火 2、火 3

岩崎 陸

〔授業の目的〕

チームスポーツであるサッカーを通して、自律した個人が、チームメートと連携して、目的を達成することの楽しさを学ぶ。「ゴールを守る」そして「ゴールを奪う」という目的のために、必要な情報を集め、状況判断し、チームメートと連携してプレーを実行するまでの過程を理解し、そのプレーを実現するための基本技術・戦術を習得する。

〔実施場所〕

下田グラウンド

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる服装とシューズ

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

記念館使用可能な場合は、フットサル。記念館が使用不可能な場合は、講義あるいはビデオ鑑賞。

体育実技 A（サッカー）

（初心者・経験者を問わず）

木 2 春、木 3 春

野々村 芳和

〔授業の目的〕

サッカーをプレーする事の楽しさとともに、新たなサッカーの魅力を発見する。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる服装とシューズ

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

講義またはビデオ鑑賞

体育実技 A（サッカー）

（初心者・経験者を問わず）

木 2 秋、木 3 秋

須田 芳正

〔授業の目的〕

世界のスポーツであるサッカーの魅力、楽しさを体験するとともに、競技力向上を目指すことを目的とする。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる服装とシューズ

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

教室にて講義あるいはビデオ鑑賞。

体育実技 A（サッカー）

水 2、水 3、金 1、金 2

李 宇諤

〔授業の目的〕

チームスポーツであるサッカーを通してコミュニケーションを理解する。

生涯スポーツとしてサッカーを楽しんでいけるように、基本的な技術及び戦術を習得する。

〔実施場所〕

下田グラウンド

〔服装・携行品・その他〕

運動できる服装とサッカー用のシューズ

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

小雨の場合は、授業は行います。但し、台風とか大雨、雷の場合は、中止する予定です。

それについて、ガイダンスの時、説明します。

体育実技 A（フットサル）

（初級者）

金 1 春

大嶽 真人

〔授業の目的〕

フットサルに必要とされる基本技術の習得、コミュニケーションを通じてのチームワークの獲得を目指し、フットサルを生涯スポーツとして身につけることを目的とする。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

フットサルのできる服装。シューズは室内用でゴム底が黒くないもの。

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

教室にて講義およびビデオ

体育実技 A（フットサル）

金 2 春、金 3 春

大嶽 真人

〔授業の目的〕

フットサルの必要とされる基本技術と基本戦術の習得、コミュニケーションを通じてチームワークの獲得を目指し、フットサルの特性を理解すること、生涯スポーツとして身につけることを目的とする。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

フットサルのできる服装。シューズは室内用でゴム底が黒くないもの。

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

教室にて講義およびビデオ

体育実技 A(フットサル)

（初心者・経験者を問わず）

金 1 秋、金 2 秋、金 3 秋

須田 芳正

〔授業の目的〕

いつでも、どこでも、誰もが気軽にプレーすることができるフットサルの楽しさを体験するとともに、競技力向上を目指すことを目的とする。

〔実施場所〕

第 3 校舎下 フットサルコート

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる服装とシューズ
〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕
教室にて講義あるいはビデオ鑑賞。

体育実技 A（ソフトテニス）

木 2
横山 浩一

〔授業の目的〕

日本で生まれ、現在国際化が進展し、アジア大会の正式種目ともなっている、ソフトテニスの楽しさを、授業で体験し、生涯スポーツとして実践して行く動機（キッカケ）作りを行う。

〔実施場所〕

日吉下田地区 体育会ソフトテニス部コート

〔服装・携行品・その他〕

運動可能な服装・テニスシューズ・ラケット（貸出有り）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

教室で

1. ルール・歴史・理論
2. ゲームビデオの鑑賞

体育実技 A（テニス）

月 1（初級）、月 2（中級）
加藤 大雄

〔授業の目的〕

生涯スポーツとしてのテニスの基本的技術と、ルールの習得。

〔実施場所〕

蝸谷インドアテニスコート（更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。）

〔服装・携行品・その他〕

テニスラケット、テニスシューズ、運動ができるウェア

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

原則としてインドアコートを使用しますが、場合により教室を使用することがあります。必ず、掲示板で確認してください。

体育実技 A（テニス）

月 3（中級）、金 2（中級）、金 3（中級）、金 1（初級）
手嶋 智佳子

〔授業の目的〕

テニス技術の向上並びに試合での戦術。

〔実施場所〕

蝸谷インドアテニスコート（更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。）

〔服装・携行品・その他〕

- ・運動の出来る服装（出来ればテニスウェアが望ましい）
- ・テニスシューズ（ハードコート用又はオールコート用）
- ・テニスラケット

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

- ・原則としてインドアコートを使用しますが、場合により教室を使用することがあります。必ず掲示板で確認してください。

体育実技 A（テニス）

（初級）
火 3
竹村 りょうこ

〔授業の目的〕

テニスの技術習得と基礎体力の向上、心技体の向上

〔実施場所〕

蝸谷インドアテニスコート（更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来てください）

〔服装・携行品・その他〕

硬式テニスラケット、テニスシューズ（ハードまたはオールコート用）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

原則としてインドアコートを使用しますが、場合により教室を使用することがあります。必ず掲示板で確認してください。

体育実技 A（テニス）

（中級）
火 1、火 2
竹村 りょうこ

〔授業の目的〕

テニスの技術習得と基礎体力の向上、心技体の向上

〔実施場所〕

蝸谷インドアテニスコート（更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来てください）

〔服装・携行品・その他〕

硬式テニスラケット、テニスシューズ（ハードまたはオールコート用）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

原則としてインドアコートを使用しますが、場合により教室を使用することがあります。必ず掲示板で確認してください。

体育実技 A（テニス）

（中級）
水 3
松本 健太郎

〔授業の目的〕

テニスの基礎的な技能を習得する。打球技術を向上し、ゲームで実践できるレベルを目指す。また、生涯スポーツの一つとしてテニスを楽しめるようにルール、マナーや歴史を理解し、定期的に運動を行う習慣を身につける。

〔実施場所〕

蝸谷インドアテニスコート（更衣を日吉記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。）

〔服装・携行品・その他〕

ラケット、シューズは各自で準備する。（テニスシューズはオールコート用またはハードコート用）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

原則としてインドアコートを使用しますが、場合により教室を使用することがあります。必ず掲示板で確認してください。

体育実技 A（テニス）

（初級）
水 1、水 2
松本 健太郎

〔授業の目的〕

テニスの基礎的な技能を習得する。打球技術を身につけて、楽しくゲームを行えるレベルを目指す。また、生涯スポーツの一つとしてテニスをプレーできるように、ルール、マナーや歴史を理解し、定期的に運動を行う習慣を身につける。

〔実施場所〕

蝸谷インドアテニスコート（更衣を日吉記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。）

〔服装・携帯品・その他〕

ラケット、シューズは各自で準備する。（テニスシューズはオールコート用またはハードコート用）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

原則としてインドアコートを使用しますが、場合により教室を使用することがあります。必ず掲示板で確認してください。

体育実技 A（テニス）

（初級）

木 1、木 2

村松 憲

〔授業の目的〕

テニスを楽しむために必要な技術・エチケット・ルールを身につけます。

〔実施場所〕

蝸谷テニスコート（主としてインドアコート 2 面を使用しますが、アウトドアコートを使用することもあります）。更衣を日吉記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。

〔服装・携帯品・その他〕

テニスシューズ（ハードコート用またはオールコート用）・テニスラケット・運動に適した服装（シューズ、ラケットの貸し出しはありません）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

原則としてインドアコートを使用しますが、場合により教室を使用することがあります。雨天時は必ず掲示板をご覧ください。

体育実技 A（テニス）

（中級）

木 3

村松 憲

〔授業の目的〕

試合を楽しむために役立つ技術・戦術を身につけます。エチケット、ルールを再確認します。

〔実施場所〕

蝸谷テニスコート。インドアコートとアウトドアコートの両方を使用する予定です。更衣を日吉記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。

〔服装・携帯品・その他〕

テニスシューズ（ハードコート用またはオールコート用）・テニスラケット・運動に適した服装（シューズ、ラケットの貸し出しはありません）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

原則としてインドアコートを使用しますが、場合により教室を使用することがあります。雨天時は必ず掲示をご覧ください。

体育実技 A（テニス）

（初級）

月 4

坂井 利彰

〔授業の目的〕

テニスの楽しさを体感しながら、しっかりと基本を身に付けて最終的には実戦も交えた練習を行います。

日本トッププロの練習も見学して、よりテニスを好きになって欲しいと思います。また、明るく楽しくテニスと接して参加者同士のコミュニケーションも深めて欲しいと思います。

〔実施場所〕

蝸谷インドアテニスコート（更衣を日吉記念館で行い、荷物を全て持ってコートへ来て下さい。）

〔服装・携行品・その他〕

テニスシューズ（ハードコート用又はオールコート用）・テニスラケット・運動に適した服装（シューズ、ラケットの貸し出しはありません）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

原則としてインドアコートを使用しますが、場合により教室を使用することがあります。必ず掲示板で確認してください。

体育実技 A（卓球）

月 2、月 3

松田 雅之

〔授業の目的〕

手軽に楽しめる卓球の特性を活かし、それぞれのレベルにあった技術の向上とゲームの展開を目的とする。

〔実施場所〕

卓球場

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・室内シューズ・ラケット（持っている人は持参）

体育実技 A（卓球）

経験の有無は問いません

火 2、火 3、木 2、木 3

木林 弥生

〔授業の目的〕

1. 卓球を通して身体を動かすことの楽しさを体験する。
2. 卓球の基礎知識と技術を習得する。
3. 授業を通じて級友とのコミュニケーションを深める。

〔実施場所〕

卓球場

〔服装・携帯品・その他〕

運動ができる服装、室内用運動靴、タオル

体育実技 A（バドミントン）

（初級）

月 1 春、月 3 春、金 1 春、金 3 春

加藤 幸司

〔授業の目的〕

バドミントンの基礎技術を身につけ、ゲームを楽しむ。また審判法も学ぶ。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

バドミントンをするための常識的な服装とシューズを必ず用意すること。

裸足での授業参加は認めない。

体育実技 A（バドミントン）

（中級・競技としてのバドミントン経験者）

月 2 春、金 2 春

加藤 幸司

〔授業の目的〕

バドミントンの技術を再確認しながら、技能を向上させ、より高いレベルでゲームを楽しめるようにする。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

バドミントンをするための常識的な服装とシューズを必ず用意し、自分のラケットを使うこと。

体育実技 A（バスケットボール）

火1春、火2春、火3春、水1春、水2春、金1春、
金2春
加藤 大仁

〔授業の目的〕

バスケットボールを通じて基礎体力の向上を図ると同時に、基本的な技術・戦術の理解・習得を目標とする。初級者から経験者まで、あらゆるレベルの学生の履修を認めるが、主として体育の授業以外ではバスケットボールに取り組んだことのない学生を念頭においた授業内容となっている。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

体育実技 A（バスケットボール）

（経験者コース）

水3春、金3春
加藤 大仁

〔授業の目的〕

基礎体力の向上を図ると同時に、基本的なマンツーマン・オフフェンス/ディフェンスの考え方やプレーの習得を目指す。対象は、小・中・高の何れかの時期にクラブ活動等を通じて、少なくとも3~4年程度かそれ以上の期間バスケットボールに取り組んだことのある学生とする。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

体育実技 B（バレーボール）

木2、木3、木4
田中 知樹

〔授業の目的〕

バレーボールの技術向上

〔実施場所〕

第3校舎下バレーボールコート

〔服装・携帯品・その他〕

スポーツウェア及びシューズ

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

バレーボールに関する講義

体育実技 B（バレーボール）

火2、火3、金2
石手 靖

〔授業の目的〕

バレーボールの技術向上

〔実施場所〕

火2春、火3春は記念館。

火2秋、火3秋、金2は第3校舎下バレーボールコート

〔服装・携帯品・その他〕

スポーツウェア及びシューズ

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

バレーボールに関する講義

体育実技 A（バレーボール）

水3、金3
村山 光義

〔授業の目的〕

バレーボール実践における技能向上と戦術の理解を通じてバレーボール競技を理解するとともに、リーダーシップとメンバーシップを発揮したコミュニケーション能力を養う。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート（水3春のみ記念館）

〔服装・携帯品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴（必須）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

技能・戦術理解のための講義

体育実技 B（バレーボール）

水2
村山 光義

〔授業の目的〕

バレーボールゲームを用いてメンバー相互のコミュニケーションを深め、その過程における自己表現・リーダー / メンバーシップ等を発揮し合うグループワークを実践する。

〔実施場所〕

春学期は記念館。

秋学期は第3校舎下 バレーボールコート。

〔服装・携帯品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴（必須）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

バレーボール文化に関する講義

体育実技 A（バレーボール）

月2、月3、月4
山田 美絵子

〔授業の目的〕

ボールを落とさなければ相手に得点を与えないですむという「バレーボール」の種目特性を活かしコミュニケーションをとりながら、ボールを落とさぬようカバーリングし、個人の技術の向上と集団での知識と技能の習得をねらいとする。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

〔服装・携帯品・その他〕

「バレーボール」を行うのに相応しい服装（ジャージ、Tシャツ、短パン等）、シューズ（紐のついたものがよい）、タオル等（サングラス、帽子も可）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

記念館の会議室または教室でルールや審判法、ゲームの進め方、テクニック向上、チーム作りに関する講義、またはVTR。

体育実技 A（ハンドボール）

（経験者を問わない）

水3春、木2春、木3春
山内 賢

〔授業の目的〕

ハンドボール競技に必要な運動技術を学んでもらうとともに、ハンドボールの動きを構成している、跳ぶ、走る、投げるといった

運動能力の向上を目指す。併せてその学習過程において、競技態度や安全性等の社会性の育成を図る。同時に、授業に参加しているもの同志のコミュニケーションの充実により、ハンドボールの楽しさを学んでもらう。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

運動のできる服装、タオル、室内シューズ（土足厳禁）、水分・栄養補給用のドリンク類、（ただし、実施フロア内での飲食厳禁、フロア外は可。）

体育実技 A（野球）

（初心者）

月 2

綿田 博人

〔授業の目的〕

硬球を握り、野球の楽しさを知ることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携行品・その他〕

ユニフォーム又はトレーニングウェア・帽子・グラブ・アップシューズ

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

室内練習場又はビデオ

体育実技 A（野球）

（経験者）

月 3

綿田 博人

〔授業の目的〕

各個人の技術のレベルアップを図り、またチームプレーを習得し、エンジョイベースボールに触れることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携行品・その他〕

ユニフォーム、又はトレーニングウェア・帽子・アップシューズ・グラブ

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

室内練習場又はビデオ

体育実技 A（野球）

（初心者）

火 2

菊地 啓太

〔授業の目的〕

硬球を握り、野球の楽しさを知ることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携帯品・その他〕

ユニフォームまたはトレーニングウェア、帽子、グラブ、アップシューズ

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

室内練習場又はビデオ等を用いた講義

体育実技 A（野球）

（経験者）

火 3

菊地 啓太

〔授業の目的〕

各個人の技術のレベルアップを図り、またチームプレーを習得し、エンジョイベースボールに触れることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携帯品・その他〕

ユニフォームまたはトレーニングウェア、帽子、グラブ、アップシューズ

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

室内練習場又はビデオ等を用いた講義

体育実技 A（軟式野球）

木 3

織戸 晃

〔授業の目的〕

野球の基本技術及びチームプレイの習得を通じて、チームにおける個人の役割を認識し、野球の技術的向上を実践し、共同作業における人との関係を学ぶこと。また、生涯を通じて軟式野球にかかわり楽しんで貰うことを目的とする。

〔実施場所〕

日吉台野球場（蝮谷）

〔服装・携帯品・その他〕

野球用ユニフォームが望ましいがトレーナー等の運動着でも可。野球用スパイクが望ましいが、運動靴でも可。グローブ、帽子、タオル、夏季のスポーツドリンクは持参のこと。

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

野球のルールの説明・質疑応答、守備・打撃についての説明・質疑応答等を教室で実施する。

●ウィークリー・スポーツ【武道・格技】

体育実技 A（合気道）

木 4

藤平 信一

〔授業の目的〕

合気道の実技を通して、心と身体からだの正しい使い方（心身統一）を習得する。

心身統一を日常生活で活用できるように習得する。

大切な場面での心の落ち着きを習得する。危険に対する察知と対応を習得する。

〔実施場所〕

蝮谷合気道場

〔服装・携帯品・その他〕

道着は貸与・Tシャツ（女子のみ）・タオル（汗をふくため）・道着を持ち運ぶバッグ、等。

体育実技 A（柔道）

（初心者、経験者を問わない）

水 3、金 2、金 3

男女共習）

安藤 勝英

〔授業の目的〕

柔道を通して技術、体力の向上を図り、これから生涯スポーツとして取り組むことの出来るよう行う。中でも礼法、受身、正しい技の掛け方等をより深く解説する。

また、見る柔道の立場から、国際、国内ルールを説明する。更に、昇段希望者にはこの授業の中で実施指導する。

〔実施場所〕

体育館柔道場

〔服装・携行品・その他〕

柔道着（希望者には貸与する）・タオル・Tシャツ（女子のみ）

体育実技 A（剣道）

（初心者から有段者まで）

火 2、木 2、木 3

吉田 泰将

〔授業の目的〕

剣道をはじめて行うものから、有段者まですべてのレベルを対象に、初心者は一級に、有段者はさらにひとつ上の段に挑戦するために、基本的な技術、知識、日本剣道形を学習します。それぞれのレベルの人が協力して、クラス全体の実力アップを図りましょう。そして、生涯を通じて実践できる剣道をしっかりと身につけましょう。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道着・袴（運動に相応しい服装も可）・手ぬぐい

※剣道着（防具）・竹刀は準備しています。

体育実技 A（剣道）

（経験は問わない）

水 2、水 3、金 3

植田 史生

〔授業の目的〕

剣道は相手を尊重する立場から礼儀を重んじ、技術の基礎となる姿勢と構え（心構え、身構え）から、いろいろな「技」を用いて「有効な打突」を競い合う運動である。この剣道の特性を通じて豊かな人間性をつくりあげることが目的とする。また、このクラスにおいては上級者、初級者に分け技術レベルに応じて正しい剣道を学習する。上級者は初級者への指導法も含め技術の向上と高度な内容を持った剣道をねらいとする。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道の防具、竹刀、剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の人は、運動できる服装とし、防具、竹刀は貸与する。手ぬぐいは全員持参する事。

体育実技 A（剣道 日本剣道形クラス）

（経験は問わない）

金 2

植田 史生

〔授業の目的〕

日本剣道形は、大正元年（1912 年）10 月に制定、大正 6 年（1917 年）9 月に加注を行い、昭和 8 年（1933 年）5 月に加注を増補した。現在は全てこれを定本として実施している。打太刀（うちだち）、仕太刀（しだち）の二名によって実施され、「太刀の形」が七本、「小太刀の形」が三本、計十本の技によって構成されている。この剣道形を学習する事により、

1. 正しい打突の筋を知る。
2. 正しい打撃の間合いを知る。
3. 正しい身体のさばきを知る。
4. 気力が養われる。

これらの事を体得でき、現代剣道に果たす役割は大きいと考える。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の人は、運動できる服装とし、木刀、形用模擬刀は貸与する。

体育実技 A（フェンシング）

（初級から上級まで）

木 2

田中 由美子

〔授業の目的〕

ヨーロッパに起源をもち、発達してきたフェンシングの基本技術を習得し、試合形式の練習でさらに興味を深めていく。

〔実施場所〕

蝮谷フェンシング場

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア（下は必ず長ズボン）、ハイソックス、シューズ（滑りにくいもの）

体育実技 A（ボクシング）

（初級～上級）

金 3、金 4

島田 桂太郎

〔授業の目的〕

ボクシング基本実技の習得・体験

〔実施場所〕

蝮谷ボクシング道場

〔服装・携行品・その他〕

運動着・室内用シューズ・バンデージ又は軍手

●ウィークリー・スポーツ【個人種目】

体育実技 A（水泳）

月 2、月 3、火 3

森下 愛子

〔授業の目的〕

生涯にわたって水泳を楽しむための技術の習得と体力の向上。また、水の事故から身を守るための知識を学ぶ。

〔実施場所〕

協生館プール

〔服装・携行品・その他〕

水着、スイミングキャップ、ゴーグル、タオル

体育実技 A（水泳）

火 2、水 3、木 2、木 3、金 2、金 3

島海 崇

〔授業の目的〕

生涯にわたって水泳を楽しむための技術の習得と体力の向上。また、水の事故から身を守るための知識を学ぶ。

〔実施場所〕

協生館プール

〔服装・携帯品・その他〕

水着、スイミングキャップ、ゴーグル、タオル

体育実技 A（アクアエクササイズ）

水 2
板垣 悦子

〔授業の目的〕

浮力・水圧・抵抗等、水の特性を最大限に利用して、アクアビクスを中心に、筋コンディショニング、ゲーム等を取り入れながら水中エクササイズを実施することにより、心肺機能の向上はもちろんのこと、健康増進やシェイプアップを目指しながら、水中運動による爽快感とリフレッシュ感を体験する。

〔実施場所〕

協生館プール

〔服装・携帯品・その他〕

水着・スイミングキャップ・タオル・水分補給用の飲料水（適宜）

体育実技 A（体力 UP コース）

月 2、月 3、木 2
牛山 潤一

〔授業の目的〕

基礎的なトレーニングを通じて、人間の身体の構造・機能を理解するとともに、個々の目的に即した正しいトレーニングプランを考案・実践すること。

〔実施場所〕

協生館トレーニングルーム

〔服装・携帯品・その他〕

運動に適した服装ならびに靴を持参すること

体育実技 A（体力 UP コース）

火 2、火 3 春、水 2、金 2、金 3
山内 賢

〔授業の目的〕

この授業は、①人間の体力を構成する筋力・パワー・柔軟性・持久力等をトレーニングマシンやフリーウェイトを用いてバランスよく鍛えること、②同時にトレーニングによる効果や体組成（筋肉量や体内脂肪量等）の変化を自己観察するといった、トレーニング理論や方法を実践的に学ぶ内容で構成した。授業の目的は、自己体力の向上と改善を個々のレベルに合わせて管理する、ボディビルディングとコンディショニングのすすめにある。

〔実施場所〕

協生館トレーニングルーム

〔服装・携帯品・その他〕

運動のできる服装、タオル、室内シューズ（土足厳禁）、水分・栄養補給用のドリンク類、サプリメント（ただし、ルーム内での飲食厳禁）

体育実技 A（体力 UP コース）

火 3 秋
加藤 大仁

〔授業の目的〕

生涯を通じて健康を維持・増進するためには運動を継続していくことがいかに重要であるかを理解するとともに、個々の体力レベルに応じたトレーニングプランを作成できるようになることを目標とする。

尚、授業では基本的にトレーニングルーム内にあるマシンを使ってトレーニングを実践していくが、マシンを使わないトレーニング方法についても適宜解説、実施する。

〔実施場所〕

協生館トレーニングルーム

〔服装・携帯品・その他〕

運動に適した服装、インドアシューズを持参すること。土足は厳禁とする。

体育実技 A（体力 UP コース）

水 3、木 3
近藤 明彦

〔授業の目的〕

運動不足が原因となる疾患が話題となっているが、この講座ではレジスタンストレーニングマシンを用いた筋力のトレーニング、エアロバイクを用いた持久力のトレーニングそして、いつでもどこでも出来る自分の体重を負荷としたトレーニングを行うことにより、運動を継続的に行うことの重要性を理解するとともに、継続的な運動実施習慣の形成を目指す。

〔実施場所〕

協生館トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装、室内用運動靴、タオル

体育実技 A（ボディメイクエクササイズ）

（初級～中級） 水 4、水 5、木 4、木 5
板垣 悦子

〔授業の目的〕

学生生活をより充実させるために、エクササイズ実践を通して身体機能の理解を深め、身体を動かすことの楽しさや運動習慣の重要性を身をもって経験し、基礎体力の向上はもちろん体質改善や体重コントロール等、総合的な身体づくりの基礎を習得し自己の身体をコントロールできるようにする。目標を定め、効果を実感しながら実践していく。

〔実施場所〕

協生館エクササイズスタジオ

〔服装・携帯品・その他〕

運動のできる服装（ジーンズは不可）室内用運動シューズ、タオルと水分補給用飲料水は適宜。

体育実技 A（エアロビクス）

火 2、木 2、木 3、金 4、金 5
奥山 静代

〔授業の目的〕

エアロビクスについての基礎知識や基本的なステップを習得しながら、エアロビクス (有酸素運動) の特性を理解し、総合的な体力・健康づくりのための基礎を学びます。身体を動かすことの楽しさを実感し、また心身をリフレッシュする方法を身につけることを目的とします。

〔実施場所〕

協生館エクササイズスタジオ

〔服装・携帯品・その他〕

協生館地下1階更衣室で運動着に着替えて、室内シューズを持参して授業に出席してください。また、水分補給は各自で行えるように用意してください。必要に応じて、プリント等を配布します。

体育実技 A (エアロビクス)

水2、水3、金2、金3

佐々木 玲子

〔授業の目的〕

日常生活を円滑に行うための体力向上を目指すとともに、シェイプアップも含めた総合的な身体づくりのための基礎を学び実践します。エアロビクスダンスエクササイズを中心に行いますが、ストレッチング、リラクゼーション、筋コンディショニングエクササイズも取り入れ、広く身体についての理解を深めながら、身体を動かすことの楽しさを実感することを目指します。スポーツ・運動を通じて健康な生活をエンジョイしましょう。

〔実施場所〕

協生館エクササイズスタジオ

〔服装・携帯品・その他〕

運動着、室内用シューズは必須。水分補給のための飲料は適宜用意してください。

体育実技 A (ダンス)

月2、月3

勝部 知子

〔授業の目的〕

身体的コミュニケーションを特徴とする「コンタクト・インプロビゼーション」を取り上げる。五感を鋭敏にし、身体の可能性、即興力の向上を目指す。

人とのふれあい・接点から生じるお互いの力や意志などを糧に行う即興のダンス。ビデオ鑑賞も含めて基礎から始め、リラクゼーション的ゆるやかな動作からダイナミックな動きに至るまで、言葉に頼らないコミュニケーションの一手段として実習し、現代社会との接点を考察していく。

〔実施場所〕

協生館エクササイズスタジオ

〔服装・携帯品・その他〕

動きやすい服装。金属、アクセサリは取る。素足になれる状態 (ストッキング不可)

水分補給のための飲料は適宜用意してください。

〔参考文献〕

シンシア・ノバック著『コンタクト・インプロビゼーション 交感する身体』(フィルムアート社)

体育実技 A (ボディーコンディショニング (ヨガ&ピラティス))

月4、月5

杉本 亮子

〔授業の目的〕

日常生活の習慣的なからだの動かし方によって、少しずつ変わってきた姿勢のアンバランスやそれが原因のひとつとなって感じるさまざまなからだの不調を、ピラティス・マットエクササイズとヨガの独特な呼吸法とエクササイズによるトレーニング&ストレッチング&リラクゼーションを通して、自分のからだのコンディションに気づき、整えていくことを目的とします。

〔実施場所〕

協生館エクササイズスタジオ

〔服装・携帯品・その他〕

運動着は必須。水分補給のための飲料は適宜用意してください。

体育実技 A (ウォーキング・エクササイズ)

水2、木2

近藤 明彦

〔授業の目的〕

運動不足が原因となる疾患が話題となっているが、その予防・改善を目的とした有酸素運動としてのウォーキングの実践を通して、継続的な運動の実施および様々な生活習慣が健康にどのような影響を与えるかについて理解を深める。この授業では単に「歩けば健康になる」ということを強調するのみではなく、歩くことから派生する様々な文化的事象をも取り上げウォーキングへの興味を高めることを意図する。体力レベルが低い、あるいは技術系のスポーツ種目が不得意な者でも取り組みやすい種目である。誰でも出来るウォーキングの楽しみ方を理解し、継続的な運動実施習慣の形成を目指す。

〔実施場所〕

陸上競技場・日吉周辺

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装、靴、タオル、帽子

〔雨天時の対応 (屋外種目のみ)〕

- ・小雨の場合は実技を実施する
- ・雨天で実技が実施できない場合は講義を行う

体育実技 A (ジョギング)

火2秋

近藤 明彦

〔授業の目的〕

代表的な有酸素運動であるジョギングの経験を通して、将来の体力の保持増進についての理解を深める。

〔実施場所〕

陸上競技場・日吉周辺

〔服装・携帯品・その他〕

運動に適した服装、靴、タオル、帽子

〔雨天時の対応 (屋外種目のみ)〕

- 小雨の場合は実技を実施する
- 実技が実施できない場合は講義を行う

体育実技 A（ジョギング）

金 3
松田 雅之

〔授業の目的〕

歩行・ジョギング・ランニングへと基本的な正しい走り方を学び、有酸素的能力の向上を図る。野外走などを通じ、ジョギングの効用や楽しさを体験する。

〔実施場所〕

陸上競技場・日吉周辺

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・ジョギングシューズ

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

グラウンド状態不良の場合はキャンパス内・外のランニングを行う。雨天時はトレーニングルームでエアロバイク等のトレーニングを行う。

体育実技 A（ゴルフ）

火 2、火 3、木 2、木 3
綿田 博人

〔授業の目的〕

ゴルフの基本動作、打ち方を習得し、またゴルフのマナーを知することを目的とする。

〔実施場所〕

梅里カントリークラブ

〔服装・携行品・その他〕

ゴルフスラックス、ポロシャツ又はトレーニングウェア・アップシューズ

体育実技 A（ゴルフ）

(初級、上級いずれも可) 金 2、金 3
勝又 正浩

〔授業の目的〕

- ・スポーツとしてのゴルフを通じ体力の向上、技術、マナーを習得する。
- ・ゴルフ初心者の方々をコースラウンドが出来るレベルに向上させる。
- ・既にゴルフに取り組んでいる中・上級者を更にもう一段上のレベルに引き上げる。
- ・ゴルフ本来の楽しさを学ぶことにより、幅広い人間関係が構築できるように図る。

〔実施場所〕

体育会ゴルフ部練習場（矢上下）

〔服装・携行品・その他〕

動きやすい服装、運動靴（ゴルフスパイクは不可）、練習用クラブ数本、ゴルフグローブ

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

練習場には屋根が備わっていますので、雨天時も実技を中心に授業を行います。

台風等で練習場が使用不可能な際は、教室にてスイング理論の講義を行います。

体育実技 A（自動車）

初級（普通自動車運転免許 水 1 春、水 2、水 3 秋
のない方）、各時限とも同じ

松山 保幸

〔授業の目的〕

自動車運転の基本操作に不可欠な知識と操作技術の習得。

普通運転免許取得希望者が、正確な操作手順を身に付け、安全性への高い配慮ができるようになることを到達点とします。

〔実施場所〕

日吉宮崎台 自動車部専用練習場（塾高等学校グランド裏）

〔服装・携行品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴（かかとの高い靴、サンダルは運転安全性の面で問題があるため避けて下さい）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

小雨では予定通り実技を行います。荒天の場合は、教室にて車両の構造や最新テクノロジーの説明、安全走行のための講義になります。

体育実技 A（陸上競技）

火 2 春
近藤 明彦

〔授業の目的〕

走・跳・投の基本的運動技能を競う陸上競技の代表的種目である 7 種競技を行う。各種競技の記録の測定等を通して自己の体力レベルを把握するとともに、今後の体力の保持増進についての理解を深める。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装、靴、タオル、帽子

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

小雨の場合は実技を実施する

実技が実施できない場合は講義を行う

体育実技 A（陸上競技）

木 3、金 2
松田 雅之

〔授業の目的〕

陸上競技に限らず、様々なスポーツに役立つ正しいランニングフォームを身に付ける。走・跳・投の各種目を通じて、陸上競技の楽しさを体験する。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・ランニングシューズ・スパイク（ある者のみ）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

トレーニングルーム、フリーウェイトルーム、ユニバーサルハウス等にてトレーニングを行う。もしくは教室において講義、ビデオの解説等を行う。

体育実技 A（アーチェリー）

月 2、月 3
川西 大介

〔授業の目的〕

- ・スポーツ経験の少ない者も基礎練習から技術向上のための工夫を通じてスポーツの面白さを体験する。
- ・個人の身体能力に関わらず、学習し努力すれば達成できる体験を得る。
- ・的中の向上という目に見える結果に向かって集中力を養う。
- ・生涯スポーツへの取り組みのきっかけとする。

〔実施場所〕

日吉台洋弓場（蝮谷東側の丘の上にある高校野球場隣＝慶應義塾 Web の日吉台野球場西側）

〔服装・携帯品・その他〕

上衣：運動に適したもので、特に腕、胸や首の周囲がだぶつけないもの。

下衣：スカートでの参加は認めません。

靴：ゴム底の運動靴・トレッキングシューズ等のランニングも可能なスポーツシューズ以外での参加は認めません。

服装や態度が不適で、安全の確保ができないと講師が判断した場合は受講を認めません。

着替えが必要な者は、予め記念館内の更衣室を利用して下さい。

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

教室で講義を行なう場合もあるが、雨天対応の場所も用意するので、雨でも必ず体育科目の掲示板の指示に従って下さい。（体育研究所にも提示します。）

体育実技 A（ニュースポーツ）

月 2 秋、月 3 秋
加藤 幸司

〔授業の目的〕

新しいスポーツという意味でのニュースポーツではなく、古くから世界の国々で行われてきた伝統的なスポーツと、従来広く行われてきたスポーツにルールの改良や変形を加えたスポーツを「ニュースポーツ」として取り上げ、幅広いスポーツ文化を体験する。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携帯品・その他〕

運動のできる服装、運動靴

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

室内で実施できる種目または講義。

体育実技 B（ニュースポーツ）

金 2
村山 光義

〔授業の目的〕

世界の様々なスポーツ文化・人間の遊びの文化を体験し理解する。スポーツ文化の歴史から、遊ぶ人間「ホモ・ルーデンス」を理解するとともに、スポーツ（遊び）の将来を考える。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携帯品・その他〕

運動のできる服装と運動靴（必須）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

ニュースポーツの紹介・スポーツの歴史に関する講義。

体育実技 A（フライングディスク）

火 2、木 2
村山 光義

〔授業の目的〕

FLYING DISC とは通称「フリスビー」と呼ばれる円盤を使ったスポーツの総称で、数多くの専門競技があります。本授業は、こうした FLYING DISC の専門競技の紹介と実践を通じて新たなスポーツ文化を理解・吸収することをねらいとしています。そして「空中を浮遊する DISC を本能的に追いかける人間の営み」を実体験し、その不思議な魅力に触れてほしいと思います。DISC の最大の特徴は世界記録で 250m を越す飛距離と円盤特性による曲進性・滞空性です。DISC を遠くへ、思う所へ投げることはとても難しく、投げ方も一通りではありません。このスポーツを楽しむ重要な要素が、投げる技術の獲得でもあります。従って、技能向上も重要な目的として授業を展開します。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携帯品・その他〕

運動のできる服装と運動靴（必須）

〔雨天時の対応（屋外種目のみ）〕

映像を用いた技能・競技戦術の解説紹介などの講義

体育実技A/B（シーズン・スポーツ）

体育実技 A（空手）

久保田 正美

〔実施期間〕

7月29日(水)~8月5日(水) 日曜を除く7日間

〔開始時間〕

午前10時

〔実施場所〕

虻谷空手道場

〔定員〕

40名（男女共習）

〔目的〕

空手の基本（立ち方、突き、蹴り）を実につける。また、希望選択によって組手あるいは形を実施。

〔授業内容〕

基本的な稽古内容

1日目 立ち方、突き、蹴り等の基本稽古

2日目 巻き藁、サンドバッグ等を用いての応用稽古

3~6日目 形、基本的な組手稽古をおりまぜての稽古

※経験の有無により内容を調整します。

その他

4日目 空手の歴史に関する座学（15分程度）

5日目 道場訓等に関するレポート課題（書式等は自由）

※人数により適宜グループ分けをして稽古します。

〔服装携帯品等〕

空手着、柔道着がある場合はご持参下さい。

無い場合は運動しやすい服装（Tシャツ、トレパン等）を用意して下さい。

体育実技 A（弓術）

齋藤 隆男

〔実施期間〕

7月29日(水)~8月5日(水) 日曜を除く7日間

〔開始時間〕

午前9時（正午終了）

〔実施場所〕

虻谷 志正弓道場

〔定員〕

40名（男女共習）

〔費用〕

500円

〔費用内訳〕

教本代として 7月29日(水)に徴収します。

〔目的〕

正射必中の射の技術を習得すると共に、道場内での礼儀作法、射場における体配（立居振舞い）を学び、慶應弓術を理解してもらう。

〔授業内容〕

（未経験者）

初日

射法説明、イメージトレーニング

2日目~4日目 イメージトレーニング、ゴム弓、索引、巻藁

5日目~6日目 索引、巻藁、的前射

（経験者）

初日 射法説明、各人の技術レベルチェック

2日目~6日目 各人の習得希望技術指導

最終日 班を編成し、対抗戦を行う。そして試合の雰囲気を経験してもらう。

〔服装携帯品等〕

前にボタンのないTシャツのようなもの。（ピアス、アクセサリ類は外す。）熱中症対策としての飲料。

体育実技（水泳）

（海洋体験 - Open Water Swimming）

鷲見 全弘

〔実施期間〕

7月30日(木)~8月2日(日)（合宿）

〔実施場所〕

体育会館山合宿所（千葉県館山市）

〔定員〕

25名（男女共習、ただし種目を問わず50m以上泳げること）

〔費用〕

30,000円（交通費を除く）

〔費用内訳〕

宿泊費（民宿泊）、食費、保険料、教本代、スイムキャップ代、その他

〔目的〕

海、川、湖などの自然環境での水泳をオープンウォータースイミングという。四方を海で囲まれた日本の自然環境を理解するとともに、大自然に親しみながら、海洋体験の楽しさを知り、レベルに応じた泳力を身につけることを目的とする。

〔授業内容〕

レベルⅠ（初級者）

- ・海で安全に活動するために必要な、基本的な最低限の泳力を身につける

- ・合宿所前海岸での練習中心

レベルⅡ（中・上級者）

- ・効率の良い泳ぎ方や進路のとり方など、海での活動に欠かさない泳力・技術を身につける

- ・合宿所前海岸での練習から入り、海に慣れたら合宿所前の海岸と隣の海岸の間の岸沿いで練習

レベルⅠ・Ⅱ 共通

- ・シーカヤックおよびシュノーケリングの体験

- ・状況が常に変化する海という環境における自己保全能力（適応能力）の習得

- * レベルを問わず、海での練習では3人でバディを組み常に安全確認を行う

- * 最終日にレベルに応じた距離でオープンウォータースイミングを行う

- * 海岸間での練習やオープンウォータースイミングには手漕ぎボートまたはレスキュー艇が伴走する

1日目午後 開講式（ガイダンス）、レベル分けテストおよび試泳

2日目 水泳およびシーカヤック体験

3日目午後 遠征およびシュノーケリング体験

4 日目 レベルに応じた距離でオープンウォータースイミング体験

〔服装携帯品等〕

日常衣類、水着、水泳用ゴーグル、水中メガネ、シュノーケルほか、詳しくはオリエンテーションで説明する。

〔雨天時の対応 (屋外種目のみ)〕

状況に応じた実技または講義などに切り替える

体育実技 B (山岳)

丸 誠一郎

〔実施期間〕

トレーニング、気象・医療・地形勉強会 : 7 月中旬

最終準備会 : 7 月 29 日(水)

山行 : 7 月 31 日(金)~8 月 3 日(月)

【但し、31 日午前 9 時 45 分 J R 松本駅集合の為、特急スーパーあずさ 1 号利用の場合、午前 7 : 00 新宿発、9 : 39 松本着を利用を推奨します。又、東京から夜行バスで参加の場合、前日新宿発の夜行バスを利用して下さい。】

〔実施場所〕

北アルプス槍ヶ岳周辺

〔定員〕

20 名 (男女共習)

〔費用〕

37,000 円 (松本~新穂高温泉、及び上高地から松本駅の交通費を含む。)

〔費用内訳〕

宿泊・食費 : 28,000 円、輸送費 : 7,500 円、保険料 : 1,100 円、雑費 : 400 円

〔目的〕

1915 年来受け継がれた、塾山岳部の「重装主義(どんな事態でも対応できるよう心を重く装う)」、「リーダーシップ&メンバーシップ」という、登山哲学をベースに、北アルプスの醍醐味と自然に親しみ、チームワークの中で山の楽しみを体験しながら新たな友と友情を培える事ができます。親切なベテラン指導員の元で、日本の屋根を縦走(アルプスのルートを毎日少しずつ進みキャンプを進め、大きな頂上を極めること)し槍ヶ岳頂上を極めることが出来ます。合わせて登山の基礎技術も学ぶことが出来る、楽しい授業です。

〔授業内容〕

【指導戦略】 : 登山エキスパートである塾山岳部部員、OB、OG の数名、1 名の医学部山岳部 OB が帯同し、登山経験が全くない塾生でも、楽しい山の思い出が作れるよう、登高会(山岳部 OB 会)員中心のインストラクターチームで緻密な計画を組み立て、一人一人に丁寧に指導します。急病人・怪我人の救出対応に関しても、万全の対応を図れるよう塾体育研究所とも入念な準備を重ねております。

【日程】7 月 10 日(予定) 基礎体力診断トレーニング・気象・医療・地形準備会(勉強会)

7 月 20 日前後 登山用具買い物アドバイス(予定)

7 月 29 日(水) 最終準備会・装備貸し出し

7 月 31 日(金) 午前 9 : 45 J R 中央本線松本駅集合(時間厳守) ⇒ 12 : 00 新穂高温泉出発 ⇒ 16 : 30 槍平小屋着(18 : 30 夕食、20 : 00 就寝)

8 月 1 日(土) 06 : 00 槍平小屋発 ⇒ 12 : 00 槍ヶ岳山荘着 ⇒ 槍ヶ岳山頂(3180 m) 往復(17 : 00 夕食、19 : 00 就寝)

8 月 2 日(日) 06 : 00 槍ヶ岳山荘発 ⇒ 横尾 ⇒ 12 : 00 徳沢園着(17 : 00 夕食、19 : 00 就寝)

8 月 3 日(月) 08 : 00 徳沢園発 ⇒ 明神 ⇒ 11 : 00 上高地バスターミナル下山 ⇒ 松本駅前解散

8 月 6 日 17 時まで、エッセイ提出、貸与した登山用品をメンテナンスした後返却をお願いします。

※ 天候などにより、日程を変更する場合があります。

〔服装携帯品等〕

夏山登山用具一式をご用意いただき、ザック、雨具、ヘッドランプなど一部の用具は貸与します。但し、夏山とは言え、北アルプスの核心部で行動をするので、歩きやすい登山靴をご用意ください。

〔雨天の対応〕

いかなる悪天候下においても、安全且つ完全計画遂行を目的としています。天候判断は、天気図分析と、隊員の体調を十分考慮し、全てチーフリーダーが現地において状況判断を行います。

〔成績評価〕

2 日間のトレーニング・勉強会・準備会、4 日間の登山活動全て参加され、エッセイ(感想文)を期日まで出された履修生には、原則的に合格判定を行います。

体育実技 B (馬術)

細田 壮一

〔実施期間〕

7 月 31 日(金)~8 月 3 日(月)(合宿)

〔開始時間〕

集合 7 月 31 日(金) JR 長野新幹線 佐久平駅 10 時集合

〔実施場所〕

望月馬事公苑(〒384-2205 長野県佐久市春日 5928-11)

〔宿泊場所〕

もちづき荘(〒384-2205 長野県佐久市春日温泉)

〔定員〕

32 名(男女共習)

〔費用〕

42,000 円(交通費は除く)

〔費用内訳〕

宿泊代 食費 テキスト代 借馬料 施設利用料等込み

〔目的〕

馬術というスポーツを通じて、活発な身体活動を図り、体育会活動の経験をさせる。

乗馬クラブ連合会馬術認定資格 5 級程度の馬術技術の習得を目指す。

馬上での技術向上と共に、馬の世話・厩舎作業・牧草刈りなど体験型プログラムを通して総合的な馬の管理を体得する。

合宿課目であるため、起床から就寝まで規則正しい生活をしてルール・マナーの徹底を図る。

〔授業内容 (内容と順序は変更になる場合があります)〕

騎乗練習 : 乗馬、下馬、常歩・速歩での発進、停止、左右への回転

作業実習 : 厩舎作業、馬の手入れ、牧草刈りなどの体験
講義 : 馬の扱い方、馬術の基本、馬具・飼料についてなど

〔服装携帯品等〕

ポロシャツ(白) トレーニングウェア上下 運動靴 靴下 軍手 着替え 洗面用具 筆記用具 防寒具 帽子 虫除け 持薬 保険証のコピー 学生証 領収書

〔雨天の対応〕

屋根付き馬場があるため練習可能。

ただし、場合によっては講義やビデオ鑑賞に振り替える。

〔成績評価〕

出席及び態度が著しく悪くない者は、最終日に簡単な実技試験・筆記試験を行う。

双方の試験とも 60 点以上を合格とする。

体育実技 B (ヨット)

金子 隆司

〔実施期間〕

7 月 30 日(木)~8 月 2 日(日) (合宿)

〔開始時間〕

第一日目集合時間 7 月 30 日(木) 13:00 (JR 横須賀線 逗子駅)

〔実施場所〕

神奈川県三浦郡葉山町

〔定員〕

40 名 (男女共習)

〔費用〕

37,000 円 (自宅から集合・解散場所までの交通費を除く)

〔費用内訳〕

宿泊費、食費、用具費、教材費、他

〔目的〕

小泉信三元塾長は、ヨットについて「自然に順(したが)い、自然を制す」と表現し、スポーツとしてのヨットの意義について記されています。本クラスの目的は、人を相手とする他のスポーツと異なり、一切の妥協を許さぬ海上で、セーリング技術の習得を通じて、自然の素晴らしさと厳しさを体験し、理解することにあります。

〔授業内容 (内容と順序は変更になる場合があります)〕

短い期間中にできるだけヨットに乗り、セーリングの基本技術と安全知識を習得することを目的とした実習プログラムを編成します。

第 1 日目 ガイダンス、座学：「ヨットに関する基本知識 (セーリングの原理、ヨットの構造)」、ロープワーク 実習

第 2 日目 小型艇 (ディンギー)、大型艇 (クルーザー) を使用したセーリング実習

第 3 日目 セーリング実習 (小型艇、大型艇)

第 4 日目 セーリング実習 (小型艇、大型艇)、実技合宿成果のまとめ

- ・小型艇は大学選手権に使われる 2 人乗りのレース艇です。インストラクター 1 名と履修生 1~2 名が乗艇します。大型艇は外洋帆走可能な 10 人以上乗れるヨットです。インストラクター 2~4 名と履修生 6~8 名が乗艇します。
- ・小型艇と大型艇のどちらにも乗艇できるように配慮しますが、荒天・強風の場合にはセーリング実習が出来ないことがあることを了解したうえで履修してください。
- ・初めてヨットに乗る人を対象とした実習となりますが、再受講者、ヨット/ウィンドサーフィン経験者の履修も歓迎します。
- ・実習中は全員ライフベスト(救命胴衣)を着用し、常にインストラクターと乗艇します。安全面には十分配慮していますので、泳げない人でも十分セーリングを楽しむことができます。船酔いする人もこの機会に乗り物酔いを克服しましょう。
- ・合宿、実習を通じた体育会ヨット部員やヨット部 OB との交流

も高い評価を得ていますが、授業というルールのもとでの合宿なので、団体生活が苦手な人にはお勧めできません。

〔服装携帯品等〕

ヨットに乗ると必ず濡れますので、着替えは多めに持ってきてください。水着のままの乗艇はできませんが、その上に T シャツなどを着て乗るのは構いません。直射日光の下での実習になりますので、肌を守るための準備 (長袖シャツ/長ズボンや日焼け止めクリーム等) を心がけてください。帽子は必携です。ただし、つばの大きいもの (麦わら帽子等) は風で飛ばされてしまいます。裸足、(踵の無い)ビーチ・サンダルでの乗艇はできません。濡れても良いスニーカーが乗艇用シューズとして最適です。雨天・曇天の海上は寒いときもありますので、ウィンドブレーカーがあると役立ちます。

〔持参するもの〕

<セーリング実習時> 水着、ポロシャツ/T シャツ、ウィンドブレーカー、長ズボン/短パン、スニーカー (乗艇用)、日焼け止め、防水腕時計(無くても可)。

<宿舎、合宿所> 普段着/着替え、パジャマ、下着類、靴 (スニーカー/サンダル等)、洗面用具、タオル (大・小)、筆記用具、防虫スプレー、大き目のビニール袋(濡れた衣服の持ち帰り用) など。

〔お小遣い〕

実技期間中の食事と実習中の飲み物は用意されています。

往復の電車賃・バス代と、休憩時間などにコンビニを利用する程度のお小遣いがあれば十分です。

〔雨天の対応〕

自然を相手にしたスポーツですので、台風や強風などの気象状況によっては乗艇できないこともあります。雨天でも風や波が安全な状況であれば乗艇実習を行います。

〔成績評価〕

出席・技術・態度・理解などを総合的に評価し、可否のみで判定します。

体育実技 B (ビーチバレー)

石手 靖

〔実施期間〕

8 月 5 日(水)~8 月 10 日(月) 6 日間

〔開始時間〕

初日 13:00 第 3 校舎下バレーボールコート集合

〔実施場所〕

第 3 校舎下バレーボールコート及び県立湘南海岸公園内サーフビレッジ (神奈川県藤沢市鵠沼海岸)

〔定員〕

30 名 (男女共習)

〔目的〕

バレーボール技術の向上とビーチバレー体験

〔授業内容 (内容と順序は変更になる場合があります)〕

1~3 日目 基礎練習 (パス・トス・レシーブ・サーブ・スパイク・ブロック) @ (第 3 校舎下バレーボールコート)

4~5 日目 ビーチバレー体験 @サーフビレッジ

6 日目 予備日

※実施時間は日吉キャンパスの場合 13:00~16:00、ビーチの場合 10:00~16:00

※ビーチバレー体験は天候により日程変更あり

〔服装携帯品等〕

スポーツウェア及びシューズ。詳しくはオリエンテーションで説明する。

体育実技 B (アウトドアレクリエーション)

村山 光義

〔実施期間〕

9月1日(火)~5日(土) (合宿)

〔実施場所〕

長野県立科町 慶應義塾立科山荘

〔定員〕

40名 (男女共習)

〔費用〕

27,000円 (交通費を除く)

〔費用内訳〕

宿泊費、食費、プログラム費、傷害保険料、雑費

〔目的〕

- ・自然の中でのレクリエーション活動を通しての自然環境の理解
- ・各活動に関する技術とそれに伴うさまざまな知識の習得
- ・集団生活を通しての人間関係の理解

〔授業内容(内容と順序は変更になる場合があります)〕

この授業は長野県立科町にある慶應義塾の山荘に宿泊しながら、周辺の豊かな自然環境を利用したさまざまなプログラムを行います。いくつかのプログラムから自分の希望するものをチョイスする選択プログラム制で、経験豊かなスタッフがそれぞれのプログラムのガイド役を務めます。立科での5日間を通して、自然、ひと、自分とうまく付き合っていく方法を学んでみませんか？

1日目： 設営、夕食作り

2日目・3日目：選択プログラム 登山、カヌー、サイクリング、ロッククライミングなどのプログラムから1日1つを選択し、体験する

4日目： 森の時間、アウトドアパーティー 山荘周辺でクラフト、料理等の静的なプログラムの体験、会食形式のパーティー

5日目： 撤収、ふりかえり

〔服装携帯品等〕

要項・オリエンテーション等で別途詳しい案内をします。

〔雨天の対応〕

基本的にはプログラムどおり行います

〔成績評価〕

1. 実習の全日程の参加
2. 実習への積極的な取り組み
3. 各活動の技術の習得や、ルール・マナーの理解

(2,3については、内省報告を含めた日誌や各活動におけるスタッフとの交流等の中でその高まりを総合的に評価し、最終的に可否の判定をします。)

体育実技 B (スキー)

吉田 久男

〔実施期間〕

2月8日(月)~11日(木) (合宿)

〔実施場所〕

志賀高原発着温泉スキー場周辺 (長野県)

〔定員〕

120名 (男女共習)

〔費用〕

45,000円 (交通費を除く)

〔費用内訳〕

リフト代含む。

〔目的〕

合宿形式のスキー実習を通じ、雪山での自然体験と集団生活・グループ活動を体験する (自然・人間の理解)。また、個人の技術的課題を認識するとともに、設定された達成目標をクリアするための努力実践をする (自己への挑戦)。

〔授業内容 (内容と順序は変更になる場合があります)〕

1日目 午後：開講式・雪上レッスン 夜：ミーティング

2-3日目 朝：全体で体操 日中：雪上レッスン 夜：ミーティング

4日目 朝：全体で体操 午前：雪上レッスン 昼：閉講式

技術レベル別のグループ編成による雪上レッスンを行う。また夕食後にグループミーティングを行う。実技とミーティングによる技術の確認によりそれぞれの目標達成をめざすとともにグループの協力により雪山での活動を完遂するように取り組む。

達成目標の具体例

初心者：山頂からのツアーの達成

初級班：ブルークボゲンの完成

中・上級班：緩斜面または中・急斜面パラレルターンの完成

〔服装携帯品等〕

詳細は別途実施要項を参照のこと。

〔雨天の対応〕

基本的にリフトが運休しない限り実技を行う。

実技不可能な場合は宿舎にて技術理論などを講義する。

〔成績評価〕

各自のレベル目標の達成および出席・授業への意欲・合宿生活の態度などの日常評価の総合で可否の判定をします。

体育実技 B (スケート)

小山 正

〔実施期間〕

2月7日(日)~10日(水) (合宿)

〔実施場所〕

軽井沢風越アリーナ

〔定員〕

40名 (男女共習)

〔費用〕

28,000円 (交通費を除く)

〔費用内訳〕

宿泊費、リンク貸切料、滑走料、傷害保険料、雑費

〔目的〕

- ・スケートに関する知識及び技術の習得
- ・合宿生活の経験及び他学部仲間との懇親

〔授業の内容 (内容と順序は変更になる場合があります)〕

スケートの基礎知識を習得し、スケートの各種目 (フィギュアスケート、アイスホッケー、スピードスケート) の体験をします (選択可能)。レベル別に班分けをし指導しますので初心者、経験者共に十分に楽しむことの出来る内容になっています。この機会にスケートの楽しさを体感しましょう！

一日目：開講式、基本技術の習得 (フォア、バック、ストップ等)

二日目：基本技術の習得 (ターン、クロス、ジャンプ、スピンの)

三日目 : フィギュア、アイスホッケー、スピードスケート、各種
目の体験

四日目 : 氷上運動会、閉講式

〔服装・携行品・その他〕

防寒着、手袋、帽子など。要項・オリエンテーション等で別途
詳しい案内をします。

〔雨天時の対応 (屋外種目のみ)〕

屋内での活動が主なため、雨天の場合もスケジュールに大き
な変更はありません。

3 福澤研究センター

慶應義塾福澤研究センターは、1983年に義塾創立125年を記念して、三田キャンパス内にある旧図書館内に設立された研究所です。この研究所の目的は、一つは福澤諭吉および慶應義塾に関する資料の収集・整理・保管ですが、単にそこにとどまるものではありません。同時に、福澤諭吉と慶應義塾を視野においた近代日本の研究も本研究所の重要な役割です。このような研究を目的としているのは、一面では、福澤諭吉や各界で活躍した慶應義塾出身者について研究することが、そのまま日本の近代化について考える大きな鍵となるからです。また他面では近代日本に広く目を配ることなしには、福澤諭吉と慶應義塾の歴史的意義も本当には理解できないからでもあります。

しかも、福澤諭吉に関する研究は、狭く日本の内部にとどまるものではありません。福澤が投げかけた近代化の課題は、19世紀以降の日本を含む世界中の後発国が直面した問題でした。このため、福澤諭吉に取り組むことは、例えばアジアの近代化を考えることに直接的にも間接的にもつながってゆきます。このように、各国にまたがる広い関連性を持った研究に本センターは関わっており、文字通り世界における福澤研究の中心として機能しています。

このような目的をかねて、これまで福澤研究センターは、学術誌『近代日本研究』、資料集、叢書の刊行や、講演会、セミナー、展覧会などを開催してきました。また、これらの資料整理・研究活動は、28名の所員（専任2名、兼担26名）、10名の顧問、29名の客員所員、6名の事務スタッフ等により支えられています。

近代日本と福澤諭吉

（専攻科目 III 類（旧：IV 類）は不要）

岩谷 十郎	（コーディネーター）
小室 正紀	樽井 正義
坪川 達也	西澤 直子
平野 隆	米山 光儀

〔授業科目の内容〕

本講義では、慶應義塾の創設者にして、近代日本を代表する啓蒙思想家の一人である福澤諭吉について、学際的な視点からの授業を提供する。福澤や慶應義塾が近代期日本において果たした役割などについて、所属する学部にとらわれずに、広く慶應義塾に学ぶ諸君に知っておいて欲しい論点を平明に解説する。また三田に於いて開設される福澤研究センターの他の講義との関係も視野に入れ、その入門的内容ともなっている。

〔参考書〕

『福澤諭吉著作集』福澤諭吉著 全12巻 慶應義塾大学出版会

『福澤諭吉の手紙』慶應義塾編 岩波書店（岩波文庫）2004.4

（その他、開講時一時間目の授業にて指示します。）

本設置講座は、このような活動を続けている福澤研究センターが提供する大学講座です。講座の目的は、第1には、福澤研究センターを中心として、塾内外の研究者により行われてきた研究の学術的な成果を、講義・演習を通して学生諸君に受け止めてもらうことです。また、第2には、福澤諭吉や慶應義塾を視野においた近代日本史への関心を喚起することです。さらに、第3には、将来福澤諭吉研究者や大学・学校史の研究者に育ちうる人材を教育することがあります。そして、第4には、この講座を通して、21世紀の世界にとって、福澤諭吉の思想と慶應義塾の歴史が、いかなる意味を持っているかを考える機会を作ることを目指しています。

近年、慶應義塾で学びながら、義塾がいかなる歴史を持っていたのかを知らず、また福澤諭吉の著作を読むこともなく卒業する塾生が増えています。多くの学ぶべきことが他にもある現在、それはそれで一つの学生時代の過ごし方であることは確かです。しかし、福澤の著作は、その主張に賛成するものにとっても反対するものにとっても、等しく面白くかつ刺激的です。そのような福澤の著作に触れる機会もなく卒業することは、我々福澤研究センターのスタッフは惜しいことだと考えています。しかも、本設置講座は、文系の多くの学部では卒業単位や進級単位として認められています。

本年度は日吉で1コマの講義、三田で6コマの講義・演習を開講しますので、諸君の活発な履修を期待しております。

（慶應義塾福澤研究センターのホーム・ページ

<http://www.fmc.keio.ac.jp/>）

4 保健管理センター

1. 保健管理センター設置講座開講にあたり

めまぐるしい医学の前進と社会情勢の変化に対応でき、健康で健康志向の強い人になるための独自の講座を設置しています。

2. 設置科目履修上の取扱いについて

日吉キャンパスでは、「現代社会と医学II」を春学期の水曜日4時限に開講します。単位は2単位です。

受講を希望する場合は履修の取り扱いについて、各学部、研究科で確認の上、履修申告をしてください。

現代社会と医学 II

Medicine in Modern Society II

「現代社会と common disease」 春学期、水曜日・4 時限

齊藤 郁夫（コーディネーター）

大野 裕 他

辻岡 三南子 和井内 由充子

森 正明

〔授業科目の内容〕

ストレスの多い現代には精神保健はきわめて重要な課題です。さらに、急速な国際化に伴う感染症、薬物乱用も大きな問題です。

高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満、動脈硬化など日本人の代表的な病気は、運動不足、食べ過ぎ、喫煙などの生活習慣との関連が強いことから、現在では生活習慣病と呼ばれています。さらにこれらが同時に存在するメタボリックシンドロームは中高年の 30~40%にみられ、問題になっています。

大学生に代表される若者が現代社会の医学の重要問題を理解し、健康的な生活習慣を実行維持するための保健教育の意義はますます大きくなっています。下記の講義内容に関し保健管理センターの各専門医がオムニバス形式で講義を行います。日吉では春学期のみ行います。

〔参考書〕

保健衛生

5 外国語教育研究センター

外国語教育研究センター（以下、「センター」と略す）では「センター特設科目」を設置し、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、インドネシア語、アラビア語、イタリア語の9言語の授業を開講しています。センター特設科目では各学部の外国語教育を補完することをコンセプトとしながら、「聴く」「話す」「読む」「書く」の四技能がバランスよく身につくよう、工夫を凝らした授業を展開しています。また、特定のスキル強化（リスニング、ライティングなど）のための科目や、超上級科目、基礎固めのための科目も用意しています。

これら「特設科目」のほか、センターが提供する科目に「オープン科目」があります。これは、各学部設置の語学科目のうち、他学部生に開放されているものをセンターに併設することにより、学生が履修しやすくなったものです。（「特設科目」「オープン科目」とも、卒業単位認定の仕方は学部により異なるため、それぞれ自分が所属する学部の履修案内を参照してください。）

センターでは、各種講演会やワークショップ、春休み期間中の海外語学研修、高校生から大学院生までを対象とする「アカデミック・ライティング・コンテスト」等、外国語学習に関連するさまざまなプログラムを実施しています。それぞれの詳細はセンターのウェブサイトや構内掲示板で随時案内していますので、チェックしてください。

以下に本年度開講の「特設科目」の一覧を掲載します。各特設科目の詳しい授業内容、ガイダンスや履修手続きに関する情報、ならびに「オープン科目」一覧については、別冊の『外国語教育研究センター履修案内・講義要綱』（センター事務室でも配布します）、またはセンターウェブサイトを参照してください。

外国語教育研究センター < <http://www.flang.keio.ac.jp/> >

ガイダンス日程：4月7日(火)15:00～16:30 D101番教室

外国語教育研究センター特設科目一覧（日吉）

* 履修希望者が定員を超えた場合は抽選あるいは選考となります。

* 科目名に (a) (b) と表記されている科目は春 (a)・秋 (b) をセットで履修することが義務付けられている科目です。

* 科目名に (I) (II) と表記されている科目は春 (I) と秋 (II) どちらかひとつの履修あるいは両方の履修が可能です。

語種	科目名	担当講師名	設置学期	曜日・時限	定員	形態	単位数
英語	英語最上級 アドバンスト英語(a) (Utilizing English in Quest for the New Perspectives)	和田 朋子	春	火・3	25	半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(b) (Utilizing English in Quest for the New Perspectives)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(a) (Bilingualism in Theory and Practice)	シェイ デビット	春	木・3	25	半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(b) (Bilingualism in Theory and Practice)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(a) (The Jazz Age & Beyond: an American Revolution)	バティエ、ロジャー	春	火・2	25	半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(b) (The Jazz Age & Beyond: an American Revolution)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(a) (Ultra Advanced English)	スネル、ウィリアム	春	金・3	25	半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(b) (Ultra Advanced English)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(a) (Academic English: Globalization and After)	ハンリー、マシュー	春	水・5	25	半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(b) (Academic English: Globalization and After)		秋			半期	1
	英語異文化トレーニング(a)	吉田 友子	春	水・3	25	半期	1
	英語異文化トレーニング(b)		秋			半期	1
	英語ドラマ(a) (身体をツールに言葉を学ぼう)	横山 千晶	春	火・2	15	半期	1
	英語ドラマ(b) (身体をツールに言葉を学ぼう)		秋			半期	1
	英語翻訳(a)	武藤 浩史	春	火・2	20	半期	1
	英語翻訳(b)		秋			半期	1

英語	英語初級(a) (リスニングと発音練習の基礎体力をつける、リーディングをやり直す)	横山 千晶	春		木・3	30	半期	1
	英語初級(b) (リスニング、リーディング、ライティングの体力増強をはかる)			秋			半期	1
	英語聴解(a) (Podcastで学ぶ文化リテラシー)	吉田 恭子	春		木・5	20	半期	1
	英語聴解(b) (Podcastで学ぶ文化リテラシー)			秋			半期	1
	英語留学準備(I) (Academic Writing / Presentation for Studying Abroad)	バトラー、アン	春		水・3	20	半期	1
	英語留学準備(II) (Academic Writing / Presentation for Studying Abroad)			秋			半期	1
	英語オーラル・プレゼンテーション(I) (初級)	ブルーカ、デイビッド	春		水・2	20	半期	1
	英語オーラル・プレゼンテーション(II) (初級)			秋			半期	1
	英語アカデミック・ライティング(I) (Writing an Academic Paper in English)	和田 朋子	春		火・4	25	半期	1
	英語アカデミック・ライティング(II) (Writing an Academic Paper in English)			秋			半期	1
ドイツ語	ドイツ語表現技法1(a) (初級発音・聴解練習)	境 一三	春		水・4	25	半期	1
	ドイツ語表現技法1(b) (初級発音・聴解練習)			秋			半期	1
	ドイツ語表現技法2(a) (ボキャブラリー・トレーニング)	斎藤 太郎	春		木・1	25	半期	1
	ドイツ語表現技法2(b) (ボキャブラリー・トレーニング)			秋			半期	1
	ドイツ語表現技法3(a) (初級文章表現法)	未定	春		水・4	25	半期	1
	ドイツ語表現技法3(b) (初級文章表現法)			秋			半期	1
フランス語	フランス語表現技法1(a) (発音と会話の基礎)	檜橋 = アンリ、ナタリー	春		水・3	20	半期	1
	フランス語表現技法1(b) (発音と会話の基礎)			秋			半期	1
	フランス語表現技法1(a) (発音と会話の基礎)	ガボリオ、マリ	春		火・2	20	半期	1
	フランス語表現技法1(b) (発音と会話の基礎)			秋			半期	1
	フランス語表現技法2(I) (異文化間アプローチ)	前島、アンヌ・マリー	春		木・1	20	半期	1
	フランス語表現技法2(II) (異文化間アプローチ)			秋			半期	1
	フランス語表現技法2(I) (アンテラクションとプロデューション)	倉舘 健一	春		水・3	20	半期	1
	フランス語表現技法2(II) (アンテラクションとプロデューション)			秋			半期	1
ロシア語	ロシア語聴解 (a)	山田 恒	春		火・4	25	半期	1
	ロシア語聴解 (b)			秋			半期	1
	ロシア語表現技法1(I) (映画とドラマでロシア語を学ぼう)	熊野谷 葉子	春		火・2	25	半期	1
	ロシア語表現技法1(II) (映画とドラマでロシア語を学ぼう)			秋			半期	1
中国語	中国語聴解1(I) (上級)	劉 穎	春		火・3	25	半期	1
	中国語聴解1(II) (上級)			秋			半期	1
	中国語表現技法1(I) (上級)	呉 敏	春		金・3	25	半期	1
	中国語表現技法1(II) (上級)			秋			半期	1
	中国文翻訳(I) (最上級)	関根 謙	春		木・3	25	半期	1
	中国文翻訳(II) (最上級)			秋			半期	1

中国語	中国語表現技法2(I)(最上級) (中国語文章作法)	許 曼麗	春		水・2	25	半期	1
	中国語表現技法2(II)(最上級) (中国語文章作法)			秋			半期	1
スペイン語	スペイン語表現技法1(a)(初級) (Curso de conversación en español)	モジャーノ、フアン・カルロス	春		水・1	25	半期	1
	スペイン語表現技法1(b)(初級) (Curso de conversación en español)			秋			半期	1
	スペイン語表現技法2(a)(中級)	三浦 麻衣子	春		金・3	25	半期	1
	スペイン語表現技法2(b)(中級)			秋			半期	1
アラビア語	アラビア語(a)	柳谷 あゆみ	春		水・3	30	半期	1
	アラビア語(b)			秋			半期	1
	アラビア語(a)	柳谷 あゆみ	春		水・4	30	半期	1
	アラビア語(b)			秋			半期	1
イタリア語	イタリア語表現技法1(I) (生きたコミュニケーション)(Comunicazione attiva)	ジェズアート、マリーア=カティア	春		火・4	25	半期	1
	イタリア語表現技法1(II) (生きたコミュニケーション)(Comunicazione attiva)			秋			半期	1

< 海外研修科目 >

* 海外研修科目は、春季休業中に実施されるため、前年度の研修（下記）が今年度の単位申請・認定の対象となります。

* 2009年度海外研修については、詳細が決まり次第、外国語教育研究センターのホームページに掲載します。

語種	科目名	担当講師名	実施期間	定員	形態	単位数
英語	オーストラリア ニューサウスウェールズ大学海外研修	スネル, ウィリアム	2009年2月～3月	20	半期集中	2
	オーストラリア シドニー大学海外研修	スネル, ウィリアム	2009年2月～3月	10	半期集中	2
	ニュージーランド オークランド大学海外研修	スネル, ウィリアム	2009年2月～3月	15	半期集中	2

2009年度 外国語教育研究センター特設科目 (日吉) 春学期時間割

時限	第1時限		第2時限		第3時限		第4時限		第5時限	
曜日	9：00～10：30		10：45～12：15		13：00～14：30		14：45～16：15		16：30～18：00	
月										
火			フランス語 表現技法1(a) ロシア語 表現技法1(I) 英語ドラマ(a) 英語最上級 アドバンスト英語(a) 英語翻訳(a)	ガボリオ 熊野谷 横山 バティエ 武藤	英語最上級 アドバンスト英語(a) 中国語聴解1(I) (上級)	和田 劉	英語アカデミック・ ライティング(I) ロシア語聴解(a) イタリア語 表現技法1(I)	和田 山田 ジェズアート		
水	スペイン語 表現技法1(a) (初級)	モジャーノ	中国語表現技法2(I) (最上級) 英語オーラル・ プレゼンテーション(I) (初級)	許 ブルーカ	英語異文化 トレーニング(a) 英語留学準備(I) フランス語 表現技法1(a) フランス語 表現技法2(I) アラビア語(a)	吉田 バトラ 植橋＝ アンリ 倉館 柳谷	アラビア語(a) ドイツ語 表現技法1(a) ドイツ語 表現技法3(a)	柳谷 境 未定	英語最上級 アドバンスト英語(a)	ハンリー
木	ドイツ語 表現技法2(a) フランス語 表現技法2(I)	斎藤 前島			英語最上級 アドバンスト英語(a) 英語初級(a) 中国文翻訳(I) (最上級)	シェイ 横山 関根			英語聴解(a)	吉田
金					英語最上級 アドバンスト英語(a) スペイン語 表現技法2(a)(中級) 中国語 表現技法1(I)(上級)	スネル 三浦 呉				
土										

2009年度 外国語教育研究センター特設科目 (日吉) 秋学期時間割

時限	第1時限		第2時限		第3時限		第4時限		第5時限	
曜日	9：00～10：30		10：45～12：15		13：00～14：30		14：45～16：15		16：30～18：00	
月										
火			フランス語 表現技法1(b) ロシア語 表現技法1(II) 英語ドラマ(b) 英語最上級 アドバンスト英語(b) 英語翻訳(b)	ガボリオ 熊野谷 横山 バティエ 武藤	英語最上級 アドバンスト英語(b) 中国語聴解1(II) (上級)	和田 劉	英語アカデミック・ ライティング(II) ロシア語聴解(b) イタリア語 表現技法1(II)	和田 山田 ジェズアート		
水	スペイン語 表現技法1(b) (初級)	モジャーノ	中国語表現技法2(II) (最上級) 英語オーラル・ プレゼンテーション(II) (初級)	許 ブルーカ	英語異文化 トレーニング(b) 英語留学準備(II) フランス語 表現技法1(b) フランス語 表現技法2(II) アラビア語(b)	吉田 バトラ 植橋＝ アンリ 倉館 柳谷	アラビア語(b) ドイツ語 表現技法1(b) ドイツ語 表現技法3(b)	柳谷 境 未定	英語最上級 アドバンスト英語(b)	ハンリー
木	ドイツ語 表現技法2(b) フランス語 表現技法2(II)	斎藤 前島			英語最上級 アドバンスト英語(b) 英語初級(b) 中国文翻訳(II) (最上級)	シェイ 横山 関根			英語聴解(b)	吉田
金					英語最上級 アドバンスト英語(b) スペイン語 表現技法2(b)(中級) 中国語 表現技法1(II)(上級)	スネル 三浦 呉				
土										

6 情報処理教育室

情報処理教育室では、情報処理に関する講座を開講しています。

情報処理に関する知識・技術を持つことは、学生諸君にとって今や必須のこととなっています。将来、各学部専門課程に進学してからの学習・研究活動に役立つだけでなく、1年生からの学習・学内の諸活動に大変有効です。なるべく早い機会に履修しておくことを勧めます。

1 ガイダンス

次の2回のうち、都合の良い時間に出席してください。

4月6日（月）13：00～13：40 J21番教室
13：50～14：30 J21番教室

2 受講申し込み手続き

受講する科目が決まったら、証紙券売機で受講料分の証紙を購入し、申し込み用紙に貼付して窓口へ提出してください。各講座とも定員になり次第締め切ります。

その際、学生証を提示してください。

日時：4月8日（水）9：00～16：45

4月9日（木）9：00～16：45

4月10日（金）9：00～16：45

場所：日吉学事センター 情報処理教育室窓口

3 履修上の注意

情報処理教育室に申し込みを行った科目については、必ず各学部の履修案内にしたがって各自で履修申告をしてください。履修申告を行わないと単位は与えられませんので特に注意してください。また、受講申し込み用紙を提出しないで履修申告をしても単位は認められません。

履修申告により単位がどのように与えられるかは学部によって異なります。学部の履修案内を熟読して間違いのないようにしてください。

4 問合せ先

情報処理教育室（日吉学事センター内）

5 平成21年度開講科目及び受講料

設置講座は受講料が必要です。

平成21年度 情報処理教育室設置講座（日吉）

講座名		クラス	担当者	時期	定員	受講料	単位
情報処理概論I	C言語によるプログラミング入門	11A	恩田 憲一	通年	100	12,000円	4
		11B	斎藤 博昭		50		
情報処理概論II (JavaI)	Java	12D	藤村 光	春学期	50	6,000円	2
情報処理概論II (JavaII)	Java	12E	藤村 光	秋学期	50	6,000円	2
情報処理応用I	コンピュータグラフィックス	31A	大野 義夫	春学期	50	5,000円	2

開講曜日・時限は学部の時間割の巻末に記載されます。授業は、学部授業と同様、4月8日（水）から開始されます。

情報処理概論 I

「C 言語」

4 単位 通年
恩田 憲一**〔授業科目の内容〕**

当科目はコンピュータプログラミングの初心者でも実用レベルのプログラミング能力が身に付く事を目標として開講します。具体的な内容としては、代表的なプログラミング言語である C 言語を例としてプログラミングの考え方や作り方を学ぶと共に、式、変数、入出力、条件分岐、ループ、配列、ポインタ、関数、記憶クラス、スコープ、構造体、ファイル入出力などのプログラミングの具体的な項目について、通年で実習を交えた講義を行います。C 言語はコンピュータを操作する上での自由度が非常に高い言語なので、コンピュータプログラミングの本質を学ぶのに適した言語であり、C 言語を習得すれば他の言語の学習も容易に行う事ができます。当科目は初心者が正しい理解を得られるようにプログラミングの基礎的な事項から講義を行いますが、重要な部分は実践的な内容にも言及するので、既にプログラムが書ける学生が履修した場合にも、より高度な知識の習得と体系化に役立つよう配慮した内容となっています。C 言語の基本的な知識の習得が終わる秋学期の後半からは、一般的に広く普及している Windows 上で動作する、Windows プログラミングの書き方を学習する予定です。教室内での実習は ITC のパーソナルコンピュータにインストールされた Microsoft VisualStudio.net を使用しますが、各自のノート PC や自宅 PC でのプログラミング演習を希望する人を対象として、フリー版のプログラミング環境の構築も指導します。

〔教科書〕

『入門ソフトウェアシリーズ① C 言語』 河西朝雄著 ナツメ社 2002 年 1750 円

〔参考書〕

『プログラミング言語 C』 B.W.Kernighan,D.M.Ritchie 著 石田晴久訳 共立出版 2001 年 2,800 円

『プログラミング Windows 第 5 版 (上・下)』 Charles Petzold 著 長尾高弘訳 MicrosoftPress 2002 年 各 5,200 円

情報処理概論 I

「C 言語によるプログラミング入門」

4 単位 通年
斎藤 博昭**〔授業科目の内容〕**

C 言語を使ってプログラミングの基礎を習得します。C 言語は広く世の中で使われているコンピュータ言語です。難しい数学は使わず、“きちんとした考え方”をするだけで、プログラミングの楽しさを味わえます。プログラミングをすることで、コンピュータの内部でどのようなことが起こっているのかがわかり、IT 社会で生きていく上で必ずや役に立つでしょう。

〔教科書〕

特定の教科書は使用しません。Web 上に資料を載せるので、必要に応じて印刷して授業に臨んでください。

〔参考書〕

授業時に指示します。

情報処理概論 II (JavaI)

「Java 言語によるプログラミング入門」

2 単位 春学期
藤村 光**〔授業科目の内容〕**

プログラミング経験のない学生に対し、Java 言語を用いてコンピュータを動かす方法、およびプログラミングの基礎を紹介します。問題をコンピュータで処理できるように分析し、処理を組み立て、プログラムを作成し、結果を検証するという手順で、いくつかの代表的な問題を取り上げます。

プログラムを作成する際に必要となる一般的な知識を習得するのが目的です。

〔教科書〕

Web サイト <http://web.hc.keio.ac.jp/~fujimura/> で公開

〔参考書〕

講義の展開と個人の進捗にあわせて適宜紹介します。

情報処理概論 II (JavaII)

「Java らしいプログラミングとは」

2 単位 秋学期
藤村 光**〔授業科目の内容〕**

Java 言語を用いて、構造をもつデータの処理、描画、ファイルの読み書き、通信といったテーマを取り上げます。問題をコンピュータで処理できるように分析し、処理を組み立て、プログラムを作成し、結果を検証するという手順を繰り返し、オブジェクト指向プログラミングを習得します。

情報処理概論 II (JavaI) を受講したレベルを前提にしていますが、他のプログラミング言語の知識があれば十分です。

〔教科書〕

Web サイト <http://web.hc.keio.ac.jp/~fujimura/> で公開

〔参考書〕

講義の展開と個人の進捗にあわせて適宜紹介します。

情報処理応用 I

「コンピュータグラフィックス」

2 単位 春学期
大野 義夫**〔授業科目の内容〕**

コンピュータを用いて画像やアニメーションを作る技術を、実習中心として学ぶ。実習には、大学のパソコンを使用し、フリーソフトである POV-Ray を用いる。フリーソフトなので、自宅のパソコンで続きを行うことも可能である。

〔教科書〕

特定の教科書は使いません。必要な教材は PowerPoint ファイルなどとして Web に掲示します。

〔参考書〕

鈴木広隆、倉田和夫、佐藤尚 『POV-Ray による 3 次元 CG 制作』 CG-ARTS 協会

7 教 養 研 究 セ ン タ ー

大学教養研究センター設置科目（極東証券寄附講座）

人類の知的営為の成果を継承・発展させることは大学の重要な役割のひとつです。また大学には実際に広大な「知」の世界が広がっています。この世界に触れることで多様な価値観を知り、そこから自分の関心と進むべき方向を定めることは有意義な大学生活を送るための不可欠な作業です。と同時に、大学では「自ら考え、選び、学ぶこと」も求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生を支える「教養」という知的体力を身につけるための基盤でもあります。

そのために、教養研究センターでは極東証券寄附講座として「生命の教養学」と「アカデミック・スキルズ」を設置しています。「生命をどう捉えるか」をキーワードとする「生命の教養学」は、広大な「知」の世界に触れるためのきっかけとなる授業です。「アカデミック・スキルズ」の目的は、「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを、グループ作業と個人研究を通じて身につけることにあります。またそのようなスキルを、大学の中で出会うさまざまな講義に参加する際や、私たちの生きている社会の現状や問題を考える際に生かしていくことも「アカデミック・スキルズ」の目標です。

また、本年度より、「アカデミック・スキルズ」では「半学半教」をモットーに、学んだことを積極的にほかにも伝えていく「教える」技術にも注目していきます。具体的には「アカデミック・スキルズ」修了後に図書館などの機関で、学んだスキルズや学びのノウハウをもとに、学生仲間へアドバイスを与えるピア・サポーターを育てることを目標としています。学ぶだけでなく、学んだことを仲間たちに伝えたい、自分の経験した学びのつまずきや苦労をもとに仲間へアドバイスしたい、というやる気のある皆さんの参加をお待ちしています。

1. 平成21年度開講科目

- ①春学期「アカデミック・スキルズⅠ 知の基礎を築く」
 - (2単位) 月曜日5時限 定員20名
 - 水曜日5時限 定員20名
 - 金曜日5時限 定員20名
- ②秋学期「アカデミック・スキルズⅡ 知の基礎を築く」
 - (2単位) 月曜日5時限 定員20名
 - 水曜日5時限 定員20名
 - 金曜日5時限 定員20名
- ③春学期「アカデミック・スキルズⅢ 人文科学的知を究める— 知の在り方、文学の読み方、歴史の見方の徹底指導—」
 - (2単位) 木曜日2時限 定員15名
- ④秋学期「アカデミック・スキルズⅣ 人文科学的知を究める— 知の在り方、文学の読み方、歴史の見方の徹底指導—」
 - (2単位) 木曜日2時限 定員15名
- ⑤春学期「生命の教養学」
 - (2単位) 金曜日3時限 定員100名

2. ガイダンス

履修希望者は下記のガイダンスに必ず出席してください。
※ガイダンスおよび授業はすべて日吉キャンパスで行いますので注意してください。

①教養研究センター設置科目全体ガイダンス

4月7日（火）16：00～17：30

会場：日吉J14番教室

②科目・クラス別ガイダンス

1) 「アカデミック・スキルズ（Ⅰ・Ⅱ）」

月曜日クラス

4月13日（月）16：30～

会場：日吉来往舎1Fシンポジウム・スペース

水曜日クラス

4月8日（水）16：30～

会場：日吉来往舎1Fシンポジウム・スペース

金曜日クラス

4月10日（金）16：30～

会場：日吉来往舎1Fシンポジウム・スペース

2) 「アカデミック・スキルズ（Ⅲ・Ⅳ）」

4月9日（木）10：45～

会場：日吉来往舎1Fシンポジウム・スペース

3) 「生命の教養学」

4月10日（金）13：00～

会場：日吉来往舎1Fシンポジウム・スペース

3. 受講申し込み手続き

- ①上記のガイダンス（初回の授業）に出席し、その際に氏名登録した学生のみに「受講申し込み」の権利を与えます。ただし、定員オーバーの場合には抽選を行います。
- ②「授業申し込み」の権利を得た学生は、所属学部履修案内にしたがって「履修申告」をしてください。

4. 履修上の注意

教養研究センターの科目については、単位がどのように与えられるかは学部によって異なります。学部の履修案内を熟読して間違いないように履修してください。

成績評価は各科目につきますが、履修上、次のことに注意してください。

- * 「アカデミック・スキルズⅠ・Ⅱ」の履修者は、より広い視点から学習テーマを見据えるという意味で、春学期・教養研究センター設置「生命の教養学」（金曜日3時限）を履修することが望ましい。
- * 「生命の教養学」だけを単独科目として履修することは可能です。
- * 「アカデミック・スキルズⅢ・Ⅳ」の履修者は、すでに「アカデミック・スキルズⅠ・Ⅱ」を履修し、単位を取得していることが望ましい。
- * 上記以外、各曜日の「アカデミック・スキルズⅠ・Ⅱ」および「アカデミック・スキルズⅢ・Ⅳ」では、学部設置の関連講義科目との組み合わせ履修が原則とされる場合があります。関連

講義科目の詳細については各クラスの初回授業（ガイダンス）にて説明いたしますので、履修希望者は必ず参加してください。

5. 問合せ先

教養研究センター事務室（日吉来往舎1階事務室）
教養研究センター極東証券寄附講座担当
(TEL 045-566-1151 平日8:30～17:00)

「アカデミック・スキルズⅠ」 [春学期]

「— 知の基礎を築く・Ⅰ —」

【月曜日クラス担当】	佐藤元状	識名章喜 赤江雄一
【水曜日クラス担当】	篠原俊吾 横山千晶	不破有理 大出 敦
【金曜日クラス担当】	新井和広	徳永聡子 坂倉杏介

〔授業科目の内容〕

大学では「自ら考え、調べ、論ずること」が求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生を送る上で不可欠な「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。そこでこの「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることがこの授業の目的です。

「アカデミック・スキルズ」は、多分野にまたがる複数の教員によって行われる、学生の自主性を尊重し、かつ学問的関心を活性化させるための少人数セミナー形式の授業で、本年度は基礎編「アカデミック・スキルズⅠ」[春学期]と応用編にあたる「アカデミック・スキルズⅡ」[秋学期]が開講されます。

「アカデミック・スキルズⅠ」の履修者は、原則として秋学期に「アカデミック・スキルズⅡ」を履修することになります。

各「アカデミック・スキルズⅠ」の定員は20名です。履修希望者が多い場合は抽選となります。履修希望者は、ガイダンス・ウィークに行なわれる「アカデミック・スキルズ（Ⅰ・Ⅱ）」のガイダンスに必ず出席して説明を受けてください。

〔教科書〕

『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』
佐藤望編著 慶應義塾大学出版会 2006年

その他、適宜プリントを使用します。

〔参考書〕

授業を通じて適宜指示します。

「アカデミック・スキルズⅡ」 [秋学期]

「— 知の基礎を築く・Ⅱ —」

【月曜日クラス担当】	佐藤元状	識名章喜 赤江雄一
【水曜日クラス担当】	篠原俊吾 横山千晶	不破有理 大出 敦
【金曜日クラス担当】	新井和広	徳永聡子 坂倉杏介

〔授業科目の内容〕

大学では「自ら考え、調べ、論ずること」が求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生を送る上で不可欠な「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。そこでこの「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることがこの授業の目的です。

「アカデミック・スキルズ」は、多分野にまたがる複数の教員によって行われる、学生の自主性を尊重し、かつ学問的関心を活性化させるための少人数セミナー形式の授業で、本年度は基礎編「アカデミック・スキルズⅠ」[春学期]と応用編にあたる「アカデミック・スキルズⅡ」[秋学期]が開講されます。

「アカデミック・スキルズⅡ」の履修者は、原則として春学期に「アカデミック・スキルズⅠ」を履修することを前提とします。

各「アカデミック・スキルズⅡ」の定員は20名です。履修希望者が多い場合は抽選となります。「アカデミック・スキルズⅡ」の履修希望者は、春学期のガイダンス・ウィークに行なわれる「アカデミック・スキルズ（Ⅰ・Ⅱ）」のガイダンスに必ず出席して説明を受けてください。

〔教科書〕

『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』
佐藤望編著 慶應義塾大学出版会 2006年

その他、適宜プリントを使用します。

〔参考書〕

授業を通じて適宜指示します。

「アカデミック・スキルズⅢ」

「人文科学的知を究める——知の在り方、文学の読み方、歴史の見方の徹底指導」

武藤 浩史 横山 千晶
佐藤 元状

〔授業科目の内容〕

知識を集めても、情報を整理しても、真の知には至らない。知とはこの世で最も人間らしいアクロバティックな運動だから。

大学における知でまず大切なのは、講義や読書に啓発されて自分で考え、それについて他人と議論したり、自分のテーマを見つけてそれについてリサーチを行いその成果をプレゼンテーションしたり論文にまとめたりする能力だが、その基本を身につけた後で、独創的で一流の思索者になるためにさらなる飛躍をすることが意外に難しい。アカデミック・スキルズの基本を習得した後で、さらに伸びるためにはどうするかという問題に、決まった正答はない。

しかし、それでも、このアカデミック・スキルズⅢ（そしてⅣ）は、複数の教員が力を合わせて、学生たちに考えることの真髄を妥協せずに伝えることを目指す授業である。学問のそれぞれの領域にはそれぞれに固有の真理があるけれども、ここでは人文科学的な知をとことん学生に叩きこむことを目指そうと思う。そのことによって学生を、知ること・考えることの快樂におぼれさせるのが、当講座の目標となる。

具体的には、一流の文学テキストを徹底的に読みこむ訓練を課すとともに、優れた歴史研究や精神分析のテキストを合わせ読むことで、文学研究の方法の教授に限定することなく、知とは何か、言語とは何か、思考とは何か、人間の営み（＝歴史）とは何かなどの根源的な問題について深い思考を、学生たちの中に育みたい。

なお、アカデミック・スキルズⅠ～Ⅳの目的は、たんに学ぶのみならず、身につけたアカデミック・スキルズを仲間に伝え、学んだ知識を仲間と共有する「半学半教」の精神を構築することでもある。自発的な学習者であると同時に、学んだことをともに分かち合い、教えあう「アカデミック・コミュニティ」の構築もこの授業の最終目標の一つである。

〔教科書〕

小説：『中国行きのスロウボート』村上春樹著、『恥辱』J・M・クッツェー著他。

歴史研究：網野善彦、司馬遼太郎、四方田犬彦、ヘイドン・ホワイト、カルロ・ギンズブルグ、ホミ・バーバラの論考。

精神分析：ジークムント・フロイト、ジャック・ラカン、スラヴォイ・ジジエク他。

アカデミック・スキルズ：『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』佐藤望編著 慶應義塾大学出版会 2006年

「アカデミック・スキルズⅣ」

「人文科学的知を究める——知の在り方、文学の読み方、歴史の見方の徹底指導」

武藤 浩史 横山 千晶
佐藤 元状

〔授業科目の内容〕

アカデミック・スキルズⅢからの継続です。授業の目的・内容については、Ⅲの講義要項を参照してください。

〔教科書〕

小説：『中国行きのスロウボート』村上春樹著、『恥辱』J・M・クッツェー著他。

歴史研究：網野善彦、司馬遼太郎、四方田犬彦、ヘイドン・ホワイト、カルロ・ギンズブルグ、ホミ・バーバラの論考。

精神分析：ジークムント・フロイト、ジャック・ラカン、スラヴォイ・ジジエク他。

アカデミック・スキルズ：『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』佐藤望編著 慶應義塾大学出版会 2006年

「生命の教養学」[春学期]

「『ゆとり』と生命をめぐって」

鈴木 晃仁 宇沢 美子
鈴木 忠

〔授業科目の内容〕

21世紀は「生命の時代」と言われる。なるほど、分子生物学、脳科学、生殖医療、臓器移植といった生命科学の諸問題はきわめて刺激的であり、報道される機会も多い。しかし、自分の生に密接に関わるはずのこれらの問題は、多くのばあい社会の最先端で起こっている驚異（すばらしい科学！）と脅威（おそろしい科学！）の物語として提示されるだけで、私たちはこれらを自分の「生命」と結びつけるには至らない。そもそも私たちは、そこで問われている「生命」が何であるか、本当のところわかっているわけではない。自然科学のみならず人文科学や社会科学をも含む広い視野に立って「生命」を問いなおすことから始めなければならないのではないか？

本講座「生命の教養学」は、受講者が今日の「生命」を多角的に、また自分の問題として捉えられるようになることを目標と

している。年度ごとに新たなテーマを設定し、多彩な講師陣を迎えている。

今年度のテーマは、「ゆとり」である。

近年、広範な議論を呼んだ「ゆとり教育」をめぐる論争は、改めて「ゆとりとは何か」ということを私たちに考えさせた。「ゆとり」という概念は、私たちを取り巻くさまざまな領域に存在する。教育はもちろん、制度、造形芸術や文学、成長し老化する人間の心理、集団の行動、工学、生態学、進化論、そして生命そのもの。これらさまざまな領域における「ゆとり」について、掘り下げたお話を講師の方々から頂いて、ある言葉や概念を、広く・多様に・そして深く考察した授業を学生に提供したいと考えている。

〔参考書〕

必要に応じて授業中に指示する。

8 国際センター

研究講座

国際センターでは、外国、国際関係および日本の文化や社会を理解するための英語による講座を開講しています。

本年度国際研究講座で取り扱う国 / 地域は、アジア・オセアニア、北米・南米、ヨーロッパからアフリカにおよぶほか、国際社会、異文化理解をうながす講座もあります。一方日本研究講座では、社会、経済、ビジネス、政治をはじめ歴史、文学、芸術、思想・宗教など幅広い側面から日本を探究します。

内容については、国際センター発行のパンフレットもしくは以下のURLを参照してください。

<http://www.ic.keio.ac.jp/iccourse/index.html>

ただし、新入生は対象となりません。

在外研修プログラム

全学部・研究科在籍生を対象に、夏季・春季休業期間中に開催されます。単なる語学研修でなく、講義やディスカッションのほか大学内の寮生活をはじめとする多彩な諸活動を通して様々な異文化交流を体験することで国際性豊かな学生を育成することを目的としており、短期間で集中して国外学習を経験できる貴重な機会になっています。

現地への出発前には事前研修を数回実施します。（事後研修を実施する場合もあります。）

新たなプログラムが追加されることもありますので、国際センターホームページを参照してください。

なお、プログラムは、自然災害、戦争、航空機等交通機関にかかわる事故ならびに前記以外の人為的、不慮不可抗力による事故などのために中止する必要があることをあらかじめご了承ください。

〔問合せ先〕 三田国際センター

URL : <http://www.ic.keio.ac.jp/index.html>

「海外に関心のある塾生へ」の「短期プログラム」

詳細や変更は、随時ホームページ等で発表します。

春季講座の詳細は10月ごろホームページで発表します。

〔夏季講座ガイドンス〕

4月2日 (木)	SFC	Ω11番教室	16:30~18:00
4月4日 (土)	矢上	12-211番教室	12:00~13:00
4月6日 (月)	三田	526番教室	10:45~12:15
	日吉	33番教室	16:30~18:00

〔夏季講座応募について〕 (すべて予定)

- (1) オンラインレジストレーション期限 4月12日 (日)
- (2) 募集期間 4月13日 (月)、14日 (火)
- (3) 一次合格発表 4月22日 (水)
- (4) 面接審査 4月25日 (土)
- (5) 選考結果発表 5月1日 (金)

〔単位について〕

各講座の単位は、卒業に必要な単位として認められることがあります。その扱いは、各学部・研究科によって異なりますので各自確認してください。ただし、春季講座は次年度春学期設置科目として認定の為、参加時に最終学年の場合は対象外となります。

①ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ夏季講座

ケンブリッジ大学教員による6つの講義の中から3つを自由に選択する方式のため、自分の専攻分野の学習を深めるだけでなく、知識の幅を広げることができます。

〔現地研修期間〕

2009年8月3日 (月) ~ 9月2日 (水) (予定)

〔研修内容〕

講義 (午前)、ケンブリッジ大生 (TA) をまじえてのディスカッション (午後)。エッセイ作成 (週末)。

〔開講予定科目〕 (予定)

English Literature, British Art,
Ancient Greece and Western Civilization,
Astronomy: Unveiling the Universe, The Science of
Chaos, Evolution and Behaviour

〔単位数〕 4単位

〔募集人数〕 60名

②ウィリアム・アンド・メアリー大学夏季講座

ウィリアム・アンド・メアリー大学は創立1693年の州立大学で、教育・研究で高い評価を得ています。両校の学生が混在する小グループで日米文化をめぐるトピックを研究します。

〔現地研修期間〕

2009年7月29日 (水) ~ 8月13日 (木) (予定)

〔研修内容〕

ダイアログクラス、ウィリアム・アンド・メアリー大生をまじえてのグループワーク、フィールドワーク、プレゼンテーションなど

〔単位数〕 4単位

〔募集人数〕 40名

③ワシントン大学夏季講座

シアトルの豊かな自然を活かしたフィールドトリップを織り込みながら「環境」を多面的な視点から学びます。この講座にはAPRU (環太平洋大学協会) に加盟している海外大学からも数名の学生が参加する予定です。

〔現地研修期間〕

2009年8月3日 (月) ~ 8月22日 (土) (予定)

〔研修内容〕

講義 / ワークショップ、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション、体験宿泊旅行

〔単位数〕 4単位

〔募集人数〕 30名

④オックスフォード大学リンカーンコレッジ夏季講座

ディベート、演劇のワークショップなどを織り込みながら、イギリスの歴史・政治・文化を学びます。また、800年に亘り英国エリートを輩出してきたオックスフォード教育を体験できます。

〔現地研修期間〕

2009年8月21日（金）～2009年9月5日（土）（予定）

〔研修内容〕

講義、ディベート、ディスカッション、ワークショップ、観劇など

〔単位数〕4単位（予定）

〔募集人数〕20名

⑤パリ政治学院春季講座

拡大するEUの政治・経済・社会・文化の諸問題、EU対諸外国との国際関係等、ヨーロッパをめぐる様々なテーマを学びます。フランス語の研修もあり、2カ国語を同時に磨く機会となります。

講義はすべて英語で行われます。

〔現地研修 2008年度参考〕

2009年2月16日～2009年3月13日

〔講義内容 2008年度参考〕

共通ブロック1つと、選択ブロックの中から2つの計3ブロックを履修。

共通ブロック

“Europe: what are we talking about?”

選択ブロック

“Economics of the Euro area”

“Europe and its external relations”

“Migration and identities”

〔単位数〕4単位

〔募集人数〕定員：20名

⑥延世大学春季講座

政治・経済・社会・文化についての講義、韓国語の授業や延世大学学生との交流、慶州へのツアー、テコンドー教室などがあり、韓国を全般的に理解することができます。

講義はすべて英語で行われます。

〔現地研修 2008年度参考〕

2009年2月9日～2009年2月21日

〔研修内容 2008年度参考〕

- 1 Japan-Korea Relationship: Current Issues and Prospects
- 2 Contemporary Korean Pop Culture and the Cultural Wave of “Hallyu”
- 3 Environmental Protection and the Role of NGOs in Korea
- 4 North-South Korean Relations: Challenges and Opportunities
- 5 Political Economy of Korean Development

〔単位数〕2単位（予定）

〔募集人数〕20名（学部生対象）

9 言語文化研究所

言語文化研究所特殊講座は三田に設置されています。時間割は文学部（2・3・4年）時間割に掲載してありますので履修希望者は文学部時間割を参照してください。

〔参考〕平成21年度言語文化研究所特殊講座

科目名	教員名	単位数
サンスクリット初級I	土田龍太郎	半期 1単位
サンスクリット初級II	土田龍太郎	
サンスクリット中級I	土田龍太郎	
サンスクリット中級II	土田龍太郎	
アラビア語基礎I	野元 晋	
アラビア語基礎II	野元 晋	
アラビア語現代文講読I	榮谷温子	
アラビア語現代文講読II	榮谷温子	
アラビア語古典I	岩見 隆	
アラビア語古典II	岩見 隆	
アラビア語文献講読I	岩見 隆	
アラビア語文献講読II	岩見 隆	
ヴェトナム語初級I	嶋尾 稔	
ヴェトナム語初級II	嶋尾 稔	
ヴェトナム語中級I	嶋尾 稔	
ヴェトナム語中級II	嶋尾 稔	
ヴェトナム語文献講読I	嶋尾 稔	
ヴェトナム語文献講読II	嶋尾 稔	
朝鮮語文献講読I	野村伸一	
朝鮮語文献講読II	野村伸一	
ヘブライ語初級I	高井啓介	
ヘブライ語初級II	高井啓介	
ヘブライ語中級I	高井啓介	
ヘブライ語中級II	高井啓介	
ペルシア語初級I	関 喜房	
ペルシア語初級II	関 喜房	
ペルシア語中級I	岩見 隆	
ペルシア語中級II	岩見 隆	
タイ語初級I	三上直光	
タイ語初級II	三上直光	
タイ語中級I	ボンシー, ライト	
タイ語中級II	ボンシー, ライト	
トルコ語初級I	齋藤久美子	
トルコ語初級II	齋藤久美子	
トルコ語中級I	齋藤久美子	
トルコ語中級II	齋藤久美子	
カンボジア語初級I	三上直光	
カンボジア語初級II	三上直光	
古代エジプト語初級I	笈川博一	
古代エジプト語初級II	笈川博一	
古代エジプト語中級I	笈川博一	
古代エジプト語中級II	笈川博一	
アッカド語初級I	高井啓介	
アッカド語初級II	高井啓介	
アッカド語中級I	高井啓介	
アッカド語中級II	高井啓介	

サンスクリット初級Ⅰ（春）**サンスクリット初級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 土田 龍太郎

〔授業科目の内容〕

サンスクリット語入門の講義である。ほぼ一年かけて、サンスクリット語文法体系のあらましを修得することを目的とする。

参加者は、練習問題の予習が必要となる。

〔教科書〕

『サンスクリット語初等文法』 ヤン・ゴンダ著 鎧淳訳 春秋社

『サンスクリット文法』 辻直四郎著 岩波書店

サンスクリット中級Ⅰ（春）**サンスクリット中級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 土田 龍太郎

〔授業科目の内容〕

サンスクリット語の初歩をすでに一通り修得したもののための授業である。

〔教科書〕

参加者の希望で決める。

アラビア語基礎Ⅰ（春）

「文法入門 1」

言語文化研究所 教授 野元 晋

〔授業科目の内容〕

アラビア語の基礎文法をマスターするコースで今期はいわば前半部分を学びます。まず文字から始めて、名詞、「A は B です」の簡単な構文、前置詞、代名詞、形容詞、そして動詞の完了形まで学んでいきます。

〔教科書〕

『新版アラビア語入門』 佐々木淑子著 翔文社 2005 年

〔参考書〕

『パスポート初級アラビア語辞典』 本田孝一・石黒忠昭編 白水社 1997-2001 年

『A Dictionary of Modern Written Arabic』, H. Wehr, edited by J. M. Cowan, 4th ed. (Ithaca, NY: Spoken Language Service, 1994)

（他は授業中に適宜、指示します。）

アラビア語基礎Ⅱ（秋）

「文法入門 2」

言語文化研究所 教授 野元 晋

〔授業科目の内容〕

「アラビア語基礎Ⅰ」のいわば続編にあたるコースです。今期は未完了形から始めて派生形までの動詞を中心に、アラビア語の辞書を引ながら文章を読むための、また会話のための文法知識を身につけていきます。時間に余裕があれば最後に簡単な読み物に挑戦したいとも考えています。

〔教科書〕

『新版アラビア語入門』 佐々木淑子著 翔文社 2005 年

〔参考書〕

『パスポート初級アラビア語辞典』 本田孝一・石黒忠昭編 白水社 1997-2001 年

『A Dictionary of Modern Written Arabic』, H. Wehr, edited by J. M. Cowan, 4th ed. (Ithaca, NY: Spoken Language Service, 1994)
（他は授業中に適宜、指示します。）

アラビア語現代文講読Ⅰ（春）**アラビア語現代文講読Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 榮谷 温子

〔授業科目の内容〕

基礎文法の習得を終えた人を対象として現代文の講読を行います。講読を通して、アラビア語の基本的な文章構造の理解、さらには母音記号などの補助記号がついていない文章にたいする読解力の養成を目的とします。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

『アラビア語入門』 佐々木淑子著 翔文社

『現代アラビア語入門』 黒柳恒男・飯森嘉助著 大学書林

アラビア語古典Ⅰ（春）**アラビア語古典Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 岩見 隆

〔授業科目の内容〕

母音符号のついていない普通のアラビア語テキストを読めるようになるための演習です。文法の知識をテキスト読みにどう生かすかを課題としてやります。

〔教科書〕

Brünnow-Fischer: Arabische Chrestomathie

プリントで配ります

〔参考書〕

『アラビア語入門』 井筒俊彦著 慶應出版社 1950 年

アラビア語文献講読Ⅰ（春）**アラビア語文献講読Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 岩見 隆

〔授業科目の内容〕

アラビア語の定評ある古典の中、平易な散文（叙事の文）をあたりまえに読めるようになることを目指します。

〔教科書〕

受講者と相談して決めます

〔参考書〕

Wright : Arabic Grammar Cambridge Univ. Press, 1962

ヴェトナム語初級Ⅰ（春）**ヴェトナム語初級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 教授 嶋尾 稔

〔授業科目の内容〕

簡単なヴェトナム語が読めるようになることを目指します。前期は、下記の教科書を用いて、発音、基礎文法、基礎会話を学びます。

〔教科書〕

『ニューエクスプレスベトナム語』 三上直光著 白水社 2007 年

ベトナム語中級Ⅰ（春）

ベトナム語中級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 教授 嶋尾 稔

〔授業科目の内容〕

新聞記事程度のベトナム語が読めるようになることを目指します。前期は基礎的な文章を読みます。後期は、ウェブ上のベトナム語の新聞から面白そうな記事を拾って読みます。

〔教科書〕

初回に受講者と相談して決めます。

〔参考書〕

『会話で覚えるベトナム語 666』小高泰・Nguyen Thi Mai Hoa 著 東洋書店 2005 年

ベトナム語文献講読Ⅰ（春）

ベトナム語文献講読Ⅱ（秋）

言語文化研究所 教授 嶋尾 稔

〔授業科目の内容〕

ベトナム語で書かれた学術論文を読みます。あるいは、もし希望者がいればチューノムで書かれたベトナム語の文章に挑戦します。

〔教科書〕

初回に受講者と相談して決めます。

〔参考書〕

『ベトナム語の世界：ベトナム語基本文典』富田健次著 大学書林 2000 年

ペルシア語初級Ⅰ（春）

ペルシア語初級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 関 喜房

〔授業科目の内容〕

現代ペルシア語文法を全くの初歩から講義します。教科書の文法が終わり次第、易しい文章を読むつもりです。その際、文法書には記されていない文法上の例外事項などについて詳しく説明するつもりです。

〔教科書〕

『基礎ペルシア語』岡崎正孝著 大学書林

〔参考書〕

『ペルシア語の話』黒柳恒男著 大学書林

ペルシア語中級Ⅰ（春）

ペルシア語中級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 岩見 隆

〔授業科目の内容〕

ペルシア語の文の流れをつかみとれるように、平易なペルシア語散文をできるだけたくさん読みます。

〔教科書〕

受講する人と相談して決めます。

〔参考書〕

Lambton : Persian grammar. Cambridge Univ. Press, 1974

タイ語初級Ⅰ（春）

タイ語初級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 教授 三上 直光

〔授業科目の内容〕

タイ語入門講座。発音、文字の読み書き、初級文法、基本表現の修得を目標とします。

〔教科書〕

開講時に指示します。

タイ語中級Ⅰ（春）

タイ語中級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 ボンシー, ライト

〔授業科目の内容〕

タイの小学校二年生の教科書より短編ストーリーを用いて、タイ語の運用能力向上を目指します。

〔教科書〕

プリント使用。

トルコ語初級Ⅰ（春）

トルコ語初級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 齋藤 久美子

〔授業科目の内容〕

トルコ語の基礎文法の習得を目指します。

〔教科書〕

『トルコ語 文法の基礎（新版）』東京外国語大学トルコ語専攻編 1,211 円

トルコ語中級Ⅰ（春）

トルコ語中級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 齋藤 久美子

〔授業科目の内容〕

基礎文法を学んだ人を対象としてトルコ語のテキストを講読します。

〔教科書〕

初回の授業で受講者と相談して決めます。

朝鮮語文献講読Ⅰ（春）
朝鮮語文献講読Ⅱ（秋）

文学部 教授 野村 伸一

〔授業科目の内容〕

朝鮮半島の歴史と社会を知るための授業です。

ふたつのことをめざします。ひとつは現代韓国社会の視点を学ぶことです。もうひとつは朝鮮の文化史を内外からみることです。

〔教科書〕

上記の目的にかなう素材として『ハンギョレ21』に掲載されている連載コラムを取りあげます。ひとつは、안대희의 조선의 비주류 인생、もうひとつは박노자의 거꾸로 본 고대사です。前者は主として朝鮮王朝時代の社会史に関連するものです。後者は古代史を素材として朝鮮半島の位相を的確に述べていく文章です。いずれもウェブサイト上で公開されています。そのバックナンバーのなかから、2009年度のものを中心に選び、keio.jp 上に掲載します（3月なかごろ掲載予定）。受講者は各自、ダウンロードして授業に臨んでください。

〔参考書〕

野村伸一「翻訳の世界－朝鮮語と日本語のばあい」韓国・朝鮮文化研究会『韓国朝鮮の文化と社会』6、風響社、149-205頁。

カンボジア語初級Ⅰ（春）
カンボジア語初級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 教授 三上 直光

〔授業科目の内容〕

カンボジア語入門講座。発音、文字の読み書き、初級文法、基本表現の修得を目標とします。

〔教科書〕

開講時に指示します。

ヘブライ語初級Ⅰ（春）
ヘブライ語初級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 高井 啓介

〔授業科目の内容〕

旧約聖書ヘブライ語の文法を初歩から学びます。

基本的な文法事項を学習したうえで、簡単な講読も行います。

〔教科書〕

『聖書ヘブライ語文法』小脇光男著 青山社 2001年

〔参考書〕

開講時に指示します。

ヘブライ語中級Ⅰ（春）
ヘブライ語中級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 高井 啓介

〔授業科目の内容〕

旧約聖書の散文を講読します。ルツ記及び士師記を読む予定です。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

開講時に指示します。

古代エジプト語初級Ⅰ（春）
古代エジプト語初級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 笈川 博一

〔授業科目の内容〕

文法体系が比較的よく分かっている後期エジプト語の初歩。まったくの初心者をも想定している。

〔教科書〕

テキストは「ヴェナモン」を用いるが、プリントを授業で配布する。

〔参考書〕

5月ごろから辞書（約¥9000）が必要となるが、それについては授業で案内する。

古代エジプト語中級Ⅰ（春）
古代エジプト語中級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 笈川 博一

〔授業科目の内容〕

中期エジプト語の初歩。

〔教科書〕

テキストは受講者と相談して決める。

アッカド語初級Ⅰ（春）
アッカド語初級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 高井 啓介

〔授業科目の内容〕

アッカド語を学ぶ際の基礎となる古バビロニア方言（Old Babylonian）の初級文法及び文字表記システムの修得を目的とします。文法事項を学び進めながら、アッカド語が記されるときに使われた楔形文字のうち主要なものを覚えていきます。秋学期以降には、ハンムラビ法典など著名な作品の雰囲気にも触れていきたいと考えています。

〔教科書〕

テキストはプリントを準備します。

〔参考書〕

開講時に指示します。

アッカド語中級Ⅰ（春）
アッカド語中級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 高井 啓介

〔授業科目の内容〕

アッカド語の初級文法を一通り学んだ人を対象に文献講読を行います。文法事項を再度確認しながら、簡単なものからはじめていろいろなジャンルのテキストを読んでいくことにします。具体的なテキストは受講者と相談して選びます。

〔教科書〕

テキストはプリントを準備します。

10 知的資産センター設置講座

1. 知的資産センター設置講座について

慶應義塾大学では、研究成果の社会への還元を、教育・研究と並ぶ大学の使命と考えています。そして、「慶應義塾で生れた研究成果は義塾にとって貴重な知的資産であり、大学はこれら知的資産の保護と活用を積極的に促進・支援する」という理念を公表しています。

こうした方針に基づき、知的資産センターは慶應義塾で生れた研究成果を社会へ還元するために、慶應義塾大学の技術移転機関として1998年11月に設立されました。技術に関するものだけでなく、デジタルメディアを始めとして広汎な研究成果を対象とするとともに、新しい事業の創出に資するという意味をこめて「知的資産センター」と名付けられました。

知的資産センターの事業は、研究成果の特許保護、技術の移転、共同研究や受託研究の支援、ベンチャー起業の支援というように、研究成果の社会への還元をいろんな形で支援してまいります。そして、教職員の熱意と高いポテンシャルをもった研究成果に支えられ、既に数多くの慶應義塾の特許出願が生まれ、技術移転も活発化し、多くの新製品やサービスの提供につながっています。さらに、バイオ分野を中心に多くのベンチャー企業がスタートアップしました。

これらの業務に加え、知的資産センターは技術移転の側面を中心に、知的財産に関する教育・研究も任務としています。今や知的創造の時代ですが、時代とともに知的財産の範囲や期待される役割なども変化します。こうした時代の変化に対応していくためには、専攻分野に係わらず知的財産に関する幅広い知識と理解が求められます。そこで、知的財産に関する教育の一環として、全学部の学生を対象として知的財産全般について基本的な事項の理解を図るため、設置講座を設けています。

2. 設置科目、履修上の取扱いについて

今年度は「知的資産概論」の1科目を、春学期 三田キャンパスで開講します。

授業時間は水曜日 18:10～19:40、単位は2単位です。その他授業に関する情報は、三田掲示板、<http://www.ipc.keio.ac.jp>でお知らせします。

受講を希望する方は、履修の取扱いについて各学部、研究科の履修案内で確認の上、各学部窓口で履修申告をしてください。

3. 講義要綱

知的資産概論

—保護と活用をめぐる課題— (ナテグリニド特別講座)

知的資産センター所長 (教授〔大学所属〕) 羽鳥 賢一

〔授業科目の内容〕

種々の知的資産や制度について、その仕組みを概括した上で、その保護のあり方や活用の方策に関し、今日の課題やその課題への対応策を考えます。また、その中で、現在および将来

の知的財産のあり方に関する幅広い知識を修得することを目標とします。

知的財産には、技術 (特許やノウハウ)、デザイン (意匠)、ブランド (商標)、プログラムやデータベース (著作権)、音楽・映画等のコンテンツ (著作権) といったものがありますが、その権利の内容や活用方法は、それぞれ固有の特色があります。また、同じ知的財産が世界共通的に保護・活用される場合でも、国によってその取扱いが異なることもあります。本講義では、こうした種々の知的財産の保護と活用をめぐる現状と課題について、テーマに応じ、その分野の第一線で活躍の有識者を招いて、講演および質疑応答の中で理解を深めてまいります。

〔教科書〕

講義資料を配布します。

〔参考書〕

『産業財産権標準テキスト』特許庁企画

『知的創造時代の知的財産』清水啓助他著 慶應義塾大学出版会

『よくわかる特許』羽鳥賢一他著 オーム社

『著作権の考え方』岡本著 岩波新書

11 教 職 課 程 セ ン タ ー

教員免許を取得しようと考えている学生は、「教職課程」を履修しなければなりません。本塾大学では「教職課程センター」が、教職課程履修者の指導に当たっています。

教職課程センターでは、毎年学年初めに教職課程の履修を希望する学生を対象に「教職課程ガイダンス」を実施しています。履修希望者は、その教職課程ガイダンスに出席し、本塾大学における教員養成について十分理解した上で、教職課程を履修してください。

1998年に教育職員免許法の改正がなされ、2000年度入学者から新免許法が適用されることになりました。それ以前に入学した人は88年改正免許法が適用されます。したがって、入学年度により免許状取得に必要な履修科目および単位数が異なりますので、注意してください。

以下の説明は、98年改正法適用者向けとなっています。

本塾大学の教職課程で取得できる教員免許状の種類および教科は以下のとおりです。

文学部	人文社会学科	中学校 1種	国語、社会、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）
		高等学校 1種	国語、地理歴史、公民、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）、情報
経済学部	経済学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
法学部	法律学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
	政治学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
商学部	商学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民、商業
理工学部	機械工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	工業
	電子工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	工業
	応用化学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	工業
	物理情報工学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
	管理工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	情報
	数理科学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	情報
	物理学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
	化学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
	システムデザイン工学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	情報
	情報工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	情報
	生命情報学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	

教職課程履修案内

【教職課程の履修・登録の学年について】

〈1 教職課程の履修学年〉

教職課程を区分しますと、次の4領域にわたっています。

- (1) 教科に関する科目
- (2) 教職に関する科目
- (3) 教科又は教職に関する科目
- (4) (1) と (2) と (3) 以外の科目

以上のうち、(1) はそのほとんどを第3学年から履修します。
 (2) および (3) は第2学年から履修できます。(4) は「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけるための科目で、学部によって名称が異なりますが、総合教育科目などと呼ばれている科目です。この科目は第1学年から履修します。以上はおおよその目安であり、学部のカリキュラムによって多少の違いがあります。
 (注) 法学部秋学期入学の学生は教職課程の履修の仕方に異なる点がありますから、個別に学習指導を受けてください。

〈2 教職課程の登録〉

教職課程を履修しようとする人は、所定の登録をしなければなりません。教職課程登録は第2学年から行っています。

登録学年		登録場所
文学部	第2学年	(三田) 教職課程センター
経済学部	第2学年	(日吉) 学事センター
法学部	第2学年	
商学部	第2学年	
理工学部	第2学年	

参考：登録の際「教職課程費」（現行30,000円）を納入しなければなりません。

【2 科目の履修について】

前述の教職課程の4つの領域について、各領域ごとにその履修解説をしておきます。

〈1 教科に関する科目〉

この科目群の詳細については、教職課程の登録の際の三田または矢上で行われる「教職課程ガイダンス」で学習指導担当者が説明します。ここでは履修上学生がよく誤解する点のみ以下に述べます。

- (1) 「教科に関する科目」は、学則上以下の3つの科目区分にわたって設置されています。
 - ①所属学部・学科の専門的領域に属する科目
 - ②各学部・学科の「教職課程教科に関する科目」
 - ③教職課程センター設置の「教科に関する科目」

①の科目の名称は、学部ごとに異なり、以下のようになっています。

文学部	専門教育科目
経済学部	専門教育科目
法学部法律学科	法律学科目
法学部政治学科	政治学科目、社会科学科目

商学部
理工学部

専攻科目
専門教育科目、基礎教育科目

以上の科目のうちすべてが「教科に関する科目」とはなりません。当該学部・学科で取得できる免許教科に関連する科目が「教科に関する科目」となります。学部1・2学年に配当されている所属学部・学科の科目のうち、この科目にあたるものがありますので、なるべく単位を取得しておく方が望ましいです。第1・2学年に配当されている「教科に関する科目」のうち、特に第1・2学年で単位取得が望ましい科目については、4月の「教職課程ガイダンス」で説明しますので、必ず出席するようにしてください。

②と③の科目は、第2学年以降で履修しますので、教職課程登録を行う学年に進級した際に各キャンパスで行われる「教職課程ガイダンス」に出席し、学習指導担当者の説明を聞いて履修してください。

(2) 同一名称や類似名称の科目であっても、専門教育科目・法律学科目・政治学科目・専攻科目および「教職課程教科に関する科目」でない科目は、原則として「教科に関する科目」とならないので、注意してください。詳細につきましては、「教職課程ガイダンス」で説明します。

〈2 教職に関する科目〉

「教職に関する科目」は、教職課程を登録する学年から履修できます。これらの科目に関する学部での履修上の扱いは、多くは「自由科目」となっています。学部によって「自由科目」の扱いが異なる場合がありますので、学生諸君は履修申告の際、十分注意を払う必要があります。

〈3 教科又は教職に関する科目〉

主に三田キャンパスに設置されている科目です。履修については「教職課程ガイダンス」で説明します。

〈4 1、2、3以外の科目〉

教育職員免許法施行規則には「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけることが規定されています。各学部で以下のような科目区分で設置されている科目を所属学部・学科の学則に従って履修すれば、この規定の要件は達成されます。

文学部	総合教育科目
経済学部	総合教育科目、保健体育科目
法学部	人文科学科目、自然科学科目、数学・統計・ 情報処理科目、社会科学科目、保健体育科目
商学部	総合教育科目
理工学部	総合教育科目

しかし、教員免許取得のためには、特に、次の単位が必修となっていますので注意してください。

(1) 「法学（憲法を含む）」（4単位）必修。または、「法学I（憲法を含む）」（2単位）と「法学II（憲法を含む）」（2単位）の2科目必修。Iのみ、あるいはIIのみでは認められません。

(2) 「体育」2単位必修

このうち、1単位は必ず実技科目でなくてはなりません。残りの1単位は、体育学講義、体育理論、体育学演習、体育実技のうちから選択できます。

(3) 「外国語コミュニケーション」必修

卒業するための単位に含まれている外国語に関する必修科目を履修することによって単位修得できます。

(4) 「情報機器の操作」必修

以下の科目のいずれかを修得しなければなりません。

文学部 基礎情報処理

経済学部 情報処理I・II・III

法学部 情報処理I・II・III・IV

商学部 情報リテラシー基礎 (情報処理I)・

データとの対話 (情報処理II)

理工学部 情報処理同実習

なお、「法学 (憲法を含む)」と「体育」は、第1・2学年に配当・設置されていることが多いので、なるべく配当学年の内に取得しておくこと。また、所属学部設置されている科目を原則として履修すること。

【3 教職課程履修開始の心構え】

安易な気持ちで教職課程を履修することがないようにしてください。特に以下の点は十分に理解する必要があります。

- (1) 教員免許状を取得するには卒業に必要な単位のほかに、かなり多くの単位を余分に履修しなければならないということ。
- (2) 教員免許状が取得できたとしても、教員の需給の関係からして就職は最近特に困難であるということ。

将来中学校・高校の教員になることを志望している学生諸君は、以上の点をよく考慮した上で、教職課程の履修を第2学年からはじめてください。

【4 介護等体験について】

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」(通称・介護等体験特例法)が成立し、平成10年4月1日から施行されました。これにより、小学校教諭または中学校教諭の普通免許状は取得しようとする人には、7日間を下らない範囲内で、特別支援学校(盲学校、聾学校、養護学校)または社会福祉施設等で、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの人との交流等が必要となります。この法律は平成10年4月1日以降に入学した学生に適用されます。教職課程ガイダンスで、そのことについての説明がありますので、注意して聞いてください。なお、教職課程登録をした、3年生以上の学生のみが大学を通して社会福祉施設等に申し込むことができます。

【5 その他の注意】

- (1) 教職課程の掲示板は、第4校舎J19番教室手前にあります。

重要な事項および各種ガイダンス日程などを掲示します。

見落としのないよう十分注意してください。

- (2) 教職課程ガイダンスについて

教職課程に興味のある1年生は、1年生向けの教職課程ガイダンスに出席してください。また、教職課程を履修しようとする2年生は、新規登録希望者向けの教職課程ガイダンスに必ず出席してください。

12 外国語学校

外国語学校は、昭和17年10月語学研究所（現在の言語文化研究所）の設置と同時にその実践部門として開校され、以来塾生はもとより、他校学生、一般社会人の外国語学習の場として、高い評価を得ています。現在、欧米諸国語はもとより、アジア諸言語など14外国語科を設置し、約1,000名の学生が在学しています。授業は、義塾内外の外国語担当教授をはじめ、外国語を使って実際の場で活躍している職業人、外国人講師など、優れた教員によって行われています。

授業は、三田キャンパスで18：30～20：00（英会話のみ16：30～18：00もあり）に開講しています。受講に当たっては外国語学校の定める入学手続きが必要で、詳細については、「外国語学校入学案内」（一部500円、三田・日吉正門警備室でも取扱う）を参照して下さい。開講は4月と10月で入学願書の受付は2月上旬～3月上旬、8月上旬～9月上旬の年2回です。

法学部の学生は、学部教授会によって認定された右表の科目を自由科目として春・秋学期各2単位履修することができます。履修申告の方法は、学部の自由科目の申告方法と同じです。必ず学部に関心合わせてください。

外国語学校の入学手続は、4月期（春学期）の場合、履修申告手続よりも前に行わなければならないので、後日もし学部の履修科目と時間が重なったことが判った時は、直ちに外国語学校事務室に相談してください。

また、日吉キャンパスでは日吉特別講座を18：30～20：00に開講しています。開講する語学は英語・ドイツ語・フランス語の3カ国語です。詳しくは、外国語教育研究センター日吉事務室へお問合せください。

<http://www.fl.s.keio.ac.jp/>

●外国語学校で学べる外国語

三田

英語、英会話、ビジネス・イングリッシュ、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、イタリア語、インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、ベトナム語、タイ語

日吉

英語、ドイツ語、フランス語

外国語学校開講科目のうち、法学部の自由科目とすることができるもの

語学科	クラス	週間授業数
(1) 英語	上 級	3回
(2) 英会話	中 級 上 級	2回 2回
(3) ビジネス・イングリッシュ		2回
(4) ドイツ語	基礎級	3回
(5) フランス語	初 級	3回
(6) スペイン語	中 級	※3回
(7) 中国語	上 級	※3回
(8) イタリア語	基礎級	2回
(9) ロシア語	初 級	2回
(10) インドネシア語	中 級	2回
(11) アラビア語	上 級	2回
(12) 朝鮮語		
(13) ベトナム語		
(14) タイ語		

※スペイン語上級および中国語中級・上級は週2回

索 引

索引

科目

B	B (1) 薬学への招待	234
C	C 1 (1) 物質の構造	235
	C 1 (2) 物質の状態I	235
	C 2 (1) 化学平衡	235
	C 2 (2) 化学物質の検出と定量	235
	C 4 (2) 有機化合物の骨格	235
	C 8 (2) 生命体の基本単位としての細胞	236
	C 9 (1) 細胞を構成する分子	236
E	E E P	193
F	F (3) 基礎物理	236
	F (4) 基礎化学	236
	F (5) 基礎生物	236
	F (6) 基礎微積分学	234
	F (7) スポーツ科学	234
	F (9) 有機化学演習I	237
	F (10) 化学演習	237
	F (11) 生物学演習I	237
	F (12) 物理学演習	237
あ	アカデミック・スキルズI	272
	アカデミック・スキルズII	272
	アカデミック・スキルズIII	272
	アカデミック・スキルズIV	273
	アッカド語初級I	279
	アッカド語初級II	279
	アッカド語中級I	279
	アッカド語中級II	279
	アラビア語基礎I	277
	アラビア語基礎II	277
	アラビア語現代文講読I	277
	アラビア語現代文講読II	277
	アラビア語古典I	277
	アラビア語古典II	277
	アラビア語文献講読I	277
	アラビア語文献講読II	277
	アルゴリズム	197
	アルゴリズム同演習	198
	アルゴリズムと情報処理	197
	アルゴリズム論	198
い	遺伝子の科学	229
	医療・福祉の行政	4
	医療科学I	192
	インダストリアル・エンジニアリング	198
う	ヴェトナム語初級I	277
	ヴェトナム語初級II	277
	ヴェトナム語中級I	278
	ヴェトナム語中級II	278
	ヴェトナム語文献講読I	278
	ヴェトナム語文献講読II	278
	宇宙科学	229
え	映像・音響文化論	4
	エレクトロニクス・デバイス	198
	エレクトロニクス基礎	198
	エレクトロニクス創造演習	198
	演習I	170~172
	演習II	173~175
お	応用解析第1 (応化、化学)	199
	応用解析第1 (機械)	199
	応用解析第1 (数理、物理)	199

	応用解析第1 (電子、SD)	199
	応用解析第2	199
	応用化学計算基礎	199
	応用確率論 (機械、物情)	200
	応用確率論 (情報)	200
	応用確率論 (電子)	200
	応用経営学	181
	応用数学 (機械、電子、物理)	200
	応用数学 (情報)	200
	応用電磁気学同演習	200
	応用簿記	181、182
	オペレーションズ・リサーチ第1	200
	音楽I	4~8
	音楽II	4~8
か	会計学	188
	解析I	187
	解析II	187
	解析学入門I	145
	解析学入門II	145
	解析力学	201
	回路とシステム第1	201
	回路とシステム第2	201
	化学I	191
	化学I (実験を含む)	8~9
	化学II	191
	化学II (実験を含む)	8~10
	化学A (全学門)	195
	化学B (学門1、2、4、5)	196
	化学C (学門3)	196
	化学D (学門3)	196
	科学技術と現代社会	10
	科学史I	10
	科学史II	10
	化学実験	192
	化学統計熱力学	201
	化学統計熱力学演習	201
	科学と社会	10
	学外実習第1	202
	確率 (管理)	202
	確率 (機械、応化、数理、物理、化学)	202
	確率・統計	202
	確率論基礎	185、189
	確率論入門I	146
	確率論入門II	146
	環境化学	202
	環境化学概論	202
	監査論	182
	関数論第1 同演習	202
	漢文	11
	漢文 a	11
	漢文 b	11
	カンボジア語初級I	279
	カンボジア語初級II	279
	管理会計論	182
	管理工学概論	203
	管理工学基礎演習I	203
	管理工学基礎演習II	203
	管理工学用数学第1	203
き	機械工学創造演習	203
	機械力学の基礎	203
	企業法	182
	基礎化学実験	204
	基礎情報処理	126

基礎数学I	149	ゲーム理論基礎	185
基礎数学II	149	言語学	126
基礎生物学	204	言語学I	13
基礎生命実験	204	言語学II	13
基礎統計学I	149	言語学III	14
基礎統計学II	149	言語学IV	14
基礎の数学	11	言語認識論	14
基礎物理演習	237	現代化学概論	230
基礎分子細胞生物学I	192	現代芸術論	14
基本簿記と財務諸表の見方	179	現代思想論	15
教育学I	11	現代社会と医学II	264
教育学II	11	現代社会論	15
行政学I	167	現代生物学概論	15
行政学II	168	現代世界史	16
行政法	167	現代中東論I	168
近現代建築史	229	現代日本史	16
近代思想史I	11、12	現代物理学概論	230
近代思想史II	11、12	現代メディア論	16
近代日本と福澤諭吉	263	憲法	164
く 空間設計製図A	204	憲法 (総論・人権) I	155
け 経営学	188	憲法 (統治) I	155
経営学 (環境と戦略)	178	憲法I A	155
経営学 (組織と管理)	178	憲法I B	155
経営管理論	204	憲法 (総論・人権) II	155
経済学	186	憲法 (統治) II	155
経済学I	12、183	憲法II A	155
経済学II	12、183、184	憲法II B	155
経済学基礎I	176	こ 光学基礎	207
経済学基礎II	176	工学数学	207
経済原論I	163、164	高分子化学基礎	207
経済原論II	164	国語国文	17
経済史	188	国語国文I	16
経済史I	140、177	国語国文II	16、17
経済史II	140、177	国語国文 a	17
経済思想の歴史I	141、142	国語国文 b	17
経済思想の歴史II	142、143	国際化と法	161
経済人類学I	13	国際政治基礎	166
経済人類学II	13	国際政治論I	168
経済数学I	143	国際政治論II	168
経済数学II	143	国際法	167
経済数学III	143	古代エジプト語初級I	279
経済数学入門I	146	古代エジプト語初級II	279
経済数学入門II	147	古代エジプト語中級I	279
経済と環境	143、144	古代エジプト語中級II	279
計算機科学同実習	204	古代日本政治史I	168
計算機基礎 (化学、情報)	205	コンピュータ実習	207
計算機基礎 (機械、管理、数理、物理)	205	さ 細胞生物学第1	207
計算機構成同演習	205	財務会計論	182
計算論理学	206	材料力学の解法	207
計算力学の基礎I	205	材料力学の基礎	208
計算力学の基礎II	206	酸塩基及び酸化還元	208
形状情報の表現	206	産業経済学	188
計測工学 (物情、物理)	206	産業経済論 a	181
刑法	167	産業経済論 b	181
刑法 (各論) I	158	サンスクリット初級I	277
刑法 (総論) I	157	サンスクリット初級II	277
刑法I A	157	サンスクリット中級I	277
刑法I B	157、158	サンスクリット中級II	277
刑法 (各論) II	158	し ジェンダー論I	17
刑法 (総論) II	157、158	ジェンダー論II	17
刑法II A	158	時事英語I	241
刑法II B	157、158	時事英語II	241
計量経済学概論	144	システム制御論	208

システムデザイン工学概論	208	情報処理概論I	270
システムデザイン工学基礎演習	208	情報処理概論II (JavaI)	270
自然科学研究会I	103、104	情報処理概論II (JavaII)	270
自然科学研究会II	104、105	情報処理システム	210
自然科学実験 (全学門)	197	情報処理同実習 (全学門)	197
自然科学総合講座II	153	情報数学概論	210
自然科学特論I	132、153	情報通信工学基礎	210
自然科学特論II	132、153	情報リテラシー基礎	184
自然人類学	17	情報理論	210
私法基礎	188	女性学	20
私法基礎I	178	書物の世界I	126
私法基礎II	178	書物の世界II	126
社会・経済と工学	209	人体の生理	230
社会科学概論I	18	身体文化論	20
社会科学概論II	18	振動と波動	211
社会科学特論	132	人文科学特論	129、130
社会科学特論I	131、132	人文科学特論I	105、106、127、128、130、131
社会科学特論II	131、132	人文科学特論II	106、107、127、128、130、131
社会科学の考え方	11、18、186	人文総合講座I	20
社会学	18、19、163	人文総合講座II	21
社会学I	19	心理学I	23～29、231
社会学II	18、19	心理学II	23～29、231
社会学 a	18、19	人類学	29、126
社会学 b	18、19	人類学I	29
社会経済学	188	人類学II	29
社会経済学I	177	人類学 a	29
社会経済学II	177	人類学 b	29
社会心理学I	19	す 数学A 1 (学門1、3、4、5)	194
社会心理学II	19	数学A 2 (学門1、3、4、5)	194
社会との対話D	184、188	数学A 3 (学門2)	194
社会問題I	145	数学A 4 (学門2)	194
社会問題II	145	数学B 1 (学門1、3、4、5)	194
周期表の化学基礎	209	数学B 2 (学門1、4、5)	194
周期表の化学第1	209	数学B 3 (学門2)	194
自由研究セミナー	93～96、98、102	数学B 4 (学門2)	195
自由研究セミナー a	93～103	数学I	127、150、190
自由研究セミナー b	93～103	数学II	127、150、190
集合と位相第1	209	数学III	150、190
集合と位相第2	209	数学IV	150
住宅・建築史概論	230、232	数学解析第1 (管理、数理)	211
商学概論	186	数学解析第1 (機械、応化、物理、化学)	211
商業学	188	数学解析第2 (機械、物理)	211
商業学I	180、181	数学解析第2 (数理)	211
商業学II	179～181	数学概論I	133
情報経済学	209	数学概論II	133
情報処理I	151、152、187	数理科学基礎第1	212
情報処理I (UNIX 入門)	138	数理科学基礎第2	212
情報処理I (Windows 入門)	137	数理計画法	187
情報処理II	151、152	図形情報処理	212
情報処理II (C言語プログラミングI)	138	せ 生化学	212
情報処理II (Delphi)	187	政治学I	29～32
情報処理II (Excel による統計データの処理)	138	政治学II	30～33
情報処理II (Fortran 言語による統計データ処理I)	139	政治学基礎I	165
情報処理II (WWW による情報発信とサービス提供I)	139	政治学基礎II	165
情報処理II (ネットワーク活用)	187	政治思想基礎	165
情報処理II (表計算応用)	187	政治文化論	168
情報処理III	152	生体計測論	212
情報処理III (C言語プログラミングII)	138	生体反応論第1	212
情報処理III (Fortran 言語による統計データ処理II)	139	生体物質の化学	213
情報処理III (WWW による情報発信とサービス提供II)	140	生体分子構造論	213
情報処理IV	152	生物科学入門	231
情報処理応用I	207	生物学	191
		生物学I (実験を含む)	33～37

生物学II (実験を含む)	33 ~ 38	体育実技A (フットサル)	248
生物学実験	192、231	体育実技A (フライングディスク)	257
生物学実験集中	232	体育実技A (ボクシング)	253
生物学序論 (全学門)	196	体育実技A (ボディーコンディショニング (ヨガ&ピラティス))	255
生物量子化学	213	体育実技A (ボディメイクエクササイズ)	254
生命科学のための確率論	213	体育実技A (野球)	252
生命系の数学	213	体育実技A (陸上競技)	256
生命系の有機化学	213	体育実技B (アウトドアレクリエーション)	261
生命現象の分子科学	38	体育実技B (山岳)	259
生命の科学	38	体育実技B (スキー)	261
生命の教養学	273	体育実技B (スケート)	261
生命物理化学第1	214	体育実技B (ニュースポーツ)	257
生命物理化学第2	214	体育実技B (馬術)	259
西洋外交史I	169	体育実技B (バレーボール)	251
西洋建築史	230、232	体育実技B (ビーチバレー)	260
世界経済の現状と問題	134	体育実技B (ヨット)	260
世界の経済	232	タイ語初級I	278
世界の政治	38	タイ語初級II	278
線形代数	133、185、187	タイ語中級I	278
線形代数 (応化、化学)	214	タイ語中級II	278
線形代数 (管理、数理)	215	代数学基礎同演習	215
線形代数 (機械、物理)	214	ダイナミカルシステム (機械)	215
線形代数演習	185、189	ダイナミカルシステム (SD)	215
線形代数統論	133	ち 地域研究基礎	166
そ 造形・デザイン論 (すぐれた造形デザイン)	39	地域研究 - スペイン事情I	39
造形・デザイン論 (日本の造形デザイン)	39	地域研究 - スペイン事情II	39
総合教育セミナーI	92、119 ~ 121	地域研究 - 中国事情I	39
総合教育セミナーII	92、93、120 ~ 123	地域研究 - 中国事情II	39
総合教育セミナーD (I 類)	108、109	地域研究 - 中国事情III	40
総合教育セミナーD (II 類)	109、116	地域研究 - 中国事情IV	40
総合教育セミナーD (III 類)	117	地域研究 - 北米事情I	40
総合教育セミナーS (I 類)	117、118	地域研究 - 北米事情II	40
総合教育セミナーS (II 類)	118、119	地域生態文化論	40
ソフトウェア工学	215	地域文化論	41
た 体育学演習	246	地域文化論I	41、43 ~ 48
体育学講義	244、245	地域文化論II	42 ~ 46、48
体育実技A (アーチェリー)	257	地域文化論III	42 ~ 45、47
体育実技A (合気道)	252	地域文化論IV	42 ~ 47
体育実技A (アクアエクササイズ)	254	地学I	48、49
体育実技A (ウォーキング・エクササイズ)	255	地学II	49、50
体育実技A (エアロビクス)	254、255	地球科学概論I	50
体育実技A (空手)	258	地球科学概論II	50
体育実技A (弓術)	258	知的資産概論	280
体育実技A (剣道 日本剣道形クラス)	253	中級線形代数	185、189
体育実技A (剣道)	253	中級微積分	185、189
体育実技A (ゴルフ)	256	中国事情	50
体育実技A (サッカー)	248	朝鮮語文献講読I	279
体育実技A (自動車)	256	朝鮮語文献講読II	279
体育実技A (柔道)	252	朝鮮文化・文学の歴史I 朝鮮文化・文学の歴史	127
体育実技A (ジョギング)	255、256	朝鮮文化・文学の歴史II 朝鮮文化・文学の歴史	127
体育実技A (水泳)	253、258	地理学I	51、52
体育実技A (ソフトテニス)	249	地理学II	51、52
体育実技A (体力UP コース)	254	つ 通信システム	216
体育実技A (卓球)	250	て デジタル回路	216
体育実技A (ダンス)	255	データ解析I	147
体育実技A (テニス)	249、250	データ解析II	147
体育実技A (軟式野球)	252	データ解析入門I	147
体育実技A (ニュースポーツ)	257	データ解析入門II	147
体育実技A (バスケットボール)	251	データとの対話D	185
体育実技A (バドミントン)	250	データとの対話D (Delphi)	186
体育実技A (バレーボール)	251	データとの対話D (ネットワーク活用)	186
体育実技A (ハンドボール)	251	デザインリテラシー演習	216
体育実技A (フェンシング)	253		

デジタル・アナログ回路	216	微分積分入門	133
デジタル基礎	216	微分法	187
哲学I	53～57	ヒューマン・ファクターズ	221
哲学II	53～57	表象文化論	64
電気回路基礎	216	表象文化論 a	64
電気回路同演習	216	表象文化論 b	64
電気回路理論	217	ふ ファイナンス数学I	147
電気電子工学セミナーI	217	ファイナンス数学II	178
電気電子工学セミナーII	217	複素解析 (機械、応化)	221
電気電子材料	217	複素解析 (電子、化学、物理)	221
電子回路基礎 (機械、応化、物理、化学)	217	物質の精製分析	221
電子回路基礎 (情報)	218	物性科学	233
電子回路同演習	218	物理化学 1	222
電磁エネルギー変換工学	218	物理化学演習	222
電磁気学	218	物理化学基礎	222
電磁気学第 1	218	物理学I	190
電磁気学同演習	218	物理学I (実験を含む)	65～67
電磁気工学	219	物理学II	190、191
天文学	57、232	物理学II (実験を含む)	65～67
天文学 a	57	物理学 A (全学門)	195
天文学 b	57	物理学 B (全学門)	195
と 統計解析	219	物理学 C (全学門)	195
統計学I	140、150、176、187	物理学 D (全学門)	195
統計学II	140、151、176、187	物理学演習第 1	223
統計学III	151	物理学演習第 2	223
統計学IV	151	物理学実験	191
動物行動学	57	物理情報数学 A	223
トルコ語初級I	278	物理情報数学 B	223
トルコ語初級II	278	フランス事情I	67
トルコ語中級I	278	フランス事情II	68
トルコ語中級II	278	プログラミング演習	223
に 21 世紀の実学	58	プログラミング基礎同演習	223
日本・東洋建築史	232	プログラミング言語	223
日本外交史I	169	プログラミング実習	224
日本経済の現状と問題	134	プログラミング第 1 同演習	224
日本政治基礎	166	プログラミング第 3 同演習	224
日本の経済	232	プログラム実習	224
日本の産業と経営	184、188	文学	72～74
日本の政治	58	文学I	68～71、73、74
ね 熱物理	219	文学II	68～74
熱力学	219	文学 a	72～74
熱力学の基礎	219	文学 b	72～74
熱流体システム第 1	220	文化人類学	74、75
熱流体システム第 2	220	文化人類学I	75、169
は バイオプログラミング第 1	220	文化人類学II	75、169
バイオプログラミング第 2	220	分子生物学第 1	224
バリアフリー / ユニバーサル・デザイン入門I	58	文章作法I	241
バリアフリー / ユニバーサル・デザイン入門II	59	文章作法II	241
反応有機化学	221	分析化学 1	225
ひ 比較地域研究論I	169	分析化学基礎	225
比較文化論	59、233	分布系の数理	226
比較文化論 a	59	へ ヘブライ語初級I	279
比較文化論 b	59	ヘブライ語初級II	279
東アジア宗教文化概論I	60	ヘブライ語中級I	279
東アジア宗教文化概論II	60	ヘブライ語中級II	279
光デバイス工学	221	ペルシア語初級I	278
美術I	61～64	ペルシア語初級II	278
美術II	61～64	ペルシア語中級I	278
微積分I	176	ペルシア語中級II	278
微積分II	176	ほ 法学 (憲法を含む)	163
微積分演習	185、189	法学I (憲法を含む)	75～78、154
人の尊厳	64	法学II (憲法を含む)	75～78、154、155
微分積分	133	法学演習 (刑法)	159、160

法学演習 (憲法)	160	量子力学入門 (機械、物理)	228
法学演習 (民法)	158 ~ 160	量子力学入門 (物情)	229
法学情報処理	161	理論経済学I	188
法制史I (基礎)	161	倫理学I	79 ~ 81
法制史II (基礎)	162	倫理学II	79 ~ 81
法制史概論I	161	れ 歴史I	81 ~ 87
法制史概論II	162	れ 歴史II	81 ~ 87
法の基礎	162	ろ 論理学I	87、88
法律外国語演習 (英)	161	ろ 論理学II	87、88
法律外国語演習 (西)	160	論理学序論	88
法律外国語演習 (独)	160	論理学本論	89
法律外国語演習 (仏)	160		
簿記 a	146		
簿記 b	146		
簿記論	186		
ま マーケティング・マネジメント論	183		
マクロ経済学初級I	140		
マクロ経済学初級II	141		
マス・コミュニケーション論I	170		
マテリアルデザイン概論 1	226		
マテリアルデザイン概論 2	226		
マルクス経済学I	145		
マルクス経済学II	145		
み ミクロ経済学初級I	141		
ミクロ経済学初級II	141		
民主主義思想論I	170		
民族文化論	78		
民法	155 ~ 157		
民法	167		
民法 (債権各論) I	157		
民法 (総論) I	155、156		
民法 (物権法) I	156		
民法I A	155、156		
民法I B	155、156		
民法II	167		
民法 (債権各論) II	157		
民法 (総論) II	155、156		
民法 (物権法) II	156、157		
民法II A	156		
民法II B	156、157		
民法III A	277		
民法III B	157		
民法演習I A	159		
民法演習I B	159		
民法演習II A	158、159		
民法演習II B	158、159		
む 無機化学 1	226		
無機化学 2	226		
や 薬科学概論	235		
ゆ 有機化学基礎	226		
有機立体化学	226		
ら ラテンアメリカ研究	79		
ラテンアメリカ研究 a	79		
ラテンアメリカ研究 b	79		
り 力学的アナリシス	227		
力学的モデリング	227		
理工学概論 (全学門)	197		
理工学基礎実験	227		
流体力学の基礎	227		
量子化学基礎	228		
量子力学基礎	228		
量子力学第 1	228		
量子力学入門 (応化、数理、化学)	229		

教員名

あ	相沢 幸悦 (アイザワ コウエツ)	232
	相磯 貞和 (アイソ サダカズ)	38
	相原 義弘 (アイハラ ヨシヒロ)	133
	相吉 英太郎 (アイヨシ エイタロウ)	223
	青木 健一郎 (アオキ ケンイチロウ)	65、93、143
	青木 淳一 (アオキ ジュンイチ)	162
	青木 義満 (アオキ ヨシミツ)	198、224
	青山 藤詞郎 (アオヤマ トウジロウ)	209、216
	赤江 雄一 (アカエ ユウイチ)	272
	赤川 元章 (アカガワ モトアキ)	177、188
	明石 欽司 (アカシ キンジ)	161、162
	赤林 由雄 (アカバヤシ ヨシオ)	137~140
	秋山 豊子 (アキヤマ トヨコ)	33、103、104、158
	秋山 裕 (アキヤマ ユタカ)	93、140、144
	明田 ゆかり (アケダ ユカリ)	38
	浅川 順子 (アサカワ ジュンコ)	109
	朝倉 浩一 (アサクラ コウイチ)	199、222
	浅野 光紀 (アサノ コウキ)	53
	朝比奈 緑 (アサヒナ ミドリ)	68、109
	麻生 良文 (アソウ ヨシヨミ)	164
	足立 健次 (アダチ ケンジ)	92
	足立 修一 (アダチ シュウイチ)	223
	足立 典子 (アダチ ノリコ)	109
	厚地 淳 (アツジ アツシ)	133、143、146
	阿南 友亮 (アナミ ユウスケ)	29、30、170、173
	阿部 祥人 (アベ ヨシト)	129
	阿部 芳廣 (アベ ヨシヒロ)	235
	天野 英晴 (アマノ ヒデハル)	205、216
	新井 和広 (アライ カズヒロ)	81、82、110、272
	荒金 直人 (アラカネ ナオト)	119、121
	荒畑 靖宏 (アラハタ ヤスヒロ)	53
	有澤 達也 (アリサワ タツヤ)	137
	有末 賢 (アリスエ ケン)	163
	粟津 賢太 (アワヅ ケンタ)	18
	安藤 勝英 (アンドウ カツヒデ)	252
	安藤 寿康 (アンドウ ジュコウ)	64
	安藤 広道 (アンドウ ヒロミチ)	82、129
	安藤 光代 (アンドウ ミツヨ)	184、188
	アンリ, ナタリー (アンリ, ナタリー)	105、106
い	李 宇譔 (イ ウヨン)	248
	李 泰文 (イ テムン)	127
	飯島 正 (イイジマ タダシ)	215
	飯田 恭 (イイダ タカシ)	140
	飯田 隆 (イイダ タカシ)	53
	飯簀 泰宏 (イイハシ ヤスヒロ)	184、187
	井垣 竹晴 (イガキ タケハル)	25
	井口 達雄 (イグチ タツオ)	194、199、211
	池田 薫 (イケダ カオル)	133、145
	池田 真朗 (イケダ マサオ)	161
	池田 緑 (イケダ ミドリ)	15
	池田 幸弘 (イケダ ユキヒロ)	141
	池原 雅章 (イケハラ マサアキ)	199、217
	石井 明 (イシイ アキラ)	4、94
	石井 一平 (イシイ イッペイ)	194、195
	石井 拓 (イシイ タク)	126
	石井 達朗 (イシイ タツロウ)	68
	石井 康史 (イシイ ヤスシ)	59、78、94
	石井 留美 (イシイ ルミ)	192

石川	さと子 (イシカワ サトコ)	235、236
石川	史郎 (イシカワ シロウ)	194、211、221
石川	透 (イシカワ トオル)	126、130
石川	博樹 (イシカワ ヒロキ)	82
石樽	崇明 (イシグレ タカアキ)	218
石黒	仁揮 (イシクロ ヒロキ)	121、216、217
石多	正男 (イシタ マサオ)	5
石手	靖 (イシデ ヤスシ)	251、260
石橋	孝次 (イシバシ コウジ)	141
石光	輝子 (イシミツ テルコ)	110、184、188
石渡	哲 (イシワタ サトシ)	77
磯崎	敦仁 (イソザキ アツヒト)	48
磯部	徹彦 (イソベ テツヒコ)	226
磯山	久美子 (イソヤマ クミコ)	39
井田	良 (イダ マコト)	157、162
板垣	悦子 (イタガキ エツコ)	234、254
出岡	直也 (イツオカ ナオヤ)	161
井手	英策 (イデ エイサク)	145
井手	秀樹 (イデ ヒデキ)	181、188
伊東	研祐 (イトウ ケンスケ)	157、158
伊藤	公平 (イトウ コウヘイ)	233
伊藤	誠一郎 (イトウ セイイチロウ)	142
伊藤	幹夫 (イトウ ミキオ)	140、147、148
伊東	裕司 (イトウ ユウジ)	132
伊藤	行雄 (イトウ ユキオ)	95
伊藤	佳子 (イトウ ヨシコ)	235 ~ 237
伊藤	好英 (イトウ ヨシヒデ)	59
稲田	奈緒美 (イナタ ナオミ)	20
稲葉	由之 (イナバ ヨシユキ)	140
犬伏	由子 (イヌブシ ユキコ)	161
井上	京子 (イノウエ キョウコ)	74
井上	聡 (イノウエ サトシ)	82
井上	浩義 (イノウエ ヒロヨシ)	191、192
井上	能裕 (イノウエ ヨシヒロ)	158
今井	潤一 (イマイ ジュンイチ)	204
今井	宏明 (イマイ ヒロアキ)	226
今泉	忠 (イマイズミ タダシ)	147
井本	正哉 (イモト マサヤ)	15、196、207
岩崎	陸 (イワサキ アツシ)	248
岩下	真好 (イワシタ マサヨシ)	44、105、106
岩谷	十郎 (イワタニ ジュウロウ)	161、263
岩波	敦子 (イワナミ アツコ)	82
岩見	隆 (イワミ タカシ)	277、278
う	宇 振領 (ウ シンリョウ)	39
植田	毅 (ウエタ ツヨシ)	229
植田	利久 (ウエダ トシヒサ)	219
植田	史生 (ウエダ フミオ)	244、253
植松	裕子 (ウエマツ ユウコ)	224
上村	大輔 (ウエムラ ダイスケ)	197
宇沢	美子 (ウザワ ヨシコ)	273
牛島	利明 (ウシジマ トシアキ)	117、177、188
牛場	潤一 (ウシバ ジュンイチ)	220
牛山	潤一 (ウシヤマ ジュンイチ)	254
内山	孝憲 (ウチヤマ タカノリ)	216
内山	太郎 (ウチヤマ タロウ)	208、219
内山	眞 (ウチヤマ マコト)	241
宇津木	愛子 (ウツギ アイコ)	110
馬田	啓一 (ウマダ ケイイチ)	134
梅垣	真祐 (ウメガキ シンスケ)	228
梅澤	一夫 (ウメザワ カズオ)	213、229
え	エインジ, マイケル (エインジ, マイケル)	20、21、94、95
江上	正 (エガミ タダシ)	215

お	江藤 正己 (エトウ マサミ)	126	長名 寛明 (オサナ ヒロアキ)	96
	江藤 幹雄 (エトウ ミキオ)	195、222	小沢 慎治 (オザワ シンジ)	210
	江原 吉博 (エハラ ヨシヒロ)	234	小澤 正典 (オザワ マサノリ)	203
	緒明 佑哉 (オアキ ユウヤ)	222	オステイン、フィリップ (オステイン、フィリップ)	161
	オイ、シヨングウ (オイ、シヨングウ)	170、174	小田 芳彰 (オダ ヨシアキ)	194、215
	筧川 博一 (オйкаワ ヒロカズ)	279	尾高 暁子 (オダカ アキコ)	5
	大石 毅 (オオイシ タケシ)	192	小野 晃典 (オノ アキノリ)	183
	大串 尚代 (オオグシ ヒサヨ)	130	小野 修三 (オノ シュウゾウ)	11、18、31、111、186
	大久保 教宏 (オオクボ ノリヒロ)	46	小野 裕剛 (オノ ヒロタケ)	33、34、196
	大坂 武男 (オオサカ タケオ)	208	小野 雅之 (オノ マサユキ)	153
	大沢 秀介 (オオサワ ヒデユキ)	164	小原 實 (オバラ ミノル)	195
	大路 樹生 (オオジ タツオ)	48、49	小尾 晋之介 (オビ シンノスケ)	205、227
	大島 博 (オオシマ ヒロシ)	6	織戸 晃 (オリト アキラ)	252
	太田 昭子 (オオタ アキコ)	43、105、107	恩田 憲一 (オンダ ノリカズ)	151、184、187、270
	太田 克弘 (オオタ カツヒロ)	121、194、212	か 垣内 史敏 (カキウチ フミシ)	196、230
	大田 省一 (オオタ ショウイチ)	232	柿沼 康弘 (カキヌマ ヤスヒロ)	207
	太田 達也 (オオタ タツヤ)	161、162	笠井 裕之 (カサイ ヒロユキ)	69
	太田 博樹 (オオタ ヒロキ)	17	葛西 まゆこ (カサイ マユコ)	164
	大嶽 真人 (オオタケ マサト)	248	笠原 忠 (カサハラ タダシ)	234
	大塚 美保 (オオツカ ミホ)	69	笠原 英彦 (カサハラ ヒデヒコ)	166、168
	大槻 知明 (オオツキ トモアキ)	200	梶川 信行 (カジカワ ノブユキ)	69
	大出 敦 (オオデ アツシ)	45、272	柏原 宏紀 (カシハラ ヒロキ)	170
	大貫 恵佳 (オオヌキ サトカ)	132	鹿島 晴雄 (カシマ ハルオ)	193
	大野 裕 (オオノ ユタカ)	264	柏崎 千佳子 (カシワザキ チカコ)	117
	大野 義夫 (オオノ ヨシオ)	197、270	霞 信彦 (カスミ ノブヒコ)	154、162
	大場 茂 (オオバ シゲル)	8、92	粕谷 祐子 (カスヤ ユウコ)	169
	大畑 純一 (オオハタ ジュンイチ)	110	片山 直也 (カタヤマ ナオヤ)	157
	大平 哲 (オオヒラ サトシ)	95、141、153	片山 杜秀 (カタヤマ モリヒデ)	11、12、31、168
	大前 和幸 (オオマエ カズユキ)	38	片山 靖 (カタヤマ ヤスシ)	226
	大宮 勘一郎 (オオミヤ カンイチロウ)	130	片山 善博 (カタヤマ ヨシヒロ)	32
	大宮 正毅 (オオミヤ マサキ)	207、208	勝野 有美 (カツノ ユミ)	58、59
	大村 達弥 (オオムラ タツヤ)	134	勝部 知子 (カツベ トモコ)	255
	大村 亮 (オオムラ リョウ)	219	勝又 正浩 (カツマタ マサヒロ)	256
	大村 廉 (オオムラ レン)	224	桂 誠一郎 (カツラ セイイチロウ)	207、218
	大森 貴秀 (オオモリ タカヒデ)	151	勝良 健史 (カツラ タケシ)	194、211
	大森 浩充 (オオモリ ヒロミツ)	201、202	桂田 昌紀 (カツラダ マサノリ)	133
	大森 正仁 (オオモリ マサヒト)	161	加藤 修 (カトウ オサム)	155
	大矢 玲子 (オオヤ レイコ)	110	加藤 幸司 (カトウ コウジ)	234、246、250、257
	大山 耕輔 (オオヤマ コウスケ)	167、168	加藤 千恵 (カトウ チエ)	60
	岡 浩太郎 (オカ コウタロウ)	119、213、214	加藤 大雄 (カトウ ヒロオ)	249
	岡 誠 (オカ マコト)	137	加藤 浩子 (カトウ ヒロコ)	5、6
	岡 美佳子 (オカ ミカコ)	236、237	加藤 大仁 (カトウ ヒロヒト)	245、251、254
	岡崎 寛徳 (オカザキ ヒロノリ)	83	加藤 万里子 (カトウ マリコ)	57、122、229、232
	小笠原 小枝 (オガサワラ サエ)	47	加藤 良信 (カトウ ヨシノブ)	137
	岡田 あおい (オカダ アオイ)	18	金沢 孝 (カナザワ タカシ)	198
	岡田 英史 (オカダ エイジ)	198、200	金澤 秀子 (カナザワ ヒデコ)	235
	岡田 光弘 (オカダ ミツヒロ)	87、206	金谷 信宏 (カナヤ ノブヒロ)	34、103、104、153
	岡田 有策 (オカダ ユウサク)	221	金山 弘昌 (カナヤマ ヒロマサ)	61、128
	岡野 栄之 (オカノ ヒデユキ)	38	金子 新 (カネコ シン)	170、174
	岡本 一平 (オカモト イツペイ)	60	金子 隆司 (カネコ タカシ)	260
	岡本 真一郎 (オカモト シンイチロウ)	38	金子 洋之 (カネコ ヒロユキ)	34、35、196
	岡本 大輔 (オカモト ダイスケ)	178、188	金子 勝 (カネコ マサル)	96
	岡山 裕 (オカヤマ ヒロシ)	30	金子 善彦 (カネコ ヨシヒロ)	54
	小川 邦康 (オガワ クニヤス)	206	鹿野 菜穂子 (カノ ナオコ)	178、188
	小川 剛生 (オガワ タケオ)	16、130	上村 佳孝 (カミムラ ヨシタカ)	35、108
	小川原 正道 (オガワラ マサミチ)	30、166	亀井 源太郎 (カメイ ゲンタロウ)	76、159、162
	荻野 安奈 (オギノ アンナ)	69	亀谷 幸生 (カメタニ ユキオ)	121、194、209
	奥田 暁代 (オクダ アキヨ)	20、21、42	鳥谷 昌幸 (カラスダニ マサユキ)	170、173
	奥田 和夫 (オクダ カズオ)	53、54	河合 秀樹 (カワイ ヒデキ)	159
	小國 健二 (オグニ ケンジ)	227	河井 啓希 (カワイ ヒロキ)	140、144
	奥山 静代 (オクヤマ シズヨ)	246、254	河上 裕 (カワカミ ユタカ)	230
	小此木 政夫 (オコノギ マサオ)	166、172	川城 丈夫 (カワシロ タケオ)	193
	長田 進 (オサダ ススム)	51、95		

河内 恵子 (カワチ ケイコ)	130	小崎 健次郎 (コサキ ケンジロウ)	38
河内谷 幸子 (カワチヤ サチコ)	184、187	児島 やよい (コジマ ヤヨイ)	39
川西 大介 (カワニシ ダイスケ)	257	小菅 隼人 (コスゲ ハヤト)	70
川畑 秀明 (カワバタ ヒデアキ)	23	小瀬村 誠治 (コセムラ セイジ)	9、103
川村 晃生 (カワムラ テルオ)	130	古茶 大樹 (コチャ ヒロキ)	193
河村 好彦 (カワムラ ヨシヒコ)	78	小林 邦夫 (コバヤシ クニオ)	70、71、120、122
河原田 有一 (カワラダ ユウイチ)	76	小林 茂文 (コバヤシ シゲフミ)	83
神田 さやこ (カンダ サヤコ)	140	小林 節 (コバヤシ セツ)	155、162
神成 文彦 (カンナリ フミヒコ)	195	小林 大祐 (コバヤシ ダイスケ)	222
神林 靖 (カンバヤシ ヤスシ)	137	小林 宏充 (コバヤシ ヒロミチ)	65、66、104、153
き 菊澤 研宗 (キクザワ ケンシュウ)	178、188	小林 良彰 (コバヤシ ヨシアキ)	165
菊地 啓太 (キクチ ケイタ)	252	小檜山 雅之 (コヒヤマ マサユキ)	202
岸 由二 (キシ ユウジ)	10、35、36、40、96	後平 隆 (ゴヒラ タカシ)	67、97
岸田 和明 (キシダ カズアキ)	126	駒形 哲哉 (コマガタ テツヤ)	145
来住野 究 (キシノ キワム)	182	小松 英海 (コマツ ヒデミ)	27
木島 伸彦 (キジマ ノブヒコ)	27、117	コミネッティ, フィリップ (コミネッティ, フィリップ)	67、68、111
岸本 達也 (キシモト タツヤ)	204、230、232	小宮 英敏 (コミヤ ヒデトシ)	108、176、187
北居 功 (キタイ イサオ)	157	小室 正紀 (コムロ マサミチ)	140、142、263
北川 尚 (キタガワ ヒサシ)	138	米家 志乃布 (コメイエ シノブ)	51
北川 雄光 (キタガワ ユウコウ)	38	小茂鳥 潤 (コモトリ ジュン)	207、208
北澤 安紀 (キタザワ アキ)	160	小屋 逸樹 (コヤ イツキ)	106、107
北村 洋基 (キタムラ ヒロモト)	145	小安 重夫 (コヤス シゲオ)	38
木津 純子 (キヅ ジュンコ)	234	小山 剛 (コヤマ ゴウ)	160、161
木戸 一夫 (キド カズオ)	185、187	小山 正 (コヤマ タダシ)	261
木下 亮 (キノシタ アキラ)	61	小山 幸伸 (コヤマ ユキノブ)	83
木下 京子 (キノシタ キョウコ)	16、39、122	近藤 明彦 (コンドウ アキヒコ)	244~246、254~256
木下 岳司 (キノシタ タケシ)	207、218	近藤 寛 (コンドウ ヒロシ)	195、196、209
木林 弥生 (キバヤシ ヤヨイ)	250	近藤 光雄 (コンドウ ミツオ)	20、21、40
君嶋 祐子 (キミジマ ユウコ)	161、162	近藤 幸夫 (コンドウ ユキオ)	14、16、61、62、120、122
君塚 直隆 (キミヅカ ナオタカ)	169、172	さ 斎木 敏治 (サイキ トシハル)	198
金 明洙 (キム ミョンス)	96	齋藤 郁夫 (サイトウ イクオ)	245、264
木村 彰男 (キムラ アキオ)	193	齋藤 和夫 (サイトウ カズオ)	156、162
木村 敏夫 (キムラ トシオ)	222	齋藤 久美子 (サイトウ クミコ)	278
木村 満 (キムラ ミツル)	193	齋藤 隆男 (サイトウ タカオ)	258
木元 宏次 (キモト ヒロツグ)	151	齋藤 智也 (サイトウ トモヤ)	38
木屋 義範 (キヤ ヨシノリ)	159	齋藤 直樹 (サイトウ ナオキ)	16
許 曼麗 (キョ マンレイ)	111	齋藤 英雄 (サイトウ ヒデオ)	200、218
許 光俊 (キヨ ミツシ)	105、107	齋藤 博昭 (サイトウ ヒロアキ)	207、270
清原 聖子 (キヨハラ ショウコ)	174	齋藤 通貴 (サイトウ ミチタカ)	179、180、188
金田一 真澄 (キンダイチ マスミ)	14、126	齋藤 幸夫 (サイトウ ユキオ)	195、219
く 串田 裕彦 (クシダ ヒロヒコ)	87	坂井 利彰 (サカイ トシアキ)	250
鞠 重鎬 (クツク ジュンホ)	163	酒井 良清 (サカイ ヨシキヨ)	140
工藤 多香子 (クドウ タカコ)	78、79、97	坂上 紳 (サカウエ シン)	97
クナウプ, ハンス (クナウプ, ハンス)	97	榮谷 温子 (サカエダニ ハルコ)	277
久野 禎子 (クノ ヨシコ)	137	坂川 博宣 (サカガワ ヒロノブ)	194
久保田 正美 (クボタ マサミ)	258	榊 玲子 (サカキ レイコ)	47
久保田 真理 (クボタ マリ)	191、192	榊原 康文 (サカキバラ ヤスブミ)	197、220
神代 光朗 (クマシロ ミツオ)	142、145	坂口 博 (サカグチ ヒロシ)	179
楯沢 栄一 (グミサワ エイイチ)	4	坂倉 杏介 (サカクラ キョウスケ)	120、272
倉石 立 (クラishi リツ)	36、92、231	坂尻 昌平 (サカシリ マサヒラ)	64
倉方 俊輔 (クラカタ シュンスケ)	229	坂原 正夫 (サカハラ マサオ)	154
倉沢 愛子 (クラサワ アイコ)	145	坂本 邦彦 (サカモト クニヒコ)	75
栗田 治 (クリタ オサム)	200	櫻井 彰人 (サクライ アキト)	223
栗原 将人 (クリハラ マサト)	121、194、195、214	櫻庭 ゆみ子 (サクラバ ユミコ)	50、111
栗山 保之 (クリヤマ ヤスユキ)	88	桜本 光 (サクラモト ヒカル)	176、186
グレーヴァ香子 (グレーヴァ タカコ)	141	佐々木 昭則 (ササキ アキノリ)	88
黒川 行治 (クロカワ ユキハル)	182、188	佐々木 美帆 (ササキ ミホ)	112
黒沢 文貴 (クロサワ フミタカ)	16	佐々木 玲子 (ササキ レイコ)	234、244、246、255
黒田 忠広 (クロダ タダヒロ)	197	笹平 裕史 (ササヒラ ヒロフミ)	133
こ 小坪 淳子 (コアクツ ジュンコ)	159	里 嘉千茂 (サト カチシゲ)	49
古池 達彦 (コイケ タツヒコ)	224		
小池 和子 (コイケ ワコ)	70		
河野 武司 (コウノ タケシ)	172、173		

- 佐藤 孝雄 (サトウ タカオ) 129
 佐藤 拓磨 (サトウ タクマ) 167
 佐藤 徹 (サトウ トオル) 193
 佐藤 智典 (サトウ トシノリ) 213
 佐藤 望 (サトウ ノゾミ) 6、7、118
 佐藤 春樹 (サトウ ハルキ) 197、208、220
 佐藤 真基子 (サトウ マキコ) 54
 佐藤 方宣 (サトウ マサノブ) 143
 佐藤 真之 (サトウ マサユキ) 79
 佐藤 道生 (サトウ ミチオ) 130
 佐藤 元状 (サトウ モトノリ) 43、272、273
 佐藤 康廣 (サトウ ヤスヒロ) 179、181
 佐藤 和 (サトウ ヤマト) 181
 佐藤 洋平 (サトウ ヨウヘイ) 208、220
 澤田 達男 (サワダ タツオ) 122、199
 三瓶 慎一 (サンベ シンイチ) 44
 し 椎木 一夫 (シイキ カズオ) 229
 シェイ、デビッド (シェイ、デビッド) 112
 塩澤 修平 (シオザワ シュウヘイ) 141
 塩澤 寛樹 (シオザワ ヒロキ) 62
 鹿園 直建 (シカゾノ ナオタツ) 49、202
 識名 章喜 (シキナ アキヨシ) 112、272
 重野 寛 (シゲノ ヒロシ) 207、216
 篠崎 信雄 (シノザキ ノブオ) 203、219
 篠沢 佳久 (シノザワ ヨシヒサ) 197、223
 篠原 俊吾 (シノハラ シュンゴ) 14、272
 柴田 里程 (シバタ リテイ) 213
 渋谷 誉一郎 (シブヤ ヨウイチロウ) 130
 嶋尾 稔 (シマオ ミノル) 277、278
 島田 桂太郎 (シマダ ケイタロウ) 253
 島田 由美子 (シマダ ユミコ) 151
 清水 聡 (シミズ アキラ) 180、188
 清水 邦夫 (シミズ クニオ) 194
 清水 健一 (シミズ ケンイチ) 9、144
 清水 祐司 (シミズ ユウジ) 129
 志村 正 (シムラ タダシ) 9、10、105、153
 下坂 英 (シモサカ エイ) 10
 下遠野 久美子 (シモトオノ クミコ) 236
 下村 俊 (シモムラ シュン) 194、202
 下村 晋 (シモムラ ススム) 211
 下村 裕 (シモムラ ユタカ) 66
 庄司 満 (ショウジ ミツル) 235、237
 鄭 潤澈 (ジョン ユンチョル) 180、188
 白井 義昌 (シライ ヨシマサ) 141
 白杵 陽 (シラキ ヨウ) 78
 白波瀬 丈一郎 (シラハセ ジョウイチロウ) 38
 白旗 優 (シラハタ マサル) 58、117、176、185、187、189
 新谷 崇 (シンタニ タカシ) 44
 す 水津 太郎 (スイズ タロウ) 163、167
 末岡 浩 (スエオカ ヒロシ) 38
 須貝 威 (スガイ タケン) 235、237
 菅田 節朗 (スガタ セツロウ) 236、237
 菅野 理樹夫 (スガノ リキオ) 26
 菅原 昭博 (スガワラ アキヒロ) 185、187
 杉浦 晋 (スギウラ ススム) 71
 杉浦 章介 (スギウラ ノリユキ) 20
 杉田 敦 (スギタ アツシ) 4
 杉田 貴洋 (スギタ タカヒロ) 76
 杉野 元子 (スギノ モトコ) 130
 杉原 賢彦 (スギハラ カツヒコ) 64
 杉村 浩哉 (スギムラ ヒロヤ) 62、63
 杉本 智俊 (スギモト トモシ) 129
 杉本 憲彦 (スギモト ノリヒコ) 66、153
 杉本 亮子 (スギモト リョウコ) 255
 杉山 伸也 (スギヤマ シンヤ) 140
 鈴木 晃仁 (スズキ アキヒト) 17、83、84、98、273
 鈴木 淳子 (スズキ アツコ) 132
 鈴木 忠 (スズキ アツシ) 191、192、196、273
 鈴木 清重 (スズキ キヨシゲ) 26、28
 鈴木 孝治 (スズキ コウジ) 204、225
 鈴木 左斗志 (スズキ サトシ) 158～160
 鈴木 順二 (スズキ ジュンジ) 112
 鈴木 岳之 (スズキ タケシ) 235
 鈴木 千佳子 (スズキ チカコ) 162
 鈴木 恒男 (スズキ ツネオ) 27
 鈴木 透 (スズキ トオル) 20、21、42、78
 鈴木 秀男 (スズキ ヒデオ) 202
 鈴木 正彦 (スズキ マサヒコ) 172、173
 鈴木 由紀 (スズキ ユキ) 190
 須田 伸一 (スダ シンイチ) 141
 須田 芳正 (スダ ヨシマサ) 248
 須藤 亮 (スドウ リョウ) 199、223
 栖原 学 (スハラ マナブ) 13
 鷺見 全弘 (スミ マサヒロ) 258
 諏訪 俊男 (スワ トシオ) 234、235
 せ 瀬川 清 (セガワ キヨシ) 184、187
 関 喜房 (セキ ヨシフサ) 278
 関根 謙 (セキネ ケン) 130
 関根 政美 (セキネ マサミ) 163
 関場 武 (セキバ タケン) 64
 瀬古 美喜 (セコ ミキ) 140
 芹沢 一也 (セリザワ カズヤ) 15
 そ 五月女 仁子 (ノウトメ ヒロコ) 184、187
 曾我 重司 (ソガ シゲジ) 24
 園田 智昭 (ソノダ トモアキ) 182
 園田 よし子 (ソノダ ヨシコ) 236
 た 高井 啓介 (タカイ ケイスケ) 279
 高久 隆太 (タカク リュウタ) 146、186
 高田 京子 (タカタ キョウコ) 179、182
 高田 眞吾 (タカダ シンゴ) 197
 高田 知和 (タカダ トモカズ) 19
 高野 直樹 (タカノ ナオキ) 207、208
 高野 宏 (タカノ ヒロシ) 195、228
 鷹野 宏行 (タカノ ヒロユキ) 179、182
 高橋 郁夫 (タカハシ イクオ) 183
 高橋 勇 (タカハシ イサム) 130
 高橋 邦弘 (タカハシ クニヒロ) 207、208
 高橋 圭 (タカハシ ケイ) 84
 高橋 幸吉 (タカハシ コウキチ) 113
 高橋 信一 (タカハシ シンイチ) 198、221
 高橋 伸夫 (タカハシ ノブオ) 166
 高橋 宣也 (タカハシ ノブヤ) 72
 高橋 正樹 (タカハシ マサキ) 197、223、227
 田上 竜也 (タガミ タツヤ) 113
 高山 博 (タカヤマ ヒロシ) 29、92、126
 高山 正宏 (タカヤマ マサヒロ) 121
 高山 緑 (タカヤマ ミドリ) 29、231
 瀧本 佳容子 (タキモト カヨコ) 113
 田口 良広 (タグチ ヨシヒロ) 199
 竹内 美佳子 (タケウチ ミカコ) 113
 武田 朗子 (タケダ アキコ) 200
 竹之内 一幸 (タケノウチ カズユキ) 167
 竹鼻 眞 (タケハナ マコト) 236、237
 竹村 研治郎 (タケムラ ケンジロウ) 208
 竹村 りょうこ (タケムラ リョウコ) 249

- 竹森 俊平 (タケモリ シュンペイ) 134、232
 武山 政直 (タケヤマ マサナオ) 144
 田代 真 (タシロ マコト) 59
 只野 金一 (タダノ キンイチ) 226
 立谷 洋平 (タチヤ ヨウヘイ) 133
 田所 昌幸 (タドコロ マサユキ) 166
 田中 孝明 (タナカ タカアキ) 202、215
 田中 辰雄 (タナカ タツオ) 144
 田中 敏幸 (タナカ トシユキ) 223
 田中 知樹 (タナカ トモキ) 251
 田中 正隆 (タナカ マサタカ) 169
 田中 由美子 (タナカ ユミコ) 253
 田邊 勝巳 (タナベ カツミ) 184、188
 田辺 秋守 (タナベ シュウジ) 15
 谷 温之 (タニ アツシ) 194
 谷 寿美 (タニ スミ) 128
 谷口 和弘 (タニグチ カズヒロ) 178、188
 谷下 一夫 (タニシタ カズオ) 220
 種村 和史 (タネムラ カズフミ) 50、78、113
 田上 雅徳 (タノウエ マサナル) 165、170、171
 玉田 康成 (タマダ ヤスナリ) 141
 田村 明久 (タムラ アキヒサ) 194、210、212
 田村 次郎 (タムラ ジロウ) 162
 田村 高幸 (タムラ タカユキ) 186、187
 田村 要造 (タムラ ヨウゾウ) 194、211
 樽井 正義 (タルイ マサヨシ) 192、263
 丹野 貴行 (タンノ タカユキ) 126
ち 崔 在東 (チエ ゼドン) 140
 千田 大介 (チダ ダイスケ) 40
 千葉 康司 (チバ コウジ) 235
 中条 潮 (チュウジョウ ウシオ) 117
つ 柘植 尚則 (ツゲ ヒサノリ) 79
 辻 幸夫 (ツジ ユキオ) 13、106、107
 辻岡 三南子 (ツジオカ ミナコ) 245、264
 津田 裕之 (ツダ ヒロユキ) 216、217
 津田 眞弓 (ツダ マユミ) 17、72、98
 蔦木 能雄 (ツタキ ノリオ) 98、142
 土田 龍太郎 (ツチダ リウタロウ) 277
 堤林 剣 (ツツミバヤシ ケン) 165
 常山 菜穂子 (ツネヤマ ナホコ) 20、21、41、42
 坪井 祐司 (ツボイ ユウジ) 84
 坪川 達也 (ツボカワ タツヤ) 263
 坪田 幸政 (ツボタ ユキマサ) 49、50
 津曲 正俊 (ツマガリ マサトシ) 141
 津谷 典子 (ツヤ ノリコ) 98
て 手嶋 智佳子 (テジマ チカコ) 249
 寺岡 文男 (テラオカ フミオ) 224
 寺坂 宏一 (テラサカ コウイチ) 199
 寺沢 和洋 (テラサワ カズヒロ) 191
 寺澤 行忠 (テラサワ ユキタダ) 72
と 土居 洋平 (ドイ ヨウヘイ) 18
 ドゥワルフ、チャールズ (ドゥワルフ、チャールズ) 233
 遠山 朋子 (トオヤマ トモコ) 152
 徳永 聡子 (トクナガ サトコ) 272
 戸瀬 信之 (トセ ノブユキ) 133、143、146、147
 トビン、ロバート (トビン、ロバート) 114
 戸部 良一 (トベ リョウイチ) 169
 登美 齊俊 (トミ マサトシ) 235
 富田 章 (トミタ アキラ) 63
 富田 広士 (トミタ ヒロシ) 168、174
 富田 豊 (トミタ ユタカ) 208、213、227
 鳥海 崇 (トリウミ タカシ) 253
な 内藤 正人 (ナイトウ マサト) 63、128
 内藤 恵 (ナイトウ メグミ) 162
 長井 孝紀 (ナガイ タカトシ) 191～193、196
 長岡 修平 (ナガオカ シュウヘイ) 201
 長沖 暁子 (ナガオキ サトコ) 10、17、20、36、98
 中川 純男 (ナカガワ スミオ) 127
 中川 正雄 (ナカガワ マサオ) 210
 長坂 雄次 (ナガサカ ユウジ) 220
 中澤 和夫 (ナカザワ カズオ) 223
 中澤 英夫 (ナカザワ ヒデオ) 192
 長澤 英俊 (ナガサワ ヒデトシ) 55
 中嶋 敦 (ナカジマ アツシ) 195、201
 中島 恵美 (ナカシマ エミ) 234
 中島 圭一 (ナカジマ ケイイチ) 129
 中島 智 (ナカジマ サトシ) 15
 中島 隆信 (ナカジマ タカノブ) 176、186
 中島 美砂子 (ナカシマ ミサコ) 159
 中島 三知子 (ナカシマ ミチコ) 192
 仲田 均 (ナカダ ヒトシ) 194
 中田 雅也 (ナカタ マサヤ) 196
 中西 はるみ (ナカニシ ハルミ) 137
 中野 誠彦 (ナカノ ノブヒコ) 224
 中野 文平 (ナカノ ブンペイ) 149
 中野 泰志 (ナカノ ヤスシ) 24、58、59、99
 長堀 祐造 (ナガホリ ユウゾウ) 99
 永見 尊 (ナガミ タカシ) 179、182
 中村 公博 (ナカムラ キミヒロ) 55
 中村 慎助 (ナカムラ シンスケ) 141
 中村 真理子 (ナカムラ マリコ) 231
 中山 和久 (ナカヤマ カズヒサ) 19
 中山 幹夫 (ナカヤマ ミキオ) 143
 名越 弘文 (ナゴシ ヒロブミ) 133
 名古屋 創 (ナゴヤ ハジメ) 133
 ナコルチェフスキー、アンドリイ (ナコルチェフスキー、アンドリイ) 93
 夏井 利恵 (ナツイ リエ) 133
 名取 良太 (ナトリ リョウタ) 149、150
 滑川 徹 (ナメリカワ トオル) 215
 奈良 雅俊 (ナラ マサトシ) 79、192
 成田 和信 (ナリタ カズノブ) 80、114
に 新島 進 (ニイジマ ススム) 64、65、99
 西 孝 (ニシ タカシ) 141
 西 宏章 (ニシ ヒロアキ) 223
 西尾 修 (ニシオ オサム) 73、100
 西岡 久美子 (ニシオカ クミコ) 133、143
 西川 正二 (ニシカワ ショウジ) 114
 西川 純雄 (ニシカワ スミオ) 36、37
 西川 尚生 (ニシカワ ヒサオ) 128
 西川 賢 (ニシカワ マサル) 171、175
 西川 僚介 (ニシカワ リョウスケ) 68、114
 西澤 直子 (ニシザワ ナオコ) 263
 西野 純也 (ニシノ ジュンヤ) 32、171、175
 西村 太良 (ニシムラ タロウ) 73
 西山 繁 (ニシヤマ シゲル) 196、197
 西山 達也 (ニシヤマ タツヤ) 55
 西山 千恵子 (ニシヤマ チエコ) 20
 新田 宗土 (ニツタ ムネト) 66、67、118、184、188
 二瓶 栄輔 (ニヘイ エイスケ) 123
ぬ 沼口 隆 (ヌマガチ タカシ) 6
ね 根岸 宗一郎 (ネギシ ソウイチロウ) 11、59
 鼠屋 将志 (ネズミヤ マサシ) 152
の 納富 信留 (ノウトミ ノブル) 56
 野寺 隆 (ノデラ タカシ) 204
 野々村 芳和 (ノノムラ ヨシカズ) 248

- 延近 充 (ノブチカ ミツル) 145
 延澤 志保 (ノベサワ シホ) 137、197
 野村 伸一 (ノムラ シンイチ) 127、279
 野元 晋 (ノモト シン) 277
 は 萩原 滋 (ハギワラ シゲル) 19
 萩原 将文 (ハギワラ マサフミ) 197
 萩原 能久 (ハギワラ ヨシヒサ) 165
 長谷 公隆 (ハセ キミタカ) 193
 長谷川 淳一 (ハセガワ ジュンイチ) 140
 長谷川 由利子 (ハセガワ ユリコ) 37、108
 長谷部 史彦 (ハセベ フミヒコ) 129
 羽田 功 (ハダ イサオ) 78、100
 畑山 明聖 (ハタヤマ アキヨシ) 200、218
 服部 哲弥 (ハツリ テツヤ) 133
 羽鳥 賢一 (ハトリ ケンイチ) 280
 英 知明 (ハナブサ チアキ) 118
 馬場 章 (ババ アキラ) 84
 浜 日出夫 (ハマ ヒデオ) 132
 濱岡 豊 (ハマオカ ユタカ) 183、184、188
 浜田 望 (ハマダ ノゾム) 201
 林 栄美子 (ハヤシ エミコ) 64、100
 林 温 (ハヤシ オン) 63
 林田 愛 (ハヤシダ アイ) 100
 早見 均 (ハヤミ ヒトシ) 176、187
 原 大地 (ハラ タイチ) 114
 原 学 (ハラ マナブ) 241
 原田 隆史 (ハラダ タカシ) 131、161
 針谷 寛 (ハリガヤ ヒロシ) 12
 坂内 健一 (バンナイ ケンイチ) 194、209
 ハンリー、マシュー (ハンリー、マシュー) 115
 ひ 東 利則 (ヒガシ トシノリ) 235、237
 光 道隆 (ヒカリ ミチタカ) 133
 樋口 一貴 (ヒグチ カズタカ) 63
 樋口 美雄 (ヒグチ ヨシオ) 183、188
 日野原 健司 (ヒノハラ ケンジ) 64
 日向 裕幸 (ヒユウガ ヒロユキ) 195
 兵藤 充利 (ヒョウドウ ミツトシ) 234
 平田 光司 (ヒラタ コウジ) 230
 平野 隆 (ヒラノ タカシ) 177、181、188、263
 平野 裕之 (ヒラノ ヒロユキ) 155、160
 平野 公晟 (ヒラノ マサアキ) 234
 平林 正司 (ヒラバヤシ マサジ) 84
 比留川 彰 (ヒルカワ アキラ) 100
 広瀬 大介 (ヒロセ ダイスケ) 6
 広瀬 信義 (ヒロセ ノブヨシ) 193
 広田 すみれ (ヒロタ スミレ) 150
 広本 勝也 (ヒロモト カツヤ) 120
 ふ フォーグル、ヴァルター (フォーグル、ヴァルター) 115
 深淵 康二 (フカガタ コウジ) 227
 深澤 はるか (フカザワ ハルカ) 117
 深谷 太香子 (フカヤ タカコ) 118、176、185、187
 福澤 利彦 (フクザワ トシヒコ) 37、109
 福島 紀子 (フクシマ ノリコ) 234
 福田 浩章 (フクダ ヒロアキ) 126
 福田 史夫 (フクダ フミオ) 57
 福田 礼次郎 (フクダ レイジロウ) 195、201、228
 福中 冬子 (フクナカ フユコ) 7
 福山 欣司 (フクヤマ キンジ) 37、38、101、144
 藤井 孝一 (フジイ コウイチ) 8
 藤川 千歳 (フジカワ チトセ) 19
 藤澤 啓子 (フジサワ ケイコ) 11、132
 藤代 一成 (フジシロ カズナリ) 205
 藤田 幸一郎 (フジタ コウイチロウ) 140
 藤田 眞幸 (フジタ マサユキ) 38
 藤田 康範 (フジタ ヤスノリ) 101、134
 藤平 信一 (フジヒラ シンイチ) 252
 伏見 岳志 (フシミ タケシ) 47、85、86、115、184、188
 藤村 光 (フジムラ ヒカル) 270
 藤本 啓二 (フジモト ケイジ) 207
 藤原 茂樹 (フジワラ シゲキ) 130
 舟橋 啓 (フナハシ アキラ) 220
 古川 亮平 (フルカワ リョウヘイ) 34、35
 古田 和子 (フルタ カズコ) 140
 古野 泰二 (フルノ タイジ) 190、191
 不破 有理 (フワ ユリ) 101、272
 ほ 穂刈 享 (ホカリ トオル) 141
 星 浩司 (ホシ コウジ) 13
 星野 晴彦 (ホシノ ハルヒコ) 193
 細川 達己 (ホソカワ タツミ) 139
 細田 衛士 (ホソダ エイジ) 143、144
 細田 壮一 (ホソダ ソウイチ) 259
 法橋 量 (ホッキョウ ハカル) 75
 堀田 篤 (ホッタ アツシ) 199
 堀田 耕司 (ホッタ コウジ) 232
 堀江 聡 (ホリエ サトシ) 127
 堀越 比呂志 (ホリコシ ヒロシ) 181、188
 ボンシー、ライト (ボンシー、ライト) 278
 本田 郁二 (ホンダ イクジ) 221
 本田 耕一 (ホンダ コウイチ) 78、178、188
 本多 敏 (ホンダ サトシ) 226
 本谷 裕子 (ホンヤ ユウコ) 47、161
 ま 真家 和生 (マイエ カズオ) 29
 前川 千春 (マエカワ チハル) 182
 前木 祥子 (マエキ ショウコ) 120
 前島 和也 (マエジマ カズヤ) 101
 前島 信 (マエジマ マコト) 194
 前田 美千代 (マエダ ミチヨ) 160、163
 前田 吉昭 (マエダ ヨシアキ) 194、214
 真壁 利明 (マカベ トシアキ) 200
 真壁 宏幹 (マカベ ヒロモト) 11、132
 牧 厚志 (マキ アツシ) 176、186
 牧 英之 (マキ ヒデユキ) 229
 政田 利奈 (マサダ リナ) 46
 増野 匡彦 (マシノ タダヒコ) 234
 増田 早哉子 (マスダ サヤコ) 25
 増田 真也 (マスダ シンヤ) 192
 増田 直衛 (マスダ ナオエ) 23、28
 増田 靖 (マスダ ヤスシ) 202、209
 松浦 壮 (マツウラ ソウ) 67、118
 松尾 亜紀子 (マツオ アキコ) 227
 松尾 弘 (マツオ ヒロシ) 156
 松岡 勝男 (マツオカ カツオ) 150
 松田 隆美 (マツダ タカミ) 130
 松田 雅之 (マツダ マサユキ) 244、250、256
 松永 賢次 (マツナガ ケンジ) 152
 松林 伸生 (マツバヤシ ノブオ) 203
 松原 彰子 (マツバラ アキコ) 52、102、144
 松原 輝彦 (マツハラ テルヒコ) 213
 松村 友視 (マツムラ トモミ) 130
 松本 健太郎 (マツモト ケンタロウ) 249
 松本 智 (マツモト サトル) 198
 松本 秀男 (マツモト ヒデオ) 38
 松本 典久 (マツモト フミヒサ) 86

- 松元 雅和 (マツモト マサカズ) 172、175
 松本 緑 (マツモト ミドリ) 196、204
 松本 佳宣 (マツモト ヨシノリ) 206、216
 松森 奈津子 (マツモリ ナツコ) 47
 松山 保幸 (マツヤマ ヤスユキ) 256
 的場 正憲 (マトバ マサノリ) 219
 真中 裕子 (マナカ ヒロコ) 176、187
 丸 誠一郎 (マル セイイチロウ) 259
 丸田 千花子 (マルタ チカコ) 39、46
 丸山 徹 (マルヤマ トオル) 141
 丸山 文綱 (マルヤマ フミツナ) 11、127、138、141
み 美浦 隆 (ミウラ タカシ) 196
 三上 直光 (ミカミ ナオミツ) 278、279
 三木 浩一 (ミキ コウイチ) 162
 三木 則尚 (ミキ ノリヒサ) 203
 三澤 日出巳 (ミサワ ヒデミ) 234
 三島 憲之 (ミシマ ノリユキ) 143
 水嶋 一雄 (ミズシマ カズオ) 52
 水谷 賢史 (ミズタニ ケンジ) 212
 三田 彰 (ミタ アキラ) 209、227
 三谷 淳 (ミタニ ジュン) 159
 三井 隆久 (ミツイ タカヒサ) 190、191
 光武 亜代理 (ミツタケ アヨリ) 222
 水戸 克典 (ミト カツノリ) 58
 南 就将 (ミナミ ナリユキ) 190
 南 美穂子 (ミナミ ミホコ) 194
 峯島 宏次 (ミネシマ コウジ) 88
 岑村 傑 (ミネムラ スグル) 131
 三船 毅 (ミフネ ツヨシ) 152
 宮川 尚理 (ミヤガワ ショウリ) 41
 宮崎 琢也 (ミヤザキ タクヤ) 194、215
 宮下 照夫 (ミヤシタ テルオ) 218
 宮下 理恵子 (ミヤシタ リエコ) 44
 宮島 英紀 (ミヤジマ ヒデキ) 218
 宮田 昌悟 (ミヤタ ショウゴ) 121、197
 宮本 憲二 (ミヤモト ケンジ) 202、204、212
む 武川 幸嗣 (ムカワ コウジ) 156、157、160、162、167
 武藤 功 (ムトウ イサオ) 12
 武藤 浩史 (ムトウ ヒロシ) 43、73、272、273
 村上 俊之 (ムラカミ トシユキ) 215、219
 村上 康代 (ムラカミ ヤスヨ) 123
 村松 憲 (ムラマツ ケン) 246、250
 村山 光義 (ムラヤマ ミツヨシ) 244~246、251、257、261
も 孟 若燕 (モウ ジャクエン) 116
 望月 要 (モチヅキ カナメ) 23、24
 森 久和 (モリ ヒサカズ) 235、236
 森 英樹 (モリ ヒデキ) 73、74
 森 正明 (モリ マサアキ) 264
 森 康彦 (モリ ヤスヒコ) 219
 森下 愛子 (モリシタ アイコ) 253
 森下 隆 (モリシタ タカシ) 14
 森田 寿郎 (モリタ トシオ) 203、212
 森田 裕子 (モリタ ユウコ) 235、236
 森元 良太 (モリモト リョウタ) 56
 森山 剛 (モリヤマ ツヨシ) 126
 両角 政彦 (モロズミ マサヒコ) 52
や 八木 章好 (ヤギ アキヨシ) 130
 八木 輝明 (ヤギ テルアキ) 102
 柳生 智子 (ヤギユウ トモコ) 21
 薬師寺 泰蔵 (ヤクシジ タイゾウ) 168、172
 矢向 高弘 (ヤコウ タカヒロ) 210、213
 矢澤 達宏 (ヤザワ タツヒロ) 46
 安井 伸 (ヤスイ シン) 116
 泰岡 顕治 (ヤスオカ ケンジ) 195、203、206
 安田 公美 (ヤスダ クミ) 109、176、185、187、189
 安田 淳 (ヤスダ ジュン) 45、46
 谷田部 雅嗣 (ヤタベ マサシ) 10
 屋名池 誠 (ヤナイケ マコト) 16、17、130
 柳川 弘志 (ヤナガワ ヒロシ) 38、224
 柳沢 遊 (ヤナギサワ アソブ) 102、140
 矢野 久 (ヤノ ヒサシ) 140
 藪 友良 (ヤブ トモヨシ) 176、187
 藪下 聡 (ヤブシタ サトシ) 195、213、228
 藪野 浩司 (ヤブノ ヒロシ) 195
 藪本 将典 (ヤブモト マサノリ) 75、161
 山内 賢 (ヤマウチ ケン) 146、251、254
 山内 淳 (ヤマウチ ジュン) 123
 山内 志朗 (ヤマウチ シロウ) 80、128
 山岸 敬幸 (ヤマギシ ヒロユキ) 193
 山口 高平 (ヤマグチ タカヒラ) 198
 山口 徹 (ヤマグチ トオル) 129
 山口 祥司 (ヤマグチ ヨシカズ) 133
 山崎 信寿 (ヤマザキ ノブシ) 121
 山崎 信行 (ヤマサキ ノブユキ) 205、224
 山下 輝彦 (ヤマシタ テルヒコ) 130
 山下 久直 (ヤマシタ ヒサナオ) 217
 山田 篤裕 (ヤマダ アツヒロ) 102
 山田 太門 (ヤマダ タモン) 140
 山田 徹 (ヤマダ トオル) 196、221、226
 山田 恒 (ヤマダ ヒサシ) 47、48
 山田 美枝子 (ヤマダ ミエコ) 77
 山田 美絵子 (ヤマダ ミエコ) 251
 山地 秀美 (ヤマチ ヒデミ) 137
 山手 正史 (ヤマテ マサシ) 101
 山本 勲 (ヤマモト イサム) 183、184、188
 山本 賀代 (ヤマモト カヨ) 74、103
 山元 公寿 (ヤマモト キミヒサ) 195、209、221
 山本 淳一 (ヤマモト ジュンイチ) 132
 山本 剛史 (ヤマモト タカシ) 80
 山本 直樹 (ヤマモト ナオキ) 200、223
 山本 信人 (ヤマモト ノブト) 168、173
 山本 喜一 (ヤマモト ヨシカズ) 197
ゆ 湯浅 久利 (ユアサ ヒサトシ) 133
 柚木 克之 (ユギ カツユキ) 197、208、220
 弓削 隆一 (ユゲ リュウイチ) 88、89
 尹 仁河 (ユン インハ) 161、167
よ 横尾 剛 (ヨコオ ツヨシ) 57
 横田 恵理子 (ヨコタ エリコ) 236
 横手 慎二 (ヨコテ シンジ) 166
 横森 剛 (ヨコモリ タケシ) 197
 横山 浩一 (ヨコヤマ コウイチ) 249
 横山 千晶 (ヨコヤマ チアキ) 43、272、273
 横山 和加子 (ヨコヤマ ワカコ) 116
 吉岡 完治 (ヨシオカ カンジ) 176、187
 吉岡 忠昭 (ヨシオカ タダアキ) 12
 吉岡 直樹 (ヨシオカ ナオキ) 195、199
 吉岡 祐次 (ヨシオカ ユウジ) 164
 吉田 栄介 (ヨシダ エイスケ) 184、188
 吉田 量彦 (ヨシダ カズヒコ) 81
 吉田 建一郎 (ヨシダ タテイチロウ) 87
 吉田 友子 (ヨシダ トモコ) 58、119
 吉田 久男 (ヨシダ ヒサオ) 261
 吉田 泰将 (ヨシダ ヤスマサ) 244、253
 吉武 憲司 (ヨシタケ ケンジ) 87、129

吉永 壮介 (ヨシナガ ソウスケ)	130
吉村 典久 (ヨシムラ ノリヒサ)	161
米山 光儀 (ヨネヤマ ミツノリ)	263
頼松 瑞生 (ヨリマツ タマオ)	77
り 李 精 (リ セイ)	146、186
林 秀光 (リン シュウコウ)	45、153
れ レイサイド・ジェイムスM (レイサイド・ジェイムスM)	74、106、107
ろ 六車 明 (ロクシャ アキラ)	153、162
わ 和井内 由充子 (ワイナイ ユミコ)	245、264
和田 俊憲 (ワダ トシノリ)	158
和田 寛伸 (ワダ ヒロノブ)	32、33
綿田 博人 (ワタダ ヒロヒト)	252、256
渡辺 秀樹 (ワタナベ ヒデキ)	64
渡部 睦夫 (ワタベ ムツオ)	109、176、185、187、189